Natural for UNIX

メッセージおよびコード

バージョン 8.4.1

2017 年 10 月

ADABAS & NATURAL

このマニュアルは Natural バージョン 8.4.1 およびそれ以降のすべてのリリースに適用されます。

このマニュアルに記載される仕様は変更される可能性があります。変更は以降のリリースノートまたは新しいマニュアルに記述されます。

Copyright © 1992-2017 Software AG, Darmstadt, Germany and/or Software AG USA, Inc., Reston, VA, United States of America, and/or their licensors.

The name Software AG, webMethods and all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA, Inc. and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

Software AG およびその子会社が所有する登録商標および特許の詳細については、 http://documentation.softwareag.com/legal/ を確認してください。

本ソフトウェアの一部にはサードパーティ製製品が含まれています。サードパーティの著作権表示およびライセンス規約については『License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third-Party Products』を参照してください。このドキュメントは製品ドキュメントセットの一部であり、http://documentation.softwareag.com/legal/上、またはライセンス製品のルートインストールディレクトリ内にあります。

本ソフトウェアの利用は、Software AGのライセンス規約に則って行われるものとします。ライセンス規約は製品ドキュメントセット内、http://documentation.softwareag.com/legal/上、またはライセンス製品のルートインストールディレクトリ内にあります。

ドキュメント IDは: NATUX-NNATMESSAGES-841-20200614JA

目次

前書き vii
1 1
表記規則 2
オンライン情報 2
データ保護 3
2 Natural システムエラーメッセージ 0001～0050 5
3 Natural システムエラーメッセージ 0051～0100 21
4 Natural システムエラーメッセージ 0101～0150 37
5 Natural システムエラーメッセージ 0151～0200 51
6 Natural システムエラーメッセージ 0201～0250 65
7 Natural システムエラーメッセージ 0251～0300 77
8 Natural システムエラーメッセージ 0301～0350 93
9 Natural システムエラーメッセージ 0351～0400 109
10 Natural システムエラーメッセージ 0401～0450 123
11 Natural システムエラーメッセージ 0451～0500 137
12 Natural システムエラーメッセージ 0551～0600 149
13 Natural システムエラーメッセージ 0601～0650 151
14 Natural システムエラーメッセージ 0651～0700 169
15 Natural システムエラーメッセージ 0701～0750 181
16 Natural システムエラーメッセージ 0751～0800 195
17 Natural システムエラーメッセージ 0801～0850 207
18 Natural システムエラーメッセージ 0851～0900 221
19 Natural システムエラーメッセージ 0901～0950 233
20 Natural システムエラーメッセージ 0951～1000 247
21 Natural システムエラーメッセージ 1001～1050 261
22 Natural システムエラーメッセージ 1051～1100 269
23 Natural システムエラーメッセージ 1101～1150 273
24 Natural システムエラーメッセージ 1151～1200 289
25 Natural システムエラーメッセージ 1201～1250 301
26 Natural システムエラーメッセージ 1251～1300 305
27 Natural システムエラーメッセージ 1301～1350 307
28 Natural システムエラーメッセージ 1351～1400 315
29 Natural システムエラーメッセージ 1451～1500 319
30 Natural システムエラーメッセージ 1501～1550 321
31 Natural システムエラーメッセージ 1551～1600 333
32 Natural システムエラーメッセージ 1601～1650 347
33 Natural システムエラーメッセージ 1651～1700 351
34 Natural システムエラーメッセージ 1701～1750 357
35 Natural システムエラーメッセージ 1751～1800 363
36 Natural システムエラーメッセージ 1801～1850 371
37 Natural システムエラーメッセージ 1851～1900 375
38 Natural システムエラーメッセージ 1901～1950 377
39 Natural システムエラーメッセージ 1951～2000 381

40 Natural システムエラーメッセージ 2001～2050 383
41 Natural システムエラーメッセージ 2051～2100 395
42 Natural システムエラーメッセージ 2101～2150 407
43 Natural システムエラーメッセージ 2151～2200 419
44 Natural システムエラーメッセージ 2201～2250 431
45 Natural システムエラーメッセージ 2251～2300 443
46 Natural システムエラーメッセージ 2301～2350 455
47 Natural システムエラーメッセージ 2351～2400 467
48 Natural システムエラーメッセージ 2401～2450 477
49 Natural システムエラーメッセージ 2451～2500 489
50 Natural システムエラーメッセージ 2501～2550 503
51 Natural システムエラーメッセージ 2551～2600 517
52 Natural システムエラーメッセージ 2601～2650 531
53 Natural システムエラーメッセージ 2651～2700 545
54 Natural システムエラーメッセージ 2701～2750 559
55 Natural システムエラーメッセージ 2751～2800 573
56 Natural システムエラーメッセージ 2801～2850 587
57 Natural システムエラーメッセージ 2851～2900 601
58 Natural システムエラーメッセージ 2901～2950 615
59 Natural システムエラーメッセージ 2951～3000 629
60 Natural システムエラーメッセージ 3001～3050 643
61 Natural システムエラーメッセージ 3051～3100 655
62 Natural システムエラーメッセージ 3101～3150 667
63 Natural システムエラーメッセージ 3151～3200 675
64 Natural システムエラーメッセージ 3201～3250 685
65 Natural システムエラーメッセージ 3251～3300 699
66 Natural システムエラーメッセージ 3301～3350 705
67 Natural システムエラーメッセージ 3351～3400 709
68 Natural システムエラーメッセージ 3401～3450 711
69 Natural システムエラーメッセージ 3451～3500 717
70 Natural システムエラーメッセージ 3501～3550 719
71 Natural システムエラーメッセージ 3551～3600 723
72 Natural システムエラーメッセージ 3601～3650 725
73 Natural システムエラーメッセージ 3701～3750 727
74 Natural システムエラーメッセージ 3951～4000 729
75 Natural システムエラーメッセージ 4001～4050 731
76 Natural システムエラーメッセージ 4051～4100 741
77 Natural システムエラーメッセージ 4101～4150 755
78 Natural System Error Messages 4151-4200 763
79 Natural システムエラーメッセージ 4201～4250 765
80 Natural システムエラーメッセージ 4251～4300 779
81 Natural システムエラーメッセージ 4301～4350 787
82 Natural システムエラーメッセージ 4351～4400 791
83 Natural システムエラーメッセージ 4401～4450 795
84 Natural システムエラーメッセージ 4451～4500 807

85 Natural システムエラーメッセージ 4501～4550 817
86 Natural システムエラーメッセージ 4551～4600 827
87 Natural システムエラーメッセージ 4601～4650 829
88 Natural システムエラーメッセージ 4651～4700 843
89 Natural システムエラーメッセージ 4701～4750 857
90 Natural システムエラーメッセージ 4751～4800 871
91 Natural システムエラーメッセージ 4801～4850 875
92 Natural システムエラーメッセージ 4851～4900 891
93 Natural システムエラーメッセージ 4901～4950 905
94 Natural システムエラーメッセージ 4951～5000 913
95 Natural システムエラーメッセージ 5201～5250 919
96 Natural システムエラーメッセージ 5251～5300 923
97 Natural システムエラーメッセージ 5351～5400 925
98 Natural システムエラーメッセージ 5401～5450 935
99 Natural システムエラーメッセージ 5451～5500 947
100 Natural システムエラーメッセージ 5501～5550 951
101 Natural システムエラーメッセージ 5551～5600 959
102 Natural システムエラーメッセージ 5601～5650 967
103 Natural システムエラーメッセージ 5651～5700 977
104 Natural システムエラーメッセージ 5701～5750 989
105 Natural システムエラーメッセージ 5751～5800 999
106 Natural システムエラーメッセージ 5801～5850 1011
107 Natural システムエラーメッセージ 5851～5900 1019
108 Natural システムエラーメッセージ 5901～5950 1029
109 Natural システムエラーメッセージ 5951～6000 1033
110 Natural システムエラーメッセージ 6001～6050 1039
111 Natural システムエラーメッセージ 6051～6100 1045
112 Natural システムエラーメッセージ 6101～6150 1047
113 Natural システムエラーメッセージ 6151～6200 1057
114 Natural システムエラーメッセージ 6201～6250 1063
115 Natural システムエラーメッセージ 6251～6300 1077
116 Natural システムエラーメッセージ 6301～6350 1083
117 Natural システムエラーメッセージ 6351～6400 1097
118 Natural システムエラーメッセージ 6401～6450 1111
119 Natural システムエラーメッセージ 6451～6500 1125
120 Natural システムエラーメッセージ 6501～6550 1127
121 Natural システムエラーメッセージ 6551～6600 1137
122 Natural システムエラーメッセージ 6601～6650 1143
123 Natural システムエラーメッセージ 6651～6700 1153
124 Natural システムエラーメッセージ 6701～6750 1155
125 Natural システムエラーメッセージ 6751～6800 1161
126 Natural システムエラーメッセージ 6801～6850 1167
127 Natural システムエラーメッセージ 6851～6900 1179
128 Natural システムエラーメッセージ 6901～6950 1181
129 Natural システムエラーメッセージ 6951～7000 1191

130 Natural システムエラーメッセージ 7001～7050 1203
131 Natural システムエラーメッセージ 7051～7100 1213
132 Natural システムエラーメッセージ 7151～7200 1221
133 Natural システムエラーメッセージ 7201～7250 1223
134 Natural システムエラーメッセージ 7251～7300 1225
135 Natural システムエラーメッセージ 7301～7350 1227
136 Natural システムエラーメッセージ 7351～7400 1229
137 Natural システムエラーメッセージ 7401～7450 1235
138 Natural システムエラーメッセージ 7501～7550 1237
139 Natural システムエラーメッセージ 7551～7600 1243
140 Natural システムエラーメッセージ 7601～7650 1245
141 Natural システムエラーメッセージ 7651～7700 1247
142 Natural システムエラーメッセージ 7701～7750 1253
143 Natural システムエラーメッセージ 7801～7850 1261
144 Natural システムエラーメッセージ 7951～8000 1263
145 Natural システムエラーメッセージ 8251～8300 1265
146 Natural システムエラーメッセージ 8301～8350 1267
147 Natural システムエラーメッセージ 8351～8400 1275
148 Natural システムエラーメッセージ 8401～8450 1277
149 Natural システムエラーメッセージ 8951～9000 1281
150 Natural システムエラーメッセージ 9901～9950 1283
151 Natural システムエラーメッセージ 9951～9999 1297

前書き

このドキュメントでは、Natural ニュークリアスにより発行される場合が あるシステムエラーメッセージについて説明します。 ライブラリ固有のメッセージおよび 他の Software AG 製品に関連するメッセージは記載されていません。 また、日本語訳のメッセージはNatural V6.3.3で翻訳されたものを参考として掲載しています。 最新のメッセージについては英語版のドキュメントをご覧ください。

Natural システムエラーメッセージ 0001～0050
Natural システムエラーメッセージ 0051～0100
Natural システムエラーメッセージ 0101～0150
Natural システムエラーメッセージ 0151～0200
Natural システムエラーメッセージ 0201～0250
Natural システムエラーメッセージ 0251～0300
Natural システムエラーメッセージ 0301～0350
Natural システムエラーメッセージ 0351～0400
Natural システムエラーメッセージ 0401～0450
Natural システムエラーメッセージ 0451～0500
Natural システムエラーメッセージ 0551～0600
Natural システムエラーメッセージ 0601～0650
Natural システムエラーメッセージ 0651～0700
Natural システムエラーメッセージ 0701～0750
Natural システムエラーメッセージ 0751～0800
Natural システムエラーメッセージ 0801～0850
Natural システムエラーメッセージ 0851～0900
Natural システムエラーメッセージ 0901～0950
Natural システムエラーメッセージ 0951～1000
Natural システムエラーメッセージ 1001～1050
Natural システムエラーメッセージ 1051～1100
Natural システムエラーメッセージ 1101～1150
Natural システムエラーメッセージ 1151～1200
Natural システムエラーメッセージ 1201～1250
Natural システムエラーメッセージ 1251～1300
Natural システムエラーメッセージ 1301～1350
Natural システムエラーメッセージ 1351～1400
Natural システムエラーメッセージ 1451～1500
Natural システムエラーメッセージ 1501～1550

Natural システムエラーメッセージ 1551～1600
Natural システムエラーメッセージ 1601～1650
Natural システムエラーメッセージ 1651～1700
Natural システムエラーメッセージ 1701～1750
Natural システムエラーメッセージ 1751～1800
Natural システムエラーメッセージ 1801～1850
Natural システムエラーメッセージ 1851～1900
Natural システムエラーメッセージ 1901～1950
Natural システムエラーメッセージ 1951～2000
Natural システムエラーメッセージ 2001～2050
Natural システムエラーメッセージ 2051～2100
Natural システムエラーメッセージ 2101～2150
Natural システムエラーメッセージ 2151～2200
Natural システムエラーメッセージ 2201～2250
Natural システムエラーメッセージ 2251～2300
Natural システムエラーメッセージ 2301～2350
Natural システムエラーメッセージ 2351～2400
Natural システムエラーメッセージ 2401～2450
Natural システムエラーメッセージ 2451～2500
Natural システムエラーメッセージ 2501～2550
Natural システムエラーメッセージ 2551～2600
Natural システムエラーメッセージ 2601～2650
Natural システムエラーメッセージ 2651～2700
Natural システムエラーメッセージ 2701～2750
Natural システムエラーメッセージ 2751～2800
Natural システムエラーメッセージ 2801～2850
Natural システムエラーメッセージ 2851～2900
Natural システムエラーメッセージ 2901～2950
Natural システムエラーメッセージ 2951～3000
Natural システムエラーメッセージ 3001～3050
Natural システムエラーメッセージ 3051～3100
Natural システムエラーメッセージ 3101～3150
Natural システムエラーメッセージ 3151～3200
Natural システムエラーメッセージ 3201～3250
Natural システムエラーメッセージ 3251～3300
Natural システムエラーメッセージ 3301～3350
Natural システムエラーメッセージ 3351～3400
Natural システムエラーメッセージ 3401～3450

Natural システムエラーメッセージ 3451～3500
Natural システムエラーメッセージ 3501～3550
Natural システムエラーメッセージ 3551～3600
Natural システムエラーメッセージ 3601～3650
Natural システムエラーメッセージ 3701～3750
Natural システムエラーメッセージ 3951～4000
Natural システムエラーメッセージ 4001～4050
Natural システムエラーメッセージ 4051～4100
Natural システムエラーメッセージ 4101～4150
Natural システムエラーメッセージ 4151～4200
Natural システムエラーメッセージ 4201～4250
Natural システムエラーメッセージ 4251～4300
Natural システムエラーメッセージ 4301～4350
Natural システムエラーメッセージ 4351～4400
Natural システムエラーメッセージ 4401～4450
Natural システムエラーメッセージ 4451～4500
Natural システムエラーメッセージ 4501～4550
Natural システムエラーメッセージ 4551～4600
Natural システムエラーメッセージ 4601～4650
Natural システムエラーメッセージ 4651～4700
Natural システムエラーメッセージ 4701～4750
Natural システムエラーメッセージ 4751～4800
Natural システムエラーメッセージ 4801～4850
Natural システムエラーメッセージ 4851～4900
Natural システムエラーメッセージ 4901～4950
Natural システムエラーメッセージ 4951～5000
Natural システムエラーメッセージ 5201～5250
Natural システムエラーメッセージ 5251～5300
Natural システムエラーメッセージ 5351～5400
Natural システムエラーメッセージ 5401～5450
Natural システムエラーメッセージ 5451～5500
Natural システムエラーメッセージ 5501～5550
Natural システムエラーメッセージ 5551～5600
Natural システムエラーメッセージ 5601～5650
Natural システムエラーメッセージ 5651～5700
Natural システムエラーメッセージ 5701～5750
Natural システムエラーメッセージ 5751～5800
Natural システムエラーメッセージ 5801～5850

Natural システムエラーメッセージ 5851～5900
Natural システムエラーメッセージ 5901～5950
Natural システムエラーメッセージ 5951～6000
Natural システムエラーメッセージ 6001～6050
Natural システムエラーメッセージ 6051～6100
Natural システムエラーメッセージ 6101～6150
Natural システムエラーメッセージ 6151～6200
Natural システムエラーメッセージ 6201～6250
Natural システムエラーメッセージ 6251～6300
Natural システムエラーメッセージ 6301～6350
Natural システムエラーメッセージ 6351～6400
Natural システムエラーメッセージ 6401～6450
Natural システムエラーメッセージ 6451～6500
Natural システムエラーメッセージ 6501～6550
Natural システムエラーメッセージ 6551～6600
Natural システムエラーメッセージ 6601～6650
Natural システムエラーメッセージ 6651～6700
Natural システムエラーメッセージ 6701～6750
Natural システムエラーメッセージ 6751～6800
Natural システムエラーメッセージ 6801～6850
Natural システムエラーメッセージ 6851～6900
Natural システムエラーメッセージ 6901～6950
Natural システムエラーメッセージ 6951～7000
Natural システムエラーメッセージ 7001～7050
Natural システムエラーメッセージ 7051～7100
Natural システムエラーメッセージ 7151～7200
Natural システムエラーメッセージ 7201～7250
Natural システムエラーメッセージ 7251～7300
Natural システムエラーメッセージ 7301～7350
Natural システムエラーメッセージ 7351～7400
Natural システムエラーメッセージ 7401～7450
Natural システムエラーメッセージ 7501～7550
Natural システムエラーメッセージ 7551～7600
Natural システムエラーメッセージ 7601～7650
Natural システムエラーメッセージ 7651～7700
Natural システムエラーメッセージ 7701～7750
Natural システムエラーメッセージ 7801～7850
Natural システムエラーメッセージ 7951～8000

Natural システムエラーメッセージ **8251**～**8300**
Natural システムエラーメッセージ **8301**～**8350**
Natural システムエラーメッセージ **8351**～**8400**
Natural システムエラーメッセージ **8401**～**8450**
Natural システムエラーメッセージ **8951**～**9000**
Natural システムエラーメッセージ **9901**～**9950**
Natural システムエラーメッセージ **9951**～**9999**

1

- 表記規則 2
- オンライン情報 2
- データ保護 3

表記規則

規則	説明
太字	画面上の要素を表します。
モノスペースフォント	*folder.subfolder:service* という規則を使用して webMethods Integration Server 上のサービスの保存場所を表します。
大文字	キーボードのキーを表します。同時に押す必要があるキーは、プラス記号 (+) で結んで表記されます。
斜体	独自の状況または環境に固有の値を指定する必要がある変数を表します。本文で最初に出現する新しい用語を表します。
モノスペースフォント	入力する必要があるテキストまたはシステムから表示されるメッセージを表します。Program code.
{ }	選択肢のセットを表します。ここから1つ選択する必要があります。中カッコの内側にある情報のみを入力します。{ } 記号は入力しません。
|	構文行で相互排他的な2つの選択肢を区切ります。いずれかの選択肢を入力します。| 記号は入力しません。
[ ]	1 つ以上のオプションを表します。大カッコの内側にある情報のみを入力します。[ ] 記号は入力しません。
...	同じ種類の情報を複数回入力できることを示します。情報だけを入力してください。実際のコードに繰り返し記号 (...) を入力しないでください。

オンライン情報

Software AG マニュアルの **Web** サイト

マニュアルは、Software AG マニュアルの Web サイト (**http://documentation.softwareag.com**) で入手できます。このサイトでは Empower クレデンシャルが必要です。Empower クレデンシャルがない場合は、TECHcommunity Web サイトを使用する必要があります。

Software AG Empower 製品のサポート **Web** サイト

もしまだEmpowerのアカウントをお持ちでないのなら、こちらへempower@softwareag.com電子メールにて あなたのお名前、会社名、会社の電子メールアドレスをお書きの上、アカウントを請求してください。

いったんアカウントをお持ちになれば、Empower **https://empower.softwareag.com/** のeServiceセクションにてサポートインシデントをオンラインで開くことができます。

製品情報は、Software AG Empower 製品のサポート Web サイト (**https://empower.softwareag.com**) で入手できます。

機能および拡張機能に関するリクエストの送信、製品の可用性に関する情報の取得、製品のダウンロードを実行するには、Products に移動します。

修正に関する情報を取得し、早期警告、技術論文、Knowledge Base の記事を読むには、**Knowledge Center** に移動します。

もしご質問があれは、こちらの**https://empower.softwareag.com/public_directory.asp** グローバルサポート連絡一覧の、あなたの国の電話番号を選んで、わたくし共へご連絡ください。

Software AG TECHcommunity

マニュアルおよびその他の技術情報は、Software AG TECHcommunity Web サイト (**http://techcommunity.softwareag.com**) で入手できます。以下の操作を実行できます。

- TECHcommunity クレデンシャルを持っている場合は、製品マニュアルにアクセスできます。TECHcommunity クレデンシャルがない場合は、登録し、関心事の領域として [マニュアル] を指定する必要があります。
- 記事、コードサンプル、デモ、チュートリアルにアクセスする。
- Software AGの専門家によって承認されたオンライン掲示板フォーラムを使用して、質問したり、ベストプラクティスを話し合ったり、他の顧客が Software AG のテクノロジをどのように使用しているかを学んだりすることが可能です。
- オープンスタンダードや Web テクノロジを取り扱う外部 Web サイトにリンクできます。

データ保護

Software AG製品は、EU一般データ保護規則(GDPR)を尊重した個人データの処理機能を提供します。 該当する場合、適切な手順がそれぞれの管理ドキュメントに記載されています。

2 Natural システムエラーメッセージ 0001～0050

NAT0001: 不正な構文、または未定義の変数名／キーワードが使用されています。

テキスト	不正な構文、または未定義の変数名 / キーワードが使用されています。
説明	構文チェックで不正なステートメント名またはキーワードが検出されました。 - ステートメント名、変数名、あるいはキーワードのスペルが間違っています。 - または、前のステートメントの副節にエラーがあります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0002: 指定されたファイル名またはファイル番号は、**Natural** に定義されていません。

テキスト	指定されたファイル名またはファイル番号は、Natural に定義されていません。
説明	- ファイル名を書き間違えています。 - または、Natural データディクショナリに定義されていません。 - または、ファイルにアクセスするための権限を持っていません。
対処	- 正しいファイル名を使用してください。 - または、データディクショナリに登録してください。 - または、Natural 管理者に連絡をとってファイルへのアクセス権を取得してください。

NAT0003: ファイル名またはファイル番号に対して不正な文字列が使用されています。

テキスト	ファイル名またはファイル番号に対して不正な文字列が使用されています。
説明	ファイル名またはファイル番号の位置に不正な構文が指定されて います。変数名に使用できる文字のみをファイル名に使用できます。 変数名には、英字 (最初の文字は必ず英字を使用)、数字および次の特殊文字のみを 使用することができます。 - ハイフン / マイナス _ 下線 @ アトマーク / スラッシュ # 番号記号 $ ドル記号 & アンパサンド メインフレームプラットフォームでは、 '@' は 16 進値 H'7C' を持つ文字です。
対処	不正な文字をファイル識別子から削除してください。

NAT0004: DEFINE DATA ステートメントはプログラムの先頭に指定する必要があります。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントはプログラムの先頭に指定する必要があります。
説明	DEFINE DATA ステートメントを使用する場合は、 常にプログラムの先頭に指定する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0005: 算術／論理式に右カッコがありません。

テキスト	算術 / 論理式に右カッコがありません。
説明	カッコは算術演算および論理条件での評価を制御するために 使用します。カッコを使用する場合は、必ずペア (左カッコ と右カッコ) で使用する必要があります。
対処	算術演算および論理条件のカッコを正しく使用しているかどうかを 確認してください。

NAT0006: アクティブな処理ループがないときに **ESCAPE** ステートメントが使用されています。

テキスト	アクティブな処理ループがないときに ESCAPE ステートメントが使用されています。
説明	ESCAPE ステートメントは、 アクティブな処理ループ内でのみ使用できます。
対処	処理ループの構成をチェックし、アクティブなループの中で ESCAPE を指定するようにしてください。

NAT0007: READ LOGICAL または **HISTOGRAM** の **THRU** または **TO** 節の指定が誤っています。

テキスト	READ LOGICAL または HISTOGRAM の THRU または TO 節の指定が誤っています。
説明	READ LOGICAL または HISTOGRAM ステートメントでは、 - THRU 節を指定する場合、終了値を指定する必要があります。 - TO 節を指定する場合、開始値と終了値を指定する必要があります。 開始値または終了値は、定数または値を持つ変数で 指定する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0008: 検索条件の構文に誤りがあります。

テキスト	検索条件の構文に誤りがあります。
説明	1) WITH 節にはディスクリプタを使用する必要があります。 グループ表記は使用できません。 2) READ ステートメントの ENDING AT 節で スーパーディスクリプタを検索キーとして使用するときは、 そのスーパーディスクリプタがデータエリア内に ビューとともに定義されている必要があります。 3) READ ステートメントが DB2 に関係している場合、 検索変数はビューの一部である必要があります。
対処	1) フィールドがデータディクショナリ内で ディスクリプタとして定義されていることを調べるために LIST FILE コマンドを使用してください。 2) ビューにスーパーディスクリプタを追加してください。

NAT0009: 論理条件式に不正な関係演算子があります。

テキスト	論理条件式に不正な関係演算子があります。
説明	論理関係式に不正な関係演算子があります。 次の関係演算子を使用することができます。 = または EQ または EQUAL TO <> または NE または NOT EQUAL < または LT または LESS THAN <= または LE または LESS EQUAL > または GT または GREATER THAN >= または GE または GREATER EQUAL 詳細については、Natural ドキュメントの「論理条件の基準」を参照してください。
対処	関係式の構造を修正します。

NAT0010: 検索条件式に値の指定エラーがあります。

テキスト	検索条件式に値の指定エラーがあります。
説明	検索条件の関係演算子までは正しく指定されていますが、 比較される値が誤って指定されています。 変数を使用して値を指定する場合は、 事前に変数が定義されている必要があります。
対処	英数字タイプのディスクリプタ値がアポストロフィで囲まれていることを確認してください。数値タイプの場合はアポストロフィでは囲みません。 事前に定義されている変数のみを値として参照します。

NAT0011: 関係式の中に正しくないフォーマットの組み合わせが見つかりました。

テキスト	関係式の中に正しくないフォーマットの組み合わせが見つかりました。
説明	次のように関係式では比較する値は同じフォーマットである必要があります。 英数字 関係演算子 英数字 数値 関係演算子 数値 バイナリ 関係演算子 バイナリ

対処	エラーを修正してください。

NAT0012: 検索変数の長さの調整ができません。

テキスト	検索変数の長さの調整ができません。
説明	関係式内で指定された値が、検索変数に定義された長さを超えています 値が 1 つしか存在しない場合は、検索変数の長さを 指定された値の長さにダイナミックに調整できます。 'OR='、'THRU'、'BUT NOT' の場合は、 長さをダイナミックに調整できません。
対処	複数の値が存在する場合は 検索変数に適切な長さを指定してください。

NAT0013: READ ステートメントの **BY** 節にディスクリプタ名／**ISN** が指定されていません。

テキスト	READ ステートメントの BY 節にディスクリプタ名 / ISN が指定されていません。
説明	READ ステートメントで、'BY' 節を使用したときは、 ディスクリプタ名または 'ISN' をレコード読み込みの順序定義 として指定する必要があります。
対処	- BY 節を使用しないでください。 - または、BY 節の後に ISN やディスクリプタ名を指定してください。

NAT0014: FIND ステートメントの **SORTEDBY** 節にエラーがあります。

テキスト	FIND ステートメントの SORTEDBY 節にエラーがあります。
説明	- Adabas ソートのために指定したフィールドがディスクリプタ ではありません。 - または、ソートディスクリプタが指定されていません。 - または、4 つ以上のソースフィールドが指定されています。
対処	エラーを修正してください。

NAT0015: Natural システム関数表記にカッコがありません。

テキスト	Natural システム関数表記にカッコがありません。
説明	Natural システム関数表記はカッコで囲む必要があります。 Natural システム関数名を変数に使用した場合も、 このエラーが発生します。
対処	- システム関数表記をカッコで囲んでください。 - または、システム関数とは異なる変数名に変更してください。

NAT0016: INCLUDE ステートメントまたはコピーコード内に不正なパラメータがあります。

テキスト	INCLUDE ステートメントまたはコピーコード内に不正なパラメータがあります。
説明	コピーコード内のパラメータ数。
対処	INCLUDE ステートメント、またはコピーコード内の エラーを修正してください。

NAT0017: MASK または **SCAN** の使い方、または指定されたマスク長が正しくありません。

テキスト	MASK または SCAN の使い方、または指定されたマスク長が正しくありません。
説明	MASK/SCAN は、EQ またはNE 演算子の後にのみ指定できます。 マスク長は、フィールド長と同じかそれより短い必要があります。 次の文字をマスクに使用できます。 . 変数内でマスキングを行わない位置 DD 日付 U 英大文字 MM 月 N 数字 YY 年 H 16進数文字 YYYY 世紀内の年 P 印刷可能文字 JJJ ユリウス日 L 英小文字 N1-N2 値の範囲 C 英数字 S 特殊印刷文字 A 英大文字 / 小文字 X 値の中の位置
対処	正しくマスクが指定されているかどうかを確認してください。

NAT0018: 算術演算のオペランドの構成に誤りがあります。

テキスト	算術演算のオペランドの構成に誤りがあります。
説明	- 算術演算での変数名のスペルに誤りがあります。または - 数値定数構成に正しくない文字が使用されています。または - 平方根演算関数に誤りがあります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0019: 算術演算の受け取りフィールドにエラーがあります。

テキスト	算術演算の受け取りフィールドにエラーがあります。
説明	算術演算の受け取りフィールドは、 正しい変数で定義する必要があります。 COMPUTE/ASSIGN 処理で変数名のスペルミス、 または '=' 文字がありません。 また受け取り変数が INT、SIN などのシステム関数の場合にも このエラーは発生します。 MULTIPLY/DIVIDE の受け取りフィールドが定数ではないこと も確認してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0020: MULTIPLY ステートメントに '**BY**' がありません。

テキスト	MULTIPLY ステートメントに 'BY' がありません。
説明	MULTIPLY ステートメントでは、2 つのオペランドを掛け合わ せるため 'BY' が必要です。 例 : MULTIPLY 1 BY 2 GIVING RESULT
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0021: DIVIDE ステートメントに '**INTO**' がありません。

テキスト	DIVIDE ステートメントに 'INTO' がありません。

説明	DIVIDE ステートメントでは、2 つのオペランドの間に 'INTO' を指定する必要があります。 例: DIVIDE 2 INTO 7 GIVING RESULT
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0022: MOVE ステートメントに '**TO**' がありません。

テキスト	MOVE ステートメントに 'TO' がありません。
説明	MOVE ステートメントでは、値が移される結果フィールドを識別するために 'TO' が必要です。 例: MOVE 1 TO #A MOVE #B TO #C #D #E #F
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0023: フォーマット要素の指定にエラーがあります。

テキスト	フォーマット要素の指定にエラーがあります。
説明	FORMAT ステートメント、または 入出力ステートメント / 個々の入出力項目で 指定されたフォーマット指定にエラーがあります。 正しいフォーマットエレメントキーワードを使用して フォーマット要素を指定する必要があります。 詳細については、Natural セッションパラメータドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0024: VERT モードでは '**AS**' オプションの後には '文字列' または '**CAP**' を指定する必要があります。

テキスト	VERT モードでは 'AS' オプションの後には '文字列' または 'CAP' を指定する必要があります。
説明	DISPLAY VERTICALLY AS を指定すると、 出力項目の縦型出力を要求する特殊オプションになります。 スペルミス、またはオプションが提供されない場合は行われません。 有効なオプションは次のとおりです。 DISPLAY VERTICALLY AS 'ヘッダーテキスト' DISPLAY VERTICALLY AS CAPTIONED (または DISPLAY VERTICALLY AS CAP) DISPLAY VERTICALLY AS 'ヘッダーテキスト' CAPTIONED 詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0025: Natural システム関数表記に右カッコがありません。

テキスト	Natural システム関数表記に右カッコがありません。
説明	SORT ステートメントでは、同一の Natural システム関数に対して複数の評価変数を指定できます。 同一のシステム関数で評価すべきフィールドリストは カッコで囲む必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0026: VERT の後の出力項目が存在しない、または正しくありません。

テキスト	VERT の後の出力項目が存在しない、または正しくありません。
説明	DISPLAY ステートメントで、複数項目を縦型出力するための 'VERT(ICALLY)' が指定されましたが、 'VERT' の後ろに正しい出力項目が見つかりませんでした。 変数名のスペルミスかまたは文字列の始まりにアポストロフィがありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0027: 値の指定エラーが見つかりました。

テキスト	値の指定エラーが見つかりました。
説明	定数、事前に定義されている変数、またはデータベースフィールド を値として指定できます。 変数名のスペルミス、または文字列をアポストロフィで囲んでいません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0028: READ LOGICAL ステートメントに、ディスクリプタがありません。

テキスト	READ LOGICAL ステートメントに、ディスクリプタがありません。

説明	READ LOGICAL ステートメントには、読み込み順序の制御に使用するディスクリプタの指定が必要です。 READ LOGICAL ステートメントに読み込み順が指定されないと、Natural はデータディクショナリのファイルに定義されたデフォルト順序の使用を試みます。 READ LOGICAL ステートメントにディスクリプタが指定されておらず、データディクショナリにデフォルト順も指定されていない場合は、このエラーメッセージが表示されます。
対処	- ディスクリプタを指定してください。 - または、データディクショナリにデフォルト順が定義されていることを確認してください。

NAT0029: HISTOGRAM にディスクリプタ指定ミス／構文エラーがあります。

テキスト	HISTOGRAM にディスクリプタ指定ミス / 構文エラーがあります。
説明	HISTOGRAM ステートメントでディスクリプタフィールドが指定されていません。または構文が正しくありません。HISTOGRAM ステートメントは、ディスクリプタの値を読み込みます。データベースのインバーテッドリストを使用して値が読み込まれるので、ディスクリプタフィールドのみ指定することができます。
対処	正しいディスクリプタを指定してください。

NAT0030: 関係式に誤りがあります。

テキスト	関係式に誤りがあります。
説明	正しい関係式は次のとおりです。 = または EQ または EQUAL TO <> または NE または NOT EQUAL < または LT または LESS THAN <= または LE または LESS EQUAL > または GT または GREATER THAN >= または GE または GREATER EQUAL 詳細については、Natural ドキュメントの「論理条件の基準」を参照してください。
対処	関係式の構造を修正します。

NAT0031: REDEFINE ステートメントに左カッコ／右カッコがありません。

テキスト	REDEFINE ステートメントに左カッコ / 右カッコがありません。
説明	REDEFINE で新しい変数を定義するには、 始め / 終わりに左カッコ / 右カッコが必要です。 例: REDEFINE #A (#A1 (N3) #A2 (A7))
対処	エラーを修正してください。

NAT0032: AT BREAK または **IF BREAK** のコントロールフィールドが不正です。

テキスト	AT BREAK または IF BREAK のコントロールフィールドが不正です。
説明	AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件で、 ブレイクコントロールフィールドを示すために、 データベースフィールドまたはユーザー定義変数を使用できます。 ユーザー定義変数を使用する場合、事前にこれを 定義しておく必要があります。 ブレイクコントロール変数には、'C' (属性制御) フォーマットを除く、 任意のフォーマットを使用できます。 ブレイク変数の最大長は英数字変数 253 バイトとバイナリ変数 126 バイトです。 より大きなサイズの英数字変数を使用する必要がある場合は、明示的な '/n/' 節で ブレイク桁数を減らす必要があります。 アルファ DYNAMIC として定義された変数にも同じことが適用されます。 例 : #A300(A300) #DYN(A) DYNAMIC が定義されていると仮定します。 AT BREAK OF #A300 /10/ IF BREAK OF #DYN /177/
対処	エラーを修正してください。

NAT0034: 行送りの数を指定する数字定義がない、または正しくありません。

テキスト	行送りの数を指定する数字定義がない、または正しくありません。
説明	SKIP、EJECT、または NEWPAGE ステートメントで 行送りする数は数値定数、または数値変数で 指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0035: AT START OF DATA ステートメントの **'DATA'/AT TOP OF PAGE** の **'PAGE'** がありません。

テキスト	AT START OF DATA ステートメントの 'DATA'/AT TOP OF PAGE の 'PAGE' がありません。
説明	AT START OF DATA ステートメントには 'DATA' が必要です。 AT TOP OF PAGE ステートメントには 'PAGE' がありません。 スペルミス、または指定されていない可能性があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0037: 名前がありません。または名前を誤って指定しています。

テキスト	名前がありません。または名前を誤って指定しています。
説明	次のいずれかの条件でこのエラーが発生します。 - コンパイル時：ステートメントに指定された オブジェクト名 (例：サブプログラム、ダイアログ) のフォーマット または長さが正しくありません。 - ランタイム：オブジェクト名を指定するためにダイナミック英数字変数が 使用されており、変数の現在の長さが最大長の 8 文字を超えています。
対処	名前は、1 ~ 8 桁の文字定数、または変数 (A1 ~ A8) で指定してください。 あるいは 8 文字を超えるダイナミック変数を使わないでください。

NAT0038: REDEFINE ベースフィールドのフィールド参照が正しくありません。

テキスト	REDEFINE ベースフィールドのフィールド参照が正しくありません。
説明	REDEFINE ステートメントのベースフィールドは、 ユーザー定義変数またはデータベースフィールドのいずれかになります。 ユーザー定義変数の場合は、事前に定義する必要があります。 データベースフィールドの場合は、 アクティブな処理ループ内のフィールドである必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0039: REDEFINE のフィールドの合計長がベースフィールドの長さを超えました。

テキスト	REDEFINE のフィールドの合計長がベースフィールドの長さを超えました。
説明	REDEFINE ステートメント内のフィールド長の合計は ベースフィールドの長さ以下となる必要があります。 グループに HANDLE または DYNAMIC タイプのフィールドが含まれる場合、 HANDLE または DYNAMIC 変数の前でのみフィールドを再定義できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0040: AT TOP OF PAGE は、**1** レポートに対して **1** 回だけ指定できます。

テキスト	AT TOP OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。
説明	同じレポートに対して AT TOP OF PAGE は 1 度しか指定できません。 さまざまな条件により複数の AT TOP OF PAGE 処理を実行する場合は、 同一の AT TOP OF PAGE ステートメント内に指定し、 処理を分ける必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0041: AT END OF PAGE は、**1** レポートに対して **1** 回だけ指定できます。

テキスト	AT END OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。
説明	AT END OF PAGE は、1 レポートに対して 1 回だけ指定できます。 AT END OF PAGE 条件で複数の処理を定義したい場合は、 同一の AT END OF PAGE ステートメント内で条件ごとに 各処理を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0042: CIPHER コードの指定に誤りがあります。

テキスト	CIPHER コードの指定に誤りがあります。
説明	データベースファイルに対するサイファコードは、 8 桁の数値定数、または数値変数で指定できます。 数値変数は (N8) フォーマットです。 CIPHER と値との間には等号 (=) を指定する必要があります。 値が数字変数で与えられる場合、この変数は REDEFINE できません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0043: Adabas パスワードとして正しくない内容が指定されました。

テキスト	Adabas パスワードとして正しくない内容が指定されました。
説明	Adabas パスワードは、英数字定数として、または英数字変数を使用して定義できます。 PASSWORD とパスワード値との間に等号 (=) を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0044: 出力項目が定義されていない、または添字指定が正しくありません。

テキスト	出力項目が定義されていない、または添字指定が正しくありません。
説明	次の場合このエラーが発生します。 - 出力項目の名前にエラーがあります。 - 事前に定義していない変数が参照されています。 - キーワードのスペルミスがあります。 - 正しくない添字指定があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0045: UPDATE/DELETE ステートメントの参照指定に誤りがあります。

テキスト	UPDATE/DELETE ステートメントの参照指定に誤りがあります。
説明	参照構文に誤りがあります。または参照が許されていません。 参照は FIND/GET/READ ステートメントに対してのみ可能です。 UPDATE/GET/DELETE は FIND ステートメントと同じ行にあってはなりません。 GET SAME ステートメントへの参照はできません。 この場合は最初にレコードをアクセスしたステートメントを参照してください。
対処	上記の原因をチェックし、エラーを修正してください。

NAT0046: UPDATE/STORE ステートメントのパラメータフィールドリストにエラーがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントのパラメータフィールドリストにエラーがあります。
説明	1つの UPDATE/STORE ステートメントでは、 1 つのファイルのフィールドしか更新できません。 フィールドに対する値は、定数、ユーザー定義変数、または データベースフィールドの内容です。
対処	パラメータリストをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0047: 変数の定義にエラーがあります。

テキスト	変数の定義にエラーがあります。
説明	次のエラーのうちの 1 つが検出されました。 - OBTAIN ステートメント内で、参照したフィールドが データベース配列内に存在しません。 - ステートメント参照および / またはフィールド長指定のエラーが検出されました。 - 添字指定エラーが検出されました。 正 OBTAIN ARRAY (1:5) 正 OBTAIN ARRAY (#I:#I+9) 誤 OBTAIN ARRAY (#I:#J)
対処	エラーを修正してください。

NAT0048: UPDATE/STORE でフィールド／値のフォーマットの組合わせが正しくありません。

テキスト	UPDATE/STORE でフィールド / 値のフォーマットの組合わせが正しくありません。
説明	パラメータリストのフィールドと値の組み合わせは 通常の割り当て規則に従います。 あるフォーマットの値を非互換なフォーマットのフィールドに 割り当てようとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0049: UPDATE/STORE ステートメントの値エントリにエラーがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントの値エントリにエラーがあります。
説明	UPDATE/STORE ステートメントの値として指定できるのは、 定数、ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドです。 データベースフィールドを値として指定する場合は、 現在アクティブな FIND/READ/GET ループを参照する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0050: GET SAME ステートメントに参照エラーがあります。

テキスト	GET SAME ステートメントに参照エラーがあります。
説明	GET SAME ステートメントはデフォルトで 最後のデータベースアクセスを参照しますが、 特定のデータベースへのアクセスを明示的に指定して参照することもできます。 明示的な参照を行う場合は、そのデータベースアクセスが アクティブである必要があります。
対処	GET SAME の参照をチェックし、エラーを修正してください。

3 Natural システムエラーメッセージ 0051〜0100

NAT0051: GET ステートメントにフィールド参照エラーがあります。

テキスト	GET ステートメントにフィールド参照エラーがあります。
説明	GET ステートメントに次のうちの 1 つのエラーが検出されました。 - 参照するフィールドが指定されたファイルに存在しません。 - データベース配列を指定する添字指定に誤りがありました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0052: GET/READ ステートメントで不正な **ISN** 値を指定されました。

テキスト	GET/READ ステートメントで不正な ISN 値を指定されました。
説明	GET/READ ステートメントの ISN 値は整数定数、ユーザー定義変数、または Natural システム変数 *ISN を指定できます。 *ISN を使用する場合、ISN でレコードを読むために使用されたデータベースステートメントのステートメントラベル、またはソースコード行番号 (r) を指定する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0053: 同一レポートに複数の **WRITE TITLE/TRAILER** ステートメントが指定されました。

テキスト	同一レポートに複数の WRITE TITLE/TRAILER ステートメントが指定されました。
説明	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントは、1 レポートに 対して 1 回しか指定できません。
対処	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントのレポート参照を チェックしてください。

NAT0054: Natural システム関数のエントリにエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数のエントリにエラーがあります。
説明	Natural システム関数はアスタリスク (*) で示されています。 * の後に正しい Natural システム関数名を指定する必要があります。 例：MOVE *MAX (SALARY) TO RICHPERSON
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0055: Natural システム関数の引数にエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数の引数にエラーがあります。
説明	引数として指定できるのは、事前に定義されたユーザー定義変数、 またはデータベースフィールドです。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0056: SORT ステートメントが正しく使用されていません。

テキスト	SORT ステートメントが正しく使用されていません。
説明	SORT ステートメントは、アクティブな処理ループ内でのみ使用 できます。 SORT ステートメントは、他の SORT ステートメントによって 初期化された処理ループ中に指定することはできません。 プログラムが複数の SORT ステートメントを含んでいる場合は、 すべて USING 節を含まなければなりません。

対処	エラーを修正してください。

NAT0057: WITH LIMIT 節の数字指定にエラーがあります。

テキスト	`WITH LIMIT` 節の数字指定にエラーがあります。
説明	後の処理のために選択するレコードの制限数の指定が正しくありません。 指定できる値は、数値定数、または事前に定義された数値変数です。 例：`WITH LIMIT(123)` `WITH LIMIT(#LMT)`
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0058: 処理レコード数の指定にエラーがあります。

テキスト	処理レコード数の指定にエラーがあります。
説明	`FIND/READ/HISTOGRAM` ステートメントで開始された 処理ループの処理レコード数 (`n`) で制限することができます。 `n` には数値定数、または事前に定義された数値変数を指定できます。
対処	エラーを修正してください。

NAT0059: WHERE 節にフィールド指定エラーがあります。

テキスト	`WHERE` 節にフィールド指定エラーがあります。
説明	エラーの原因は、次のとおりです。 - 指定された名前に誤りがあります。 - 未評価の `Natural` システム関数を参照しました。 - 許可されていないところに新しい変数が定義されました。
対処	エラーを修正してください。

NAT0060: 論理条件の変数指定に誤りがあります。

テキスト	論理条件の変数指定に誤りがあります。

説明	関係式の左辺が正しく指定されていません。 エラーの原因として、 ステートメント内の関係演算子に続く変数名 またはキーワードのスペルミスが考えられます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0061: ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE の **GIVING** 節にエラーがあります。

テキスト	ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE の GIVING 節にエラーがあります。
説明	ADD/MULTIPLY/SUBTRACT/DIVIDE ステートメントの 'GIVING' 節の後には、 変数参照のために有効な表記を指定する必要があります。 ユーザー定義変数またはデータベースフィールドを使用できます。
対処	エラーを修正してください。

NAT0062: MOVE ステートメントの受け取りフィールドが正しくありません。

テキスト	MOVE ステートメントの受け取りフィールドが正しくありません。
説明	MOVE ステートメントの 'TO' の後には、 変数参照のために有効な表記を指定する必要があります。 ユーザー定義変数、またはデータベースフィールドを使用できます。 受け取りフィールドがシステム変数である場合は、 MOVE LEFT/RIGHT JUSTIFIED は使用できません。 'MOVE .. SUBSTR(..) オペランド' には下記が適用されます: - SUBSTR 引数フィールドは、英数字またはバイナリでなければなりません。 - バイナリ SUBSTR(..) への数字フィールド (N タイプ) の MOVE は 許可されていません。 - 受け取りフィールドがバイナリの場合、パラメータ '(PM=I)' は 許可されていません。 - A/B タイプ以外の受け取りフィールドへの SUBSTR(..) の MOVE は 許可されていません。 LEFT/RIGHT JUSTIFIED オプションの使用は許可されていません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0063: Natural システム関数の評価フィールドにエラーがあります。

テキスト	Natural システム関数の評価フィールドにエラーがあります。

説明	AT BREAK/END DATA 条件に続く WRITE/DISPLAY ステートメントの Natural システム関数の評価フィールドが正しく指定されていません。 ユーザー定義変数またはデータベースフィールドを使用できます。 ユーザー定義変数を使用する場合、事前にこれを 定義しておく必要があります。 データベースフィールドを使用する場合、アクティブな処理ループ内で 使用できる必要があります 配列内のデータベースフィールドの場合、 1 つの添字 (1 次元配列) 、または添字の範囲指定 (2 次元配列) を使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0064: パラメータのオペランドが不正です。

テキスト	パラメータのオペランドが不正です。
説明	- CALL または、SEND METHOD ステートメントのパラメータ値に、 不正なオペランドが指定されています。 - PROCESS GUI または PROCESS REPORTER ステートメントのパラメータオペランドが、 適切な処理に必要なパラメータ定義に違反しています。 - OPEN DIALOG または SEND EVENT ステートメントのパラメータオペランドが、 適切なダイアログのパラメータ定義と一致しません。
対処	パラメータのオペランドをチェックしてください。

NAT0065: グループ、またはピリオディックグループが **VERT** モードで参照されました。

テキスト	グループ、またはピリオディックグループが VERT モードで参照されました。
説明	グループおよびピリオディックグループは 出力に複数の行を 必要とするのため、DISPLAY ステートメントの HORIZONTAL モードでのみ参照できます。 参照する前に、出力モードを 'HORIZ' に指定してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0066: LIMIT ステートメントの定数指定にエラーがあります。

テキスト	LIMIT ステートメントの定数指定にエラーがあります。
説明	LIMIT ステートメントの値は数値定数しか指定できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0067: FOR ステートメントのコントロール値指定にエラーがあります。

テキスト	FOR ステートメントのコントロール値指定にエラーがあります。
説明	コントロール値は数値でなければならず、定数、ユーザー定義変数、 またはデータベースフィールドを指定できます。 TO 値は数値定数、ユーザー定義変数、またはデータベースフィールド を指定できます。 データベースフィールドは、 アクティブな処理ループ内で有効である必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0068: GLOBALS コマンドのパラメータエラーです。

テキスト	GLOBALS コマンドのパラメータエラーです。
説明	GLOBALS コマンドのパラメータは、パラメータ識別子および パラメータに対する正しいパラメータを指定する必要があります。 詳細については、Natural システムコマンドおよびセッションパラメータ ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0069: COUPLED 節を含んだ検索条件にエラーがあります。

テキスト	COUPLED 節を含んだ検索条件にエラーがあります。
説明	FIND ステートメントの COUPLED 節は、 Adabas のカップリング機能を含む検索を指定するために使用されます。 COUPLED 節は、4 つまで指定できます。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの FIND ステートメントを参照してください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0070: GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、**1** レポートにつき **1** 回しか指定できません。

テキスト	GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、1 レポートにつき 1 回しか指定できません。
説明	GIVE SYSTEM FUNCTIONS 節は、AT END OF PAGE 条件で Natural システム関数を参照可能にするために使用しますが、 1 レポートにつき 1 回だけしか指定できません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DISPLAY ステートメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0071: 定義された名前に誤りがあります。

テキスト	定義された名前に誤りがあります。
説明	サブルーチンの名前は、ユーザー定義変数に適用される規則と同じ規則に従っている必要があります (Natural ドキュメントの 「ユーザ定義変数」を参照) 。 クラス、プロトタイプ、または関数の名前も (クラス / プロトタイプ名にピリオドの使用が許可されることを除いて) 同じ規則に従っている必要があります。
対処	名前の定義を修正してください。

NAT0072: 同じ名前のサブルーチンがすでに存在します。

テキスト	同じ名前のサブルーチンがすでに存在します。
説明	- 複数のサブルーチンに対して同じサブルーチン名を使用しています。 プログラム内のサブルーチン名はユニークでなければなりません。 - または、内部サブルーチンにパラメータを渡そうとしました。 外部サブルーチンに対してのみパラメータを渡すことができます。
対処	定義されたサブルーチンの名前をチェックしてください。 パラメータの受け渡しをチェックしてください。

NAT0073: SORT フィールドエラー。フィールドが事前に定義されていません。

テキスト	SORT フィールドエラー。フィールドが事前に定義されていません。
説明	SORT ステートメントのソート条件に使用するフィールドは、 アクティブな処理ループ内で使用可能なデータベースフィールド または、事前に定義されているユーザー定義変数です。 同一フィールドは、SORT キーフィールド内または USING 節内で 2 度参照できません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SORT ステートメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0074: PERFORM SUBROUTINE に指定された名前が正しくありません。

テキスト	PERFORM SUBROUTINE に指定された名前が正しくありません。
説明	1) サブルーチン名をアポストロフィで囲んではいけません。 2) PERFORM ステートメントを使用してインラインサブルーチンを呼び出す場合は、 サブルーチンに渡す明示パラメータを PERFORM ステートメントで指定しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0075: RETURN または **END-SUBROUTINE** の指定位置が不正です。

テキスト	RETURN または END-SUBROUTINE の指定位置が不正です。
説明	次のいずれかの場合にこのエラーが発生します。 1) 対応する DEFINE SUBROUTINE がない RETURN または END-SUBROUTINE が見つかりました。 2) サブルーチンが空です。 つまり、DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロック内に ステートメントがありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0076: 指定されたワークファイルが使用可能でない、または定義されていません。

テキスト	指定されたワークファイルが使用可能でない、または定義されていません。
説明	バッチ環境では、ワークファイルは、参照ワークファイルを 識別する JCL ステートメントで定義する必要があります。 ワークファイルをサポートしているオンライン環境下では、 Natural セッション起動時にパラメータ設定で ワークファイルを定義する必要があります。
対処	指定したワークファイルが正しいかどうかプログラムをチェックしてください。 指定が正しい場合は、Natural 管理者に 使用可能なワークファイルについて確認してください。

NAT0077: READ/WRITE WORK FILE のデータフィールドにエラーがあります。

テキスト	READ/WRITE WORK FILE のデータフィールドにエラーがあります。
説明	データフィールドは、データベースフィールドまたは ユーザー定義変数として指定できます。 RECORD オプションを使用する場合は、 変数を事前に定義しないでください。また、 ダイナミック変数 (利用可能な場合) を使用しないでください。 SELECT オプションを使用する場合は、 変数を事前に定義することができます。 WRITE WORK FILE では数値定数も使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0078: READ WORK FILE の '**FILLER nX**' の指定にエラーがあります。

テキスト	READ WORK FILE の 'FILLER nX' の指定にエラーがあります。
説明	FILLER nX を使用して、データ構成の定義にフィラーを指定 できます。n は整数です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0079: AT END OF FILE 節の指定が正しくありません。

テキスト	AT END OF FILE 節の指定が正しくありません。
説明	READ WORK FILE ステートメントで AT END OF FILE 節を 指定する場合は ONCE オプションも指定する必要があります。 ONCE オプションを指定しないと、通常の処理ループが作成され、 エンドオブファイル条件は処理ループの正常終了として扱われます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0080: コマンド／プログラム名が正しくありません。

テキスト	コマンド / プログラム名が正しくありません。
説明	入力したコマンド、または実行するプログラム名の 最初の文字が正しくありません。 システムコマンドまたはプログラム名の最初の文字は 英字でなければなりません。 数字または特殊文字は使用できません。
対処	正しいコマンドまたはプログラム名を入力してください。

NAT0081: READ コマンドにプログラム名がありません。

テキスト	READ コマンドにプログラム名がありません。
説明	READ コマンドは、ソースオブジェクトを アクティブな Natural ライブラリ (または、オプションで コマンドに指定したライブラリ) から、オプジェクトタイプに 適したエディタワークエリアに読み込みます。 コマンドの正しい構文は次のとおりです。 READ オブジェクト名 〈ライブラリ ID〉 Natural Security がアクティブな場合、ライブラリ ID は指定できません。 また、ライブラリ ID を 'SYS' で始めてはいけません (SYSTEM を除く)。
対処	正しいオブジェクト名を指定して、READ コマンドを入力してください。

NAT0082: 不正なコマンドです。またはライブラリに **:1::2:** がありません。

テキスト	不正なコマンドです。または、ライブラリに ... ... がありません。
説明	次のいずれかが原因として考えられます。 - コマンド行に、STEPLIB またはアクティブなライブラリ内にはない Natural コマンドまたはプログラム名を入力した場合。 - Natural プログラム / サブプログラム / サブルーチン / ヘルプルーチンを実行したときに、 要求したカタログ済みのオブジェクトが 現在アクティブなライブラリまたは STEPLIB として 定義されたライブラリに存在しない場合。 - 指定したオブジェクトが格納されているシステムファイルとは 異なるシステムファイルを Natural セッションで使用しています。
対処	正しいコマンド、または 存在するカタログ済みの Natural オブジェクト名を 入力してください。 SYSPROF コマンドを使用して正しいシステムファイルを 使用しているかどうかをチェックしてください。

NAT0083: ワークエリアが空のときに、**SAVE** や **CATALOG** コマンドが発行されました。

テキスト	ワークエリアが空のときに、SAVE や CATALOG コマンドが発行されました。
説明	すべてのオブジェクトは、エディタワークエリアからのみ SAVE/CATALOG されます。また、READ/EDIT コマンドでワークエリアに読み込まれます。 ('RUN プログラム名' コマンドも、指定したプログラムのソースを、 コンパイル / 実行前にエディタワークエリアに読み込みます。)
対処	SAVE/CATALOG を使用する前に READ/EDIT を使用してください。

NAT0084: 同一のオブジェクト名がすでに存在します；**SAVE/CATALOG** されませんでした。

テキスト	同一のオブジェクト名がすでに存在します；SAVE/CATALOG されませんでした。
説明	Natural はユニークなオブジェクト名を必要とします。 すでに存在するオブジェクトと同じ名前は使用できません。
対処	- すでに SAVE/CATALOG されているオブジェクトとは異なる 名前にしてください。または、 - SAVE/CATALOG コマンドを発行する前に、 同一名の既存オブジェクトを RENAME/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH してください。

NAT0085: SAVE/CATALOG コマンドで正しくないプログラム名が指定されました。

テキスト	SAVE/CATALOG コマンドで正しくないプログラム名が指定されました。
説明	プログラム名は、英文字で始まり、 8 文字以下である必要があります。
対処	正しいプログラム名を指定してください。

NAT0086: AT END OF FILE 節内で **READ WORK FILE ONCE** を使用してはいけません。

テキスト	AT END OF FILE 節内で READ WORK FILE ONCE を使用してはいけません。
説明	AT END OF FILE 節内で READ WORK FILE ONCE ステートメントを 使用しないでください。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの READ WORK FILE ステートメントを参照してください。
対処	エラーを修正してください。

NAT0087: DEFINE DATA ステートメントの **USING** 節のパラメータが正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの USING 節のパラメータが正しくありません。
説明	DEFINE DATA ステートメントの USING 節内に 不正なパラメータがあります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0088: ワークエリアにプログラムが無い状態で、**RUN** コマンドが発行されました。

テキスト	ワークエリアにプログラムが無い状態で、RUN コマンドが発行されました。
説明	エディタワークエリアにプログラムがある場合は、 プログラム名を指定せずに RUN コマンドを発行して、 そのプログラムをコンパイルし、実行することができます。 エディタワークエリアが空の場合、 プログラムをワークエリアに読み込み、コンパイル / 実行するので、 RUN コマンドはプログラム名とともに指定する必要があります。

対処	- プログラム名を指定してください。または - RUN コマンドを発行する前に READ/EDIT コマンドで ワークエリアにソースプログラムを読み込んでください。

NAT0089: CHECK コマンドが発行されましたが、ワークエリアにプログラムが存在しませんでした。

テキスト	CHECK コマンドが発行されましたが、ワークエリアにプログラムが存在しませんでした。
説明	CHECK コマンドは、EDIT/READ/RUN コマンドで ソースワークエリア内にソースプログラムを読み込んだ後でのみ 使用することができます。
対処	CHECK コマンドを発行する前に、EDIT または READ コマンドを使用して プログラムをソースワークエリアに読み込んでください。

NAT0090: THRU 節にサブ／スーパーディスクリプタは使用できません。

テキスト	THRU 節にサブ / スーパーディスクリプタは使用できません。
説明	THRU 節にサブ / スーパーディスクリプタは使用できません。 THRU 節に使用される変数を作成するために、 REDEFINE ステートメントを使用できます。 HISTOGRAM ステートメントでサブ / スーパーディスクリプタの 値を順に読み込んでから、レコードから読み込んだ各値を使用して FIND ステートメントを発行してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0091: UPDATE コマンドには '**ON**' または '**OFF**' だけを指定できます。

テキスト	UPDATE コマンドには 'ON' または 'OFF' だけを指定できます。
説明	UPDATE コマンドは、データベースの更新を可能 / 不可能にするために使用されます : - 'UPDATE ON' データベース更新可能 - 'UPDATE OFF' データベース更新不可能 他のオプションは UPDATE コマンドでは使用できません。

対処	UPDATE ON または 'UPDATE OFF' を入力してください。

NAT0092: DEFINE DATA 内のブロック名が正しくない、または指定されていません。

テキスト	DEFINE DATA 内のブロック名が正しくない、または指定されていません。
説明	グローバルデータエリア内に存在するデータブロックのブロック名の 処理中に、次のエラーのいずれかが検出されました。 - ブロック名の指定方法が正しくありませんでした。 - 指定されたデータブロックが現在のグローバルデータエリアに ありませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0094: DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義に誤りがあります。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義に誤りがあります。
説明	DEFINE DATA ステートメントで初期値の定義が正しくありません。 特に、Natural セッションパラメータ DTFORM は、 DEFINE DATA ステートメント内の値定義と 一致する必要があります。 例： DTFORM=U で D'YYYY-MM-DD' 定数の場合 さらに、数字の初期値には、変数内の定義よりも 多い小数点以下桁数や小数点前桁数を持つことはできません。 例： 1 #FLD1 (N2.2) INIT <12.345> 1 #FLD2 (N2.2) INIT <123.45>
対処	エラーを修正してください。

NAT0095: (RE)INPUT の文字列として、英数字の定数／フィールドだけが使用できます。

テキスト	(RE)INPUT の文字列として、英数字の定数 / フィールドだけが使用できます。
説明	INPUT または REINPUT ステートメントの 'text' には、 英数字定数、既存の英数字ユーザー定義変数、 または英数字データベースフィールドを指定できます。

対処	使用する変数を英数字フォーマットとして定義してあるか、 またはテキスト定数がアポストロフィで囲まれているかどうかをチェックしてください。

NAT0096: DEFINE DATA ステートメント内の **GLOBAL** の使用が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメント内の GLOBAL の使用が正しくありません。
説明	DEFINE DATA ステートメントでグローバルデータエリアを 参照する場合、キーワード 'GLOBAL' の後に 'USING グローバルデータエリア名' を指定する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0097: REDEFINE ステートメントの変数定義が正しくありません。

テキスト	REDEFINE ステートメントの変数定義が正しくありません。
説明	次の理由が考えられます。 - フォーマット指定が正しくありません。 - フィールド長の指定が正しくありません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0098: RESET ステートメントには、少なくとも **1** つのフィールドが必要です。

テキスト	RESET ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドが必要です。
説明	RESET ステートメントには、少なくとも 1 つのフィールドを キーワード RESET (またはキーワード INITIAL (使用する場合)) の後に指定する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0099: COMPRESS ステートメントでフィールド指定がエラーです。

テキスト	COMPRESS ステートメントでフィールド指定がエラーです。

説明	COMPRESS ステートメントは、複数のフィールド / 文字を 他のフィールドに圧縮します。 圧縮する値を少なくとも 1 つ指定する必要があります。 指定する値は、文字定数または英数字フィールドで なければいけません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0100: COMPRESS または **MOVE ALL** では **'C'**（制御）、**'L'**（論理）フォーマットの使用はできません。

テキスト	COMPRESS または MOVE ALL では 'C'（制御）、'L'（論理）フォーマットの使用はできません。
説明	- COMPRESS ステートメントを使用して、 複数の値を 1 つの受け取りフィールドに圧縮できます。 圧縮される値を持つフィールドのフォーマットが 'C' または 'L' であってはなりません。 - MOVE ALL ステートメントは 1 つの値を 1 つの受け取りフィールドに繰り返し転送できます。 転送される値は英数字 (A) かアンパック (N) フォーマットです。
対処	エラーを修正してください。

4 Natural システムエラーメッセージ 0101～0150

NAT0102: SORT ステートメントに **Natural** システム関数の参照エラーがあります。

テキスト	SORT ステートメントに Natural システム関数の参照エラーがあります。
説明	システム関数 MAX、MIN、AVER、および TOTAL だけが評価されます。 これらの値は * 関数 (変数) の形で SORT オペレーションの後に 参照することができます。 例 : MOVE *TOTAL(SALARY) TO PAYROLL-TOTAL(N8)
対処	エラーを修正してください。

NAT0103: COMPRESS で受け取りフィールドに不正なフィールド名が指定されました。

テキスト	COMPRESS で受け取りフィールドに不正なフィールド名が指定されました。
説明	COMPRESS ステートメントでは、結果を入れるための 正しいフィールド名を 'INTO' (または 'TO') の後に 指定する必要があります。 受け取りフィールドは英数字 (A) フォーマットでなければなりません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0104: 1 つのソースコード行に複数のループ開始ステートメントが指定されています。

テキスト	1 つのソースコード行に複数のループ開始ステートメントが指定されています。
説明	処理ループを開始するステートメントは、 1 つのソースコード行に 1 つしか指定できません。
対処	ループ開始ステートメントを複数行に分けてください。

NAT0105: データベースの更新が認められていません。

テキスト	データベースの更新が認められていません。
説明	Natural 管理者が、 指定されたデータベースの更新を不可にしています。 データベースを更新するプログラムを作ることはできません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0106: SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH は使用できません。

テキスト	SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH は使用できません。
説明	Natural 管理者が、 SAVE/CATALOG/STOW/PURGE/UNCATALOG/SCRATCH コマンドを 使用できないようにプロファイルパラメータ ROSY および / または RECAT を 設定しています。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0107: ET データに **2000** バイト以上を指定できません。

テキスト	ET データに 2000 バイト以上を指定できません。
説明	END TRANSACTION ステートメントで指定できるユーザーデータは 最大 2,000 バイトです。
対処	ET データの量を減らしてください。

NAT0108: WRITE WORK FILE でグループフィールドの参照エラーがあります。

テキスト	WRITE WORK FILE でグループフィールドの参照エラーがあります。
説明	グループ名によって参照された個々のフィールドの処理中に エラーが発生しました。
対処	グループの定義をチェックしてください。

NAT0109: GET SAME または **UPDATE** ステートメントで不正な参照が行われました。

テキスト	GET SAME または UPDATE ステートメントで不正な参照が行われました。
説明	GET SAME または UPDATE ステートメントでは、 現在アクティブな処理ループ （つまり、データベースアクセスの処理ループが閉じられていない状態）の FIND/READ/GET ステートメントしか参照できません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0110: END ステートメントの後にソーステキストを指定することはできません。

テキスト	END ステートメントの後にソーステキストを指定することはできません。
説明	END ステートメントは Natural オブジェクトのソースの終了を示します。 END ステートメントの後には、 ステートメントやコメントを指定することはできません。 エラーの原因は、- スペルミス、または - AT END OF PAGE、AT END OF DATA、END TRANSACTION ステートメントでの 'PAGE'、'DATA'、'TRANSACTION' の省略、または - END-DEFINE、END-FIND、END-IF などのステートメントでの ハイフンの書き忘れなどが考えられます。
対処	エラーを修正してください。

NAT0111: :1:でのみ有効な処理です。

テキスト	. . .でのみ有効な処理です。

説明	指定された処理は現在利用できません。 その理由は、Software AG 製品やコンポーネントが、 - Natural FNAT システムファイルにインストールされていない。 - または、Natural ニュークリアスにリンクされていない。 - または、ダイナミック起動に使用可能ではない。 例えば、Natural Security をインストールしていないときに システムコマンド MAIL を使用すると、このエラーが発生します。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0112: グループ名の使用が正しくありません。

テキスト	グループ名の使用が正しくありません。
説明	このステートメントにグループ名を指定しないでください。 代わりに、エレメンタリフィールドを指定してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0114: SET KEY ステートメントの構造にエラーがあります。

テキスト	SET KEY ステートメントの構造にエラーがあります。
説明	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SET KEY ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0115: GET TRANSACTION DATA ステートメントの変数定義にエラーがあります。

テキスト	GET TRANSACTION DATA ステートメントの変数定義にエラーがあります。
説明	エラーの原因は変数名のスペルミスが考えられます。 GET TRANSACTION DATA ステートメントでは、 どのフォーマットのどのタイプの変数でも指定できます。 変数は、GET TRANSACTION DATA ステートメントで 新しく定義することも、またはすでに定義されている変数を参照することもできます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0116: AT BREAK ステートメントの **'/n/'** 指定が正しくありません。

テキスト	AT BREAK ステートメントの '/n/' 指定が正しくありません。
説明	AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件内の '/n/' 表記が 正しく指定されていません。 'n' には、先頭または末尾に空白文字のない、 スラッシュ (/) で囲まれた 1～253 の範囲内の値の数値定数を 指定する必要があります。 例 : AT BREAK OF POST-CODE /5/ IF BREAK OF BIRTH /2/
対処	エラーを修正してください。

NAT0117: SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS に **'IDENTICAL'** がありません。

テキスト	SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS に 'IDENTICAL' がありません。
説明	SUSPEND IDENTICAL SUPPRESS ステートメントには 'IDENTICAL' を必ず指定する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0118: ファンクションキーに割り当てる値のフォーマットが **'A'** ではありません。

テキスト	ファンクションキーに割り当てる値のフォーマットが 'A' ではありません。
説明	ファンクションキーに割り当てる値は、文字定数、または 'A' フォーマットのユーザー定義変数です。
対処	エラーを修正してください。

NAT0119: MOVE ALL ステートメントの **UNTIL** 値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	MOVE ALL ステートメントの UNTIL 値のフォーマットが正しくありません。
説明	UNTIL オプションで指定できる値のフォーマットは、 次のいずれかでなければなりません。 - 正の整数定数値 - '整数 (Integer) ' タイプの変数 - 小数桁なしの '数字 (Numeric) / パック (Packed) ' タイプの変数 システム変数の使用は許可されていません。

対処	エラーを修正してください。

NAT0121: このステートメントはストラクチャードモードで使えません。

テキスト	このステートメントはストラクチャードモードで使えません。
説明	
対処	- このステートメントを使用しないでください。または - レポーティングモードに変更してください。

NAT0122: IF SELECTION で指定可能なフィールドのフォーマットは **A**、**C**、**L** だけです。

テキスト	IF SELECTION で指定可能なフィールドのフォーマットは A、C、L だけです。
説明	IF SELECTION ステートメントは、 英数字、属性制御、および論理フィールドの内容が空白でないことを チェックするためにのみ使用してください。 同じタイプのオペランドだけをチェックできます。
対処	エラーを修正してください。

NAT0123: IF SELECTION ステートメントのフィールド指定にエラーがあります。

テキスト	IF SELECTION ステートメントのフィールド指定にエラーがあります。
説明	IF SELECTION ステートメントには、 少なくとも 1 つのフィールドを指定する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0124: MOVE INDEXED ステートメントの添字にエラーがあります。

テキスト	MOVE INDEXED ステートメントの添字にエラーがあります。
説明	添字には数値定数、または 'N' フォーマットで定義されたユーザー定義変数を指定できます。 例：MOVE INDEXED #A <5> TO #B <2> MOVE INDEXED #A <#INDEX> TO #B <#INDEX>

対処	エラーを修正してください。

NAT0125: DISPLAY/WRITE/INPUT の後に出力項目を指定していないか、無効です。

テキスト	DISPLAY/WRITE/INPUT の後に出力項目を指定していないか、無効です。
説明	DISPLAY、WRITE、INPUT ステートメントには 少なくとも 1 つの項目を指定する必要があります。 エラーの原因として、他の Natural ステートメントと 混同するような変数名をスペルミスなどで誤って 指定したことが考えられます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0126: 変数の修飾エラーがあります。

テキスト	変数の修飾エラーがあります。
説明	1 レベルのみ修飾できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0127: FIND AND RETAIN AS 節には '**AS**' がありません。

テキスト	FIND AND RETAIN AS 節には 'AS' がありません。
説明	AS は、実行される RETAIN SET 処理を示すので、 必ず指定する必要があります。
対処	FIND ステートメントの RETAIN 節に 'AS' を追加してください。

NAT0128: 集合を識別するための値は英数字フォーマットでなければなりません。

テキスト	集合を識別するための値は英数字フォーマットでなければなりません。
説明	RETAIN 節のレコード集合を識別するために 指定できる値 (定数または変数) は英数字フォーマットだけです。 このエラーは、FIND ステートメントの WITH 節に 非ディスクリプタを指定した場合に発生します。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0129: RETAIN AS 節に指定した集合名の長さが **32** 文字を超えました。

テキスト	RETAIN AS 節に指定した集合名の長さが 32 文字を超えました。
説明	集合名として指定できるのは、英数字定数または英数字変数であり、 集合名の長さは 32 文字以内にする必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0130: HORIZ/VERT キーワードの直前に '/' を指定することはできません。

テキスト	HORIZ/VERT キーワードの直前に '/' を指定することはできません。
説明	キーワード HORIZ(ONTALLY) および VERT(ICALLY) を指定すると 新しい出力欄に位置付けられます。 新しい欄をすでに処理された欄の下に位置付けることはできないので、 次の項目を前の項目の下に位置付けることを意味する文字 '/' を キーワード HORIZ、VERT、HORIZONTALLY、VERTICALLY の前に 指定することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0131: GET TRANSACTION DATA では少なくとも **1** つの変数が必要です。

テキスト	GET TRANSACTION DATA では少なくとも 1 つの変数が必要です。
説明	GET TRANSACTION DATA ステートメントには、 トランザクションデータを入れるために 少なくとも 1 つの変数が含まれていなければなりません。 エラーの原因として、変数名のスペルミス、または 変数名として使用できない文字を指定したことが考えられます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0132: オペランドを定義していないか英数字／バイナリフォーマットではありません。

テキスト	オペランドを定義していないか英数字 / バイナリフォーマットではありません。
説明	EXAMINE ステートメント内で実行される変数は、事前に定義された 英数字またはバイナリフォーマットでなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0134: EXAMINE ステートメントの **NUMBER** オプションにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの NUMBER オプションにエラーがあります。
説明	エラーの原因として、変数名のスペルミスが考えられます。 NUMBER 変数は、数値フォーマット ('N'、'P'、または 'I') で、 整数でなければなりません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0135: EXAMINE ステートメントに **DELETE/REPLACE/GIVING** 節がありません。

テキスト	EXAMINE ステートメントに DELETE/REPLACE/GIVING 節がありません。
説明	EXAMINE ステートメントには、 次のうち少くとも 1 つの節が必要です。 REPLACE DELETE GIVING NUMBER GIVING POSITION GIVING LENGTH GIVING INDEX 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0136: EXAMINE TRANSLATE ステートメントにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE TRANSLATE ステートメントにエラーがあります。
説明	EXAMINE TRANSLATE ステートメントには、 キーワード 'TRANSLATE' の後に 'INTO UPPER'、'INTO LOWER'、または USING 節が なければなりません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの EXAMINE TRANSLATE ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0137: RELEASE ステートメントにオブジェクトが指定されていません。

テキスト	RELEASE ステートメントにオブジェクトが指定されていません。
説明	RELEASE ステートメントで解放されるオブジェクトは、 次のとおりです。 STACK - スタックから全データを解放します。 PARAMETERS - セッション中に生成した全パラメータを解放します。 SETS - FIND で検索したすべての集合を解放します。 SET 集合名 - FIND で検索した特定の集合を解放します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0138: FIND で検索されたレコードの集合名は、英数字で **32** バイト以内です。

テキスト	FIND で検索されたレコードの集合名は、英数字で 32 バイト以内です。
説明	集合名は英数字定数か、英数字を含む変数で指定してください。 変数の内容は、検索された集合を識別するために使われるので、 英数字の値は、検索された集合を表す最大長の 32 バイトまでとする必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0139: STACK ステートメントには少なくとも **1** つのデータ項目を指定しなければなりません。

テキスト	STACK ステートメントには少なくとも 1 つのデータ項目を指定しなければなりません。
説明	STACK ステートメントのデータ項目として指定できるのは、 'A'、'N'、'B' フォーマットの定数または変数です。 このうち少なくとも 1 つを STACK ステートメントに指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0140: NOT は **'AND'** 論理演算の後にだけ定義できます。

テキスト	'NOT' は 'AND' 論理演算の後にだけ定義できます。
説明	集合の排除処理は、'AND' 論理演算の後に 'NOT' 演算を置くことによって行われます。 集合はその時点まで選択されたレコードの数から排除されます。
対処	AND 演算の後に排除する集合を置くように 論理条件を組み直してください。

NAT0141: SET GLOBALS ステートメントに不正なキーワードが指定されました。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントに不正なキーワードが指定されました。
説明	正しいキーワードは Natural ステートメントドキュメントの SET GLOBALS ステートメントに記述してあります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0142: SET GLOBALS ステートメントのキーワードに指定した値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントのキーワードに指定した値が正しくありません。
説明	SET GLOBALS キーワードに指定できる値は、 定数または変数です。 定数を指定する場合には、 正しい値 (英字または数字) を指定する必要があります。 例えば、PS は数字で 0～250 の間でなければなりません。 変数を指定する場合にも正しいタイプで指定してください。 数字の場合には整数でなければなりません。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの SET GLOBALS ステートメントを参照してください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0143: SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。
説明	問題の SET GLOBALS キーワードには、英数字の値が必要です。 英数字値には、定数、または英数字 (フォーマットが A) 変数の内容 のいずれかを指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0145: SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値のフォーマットが正しくありません。
説明	SET GLOBALS キーワードの正しい値については Natural セッションパラメータドキュメントを 参照してください。 数値キーワードに対する正しいフォーマットは整数、および 英数字キーワードに指定できる値は 'ON/OFF' または英数字文字列です。 'ON/OFF' の代わりに 'T/F' を使用して値を指定することもできます。 例 : SET GLOBALS EJ=OFF SET GLOBALS EJ=F (上記と同じ意味)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0146: SET GLOBALS ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの構文が正しくありません。
説明	SET GLOBALS ステートメントには、 各パラメータと、パラメータ値の指定との間に アサイン文字 '=' を置く必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0147: STACK ステートメントにコマンドが指定されていません。

テキスト	STACK ステートメントにコマンドが指定されていません。
説明	STACK ステートメントの COMMAND オプションが指定されていますが、コマンドが与えられていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0148: TERMINATE ステートメント内の変数のフォーマットが正しくありません。

テキスト	TERMINATE ステートメント内の変数のフォーマットが正しくありません。
説明	TERMINATE ステートメントでは、 フォーマットが 'N'、'I'、'P' の変数だけを指定できます。 0～255 の間の値でなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0149: MOVE EDITED ステートメントにフォーマットエラーがあります。

テキスト	MOVE EDITED ステートメントにフォーマットエラーがあります。
説明	MOVE EDITED ステートメントで使うフィールドは、 編集マスクを定義していない場合は、 英数字 (A)、バイナリ (B)、または Unicode (U) のフォーマットで定義する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0150: MOVE EDITED ステートメントに編集マスクがありません。

テキスト	MOVE EDITED ステートメントに編集マスクがありません。
説明	MOVE EDITED ステートメントでは、 送り出し、または受け取りフィールドに編集マスクが必要です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

5 Natural システムエラーメッセージ 0151～0200

NAT0151: INPUT ステートメントの **MAP** 名が正しくありません。

テキスト	INPUT ステートメントの MAP 名が正しくありません。
説明	INPUT ステートメントで MAP 名として指定できるのは、 文字定数、および英数字変数の内容です。 変数を使用する場合、事前に変数を定義しておく必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0152: INPUT ステートメントの **MAP** のフォーマットが正しくありません。

テキスト	INPUT ステートメントの MAP のフォーマットが正しくありません。
説明	INPUT ステートメントで MAP 名として指定できるのは、 英数字定数、および英数字変数の内容です。 変数を使用する場合、事前にこれを定義しておく必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0153: フォーマット定義はグループ名には使えません。

テキスト	フォーマット定義はグループ名には使えません。

説明	グループ名は、フィールドの集合を単一の構造として 参照するために使用します。 この構造はこれらのフィールドのフォーマットによって定義されるので、 グループ名にフォーマット定義は必要ありません。 あるフォーマットのフィールドを 異なるフォーマットのフィールド群として再定義するには、REDEFINE ステートメントを使用する必要があります。 他の原因として、複数の変数を同じレベルにしたいときに、 エラーになった変数よりも次の変数の方が レベル番号が高いことが考えられます。
対処	- グループに対するフォーマット定義を取り除いてください。または - レベル番号をチェックしてください。

NAT0155: MAP 名は、**7** 文字を超えてはいけません。

テキスト	MAP 名は、7 文字を超えてはいけません。
説明	MAP 名として指定できるのは、文字定数、および英数字変数の内容です。 MAP 名の最大長は 7 文字です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0158: MOVE BY NAME ステートメント内のグループ指定が正しくありません。

テキスト	MOVE BY NAME ステートメント内のグループ指定が正しくありません。
説明	MOVE BY NAME ステートメントで指定するオペランドは、 既存の正しいグループ名でなければなりません。 ユーザービューを指定することもできます。 個々のフィールド名は指定できません。 ユーザービューを使用する場合、 ステートメントラベル、またはソースコードの行番号で 修正しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0159: MOVE BY NAME または **MOVE BY POSITION** 内のフィールドが一致しません。

テキスト	MOVE BY NAME または MOVE BY POSITION 内のフィールドが一致しません。

説明	MOVE BY NAME の場合： 一致する名前が見つかりません。 両方のグループに少なくとも同じ名前の 1 つのフィールドがなければなりません。 MOVE BY POSITION の場合： 参照されたグループ内のフィールドの数が一致しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0160: READ LOGICAL ステートメントのディスクリプタが正しくありません。

テキスト	READ LOGICAL ステートメントのディスクリプタが正しくありません。
説明	READ ステートメントの THRU または ENDING AT 節では、 マルチプルバリューフィールドのディスクリプタは使用できません。 READ ステートメントでは、フォネティックディスクリプタを使用しないでください。 ピリオディックグループ内に含まれたフィールドは、READ ステートメント内の 検索フィールドとして使用できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0161: DIVIDE REMAINDER で **ROUNDED** 節を使うことはできません。

テキスト	DIVIDE REMAINDER で ROUNDED 節を使うことはできません。
説明	DIVIDE ステートメントでは、 割り算の結果を四捨五入するための ROUNDED オプション、または 割り算の余りを別のフィールドに入れるための REMAINDER オプションを 使用できます。 結果を四捨五入すると余りはないので、 2 つのオプションを同時に使用することは明らかに無意味であり、 指定することはできません。
対処	ROUNDED オプションと REMAINDER オプションの両方を使用するのではなく、 いずれか 1 つを使用してください。

NAT0162: DIVIDE REMAINDER では浮動小数点は指定できません。

テキスト	DIVIDE REMAINDER では浮動小数点は指定できません。

説明	DIVIDE ステートメントで REMAINDER オプションを使用する場合、 除数および被除数のフォーマットが 'F'(浮動小数点)であってはなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0163: DEFINE DATA ステートメントにレベル指定がありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントにレベル指定がありません。
説明	DEFINE DATA ステートメントで、 各変数、グループ、ビュー、および REDEFINE 定義の前には 整数のレベル番号を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0164: 変数名が正しくありません。

テキスト	変数名が正しくありません。
説明	- DEFINE DATA ステートメントでは、レベル指定の後に 正しい変数名、グループ名、ビュー名を指定する必要があります。 - DEFINE DATA INDEPENDENT ステートメント内では、 '+' 文字(AIV 変数)で始まる変数名を使用する必要があります。 - AIV 変数の再定義によるフィールド名は、 '+' 文字で始まってはなりません。 - '+'(AIV)で始まる変数名は、DEFINE DATA ステートメントの PARAMETER、OBJECT、LOCAL、または CONTEXT 節内では使用できません。 Natural 変数名指定規則については、 Natural ドキュメントの『ステートメント』/「ステートメント使用関連トピック」/「ユーザー定義変数」 の命名規則に関する記載、および DEFINE DATA ステートメントの説明を 参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0165: 変数定義のデータ構造が矛盾しています。

テキスト	変数定義のデータ構造が矛盾しています。

説明	ステートメントのデータ構造に矛盾が検出されました。 このエラーは次のステートメントで発生します。 - DEFINE DATA - DEFINE FUNCTION (RETURNS 節) - DEFINE PROTOTYPE (RETURNS 節)
対処	レベル指定と変数定義をチェックしてください。

NAT0166: DEFINE DATA ステートメントの変数定義が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの変数定義が正しくありません。
説明	DEFINE DATA ステートメント内に 正しくない変数定義が見つかりました。
対処	変数定義をチェックして、修正してください。

NAT0167: ビュー名の重複指定が見つかりました。

テキスト	ビュー名の重複指定が見つかりました。
説明	プログラムのデータ構造内でビュー名は ユニークでなければなりません。
対処	グローバル、パラメータ、ローカルデータ構造の ビュー名をチェックしてください。

NAT0168: GIVING 節のない **DIVIDE** では、"**INTO**" の後に定数を指定してはいけません。

テキスト	GIVING 節のない DIVIDE では、INTO の後に定数を指定しないでください。
説明	DIVIDE ステートメントに GIVING 節がない場合、 結果はキーワード 'INTO' の後のオペランドに入れられます。 この場合、INTO オペランドが定数であってはなりません。 INTO オペランドを定数にする場合には、 GIVING 節で結果フィールドを指定してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0169: フォーマット／長さ、または **EM**、**HD**、**PM** の定義にエラーがあります。

テキスト	フォーマット / 長さ、または EM、HD、PM の定義にエラーがあります。
説明	次のうちのいずれかが、DEFINE DATA ステートメントのフィールド定義では無効です。 - フォーマット (有効なフォーマット : A、U、B、C、D、F、I、L、N、P、T) - 指定された長さ - フォーマットと長さの組み合わせ (フォーマット A と B に有効な長さは 1 ~ 1073741824 フォーマット U に有効な長さは 1 ~ 536870912 フォーマット F に有効な長さは 4 または 8 フォーマット I に有効な長さは 1、2、または 4 フォーマット C、D、L、T には長さを指定できません) - フォーマット N、P の小数点前後の桁数 (Nnn.m または Pnn.m 表記、nn に有効な値は 0 ~ 29、m に有効な値は 0 ~ 7、 そして nn + m の合計は 1 ~ 29 の範囲内でなければなりません) あるいは、パラメータ EM (編集マスク)、HD (ヘッダー)、または PM (表示モード) が正しく指定されませんでした。 詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DEFINE DATA ステートメントを参照してください。
対処	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DEFINE DATA ステートメントを参照してください。 プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0170: SEPARATE ステートメントの **INTO** 節に変数を指定しなければなりません。

テキスト	SEPARATE ステートメントの INTO 節に変数を指定する必要があります。
説明	SEPARATE ステートメントの INTO 節には、 (定数ではなく) 変数を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0172: SEPARATE ステートメントに **INTO** 節がありません。

テキスト	SEPARATE ステートメントに INTO 節がありません。
説明	SEPARATE ステートメントにはキーワード 'INTO' が必要です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0173: GIVING 節にキーワード '**NUMBER**' がありません。

テキスト	GIVING 節にキーワード 'NUMBER' がありません。
説明	GIVING 節を使う場合は、キーワード 'NUMBER' も必要です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0174: NUMBER フィールドは整数（**N**、**I**、**P**）でなければなりません。

テキスト	NUMBER フィールドは整数 (N、I、P) でなければなりません。
説明	SEPARATE ステートメントの GIVING NUMBER 節に指定する フィールドは、次のいずれかのフォーマットでなければなりません。 I N (小数なし) P (小数なし)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0175: ソースフィールドおよび最低 **1** つのターゲットフィールドが必要です。

テキスト	ソースフィールドおよび最低 1 つのターゲットフィールドが必要です。
説明	SEPARATE ステートメントのソースフィールドは、 英数字定数または変数でなければなりません。 少くとも 1 つのターゲットフィールドが必要であり、 それは英数字変数でなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0176: EXAMINE ステートメントの **POSITION** フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの POSITION フィールドにエラーがあります。
説明	考えられる原因は、POSITION 変数への参照として使用する 変数名のスペルミスです。 変数は数字 (N、I、または P) フォーマットで、かつ (小数ではなく) 整数である必要があります。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0177: EXAMINE ステートメントの **LENGTH** フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの LENGTH フィールドにエラーがあります。
説明	考えられる原因は、LENGTH 変数への参照として使用する 変数名のスペルミスです。 変数は数字 (N、I、B、または P) フォーマットで、かつ (小数ではなく) 整数である必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0178: EXAMINE ステートメントの **INDEX** フィールドにエラーがあります。

テキスト	EXAMINE ステートメントの INDEX フィールドにエラーがあります。
説明	考えられる原因は、INDEX 変数への参照として使用する 変数名のスペルミスです。 変数は、数字フォーマット (N、I、B、または P) で、かつ 小数ではなく整数である必要があります。 INDEX 変数の数は、検査される配列内の次元数と 等しくなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0179: EXAMINE ステートメントの **GIVING** 節のキーワードが正しくありません。

テキスト	EXAMINE ステートメントの GIVING 節のキーワードが正しくありません。
説明	GIVING の後には次のキーワードを指定できます。 NUMBER POSITION LENGTH INDEX キーワードを複数指定する場合、 上記の順で指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0180: INPUT ステートメントの '**WITH**' の後に '**TEXT**' がありません。

テキスト	INPUT ステートメントの 'WITH' の後に 'TEXT' がありません。
説明	WITH TEXT 節にはキーワード 'TEXT' を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0181: WITH TEXT 節に変数の指定エラーがあります。

テキスト	WITH TEXT 節に変数の指定エラーがあります。
説明	詳細については、Natural ドキュメントの INPUT または REINPUT ステートメントに関する説明を参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0182: WITH TEXT 節のパラメータリストが正しくありません。

テキスト	WITH TEXT 節のパラメータリストが正しくありません。
説明	詳細については、Natural ドキュメントの INPUT または REINPUT ステートメントに関する説明を参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0183: WITH TEXT 節で **10** 個以上のパラメータを指定してはいけません。

テキスト	WITH TEXT 節で 10 個以上のパラメータを指定しないでください。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0184: MARK 節の変数に指定エラーがあります。

テキスト	MARK 節の変数に指定エラーがあります。
説明	変数は整数の数字フォーマットで、 事前に定義する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0185: AND または '**SOUND**' の後には '**ALARM**' を指定する必要があります

テキスト	AND または 'SOUND' の後には 'ALARM' を指定する必要があります
説明	キーワード 'ALARM' は、 ALARM オプションを識別するための必須キーワードです。 キーワード 'AND' および 'SOUND' は省略できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0186: キーワード **DO** と **DOEND** はストラクチャードモードでは指定できません。

テキスト	キーワード DO と DOEND はストラクチャードモードでは指定できません。
説明	DO/DOEND ステートメントをストラクチャードモードで 使用しようとしましたが、 DO/DOEND ステートメントは レポーティングモードでのみ使用できます。 ストラクチャードモードではステートメント群の終了を示す 'END-XXXX' を使用する必要があります。 AT BREAK DO...DOEND → AT BREAK...END-BREAK AT END OF DATA DO...DOEND → AT END OF DATA...END-ENDDATA AT END OF PAGE DO...DOEND → AT END OF PAGE...END-ENDPAGE AT START OF DATA DO...DOEND → AT START OF DATA...END-START AT TOP OF PAGE DO...DOEND → AT TOP OF PAGE...END-TOPPAGE IF...DO..DOEND ELSE DO...DOEND → IF...THEN...ELSE...END-IF ON ERROR DO...DOEND → ON ERROR...END-ERROR BEFORE BREAK DO...DOEND → BEFORE BREAK...END-BEFORE PERFORM BREAK DO...DOEND → PERFORM BREAK...END-BREAK
対処	レポーティングモードを選択してください。または構文を修正してください。

NAT0187: ストラクチャードモードで **LOOP** ステートメントを使用してはいけません。

テキスト	ストラクチャードモードで LOOP ステートメントを使用しないでください。
説明	LOOP ステートメントはレポーティングモードでのみ使用できます。 ストラクチャードモードでは、LOOP ステートメントの代わりに 明確化された終了構文 'END-XXXX' を使用する必要があります。 例：FIND LOOP → FIND END-FIND
対処	- レポーティングモードを選択してください、または - 構文を修正してください。

NAT0188: ストラクチャードモードでは、**END-ALL** を指定せずに **SORT** を使えません。

テキスト	ストラクチャードモードでは、END-ALL を指定せずに SORT を使えません。
説明	ストラクチャードモードでは SORT ステートメント以前に開始された処理ループは END-ALL ステートメントで閉じる必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0189: END-ALL と **SORT** はストラクチャードモードでのみ指定できます。

テキスト	END-ALL と SORT はストラクチャードモードでのみ指定できます。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0190: UNTIL または **WHILE** 節の指定位置が正しくありません。

テキスト	UNTIL または WHILE 節の指定位置が正しくありません。
説明	UNTIL/WHILE は、 キーワード 'REPEAT' の直後に指定する、または 'END-REPEAT' の直前に指定する必要があります。 例： 1.1. REPEAT UNTIL 論理条件 ステートメント END-REPEAT 2.2. REPEAT ステートメント UNTIL 論理条件 END-REPEAT

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0191: UNTIL/WHILE の後にループ終了ステートメントがありません。

テキスト	UNTIL/WHILE の後にループ終了ステートメントがありません。
説明	REPEAT…UNTIL/WHILE ステートメントは、 ストラクチャードモードでは 'END-REPEAT'、 レポーティングモードでは 'LOOP' ステートメントで それぞれ処理ループを閉じる必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0192: ESCAPE ステートメントの行き先を指定していません。

テキスト	ESCAPE ステートメントの行き先を指定していません。
説明	ESCAPE ステートメントでは、 行き先を指定するためのキーワードが必要です。 - ESCAPE TOP - ESCAPE BOTTOM [IMMEDIATE] - ESCAPE ROUTINE [IMMEDIATE] 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0193: DECIDE ステートメントに '**ON**' または '**FOR**' がありません。

テキスト	DECIDE ステートメントに 'ON' または 'FOR' がありません。
説明	キーワード 'DECIDE' の後には、'ON' または 'FOR' を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0194: DECIDE FOR ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	DECIDE FOR ステートメントの構文が正しくありません。

説明	DECIDE FOR ステートメントの正しい構文については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0195: 指定フィールドは配列指定であってはいけません。

テキスト	指定フィールドは配列指定であってはいけません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0196: GIVING INDEX は配列変数にのみ指定できます。

テキスト	GIVING INDEX は配列変数にのみ指定できます。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0197: 当変数フォーマットは、このステートメント内で指定してはいけません。

テキスト	当変数フォーマットは、このステートメント内で指定しないでください。
説明	1. 1. フォーマット 'C' の変数は、DISPLAY、WRITE、INPUT、PRINT、STACK、RUN、および FETCH ステートメント内で使用できません。 2.2. フォーマット HANDLE OF OBJECT の変数は、このステートメント内で使用することができません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0198: CALL ステートメントで指定できるパラメータは最大 **128** 個です。

テキスト	CALL ステートメントで指定できるパラメータは最大 128 個です。
説明	CALL ステートメントのパラメータの最大数は、128 個です。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0199: ラベルは、ビュー／レベル **1** の変数名と同じ、または重複して定義されています。

テキスト	ラベルは、ビュー / レベル 1 の変数名と同じ、または重複して定義されています。
説明	Natural モジュール内では、ラベルは、別のラベル、 ビュー名またはレベル 1 で定義された変数名と同じではいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0200: INCLUDE ソース行にエラーがあります。

テキスト	INCLUDE ソース行にエラーがあります。
説明	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの INCLUDE ステートメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

6 Natural システムエラーメッセージ 0201～0250

NAT0207: DEFINE DATA PARAMETER でグループの再定義はできません。

テキスト	DEFINE DATA PARAMETER でグループの再定義はできません。
説明	DEFINE DATA PARAMETER ステートメントでは エレメンタリフィールドしか定義できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0214: DECIDE ステートメントでは、'**FIRST**' または '**EVERY**' を指定する必要があります。

テキスト	DECIDE ステートメントでは、'FIRST' または 'EVERY' を指定する必要があります。
説明	詳細については、Natural ステートメントドキュメントの DECIDE ステートメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0215: DECIDE ON ステートメントに **VALUE**（または **VALUES**）がありません。

テキスト	DECIDE ON ステートメントにキーワード 'VALUE'(または 'VALUES') がありません。
説明	DECIDE ON では、キーワード 'VALUE'(または 'VALUES') を 指定する必要があります。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0216: DECIDE ON ステートメントのフィールド指定が正しくありません。

テキスト	DECIDE ON ステートメントのフィールド指定が正しくありません。
説明	DECIDE ON ステートメントのフィールド指定の詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0218: DECIDE ON/DECIDE FOR ステートメントに構造上の誤りがあります。

テキスト	DECIDE ON/DECIDE FOR ステートメントに構造上の誤りがあります。
説明	DECIDE ON/DECCIDE FOR ステートメントの構文の詳細については、Natural ステートメントドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0219: DECIDE FOR/ON EVERY でのみ **ALL** 節を指定できます。

テキスト	DECIDE FOR/ON EVERY でのみ ALL 節を指定できます。
説明	ALL 節は、DECIDE FOR EVERY および DECIDE ON EVERY でのみ使用できます。DECIDE FOR FIRST や DECIDE ON FIRST には指定できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0220: ステートメント **:1:** が無効です。

テキスト	無効なステートメント :
説明	考えられる理由は、次のとおりです。 1.1. プログラミングモード (ストラクチャード / レポーティング モード) に応じたキーワード指定がありません (例 : 'COMPUTE' と 'ASSIGN' はストラクチャードモードで ROUNDED を使うときに省略しないでください)。 2.2. ステートメントが、このオブジェクトタイプに適切ではありません (例 : DEFINE SUBROUTINE は、ファンクションタイプの オブジェクトの最初のステートメントであってはいけません)。 3.3. いくつかのステートメントを禁止する、互換性スイッチが 設定されています (例 : プロファイルパラメータ V41MFCOMP)。

対処	1. 1. 不足しているキーワードを追加してください。 2.2. オブジェクトタイプまたはステートメントを変更してください。 3.3. 互換性スイッチを OFF にしてください。

NAT0222: 構文エラーのため、プログラムの実行ができなくなりました。

テキスト	構文エラーのため、プログラムを実行できなくなりました。
説明	バッチモードでは、Natural はエラーが検出された後でも 常に、プログラムの構文チェックを続けています。 プログラムに構文エラーがある場合、 コンパイルされたコードがソース入力と一致しないため そのプログラムは実行できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0223: USING の後にキーワード '**MAP**' または '**FORM**' を指定する必要があります。

テキスト	USING の後にキーワード 'MAP' または 'FORM' を指定する必要があります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0224: WRITE で **INPUT MAP** が指定された、または **INPUT** で **WRITE MAP** が指定されました。

テキスト	WRITE で INPUT MAP が指定された、または INPUT で WRITE MAP が指定されました。
説明	WRITE USING MAP ステートメントで指定した MAP 名が 出力 MAP でなく入力 MAP でした。または INPUT USING MAP ステートメントで指定した MAP 名が 入力 MAP でなく出力 MAP でした。 MAP が入力 MAP であるか、または出力 (WRITE) MAP であるかは、 その MAP 設定で指定されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0225: GIVING LENGTH は非配列変数にのみ有効です。

テキスト	GIVING LENGTH は非配列変数にのみ有効です。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0226: ステートメントのないブロックは認められません。

テキスト	ステートメントのないブロックは認められません。
説明	ステートメントのないブロックには IGNORE ステートメントを指定する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0227: DELIMITER 節で正しくない変数／定数が指定されました。

テキスト	DELIMITER 節で正しくない変数 / 定数が指定されました。
説明	COMPRESS ステートメントの受け取りフィールドが、 - 英数字またはバイナリである場合、デリミタフォーマットは A1、B1、または U1 である必要があります。 - Unicode の場合、デリミタフォーマットは A1、B2、または U1 である必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0228: WITH 節に **GDA** のブロック構造を指定しなければなりません。

テキスト	WITH 節に GDA のブロック構造を指定する必要があります。
説明	この GDA にはブロック構造が定義されています。 ブロック構造は、DEFINE DATA GLOBAL USING の WITH 節で指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0229: UPDATE/STORE ステートメントの **WITH** 節に誤りがあります。

テキスト	UPDATE/STORE ステートメントの WITH 節に誤りがあります。
説明	UPDATE/STORE ステートメントが DEFINE DATA、またはデータエリア内で定義された ビューを基準にする場合、WITH 節を使用しないでください。 UPDATE/STORE ステートメントを ビューに適用すると、 常に全フィールドが含まれます。
対処	UPDATE/STORE ステートメントから WITH 節を取り除いてください。

NAT0230: オペランドタイプはサポートされていません。

テキスト	オペランドタイプはサポートされていません。
説明	- HANDLE または UNICODE、 - 英数字 / バイナリ DYNAMIC、 - 253 バイトを超える長さの英数字、 - または、126 バイトを超える長さのバイナリ、 として定義されたオペランドは、 この位置ではサポートされていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0231: ここでは **NSD** リンケージ属性のみ指定できます。

テキスト	ここでは NSD リンケージ属性のみ指定できます。
説明	NSD 属性はビューに関連する要素です。 FIND ステートメントでは、REFERENCED、REFERENCING、 または RECURSIVELY 節のキーワード 'VIA' の後に 属性名が必要です。 SHOW ステートメントでは、次のような SHOW または SHOW RECURSIVELY の後に カッコ内の属性が必要です。 SHOW ATTR1(ATTR2(ATTR3))
対処	L F 〈ビュー名〉 で指定されたビュー内に属性があることをチェックし、 ソースを対応するように修正してください。

NAT0232: この位置では **DYNAMIC** タイプのオペランドは許されません。

テキスト	この位置では DYNAMIC タイプのオペランドは許されません。
説明	DYNAMIC として定義された英数字またはバイナリのオペランドは この位置では使用できません。
対処	DYNAMIC フィールドを固定長のフィールドに置き換えてください。

NAT0233: レベル番号は整数です。

テキスト	レベル番号は整数です。
説明	FIND ステートメントの実行が行われる再帰レベルが原因です。 レベル番号は整数である必要があります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの UNTIL 節を参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0234: 'ERE SET' はカテゴリ名で始まらなければなりません。

テキスト	'ERE SET' はカテゴリ名で始まらなければなりません。
説明	FIND ステートメントでは、Entire ビューの FIND ヘッダーの後で 構文ロジックが 'ERE SET' の部分が検索されます。 'ERE SET' はビュー名で始まり、検索条件で終わります。 検索条件は、Natural キーワードまたは次の 'ERE SET' のビュー名が 出現すると終了します いずれ条件も満たされない場合は、構文の解析ができないため、 このエラーが発生します。
対処	プログラムのエラーを修正してください。

NAT0235: ISN は整数値でなければなりません。

テキスト	ISN は整数値でなければなりません。

説明	FIND ステートメントでは、 基本検索条件の RELATIONSHIP または ISN 節の ISN の値は、 整数値でなければなりません。 検索される ISN は数値ですが、整数値ではありません。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの RELATIONSHIP 節および ISN 節を参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0236: Entire キーワードの後に等号 '=' がありません。

テキスト	Entire キーワードの後に等号 '=' がありません。
説明	このエラーは次のような Entire ステートメントで発生します。 1) FIND ビュー名 WITH ISN = 12335 FIND ステートメントの 基本検索条件の ISN 節には等号が必要です。 2) DLOGON USER = 'XXX' PASSWORD = 'YYY' LIBRARY = 'LLL' APPLICATION = 'AER' AUTHORIZATION = A 上記の DLOGON ステートメントの構文では、 等号を各キーワードの後に指定する必要があります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントおよび DLOGON ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0237: 右カッコが一致しません。

テキスト	右カッコが一致しません。
説明	Entire DB では、左カッコが、それぞれ対応する右カッコと 対になっているかどうかがチェックされます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0238: ディスクリプタ検索条件の演算子が正しくありません。

テキスト	ディスクリプタ検索条件の演算子が正しくありません。

説明	FIND ステートメントでは、次に示す演算子がディスクリプタ検索条件で有効です。 = （等しい） <> （等しくない） < （より小さい） <= （以下） > （より大きい） >= （以上） ディスクリプタ検索条件（WITH に続く）では、 上記の演算子だけを属性（NAME または LINE-NUMBER）の後に 指定できます。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの説明を参照してください。
対処	ディスクリプタ検索条件を修正してください。

NAT0239: Entire に対する **MOVE** 値は整数値です。

テキスト	Entire に対する MOVE 値は整数値です。
説明	MOVE 値はランタイムに Entire コールのサーチバッファに転送される 定数または変数でなければなりません。 このメッセージが出力された場合、数値として 整数、あるいは 小数桁のないアンパックまたはパック10進数 を要求しています。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0240: オペランドのフォーマットが正しくありません。 フォーマット **:1:** が必要です。

テキスト	オペランドのフォーマットが正しくありません。 フォーマット ... が必要です。
説明	オペランドのフォーマットが正しくありません。 正しいフォーマットの詳細については、該当するステートメントのオペランド定義テーブル を参照してください。
対処	正しいオペランドフォーマットを指定してください。

NAT0242: 左カッコ '**(**' が必要です。

テキスト	左カッコ '(' が必要です。
説明	Entire DB では、FIND ステートメントの NATIVE および RELATIONSHIP の左カッコがチェックされます。 節の工レメントはカッコで囲まれている必要があります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0243: DEFINE DATA ステートメント／構造内で構文エラーが発見されました。

テキスト	DEFINE DATA ステートメント / 構造内で構文エラーが発見されました。
説明	DEFINE DATA ステートメントの正しい構文については Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0244: '**GLOBAL**' の後には、'**USING**' と **GDA** 名が必要です。

テキスト	'GLOBAL' の後には、'USING' と GDA 名が必要です。

説明	グローバルデータエリア (GDA) は独立したオブジェクトであり、
	プログラムの DEFINE DATA ステートメント内でデータを定義することはできません。
	GDA は次の構文のように
	DEFINE DATA ステートメントの GLOBAL 節で参照されます。
	`DEFINE DATA`
	`GLOBAL USING GDA 名`
	`...`
	`END-DEFINE`

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0245: DEFINE DATA ステートメントの節の指定／順序が正しくありません。

テキスト	DEFINE DATA ステートメントの節の指定 / 順序が正しくありません。
説明	DEFINE DATA ステートメントの節の指定順序は次のとおりです。 DEFINE DATA GLOBAL USING PARAMETER OBJECT LOCAL この後には、DEFINE DATA LOCAL のみを指定できます。
対処	各節の順序をチェックして、修正してください。

NAT0246: ここではフォーマット **'C'**、**'L'**、**HANDLE OF OBJECT** は使用できません。

テキスト	ここではフォーマット 'C'、'L'、および HANDLE OF OBJECT は使用できません。
説明	次のステートメントでは、データタイプ 'C'（属性制御）と 'L'（論理）は使用できません。 - GET TRANSACTION DATA ステートメント - END TRANSACTION ステートメント - SORT ステートメントのソート条件 次のステートメントでは、データタイプ HANDLE OF OBJECT は 使用できません。 - GET TRANSACTION DATA ステートメント - END TRANSACTION ステートメント - SORT ステートメント
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0247: パラメータ **:1:** の処理中にエラーが発生しました。

テキスト	パラメータ ... の処理中にエラーが発生しました。
説明	INPUT/WRITE USING MAP または PROCESS PAGE USING ステートメントを、 パラメータを明示的に指定せずに一定のマップまたはアダプタ名とともに使用すると、 処理されるフィールド名は、コンパイル時にマップまたはアダプタのソースから ダイナミックに取得されます。 この場合、同じ配列構造を持つ同じフィールド名が、 プログラムとマップ / アダプタの両方で定義されている必要があります。 指定された変数名が定義されていないか、または 配列の次元の数が一致しません。

対処	指定されたデータフィールドをチェックしてください。 プログラムでの変数の定義は、マップまたはアダプタと同じである必要があります。

NAT0248: PROCESS ステートメントで **USING** 変数が正しくありません。

テキスト	PROCESS ステートメントで USING 変数が正しくありません。
説明	PROCESS ステートメントの USING 節の ASSIGN 変数の左辺は、Natural PROCESS に定義したビューの一部でなければいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0249: Natural PROCESS の **USING** 節の '**ASSIGN**' にエラーがあります。

テキスト	Natural PROCESS の 'USING' 節の 'ASSIGN' にエラーがあります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0250: Natural PROCESS ステートメントの **GIVING** 節にエラーがあります。

テキスト	Natural 'PROCESS' ステートメントの GIVING 節にエラーがあります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

7 Natural システムエラーメッセージ 0251～0300

NAT0251: PROCESS ステートメントにファイル／**DDM** が定義されていません。

テキスト	PROCESS ステートメントにファイル / DDM が定義されていません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0252: セキュリティ環境ではライブラリを指定できません。

テキスト	セキュリティ環境ではライブラリを指定できません。
説明	Natural Security で保護された環境では ライブラリを指定できません。
対処	ライブラリを指定しないでください。

NAT0253: ステートメントが **DB2** アクセスでは使用できません。

テキスト	ステートメントが DB2 アクセスでは使用できません。
説明	次のステートメントまたは構文は DB2 ではサポートされていません。 1. 1. FIND UNIQUE 2. 2. FIND COUPLED 3. 3. FIND FIRST 4. 4. FIND... RETAIN AS 5. 5. GET 6. 6. *ISN の参照 7. 7. DB ループ内での END TRANSACTION 8. 8. DB ループ内での BACKOUT TRANSACTION

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0254: VAL 関数の受け取りフィールドのフォーマットが正しくありません。

テキスト	VAL 関数の受け取りフィールドのフォーマットが正しくありません。
説明	フォーマットおよび長さは相手先と同じでなければいけません。 この算術関数は英数字フィールドから数値を抽出します。 英数字フィールドの内容は数値の文字表示でなければいけません。 先頭または末尾の空白は許可されています。 小数点および先行符号文字は処理されます。
対処	フォーマット A (英数字) または B (バイナリ) を 使用しないでください。

NAT0255: プログラム内で一般的な構文エラーが見つかりました。

テキスト	プログラム内で一般的な構文エラーが見つかりました。
説明	ソースプログラムの構文チェック中に 一般的な構文エラーが検出されました。 このエラーに対しては特定のエラーメッセージがないので このメッセージが出力されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0256: コマンド行に正しくないエントリが指定されました。

テキスト	コマンド行に正しくないエントリが指定されました。
説明	このコマンドでは、 コマンド行に指定されたパラメータは必要ありません。 Natural は、指定されたパラメータが 個々のコマンドの要求するパラメータ構造と一致するかどうかをチェックします。 このエラーのその他の理由としては、 バッチモードで ADHOC がないことが考えられます。
対処	コマンド構成をチェックし、再実行してください。

NAT0257: MASK/SCAN では **EQUAL** または **NOT EQUAL** 関係演算子だけを指定できます。

テキスト	MASK/SCAN では 'EQUAL' または 'NOT EQUAL' 関係演算子だけを指定できます。
説明	ある桁だけを比較する場合、値を より大きい (GREATER THAN) またはより小さい (LESS THAN) という 演算子で評価することはできません。 比較関数 MASK および SCAN で使用できる論理演算子は、 'EQUAL' または 'NOT EQUAL' だけです。
対処	MASK および SCAN では、使用する演算子が 'EQUAL' または 'NOT EQUAL' のみとなるように 論理条件をもう一度指定してください。

NAT0258: MASK の引数の指定が正しくありません。

テキスト	MASK の引数の指定が正しくありません。
説明	MASK 値はカッコで囲まなくてはなりません。 指定できる項目の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。 エラーメッセージ NAT0017 も参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0259: MASK の日付チェックの指定が正しくありません。

テキスト	MASK の日付チェックの指定が正しくありません。
説明	日付チェックをする場合、 月 / 日 / 年はそれぞれ 2 桁 (DD/MM/YY) で指定してください。 年については、4 桁 (YYYY) で指定することもできます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0260: テキストリストの構成が正しくありません。

テキスト	テキストリストの構成が正しくありません。

説明	テキストリストと構文リストのいずれか一方のエントリ数に 矛盾が見つかりました。 このエラーは、テキストリストの不正な修正を行ったために起きたものです。 新しいエントリをテキストリストに追加する場合は、 マクロ CALT ではなく、マクロ CSYN を使用する必要があります。
対処	エラーが起こったキーワードを確認して、 Natural 管理者に連絡してください。

NAT0261: END ステートメントがありません。

テキスト	END ステートメントがありません。
説明	Natural プログラムの最後には END ステートメントが必要です。 または、ピリオド '.' が必要です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0262: 桁数が正しくない、または値が範囲外です。

テキスト	桁数が正しくない、または値が範囲外です。
説明	フォーマットが N または P のフィールドの場合、 全体の最大桁数は 29 で、小数部の最大桁数は 7 です。 フォーマット F のフィールドに指定される値は、 Natural ドキュメントの「浮動小数点定数」に 記述されている値の範囲内でなければいけません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0263: 範囲チェックの **MASK** 指定が正しくありません。

テキスト	範囲チェックの MASK 指定が正しくありません。
説明	範囲チェックをする場合、範囲を指定する 2 つの値は、 同じ桁数でなければなりません。 値の位置、および範囲値の桁数をチェックするために、 先行のゼロが必要です。 また範囲チェックを行う桁数も指定する必要があります。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0264: 英数字定数または **Unicode** 定数の長さがゼロです。

テキスト	英数字定数または Unicode 定数の長さがゼロです。
説明	英数字定数または Unicode 定数の長さは、 ゼロより大きい必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0265: 16 進定数 **:1:** でエラーが発生しました。

テキスト	16 進定数 ... でエラーが発生しました。
説明	1) 正しくない 16 進数文字が見つかりました。 16 進定数は、文字 0~9 または A~F のみで構成されている必要があります。 2) 正しくない文字数が指定されました。 - フォーマット A(H'..') の 16 進定数では、 1 バイトを表すのに 2 文字が必要となります。 したがって、指定する 16 進数文字の数は 2 の倍数である必要があります。 - フォーマット U(UH'..') の 16 進定数では、 1 つの Unicode コード単位を表すのに 4 文字が必要となります。 したがって、指定する 16 進数文字の数は 4 の倍数である必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT0266: 16 進定数で定義されたバイト数が **80** を超えました。

テキスト	16 進定数で定義されたバイト数が 80 を超えました。
説明	16 進定数は、80 バイトの中間バッファで内部バイト表示に変換されます。 内部表示で 80 バイトより大きい文字定数を定義する場合は、 'XXXXXX'-'XXXXXX' 表記を使用して、 複数の部分の値をつないで定義してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0267: COUPLED 節のファイル指定が正しくありません。

テキスト	COUPLED 節のファイル指定が正しくありません。
説明	COUPLED 節で指定するファイルは、 Adabas ユーティリティプログラムを使って 物理的にカップリングされた Adabas ファイルでなければなりません。 ファイルは論理 Natural システムファイルであってはいけません。
対処	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。または - ファイルのステータスについて Natural 管理者に問い合わせてください。

NAT0268: データベースカウント変数のフォーマット／長さが正しくありません。

テキスト	データベースカウント変数のフォーマット / 長さが正しくありません。
説明	ピリオディックグループ名またはマルチプルバリューフィールドに 対するカウント変数のフォーマットは、 N または P でなければいけません。 小数は指定できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0269: SORTED BY 節のディスクリプタが正しくありません。

テキスト	SORTED BY 節のディスクリプタが正しくありません。
説明	SORTED BY 節で指定するディスクリプタは ピリオディックグループ内にあってはいけません。 ディスクリプタがマルチプルバリューフィールドの場合、 添字指定は使用できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0270: 変数添字の使用が正しくありません。

テキスト	変数添字の使用が正しくありません。

説明	1. FIND ステートメントの WITH 節の検索変数に 変数の添字を使用することは許可されていません。 2.再定義フィールドには変数添字配列 (1:V) を使用しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0271: DISPLAY ステートメントでページ幅（行サイズ）を超えました。

テキスト	DISPLAY ステートメントでページ幅 (行サイズ) を超えました。
説明	DISPLAY ステートメントで出力されるすべての桁に必要な桁数の合計は、 論理ページサイズを超えてはいけません。
対処	- 表示するフィールドの個数を減らしてください。または - フィールド間の空白を減らしてください。または - 可能であれば論理ページサイズを増やしてください。または - マルチプルバリューを同一欄に縦に出力してください。

NAT0272: フォーマットが正しくない、またはフォーマットが矛盾しています。

テキスト	フォーマットが正しくない、またはフォーマットが矛盾しています。
説明	SCAN 条件では、 - スキャンする値のフォーマットは、'A'、'B'、または 'U' である必要があります。 - フィールドのフォーマットは、'A'、'N'、'P'、または 'U' である必要があります。 - 値の長さはフィールドの長さを超えてはいけません。 MASK 条件では、 - テストするフィールドのフォーマットは、'A'、'N'、'P'、または 'U' である必要があります。 - 1 番目と 2 番目のオペランドのフォーマットの組み合わせには互換性が必要です。 - 1 番目のオペランドが MASK より小さくてはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0273: 処理 **:4:** におけるデータエリア **:3:** の行 **:2:** でのエラー **:1:**。

テキスト	処理 ... におけるデータエリア ... の行 ... でのエラー ...。
説明	エラーメッセージで示されたように、 変数の処理中にデータエリアのある行で エラーが発生しました。

対処	データエリアのエラーを修正します。

NAT0274: 処理 **:4:** におけるコピーコード **:3:** の行 **:2:** でのエラー **:1:**。

テキスト	処理 ... におけるコピーコード ... の行 ... でのエラー ...。
説明	エラーメッセージで示されたように、 変数の処理中にコピーコードのある行でエラーが発生しました。
対処	コピーコードのエラーを修正してください。

NAT0275: RETRY ステートメントは、**ON ERROR** ステートメントブロック内でのみ指定できます。

テキスト	RETRY ステートメントは、ON ERROR ステートメントブロック内でのみ指定できます。
説明	RETRY ステートメントは、エラー NAT3145 に対してのみ使用できます。 NAT3145 は、更新のために読み込もうとしたレコードが、 他のユーザーによって 'ホールド' されていることを示します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0276: PE グループのフィールドカウントの参照が正しくありません。

テキスト	ピリオディックグループのフィールドカウントの参照が正しくありません。
説明	ピリオディックグループのエレメンタリフィールドのオカレンス数の参照は、 エレメンタリフィールド名ではなく、 ピリオディックグループ名を使用する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0277: 他の変数をグローバル変数に再定義してはいけません。

テキスト	他の変数をグローバル変数に再定義しないでください。
説明	アドレス可能にするために、パラメータ変数を、 すでに存在している変数を再定義することによって 定義しないでください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0278: SET CONTROL で使用する値のフォーマットは '**A**' でなければいけません。

テキスト	SET CONTROL で使用する値のフォーマットは 'A' でなければいけません。
説明	SET CONTROL ステートメントで 端末コマンドを指定するために使用する値 (定数または変数) は 英数字でなければいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0279: 非配列フィールドに対してカウントが要求されました。

テキスト	非配列フィールドに対してカウントが要求されました。
説明	カウントフィールドは、マルチプルバリューフィールド、 ピリオディックグループ、または ピリオディックグループ内のマルチプルバリューフィールドとして 定義されたデータベースフィールドに対してのみ存在します。 ピリオディックグループ内のマルチプルバリューフィールドの カウントを参照するには、 カウントを要求しているピリオディックグループのマルチプルバリューフィールドのオカレンスを指示するために 添字を指定する必要があります。 ユーザーがオカレンスのカウントを要求したフィールドは、 マルチプルバリューフィールドでも ピリオディックグループでもありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0280: フィールド添字エントリが正しく指定されていません。

テキスト	フィールド添字エントリが正しく指定されていません。
説明	添字指定が許されていない変数に対して添字が指定されています。 添字指定は、配列の定義 / 参照にのみ使用できます。 データベース配列は、マルチプルバリューフィールドと、 ピリオディックグループ内のフィールド群にのみ定義できます。 配列を参照する際に、 その次元の 1 つに対して定義された添字範囲を超える 添字範囲の指定が見つかりました。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0281: 配列に対する添字エントリがない、または正しくありません。

テキスト	配列に対する添字エントリがない、または正しくありません。
説明	マルチプルバリューフィールド、または ピリオディックグループ内のフィールドを参照する場合は、 選択する値のオカレンスを示すために 添字を指定する必要があります。 WRITE/DISPLAY ステートメントでは、 デフォルトの添字をセッションパラメータ MC および PC で指定できます。 変数添字として使用する変数は、 添字記号として使用する前に定義されていなければなりません。 非データベースフィールドを配列として定義する場合、 そのフィールドを参照するときは、 各次元の添字を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0282: 1 つの添字／添字の範囲だけが使用できます。

テキスト	1 つの添字 / 添字の範囲だけが使用できます。
説明	マルチプルバリューフィールド、または ピリオディックグループ内のフィールドでは、 1 つの添字または添字の範囲しか指定できません。 2 つの添字を指定できるのは、ピリオディックグループ内の マルチプルバリューフィールドだけです。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0283: フィールド、または変数が複数回定義されています。

テキスト	フィールド、または変数が複数回定義されています。
説明	変数、またはデータベースフィールドのフォーマットと長さは、 1 度しか定義できません。 変数がプログラム内で 1 度参照されると、 フォーマットと長さの追加定義はできません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0285: フィールド参照エラーです。

テキスト	フィールド参照エラーです。
説明	この エラーの考えられる原因は次のとおりです。 - 変数名を誤って入力した。 - 定義されていない変数名である。 - 特定のデータベース参照が指定されたが、 フィールドは参照されたファイルに存在しない。 - Natural システム関数の値は、 *FUNCTION(FIELD) 形式で参照するが、 参照したシステム関数の評価がそのフィールドに対して 行われていない。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0286: ファンクション、システム関数、システム変数の使用が 無効です。

テキスト	ファンクション、システム関数、システム変数の使用が 無効です。
説明	- Natural システム関数および Natural システム変数は、 Natural プログラム内の特定ステートメント構文でのみ使用可能です。 - システム関数またはシステム変数の値は、変数に割り当てた後に 参照可能となります。 - INPUT ステートメントでは、ほとんどのシステム関数は 出力フィールドとしてのみ使用可能で、 入力フィールドとして使用することはできません。 - システム関数 POS の引数として使用できるシステム変数は *COM だけです。 - Natural ファンクションコールは、このコンテキストでは使用できません。 Natural ファンクション、Natural システム関数、 または、Natural システム変数については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0287: DB フィールドにアクセスできない、または **REDEFINE** 変数が存在しています。

テキスト	DB フィールドにアクセスできない、または REDEFINE 変数が存在しています。

説明	- この位置で、データベースフィールドにアクセスできません。または - REDEFINE ステートメントで使用した変数がすでに定義されています。 データベースフィールドは、アクティブな処理ループ内でのみ 参照できます。 LOOP ステートメントでループを閉じた後は、 そのデータベースのフィールド参照はできません。 アクティブな処理ループの外で データベースフィールドの値を使う場合は、 ユーザー定義変数に値を割り当ててください。 4 桁の配列オカレンスが誤って指定された場合にも このエラーが発生します。 4 桁の配列オカレンスは '/' の後に指定する必要があります。 例：#ARRAY(/1000) 正 #ARRAY(1000) 誤
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0288: Natural システム関数では添字／フォーマットは使用できません。

テキスト	Natural システム関数では添字 / フォーマットは使用できません。
説明	以前に評価された Natural システム関数の参照、または Natural システム変数の参照に対して 長さやフォーマットを指定しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0289: 参照されたフィールドがディスクリプタではありません。

テキスト	参照されたフィールドがディスクリプタではありません。
説明	データベースフィールドを参照するには、 フィールドがディスクリプタである必要があります。 READ LOGICAL ステートメントのシーケンスフィールドとして、または HISTOGRAM ステートメントで値を読むためのフィールドを示すとき、 FIND ステートメントの WITH 節に ディスクリプタを指定する必要があります。 Adabas バージョン 5 では、 '非ディスクプリタ' として DDM でマークされたフィールドが、 READ または HISTOGRAM ステートメントの検索変数に 使用された場合にもこのエラーが発生します。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0290:サブ／スーパー／ハイパー／フォネティックディスクリプタフィールドが不当に使われました。

テキスト	サブ / スーパー / ハイパー / フォネティックディスクリプタフィールドが不当に使われました。
説明	サブ / スーパーフィールドまたはサブ / スーパーディスクリプタは、 アクセスステートメント (READ、FIND、HISTOGRAM、GET) を使用してデータベースから読み込むことができますが、 更新ステートメント (STORE、UPDATE) で参照することはできません。 ハイパーおよびフォネティックディスクリプタの値は、 検索条件にのみ使用することができ、データベースから読み込むことはできません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0291: データベースフィールドのフォーマットが矛盾しています。

テキスト	データベースフィールドのフォーマットが矛盾しています。
説明	データベースフィールドのフォーマットが データディクショナリに定義されているフォーマットと矛盾しています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0292: 要求されたフィールドが整数ではないか、長さが無効です。

テキスト	要求されたフィールドが整数ではないか、長さが無効です。
説明	処理は整数フィールドの値を要求しています。 これには、整数定数、または整数フォーマットのユーザー定義変数やデータベースフィールドが可能です。 このエラーは次の場合に発生します。 - フィールドのフォーマットが整数ではない。 - フィールドの長さが無効である。
対処	整数フォーマット / 有効な長さのオペランドを使用してください。

NAT0293: 単一の添字しか使えないところで、添字範囲が指定されています。

テキスト	単一の添字しか使えないところで、添字範囲が指定されています。
説明	このタイプの機能では単一の添字を必要としており、 添字の範囲は指定できません。 例えば、ピリオディックグループフィールドの特定のオカレンスを 指定するため、または READ LOGICAL ステートメントで ディスクリプタを指定するために、 FIND ステートメントの WITH 節に、単一の添字が必要になります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0294: 算術演算ステートメントで中間ストレージがオーバーフローしました。

テキスト	算術演算ステートメントで中間ストレージがオーバーフローしました。
説明	算術演算処理の評価中に内部スタックのオーバーフローが起こりました。 内部スタックは、算術演算処理で 最も内側のカッコから順番に処理するために使われます。
対処	1 つの算術演算内で実行される演算の数を減らしてください。

NAT0295: 算術演算オペランドが数字ではありません。

テキスト	算術演算オペランドが数字ではありません。
説明	算術演算では、'N'(アンパック型数値)または 'P'(パック型数値)フォーマットのオペランド だけを指定できます。 数値オペランドは、数値定数、または数値変数の内容で定義できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0296: FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。

テキスト	FIND ステートメントの検索条件が正しくありません。
説明	OR 論理演算子を伴うような複合検索条件を評価する場合、 複数のデータベースコールが必要になります。 1 つの FIND ステートメントについて 内部的に生成できるデータベースコールの数は 64 個までです。

対処	ステートメント内の検索条件の数を減らしてください。

NAT0297: Field :1: previously defined in (:2:/:3:/:4:/:5:).

テキスト	Field :1: previously defined in (:2:/:3:/:4:/:5:).
説明	The variable :1: was declared twice. The first definition of the fieldwas ↩ included via data area :2:, which was loaded from library :3:,database :4:, ↩ file number :5:.
対処	Correct error in program.

NAT0298: SET KEY ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。

テキスト	SET KEY ステートメントに指定されたパラメータが正しくありません。
説明	SET KEY ステートメントにプッシュボタン (PB=) 、メニュー (ME=) 、またはビットマップ (BM=) 節がありますが、 対応するパラメータが正しく指定されていません。
対処	詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。

NAT0299: 中間結果の合計長が、**31** 桁を超えました。

テキスト	中間結果の合計長が、31 桁を超えました。
説明	Natural の算術演算では 31 桁までのオペランドを使用できます。 中間結果のオペランドの長さは、 算術演算の規則に従って評価されます。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	中間結果の桁数が規則に従っているかチェックしてください。 中間結果を使用して、 算術演算をいくつかのステートメントに分けてください。

NAT0300: オペランドはデータの転送に適合していません。

テキスト	オペランドはデータの転送に適合していません。
説明	データ転送のフォーマット規則により、ソースオペランドを目的のフィールドに割り当てることができません。 詳細については、Natural ドキュメントの「演算割り当てのルール」を参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

8 Natural システムエラーメッセージ 0301～0350

NAT0301: 編集マスクが長すぎるか、正しく指定されていません。

テキスト	編集マスクが長すぎるか、正しく指定されていません。
説明	エラーの原因として考えられる理由は次のとおりです。 - 指定した編集マスクに、値を出力させる文字がありません。 （例えば、数値編集マスクに対して 'Z' や '9' が指定されなかった。 英数字編集マスクに対して 'X' が指定されなかった）。 - 数値編集マスクの出力桁数が 31 桁を超えています。 - 編集マスクストリングにより、出力文字数が、最大サイズの 1073741824 文字を超えています。 - 指定した編集マスクストリングが長すぎます。 最大ソース文字は、メインフレームで 80、オープンシステムで 244 です。 - DISPLAY、FORMAT、INPUT、WRITE ステートメントの ステートメントレベルで編集マスクが指定されています。 これらのステートメントレベルでは、 'EM=OFF' だけが指定可能で、特定の編集マスクは指定できません。
対処	編集マスクの指定を修正してください。

NAT0302: WRITE/INPUT ステートメントの項目が **1** 行に入りきりません。

テキスト	WRITE/INPUT ステートメントの項目が 1 行に入りきりません。
説明	WRITE/INPUT ステートメントで指定された項目のサイズが 現在の行サイズを超えています。

対処	- LS パラメータを大きくしてください。または - 項目のサイズを小さくしてください。 （例：REDEFINE ステートメントを使用）。

NAT0303: 縦形出力の項目が多すぎて、ページがオーバーフローしました。

テキスト	縦形出力の項目が多すぎて、ページがオーバーフローしました。
説明	INPUT/WRITE/DISPLAY ステートメントで、 指定された縦型出力項目数が現在のページサイズを超えました。
対処	- PS パラメータを大きくしてください。または - 縦に出力する項目数を少なくしてください。

NAT0304: プリンタ番号の指定が正しくありません。

テキスト	プリンタ番号の指定が正しくありません。
説明	プリンタ番号は、数値定数、または DEFINE PRINTER で定義された記号定数を カッコで囲んで指定してください。 MAP（処理ルール）内の追加プリンタのサポートは存在しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0305: テキスト文字列は複数行にまたがってはいけません。

テキスト	テキスト文字列は複数行にまたがってはいけません。
説明	テキスト文字列はアポストロフィで始め、 同一行内でアポストロフィで閉じなければなりません。 1 行より長いテキスト文字列が必要な場合には、 2 つのソースステートメント行に分けて 2 つの文字列として指定すれば、 実行時には 1 つの空白をはさんだ文字列になります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0306: DO または **DOEND** ステートメントがない、または位置が正しくありません。

テキスト	DO または DOEND ステートメントがない、または位置が正しくありません。
説明	ステートメントのグループが DO ステートメントで始まっている場合は、 DOEND ステートメントで終了する必要があります。 DOEND ステートメントの不足は、 ソースプログラムの最後に検出されます。 そのため、プログラム内でエラーが見つかった位置が 必ずしも DOEND がない位置だとは限りません。
対処	それぞれの DO ステートメントに、対応する DOEND ステートメントがあることを確かめてください。

NAT0307: 行 **:1:** のループが、条件ブロック内で閉じていません。

テキスト	行 ... のループが、条件ブロック内で閉じていません。
説明	条件ステートメントブロック内で開始される処理ループは 同ブロック内で閉じる必要があります。 例(正)： 例(誤)： -------------- ---------------- IF ... IF ... DO DO FIND ... FIND ... DISPLAY ... DISPLAY ... LOOP DOEND DOEND END END
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0308: 存在しない処理ループを閉じようとしました。

テキスト	存在しない処理ループを閉じようとしました。
説明	LOOP ステートメントはアクティブな処理ループを 閉じるためだけに使われます。 - 閉じるべき処理ループが正しく開始されませんでした。または - 閉じるべき処理ループがすでに閉じられています。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0309: AT BREAK/END 条件の位置が正しくありません。

テキスト	AT BREAK/END 条件の位置が正しくありません。
説明	AT BREAK/END 条件は、他の特殊条件に依存するステートメントブロック内では使用できません。 ブロックは次のとおりです。 AT BREAK AT END/TOP OF PAGE AT START/END OF DATA ON ERROR IF
対処	AT BREAK/END 条件の位置を変えてください。

NAT0310: AT END OF/AT BREAK が指定されたが、アクティブな処理ループがありません。

テキスト	AT END OF/AT BREAK が指定されたが、アクティブな処理ループがありません。
説明	AT BREAK/END 条件は、 アクティブな処理ループ内でのみ使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0311: ソース／オブジェクトプログラムのユーザー出口でエラーが発生しました。

テキスト	ソース / オブジェクトプログラムのユーザー出口でエラーが発生しました。
説明	ユーザーが制御しているファイルに ソース / オブジェクトプログラムを格納するために使われる ユーザー出口から 0 以外のレスポンスコードを受け取りました。
対処	ユーザー出口のコーディングをチェックしてください (Natural に戻ったときのレジスタ 15 内のレスポンスコード)。

NAT0312: AT START/END OF DATA、または **AT BREAK** での参照番号が不正です。

テキスト	AT START/END OF DATA、または AT BREAK での参照番号が不正です。
説明	上記の条件ステートメントが特定の処理ループを参照するために 参照番号を使用しましたが、 参照番号の示す行には、 処理ループを開始するステートメントがありませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0313: ループ内に **AT START OF DATA/BEFORE BREAK** は **1** 回しか指定できません。

テキスト	ループ内に AT START OF DATA/BEFORE BREAK は 1 回しか指定できません。

説明	1 つの処理ループ内には AT START OF DATA 条件は
	1 回しか指定できません。
	AT START OF DATA 条件で複数ステートメントを指定する場合は、
	DO/DOEND 構造を使用してください (下記参照)。
	例 :
	`READ ...`
	`AT START OF DATA`
	`DO IF ... DO ... DOEND`
	`IF ... DO ... DOEND DOEND`
	`DISPLAY`
	`LOOP`
	`END`

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0314: 1 つのプログラム内で **ON ERROR** 条件を複数指定してはいけません。

テキスト	1 つのプログラム内で ON ERROR 条件を複数指定しないでください。

説明	1 つのプログラム内では ON ERROR 条件は 1 回しか指定できません。
	ON ERROR 条件で複数の条件をチェックしたい場合は、
	ON ERROR 条件内で IF ステートメントを使用してください。
	例 :
	`--------`
	`READ ...`
	`UPDATE ...`
	`ON ERROR IF ... END-IF`
	`IF ... END-IF`
	`END-ERROR`
	`END-READ`
	`END`

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0315: /n/ 節の使用に矛盾があります。

テキスト	/n/ 節の使用に矛盾があります。
説明	/n/ 指定は、AT BREAK ステートメントまたは IF BREAK 条件の評価で検査する変数の桁数を指定するために使用できます。 '/n/' 節は、フォーマットが英数字、バイナリ、数値、 またはパック 10 進数のブレイク変数にだけ指定できます。 'n' の値は、変数に定義した桁数 (英数字やバイナリのブレイク変数の場合はバイト数、数値またはパック 10 進数のブレイク変数の場合は桁数) より大きくてはいけません。 さらに、指定した値が、253 バイト (英数字フィールド)、 または 126 バイト (バイナリフィールド) を超えてはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0316: 指定された条件内でそのステートメントは許されません。

テキスト	指定された条件内でそのステートメントは許されません。
説明	ある条件内にはステートメントの使用に制限があります。 指定したステートメントはこのタイプの条件内では使用できません。 例えば、外部サブルーチン内では DEFINE SUBROUTINE ステートメントと、 DEFINE DATA ステートメントのみが指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0317: 1 つの項目（表示欄の幅）は **250** 桁を超えてはいけません。

テキスト	1 つの項目 (表示欄の幅) は 250 桁を超えてはいけません。
説明	DISPLAY 欄で出力できる項目の最大長は 250 桁です。
対処	- 項目を再定義して、複数部分に分けてください。または - 縦モードでフィールドを出力してください。

NAT0318: EXAMINE TRANSLATE には '**FULL VALUE**' を指定してはいけません。

テキスト	EXAMINE TRANSLATE には 'FULL VALUE' を指定しないでください。
説明	EXAMINE ステートメントとは異なり、 EXAMINE TRANSLATE ステートメントには 'FULL VALUE' を指定しないでください。 EXAMINE TRANSLATE ステートメントは 常にフィールドのすべての内容を処理します。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0319: AVER、**TOTAL**、**SUM** の評価フィールドは数値でなければなりません。

テキスト	AVER、TOTAL、SUM の評価フィールドは数値でなければなりません。
説明	Natural システム関数 AVER、TOTAL、および SUM の評価フィールドは、 数値フォーマットで定義されていなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0320: 編集マスクを使用できるのは出力項目だけです。

テキスト	編集マスクを使用できるのは出力項目だけです。
説明	INPUT ステートメントで、編集マスクを使用できるのは 出力項目 (属性 = M または O) だけです。 入力項目 (属性 = A) に編集マスクは使用できません。 出力項目に 16 進数の編集マスクを使用するときは、 属性 M (= 変更) を使用できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0322: 変数のタイプは **Natural** システム関数として正しくありません。

テキスト	変数のタイプは Natural システム関数として正しくありません。
説明	1) Natural システム関数のフィールドとして Natural システム変数は使用できません。 システム変数を Natural システム関数で評価する場合は、 ユーザー定義変数にシステム変数の値を移し、 そのユーザー定義変数を評価フィールドとして使用してください。 2) Natural システム関数のフィールドとして パスワード / サイファ変数として使用したものを使用できません。 パスワード / サイファと同じ変数を使用する場合は、 ユーザー定義変数に値を割り当て、 それをシステム関数の評価フィールドとして使用します。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0323: ON ERROR ステートメントは条件ブロック内で使用できません。

テキスト	ON ERROR ステートメントは条件ブロック内で使用できません。
説明	ON ERROR ステートメントは、次のステートメントブロック内では指定できません。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - IF - IF NO RECORDS FOUND - AT END OF FILE - DEFINE SUBROUTINE
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0324: :1: 行目の **DO** ステートメントに対して **DOEND** がありません。

テキスト	... 行目の DO ステートメントに対して DOEND がありません。
説明	DO ステートメントでステートメントブロックを開始した場合、DOEND ステートメントで終了する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0325: データディクショナリのフィールド名が正しくありません。

テキスト	データディクショナリのフィールド名が正しくありません。
説明	Natural データディクショナリ内のデータベースビュー定義で同じフィールド名が 2 回使われました。
対処	- Natural 管理者に連絡してください。または - LIST FILE コマンドを使ってビュー定義をチェックしてください。

NAT0327: 数字編集マスクが値の正しい位置を指定しませんでした。

テキスト	数字編集マスクが値の正しい位置を指定しませんでした。
説明	指定した数字編集マスクは、編集マスクが適用される値に実際に存在するどの桁も含んでいません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0328: ソートフィールドが最大の個数／長さを超えました。

テキスト	ソートフィールドが最大の個数 / 長さを超えました。
説明	- ソートフィールドの合計長が 253 バイトを超えました。または - ソートするフィールドの数が 10 を超えました。
対処	ソート条件のサイズを小さくしてください。

NAT0329: PERFORM BREAK PROCESSING には **AT BREAK** が必要です。

テキスト	PERFORM BREAK PROCESSING には AT BREAK が必要です。
説明	PERFORM BREAK PROCESSING の後に、 AT BREAK 条件が指定されていません。 このエラーは、PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントが IF 条件内にあり、PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントと すぐ後の AT BREAK ステートメントとが DO DOEND ステートメントで明確に区切られていない場合にも発生します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0330: AT END OF DATA ステートメントが同一ループ内で複数回指定されました。

テキスト	AT END OF DATA ステートメントが同一ループ内で複数回指定されました。
説明	AT END OF DATA ステートメントは 1 つの処理ループ内で 1 回しか指定できません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0332: LC および **IC** パラメータは、同時に使用できません。

テキスト	LC および IC パラメータは、同時に使用できません。
説明	LC および IC 文字は、 値に対してどちらか 1 つしか指定できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0333: 英数字の編集マスクに数値を指定できません。

テキスト	英数字の編集マスクに数値を指定できません。
説明	このエラーは Natural データディクショナリに指定された 編集マスクの定義が正しくない場合にも起きます。
対処	プログラムまたはデータディクショナリをチェックし、 編集マスクの指定を修正してください。

NAT0335: SCAN のテキスト文字列がアポストロフィで囲まれていません。

テキスト	SCAN のテキスト文字列がアポストロフィで囲まれていません。
説明	SCAN オペレーションに使用されるテキスト文字列は アポストロフィで囲んで、1 ソースコード行内に指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0336: 検査するフィールドを変更する場合、そのフィールドは変数でなければいけません。

テキスト	検査するフィールドを変更する場合、そのフィールドは変数でなければいけません。
説明	EXAMINE ステートメントでは、 検査するフィールドを変更する場合 （つまり、DELETE/REPLACE ステートメントを使用する場合）、 そのフィールドは定数ではいけません。 変換するフィールドは変数でなければならないので、 EXAMINE TRANSLATE ステートメントに定数が指定された場合にも このエラーが発生します。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0337: 変換テーブルのフォーマット／長さは **A2**、**B2**、または **U2** でなければいけません。

テキスト	変換テーブルのフォーマット / 長さは A2、B2、または U2 でなければいけません。
説明	EXAMINE TRANSLATE ステートメントの USING 節に指定される 変換テーブルのフォーマット / 長さは、 A2、B2、または U2 でなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0338: アクティブでない参照でデータベースフィールドを使用されました。

テキスト	アクティブでない参照でデータベースフィールドが使用されました。
説明	データベースフィールドの参照は アクティブな処理ループ内でのみ可能です。 処理ループが閉じられると、 そのループで有効なフィールドの参照はできなくなります。
対処	データベースフィールドの参照が アクティブな処理ループ内で行われていることを確認してください。

NAT0339: WRITE で使用するグループ名にはヘディング指定はできません。

テキスト	WRITE で使用するグループ名にはヘディング指定はできません。
説明	グループ名が WRITE (または INPUT) ステートメントで使用された場合、 グループに対して特定のヘッダー文字を指定することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0340: タブ指定が正しくない、またはすでに使用している桁にタブを指定しています。

テキスト	タブ指定が正しくない、またはすでに使用している桁にタブを指定しています。
説明	タブ 'nT' は行の前方の桁しか指定できません。 タブ記号は、新しい値をすでに使用されている場所に 重ねて位置付けてはいけません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0341: 文字の繰り返し数が **250** を超えた、または正しくありません。

テキスト	文字の繰り返し数が 250 を超えた、または正しくありません。
説明	繰り返し機能は、 1 文字のテキストを指定された長さまで繰り返すものです。繰り返し数はカッコで囲んだ整数定数で指定します。 最大繰り返し数は 250 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0342: AT BREAK ステートメントはこのタイプの処理ループ内では指定できません。

テキスト	AT BREAK ステートメントはこのタイプの処理ループ内では指定できません。
説明	AT BREAK ステートメントは、 FIND/READ/HISTOGRAM/SORT ステートメントで開始される 処理ループ内でのみ指定できます。 ユーザーが開始するブレイク処理は、 PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントで実行できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0343: 繰り返しに使用される文字列は、**1** 文字でなければいけません。

テキスト	繰り返しに使用される文字列は、1 文字でなければいけません。
説明	繰り返し機能を使って繰り返す文字列は、1 文字でなければいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0344: WRITE TITLE/TRAILER ステートメントは、条件内では使用できません。

テキスト	WRITE TITLE/TRAILER ステートメントは、条件内では使用できません。
説明	WRITE TITLE または WRITE TRAILER ステートメントは、 次のステートメントブロック内で指定しないでください。 - IF - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - ON ERROR

	- IF NO RECORDS FOUND - DEFINE SUBROUTINE
対処	WRITE TITLE/WRITE TRAILER を上記の ステートメントブロックの外に指定してください。

NAT0345: データディクショナリの編集マスク定義にエラーがあります。

テキスト	データディクショナリの編集マスク定義に工ラーがあります。
説明	データディクショナリで定義されたデータベースフィールドに 対する編集マスク定義が正しくありません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 一時的な解決方法は、 プログラムで編集マスクを定義することです。

NAT0346: データ定義モジュール（**DDM**）**:1:** がロードできません。

テキスト	データ定義モジュール (DDM) ... をロードできません。
説明	要求されたファイルのデータ定義モジュール (DDM) を ロードできません。 内部 DDM ロードバッファが十分なサイズを確保できませんでした。
対処	大きなスレッド / パーティション / リージョン / タスク環境内で Natural を起動してください。

NAT0347: SORT ステートメントを条件内に指定してはいけません。

テキスト	SORT ステートメントを条件内に指定しないでください。
説明	SORT ステートメントは存在するすべての処理ループを終了させ、 全レコードを格納した後、新たに処理ループを開始します。 したがって、SORT ステートメントは、 次のステートメントブロック内では使用できません。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR - DEFINE SUBROUTINE

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0348: AT TOP/END OF PAGE ステートメントを条件内に指定してはいけません。

テキスト	AT TOP/END OF PAGE ステートメントを条件内に指定しないでください。
説明	AT TOP OF PAGE および AT END OF PAGE ステートメントは、 次のステートメントブロックの外でしか使用できません。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR - DEFINE SUBROUTINE
対処	AT TOP/END OF PAGE ステートメントは、 上記のステートメントブロックの外に指定してください。

NAT0349: GLOBALS コマンドや **SET GLOBALS** ステートメントのパラメータ値が正しくありません。

テキスト	GLOBALS コマンドや SET GLOBALS ステートメントのパラメータ値が正しくありません。
説明	SET GLOBALS ステートメント (または GLOBALS コマンド) に 指定されたパラメータ値が正しくありません。 このパラメータに対しては、 'ON' および 'OFF' (または 'T' および 'F') だけを指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0350: 1 つの **INPUT/WRITE/DISPLAY** 内で指定された縦型項目が多すぎます。

テキスト	1 つの INPUT/WRITE/DISPLAY 内で指定された縦型項目が多すぎます。
説明	1 つの INPUT/WRITE/DISPLAY ステートメントは 縦に最大 250 行出力できます。 'X/Y' 指定の X の値は 250 を超えてはいけません。 ヘッダー行数は 14 行を超えてはいけません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

9 Natural システムエラーメッセージ 0351～0400

NAT0351: VERT、NOHDR、2番目のDISPLAYに対して、ヘッダー文字列を指定できません。

テキスト	VERT、NOHDR、2 番目の DISPLAY に対して、ヘッダー文字列を指定できません。
説明	- レポートの最初の DISPLAY ステートメント以外でヘッダーテキスト を指定できません。 - VERT モードでは、 各フィールドに対してヘッダー文字列を指定する場合は、 オプション 'CAPTIONED' を使用してください。 個々のフィールドのヘッダーはヘッダー文字列として、 列の上に縦に出力されます。 - オプションの AS '文字列' を CAPTIONED とともに使用する場合は、 個々のフィールドに指定した文字列は、 フィールド値と同じ行に列のフィールド値の前に出力されます。 - 同一レポートを参照する DISPLAY ステートメントは 前の DISPLAY ステートメントでヘッダーが作られているので、 ヘッダーを指定することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0352: FORMAT/SET GLOBALS の SF パラメータが 30 以上、または数値ではありません。

テキスト	FORMAT/SET GLOBALS の SF パラメータが 30 を超えている、または数値ではありません。
説明	SF パラメータの値は 30 以下の整数定数で 指定する必要があります。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0353: パラメータは、事前に定義してはいけません。

テキスト	パラメータは、事前に定義しないでください。
説明	最初のパラメータアドレスだけが、呼び出されたプログラムに渡されます。 他のすべてのパラメータは、 物理的に最初のパラメータの直後に置く必要があります。 これはパラメータ変数が CALL FILE/READ WORK FILE ステートメントで 新たに定義された場合にのみ行われます。
対処	CALL FILE ステートメントでは事前に定義された変数を 参照しないでください。

NAT0354: 入力フィールドに対する充填文字の指定が正しくありません。

テキスト	入力フィールドに対する充填文字の指定が正しくありません。
説明	入力フィールドの空の部分を満たす文字には アポストロフィで囲まれた 1 文字を指定する必要があります。 AD パラメータによって値のリストのどこにでも指定できます。 例：INPUT (AD='<') #FIELDA #FIELDB
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0355: '**AD=**' の後に正しくない属性が定義されました。

テキスト	AD= の後に正しくない属性が定義されました。
説明	AD パラメータの値については、Natural ドキュメントの セッションパラメータ AD を参照してください。 さらに、次の場合は、当エラーが INPUT ステートメントで発生します。 - (AD=M) が *COM 以外のシステム変数に指定されている場合 - (AD=T) がシステム変数に指定されている場合
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0356: Incorrect usage of ADJUST clause.

テキスト	Incorrect usage of ADJUST clause.
説明	The ADJUST option can only be provided for a field inside the SELECToption. ↩ The operand for which the ADJUST is supplied must be anX-ARRAY with an ↩ unique dimension and the index expression "(*)".After the ADJUST option, ↩ the field list must not be continued,that is, the specification of further ↩ variables is not permitted.
対処	Check program and correct error.

NAT0357: READ WORK FILE で **OFFSET/FILLER** に対するエントリが正しくありません。

テキスト	READ WORK FILE で OFFSET/FILLER に対するエントリが正しくありません。
説明	READ WORK FILE に対するレコードレイアウトの OFFSET/FILLER は、整数の定数で指定する必要があります。 フィラーエントリは 'nX' の形で指定します。 OFFSET/FILLER オプションが READ WORK FILE ステートメント内の不正な位置に指定された場合にも、このエラーが発生します。 READ WORK FILE ステートメントの構文については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0358: '**AD=**' の後に何も属性が指定されていません。

テキスト	AD= の後に何も属性が指定されていません。
説明	AD= の後には、少なくとも 1 つの属性を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0359: サブルーチン内の処理ループが正しく閉じられていません。

テキスト	サブルーチン内の処理ループが正しく閉じられていません。

説明	サブルーチン内で処理ループを開始した場合、 LOOP ステートメントを RETURN ステートメントの前に置いて、 同一サブルーチン内でループを閉じる必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0360: IF 条件内に実行ステートメントがありません。

テキスト	IF 条件内に実行ステートメントがありません。
説明	REDEFINE や FORMAT のようなステートメントは 実行コードを作成しないので、IF 条件内に指定することできません。 変数の再定義はどの条件下でも真なので、 IF 条件内に REDEFINE や FORMAT ステートメントを 置くことは意味がありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0361: 指定されたプリンタ番号は割り当てられていません。

テキスト	指定されたプリンタ番号は割り当てられていません。
説明	- 指定プリンタに対応する JCL ステートメントが 指定されませんでした。 - または、TP モニタを使用している場合、 TP モニタがオフラインプリンタをサポートしていない、または 必要なパラメータモジュールが生成されていません。
対処	- プリンタ番号を修正してください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0362: サブルーチンの定義が重なっています。

テキスト	サブルーチンの定義が重なっています。
説明	DEFINE SUBROUTINE ステートメントで開始したサブルーチン定義は、 他のサブルーチン定義を開始する前に END-SUBROUTINE または RETURN ステートメントで 終了する必要があります。 DEFINE SUBROUTINE ステートメントは 他の DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロック内で 使用しないでください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0363: サブルーチンの定義が正しくありません。

テキスト	サブルーチンの定義が正しくありません。
説明	DEFINE SUBROUTINE ステートメントは 次の条件ステートメントブロック内では使用できません。 - AT START OF DATA - AT END OF DATA - AT TOP OF PAGE - AT END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0364: 同じワークファイルへの複数の書き込みに矛盾があります。

テキスト	同じワークファイルへの複数の書き込みに矛盾があります。
説明	このエラーは、1 つのプログラム内に 同じワークファイルにデータを書き込む WRITE WORK FILE ステートメントが 2 つ以上ある場合に発生します。 - 同じワークファイルへの書き込みは すべて固定長、または変数の長さで実行する必要があります。 つまり、関係のある WRITE WORK FILE ステートメントごとに 'VARIABLE' を指定する必要があります。 (WRITE WORK FILE (1) VARIABLE ステートメントに対応する EXPORT ステートメントの前後関係に注意してください。) - 同じワークファイルへの書き込みがすべて固定長の場合、 フィールド長の合計は 関係のある WRITE WORK FILE ステートメントごとに 同じでなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0366: Natural システム関数の使用が正しくありません。

テキスト	Natural システム関数の使用が正しくありません。
説明	MAX、MIN、SUM、AVER のような NATRUAL システム関数は、AT BREAK、AT END OF DATA、AT END OF PAGE 条件下でのみ使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0367: Natural システム関数の参照が正しくありません。

テキスト	Natural システム関数の参照が正しくありません。
説明	ページごとの Natural システム関数の評価が WRITE/DISPLAY ステートメントの GIVE SYSTEM FUNCTION 節で要求された場合は、MAX、MIN、SUM、AVER のような Natural システム関数は AT END OF PAGE 条件でのみ使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0368: ディスクリプタに対する検索フィールドが長すぎます。

テキスト	ディスクリプタに対する検索フィールドが長すぎます。
説明	検索フィールドの最大長は 126 バイトです。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0369: パラメータ **DY** は英数字フィールドにのみ使用できます。

テキスト	パラメータ DY は英数字フィールドにのみ使用できます。
説明	ダイナミック属性 (点滅、高輝度表示、下線、色指定など) は英数字フィールドに対してのみ使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0370: 英数字定数の連結が正しくありません。

テキスト	英数字定数の連結が正しくありません。
説明	連結文字 ('-') が見つかりましたが、連結されている定数セグメントが見当たらないか、 または不正なフォーマットです。 英数字定数 ('文字列' または H'..') の後に ハイフン ('-') がある場合は、別の英数字定数がその後に続く必要があります。 例 : 'ABC'-'DEF'-H'F1F2F3'-'XYZ' Unicode フォーマットの定数 (U'文字列' または UH'..') の後に ハイフン ('-') がある場合は、Unicode フォーマットの別の定数がその後に続く必要があります。 例 : U'ABC'-U'DEF'-UH'00310032'-U'XYZ' 英数字定数セグメントと Unicode 定数セグメントを連結することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0371: Invalid output length for (PM=D) field or constant.

テキスト	Invalid output length for (PM=D) field or constant.
説明	If attribute (PM=D) is used to display an alphanumeric field orconstant, its content is considered DBCS data withoutsurrounding Shift-OUT/Shift-IN characters. To ensure the proper displayof such data on the screen, the output length must be even.The following rules apply to type Alphanumeric: If the field length is odd (e.g. (A9)), provide option AL=/DL= to reduce the display length. If AL= or DL= (or both) are specified, only an even length is permitted.The following rules apply to type Unicode: If the field length is odd (e.g. (U7)), provide option AL=/DL= to set the output length to an even number. Since one Unicode character corresponds to one DBCS double-byte, the number of output positions needed is twice the field length (i.e. DL=14 for (U7)).
対処	Provide correct length option AL= or DL=.

NAT0373: RENUMBER の増分指定にエラーがあります。

テキスト	RENUMBER の増分指定にエラーがあります。
説明	行モードのエディタでは (nnnn) 形式で 行番号の再設定に増分の指定ができます。 ユーザーが RENUMBER オペレーションで指定した増分では 行番号が 9999 より大きいものができてしまいます。

対処	行番号が 9999 を超えないように、 増分を RENUMBER で指定してください。

NAT0375: フォーマット要素のタイプが正しくありません。

テキスト	フォーマット要素のタイプが正しくありません。
説明	現在のタイプの FORMAT エレメントには、 'ON' および 'OFF' (または 'T' および 'F') だけを指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0376: グローバル変数 **:1:** が一致していません。

テキスト	グローバル変数 ... が一致していません。
説明	プログラム間で渡されるグローバル変数の フォーマットおよび (または) 長さが一致していません。 同名のグローバル変数は、'+変数名' というデータとして参照される場合、 複数プログラム間でグローバル変数の値を転送できるように、 フォーマットおよび長さが一致していなければなりません。
対処	EDIT VARIABLES コマンドで 現在存在するグローバル変数をチェックし、 プログラムで参照しているものと比較してください。 - フォーマットと長さを一致させてください。- または、LOGON コマンドでグローバル変数を解放してください。

NAT0378: '/' 記号を使ってグループの下にフィールドをおくことはできません。

テキスト	/ 記号を使ってグループの下にフィールドを置くことはできません。
説明	DISPLAY ステートメントでグループフィールドを参照する場合は、 グループの個々のフィールドに対して複数欄のレイアウトが作られます。 グループレイアウトの下に個々のフィールドを 指定することはできません。
対処	個々のフィールドを別の欄に指定してください。

NAT0379: **'x/y'** 形式の出力位置の指定が正しくありません。

テキスト	x/y 形式の出力位置の指定が正しくありません。
説明	x/y 形式では、'x' および 'y' に対して定数でしか指定できません。 現在の行サイズ、およびページサイズの制限を超えて、 出力行および桁を指定することはできません。 また、すでに出力位置として指定されているところに 重ねて指定することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0380: ダイナミックソース変数の構造にエラーがあります。

テキスト	ダイナミックソース変数の構造にエラーがあります。
説明	ダイナミックソース変数を示す文字 '&' の後に 正しい変数名がありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0383: ソースワークエリアのプログラムが昇順に番号付けされていません。

テキスト	ソースワークエリアのプログラムが昇順に番号付けされていません。
説明	プログラム内で正しく参照するには、 ソースプログラムの行番号を昇順に付ける必要があります。
対処	RENUMBER コマンドを使用して、 プログラムの行番号を再設定してください。 重複する番号が存在する場合は、 参照番号をチェックしてください。 すべての参照番号は自動的に再番号付けされます。

NAT0384: 明確なフォーマットおよび（または）長さの指定がありません。

テキスト	明確なフォーマットおよび（または）長さの指定がありません。

説明	GLOBALS コマンドまたは SET GLOBALS ステートメントの FS パラメータで、デフォルトのフォーマット / 長さが 指定されないように設定されています。 したがって、すべてのユーザー定義変数には フォーマット / 長さを明確に指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0385: DC、IA、ID パラメータの値が同じであってはなりません。

テキスト	DC、IA、ID パラメータの値が同じであってはなりません。
説明	セッションパラメータ DC、IA、および ID の値は互いに異なるものです。 これらのパラメータの値は、 他の 2 つのパラメータとは異なる値でなければなりません。
対処	GLOBALS コマンドを使用して、 DC、IA、および ID に指定されている値をチェックし、 互いに異なる値を指定するようにしてください。

NAT0386: ソースの参照に指定したグローバル変数が定義されていません。

テキスト	ソースの参照に指定したグローバル変数が定義されていません。
説明	&NAME の形式で、ソースパラメータとして参照する すべてのグローバル変数は、 その値を割り当てるプログラムを事前に実行して、 定義しておく必要があります。 グローバル変数を使用してソースプログラムを作成する場合は、 EDIT コマンドを使って構文チェックをしないで作っても構いませんが、 構文チェックをしながらプログラムを作る場合は、 '&NAME' 参照の前に適切なグローバル変数の環境を 作成しておく必要があります。
対処	- EDIT モードでプログラムを作成してください。または - '&NAME' 参照の前にグローバル変数を定義するプログラムを実行し、 適切なグローバル変数の環境を作成してください。

NAT0387: 名前付き定数を変更することはできません。

テキスト	名前付き定数を変更することはできません。
説明	変数に、初期値 (プログラムの中で変更される) を持たせて、 プログラムの中で後から元の値を再使用する場合、 DEFINE DATA ステートメントの INIT 節および RESET INITIAL ステートメントを使用してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0389: 不正な参照 **'0000'** が指定されました。

テキスト	不正な参照 '0000' が指定されました。
説明	行番号を指定してデータベースアクセスステートメントを参照する場合、行番号を '0000' に指定できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0390: ここでは、フォーマット／長さが **F16** の変数は使用できません。

テキスト	ここでは、フォーマット / 長さが F16 の変数は使用できません。
説明	長さ 16 の浮動小数点の変数は、 次の Natural ステートメントでは使用できません。 - DISPLAY - WRITE - PRINT - INPUT
対処	上記のステートメントで F16 の変数を使用しないでください。

NAT0392: DATE または **TIME** 変数を使った処理が正しくありません。

テキスト	DATE または TIME 変数を使った処理が正しくありません。
説明	このエラーは次のいずれかが原因で発生します。 - 日付 / 時間オペランドと数値オペランドの間に '+'、'*'、または '-' 以外の算術演算子が使われました。 - 1 つの日付 / 時間オペランドと 1 つの浮動小数点オペランドに 算術演算子が使われました。 - 日付以外のフォーマットのフィールドが日付変数に 割り当てられています。 詳細については、Natural ドキュメントの 「日付および時間の算術演算」を参照してください。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0393: プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
説明	1) 現在の Natural バージョンでは、サポートしていない 次の処理が試行されました。 - Natural プログラミングオブジェクトの実行。 - または、コンパイル時に GDA、LDA、PDA、またはマップのロード。 サポートされる Natural プログラムバージョンについては、 対応する Natural ドキュメントを参照してください。 2) 実行されるプログラムは、現在のバッファプールのブラックリストに 含まれています (SYSBPM ユーティリティドキュメントを 参照) 。
対処	1) 現在のバージョンの Natural で プログラムをもう一度コンパイルしてください。 2) ブラックリストからプログラムを削除してください。

NAT0394: フォーマット指定が正しくありません。

テキスト	フォーマット指定が正しくありません。
説明	詳細については、Natural セッションパラメータドキュメントを 参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0395: 属性 '**CV**' は '**HE**' 定義の前に定義する必要があります。

テキスト	属性 'CV' は 'HE' 定義の前に定義する必要があります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0396: 入力フィールドに対してローマ数字の編集マスクは使用できません。

テキスト	入力フィールドに対してローマ数字の編集マスクは使用できません。
説明	INPUT ステートメントで出力フィールドに対してのみ ローマ編集マスクを使用することができます。 例：INPUT #D (EM=R AD=O)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0397: INPUT または **WRITE** ステートメントの添字範囲が正しくありません。

テキスト	INPUT または WRITE ステートメントの添字範囲が正しくありません。
説明	INPUT または WRITE ステートメントでは、 コンパイル時にオカレンス番号が認識されないため、配列の添字範囲指定が無効となります。 無効な添字範囲の例： - 異なる変数による範囲指定：(#I:#J) - 定数と変数による範囲指定：(1:#i) - X array の完全な範囲表記：(*) 有効な添字範囲の例： - 定数による範囲指定：(1:5) - 同じ変数による範囲指定：(#I:#I+5)
対処	有効な添字範囲を指定します。

NAT0398: ラベル定義は行の先頭に指定しなければいけません。

テキスト	ラベル定義は行の先頭に指定しなければいけません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0399: INCLUDE ステートメントだけをソース行に入力しなければいけません。

テキスト	INCLUDE ステートメントだけをソース行に入力しなければいけません。

説明	INCLUDE ステートメントだけをソースコード行に入力しなければいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0400: ライブラリ **ID** が正しくありません。

テキスト	ライブラリ ID が正しくありません。
説明	ライブラリ ID は、8 文字以内にする必要があります。 ライブラリ ID には、大文字の英字、数字、 および一部の特殊文字を使用できます。 空白を含めることはできません。 先頭の文字は、大文字の英字でなければなりません。 ライブラリの命名規則の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	正しいライブラリ ID を使用してください。

10 Natural システムエラーメッセージ 0401～0450

NAT0401: プログラム名が正しくありません。

テキスト	プログラム名が正しくありません。
説明	プログラム名は、英文字で始まり、 8 文字以下である必要があります。
対処	正しいプログラム名を使用してください。

NAT0402: EDIT コマンドで使われた文字列がアポストロフィで閉じられていません。

テキスト	EDIT コマンドで使われた '文字列' がアポストロフィで閉じられていません。
説明	.'文字列' はその文字で始まる行へ位置付けするために 行エディタで使用できます。 .S'文字列' は指定した文字列でソースプログラムをスキャンし、 その文字列を含むすべての行を選択するために使います。
対処	コマンドをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0403: 行エディタのサブコマンドが正しくありません。

テキスト	行エディタのサブコマンドが正しくありません。

説明	次のサブコマンドを行エディタで使用できます。 .B 一番下へ位置付けます。 .Cn(m) n 行から開始する m 行分をコピーします。 .C'text'(m) 'text' で始まる行を m の位置へコピーします。 .D 行を削除します。 .D(n) 複数行を削除します。n は行数。 .E 行を終了します。 .I 行を挿入します。 .I(program) プログラムを挿入します。 .Mn n 行を移動します。 .M'text'(m) 'text' で始まる行を m の位置へ移動します。 .R(n) 増分 n で行番号を再設定します。デフォルト n=10 .S'text' text を検索します。 (text は文字列、program はプログラム名、n および m は行番号) PF キーの使用については、Natural ドキュメントの EDT コマンドを参照してください。
対処	PF キーの使用について、Natural ドキュメントの EDT コマンドを参照してください。 正しいコマンドを実行してください。

NAT0404: 編集コマンドの **'+/-'**（プラス／マイナス）の数字が正しくありません。

テキスト	編集コマンドの '+/-' (プラス / マイナス) の数字が正しくありません。
説明	'+/-n' は、行エディタで前 / 後に位置付けするために使用します。 'n' は '+/-' 符号の直後に置く数値定数です。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT0405: MOVE ALL with SUBSTR for target field and UNTIL value not allowed

テキスト	MOVE ALL with SUBSTR for target field and UNTIL value not allowed.
説明	When SUBSTR is applied to the target field in a MOVE ALL statement,the use ↩ of an UNTIL value is not permitted.If only a part of the target field is ↩ to be affected by theMOVE ALL, use the starting position and length of the ↩ SUBSTR clauseto define the field segment to be filled with the pattern.
対処	Remove either the UNTIL value or the SUBSTR clause.

NAT0406: SORT ステートメントでは添字の範囲指定はできません。

テキスト	SORT ステートメントでは添字の範囲指定はできません。
説明	完全な配列のみ SORT ステートメントの USING 節内に指定することができます。 これは、添字として '*' を指定すること、 または、明示的に定数で完全な範囲を指定することで、実現できます。 例： 01 ARRAY (A5/1:20) ... SORT BY ... USING ARRAY(*) または SORT BY ... USING ARRAY(1:20)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0407: タブ '**nT**' 指定が正しくありません。

テキスト	タブ 'nT' 指定が正しくありません。
説明	nT 指定は使用可能な行サイズ以内でなければなりません。 'n' の値が 0 であってはいけません。 また、現在指定している行サイズより大きくなってはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0408: VERT モードでタブ指定 '**nT**' が正しくない、または重なって指定されています。

テキスト	VERT モードでタブ指定 'nT' が正しくない、または重なって指定されています。
説明	nT は、出力位置を指定するために使用します。 VERT モードでは、タブ指定は 2 つの出力欄の間で 1 度だけしか指定できません。 'VERT' エントリの前では欄の位置は 1 度しか定義できないので、 VERT モードで個々のフィールドに対して出力位置を 指定することはできません。 指定する場合は、'nX' 指定を使用してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0409: フィールドの位置参照は、 出力欄の間で **1** 度しか指定できません。

テキスト	フィールドの位置参照は、出力欄の間で 1 度しか指定できません。
説明	T*NAME 形式での位置の参照は、 DISPLAY ステートメントで新しい出力欄に 位置付ける場合にだけに使用できます。 VERT モードの 1 出力欄内で、'T*NAME' を指定して 個々のフィールドを位置付けることはできません。 出力欄内で位置決めをする場合は、'nX' 指定を使用してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0411: 出力位置の参照は最初の **DISPLAY** ステートメントでなければなりません。

テキスト	出力位置の参照は最初の DISPLAY ステートメントでなければなりません。
説明	T*NAME 形式での出力位置欄の参照は、 プログラム内の最初の DISPLAY ステートメントで 欄として定義された変数だけを指定できます。 データベースフィールドの短縮形 (2 文字) は使用できません。
対処	エラーを修正してください。

NAT0412: nX または **'nT'** 指定の位置が行サイズを超えました。

テキスト	'nX' または 'nT' 指定の位置が行サイズを超えました。
説明	nX または 'nT' が現在指定されている行サイズを超えて 出力位置を指定されました。
対処	nX/nT を修正してください。または、 行サイズパラメータを大きくしてください。

NAT0413: .I(name) で指定されたモジュールがソースライブラリにありません。

テキスト	.I(name) で指定されたモジュールがソースライブラリにありません。

説明	- ソースライブラリからコピーするソースモジュールが そのライブラリ内にありません。 - または、'.I(name)' エントリが正しく指定されていません。
対処	正しいソースモジュール名で、コマンドをもう一度発行してください。

NAT0415: PRINT ステートメントでは **'T*'**、**'P*'** 記号は使用できません。

テキスト	PRINT ステートメントでは、'T*' および 'P*' 記号は使用できません。
説明	
対処	PRINT ステートメントでは、'T*' および 'P*' を使用しないでください。

NAT0416: PRINT ステートメントでは、**'x/y'** 表記は使用できません。

テキスト	PRINT ステートメントでは、'x/y' 表記は使用できません。
説明	
対処	PRINT ステートメントでは、'x/y' 表記を使用しないでください。

NAT0417: READ WORK FILE では変数の添字範囲は指定できません。

テキスト	READ WORK FILE では変数の添字範囲は指定できません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0418: RETURN はストラクチャードモードでは使用できません。

テキスト	'RETURN' はストラクチャードモードでは使用できません。
説明	RETURN はレポーティングモードでしか使用できません。 ストラクチャードモードではサブルーチンの終了に END-SUBROUTINE ステートメントを使います。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0419: ストラクチャードモードでは '**USING**' を使わなければいけません。

テキスト	ストラクチャードモードでは 'USING' を使わなければいけません。
説明	SORT ステートメントがストラクチャードモードで使用される場合、 中間ストレージに書き出すフィールドを指定するには USING 節を指定する必要があります。 USING KEYS を指定すると、 全ソートキーフィールドが中間ストレージに書き出されます。 USING オペランド 2... は、ソートキーフィールドに加えて 中間ストレージに書き出すフィールドを指定するために使います。 ストラクチャードモードのデフォルトでは、 BY 節で指定したフィールドは 中間ソートストレージには書き出されません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0422: 外部サブルーチンのステートメント、またはその位置が正しくありません。

テキスト	外部サブルーチンのステートメント、またはその位置が正しくありません。
説明	外部サブルーチンに複数の DEFINE SUBROUTINE ステートメントが あってはいけません。 また、DEFINE SUBROUTINE ステートメントブロックは END-SUBROUTINE (レポーティングモードでは RETURN) で閉じる必要があります。 DEFINE SUBROUTINE ブロック外に指定可能なステートメントは、 DEFINE SUBROUTINE ステートメントの前にある DEFINE DATA LOCAL/GLOBAL ステートメント、および サブルーチン終了の END ステートメントだけです。
対処	外部サブルーチンのエラーを修正してください。

NAT0423: READ WORK FILE ステートメントの **GIVING LENGTH** 節が正しくありません。

テキスト	READ WORK FILE ステートメントの GIVING LENGTH 節が正しくありません。
説明	エラーの原因として次のことが考えられます。 1.1. 'GIVING' の後にキーワード 'LENGTH' がありません。 2.2. オペランドが指定されていない、または フォーマット / 長さが正しく定義されていません (フォーマット / 長さは I4 です)。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0424: PC 'COMMAND' オプションのオペランドが正しくありません。

テキスト	PC 'COMMAND' オプションのオペランドが正しくありません。
説明	WRITE WORK FILE/WRITE PC/DOWNLOAD ステートメントの COMMAND オプションに対するオペランドは、 英数字フォーマットでなければならず、 また長さは 80 文字以内にする必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0425: 修飾された変数名の使用が正しくありません。

テキスト	修飾された変数名の使用が正しくありません。
説明	修飾された変数名はデータ変数を参照するときにしか使用できません。 これらは DEFINE DATA ステートメントで 変数を定義するときには使えません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0426: データ構造の変数名の使い方が間違っています。

テキスト	データ構造の変数名の使い方が間違っています。
説明	DEFINE DATA ステートメントで、 変数名が既存のデータ構造の定義に使用されました。 前の変数定義が他のデータ構造の一部ではありませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0428: データ構造の変数名の定義が正しくありません。

テキスト	データ構造の変数名の定義が正しくありません。

説明	DEFINE DATA ステートメントで使用された変数がすでに存在しています。この変数名は前に現在のデータ構造内のデータ要素として定義してあります。 DEFINE DATA ステートメント内でユニークでない変数名は、 レベル 1 の構造名で変数を修飾することによって参照できます。 したがって、2 つのデータ構造の変数名が同じレベル 1 の構造名を持つ場合、 それらを同一変数名にすることはできません。 例： 1 GROUP 2 STRUCTURE-1 3 SAME-NAME (A1) 2 STRUCTURE-2 3 SAME-NAME (N7) <== ユニーク参照不可 1 OTHER-STRUCTURE 2 SAME-NAME (P4) <== ユニーク参照可 (OTHER-STRUCTURE.SAME-NAME で)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0429: データベース配列の添字が正しく指定されていません。

テキスト	データベース配列のインデックスが誤って指定されました。
説明	配列定義の際、各次元への添字指定は 単独で定義できない範囲を含んではいけません。 単独で定義できない範囲指定とは次のような添字指定です。 #FIELD(#I + 1) または #FIELD(#J - 1) #FIELD(*) #FIELD(#I + #J)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0431: 修飾語は構造レベル名でなければいけません。

テキスト	修飾語は構造レベル名でなければいけません。
説明	変数名の修飾語はすべて構造レベル名でなければなりません。 つまり、それら修飾語自体データ構造内に 2 次構造を定義する必要があります。 現在の変数名の指定に不正な修飾語があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0434: 修飾語名が変数をユニークに識別していません。

テキスト	修飾語名が変数をユニークに識別していません。
説明	修飾語名リストが現在の変数名をユニークに参照していません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0435: データベース配列に誤った添字が指定されました。

テキスト	データベース配列のインデックスが誤って指定されました。
説明	Natural バージョン 1.2 では添字範囲指定に '-' 記号を使用していましたが、 この記号はバージョン 2.1 の ':'" 記号で定義した データベース配列を参照することはできません。 この逆も認められていません。 また、データベース配列の定義に この 2 つの記号を混ぜて使うこともできません。 バージョン 1.2 で定義したデータベース配列を参照する場合、 'I + 1' または 'I - 2' などの添字記号を使用できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0436: データ構造の内部サイズが大きすぎます。

テキスト	データ構造の内部サイズが大きすぎます。
説明	DEFINE DATA ステートメントのデータ構造サイズが 大きすぎます。
対処	変数の数、または変数のオカレンス数を減らしてください。

NAT0437: 現在の構造に対する定数定義がありません。

テキスト	現在の構造に対する定数定義がありません。
説明	ある変数が DEFINE DATA ステートメントの 'CONST' キーワードで 定数として定義されている場合、 その構造内の各エレメンタリフィールドは定数として定義する必要があります。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0438: レコード長は **1073741824** バイトを超えてはいけません。

テキスト	レコード長は 1073741824 バイトを超えてはいけません。
説明	READ/WRITE WORK FILE ステートメントで読み込む / 書き込むレコードの長さは 1073741824 バイト (= 1 GB) を超えてはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0439: 可変長フィールドは **WRITE WORK VARIABLE** でのみ指定できます。

テキスト	可変長フィールドは WRITE WORK VARIABLE でのみ指定できます。
説明	VARIABLE 節が指定されていない WRITE WORK FILE ステートメントで可変長フィールドを使用することはできません。 例：(誤) WRITE WORK FILE 1 array(1:j) (正) WRITE WORK FILE 1 VARIABLE array(1:j)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0440: DISPLAY と **NEWPAGE** は **AT TOP/END OF PAGE** では使用できません。

テキスト	DISPLAY と NEWPAGE は AT TOP/END OF PAGE では使用できません。
説明	DISPLAY/NEWPAGE ステートメントを AT TOP OF PAGE/AT END OF PAGE ステートメントブロック内に 指定しないでください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0441: RETURN または **END-SUBROUTINE** は条件ブロック内に使用できません。

テキスト	RETURN または END-SUBROUTINE は条件ブロック内に使用できません。
説明	RETURN または END-SUBROUTINE ステートメントを 次のステートメントブロック内に指定しないでください。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - ON ERROR

対処	プログラム / サブルーチンのエラーを修正してください。

NAT0442: RETRY ステートメントは条件ブロック内に指定できません。

テキスト	RETRY ステートメントは条件ブロック内に指定できません。
説明	RETRY ステートメントを 次のステートメントブロック内に指定しないでください。 - AT START/END OF DATA - AT TOP/END OF PAGE - AT BREAK - BEFORE BREAK PROCESSING - AT END OF FILE - IF NO RECORDS FOUND - DEFINE SUBROUTINE
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0443: C ルーチン名がジャンプテーブルに見つかりません。

テキスト	C ルーチン名がジャンプテーブルに見つかりません。
説明	CALL <MODULE> <ROUTINE> <ARGUMENTS> <routine> によって宣言されたルーチンが、 モジュールヘッダー csect <module> に宣言された ジャンプテーブルルックアップルーチンによって検出されません。 ジャンプテーブルルックアップルーチンも C で書かれていることに 注意してください。
対処	これは Natural Expert の内部エラーです。 Software AG に連絡して、エラーの発生した状況を説明してください。

NAT0444: Entire システムファイル用の **LFILE** 指示がタイプ **Entire** ではありません。

テキスト	Entire システムファイル用の LFILE 指示がタイプ Entire ではありません。
説明	Entire システムファイル (249,250) に対する LFILE 指示をチェックしてください。 Entire NTDB マクロエントリをチェックしてください。 NATPARM モジュールの NTDB マクロはデータベースタイプを決定します。 - NTDB ENTIRE,xyz ('xyz' はデータベース ID) NATPARM モジュールの NTLFILE マクロは Entire クロスリファレンスファイルおよびデータファイルを 定義します。 - NTLFILE 249,xyz,10 (SYS1) - NTLFILE 250,xyz,11 (SYS2) または、LFILE をダイナミックパラメータとして指定できます。

	例：LFILE=(249,xyz,10),LFILE=(250,xyz,11) いずれの場合も、データベースハンドラは タイプ ENTIRE として宣言する必要があります。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT0445: C バッファが他のアプリケーションに使用されています。

テキスト	C バッファが他のアプリケーションに使用されています。
説明	2 つのアプリケーションが Natural バッファを使用しています。 このエラーは 2 つ目のアプリケーションを開始したときに検出され、 データを保護するために、2 つ目のアプリケーションは開始できません。
対処	2 つのアプリケーションでバッファを分割して使用できる場合は 問題を解決できます。Software AG に連絡してください。

NAT0446: 属性表記内にステートメント名が見つかりました。

テキスト	属性表記内にステートメント名が見つかりました。
説明	Natural キーワードと同じ名前をカテゴリの属性に定義したときに起こります。
対処	属性の名前を変更してください。

NAT0447: Entire ファイルに対して **FIND UNIQUE** を使用できません。

テキスト	Entire ファイルに対して FIND UNIQUE を使用できません。
説明	このステートメントは Entire ではサポートされていません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0448: C インターフェイス **-** メモリバッファが得られません。

テキスト	C インターフェイス - メモリバッファが得られません。
説明	C で書かれた処理が MALLOC オペレーションを実行して ワークバッファを得るとき、環境インターフェイス NICMAIN の GETMAIN# エントリによってワークバッファを与えられます。 (逆に NICMAIN は C モジュールに宣言された セカンドバッファからワークバッファを得ます。) このバッファは Natural 環境に定義されていません。 このため、EXRSIZE または EXCSIZE の割り当てができません。
対処	- NATPARM モジュールで定義されている EXRSIZE または EXCSIZE に 十分なスペースがあるかどうかチェックしてください。 - または、バッファサイズを大きくしてください。

NAT0449: C ワークバッファが小さすぎます。

テキスト	C ワークバッファが小さすぎます。
説明	CALL <module> <routine> <arguments> C ワークバッファの初期化時に必要な最小サイズは次のとおりです。 <size of extern/static> + 4K
対処	これは Natural Expert の内部エラーです。 Software AG に連絡してください。

NAT0450: メモリが不十分なために **C** サブルーチンを実行できません。

テキスト	メモリが不十分なために C サブルーチンを実行できません。
説明	
対処	これは Natural Expert の内部エラーです。 Software AG に連絡してください。

11 Natural システムエラーメッセージ 0451～0500

NAT0451: Entire DB リクエストハンドラがロードできない、または見つかりません。

テキスト	Entire DB リクエストハンドラがロードできない、または見つかりません。
説明	Entire DB リクエストハンドラは、 Natural バージョン 2.1 ではモジュール 'AERNAT' に、 Natural バージョン 2.2 ではモジュール 'NATDREQ' に 含まれています。 おそらく、このモジュールが Natural にリンクされていません。
対処	リンクジョブをチェックして、 必要なモジュールを Natural にもう一度リンクしてください。

NAT0452: Entire が起動できません。

テキスト	Entire が起動できません。
説明	原因は、次のいずれかです。 - 要求を満たすための十分なスペースがありません。 - Entire バッファ (ZSIZE) が小さすぎます。最小値は 44 です。 - リンク、またはダイナミックなロードができなかったため、 Adabas/Entire 二ュークリアス (AERNUC) にアクセスできません。
対処	Entire DB の管理者に連絡してください。

NAT0454: Entire DB の再配置可能エラー。

テキスト	Entire DB の再配置可能エラー。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0455: Entire への最初のコマンドが '**DLOGON**' ではありません。

テキスト	Entire への最初のコマンドが 'DLOGON' ではありません。
説明	Entire データにアクセスする前に、 DLOGON ステートメントを正常に実行する必要があります。 これにより、ユーザー ID で、指定するアプリケーション、 セキュリティチェック、およびデータのアクセス権が決定します。
対処	アクセスする前に、システムが DLOGON を呼び出すことを確認し、 コードを修正してください。

NAT0456: Entire に対するファンクションコードが正しくありません。

テキスト	Entire に対するファンクションコードが正しくありません。
説明	Entire が解釈できない ファンクションコードフィールド (CB のオフセット 2) を持つ コントロールブロック (Adabas と同様のフォーマット) を Entire が受け取りました。 これは、システムの非互換性および / または Entire ワークエリアの上書きによって起こります。
対処	アプリケーションダンプを生成し、Software AG サポートに連絡してください。

NAT0457: Entire のバージョンが矛盾しています。

テキスト	Entire のバージョンが矛盾しています。
説明	これは、インターフェイス CSECT DDIPFNAT (AERNUC) と 他のバージョンの初期化モジュール ADDINIT (AERNAT) の リンクによって起こります。

対処	- Natural/Entire リンクジョブの 'INCLUDE' データセットを チェックしてください。または- システム管理者に連絡してください。

NAT0458: 指定された名前の '**RETAIN AS**' 集合が存在しません。

テキスト	指定された名前の 'RETAIN AS' 集合が存在しません。
説明	これは、例えば FIND が 存在しない ISN 集合、または解放された ISN 集合を 参照した場合に起こります。 詳細については、『Entire DB プログラマズガイド』の FIND ステートメントの RETAIN 節を参照してください。
対処	アプリケーションプログラムの ISN 集合の利用が 正しいことを確認してください。

NAT0459: コントロールブロックが整列されていません。

テキスト	コントロールブロックが整列されていません。
説明	ダイレクトコマンドのコントロールブロックのフルワードを 整列させる必要があります。
対処	プログラムをチェックして、 コントロールブロックを揃えてください。

NAT0460: レコード長がオープン長より大きい。

テキスト	レコード長がオープン長より大きい。
説明	Entire DB が EXPORT/IMPORT によって ワークファイル 1 にレコードを書き込もうとしましたが、 このワークファイルがすでに 4096 バイトより小さい長さのレコードで開かれていました。
対処	読み込み / 書き込みするプログラムをチェックして、 最初の読み込み / 書き込みレコードが 少なくとも 4096 バイトあることを確認してください。 または、DCB をチェックしてください。

NAT0461: DEFINE WINDOW ステートメントの **CONTROL** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの CONTROL 節にエラーがあります。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの CONTROL 節は、 次のように指定する必要があります。 CONTROL SCREEN、または CONTROL WINDOW CONTROL 節が省略されると、 CONTROL WINDOW がデフォルトで適用されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0462: DEFINE WINDOW ステートメントの **SYMBOL** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの SYMBOL 節にエラーがあります。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの正しい構文については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0463: カラー、または属性の指定が正しくありません。

テキスト	カラー、または属性の指定が正しくありません。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの REVERSED 節または FRAMED 節に 不正な属性または不正なカラーコードが指定されました。 REVERSED 節または FRAMED 節に指定できる属性は、 CD (カラー定義) だけです。 カラー定義は (CD=cc) と定義する必要があります ('cc' はカラーコードです)。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0464: DEFINE/SET WINDOW にウィンドウ名がない、または正しくありません。

テキスト	DEFINE/SET WINDOW にウィンドウ名がない、 または正しくありません。
説明	DEFINE WINDOW または SET WINDOW ステートメントでは、 定義するウィンドウ名はキーワード 'DEFINE/SET WINDOW' の直後に 指定する必要があります。 ウィンドウ名については、ユーザー定義変数名と同じ規則が適用されます (Natural ドキュメント参照)。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0465: WINDOW :1: の使用が矛盾しています。

テキスト	WINDOW ... の使用が矛盾しています。
説明	- このウィンドウ名が 2 つの DEFINE WINDOW ステートメントにより 2 回定義されました。または - ウィンドウがプログラム (INPUT WINDOW ステートメントなど) で 参照されましたが、そのウィンドウが DEFINE WINDOW ステートメントで定義されていませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0466: DEFINE WINDOW ステートメントの **SIZE** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節にエラーがあります。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節は、 次のように指定する必要があります。 SIZE AUTO SIZE QUARTER SIZE lines * columns SIZE 節が省略されると、SIZE AUTO がデフォルトで適用されます。 DEFINE WINDOW 構文の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0467: DEFINE WINDOW ステートメントの **BASE** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの BASE 節にエラーがあります。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの BASE 節は、 次のように指定する必要があります。 - BASE CURSOR - BASE TOP LEFT - BASE TOP RIGHT - BASE BOTTOM LEFT - BASE BOTTOM RIGHT - BASE 行位置 / 欄位置 BASE 節が省略されると、BASE CURSOR がデフォルトで適用されます。 DEFINE WINDOW 構文の詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0468: DEFINE WINDOW ステートメントの **TITLE** 節にエラーがあります。

テキスト	DEFINE WINDOW ステートメントの TITLE 節にエラーがあります。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの TITLE 節には、 キーワード 'TITLE' の直後に 英数字の変数、または定数を指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0469: CLOSE WORK FILE ステートメントの位置が正しくありません。

テキスト	CLOSE WORK FILE ステートメントの位置が正しくありません。
説明	CLOSE WORK FILE ステートメントを 同じワークファイルを参照する READ WORK FILE ループ内に 指定しないでください。
対処	CLOSE WORK FILE ステートメントを READ WORK FILE ループの外側に指定してください。

NAT0470: RET、**SORTKEY**、または **VAL** 関数のオペランドが正しくありません。

テキスト	RET、SORTKEY、または VAL 関数のオペランドが正しくありません。
説明	RET、SORTKEY、または VAL 関数のオペランドは英数字でなければなりません。 また、SORTKEY オペランドの長さは 253 を超えてはいけません。
対処	RET 関数に英数字のプログラム名を指定してください。 システム関数 SORTKEY および VAL を英数字以外のフィールドに適用しないでください。 SORTKEY オペランドの長さを 253 以下にしてください。

NAT0471: SUBSTRING オプションのオペランドが正しくありません。

テキスト	SUBSTRING オプションのオペランドが正しくありません。
説明	SUBSTRING オプションに指定するフィールド名は、 英数字 (A)、バイナリ (B)、または Unicode (U) フォーマットで指定する必要があります。 サブストリングのフィールド開始位置および長さは、 数値でなければなりません。 基礎となるフィールドの物理長を超えることはできません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0472: このユーザー定義名は **Natural** の予約語です。

テキスト	このユーザー定義名は Natural の予約語です。
説明	Natural プロファイルパラメータで KC=ON (keyword check) が設定されているため、 ユーザー定義名は Natural の予約語と同じではいけません。
対処	違う名前を使用してください。

NAT0473: DEFINE PRINTER ステートメントのパラメータに間違いがあります。

テキスト	DEFINE PRINTER ステートメントのパラメータに間違いがあります。
説明	次の条件を満たさない場合にこのエラーが起こります。 - 'PROFILE'、'FORMS'、または 'NAME' の後のオペランドは 英数字フォーマットで、長さが 8 以下。 - 'DISP' の後のオペランドは 英数字フォーマットで、長さが 4 以下。 - 'COPIES' の後のオペランドは整数 (フォーマットは N、P、または I で、小数なし)。 - これらの節はそれぞれ 1 度しか指定できません。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0474: フィールド属性 **DF** は、このタイプのフィールドには使用できません。

テキスト	フィールド属性 DF は、このタイプのフィールドには使用できません。
説明	フィールド属性 DF は、日付タイプのフィールドに使用します。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0475: INCLUDE ステートメントのネストは **20** レベル未満でなければなりません。

テキスト	INCLUDE ステートメントのネストは 20 レベル未満でなければなりません。
説明	プログラム中に少なくとも 20 レベルの INCLUDE ステートメントのネストがあります。
対処	INCLUDE ステートメントのネストを 20 レベル未満に減らしてください。

NAT0476: :1: のデータサイズは、**:2:** を超えてはいけません。

テキスト	... のデータサイズは、... を超えてはいけません。
説明	変数またはデータ構造のサイズが許可された最大サイズを超えています。
対処	変数またはデータ構造のサイズを減らしてください。

NAT0477: 指定された数値は有効な範囲 **:1:** に含まれていません。

テキスト	指定された数値は有効な範囲 ... に含まれていません。
説明	指定された値は許された範囲外にあります。
対処	正しい数値を指定してください。

NAT0478: CODEPAGE 節の使用または指定が正しくありません。

テキスト	CODEPAGE 節の使用または指定が正しくありません。
説明	CODEPAGE 節は、フォーマット A または B のオペランドだけに使用できます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0479: MOVE ENCODED ステートメントでのオペランドタイプの組み合わせが正しくありません。

テキスト	MOVE ENCODED ステートメントでのオペランドタイプの組み合わせが正しくありません。
説明	MOVE ENCODED ステートメントは、あるコードページエンコードのデータを、 別のエンコードに変換するために使用します。 このため、CODEPAGE 節の追加により 1 つのオペランドを 英数字またはバイナリフィールドとして指定するか、または 1 つの オペランドを英数字またはバイナリとして指定し、他のオペランドを Unicode として指定する必要があります。 正しいオペランドの組み合わせは次のとおりです。 MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO U MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO A/B MOVE ENCODED A/B IN CODEPAGE <cp1> TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED U TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED A/B TO A/B IN CODEPAGE <cp2> MOVE ENCODED U TO A/B MOVE ENCODED A/B TO U
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0480: フィールド属性 **SB** の使用が不正です。

テキスト	フィールド属性 SB の使用が不正です。
説明	選択ボックス節 (SB=. .) は、英数字フィールドにだけ使用できます。 さらに、 - 指定されたパラメータフィールドは同様に英数字でなければなりません。 - パラメータフィールドの数は、20 以下にする必要があります。 選択ボックス節 (SB=. .) は、次に対して使用することはできません。 - 名前付き定数として定義されたフィールド (DEFINE DATA の CONST 節参照) 。 - システム変数 (例 : *PROGRAM、*COM) 。 - マルチプルバリューフィールド (例 : #ARRAY(1:10)) 。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0481: SB= または **RB=** 節の複数使用は許可されていません。

テキスト	SB= または RB= 節の複数使用は許可されていません。
説明	INPUT フィールドのための選択ボックス (SB=..) またはラジオボタン (RB=..) 節を複数定義しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0482: 長さインジケータは **UPDATE** または **STORE** で参照できません。

テキスト	長さインジケータは UPDATE または STORE で参照できません。
説明	長さインジケータフィールドを使用すると、読み込み (READ/FIND) 操作時に、Adabas のロング英字 (LA) または LOB フィールド (LA/LOB) の長さを取得できます。 長さインジケータフィールドは、STORE または UPDATE ステートメントで使用されるビューで参照しないでください。 例 : DEFINE DATA LOCAL 1 V1 V1 VIEW OF MYFILE 2 L@LA-FIELD (I4) <-- 長さインジケータフィールド 2 LA-FIELD (A) DYNAMIC END-DEFINE STORE V1 LA または LOB フィールドが STORE/UPDATE フィールドリストの一部である場合、 ダイナミック変数の現在の長さに基づいて、 対応する長さフィールド情報が Natural ランタイムシステムによって 自動的に追加されます。 同じ LA/LOB フィールドに対して長さを重複して設定することを避けるため、 長さフィールドは STORE/UPDATE フィールドでは使用できません。
対処	LA/LOB フィールドおよび長さフィールドは、STORE/UPDATE フィールドで使用しないでください。 UPDATE または STORE で使用されているデータビューから長さフィールドを削除します。

NAT0483: Index missing for sub-/super-descriptor field :1:.

テキスト	Index missing for sub-/super-descriptor field ....

説明	A sub-/super-descriptor field containing a periodic-group field (orparts ↩ thereof) was specified in a data view without index. This is notpermitted ↩ by Adabas for database calls other than HISTOGRAM (L9). Witha HISTOGRAM ↩ you cannot read more than a single field. This viewdefinition consists of ↩ multiple fields and thus cannot be used for aHISTOGRAM. Furthermore, due ↩ to the missing index, it cannot be used forother database calls.What to ↩ do?1. Reduce the number of view fields to only the sub-/super-descriptor ↩ - without index to make the view usable for HISTOGRAM only; - with an index ↩ to make the view usable for all browsing statements.2. If multiple fields ↩ are defined in the view, supply an index or index-range for the ↩ sub-/super-descriptor to make it usable for all database browsing statements ↩ other than HISTOGRAM.
対処	See description.

NAT0484: Field structure of view :1: only usable for HISTOGRAM.

テキスト	Field structure of view ... only usable for HISTOGRAM.
説明	The view referenced is only applicable to a HISTOGRAM statement, asit ↩ consists of only a single sub-/super-descriptor field containing ↩ aperiodic-group field (or parts thereof) without an index specification.This ↩ is not permitted by Adabas and will cause Adabas errors when usedwith a ↩ database statement other than HISTOGRAM.
対処	Supply index or index-range for the sub-/super-descriptor field,or use the ↩ view only for HISTOGRAM statements.

NAT0485: Incorrect use of WITH SHARED HOLD MODE=C in :1: at line :2:.

テキスト	Incorrect use of WITH SHARED HOLD MODE=C in ... at line ....
説明	When a WITH SHARED HOLD MODE=C option is used in a READ/FIND, a recordbeing ↩ read is only returned to the caller if it is not in exclusivehold status ↩ by another user at the time of the record fetch. The recordis not put in ↩ hold status by this operation.This conflicts with the use of a DELETE/UPDATE ↩ statement which refers tothe READ/FIND including the WITH SHARED HOLD MODE=C ↩ option, because theexecution of a DELETE/UPDATE requires for the underlying ↩ record to bein hold status.

対処	Do not use WITH SHARED HOLD MODE=C option in a READ/FIND if the ↩ recordreceived is updated or deleted.

NAT0486: Error in READLOB/UPDATELOB statement. Reason code :1:.

テキスト	Error in READLOB/UPDATELOB statement. Reason code ....
説明	Reason codes:01: No WITH ISN clause specified, but a default reference ↩ could not be found.02: Auto-referenced statement has no *ISN.03: ↩ Auto-referenced statement accesses different DBID/FNR.04: Incorrect view ↩ name specified.05: Specified view does not contain a field.06: View field ↩ is no LOB field.07: View field must be of format Alpha/Binary/Unicode with ↩ a fixed (non 'dynamic') length.08: View field not unique in view.
対処	Check program and correct error.

NAT0487: END-READLOB missing for READLOB in line :1:.

テキスト	END-READLOB missing for READLOB in line ....
説明	In structured mode, a READLOB statement must be terminated by acorresponding ↩ END-READLOB statement.Example: READLOB ... DISPLAY COMPUTE ... END-READLOB
対処	Supply END-READLOB to close the READLOB loop.

12 Natural システムエラーメッセージ 0551〜0600

NAT0598: Program code not compatible with Natural for LUW. Reason :1:.

テキスト	Program code not compatible with Natural for LUW. Reason ....
説明	The compiler parameter LUWCOMP=ON is set. The used syntax constructionis not accepted by Natural for Open Systems (LUW).Possible reason codes:01: More than 7 precision digits. 14: IN SHARED HOLD / SKIP IN HOLD.04: New compiler option. 15: READLOB / UPDATELOB.07: MOVE ALL with SUBSTR option. 16: Array field in SEPARATE.11: READ WORK with ADJUST option. 17: SEPARATE POSITION clause.12: REINPUT with MARK .. (CV=..). 19: Wrong system variable.13: WRITE WORK with system variable.For a more detailed error description, see the compiler parameterLUWCOMP (NTCMPO macro) in the Natural documentation.
対処	Do not use the indicated programming feature, or set LUWCOMP=OFF.

NAT0599: Program code not compatible with Version 4.2. Reason :1:.

テキスト	Program code not compatible with Version 4.2. Reason ....
説明	Compiler parameter V42COMP=ON is set. The following syntax constructionsare not accepted by Natural Version 4.2. Possible reason codes:01: More than 7 precision digits 11: READ WORK with ADJUST option02: Generated pgm size (GPT) > 64KB 12: REINPUT with MARK .. (CV=..)03: User-defined functions 13: WRITE WORK with system variable04: New compiler option 14: IN SHARED HOLD / SKIP IN HOLD05: Parameter EMU=,ICU=,LCU=,TCU= 15: READLOB / UPDATELOB06: FOR statement with expression 16: Array field in SEPARATE07: MOVE ALL with SUBSTR option 17: SEPARATE POSITION clause08: New functions *MAXVAL,.. 18: Empty DEFINE DATA block09: DECIDE with SUBSTR option 19: Wrong system variable.10: EXAMINE with DIRECTION/POSITIONFor a more detailed error description, see the compiler parameterV42COMP (NTCMPO macro) in the Natural documentation.

対処	Do not use the indicated programming feature, or set V42COMP=OFF.

NAT0600: :1: 行目の **IF** ステートメントに対して **END-IF** がありません。

テキスト	... 行目の IF ステートメントに対して 'END-IF' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、IF ステートメントブロックは 対応する END-IF ステートメントで終了する必要があります。 例： READ ... IF ... COMPUTE ... COMPUTE ... END-IF DISPLAY END-READ END
対処	プログラムの誤りを修正してください。

13 Natural システムエラーメッセージ 0601～0650

NAT0601: :1: 行の **AT START OF DATA** に対応する **END-START** がありません。

テキスト	... 行の AT START OF DATA に対応する 'END-START' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 AT START OF DATA ステートメントブロックは 対応する END-START ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT START OF DATA MOVE ... DISPLAY ... END-START DISPLAY ... END-READ END
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0602: :1: 行の **AT END OF DATA** に対応する **END-ENDDATA** がありません。

テキスト	... 行の AT END OF DATA に対応する 'END-ENDDATA' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 AT END OF DATA ステートメントブロックは 対応する END-ENDDATA ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT END OF DATA COMPUTE ... DISPLAY ...

	END-ENDDATA DISPLAY ... END-READ END
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0603: :1: 行の **AT BREAK** に対応する **'END-BREAK'** がありません。

テキスト	... 行の AT BREAK に対応する 'END-BREAK' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 AT BREAK ステートメントブロックは 対応する END-BREAK ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... AT BREAK ... DISPLAY ... END-BREAK DISPLAY END-READ END
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0604: :1: 行の **AT TOP OF PAGE** に対応する **END-TOPPAGE** がありません。

テキスト	... 行の AT TOP OF PAGE に対応する 'END-TOPPAGE' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 AT TOP OF PAGE ステートメントブロックは 対応する END-TOPPAGE ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ ... DISPLAY ... AT TOP OF PAGE WRITE ... END-TOPPAGE DISPLAY ... END-READ END

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0605: :1: 行の **AT END OF PAGE** に対応する **END-ENDPAGE** がありません。

テキスト	`... 行の AT END OF PAGE に対応する 'END-ENDPAGE' がありません。`

説明	ストラクチャードモードでは、
	`AT END OF PAGE` ステートメントブロックは
	対応する `END-ENDPAGE` ステートメントで
	終了する必要があります。
	例：
	`READ ...`
	`AT END OF PAGE`
	`DISPLAY ...`
	`WRITE TRAILER ...`
	`END-ENDPAGE`
	`DISPLAY ...`
	`END-READ`
	`END`

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0606: :1: 行の **BEFORE BREAK** に対応する '**END-BEFORE**' がありません。

テキスト	`... 行の BEFORE BREAK に対応する 'END-BEFORE' がありません。`
説明	ストラクチャードモードでは、 `BEFORE BREAK PROCESSING` ステートメントブロックは 対応する `END-BEFORE` ステートメントで 終了する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0607: IF NO RECORDS FOUND に対応する '**END-NOREC**' がありません。

テキスト	`IF NO RECORDS FOUND に対応する 'END-NOREC' がありません。`

説明	ストラクチャードモードでは、
	`IF NO RECORDS FOUND` 節は
	対応する `END-NOREC` ステートメントで
	終了する必要があります。
	例：
	`FIND ...`
	`IF NO RECORDS FOUND`
	`DISPLAY ...`
	`END-NOREC`

	DISPLAY END-FIND
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0608: :1: 行の **AT END OF FILE** に対応する **END-ENDFILE** がありません。

テキスト	... 行の AT END OF FILE に対応する 'END-ENDFILE' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 AT END OF FILE ステートメントブロックは 対応する END-ENDFILE ステートメントで 終了する必要があります。 例： READ WORK FILE AT END OF FILE COMPUTE ... DISPLAY ... END-ENDFILE DISPLAY ... END
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0609: :1: 行の **ON ERROR** ステートメントに対応する '**END-ERROR**' がありません。

テキスト	... 行の ON ERROR ステートメントに対応する 'END-ERROR' がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 ON ERROR ステートメントブロックは 対応する END-ERROR ステートメントで 終了する必要があります。 例： FIND ... UPDATE ... ON ERROR RETRY END-ERROR END TRANSACTION END-FIND END

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0610: このステートメントはレポーティングモードで使ってはいけません。

テキスト	このステートメントはレポーティングモードで使ってはいけません。
説明	ストラクチャードモードでしか使えないステートメントを 実行しようしました。
対処	正しいプログラミングモードになっていることを確かめてください。

NAT0611: ループ／条件が適切に閉じられていません。

テキスト	ループ / 条件が適切に閉じられていません。
説明	アクティブなループまたは条件が適切に閉じられていません。 例えば、ストラクチャードモードで FIND ステートメントを実行したが、 対応する END-FIND ステートメントを指定しませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0612: 指定したループ終了はストラクチャードモードでしか使えません。

テキスト	指定したループ終了はストラクチャードモードでしか使えません。
説明	
対処	プログラミングモードおよびプログラムをチェックし、 エラーを修正してください。

NAT0613: :1: 行の **FIND/SELECT** に対応する **END-FIND/END-SELECT** がありません。

テキスト	... 行の FIND/SELECT に対応する END-FIND/END-SELECT がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 FIND/SELECT ステートメントのループは、 対応する END-FIND/END-SELECT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： FIND ... * SELECT ... UPDATE * DISPLAY ... END TRANSACTION * END-SELECT END-FIND *

対処	FIND/SELECT ループを閉じるために、END-FIND/END-SELECT を指定してください。

NAT0614: :1: 行の **READ** に対応する **END-READ** がありません。

テキスト	... 行の READ に対応する END-READ がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 READ ステートメントのループは 対応する END-READ ステートメントで 閉じる必要があります。 例： READ ... DISPLAY COMPUTE ... END-READ
対処	READ ループを閉じるために、END-READ を指定してください。

NAT0615: :1: 行の **HISTOGRAM** に対応する **END-HISTOGRAM** がありません。

テキスト	... 行の HISTOGRAM に対応する END-HISTOGRAM がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 HISTOGRAM ステートメントのループは 対応する END-HISTOGRAM ステートメントで 閉じる必要があります。 例： HISTOGRAM ... DISPLAY ... END-HISTOGRAM
対処	HISTOGRAM ループを閉じるために、END-HISTOGRAM を指定してください。

NAT0616: :1: 行の **SORT** に対応する **END-SORT** がありません。

テキスト	... 行の SORT に対応する END-SORT がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 SORT ステートメントのループは 対応する END-SORT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： FIND ... END-ALL SORT ...

	DISPLAY ... END-SORT
対処	SORT ループを閉じるために、END-SORT を指定してください。

NAT0617: :1: 行の **REPEAT** に対応する **END-REPEAT** がありません。

テキスト	... 行の REPEAT に対応する END-REPEAT がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 REPEAT ステートメントのループは 対応する END-REPEAT ステートメントで 閉じる必要があります。 例： REPEAT ... ... END-REPEAT
対処	REPEAT ループを閉じるために、END-REPEAT を指定してください。

NAT0618: :1: 行の **FOR** に対応する **END-FOR** がありません。

テキスト	... 行の FOR に対応する END-FOR がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 FOR ステートメントのループは 対応する END-FOR ステートメントで 閉じる必要があります。 例： FOR ... ... END-FOR
対処	FOR ループを閉じるために、END-FOR を指定してください。

NAT0619: :1: 行の **READ WORK FILE** に対応する **END-WORK** がありません。

テキスト	... 行の READ WORK FILE に対応する END-WORK がありません。

説明	ストラクチャードモードでは、 READ WORK FILE ステートメントのループは 対応する END-WORK ステートメントで 閉じる必要があります。 例： READ WORK FILE ... ... END-WORK
対処	READ WORK FILE ループを閉じるために、END-WORK を指定してください。

NAT0620: :1: 行の **CALL FILE** に対応する **END-FILE** がありません。

テキスト	... 行の CALL FILE に対応する END-FILE がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 CALL FILE ステートメントのループは 対応する END-FILE ステートメントで 閉じる必要があります。 例： CALL FILE ... ... END-FILE
対処	CALL FILE ループを閉じるために、END-FILE を指定してください。

NAT0621: :1: 行の **CALL LOOP** に対する **END-LOOP** がありません。

テキスト	... 行の CALL LOOP に対応する END-LOOP がありません。
説明	ストラクチャードモードでは、 CALL LOOP ステートメントのループは 対応する END-LOOP ステートメントで 閉じる必要があります。 例： CALL LOOP ... ... END-LOOP

対処	CALL LOOP ループを閉じるために、END-LOOP を指定してください。

NAT0622: :1: 行の **DEFINE SUBROUTINE** に対する **RETURN/END-SUBROUTINE** がありません。

テキスト	... 行の DEFINE SUBROUTINE に対する RETURN/END-SUBROUTINE がありません。
説明	このエラーは、次のいずれかの条件で発生します。 1) サブルーチンが、条件ステートメントブロック (例 : IF、DECIDE) 内 またはループ開始ステートメント (例 : REPEAT、FIND) 内で 開始されましたが、当ステートメントの終了 (例 : END-IF、END-REPEAT) で 閉じられませんでした。 例 : ! IF FIELD = 'A' THEN ! REPEAT ! ! DEFINE SUBROUTINE ABC ! DEFINE SUBROUTINE ABC ! ! WRITE 'HELLO' ! WRITE 'HELLO' ! ! END-IF ! END-REPEAT ! 2) サブルーチンが開始されましたが、プログラムの終了時に 閉じられませんでした。 例: DEFINE SUBROUTINE ABC END
対処	サブルーチンを閉じるために、RETURN または END-SUBROUTINE を指定してください。

NAT0623: 変数／フィールド／ビューは **DEFINE DATA** 内で定義しなければなりません。

テキスト	変数 / フィールド / ビューは DEFINE DATA 内で定義する必要があります。
説明	DEFINE DATA ステートメントがある場合、 使用するすべての変数 / フィールドは、 DEFINE DATA ステートメントで LDA、GDA、または PDA に定義する必要があります。 これらはキーワード USING を使用して DEFINE DATA ステートメントで参照します。 このエラーが DDM に対して起こり、 DEFINE DATA ステートメントがある場合、 DDM のビュー (およびプログラムで参照する全データベースフィールド) は、その DEFINE DATA ステートメントで定義する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0624: END-... ステートメントがない、またはその位置が正しくありません。

テキスト	END-... ステートメントがない、またはその位置が正しくありません。
説明	例： READ ... IF AGE > 65 THEN COMPUTE ... DISPLAY ... END-READ END-IF END END-IF ステートメントは、END-READ ステートメントの前で しかも IF ステートメントの THEN 節で実行する 最後のステートメントの後に指定する必要があります。 ここでは、プログラムが実行する機能によって COMPUTE または DISPLAY ステートメントの後に指定できます。 'xxx ... END-xxx' 形式のステートメントは、 正確に対にする必要があります。
対処	すべてのステートメントブロックが、 対応する 'END-xxx' ステートメントで終了していること、および 各 'xxx' が 'END-xxx' と正しく対になっていることをチェックしてください。

NAT0625: DECIDE ステートメントに対応する **END-DECIDE** がありません。

テキスト	DECIDE ステートメントに対応する END-DECIDE がありません。
説明	DECIDE ON または DECIDE FOR ステートメントで開始した ステートメントブロックは、 END-DECIDE ステートメントで終了する必要があります。 このエラーは、END-DECIDE ステートメントの位置が 正しくない場合にも発生します。
対処	DECIDE ステートメントと対応する END-DECIDE ステートメントが 正しく対になっていることを確認してください。

NAT0626: ステートメントは **:1:** ではサポートされません。

テキスト	ステートメントは ... ではサポートされません。

説明	使用中のデータベースタイプではステートメントを使用できません。 どのステートメントがどのデータベースタイプを サポートしているかの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0627: キーワード '**TO**' による値の範囲は **:1:** に対してサポートされません。

テキスト	キーワード 'TO' による値の範囲は ... に対してサポートされません。
説明	ステートメントオプション 'TO' は、使用中のデータベースタイプでは 使用できません。 READ または HISTOGRAM ステートメントの値の範囲を指定するために 'TO' が使用される場合、Natural は終了値チェックを行いませんが、 データベースによって実行されます。 ただし、これには、 アクセスされるデータベースの対応する機能を必要とします。 したがって、基盤データベースが Adabas バージョン 7 (以降) 、VSAM、DL/I、 または DB2 の場合に限り、オプション 'TO' を使用することができます。 どのステートメントがどのデータベースタイプを サポートしているかの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0628: :1: のための **MULTI-FETCH** オプションの使用が不正です。

テキスト	... のための MULTI-FETCH オプションの使用が不正です。
説明	基礎となるデータベースが Adabas バージョン 5.3 (以降) である場合、 MULTI-FETCH オプションは単に使用することができます。 さらに、READ または HISTOGRAM ステートメントが 'DYNAMIC .. SEQUENCE' 節に 含まれている場合、MULTI-FETCH オプションの使用は許可されてません。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0629: 関係式に矛盾のある範囲の組み合わせがあります。

テキスト	関係式に矛盾のある範囲の組み合わせがあります。

説明	関係式内で 2 つの配列を比較する場合、 一方の配列のそれぞれの次元のオカレンス数が もう一方の配列の対応する次元のオカレンス数と 一致する必要があります。 一方の配列に対応する次元が定義されていなければ、 その次元は、1 次元とみなされます。 1 つの次元の可変オカレンス数を もう一方の対応する次元の固定オカレンス数と 比較しないでください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0630: RESET INITIAL ステートメントにエラーがあります。

テキスト	RESET INITIAL ステートメントにエラーがあります。
説明	RESET INITIAL ステートメントの正しい使い方については、 Natural ドキュメントを参照してください。 特に、再定義されたフィールドの RESET INITIAL ができないこと、および RESET INITIAL はデータベースフィールドには適用できないことに 注意してください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0631: 算術／**ASSIGN** ステートメントで正しくない添字が指定されました。

テキスト	算術 / ASSIGN ステートメントで正しくない添字が指定されました。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0632: HISTOGRAM ステートメントで正しくないビュー構造が定義されました。

テキスト	HISTOGRAM ステートメントで正しくないビュー構造が定義されました。
説明	ビューを使用した HISTOGRAM ステートメントでは、 ビューは検索に使う 1 つの変数だけを定義しなくてはいけません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0633: スーパー／サブディスクリプタを含むビューの使用が正しくありません。

テキスト	スーパー / サブディスクリプタを含むビューの使用が正しくありません。
説明	Adabas バージョンによっては、サブ / スーパーディスクリプタは、HISTOGRAM ステートメントでしか読み込むことはできません。または、すべてのデータベースアクセスステートメントで読み込み可能です。ただし、UPDATE または STORE ステートメントは、サブ / スーパーディスクリプタに適用しないでください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0634: アクセス条件はこのタイプのデータベースにサポートされていません。

テキスト	アクセス条件はこのタイプのデータベースにサポートされていません。
説明	この DDM の DBID は非 Adabas データベースを示しています。非 Adabas データベースは Natural のデータベースアクセスステートメントに対して一定の制限を持っています。
対処	アクセスするデータベースタイプに適用される制限については、Natural ドキュメントを参照してください。

NAT0635: DEFINE DATA での '**BY VALUE**' または '**OPTIONAL**' の使い方が間違っています。

テキスト	DEFINE DATA での 'BY VALUE' または 'OPTIONAL' の使い方が間違っています。
説明	キーワード 'BY VALUE' または 'OPTIONAL' は、DEFINE DATA PARAMETER 節で定義されたフィールドにのみ使用できます。ただし、REDEFINE フィールドまたはグループに対しては使用できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0636: :1: に対する **STARTING WITH ISN** 節の使い方が間違っています。

テキスト	... に対する STARTING WITH ISN 節の使い方が間違っています。
説明	STARTING WITH ISN 節は、次の場合にのみ使用できます。 - Adabas アクセス : FIND READ 論理順 READ 物理順 - VSAM アクセス : READ 物理順
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0637: 不正な **USING** 節が指定されています。

テキスト	不正な USING 節が指定されています。
説明	OPEN CONVERSATION ステートメント内に不正な USING 節が指定されています。次の原因が考えられます。 1.1. USING キーワードが指定されていません。 2.2. 不正なオブジェクト名が指定されています。 英数字タイプの定数または変数で 8 バイト以内である必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0638: CLOSE CONVERSATION ステートメント内に不正な節があります。

テキスト	CLOSE CONVERSATION ステートメント内に不正な節があります。
説明	CLOSE CONVERSATION ステートメント内のオペランドが正しくありません。 キーワード ALL または *CONVID または (I4) タイプの変数を 指定してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0640: このステートメントタイプでは、ラベルによる参照はできません。

テキスト	このステートメントタイプでは、ラベルによる参照はできません。

説明	ラベルは次のステートメント参照にのみ使用できます。 FIND、READ、GET、HISTOGRAM、SORT、FOR、 CALL FILE、CALL LOOP、STORE、REPEAT
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0641: DEFINE PRINTER ステートメントの構文が正しくありません。

テキスト	DEFINE PRINTER ステートメントの構文が正しくありません。
説明	正しい構文は次のとおりです。 DEFINE PRINTER (論理名 = n) OUTPUT オペランド1 ここで '論理名' とはプリンタに割り当てた名前で、 'n' は 1~31 のプリンタ番号です。 'オペランド1' はオンラインスプーリングシステム内の出力先です。 また、次の名前でデフォルトに対し 追加レポートを割り当てることができます。 SOURCE - Natural ソースエリア内に出力 CONNECT - Con-nect フォルダに出力 DUMMY - 出力を削除 HARDCOPY - 現在のハードコピーデバイスに出力
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0642: OUTPUT 変数／定数の定義が正しくありません。

テキスト	OUTPUT 変数 / 定数の定義が正しくありません。
説明	フィールドは A8 のフォーマットで指定する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0643: :1: 行の **PROCESS PAGE MODAL** に対応する **END-PROCESS** がありません。

テキスト	... 行の PROCESS PAGE MODAL に対応する END-PROCESS がありません。
説明	このエラーは次のいずれかの条件で発生します。 1) PROCESS PAGE MODAL ステートメントが、条件ステートメントブロック (例 : IF、DECIDE) 内 またはループ開始ステートメント (例 : REPEAT、FIND) 内で 開始されましたが、当ステートメントの終了 (例 : END-IF、END-REPEAT) で 閉じられませんでした。 例 : IF FIELD = 'A' THEN * REPEAT PROCESS PAGE MODAL * PROCESS PAGE MODAL MOVE #A TO #B * MOVE #A TO #B END-IF * END-REPEAT 2) PROCESS PAGE MODAL ステートメントが開始されましたが、プログラム終了時に

	閉じられませんでした。 例: PROCESS PAGE MODAL END
対処	PROCESS PAGE MODAL ブロックを閉じるために、END-PROCESS を指定してください。

NAT0645: END-PARSE missing for PARSE XML in line :1:.

テキスト	END-PARSE missing for PARSE XML in line ....
説明	In structured mode, a PARSE XML statement must be followedby a corresponding ↩ END-PARSE statement.Example: PARSE XML #DOC DISPLAY .. END-PARSE
対処	Supply keyword END-PARSE to close the PARSE XML loop.

NAT0646: :1: missing for :2: in line :3:.

テキスト	... missing for ... in line ....
説明	In the case of flexible SQL syntax, the characters ">>" are notrecognized ↩ for the matching "<<" characters.Probably a Natural comment sign "/*" is ↩ contained in the flexible SQLstring between the characters "<<" and ">>".
対処	Check the flexible SQL syntax for the characters ">>".

NAT0648: 矛盾するパラメータ **:1:** が指定されました。 理由コード **:2:**

テキスト	矛盾するパラメータ ... が指定されました。 理由コード ....
説明	CALLNAT ステートメントに提供されたパラメータが、 サブプログラムの対応するパラメータ定義と互換性がありません。 理由コード: 04 : CALLNAT パラメータが空のパラメータ ('nX') として指定されましたが、 サブプログラムの定義が 'OPTIONAL' ではありません。' 08 : サブプログラムの必須パラメータが、CALLNAT ステートメントに 指定されていません。 12 : パラメータのフォーマットが一致しません。 16 : パラメータの長さが一致しません。 20 : パラメータの配列定義が一致しません。

対処	互換性のあるパラメータを指定してください。

14 Natural システムエラーメッセージ 0651〜0700

NAT0651: パラメータ数（**:1: / :2:**）が一致しません。

テキスト	パラメータ数 (CALLNAT NBR/SUBPGM NBR) が一致しません。
説明	参照されるサブプログラムに定義されたパラメータ数と、 CALLNAT で提供されるパラメータ数が一致しません。
対処	

NAT0652: :1: に対するシーケンス節が正しくありません。

テキスト	... に対するシーケンス節が正しくありません。
説明	ビュー名によって定義された指定データベースは、 READ または HISTOGRAM ステートメントに指定された順序での レコード処理をサポートしていません。 READ .. IN LOGICAL SEQUENCE .. および HISTOGRAM ステートメントでは、 DESCENDING の使用には Adabas バージョン 6.1 (以降) 、VSAM、または DB2 が必要です。 VARIABLE の使用には Adabas バージョン 6.2 (以降) 、VSAM、または DB2 が必要です。 DYNAMIC の使用には Adabas バージョン 7 (以降) 、または DB2 が必要です。 READ .. BY ISN .. ステートメントでは、 DESCENDING、VARIABLE、または DYNAMIC の使用は許可されていません。 READ .. IN PHYSICAL SEQUENCE .. ステートメントでは、 DESCENDING または VARIABLE の使用には VSAM または DB2 が必要です。 DYNAMIC の使用には DB2 が必要です。

対処	指定したデータベースビューまたはシーケンス節を 修正してください。

NAT0653: 不正な方向オペランドが指定されています。

テキスト	不正な方向オペランドが指定されています。
説明	次のいずれかのステートメントでの読み込み方向を制御するために 使用されるフィールド (#DIR) が正しく指定されていません。 READ ... IN VARIABLE #DIR SEQUENCE ... READ ... IN DYNAMIC #DIR SEQUENCE フィールド (DIR) のフォーマット / 長さは A1 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0654: NULL インジケータフィールドの使い方または定義が間違っています。

テキスト	NULL インジケータフィールドの使い方または定義が間違っています。
説明	次の状況が考えられます。 1.1. NULL インジケータフィールド (N§..) が I2 で DDM 内に定義されていません。 2.2. 検索変数として NULL インジケータフィールドが使用できるのは 等価演算子 ('=', EQ) の場合だけです。 他の演算子 (NE や LT など) では使用できません。 3.3. NULL インジケータフィールドは、FIND ..SORTED BY .. 節内の ソートフィールドとして 使用することは できません。 4.4. DB2 アクセス用に FIND ステートメントが生成されている場合は、 検索値は数値定数で提供する必要があります。
対処	

NAT0655: :1: に対する **WITH REPOSITION** 節の使用が間違っています。

テキスト	... に対する WITH REPOSITION 節の使用が間違っています。
説明	READ ... WITH REPOSITION ... の使用によるアクティブなループ内の 再位置決めは、データベースが Adabas バージョン 7 (以降)、VSAM、 または DL/I の場合の論理順の READ ステートメントにだけ許されます。

対処	WITH REPOSITION 節を削除するか、またはデータベースタイプ定義を修正してください (プロファイルパラメータ DB も参照) 。

NAT0666: ヘルプ要求の後、プログラム作成を続けてください。

テキスト	ヘルプ要求の後、プログラム作成を続けてください。
説明	このメッセージはエラーメッセージではなく、 最後に作成したプログラム行を再表示し、 ヘルプ機能を正常に終了させ、 ユーザーにプログラム作成を続けるよう指示するものです。
対処	プログラムの作成を続けてください。

NAT0667: バッチモードではオンラインヘルプ処理は使えません。

テキスト	バッチモードではオンラインヘルプ処理は使えません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0668: 不正なブロック名が指定された、またはブロックが存在しません。

テキスト	不正なブロック名が指定された、またはブロックが存在しません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0670: UNION の後に '**SELECT**' がありません。

テキスト	'UNION' の後に 'SELECT' がありません。
説明	SELECT ステートメントがキーワード 'UNION' を含むことは、 その SELECT ステートメントが さらに副 SELECT で継続されることを示します。 キーワード 'UNION' の後には、キーワード 'SELECT' が続く必要があります。 'SELECT' は、後続の副 SELECT の開始を示します。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0671: INTO または '**FROM**' がない、または位置が正しくありません。

テキスト	'INTO' または 'FROM' がない、または位置が正しくありません。
説明	UNION 連結 SELECT 構造の最初の SELECT ステートメントには、 選択リストの後に INTO 節がなければいけません。 後続の SELECT は INTO 節を含んでいてはなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0672: 順序項目の指定が正しくありません。

テキスト	順序項目の指定が正しくありません。
説明	整数タイプの定数、および列変数だけを 順序項目として指定できます。 SELECT 構造に 'UNION' がある場合は、 整数タイプの定数だけが指定可能です。 SELECT に受け取りダイナミックフィールドがある場合、 整数タイプの定数は許可されていません。 これは、受け取った値が切り捨てられる可能性があるためです。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0673: :1: および **:2:** の項目数が一致しません。

テキスト	リスト 1 およびリスト 2 の項目数が一致しません。
説明	リスト 1 およびリスト 2 の項目が一致しません。 指定されたリスト 1 の項目数は、 リスト 2 の項目数と同じでなければいけません。 リストの代わりにビューを使用できる場合、 再定義されたフィールドやグループは無視されるのに対して、 実際のデータ変数だけが処理されます。
対処	SQL ステートメントに関係する、リスト内の項目数を修正してください。

NAT0674: SELECT リストの表現定義が正しくありません。

テキスト	SELECT リストの表現定義が正しくありません。
説明	指定された SELECTION リスト項目が、不正なスカラ表現です。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0675: INTO リスト／インジケータ変数の定義が正しくありません。

テキスト	INTO リスト / インジケータ変数の定義が正しくありません。
説明	INTO リスト変数またはインジケータ変数の指定が正しくありません。 INTO リスト変数がプログラムにまだ定義されていない、または 2 度以上定義されている場合、 Natural は適切なフォーマット / 長さの定義を必要とします。 インジケータ変数のフォーマット / 長さは、B2 または I2 です。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0676: ビュー名の定義が正しくない、またはビューが見つかりません。

テキスト	ビュー名の定義が正しくない、またはビューが見つかりません。
説明	指定されたビュー名の定義が正しくありません。 または、指定されたビューがプログラムに見つかりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0677: スカラ関数表現が正しくありません。

テキスト	スカラ関数表現が正しくありません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0678: 関数表現が正しくありません。

テキスト	関数表現が正しくありません。
説明	COUNT、SUM、AVG、MAX、MIN 関数に指定された引数が正しくありません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0679: 指定したテーブル名が正しくない、またはデータベースが **DB2** ではありません。

テキスト	指定したテーブル名が正しくない、またはデータベースが DB2 ではありません。
説明	指定したテーブル名が正しい ID ではありません。 参照する DDM のデータベース ID は、 NTDB マクロで DB2 データベースとして指定されていません。 このエラーの別の原因として、 テーブル指定内に認可 ID が明示されており、 テーブル名にハイフンが含まれていることが考えられます。 例：SELECT ... FROM SQL.SQL-TABLE ... 上記の例は正しくありません。 ハイフンを含むテーブル名が使用される場合、 認可 ID を接頭辞として明示しないでください。
対処	- 正しいテーブル名を使用してください。 - または、このタイプのデータベースに対して このステートメントを使用しないでください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0680: 指定された条件が正しくありません。

テキスト	指定された条件が正しくありません。
説明	指定された検索条件内で、その条件が存在しない、 または、完全に / 正しく指定されていないので、 Natural はその条件を解決することができません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0681: 指定された条件が正しくありません。

テキスト	指定された条件が正しくありません。
説明	次のいずれかの状態により、このエラーが発生します。 - EXISTS 条件の副参照が誤って指定されました。 - 検索条件の左カッコに対して、 対応する右カッコが指定されていません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0682: 指定された **LIKE** 条件が正しくありません。

テキスト	指定された LIKE 条件が正しくありません。
説明	LIKE 条件の 'LIKE' または 'ESCAPE' の後に指定された '原子' のいずれかが正しくありません。 原子は定数または有効なユーザー定義変数でなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0683: IS <NOT> NULL 条件にキーワード '**NULL**' が指定されていません。

テキスト	IS <NOT> NULL 条件にキーワード 'NULL' が指定されていません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0684: 指定された **BETWEEN** または **IN** 条件が正しくありません。

テキスト	指定された BETWEEN または IN 条件が正しくありません。
説明	次のいずれかの状態により、このエラーが発生します。 - BETWEEN 条件の 'BETWEEN' または 'AND' の後の スカラ表現が正しくありません。 - BETWEEN 条件にキーワード 'AND' が指定されていません。 - IN 条件で、指定された副参照が正しくない、 または、指定された原子が正しくない、 または、原子リストがカッコ内に正しく囲まれていません。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0685: ALL/ANY/SOME 条件の副参照が正しくありません。

テキスト	ALL/ANY/SOME 条件の副参照が正しくありません。
説明	キーワード 'ALL'、'ANY'、'SOME' の後の副参照が 指定されていない、または正しくありません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0686: 副参照が正しくありません。

テキスト	副参照が正しくありません。
説明	副参照の左カッコ、およびキーワード 'SELECT' の後に、 選択またはテーブル表現が 指定されていない、または正しくありません。 あるいは、副参照終了の右カッコが指定されていません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0687: GROUP BY 節の列参照が正しくありません。

テキスト	GROUP BY 節の列参照が正しくありません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0688: SELECT * に対する **INTO** フィールドが正しくありません。

テキスト	SELECT * に対する INTO フィールドが正しくありません。
説明	SELECT * ... を使用する場合、 INTO 節に指定されるすべての変数はテーブル変数でなければいけません。 - INTO 節にビューを指定する場合、 そのビューに定義された全フィールドは 対応するテーブル (群) に含まれていなければなりません。 - INTO 節に個々のフィールドを指定する場合、 これらの全フィールドは 対応するテーブル (群) に含まれていなければなりません。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0689: 指定されたビューは空です。

テキスト	指定されたビューは空です。
説明	INTO VIEW 節に指定されたビューは、 '実' データベースフィールドを含んでいません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0690: インジケータ **:1:** のマスタフィールドがビュー内にありません。

テキスト	インジケータ ... のマスタフィールドがビュー内にありません。
説明	INTO 節に指定されたビューは 不正なインジケータ変数名を含んでいます。 ビューのフィールド名の接頭辞が 'L§' または 'N§' の場合、 Natural はこのフィールドが インジケータフィールドであるとみなします。 これは、接頭辞に続く名前がそのビューに すでに定義されているデータベースフィールドの 名前でなければならないことを意味します。 このマスタフィールドが存在しません。
対処	データエリアのエラーを修正します。

NAT0691: インジケータ変数 **:1:** に対するフォーマット／長さの定義が 正しくありません。

テキスト	インジケータ変数 ... に対するフォーマット / 長さの定義が 正しく ありません。
説明	INDICATOR または LINDICATOR 変数の フォーマット / 長さは、B2 または I2 でなければいけません。 これは、マスタが英数字またはバイナリでない場合でも適用されます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0692: 範囲変数 **:1:** が不正に指定されました。

テキスト	範囲変数 ... が不正に指定されました。
説明	このエラーの考えられる原因は次のとおりです。 1) 範囲変数は修飾できません。 2) 同じ範囲変数が 2 回使用されました。 3) ビューに指定された別名の範囲変数は テーブルに割り当てられていません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0693: インジケータ変数が列参照として使用できません。

テキスト	インジケータ変数が列参照として使用できません。
説明	データベースが認識できないので、 名前の接頭辞が N§ または L§ であるような特別な DDM フィールドを列参照として使用できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0694: フィールド **:1:** を**SELECT**または**SQL UPDATE** ビューに使用してはいけません。

テキスト	フィールド ... を SELECT または SQL UPDATE ビューに使用しないでください。
説明	SELECT または SQL UPDATE ステートメントで参照されるビューは、 ピリオディックグループフィールド、または カウント変数フィールド (C*...) を含んでいてはいけません。 DB2 はこれらの変数をサポートしません。
対処	上記のフィールドをビューから取り除いてください。

NAT0695: SELECT リストにユーザー定義変数を指定できません。

テキスト	SELECT リストにユーザー定義変数を指定できません。
説明	SELECT リストに指定される各フィールドは、 対応する FROM 節に指定されたテーブルの列、または定数で なければいけません。 ユーザー定義変数は指定できません。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0696: UPDATE は '**SELECT * INTO VIEW**' でのみ有効です。

テキスト	UPDATE は 'SELECT * INTO VIEW' でのみ有効です。
説明	SELECT ステートメントと一緒に UPDATE ステートメントを使用する場合、 SELECT ステートメントは 'SELECT * INTO VIEW' 形式でなければいけません。 これ以外の SELECT ステートメント形式では UPDATE は使用できません。 レポーティングモードでは、 SELECT ステートメントで読み込まれたビューを更新するには、 'UPDATE SAME' を指定する必要があります。 更新する列を明示することはできません。
対処	正しい SELECT および UPDATE の組み合わせを プログラムで使用してください。

NAT0697: SELECT UNION に矛盾したカッコがあります。

テキスト	SELECT UNION に矛盾したカッコがあります。
説明	UNION で連結された複数の SELECT 式の組にエラーがあります。 - 左カッコはあるが、右カッコがない。 - または、その逆。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0698: フィールド **:1:** は両方のテーブルに存在するので修飾しなければなりません。

テキスト	フィールド ... は両方のテーブルに存在するので修飾する必要があります。
説明	SELECT ステートメントが複数のテーブルにアクセスし、 参照されるフィールドの 1 つが複数のテーブルに含まれています。 そのため、参照があいまいになってしまいます。
対処	フィールドに修飾語を指定してください。

NAT0699: 列 **:1:** がテーブル内にありません。

テキスト	列 ... がテーブル内にありません。
説明	SQL ステートメント内に指定した列が、指定されたテーブル内で見つかりませんでした。
対処	有効または定義した列を指定してください。 または、指定した参照を省略してください。

NAT0700: キーワード '**SET**' がないか、または範囲変数指定が正しくありません。

テキスト	キーワード 'SET' がないか、または範囲変数指定が正しくありません。
説明	テーブル指定の後の SQL UPDATE ステートメントに、 キーワード 'SET' がありません。 または、範囲変数が正しくありません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

15 Natural システムエラーメッセージ 0701〜0750

NAT0701: SQL UPDATE ステートメントの割り当て節が正しくありません。

テキスト	SQL UPDATE ステートメントの割り当て節が正しくありません。
説明	- 指定された列が 更新するために参照されたテーブルに存在しません。または - 列指定の後に等号 (=) が指定されていません。または - 等号の後のスカラ表現に工ラーがあります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0702: ビューで、**SQL UPDATE** には **'SET *'** しか指定できません。

テキスト	ビューで、SQL UPDATE には 'SET *' しか指定できません。
説明	ビューが SQL UPDATE ステートメントで参照される場合、 'SET *' を指定する必要があります。 SQL UPDATE ステートメントで DDM を参照する場合のみ、 割り当てリストの明示が可能であり、必要となります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0703: SQL INSERT/DELETE ステートメントで、不正な範囲変数が指定されました。

テキスト	SQL INSERT/DELETE ステートメントで、不正な範囲変数が指定されました。
説明	SQL INSERT またはSQL DELETE ステートメントで、 不正な範囲変数 (識別子) が DDM (テーブル) 名の後に指定されました。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0704: INSERT に左カッコ、または右カッコが指定されていません。

テキスト	INSERT ステートメントに左カッコ / 右カッコがありません。
説明	INSERT ステートメントの フィールド名リスト、または値のリストが カッコで正しく囲まれていません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0705: INSERT するフィールドが **DDM**／テーブルに指定されていません。

テキスト	INSERT するフィールドが DDM / テーブルに指定されていません。
説明	INSERT ステートメントの列リストに指定されたフィールドが、 参照された DDM / テーブルに存在しません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0706: INSERT の **VALUES** に指定された値が正しくありません。

テキスト	INSERT の VALUES に指定された値が正しくありません。
説明	INSERT ステートメントの VALUES 節に指定できる値は、 次のいずれかです。 - キーワード 'NULL' (空値を割り当てるため) - 特殊レジスタ (USER、CURRENT TIMEZONE、CURRENT DATE、 CURRENT TIME、CURRENT TIMESTAMP) - 定数、またはユーザー定義変数

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0708: VALUES 節がない、または **SELECT** 節の指定が正しくありません。

テキスト	VALUES 節がない、または SELECT 節の指定が正しくありません。
説明	INSERT ステートメントで、 正しい VALUES 節、または正しい SELECT 節を指定する必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0709: 添字範囲フィールドの使用が正しくありません。

テキスト	添字範囲フィールドの使用が正しくありません。
説明	1) SQL ステートメント (例 : SELECT、INSERT) のパラメータとして 配列の範囲を使用する場合は、 指定した範囲の開始値は 1 にする必要があります。 例 : INSERT INTO table (col) VALUES (arr(1:3)) 2) 添字の範囲とともに指定したフィールドのデータタイプは 英数字またはバイナリでなければなりません。 1) の例で、arr は A または B フォーマットで定義する必要があります。 3) 配列は 1 次元でなければなりません。 つまり、DEFINE DATA で (A10/1:3;1:5) というように定義された 配列は許されません。 4) (1:I) のような変数による添字の範囲は許されません。
対処	構文をチェックして、エラーを修正してください。

NAT0710: レジストリ内に **CLSID** がありません（**DCOM** コード **:1:**）。

テキスト	レジストリ内に CLSID がありません (DCOM コード ...) 。
説明	与えられたクラス名に該当する CLSID がレジストリ内にありません。
対処	CREATE OBJECT ステートメント内で使用するクラス名が 正しく登録されていることを確認してください。

NAT0711: オブジェクト **:1:** を作成することができません（**DCOM**コード **:2:**）。

テキスト	オブジェクト :1: を作成することができません (DCOMコード :2:)。
説明	CREATE OBJECT ステートメント内で指定したクラスのオブジェクトを作成できません。 一般的な原因は次のとおりです。 1) クラスが正しく登録されていません。 2) オブジェクトの作成を認められていません。 3) 指定したノードが存在しません。または、到達できません。
対処	上記のいずれかの状況が該当するかどうかをチェックしてください。

NAT0712: Natural Security に対するライブラリ名を指定しなければなりません。

テキスト	Natural Security に対するライブラリ名を指定する必要があります。
説明	Natural Security がインストールされている場合、システムコマンド REGISTER と UNREGISTER は単一ライブラリに対してのみ使用できます。したがって、ライブラリ名として '*' を指定しないでください。 現在ログオンしているライブラリの全クラスにコマンドを適用するときは、ライブラリ名を省略できます。 コマンドを別のライブラリのクラスに適用する場合、このライブラリ名を指定する必要があります。
対処	ライブラリ名を省略するか、または既存のライブラリ名を入力してください。

NAT0714: 内部エラー（**DCOM** コード **:1:**）

テキスト	内部エラー (DCOM コード ...)
説明	次のいずれかの理由により、内部エラーが発生しました。 1) 文字列を ANSI から UNICODE に変換することができません。 2) オートメーションインターフェイス機能の実行に失敗しました。 3) オブジェクト作成中にデフォルトディスパッチインターフェイスが戻りませんでした。 4) タイプ情報の分析に失敗しました。 5) ディスパッチインターフェイスを取得できません。
対処	使用したクラスが正しく登録されているかどうかをチェックしてください。

NAT0715: レジストリエントリの変更ができませんでした。

テキスト	レジストリエントリを変更できませんでした。
説明	DCOM クラスの登録に必要なシステムレジストリ内のエントリを Natural は変更または作成できませんでした。
対処	システムレジストリの変更を許可されているかどうかをチェックしてください。許可されていない場合は、クラスの 登録はできません。

NAT0716: レジストリエントリを削除できませんでした。

テキスト	レジストリエントリを削除できませんでした。
説明	DCOM クラスを登録解除したときに必要なくなった システムレジストリ内のエントリを Natural は削除できませんでした。 1.1. システムレジストリ内からエントリを削除することを 許可されているかどうかをチェックしてください。 許可されていない場合は、クラスを登録解除することはできません。 2.2. クラス登録後に登録解除するクラスの CLSID が変更されたかどうかを チェックしてください。 変更された場合は、レジストリ内で クラスを見つけることはできません。
対処	説明を参照

NAT0717: レジストリエントリを読むことができませんでした。

テキスト	レジストリエントリを読むことができませんでした。
説明	DCOM クラスの登録 / 登録解除に必要なシステムレジストリ内 のエントリを Natural は読むことができませんでした。
対処	システムレジストリの変更を許可されているかどうかをチェックしてください。許可されていない場合は、 DCOM クラスの登録 / 登録解除はできません。

NAT0718: 登録中に内部エラーが発生しました。

テキスト	登録中に内部エラーが発生しました。
説明	登録中に内部エラーが発生しました。
対処	最初にクラスを登録解除してから、再度登録してください。

NAT0719: 登録ファイルが正しく作成できませんでした。

テキスト	登録ファイルが正しく作成できませんでした。
説明	サーバーおよびクライアントの登録ファイル (.reg) を クラスに作成できませんでした。
対処	これらのファイルの作成を許可されているかどうかをチェックしてください。

NAT0720: DCOM サーバーメッセージ**: :1:**

テキスト	DCOM サーバーメッセージ：...。
説明	Natural クライアントにより呼び出された DCOM サーバーが上記メッセージを返しました。
対処	なし

NAT0721: INCDIR error: :1:.

テキスト	INCDIR error: ....
説明	This message appears only if compiler option CHKRULE=ON is set.During ↩ compilation, the DDM and field names referenced in INCDIRstatements are ↩ checked for existence. If either the DDM or the fieldcannot be found, this ↩ message is issued.INCDIR statements are automatically created if a database ↩ field isincluded in a map. When the map is catalogued, these instructions ↩ willeffect an automatic incorporation of processing rules which mightexist ↩ for this field on Predict.

対処	1) Deactivate the message with CHKRULE=OFF.2) Correct the DDM/field name ↩ in the INCDIR statement.

NAT0723: サーバー環境での、相互 **I/O** はできません。

テキスト	サーバー環境での、相互 I/O はできません。
説明	Natural がサーバーとして役割を果たしている間に、 相互 I/O (レポート 0 への I/O) を実行しようとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 Natural INPUT ステートメントの入力データが、 Natural スタック経由で与えられます。 MAINPR パラメータの使用により、レポート 0 への出力がリダイレクトされます。

NAT0724: 不正なオブジェクトハンドルが使用されています。

テキスト	不正なオブジェクトハンドルが使用されています。
説明	オブジェクトハンドルは、CREATE OBJECT ステートメントで そのオブジェクトが作成された後、または、有効なハンドルが 割り当てられた場合にのみ使用できます。
対処	SEND METHOD ステートメントまたはプロパティアクセス内で使用する前に、 オブジェクトが正しく作成されていることを確認してください。

NAT0725: :1: ステートメントの配置が正しくありません。

テキスト	... ステートメントの配置が正しくありません。
説明	現在の Natural オブジェクトに不正なステートメントが指定されています。 原因として次のような例が考えられます。 1.1. DEFINE CLASS ステートメントは、Natural クラスオブジェクトにのみ 指定可能であり、クラスオブジェクトごとに 1 度だけ指定できます。 2.2. Natural ファンクションオブジェクトの最初のステートメントは DEFINE FUNCTION ... END-FUNCTION でなければいけません。 3.コピーコードオブジェクトに END ステートメントを使用してはいけません。
対処	ステートメントの配置をチェックするか、 オブジェクトタイプをチェックしてください。

NAT0726: 不正な **:1:** 名が指定されています。

テキスト	不正な ... 名が指定されています。
説明	DEFINE CLASS ステートメント内では、さまざまな名前に対して次の規則が適応されます。 1.1. クラス、インターフェイス、プロパティ、またはメソッド名は 32 文字以内 である必要があります。 2.2. クラス名はピリオドを含む場合があります。 ピリオドで分割された 各識別子は、ユーザー定義変数の命名規則に従う必要があります。 3.3. インターフェイス、プロパティ、またはメソッド名は、ユーザー定義変数の 命名規則に従う必要があります。 インターフェイス名はクラス名と同じではいけません。 4.4. コピーコードまたはサブプログラム名は、8 文字以内 である必要があります。
対処	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0727: :1: 名は定義されていません。

テキスト	... 名は定義されていません。
説明	PROPERTY ステートメント内 - インターフェイスが定義されていません。 - または、指定したインターフェイスに対してプロパティ名が 定義されていません。 METHOD ステートメント内 - インターフェイス名が定義されていません。 - または、指定したインターフェイスに対してメソッド名が 定義されていません。 Natural ファンクションについて - ファンクションプロトタイプ内部の RETURNS 節に 定義された戻り値がありません。
対処	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0728: キーワード **:1:** が必要です。

テキスト	キーワード ... が必要です。
説明	該当するキーワードが必要です。

対処	キーワードをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0729: :1: 名はすでに定義されています。

テキスト	. . . 名はすでに定義されています。
説明	指定されたクラスに対してインターフェイス名がユニークではありません。 または、指定されたインターフェイスに対してプロパティまたはメソッド名がユニークではありません。
対処	名前をチェックして、エラーを修正します。

NAT0730: プロパティおよび割り当てたオブジェクト変数は データ転送互換ではありません。

テキスト	プロパティおよび割り当てたオブジェクト変数は データ転送互換ではありません。
説明	プロパティのフォーマット / 長さ指定および割り当てられたオブジェクト変数は、 データ転送に互換性がありません。 READONLY 属性が指定されている場合は、送信フィールドとしての オブジェクト変数と、受信フィールドとしてのプロパティのデータ転送規則が 適用されます。 そうではない場合は、プロパティのデータ転送規則、および送信フィールドと受信フィールドとして割り当てたオブジェクト変数のデータ転送規則が 適用されます。
対処	フォーマット / 長さ指定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT0731: :1: プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。

テキスト	. . . プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。
説明	プロパティへオブジェクト変数が割り当てられていません。
対処	プロパティにオブジェクト変数を割り当ててください。

NAT0732: 不正なグローバルユニーク **ID** が指定されました。

テキスト	不正なグローバルユニーク ID が指定されました。

説明	指定した値は、有効なグローバルユニーク ID ではありません。
対処	グローバルユニーク ID の有効値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT0733: クラス **:1:** のタイプ情報を取得できませんでした **:2:**

テキスト	クラス :1: のタイプ情報を取得できませんでした :2:
説明	ある状況で Natural はクラスについてのタイプ情報が必要になりました。 クラスに対するタイプ情報が見つかりませんでした。一般的な原因は、 サーバー側でクラスが正しく登録されていないことです。
対処	クラスが正しく登録され、タイプ情報が存在することを確認してください。

NAT0735: メソッドまたはプロパティ **:1:** が見つかりません（**DCOM**コード **:2:**）。

テキスト	メソッドまたはプロパティ :1: が見つかりません (DCOMコード :2:)。
説明	指定されたメソッドまたはプロパティが、 オブジェクトのインターフェイスで見つかりませんでした。
対処	指定されたインターフェイス名 (存在する場合)、メソッド、またはプロパティ名をチェックします。

NAT0736: クラス **:1:** の **Natural** オブジェクトを作成できませんでした。

テキスト	クラス ... の Natural オブジェクトを作成できませんでした。
説明	CREATE OBJECT ステートメント内で指定したクラス名で オブジェクトを作成できませんでした。 考えられる理由は、登録された場所 で、関連する Natural クラスモジュールが検出されない ことです。
対処	CREATE OBJECT ステートメント内で使用しているクラス名をチェックし、 関連する Natural クラスモジュールが有効であるかどうかをチェックしてください。

NAT0737: メソッドまたはプロパティ **:1:** が見つかりません。

テキスト	メソッドまたはプロパティ :1: が見つかりません。
説明	指定されたメソッドまたはプロパティが、 オブジェクトのインターフェイスで見つかりませんでした。
対処	指定されたインターフェイス名 (存在する場合)、メソッド、またはプロパティ名をチェックします。

NAT0738: 名前 **:1:** のクラスはメンバ **:2:** としてすでに存在します。

テキスト	名前 ... のクラスはメンバ ... としてすでに存在します。
説明	他のクラスモジュール内にすでに存在するクラス名を使用しました。 ライブラリ内のクラス名はユニークである必要があります。
対処	クラス名を変更してください。

NAT0739: READONLY プロパティ **:1:** は修正してはいけません。

テキスト	READONLY プロパティ ... は修正しないでください。
説明	プロパティが、読み込み専用として宣言されている場合は、 修正することはできません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0740: インターフェイス **:3:** の **:1: :2:** のディスパッチ **ID** が不正です。

テキスト	インターフェイス ... の ... ... のディスパッチ ID が不正です。
説明	クラスのメソッドおよびプロパティは、割り当てられた数字識別子 (ディスパッチ ID と呼ばれる) を持っています。 通常、これらの ID は、 Natural によって内部的に、そして自動的に割り当てられています。 ID 節を使用してメソッドまたはプロパティに ID を明示的に割り当てる場合、 インターフェイスごとにユニークな数字を割り当てる必要があります。 ディスパッチ ID は、正の整数値でなければなりません。

対処	ユニークで正確なフォーマットの ID となるように、異なる ID を割り当てます。 または、ID を割り当てないでください。

NAT0741: クラス **:2:** の **:1:** インターフェイスのグローバルユニーク **ID** がありません。

テキスト	クラス ... の ... インターフェイスのグローバルユニーク ID がありません。
説明	与えられたインターフェイスのグローバルユニーク ID が、 Natural クラス定義内にありません。 レジストリ内のこのインターフェイスの情報を入力するために、 グローバルユニーク ID が必要です。
対処	インターフェイスに対してグローバルユニーク ID を定義してください。

NAT0742: クラス **:1:** に対するタイプライブラリの作成に失敗しました。

テキスト	クラス ... に対するタイプライブラリの作成に失敗しました。
説明	Natural ETC ライブラリ内の Natural クラスの登録中 に作成されるタイプライブラリ (.TLB) が作成できませんでした。 考えられる理由は、与えられたクラスに対してすでにタイプライブラリが 存在するか、または別のツールによって開かれているので、 Natural が修正できないことです。
対処	他のツールでタイプライブラリが使用されていないかどうかを チェックしてください。

NAT0743: :1: に対してレジストリ情報がありません。

テキスト	... に対してレジストリ情報がありません。
説明	DCOM で Natural クラスをアクセス可能にするには、レジストリに そのクラスを入力する必要があります。 クラスが Natural 内のローカルでのみ 使用される場合は、レジストリへの入力は必要ありません。
対処	DCOM でクラスを使用しない場合は、エラーを無視してください。 それ以外の場合は、次のことを確認してください。 - クラスに対して有効な ID が定義されているか。- クラスに対して少なくとも 1 つのインターフェイスが定義されているか。

NAT0744: SEND METHOD 内のパラメータ数が矛盾しています。

テキスト	SEND METHOD 内のパラメータ数が矛盾しています。
説明	SEND METHOD ステートメント内で指定したパラメータ数は、次の両方の数と同じでなければなりません。 - メソッド内で定義したパラメータ数 - DEFINE CLASS ステートメントのメソッド宣言で宣言したパラメータ数
対処	クラスモジュールおよびメソッド内のパラメータ定義と、 SEND METHOD ステートメント内のパラメータをチェックしてください。

NAT0745: SEND METHOD 内のパラメータ **:1:** の変換時にエラーが発生しました。

テキスト	SEND METHOD 内のパラメータ ... の変換時にエラーが発生しました。
説明	パラメータを適切な VARIANT フォーマットに変換することができません。 または、サーバーから返された VARIANT フォーマットを適切な Natural 変数に変換することができません。 次の原因が考えられます。 - 'C' フォーマットの Natural 変数をメソッドパラメータとして 渡すことはできません。 - 引数として渡される配列は、対応するメソッドパラメータと、 次元数および次元ごとのオカレンス数で一致している必要があります。
対処	NaturalX ドキュメントでデータ変換規則を確認します。

NAT0746: クラス名 **:1:** はレジストリ内ですでに定義されています。

テキスト	クラス名 ... はレジストリ内ですでに定義されています。
説明	異なる CLSID を持つが同じ名前のクラスがシステムレジストリ内に見つかったので、そのクラスは登録できませんでした。
対処	クラス名を変更してください。

NAT0747: サーバー **ID :1:** 下にクラスが登録されていません。

テキスト	サーバー ID ... 下にクラスが登録されていません。
説明	与えられたサーバー ID 下に登録されていたすべてのクラスを登録解除するために、UNREGISTER コマンドが使用されました。 現在、このサーバー ID 下にはクラスは登録されていません。
対処	なし

NAT0748: プロパティ値または戻り値の変換時にエラーが発生しました。

テキスト	プロパティ値または戻り値の変換時にエラーが発生しました。
説明	プロパティ値または戻り値を適切な VARIANT フォーマットに変換できませんでした。 または、サーバーから返された VARIANT フォーマットを 適切な Natural 変数に変換できませんでした。 次の原因が考えられます。 - 'C' フォーマットの Natural 変数をプロパティ値として渡すこと、または戻り値として受け取ることはできません。 - プロパティ値として渡された配列、または戻り値として受け取った配列は、 対応するプロパティ / 戻り値パラメータと、 次元数および次元ごとのオカレンス数で一致している必要があります。
対処	NaturalX ドキュメントでデータ変換規則を確認します。

NAT0750: ACTION 名が見当たりません。または無効です。

テキスト	ACTION 名が見当たりません。または無効です。
説明	PROCESS ステートメントのキーワード ACTION に 正しいアクション名がありません。 正しいアクション名は ビュープログラムの ACTION 節に宣言されているアクション名です。
対処	ACTION 名をチェックして修正してください。

16 Natural システムエラーメッセージ 0751〜0800

NAT0751: PROCESS 数量詞とアクセスタイプの組み合せが正しくありません。

テキスト	PROCESS 数量詞とアクセスタイプの組み合せが正しくありません。
説明	PROCESS 数量詞には ALL、(qty) を指定するか、または何も指定しません。 アクションタイプは TYPE 属性で明示的に指定できます。 TYPE 属性がない場合は、 標準アクション SELECT、STORE、UPDATE、DELETE に対して、アクションタイプが暗黙的に指定されます。 指定されない場合は、アクションタイプはデフォルトの 'X' になります。 有効な組み合せは以下のみです。 ! アクションタイプ ! 数量詞 ! プログラムタイプ ! !----------! !X ! 指定なし ! DEFINE SERVER / DEFINE VIEW !. !A ! ALL、(Qty) ! DEFINE VIEW ! !M、O ! 指定なし ! DEFINE VIEW !
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0752: TYPE/DEST の指定が正しくありません。

テキスト	TYPE/DEST の指定が正しくありません。
説明	TYPE/DEST の指定が次の理由により正しくありません。 - 指定された TYPE が A (Access)、M (Modify)、O (Output)、X (eXchange) のいずれでもありません。 - 指定された DEST が LOCAL、NET、DEBUG のいずれでもありません。 - TYPE と DEST がともに TYPE/DEST を指定するカッコ内に指定されていません。 - DEST が TYPE の前に指定されています。 - TYPE または DEST の後に '=' がありません。 - 右カッコがありません。

対処	TYPE/DEST の指定を修正してください。

NAT0753: WHERE/ORDER BY 節はアクションタイプ **Access** に対してのみ使用できます。

テキスト	WHERE/ORDER BY 節はアクションタイプ Access に対してのみ使用できます。
説明	アクティブなビューにアクセスする PROCESSステートメント の WHERE 節と ORDER BY 節には、アクションタイプ Access が必要です。 アクションタイプ Access は、標準アクション SELECT で暗黙的に指定するか、 またはタイプ指定 TYPE=A で明示的に指定することができます。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0754: WHERE 節に指定された検索変数が正しくありません。

テキスト	WHERE 節に指定された検索変数が正しくありません。
説明	- PROCESS ステートメントの WHERE 節に示された検索変数が PROCESS ステートメントで参照されるビューに 定義されていない、または - 検索変数が JOIN VALUE 節で別のビューフィールドにマップされている ローカルブロックフィールドと組み合わせて使用されました。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0755: ネストされた **PROCESS** ループは同じビューを参照しています。

テキスト	ネストされた PROCESS ループは同じビューを参照しています。
説明	プログラムに同じ Natural ビューを参照する 2 つのネストされた PROCESS ループがあります。 それぞれのビューはアクティブなビューのインスタンスに対応し、 それぞれのインスタンスは 1 つのループの状況だけを維持することができるので、 同じビューを参照することは不可能です。
対処	最も内側にあるループに対してビューのコピーを使用してください。

NAT0756: ネイティブデータベースに対して不正な **PROCESS** ステートメントです。

テキスト	ネイティブデータベースに対して不正な PROCESS ステートメントです。
説明	- アクションタイプが M、O、または X である PROCESS ステートメントで ネイティブデータベースのビューを参照しています。 - または、ビュープログラム以外のプログラムに、ネイティブデータベースのビューを参照する PROCESS ステートメントが含まれています。 - または、ネイティブデータベースのビューを参照する PROCESS ステートメントが END-PROCESS で 閉じられています。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0757: アクションタイプが **Modify** である **PROCESS** に **Access** ループがありません。

テキスト	アクションタイプが Modify である PROCESS に Access ループがありません。
説明	PROCESS によるアクティブなビューに対する更新は Natural ステートメントの UPDATE と同様に ループで囲む必要があります。 囲んでいる PROCESS ループは 更新のための PROCESS ステートメントと 同じ Natural ビューを参照する必要があります。
対処	ループで囲まれていることを確認してください。

NAT0758: ORDER BY 節のエラーです。

テキスト	ORDER BY 節のエラーです。
説明	次の理由により ORDER BY 節が正しくありません。 - ORDER BY 節が WHERE 節の前にあります。 - 指定されたソートフィールドが PROCESS ステートメントで参照されるビューの フィールドではありません。 - ソートフィールドが 3 個を超えています。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0759: ハンドル／ダイナミック変数および **X-array** は再定義できません。

テキスト	ハンドル / ダイナミック変数および X-array は再定義できません。
説明	次のように宣言された変数は再定義できません。DEFINE DATA LOCAL - 1 #H HANDLE OF OBJECT (<- タイプ HANDLE を指定) - ダイナミック長の 1 #AD (A) DYNAMIC (<- 英数字フィールドまたはバイナリフィールドとして宣言) - 1 #VA (A10/1:*) オカレンス数 (<- 可変配列として宣言) - END-DEFINE。 また、再定義によってこうした変数を宣言してはなりません。 グループは、これらのいずれかのフィールドを最初の位置に含んでいる場合、 再定義することはできません。
対処	変数定義をチェックして、修正してください。

NAT0762: UPDATE/DELETE テーブルが **SELECT** ステートメントと一致していません。

テキスト	UPDATE/DELETE テーブルが SELECT ステートメントと一致していません。
説明	- UPDATE テーブル WHERE CURRENT CURSOR - または DELETE FROM テーブル WHERE CURRENT CURSOR ステートメントで 参照されるテーブルが、 対応する SELECT ステートメントに指定されたテーブルではありません。
対処	構文をチェックして修正します。

NAT0763: <<...>> に不正な英数字定数が指定されました。

テキスト	<<...>> に不正な英数字定数が指定されました。
説明	<<...>> に指定された定数が、 Natural 定数のルールに従っていません。 例えば、英字定数はアポストロフィ (') で囲む必要があります。
対処	構文をチェックして修正します。

NAT0764: <<...>> の変数参照を解決できません。

テキスト	<<...>> の変数参照を解決できません。
説明	1） 変数インジケータ (:) の直後のトークンが、 変数名の規則に従っていません。 2） 指定された変数が、プログラムに定義されていません。
対処	構文をチェックして修正します。

NAT0768: FROM 節内に、正しくないテーブル参照があります。

テキスト	FROM 節内に、正しくないテーブル参照があります。
説明	FROM 節内に、正しくないテーブル名があります。 テーブル名、または結合テーブルの副参照のいずれかを指定しています。
対処	正しいテーブル名を参照するように FROM 節を修正してください。

NAT0776: プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
説明	Natural プログラムのロード中に、 内部的な回復不可能なエラーが発生しました。 プログラムを Natural バッファプールにロードすることができません。
対処	プログラムをチェックし、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0777: Natural バッファプールが最大限に達しています。

テキスト	バッファプールが最大限に達しています。
説明	Natural バッファプールが最大限に達しています。 Natural バージョン 2 では、 カタログした Natural プログラムは Natural バッファプールにロードされなければいけません。 有効なスペースが十分になければ、プログラムは実行できません。

対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0778: プログラムが実行可能になっていません。

テキスト	プログラムが実行可能になっていません。
説明	実行するプログラムは他のユーザーによるカタログ処理中です。 このプログラムを Natural バッファプールにロードするとき、Natural は、プログラムコードが適切で 実行可能な状態であることを保証できません。
対処	時間をおいてから、プログラムを実行してください。

NAT0779: プログラムを実行できません。

テキスト	プログラムを実行できません。
説明	Natural による Natural バッファプールへのプログラムのロードの試行が 32 回行われ、失敗しました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0781: Natural DB2 の内部エラーがあります。

テキスト	Natural DB2 の内部エラー。
説明	
対処	Natural ソース / オブジェクトプログラムを用意して Software AG サポートに連絡してください。

NAT0782: FIND や **READ** ステートメントでフィールドが選択されませんでした。

テキスト	FIND や READ ステートメントでフィールドが選択されませんでした。
説明	FIND または READ ステートメントは、どのようなフィールドも 読み取りません (空のビュー) が、SQL データベースに アクセスするように命令されます (例 : DB2)。 これにより、空の列リストでの SQL SELECT ステートメントの生成 を生じます。 ただし、これは許されません。

対処	FIND または READ ステートメントで最低でも 1 つのフィールドを読み取ってください。

NAT0783: DB2 アクセスに対する **Natural** ステートメントが正しくありません。

テキスト	DB2 アクセスに対する Natural ステートメントが正しくありません。
説明	次の Natural ステートメントは、 DB2 データベースへのアクセス時にはサポートされません。 - GET - STORE USING NUMBER (ISN)
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0784: SQL :1: 生成に対してスペースが不十分です。

テキスト	SQL ... 生成に対してスペースが不十分です。
説明	生成中、対応するバッファがオーバーフローしました。 より大きなスレッド / パーティション / リージョンを提供するか、または プログラムの SQL 部分を分割して、それらを別の異なるプログラムに 移します。 このメッセージは、SQL ステートメントを含むバッファ、 または SQL XREF データを含むバッファに関連します。
対処	より大きなスレッド / パーティション / リージョンで Natural を起動するか、 または、SQL ステートメントの数やサイズを小さくしてください。

NAT0785: Natural DB2 の内部エラーがあります。

テキスト	Natural DB2 の内部エラー。
説明	
対処	Natural ソース / オブジェクトプログラムを用意して Software AG サポートに連絡してください。

NAT0786: Natural DB2 :UPDATE に対してフィールドが割り当てられていません。

テキスト	UPDATE ステートメントに対してフィールドが割り当てられていません。
説明	UPDATE ステートメントが指定されていますが、 ビューにデータベースフィールドが指定されていません。
対処	DB2 列に値を割り当ててください。

NAT0787: Natural DB2 :読み取り専用フィールドは更新できません。

テキスト	読み取り専用フィールドは更新できません。
説明	読み取り専用フィールドが UPDATE ステートメントで指定されました。 読み取り専用フィールドは更新できないため、これは許可されません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0788: UPDATE/DELETE を **FIND SORTED** とともに 使用しないでください。

テキスト	UPDATE/DELETE を FIND SORTED とともに 使用しないでください。
説明	DB2 のロジックに従い、 UPDATE/DELETE は READ BY、FIND ... ORDER BY、 SELECT ... ORDER BY、または READ RESULT SET とともに使用しないでください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0789: Natural DB2 : SORTED BY 節で指定されたフィールドが参照されません。

テキスト	SORTED BY 節で指定されたフィールドが参照されません。
説明	SORTED BY 節で参照されるフィールドが、 プログラム内のいずれの場所でも参照されていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0790: IMS アクセスにプライマリキーがありません。

テキスト	IMS アクセスにプライマリキーがありません。
説明	ループ内に端末ステートメントがある場合、 Natural DB2 では、UPDATE または DELETE に プライマリキーが必要となります。
対処	Natural DB2 ファイルサーバーロジックに対応するように、 プログラムを変更してください。

NAT0791: 日付タイプがサポートされていません。

テキスト	日付タイプがサポートされていません。
説明	検索条件内に、DB2 データベースマネージャがサポートしない フォーマットの Natural 変数または定数があります。 サポートされないフォーマットは次のとおりです。 N (アンパック10進数) I1 (長さ 1 の整数) L (論理) D (日付) T (時間)
対処	DB2 データベースにアクセスするプログラムでは、上記のフォーマットを使用しないでください。

NAT0792: マスタフィールドなしで空値、または長さを参照されています。

テキスト	マスタフィールドなしで空値または長さが参照されています。
説明	長さインジケータまたは空値インジケータフィールドを 参照する場合、長さまたは空値インジケータを適用する マスタフィールドが参照されなければなりません。
対処	プログラムを修正してください。

NAT0793: 空値／長さインジケータをディスクリプタとして使用することはできません。

テキスト	空値 / 長さインジケータをディスクリプタとして使用することはできません。
説明	空値インジケータまたは長さインジケータを ディスクリプタとして使用することはできません。 検索条件に使用できるのはマスタフィールドだけです。
対処	Natural プログラムの検索条件を変更してください。

NAT0794: SELECT FOR UDPATE しようとしましたが、**UPDATE** が許されていませんでした。

テキスト	SELECT FOR UDPATE しようとしましたが、UPDATE が許されていませんでした。
説明	このメッセージは、UPDATE が許されていない場合に SELECT SINGLE FOR UPDATE ステートメントが指定された場合にも表示されます。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT0797: 検索条件での集合名の使用法が正しくありません。

テキスト	検索条件での集合名の使用法が正しくありません。
説明	FIND ステートメントの基本検索条件に集合名が指定されましたが、 -アクセスするファイルが Adabas ファイルではありません。または、 - 基本検索条件が COUPLED 条件に含まれています。 いずれの場合も、集合名は使用できません。 集合名の使用法については、Natural ドキュメントの FIND ステートメントを参照してください。
対処	プログラムの検索条件を変更してください。

NAT0798: 共通テーブル式が正しくありません。

テキスト	共通テーブル式が正しくありません。
説明	指定された共通テーブル式が正しくありません。 共通テーブル式の後には、キーワード WITH･ CTE と次の構文が続く必要があります。 cte-name (colname,...) AS (fullselect) 多くの場合、カッコ、キーワード AS、またはコンマが不足しているか、あるいは 過剰に指定されていることが考えられます。

対処	共通テーブル式を修正してください。

NAT0799: スカラ全選択は、単一の列値で構成されている必要があります。

テキスト	スカラ全選択は、単一の列値で構成されている必要があります。
説明	スカラ全選択は、式内のスカラ値としてのみ使用できます。 スカラ全選択は、カッコで囲まれた全選択であり、 単一の列値で構成される単一の行を返します。 指定された全選択の結果セットが、複数の列で構成されています。
対処	全選択の選択リストで 1 つの列だけを指定してください。

NAT0800: :1: 連続エラーの後、ログオンができませんでした。

テキスト	... 連続エラーの後、ログオンできませんでした。
説明	ログオン失敗の回数が多すぎるので、 Natural セッションが終了されました。
対処	ユーザー ID とパスワードをチェックした後、 Natural セッションを開始してください。

17 Natural システムエラーメッセージ 0801〜0850

NAT0801: このユーティリィティ用に定義されたアクセス権はありません。

テキスト	このユーティリィティ用に定義されたアクセス権はありません。
説明	ユーティリティは限られた用途でしか使用できません。
対処	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT0802: システムファイル **:1:** へのアクセスが拒否されました。理由 **:2:**。

テキスト	システムファイル ... へのアクセスが拒否されました。理由 ...。
説明	理由：1 - Natural for UNIX ：システムファイルが NATCONF.CFG にありません。 2 - システムファイルの使用は、Natural 開発サーバー環境内に 制限されています。 4 - このシステムファイル結合へのアクセスは拒否されました。 9 - Natural ユーティリティのシステムファイル結合が定義されていません。 10 - 環境プロファイルが定義されていません。 12 - このライブラリセッションプロファイルの使用は許可されていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0803: ライブラリ **SYSLIB** および **SYSLIBS** は、システムが使用するためログオンできません。

テキスト	ライブラリ SYSLIB および SYSLIBS は、システムが使用するためログオンできません。
説明	
対処	他のライブラリにログオンしてください。

NAT0804: パスワード変更の場合、変更確認のため新パスワードを再入力します。

テキスト	パスワード変更の場合、変更確認のため新パスワードを再入力します。
説明	パスワード変更を希望する場合、変更確認のため再度 新パスワードを入力する必要があります。 入力ミスによるユーザーパスワードの変更を防ぐため、 ユーザーパスワードの確認が要求されます （新パスワードはログオン画面に表示されません）。
対処	パスワードを変更する場合、新しいパスワードを再入力してください。 パスワードを変更しない場合は、 Enter キーを押して、ログオン処理を続けてください。

NAT0805: 新パスワードが確認されません。ログオンできませんでした。

テキスト	新パスワードが確認されません。ログオンできませんでした。
説明	ログオン処理で、パスワード変更を確認するため、新パスワードの再入力が要求されましたが、 - 新パスワードが入力されませんでした、または- 最初と違うパスワードが入力されました。 パスワード変更が確認されなかったことを意味します。
対処	もう一度ログオンしてください。

NAT0806: ライブラリが見つかりません。

テキスト	ライブラリが見つかりません。
説明	ログオンしようとしたライブラリは、 Natural Security に定義されていません。 使用するすべての Natural ライブラリが、 Natural Security に定義されている必要があります。

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0807: このライブラリへのログオンは許されていません。

テキスト	このライブラリへのログオンは許されていません。
説明	ログオンしようとしたライブラリは、保護されています。 このライブラリにログオンするには、 このライブラリにリンクされたユーザーでなければなりません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0808: 再スタート可能なライブラリが見つかりません。

テキスト	再スタート可能なライブラリが見つかりません。
説明	ログオン処理で、ユーザーが 'RESTART' を指定しましたが、 再スタート可能なライブラリがありませんでした。
対処	- RESTART オプションは、ライブラリがアクティブにされた後にだけ使用してください、および / または - Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0809: LOGON 時に端末 **ID** を入力してはいけません。

テキスト	LOGON 時に端末 ID を入力しないでください。
説明	ログオン時にユーザー ID として端末 ID が入力されました。 これは許可されていません。 ライブラリ ID を使うと、端末保護されたライブラリにアクセスできます。
対処	ユーザー ID でなく、適切なライブラリ ID を使用してください。

NAT0810: グループ **ID** は **LOGON** に使用できません。

テキスト	グループ ID は LOGON に使用できません。
説明	ログオン処理で、ユーザー ID としてグループ ID が入力されました。 グループ ID は、ログオン処理に使用することはできず、 ライブラリへの適切なリンクにのみ使用できます。

対処	正しいユーザー ID で、ログオンしてください。

NAT0811: LOGON にユーザー **ID** を入力しなければなりません。

テキスト	ユーザー ID を入力する必要があります。
説明	Natural の開始ログオンにユーザー ID の指定がないと、 Natural セッションはアクティブになりません。 後続のログオンではユーザー ID を指定する必要はありません。 別のユーザー ID が指定されるまで最初のユーザー ID が内部的に使われます。 Natural Security を導入している場合、 各ログオンでユーザー ID を指定する必要があります。
対処	正しいユーザー ID を入力してください。

NAT0812: ユーザー **ID** に対するセキュリティプロファイルに内部的な矛盾があります。

テキスト	ユーザー ID に対するセキュリティプロファイルに内部的な矛盾があります。
説明	Natural Security のログオン処理で、 指定されたユーザー ID に対するセキュリティプロファイルに 内部的な矛盾が検出されました。 データレコードを直接操作したため、 ユーザーセキュリティプロファイルが変更されました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0813: デフォルトのライブラリへのログオンが許可されていません。

テキスト	デフォルトのライブラリへのログオンが許可されていません。
説明	ユーザーに対して、 ユーザーのデフォルトのライブラリが有効ではありません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0814: ライブラリ **ID**、および／または ユーザー **ID** を入力しなければなりません。

テキスト	ライブラリ ID、および / またはユーザー ID を入力する必要があります。
説明	ログオン画面では、ライブラリ ID とユーザー ID のいずれかまたは両方を入力する必要があります。
対処	ユーザー ID および / またはライブラリ ID を入力してください。

NAT0815: ライブラリ **ID** を入力してください。

テキスト	ライブラリ ID を入力してください。
説明	ユーザーはデフォルトのライブラリも、 プライベートライブラリも持たないので、 ログオンするライブラリ ID を指定する必要があります。
対処	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリの リストを取得します。

NAT0816: この端末からライブラリにアクセスできません。

テキスト	この端末からライブラリにアクセスできません。
説明	ユーザーが使用している端末からではなく、 特定の端末からしかアクセスできないライブラリに アクセスしようとしました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0817: 非バッチモードでは、バッチユーザー **ID** でのログオンはできません。

テキスト	非バッチモードでは、バッチユーザー ID でのログオンはできません。
説明	バッチモードがアクティブになっていないが、バッチユーザー ID を使用してログオンしようとしました。 これは許可されていません。
対処	タイプが 'batch' に等しくないユーザー ID を使用してログオンします。

NAT0818: ユーザー **ID** がない、またはこの端末は定義されていません。

テキスト	ユーザー ID がない、またはこの端末は定義されていません。
説明	- ユーザー ID を入力しませんでした。または - Natural Security に定義されていない端末から ログオンしようとしました。
対処	- ユーザー ID を入力してください。または、 Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0819: (バッチモードで**) LOGON** できませんでした。

テキスト	(バッチモードで) LOGON できませんでした。
説明	バッチ Natural セッションで ログオンしようとしましたが、失敗しました。 失敗の理由については、エラーメッセージの下に詳細が示されます。
対処	メッセージに示された説明に従ってください。

NAT0820: 端末セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。

テキスト	端末セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。
説明	Natural Security のログオン処理で、 使用される端末のセキュリティプロファイルに 内部的な矛盾が検出されました。 データベースレコードを直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0821: :1: に対してのみライブラリが有効です。

テキスト	... に対してのみライブラリが有効です。
説明	表示されたデバイスタイプに対してのみ有効なライブラリに ログオンしようとしました。

対処	有効なデバイスタイプから そのライブラリを使用してください。

NAT0822: ユーザーのプライベートライブラリは **:1:** に対してのみ有効です。

テキスト	ユーザーのプライベートライブラリは ... に対してのみ有効です。
説明	表示されたデバイスタイプに対してのみ有効なプライベートライブラリに ログオンしようとしました。
対処	有効なデバイスタイプから そのプライベートライブラリを使用してください。

NAT0823: バッチユーザー **ID** でのログオンはできません。

テキスト	バッチユーザー ID でのログオンはできません。
説明	バッチユーザー ID を使用してログオンしようとしましたが、 このユーザー ID では、バッチモードで直接ログオンすることはできません。
対処	タイプが 'batch' に等しくないユーザー ID を使用してログオンします。

NAT0824: ライブラリのセキュリティプロファイルに内部的な矛盾を見つけました。

テキスト	ライブラリのセキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。
説明	Natural Security のログオン処理で、 指定されたライブラリのセキュリティプロファイルに 内部的な矛盾が検出されました。データベースレコードを 直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0825: セキュリティプロファイルに内部的な矛盾を見つけました。

テキスト	セキュリティプロファイルに内部的な矛盾が見つかりました。

説明	Natural Security ログオン処理で、 呼び出されたセキュリティプロファイルに 内部的な矛盾が検出されました。 データベースレコードを 直接操作したため、セキュリティプロファイルが変更されました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0826: 不正な数字が入力されました。 正しい番号を入力してください。

テキスト	無効な番号。 正しい番号を入力してください。
説明	表示された数字のうちの 1 つだけを ログオン処理で入力できます。
対処	正しい番号を入力します。

NAT0827: 有効なライブラリがありません。

テキスト	有効なライブラリがありません。
説明	その端末では、 そのユーザー ID に対して有効なライブラリがありません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0828: SYSSEC にはログオンできません。

テキスト	SYSSEC にはログオンできません。
説明	ユーザーは Natural Security ライブラリ 'SYSSEC' に ログオンする権限を与えられていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0829: ユーザーパスワードの変更は禁止されています。

テキスト	ユーザーパスワードの変更は禁止されています。

説明	Natural Security システムファイルの更新が 禁止されているため、ユーザーパスワードの変更はできません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0830: ヘルプ画面は確認されませんでした。

テキスト	ヘルプ画面は確認されませんでした。
説明	ログオン処理に入ろうとしましたが、要求された確認は 提供されませんでした。
対処	ログオンを続けてください。

NAT0831: * Natural LOGON PROCEDURE *****

テキスト	*** Natural LOGON PROCEDURE ***
説明	Natural のログオン処理中、行 1 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0832: * YOU ARE LINKED DIRECTLY TO : ...*****

テキスト	*** YOU ARE LINKED DIRECTLY TO : ...***
説明	Natural のログオン処理中、行 2 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0833: * YOU ARE LINKED VIA A GROUP TO :... *****

テキスト	*** YOU ARE LINKED VIA A GROUP TO :... ***
説明	Natural のログオン処理中、行 3 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0834: * YOUR TERMINAL IS LINKED TO : ... ***

テキスト	*** YOUR TERMINAL IS LINKED TO : ... ***
説明	Natural のログオン処理中、行 2 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0835: * PUBLIC LIBRARIES ARE: ... ***

テキスト	*** PUBLIC LIBRARIES ARE: ... ***
説明	Natural のログオン処理中、ライブラリ ID に対し「?」を入力した結果として、行 2 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0836: Press ENTER for next page, or enter '.' for logon screen.

テキスト	Press ENTER for next page, or enter '.' for logon screen.
説明	ログオン処理中、トレイラ行にテキストが表示されました。
対処	

NAT0837: Or select a library by entering its number ==>

テキスト	その番号を入力してライブラリを選択してください。
説明	ログオン処理中、トレイラ行 2 にテキストが表示されました。
対処	

NAT0838: パスワードを変更してください。 新旧のパスワードを入力してください。

テキスト	パスワードを変更してください。 新旧のパスワードを入力してください。

説明	Natural Security プロファイルによって、 パスワードを定期的に変更することが義務づけられています。
対処	PASSWORD フィールドに旧パスワードを入力し、 'NEW PASSWORD' フィールドに新パスワードを入力してください。 新パスワードの確認を要求されるので、 'NEW PASSWORD' フィールドに新パスワードを再度入力してください。

NAT0839: ライブラリ '**SYSSEC**' が見つかりません。

テキスト	ライブラリ 'SYSSEC' が見つかりません。
説明	セキュリティ環境では、ライブラリ 'SYSSEC' は必須です。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0840: プライベートライブラリが見つかりません。

テキスト	プライベートライブラリが見つかりません。
説明	このユーザーのプライベートライブラリのセキュリティプロファイルが見つかりません。 Natural ↩ Security のログオン処理で、 次の内部的な矛盾が検出されました。 プライベートライブラリが ユーザーセキュリティプロファイルに指定されましたが、 そのプライベートライブラリに対するセキュリティプロファイルが ありません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0841: ユーザーがプライベートライブラリを持っていません。

テキスト	ユーザーがプライベートライブラリを持っていません。
説明	ADMINISTRATOR または 'PERSON' タイプのユーザーで、かつ セキュリティプロファイル内に プライベートライブラリ定義を持つユーザーだけが、 プライベートライブラリにログオンできます。

対処	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリのリストを取得します。

NAT0842: そのプライベートライブラリへのログオンは認められません。

テキスト	そのプライベートライブラリへのログオンは認められません。
説明	他のユーザーのプライベートライブラリにログオンしようとしました。 他のユーザーのプライベートライブラリには ログオンできません。 ログオンできるのは、ユーザー自身のプライベートライブラリだけです (ユーザーにプライベートライブラリが定義されている場合)。
対処	ライブラリ ID または「?」を入力して、利用可能なライブラリのリストを取得します。

NAT0843: ユーザー **ID** が正しくありません。**TP** モニタからのユーザー **ID** しか認められません。

テキスト	ユーザー ID が正しくありません。TP モニタからのユーザー ID しか認められません。
説明	自動ログオン がアクティブな場合 (Natural パラメータ AUTO=ON が設定されている場合)、 ユーザーが TP モニタにログオンしたユーザー ID でしか Natural にログオンできません。
対処	TP モニタにログオンしたユーザー ID を入力してください。

NAT0844: ユーザーが定義されていません。 再スタートできません。

テキスト	ユーザーが定義されていません。 再スタートできません。
説明	ユーザーが最後に使用したライブラリは、そのユーザーのセキュリティレコードに格納されています。 Natural Security に定義されていないユーザーは、 そのようなレコードを持つことはできません。 Natural Security に定義されているユーザーだけが再スタートを認められていますが、 ユーザーは Natural Security に定義されていません。

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0845: コマンドモード禁止で、開始トランザクションが指定されていません。

テキスト	コマンドモード禁止で、開始トランザクションが指定されていません。
説明	コマンドモードが認められていなければ、 開始トランザクションを指定するか、 またはコマンド / プログラムが Natural スタック内になければいけません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0846: グループが見つかりません。

テキスト	グループが見つかりません。
説明	ユーザーはグループを通してライブラリにリンクされていますが、 そのグループが見つかりません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0847: ライブラリ **ID** は英字で始めなければいけません。

テキスト	ライブラリ ID は英字で始めなければいけません。
説明	ライブラリ ID の最初の文字は英字でなければなりません。
対処	ライブラリ ID を英字で始めてください。

NAT0848: 開始トランザクション **:1:** が見つけられません。

テキスト	開始トランザクション ... が見つかりません。
説明	使用するライブラリのセキュリティプロファイルに指定された 開始トランザクションが、ライブラリ内にも STEPLIB 内にも 見つかりません。

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0849: この **ID** のライブラリはすでに存在しています。

テキスト	この ID のライブラリはすでに存在しています。
説明	ユーザー ID / ライブラリ ID はユニークでなければいけません。
対処	他のライブラリ ID と重複しないユーザー ID を入力してください。

NAT0850: リスタートプログラム **:1:** が見つかりません。

テキスト	リスタートプログラム ... が見つかりません。
説明	使用するライブラリのセキュリティプロファイルに指定されたリスタートプログラムが、 ライブラリ内にも STEPLIB 内にも見つかりません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

18 Natural システムエラーメッセージ 0851〜0900

NAT0851: エラープログラム **:1:** が見つかりません。

テキスト	エラープログラム ... が見つかりません。
説明	使用するライブラリのセキュリティプロファイル、または ETA パラメータで指定されたエラープログラムが、ライブラリ内にも STEPLIB 内にも見つかりません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0852: セキュリティプロファイルが完全ではありません。

テキスト	セキュリティプロファイルが完全ではありません。
説明	タイプ MEMBER のユーザーとして Natural Security に定義されている場合、少なくとも 1 つのグループに属している必要がありますが、 - ユーザーはいずれのグループにも追加されていません。または- ユーザータイプが変更されています。または - 端末が Natural Security に定義されているが、 いずれのグループにも含まれていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0853: ライブラリ **:1:** へのログオンができます。 このライブラリは空です。

テキスト	ログオンがライブラリに受け入れられました... このライブラリは空です。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT0854: ライブラリ **:1:** へのログオンができます。

テキスト	ログオンがライブラリに受け入れられました...
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT0855: 新しいパスワードは少なくとも **:1:** 文字でなければなりません。

テキスト	新しいパスワードは少なくとも ... 文字でなければなりません。
説明	Natural Security では、最小限のパスワードの長さが指定されています。
対処	長いパスワードを指定してください。

NAT0856: 不正なログオンデータで自動ログオンされため、ログオンできませんでした。

テキスト	不正なログオンデータで自動ログオンされたため、ログオンできませんでした。
説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0857: ユーザーは現在ロック状態です。

テキスト	ユーザーは現在ロック状態です。

説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0858: 有効期限の日付フォーマットが正しくありません。

テキスト	有効期限の日付フォーマットが正しくありません。
説明	メールボックスの期限日付は、画面の右上角に表示される日付と同じフォーマットで入力する必要があります。
対処	正しいフォーマットの期限日付を入力してください。

NAT0859: 有効期限の日付は過去の日付であってはいけません。

テキスト	有効期限の日付は過去の日付であってはいけません。
説明	
対処	正しい日付を入力します。

NAT0860: コードが正しくありません。

テキスト	コードが正しくありません。
説明	
対処	正しいコードを入力します。

NAT0861: ユーザーはライブラリへの特別リンクを持っていません。

テキスト	ユーザーはライブラリへの特別リンクを持っていません。
説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0862: この **Natural** セッションは **Natural Security** の制御下ではありません。

テキスト	この Natural セッションは Natural Security の制御下ではありません。
説明	要求した機能を実行するには、 Natural セッションが Natural Security の制御下で 稼動している必要があります。
対処	要求した機能を実行する前に、Natural Security の制御下で (必要な場合は Natural 管理者に頼んで) Natural を呼び出してください。 Natural Security がインストールされていない場合、その機能は利用できません。

NAT0863: そのリンク **ID ':1:'** では、このライブラリにログオンできません。

テキスト	そのリンク ID '...' では、このライブラリにログオンできません。
説明	
対処	正しいユーザー ID でログオンしてください。 必要な場合は Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0864: No. Lib. ID Library Name*Type*Linked via*Spec.

テキスト	No. Lib. ID Library Name*Type*Linked via*Spec.
説明	Natural Security によってテキストが表示されます。
対処	

NAT0865: セキュリティファイルが正しくありません。 **DBA** に連絡してください。

テキスト	セキュリティファイルが正しくありません。 DBA に連絡してください。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT0866: Natural ニュークリアスが **Natural Security** ニュークリアスではありません。

テキスト	Natural ニュークリアスが Natural Security ニュークリアスではありません。
説明	Natural ニュークリアスと Natural システムファイル (FNAT) との間に 矛盾があります。 ニュークリアスは非セキュリティと指定されていますが、 Natural システムファイルにはNatural Security 固有のプログラムが含まれています。 考えられる理由は次のとおりです。 - ニュークリアスが不正に ZAP されました。 - Natural マスタ制御レコードが不正に ZAP されました。 - Natural Security NATLOAD が正常に実行されませんでした。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 Natural の NATLOAD を再実行し、 Natural Security システムの場合は、 Natural Security の NATLOAD を再実行してください。

NAT0867: この環境にはメールボックスが存在していない／設定されていません。

テキスト	この環境にはメールボックスが存在していない / 設定されていません。
説明	
対処	- 他のメールボックス ID を指定してください。または - Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0868: メールボックス **:1:** のデータがすでに期限終了になりました。

テキスト	メールボックス ... のデータがすでに期限終了になりました。
説明	
対処	必要な場合は、有効期限の日付を変更してください。

NAT0869: ファイルのセキュリティレコードが直接変更されました。

テキスト	ファイルのセキュリティレコードが直接変更されました。
説明	

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0870: UPLOAD することができません。

テキスト	UPLOAD することができません。
説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0871: DOWNLOAD することができません。

テキスト	DOWNLOAD することができません。
説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0872: ファンクションコードが正しくありません。

テキスト	ファンクションコードが正しくありません。
説明	
対処	正しいファンクションコードを入力してください。

NAT0873: ユーザー **ID**、またはパスワードが正しくありません。

テキスト	ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。
説明	
対処	正しいユーザー ID、および正しいパスワードを入力してください。

NAT0874: ENTER キーを押すと次のページへ、'.' を押すとセッションを終了します。

テキスト	Enter キーを押すと次のページへ、'.' を押すとセッションを終了します。
説明	
対処	

NAT0875: ユーザーは現在アクティブではありません。

テキスト	ユーザーは現在アクティブではありません。
説明	
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0876: 新規パスワードは有効ではありません。 異なるものを選んでください。

テキスト	新規パスワードは有効ではありません。 異なるものを選んでください。
説明	次のいずれかが原因で、新規パスワードが拒否されました。 1) 以前のパスワードに非常に似ているため。 2) パスワード規則に従っていないため。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0877: ユーティリティへのアクセスはセキュリティによって拒否されました。 **DBA** に連絡してください。

テキスト	ユーティリティへのアクセスはセキュリティによって拒否されました。 DBA に連絡してください。
説明	ユーティリティは限られた用途でしか使用できません。
対処	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT0878: 割り当てられたグループ **:1:** は現在アクティブではありません。

テキスト	割り当てられたグループ ... は現在アクティブではありません。
説明	Natural Security (NSC) 環境： - メッセージに示された NSC グループ ID は、現在、非アクティブとして このグループ ID をマークする日付で定義されています。 NSF 環境の追加情報： - セキュリティシステムに定義されたユーザー ID 用のグループ ID は、 NSC に定義されていない、 または NSC グループプロファイルが非アクティブ、 または NSC ユーザープロファイルが別のユーザータイプです。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0879: アクティブなグループの割り当てがありません。

テキスト	アクティブなグループの割り当てがありません。
説明	ユーザーは、有効なアクティベーション日付を持つグループに割り当てられていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0880: BATCH コンパイルで **10** 以上の構文エラーが発生しました。

テキスト	BATCH コンパイルで 10 以上の構文エラーが発生しました。
説明	
対処	構文の誤りを修正し、もう一度コンパイルしてください。

NAT0884: 内部エラーです。セーブエリアチェーンが破壊されました。

テキスト	内部エラーです。セーブエリアチェーンが破壊されました。
説明	再配置可能な Natural のセーブエリアが壊されました。 Natural は一連の内容をリセットし、再スタートします。 Natural は常にそのセーブエリアの一連の内容が正しいかテストします。 このエラーは、 - レジスタ 13 が正しくない、- セーブエリアがオーバーフローした、または- 再配置されたユーザーエリアが正しくないために起こります。 セーブエリアオーバーフローの原因の 1 つとして、 再帰的なプログラムコールの回数が多すぎることが考えられます。

対処	Natural によって自動的に修正されます。再スタートしてください。 必要に応じて、再帰的なプログラムコールの回数を 減らしてください。

NAT0885: 内部エラーです。**I/O** バッファが上書きされました。

テキスト	内部エラーです。I/O バッファが上書きされました。
説明	画面 / プリンタに出力するために使用されるバッファエリアは 他の目的のためにも使われます。 この状況は、I/O バッファの内容が破壊され、 バッファが初期化されていないときに発生します。
対処	コマンドシーケンスを記録し、 Natural 管理者に相談してください。

NAT0886: 拡張バッファのストレージがオーバーフローしました。

テキスト	拡張バッファのストレージがオーバーフローしました。
説明	Natural プログラムの処理中およびコンパイル中に、一定のテーブルが 拡張バッファに格納されます。 拡張バッファのサイズは、Natural 管理者が ESIZE プロファイルパラメータで定義しています。 このエラーは、Natural スタックに 非常に多量のデータを書き込もうとした場合にも起きます。
対処	- ソースプログラムのサイズを小さくしてください。 - または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0887: 内部スタックがオーバーフローしました。

テキスト	内部スタックがオーバーフローしました。
説明	プログラム実行中に、過度のプログラム反復により プログラムストレージスタックの 内部オーバーフローが起きました。
対処	サブルーチンのネストの数を減らしてください。または Natural 管理者に連絡してください。

NAT0888: コンパイル中または、実行中にストレージがオーバーフローしました。

テキスト	コンパイル中または、実行中にストレージがオーバーフローしました。
説明	次のオーバーフロー状況によりこのエラーが発生します。 - コンパイル時の場合： IF 条件内の算術演算の長さが最大値の 32 KB を超えています。 - 実行時の場合： 3GL プログラム (Natural 3GL プログラムインターフェイス) から Natural サブプログラムを実行したときに、DATSIZE バッファが再配置されました。
対処	コンパイル時の場合：条件内の 算術演算の数を減らしてください。 実行時の場合：CALLNAT インターフェイス INTERFACE4 を使用してください。

NAT0890: ソースパラメータの構成が正しくありません。

テキスト	ソースパラメータの構成が正しくありません。
説明	このエラーは、他のソースパラメータ内に パラメータソース指定があるために、起きたと考えられます。 Natural は現在、1 レベルのパラメータソース処理しかできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0894: オペランドのフォーマット／長さが正しくありません。

テキスト	オペランドのフォーマット / 長さが正しくありません。
説明	無効なフォーマット / 長さ定義がオペランドに対して使用されています。 次の理由が考えられます。 MINVAL/MAXVAL ：オペランドのフォーマット / 長さ定義の組み合わせが、 中間フォーマット生成の規則に従っていません。 一定のフォーマット / 長さを結果として設定するために、 IR 節を使用してください。
対処	オペランドのフォーマット / 長さを変更してください。

NAT0899: DDM :1: の構造に内部エラーがあります。

テキスト	... の構造に内部エラーがあります。
説明	DDM が正しく生成されませんでした。 DDM に内部の矛盾がありました。
対処	DDM を再生成してください。

NAT0900: データエリアの割り当て中にストレージオーバーフローがおきました。

テキスト	データエリアの割り当て中にストレージオーバーフローが起きました。
説明	- そのプログラムのデータエリアを含むストレージエリアが、 データフィールドに対するアドレス割り当て中に オーバーフローしました。または - プログラム内の参照される外部サブルーチンの数が 50 を超えています。 - 実行可能なオブジェクトの構成中にオーバーフローが発生しました。
対処	プログラム内のデータエリアを減らすか、または使用するデータベースフィールドを減らしてください。 あるいは、Natural 管理者に連絡して、USIZE パラメータの値を再調査してもらってください。

19 Natural システムエラーメッセージ 0901～0950

NAT0901: ソートレコード長が **10240** バイトを超えました。

テキスト	ソートレコード長が 10240 バイトを超えました。
説明	ソートするレコードの長さの合計が 10240 バイトを超えてはいけません。 注：ソートストレージに書き出されるフィールドは、 SORT ステートメントで指定したフィールドだけでなく、 全データベースフィールドと、 SORT ステートメントの前に定義したユーザー定義変数です。
対処	ソートレコードのサイズが 10240 バイトを 超えないようにしてください。

NAT0902: フォーマットバッファの作成中にストレージがオーバーフローしました。

テキスト	フォーマットバッファの作成中にストレージがオーバーフローしました。
説明	データベースから読み込むフィールドを定義したフォーマットバッファを 格納するためのバッファ内でオーバーフロー条件が発生しました。
対処	データベースから参照するファイルまたはフィールドの数を減らし、プログラムのサイズを小さくしてください。あるいは、USIZE パラメータの値を 大きくできるかどうか Natural 管理者に相談してください。

NAT0903: 実行時にストレージのオーバーフローが起きました。

テキスト	実行時にストレージのオーバーフローが起きました。
説明	ループテーブルエントリの生成中に ストレージがオーバーフローしました。
対処	構造化プログラミング技法を使用して、 プログラムを分割してください。

NAT0904: プログラム内に **<MOVE ' ' TO** 変数**>** ステートメントが多すぎます。

テキスト	プログラム内に <MOVE ' ' TO 変数> ステートメントが多すぎます。
説明	プログラム内に <MOVE ' ' TO 変数> ステートメントが 多すぎます。
対処	ステートメントを <RESET 変数> に置き換えてください。

NAT0906: Natural ニュークリアスが **V 1.2** ランタイムをサポートしません。

テキスト	Natural ニュークリアスがバージョン 1.2 ランタイムをサポートしません。
説明	Natural ニュークリアスが、バージョン 1.2 ランタイムなしでリンクされています。 バージョン 2 以降でカタログ / 格納されたオブジェクトだけを 実行できます。
対処	バージョン 1.2 ランタイムシステムを含めてニュークリアスを再びリンクし、 使用する環境で新しいコピーをアクティブにしてください。

NAT0907: レコードバッファの生成に失敗しました。 理由コード **:1:**

テキスト	レコードバッファの生成に失敗しました。 理由コード <RC>。
説明	ビューの最大サイズは、使用しているデータベースによって異なります。 データベースステートメントの生成中に、次の エラー状況が発生しました。 RC - 説明: 4 - ADABAS/VSAM アクセスステートメントで、レコードバッファのサイズ (ビューサイズ) が 最大値 64K を超えました (メインフレーム / OpenVMS/UNIX/Windows)。 8 - DB2/SQL アクセスステートメントで、レコードバッファサイズ (ビューサイズ) が最大値 32K を超えました (メインフレーム)。

対処	対応するビューのサイズを縮小してください。

NAT0910: CALL、**SORT**、または **WORK FILE** ステートメントのためのコアが足りません。

テキスト	CALL、SORT、または WORK FILE ステートメントのためのコアが足りません。
説明	CALL、SORT、または WORK FILE ステートメントの処理では、 パーティション内にバッファが必要となります。 パーティション内に、プログラムが必要とするストレージを 割り当てるのに十分なメモリがありません。
対処	大きなパーティションの下で再実行してください。または、 Natural 管理者に連絡してください。

NAT0911: :1: はメインフレームバージョン **:2:** と非互換です（**:3:** 参照）。

テキスト	... はメインフレームバージョン ... と非互換です (... 参照) 。
説明	使われたステートメント / キーワードは、Natural の対応する メインフレームバージョンと互換性がありません。 エラーメッセージで参照された互換性スイッチを設定することで、 このエラーを避けることができます (例 : プロファイルパラメータ V41MFCOMP=ON/OFF) 。
対処	互換性のあるステートメント / キーワードだけを使用するか、または 互換性スイッチを OFF にしてください。

NAT0916: リターンコード **:1:** 場所 **:2:** ユーザー出口 **:3:**

テキスト	リターンコード ... 場所 ... ユーザー出口 ... これにより、Natural によるプログラムの実行が中断されます。
説明	ユーザー出口によって、操作の完了を妨げる状況が検出されました。 この状況がリターンコードにより Natural に知らされました。 このリターンコードは、ユーザー出口に固有のものです。 Natural プログラムは終了させられました。
対処	Natural 管理者またはこのユーザー出口の作成者に連絡してください。

NAT0917: Error :1: in :2: :3:.

テキスト	Error ... in ... .
説明	An error occurred in a statement of a copycode. This message is addedto ↩ the initial error to show the object and line of the INCLUDEstatement. In ↩ case of nested INCLUDEs, the message is added for eachINCLUDE level. The ↩ messages can be displayed with the system commandLASTMSG.Example:Program ↩ MAIN includes copycode COPYC at line 100.COPYC calls subprogram SUB1 at ↩ line 200. SUB1 does not exists.- Initial error message: COPYC 0200 NAT0923 ↩ Invalid program call (Callnat Program SUB1/...- Additional error message: ↩ MAIN 0100 NAT0917 Error 923 in Copycode COPYC.
対処	Check program and correct error.

NAT0918: ON ERROR、または **AT** ブロックから **ESCAPE**（**TOP**）はできません。

テキスト	ON ERROR、または AT ブロックから ESCAPE (TOP) はできません。
説明	このエラーの原因は以下のいずれかです： 1.1. 現在アクティブな ON ERROR ブロックから出るために、 ESCAPE ステートメントが使われましたが、 ON ERROR ブロックは FETCH、STOP、TERMINATE、または RETRY ステートメントで 抜ける必要があります。 2.2. 次の条件内に ESCAPE TOP ステートメントが使用されました。 - AT BREAK - AT START OF DATA - AT END OF DATA
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0919: 使用されたパラメータが多すぎます。

テキスト	使用されたパラメータが多すぎます。
説明	いくつかのステートメントでは、指定できるパラメータの数は制限されます。 例えば、CALL ステートメントおよびシステム関数 *MINVAL と *MAXVAL には制限があります。
対処	パラメータ数を減らします。

NAT0920: プログラム **:1:** がロードできません **:2:**。

テキスト	プログラム ... がロードできません ...。
説明	指定した外部サブプログラムが、次のいずれかの理由により、 ダイナミックにロードまたはスタティックに配置できませんでした。 - ダイナミックサブプログラムのみ：プログラムが、Natural に 現在定義されているロードライブラリに含まれていません。 - サブルーチンのダイナミックなロードに 利用可能な十分なストレージがありません。 オペレーティングシステムから提供されたリターンコードをチェックしてください。 - ダイナミックにロードされるユーザーサブルーチンの 数が制限を超えました。 - Com-plete では、プログラムをロードする スレッドが小さすぎました。 - スタティックサブプログラムの場合のみ： プログラムが、'CSTATIC' パラメータを使用して NATPARM で定義されていません。または、NATPARM モジュールにリンクされていません。
対処	- サブルーチンが Natural で有効なライブラリ内にあること、 または Natural にリンクされていることを確認してください。 - Natural 管理者に連絡して Natural パラメータ 'CDYNAM' または 'CSTATIC' の設定について 相談してください。

NAT0921: コール最大レベルに達しました。

テキスト	コール最大レベルに達しました。
説明	Natural は、別の Natural オブジェクトへのコールをレベル 99 までサポートします。 Natural オブジェクトが別の Natural オブジェクトを呼び出すとき (例：CALLNAT、INPUT MAP、PERFORM、FETCH RETURN 経由で)、 レベルカウンタ *LEVEL は 1 ずつ増加します。 *LEVEL が 99 を超えると、このエラーが発行されます。 このエラーは、通常、オブジェクトがそれ自体を再帰的に呼び出すときに発生します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0922: バッファプールがアクティブではありません。

テキスト	バッファプールがアクティブではありません。

説明	Natural バージョン 2 が、アクティブな バッファプールマネージャを要求しています。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0923: プログラムのコールが正しくありません**(:1:/:2:/:3:/:4:/:5:/:6:)**。

テキスト	プログラムのコールが正しくありません(:1:/:2:/:3:/:4:/:5:/:6:)。
説明	Natural オブジェクト :3:(タイプ :2:、ロード元のライブラリ :4:、 データベース :5:、ファイル番号 :6:) は、ステートメントまたは コマンド :1: で呼び出すことができません。
対処	適切なステートメント / コマンドで、Natural オブジェクトを呼び出してください。

NAT0924: このコンテキスト（**:1: :2: :3:**）内に不正なコマンドがあります。

テキスト	このコンテキスト (:1: :2: :3:) 内に不正なコマンドがあります。
説明	コマンド :1: は、オブジェクト :3: タイプ :2: に対して正しくありません。
対処	マニュアルを参照し、再度やり直してください。

NAT0925: グローバルデータエリアが、それを使うプログラムと一致しません。

テキスト	グローバルデータエリアが、それを使うプログラムと一致しません。
説明	プログラムがグローバルデータエリアを使うたびに、 Natural は、プログラムのコンパイル時が グローバルデータエリアのコンパイル時より後かどうかを チェックします。 グローバルデータエリアが後にコンパイルされた場合、 Natural は、グローバルデータエリアが プログラム内で生成したレイアウトと一致していないとみなして、このエラーメッセージを表示します。
対処	プログラムを再コンパイルして、 システムを再起動してください。

NAT0926: Natural オブジェクトタイプが '**PROGRAM**' のものだけ '**RUN**' できます。

テキスト	Natural オブジェクトタイプが 'PROGRAM' のものだけ 'RUN' できます。
説明	RUN コマンドが、ソースプログラムでないオブジェクトに 発行されました。 または、エディタワークエリア内に 'PROGRAM' でないタイプの オブジェクトが存在しているときに、プログラム名を指定せずに、 RUN コマンドを発行しました。 サブプログラムまたはサブルーチンの実行をテストするには、 このオブジェクトをカタログ / 格納し、 このオブジェクトを呼び出すプログラムを (それぞれ CALLNAT と PERFORM を使用して) 作成する必要があります。 マップ、ヘルプルーチン、およびヘルプマップは、マップエディタでテストできます。 グローバルデータエリア、ローカルデータエリア、および パラメータデータエリアは、データエリアとその初期値を定義し、 Natural オブジェクトの DEFINE DATA ステートメントで 参照したときだけ実行可能となります。
対処	ワークエリア内にプログラムがあるか、 そのエディタタイプが 'PROGRAM' になっているか、 指定したオブジェクトが PROGRAM であるかをそれぞれチェックしてください。 上記のヒントに従って、他のタイプのオブジェクトもテストしてください。

NAT0927: FETCH RETURN ステートメントが **Natural Security** に拒否されました。

テキスト	FETCH RETURN ステートメントが Natural Security に拒否されました。
説明	FETCH RETURN ステートメントで呼び出されたプログラムは、 セキュリティ保護されているので、 他の Natural プログラムから呼び出すことはできません。
対処	Natural または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0928: プログラムは、**SYS*** ライブラリからしか実行できません。

テキスト	プログラムは、SYS* ライブラリからしか実行できません。
説明	このプログラムはセキュリティ保護されているので、 SYS* ライブラリからしか実行できません。 (SYSTEM は SYS* ライブラリ扱いにはなりません。)

対処	正しいライブラリにログオンしてください。

NAT0929: このプログラムは、バッチモードでは実行できません。

テキスト	このプログラムは、バッチモードでは実行できません。
説明	オンラインの機能 / 要素を持つプログラムを バッチモードで実行しようとしました。
対処	会話モードでプログラムを実行してください。

NAT0930: このプログラムは、オンラインでは実行できません。

テキスト	このプログラムは、オンラインでは実行できません。
説明	バッチモード環境でのみ使える機能 / 要素を持つプログラムを 会話モードで実行しようとしました。
対処	バッチモードでプログラムを実行してください。

NAT0931: CMSYNIN ジョブ制御定義がありません。

テキスト	CMSYNIN ジョブ制御定義がありません。
説明	バッチモード実行で、 メインコマンドの定義、および Natural のソース入力をするための DD ステートメントがありません。 コマンドが読めません。
対処	CMSYNIN ファイルの定義をジョブ制御で指定してください。

NAT0932: プログラムのバージョンエラーです。

テキスト	プログラムのバージョンエラーです。
説明	実行中のプログラムが画面 I/O 間に 別ユーザーによって再カタログされました (つまり、最初のユーザーがまだ使用中であるのに 次のユーザーによってプログラムが格納された可能性があります)。

対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0933: GDA のタイムスタンプが一致しません。

テキスト	GDA のタイムスタンプが一致しません。
説明	プログラムが、再カタログされたグローバルデータエリア (GDA) 、 またはプログラムをカタログした後で他の環境から移動された GDA を 参照する場合に、このエラーが発生します。 GDA を参照するプログラムが 異なる環境から現在の環境に移動される場合がありますが、これも GDA タイムスタンプの矛盾を引き起こすことになります。 GDA が再カタログされた場合、その GDA を参照するオブジェクトもすべて 再カタログする必要があります。
対処	プログラム構造をチェックして、必要な場合はプログラムを再カタログしてください。 または、プロファイルパラメータ RECAT=ON を使用してください。 Natural Optimizer Compiler でカタログされたプログラムでは、 RECAT=ON の設定は利用できません。

NAT0934: GDA の矛盾 **:1:** アクティブ **:2:** ストラクチャ **:3:**。

テキスト	GDA の矛盾 ... アクティブ ... ストラクチャ ...。
説明	2 つの原因が考えられます。 a) GDA 名が異なる : Natural オブジェクトが、すでに使用されている GDA とは異なる GDA を 使用しようとした (これは、CALLNAT および FETCH の場合にのみ可能です) 。 b) GDA 名が同一である : Natural オブジェクトが使用しようとした GDA 中のブロックと、 すでに使用されているブロックとの間に矛盾が生じた。
対処	呼び出そうとしたオブジェクトと、アクティブな GDA の現在の ストラクチャを作成したオブジェクトで、GDA の使用法を比較してください。 ストラクチャを作成するオブジェクトは、'ストラクチャ' の後ろに表示されています。

NAT0935: パラメータ数が矛盾しています（**:1: :2:/:3:/:4:/:5:**）。

テキスト	パラメータ数が矛盾しています (:1: :2:/:3:/:4:/:5:) 。

説明	オブジェクト :2:(タイプ :1:、ロード元ライブラリ :3:、データベース :4:、ファイル番号 :5:)に定義されたパラメータの数が、オブジェクトを呼び出すために使用されたパラメータの数と一致しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0936: パラメータ **:1:**（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:**）のフォーマット／長さが矛盾しています。

テキスト	パラメータ :1:(:2: :3:/:4:/:5:/:6:)のフォーマット / 長さが矛盾しています。
説明	オブジェクト :3:(タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:)の位置 :1: に定義されたパラメータは、それを呼び出すために使用された対応するパラメータのフォーマット / 長さと一致しません。 次の条件が満たされている必要があります。 - フォーマットは等しくなければならない。 - 長さは等しくなければならない。 - 精度は等しくなければならない。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0937: パラメータの配列定義が不正です。 **:1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:).**

テキスト	パラメータの配列定義が不正です。 :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:).
説明	オブジェクト :3:(タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、データベース :5:、ファイル番号 :6:)の位置 :1: のパラメータとして定義された配列は、それを呼び出すための対応するパラメータとして使用された配列または配列範囲と一致しません。 次の条件が満たされている必要があります。 - ランクが等しくなければならない。 - 各次元のオカレンスが等しくなければならない。 3GL ルーチンがサブプログラムを呼び出し、サブプログラムの PDA が可変配列範囲(1:V)を指定する場合にも、このエラーが発生します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0938: 保護パラメータ **:1:** がターゲットフィールド（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:/**）として使用されています。

テキスト	保護 パラメータ :1: がターゲットフィールド (:2: :3:/:4:/:5:/:6:/) として使用されています。
説明	オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4:、 データベース :5:、ファイル番号 :6:) の位置 :1: に定義された パラメータは、ターゲットオペランドとして使用されています。 ただし、このパラメータは保護されています。 パラメータは、定数であるか、または属性 (AD=ON) が指定されているので、 修正しないでください。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0939: Natural エディタがリンクされていないため、ロードできません。

テキスト	Natural エディタがリンクされていないため、ロードできません。
説明	Natural エディタモジュールがリンクされていないため、 ロードできません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT0940: 端末コマンドはサポートされていません。

テキスト	端末コマンドはサポートされていません。
説明	画面ページングの端末コマンドは、 どの TP モニタ下でも使用できません。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT0941: 画面ページングシステムファイルのサイズが正しくありません。

テキスト	画面ページングシステムファイルのサイズが正しくありません。
説明	画面ページングコマンドが入力されましたが、 画面ページングに使用されたシステムファイルのサイズが '0' でした。 これは、画面を格納できないことを示します。

対処	正しい画面ページングのシステムファイルサイズで Natural セッションを再スタートしてください。

NAT0942: ハードコピー処理の使い方が正しくありません。

テキスト	ハードコピー処理の使い方が正しくありません。
説明	Natural のハードコピー機能は、Com-plete 下の TP モニタでのみ使用可能です。
対処	正しい Natural コマンドを入力してください。

NAT0943: 画面ページング処理へのオープンコールに対し、エラーが返されました。

テキスト	画面ページング処理へのオープンコールに対し、エラーが返されました。
説明	
対処	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0944: 画面ページングレコードがオーバーフローしました。

テキスト	画面ページングレコードがオーバーフローしました。
説明	画面ページサイズより大きいレコードを 画面ページングシステムファイルに書き出そうとしました。
対処	物理端末バッファサイズを大きくしてください。

NAT0946: 画面ページングシステムファイルへの書き出し処理が失敗しました。

テキスト	画面ページングシステムファイルへの書き出し処理が失敗しました。
説明	画面ページングシステムファイルへの書き出し処理中に エラーが発生しました。
対処	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0947: 画面ページングシステムファイルの読み込み処理が失敗しました。

テキスト	画面ページングシステムファイルの読み込み処理が失敗しました。
説明	画面ページングシステムファイルの読み込み処理中に エラーが発生しました。
対処	画面ページングシステムファイルのステータスをチェックします。

NAT0949: Limit of :1: concurrent sessions exceeded for user :2:.

テキスト	Limit of ... concurrent sessions exceeded for user ....
説明	The maximum number of concurrent sessions allowed for the useras indicated ↩ in the message has been exceeded.
対処	Reduce the number of concurrent sessions.

NAT0950: 未処理 **LE** 条件 **:1:** のために異常終了しました。

テキスト	未処理 LE 条件 ... のために異常終了しました。
説明	LE (IBM 言語環境) サブプログラムの実行中に エラー条件が発生しました。 エラーを処理するサブプログラムの 条件ハンドラがアクティブではなかったため、コントロールはNatural LE の条件ハンドラに渡されました。 この条件ハンドラは、CEEDUMP に LE スナップダンプを書き込み、 さらに詳細な LE エラーメッセージを発行するために、LE サービスを呼び出します。
対処	LE エラー条件、メッセージ、およびスナップダンプをチェックして エラーの理由を特定します。 必要な場合は、LE サブプログラムを修正してください。

20 Natural システムエラーメッセージ 0951～1000

NAT0951: 実行が正常に終了しました。

テキスト	実行が正常に終了しました。
説明	このメッセージは、Natural バッチジョブの正常実行、または正常終了を示します。
対処	対処は必要ありません。

NAT0952: データベースループ処理が制限を超えました。

テキスト	データベースループ処理が制限を超えました。
説明	HISTOGRAM/FIND/READ のデータベースループの処理制限が、 数値定数またはユーザー定義変数で指定されています。 この制限を超えることは一般には エラーではありません。 ただし、この上限を超えたデータベースループのレコードは 検索条件に合っていても処理されません。 注：処理ループの全体的な制限は、Natural セッションパラメータ LT で 指定することもできます。
対処	- 制限値を増やしてください。 - または、このエラーメッセージを無視してください。

NAT0953: タイムリミットを超えました。

テキスト	タイムリミットを超えました。
説明	TP モードでは、 このメッセージは、システム生成時に TP モニタに指定されたタイムアウトパラメータが、 現在のプログラムを操作するために十分でないことを意味しています。 バッチモードでは、プログラムが無限ループではないとわかると (SET GLOBALS ステートメントまたは GLOBALS コマンドの) MT パラメータを使用して、CPU 時間を増やすことができます。
対処	プログラムをチェックし、必要な場合は修正してください。 プログラムにエラーがない場合は、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0954: プログラムの実行中に異常終了 **:1:** が発生しました。

テキスト	プログラムの実行中に異常終了 ... が発生しました。
説明	Natural オブジェクトプログラムの実行中に異常終了が発生しました。 このエラーの主な原因として、実行中に正しくない数値データが 入っている算術オペランドを使用したことが考えられます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0955: プログラムのコンパイル中に異常終了 **:1:** が起きました。

テキスト	プログラムのコンパイル中に異常終了 ... が起きました。
説明	Natural の構文 / コンパイルフェーズで、 内部的な異常終了が起きました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0956: コマンド分析中に異常終了 **:1:** が起きました。

テキスト	コマンド分析中に異常終了 ... が起きました。

説明	コマンドの評価中、Natural システムに異常終了が起きました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0957: データベースループが **'LE=ON'** で指定された制限に達しました。

テキスト	データベースループが 'LE=ON' で指定された制限に達しました。
説明	FIND、READ、または HISTOGRAM ステートメントで指定された データベース処理ループの制限に達しました。 これにより、ループステートメントが終了されますが、プログラムフローは中断したループ後の ステートメントによって通常どおり続行されます。 パラメータ 'LE=ON' が設定されている場合は、プログラムの終了時に エラーメッセージ NAT0957 が表示されます。 この制限は、データベースループステートメント (例 : FIND (10) ..) で値を明示的に設定するか、または値が明示的に指定されていない場合は、 LIMIT ステートメント (例 : LIMIT 10) により プログラムでグローバルに設定されます。 バッチモードでは、セッションパラメータ CC が 'OFF' に設定されている場合にのみ、 Natural によって処理が続行されます。
対処	制限値を増やすか、または 'LE=OFF' を設定してください。

NAT0958: メソッド **:1:** の **ODA**（オブジェクトデータエリア）の使用が不正です。

テキスト	メソッド ... の ODA (オブジェクトデータエリア) の使用が不正です。
説明	クラス固有の データを使用するため、オブジェクトデータエリア (ODA) がメソッドで定義されます。 ODA がサブプログラムに定義される場合、このサブプログラムはクラスのメソッドとしてのみ呼び出すことができます (ステートメント SEND METHOD)。 また、メソッドに定義された ODA は、 クラスに定義された ODA と 互換性がある必要があります。 メソッドは、SEND METHOD を使用せずに呼び出されているか、または メソッドに定義された ODA に、クラスに定義された ODA とは 異なる数の変数が含まれています。
対処	SEND METHOD を使用して、メソッドをアクティブにしてください。 メソッドに定義された ODA に、クラスに定義された ODA と同じ数の変数が 含まれていることを確認してください。

NAT0959: クラス **:1:** とメソッド **:2:**（**:3:**）の **ODA** 構造が矛盾しています。

テキスト	クラス ... とメソッド ...（...）の ODA 構造が矛盾しています。
説明	クラス固有の データを使用するため、オブジェクトデータエリア (ODA) がメソッドで定義されます。 したがって、クラスに定義された ODA の構造は、メソッドに定義された ODA の 構造と一致している必要があります。 矛盾が、カッコ内に示された変数に対して検出されました。
対処	メソッドの ODA とそのクラスに含まれている変数が、 同じフォーマットと長さを持っていることを確認してください。

NAT0960: SAVE/CATALOG/PURGE/UNCATALOG 処理が異常終了しました。

テキスト	SAVE/CATALOG/PURGE/UNCATALOG 処理が異常終了しました。
説明	処理を繰り返し実行しようとしましたが、 XREF データが処理されたときに、 トランザクションバックアウトに対するレスポンスコード '9' が、 Adabas から返されました。
対処	Natural 管理者に、Adabas に指定されている 最大トランザクション継続時間の調査を依頼してください。

NAT0961: SAVE/CAT/PURGE/UNCAT を同時に実行したか、**Adabas** ホールドキューあふれです。

テキスト	SAVE/CAT/PURGE/UNCAT を同時に実行したか、または Adabas ホールドキューあふれです。
説明	同じソースプログラム / オブジェクトモジュールが、 別のユーザーにより更新処理中です。 このエラーは、Natural ソース / オブジェクトプログラムの '古い' コピーを削除しようとしているとき、 Adabas レスポンスコード '145' を受け取った場合にも表示されます。 このエラーの一般的な原因は、 Adabas ホールドキューのオーバーフローです。
対処	後で再実行してください。 このエラーが続く場合は、Natural 管理者に連絡してください。

NAT0962: Natural システムライブラリへの不正なアクセスです。

テキスト	Natural システムライブラリへの不正なアクセスです。
説明	Natural システムライブラリ 'SYSLIB' のプログラムに アクセスまたは置き換えを実行しようとしました。 'SYSLIB' の使用は、Natural システムルーチンで制限されています。 ユーザーはこのライブラリ ID を使用しないでください。
対処	システムライブラリ 'SYSLIB' にアクセスしないでください。

NAT0963: プログラム実行時にセキュリティ違反が発生しました（**:1:**）。

テキスト	プログラム実行時にセキュリティ違反が発生しました (...) 。
説明	現在のユーザーが、使用できない Natural プログラムを 実行しようとしました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0964: サブルーチン／ファンクション **:1:** はメンバ **:2:** としてすでに存在しています。

テキスト	サブルーチン / ファンクション ... はメンバ ... としてすでに存在しています。
説明	ライブラリ内のサブルーチン / ファンクションの名前は、 ユニークでなければいけません。
対処	サブルーチン / ファンクションに対して別の名前を選択してください。

NAT0965: 変換エラーが **RESULT** パラメータ **:1:**（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:**）を返しました。

テキスト	変換エラーが RESULT パラメータ :1: (:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を返しました。
説明	オブジェクト :3: (タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4: データベース :5: ファイル番号 :6:) の BY VALUE RESULT 属性で 定義されたパラメータ :1: の値を返している際に、 変換エラーが発生しました。 現在の値が Natural ドキュメントの「計算割り当ての規則」の 記述に従っているかどうかをチェックします。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0966: 変換エラーが **BY VALUE** パラメータ **:1:**（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:**）を割り当てました。

テキスト	変換 エラーが BY VALUE パラメータ :1:(:2: :3:/:4:/:5:/:6:) を割り当てました。
説明	オブジェクト :3:(タイプ :2:、ロード元ライブラリ :4: データベース :5: ファイル番号 :6:) の BY VALUE(RESULT) 属性で 定義されたパラメータ :1: の値を割り当てている際に、 変換エラーが発生しました。 現在の値が Natural ドキュメントの「計算割り当ての規則」の 記述に従っているかどうかをチェックします。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0967: 関数 **:1:** は現在のコンテキスト内では使用できません。

テキスト	関数 ... は現在のコンテキスト内では使用できません。
説明	この関数は、特定のコンテキスト (3GL callnat インターフェイス、 SEND METHOD、または PARSE がアクティブであるなど) 内では 使用できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0968: 必須パラメータ **:1:** が指定されていません（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:**）。

テキスト	必須パラメータ ... が指定されていません (... .../.../.../...)。
説明	PDA 内でオプションとして指定されていないパラメータが、 渡されませんでした。 呼び出されたオブジェクトは、タイプ、名前、データベース ID、 およびファイル番号で記述されています。 このエラーは、渡されるパラメータが少なすぎる場合にも発生することがあります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正します。

NAT0969: ダイナミックパラメータ **:1:** が一致しません（**:2: :3:/:4:/:5:/:6:**）。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... が一致しません (... .../.../.../...)。
説明	参照によって使用されるパラメータは、呼び出し側と宣言内の 両方でダイナミックであるか、または、呼び出し側と 宣言内の両方で非ダイナミックでなければなりません。 パラメータ番号が指定され、呼び出されたオブジェクトは、タイプ、 名前、データベース ID、およびファイル番号によって記述されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正します。

NAT0970: プログラムのソース行の制限が **0** に設定されています。

テキスト	プログラムのソース行の制限が 0 に設定されています。
説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、 ユーザーはソースプログラムを作成できますが、 ソース行数の制限が誤って '0' に設定されています。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0971: ソース行の制限に達しました。

テキスト	ソース行の制限に達しました。
説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限で、 新しいプログラムを作成するソース行の制限が定義されています。 新しいプログラムを作成する場合、この制限を超えてはなりません。
対処	- プログラムサイズを小さくしてください。または - Natural Security 管理者に ソース行の制限を増やすことを依頼してください。

NAT0972: ユーザーはこのコマンド **:1:** を使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーはこのコマンド ... を使う権限を持っていません。

説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、 特定のコマンドしか使用できません。 ユーザーは指定したコマンドを使用できません。
対処	- この環境ではこのコマンドを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0973: ユーザーは指定したステートメントを使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したステートメントを使う権限を持っていません。
説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、 特定のステートメントしか使用できません。 ユーザーは指定したステートメントを使用できません。
対処	- このステートメントを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0974: ユーザーは指定したファイルを使う権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したファイルを使う権限を持っていません。
説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、 特定のファイルしか使用できません。 ユーザーは指定したファイルを使用できません。
対処	- このファイルを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0975: ユーザーは指定したファイルを更新する権限を持っていません。

テキスト	ユーザーは指定したファイルを更新する権限を持っていません。
説明	このアプリケーションでのユーザーのセキュリティ権限では、 特定のファイルしか更新できません。 ユーザーは指定したファイルを更新できません。
対処	- このファイルを使用しないでください。または - Natural Security 管理者に権限の付与を依頼してください。

NAT0976: コマンド選択に対して矛盾したセキュリティ定義があります。

テキスト	コマンド選択に対して矛盾したセキュリティ定義があります。
説明	Natural Security システムの選択画面で Natural 管理者によって選択されたコマンドが システムに定義されていなかった場合、定義の矛盾が起きます。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0977: ステートメントの選択で、セキュリティ定義に矛盾が起きました。

テキスト	ステートメントの選択で、セキュリティ定義に矛盾が起きました。
説明	Natural 管理者が システムに定義されていないステートメントを選択した場合、 セキュリティ定義に矛盾が起こります。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0978: デフォルトのフォーマット定義 **(N7)** の使用が正しくありません。

テキスト	デフォルトのフォーマット定義 (N7) の使用が正しくありません。
説明	Natural Security では、ユーザー属性を指定できます。 これらのうちの 1 つのオプションで ユーザーがデフォルトのフォーマット定義 (N7) を使用できるかどうかを指定します。 ユーザーはこのアプリケーションでは、 このオプションを使用できません。
対処	ユーザー定義変数には必ずフォーマット / 長さを 指定する必要があります。

NAT0979: ライブラリの指定は許されません。

テキスト	ライブラリの指定は許されません。
説明	セキュリティ保護環境では、ユーザーはコマンドでライブラリ ID を 指定しただけではライブラリにアクセスできません。 ユーザーはライブラリに正しくログオンしてから、そのライブラリにアクセスしてください。 非セキュリティ環境であっても、 ライブラリ ID が 'SYS' で始まる場合は保護されます。

対処	ライブラリにログオンしてから、コマンドを再発行してください。

NAT0980: データベースファイル番号の使用が正しくありません。

テキスト	データベースファイル番号の使用が正しくありません。
説明	データベースアクセスステートメント内では ファイル番号を使用できません。
対処	ファイル番号の代わりにビュー名を使用してください。

NAT0981: 2 文字のデータベースショートネームフィールドの使用は許されません。

テキスト	2 文字のデータベースショートネームフィールドの使用は許されません。
説明	次の場合、2 文字のデータベースショートネームフィールドの参照は許されません。 1) Natural Security 環境で実行している場合。 2) データビューの定義内部 (DEFINE DATA) 。 3) DEFINE DATA LOCAL が変数を定義するために以前に使用された場合。 4) コンパイラオプション DBSHORT=OFF が設定されている場合。
対処	2 文字のデータベースショートネームフィールドを使用しないでください。

NAT0982: 内部エラー**:**要求されたシステムコマンドは正しくありません。

テキスト	内部エラー：要求されたシステムコマンドは正しくありません。
説明	定義されていない Natural プログラムを必要とする システムコマンドが要求されました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0983: Natural Security により更新コマンドの権限を与えられていません。

テキスト	Natural Security により更新コマンドの権限を与えられていません。
説明	ユーザーは更新コマンドの実行が認められていません。

対処	Natural Security の定義 / 権限について、 Natural 管理者に問い合わせてください。

NAT0984: このファイルは **Natural Security** では定義されていません。

テキスト	このファイルは Natural Security では定義されていません。
説明	
対処	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 - または、Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT0985: ファンクション **:1:**（**:2:/:3:/:4:**）に戻り値が定義されていません。

テキスト	ファンクション ...(.../.../...) に戻り値が定義されていません。
説明	戻り値が呼び出し側オブジェクトに必要ですが、呼び出された ファンクションに定義されていません。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR が エラーメッセージに示されています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0986: 戻り変数のフォーマット／長さが矛盾しています（**:1:/:2:/:3:/:4:**）。

テキスト	戻り変数のフォーマット / 長さが矛盾しています (.../.../.../...)。
説明	DEFINE PROTOTYPE ステートメントに指定された戻り変数は、呼び出された ファンクションに定義された対応する戻り変数とは異なる フォーマット / 長さで定義されています。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR が エラーメッセージに示されています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0987: BY VALUE 変数の変換エラーです（**:1:/:2:/:3:/:4:**）。

テキスト	BY VALUE 変数の変換エラーです (.../.../.../...) 。
説明	ファンクションにおいて属性 BY VALUE で定義される戻り変数の値を返している際に、変換エラーが発生しました。 DEFINE PROTOTYPE ステートメントで指定された値が、 Natural ドキュメントで説明されている「演算割り当てのルール」に適合していることを確認してください。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR が エラーメッセージに示されています。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT0988: ダイナミック戻り変数の不一致です（**:1:/:2:/:3:/:4:**）。

テキスト	ダイナミック戻り変数の不一致です (.../.../.../...) 。
説明	参照によって使用される戻り変数は、DEFINE PROTOTYPE ステートメントとファンクション宣言の両方で、ダイナミックまたは 非ダイナミックのいずれかになっている必要があります。 関数名、ライブラリ、DBID および FNR が エラーメッセージに示されています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0989: Parameter format not allowed for call from 3GL.

テキスト	Parameter format not allowed for call from 3GL.
説明	A Natural subprogram which is invoked from a third-generationlanguage like ↩ Cobol, PL/I, or C, cannot use parametersdefined as DYNAMIC variable, ↩ X-array, or variable array (1:V).
対処	In a Natural subprogram to be invoked from a 3GL,define as parameters only ↩ static variables and arrays with fixed indexbounds.

NAT0997: STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファが正しくありません。

テキスト	STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファが正しくありません。
説明	STORE/UPDATE ステートメントのフォーマットバッファの長さが 0 になっています。 これは無効です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT0998: 内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT0999: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1000: FIND の集合名が **RETAIN** テーブルに見つかりません。

テキスト	FIND の集合名が RETAIN テーブルに見つかりません。
説明	FIND ... RETAIN ステートメントによって作成される FIND 集合テーブルの中にない集合名が参照されました。
対処	正しい FIND 集合名を入力してください。

21 Natural システムエラーメッセージ 1001〜1050

NAT1001: 集合の **DBID** またはファイル番号が現在のファイルと一致しません。

テキスト	集合の DBID またはファイル番号が現在のファイルと一致しません。
説明	FIND 集合を別の FIND ステートメントで論理条件として 使用する場合は、その集合が FIND ステートメントで使用しているのと同じ集合から 選択される必要があります。 以前に格納された集合のデータベース ID および / または ファイル番号が、現在処理中のデータベース ID および / またはファイル番号と異なります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1003: データベースコールに対するグローバルリミットに達しました **-> LT** パラメータ。

テキスト	データベースコールに対するグローバルリミットに達しました -> LT パラメータ。
説明	データベースから読み込むことのできる最大レコード数を超えました。 この数は、プロファイルおよびセッションパラメータ LT で設定されています。 FIND、READ、または HISTOGRAM ステートメントを使用して、 レコードがデータベースから読み込まれると、カウンタフィールドがまず増加され、その後に LT パラメータの現在の値と比較されます。 実際の LT 値の方が大きい場合に、 エラー NAT1003 が発生します。 レベル 1 のプログラムが新たに起動された場合、カウンタフィールドはリセットされ、 再びゼロから開始されます。 1 よりも大きいレベルで実行される別のオブジェクトが呼び出された場合、 カウンタはリセットされず、前のプログラムのカウント値から続行されます。

対処	LT パラメータの値を増やしてください。

NAT1004: FIND UNIQUE で、レコードが見つからないか、複数レコードが見つかりました。

テキスト	FIND UNIQUE で、レコードが見つからないか、または複数のレコードが見つかりました。
説明	FIND UNIQUE ステートメントでは、データベースでレコードが 1 件のみ 見つかる必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1005: 検索制限の指定より多くのレコードが見つかりました。

テキスト	検索制限の指定より多くのレコードが見つかりました。
説明	WITH LIMIT = nnn 節は、 基本検索条件の評価後に選択されたレコード数が 'nnn' より少ない場合にのみ WHERE 条件が評価されることを 指定するために使用します。
対処	- WITH リミットを大きくしてください、または - 基本検索条件を修正してください。

NAT1006: 添字に指定された値が **'0'** である、または最大値を超えました。

テキスト	添字に指定された値が '0' である、または最大値を超えました。
説明	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループの添字に指定された値が、 最大値を超えたか、または 1 未満です。 Adabas の場合、添字の最大値には 65534 まで指定できます。 この値は、Adabas バージョンおよび FDT の定義に応じて異なります。 VSAM および DL/I の場合、添字の最大値は 191 です。 DDMS の場合、添字の最大値は 9999 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1007: バイナリに変換しようとした値が大きすぎます。

テキスト	バイナリに変換しようとした値が大きすぎます。
説明	4 バイトのバイナリ数で表現できる値だけを、 バイナリに変換できます。 指定された数値は、4 バイトのバイナリ数に収まりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1008: 変数添字が **RETAIN** リストレコードバッファに定義されました。

テキスト	変数添字が RETAIN リストレコードバッファに定義されました。
説明	フォーマットバッファは、EC コマンドで解放されないので、 変数添字は RETAIN リストレコードバッファには許されません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1009: データベースコールが多すぎて、プログラムが中断されました。

テキスト	データベースコールが多すぎて、プログラムが中断されました。
説明	Natural は全データベースコールをカウントし、 結果をパラメータ MADIO の値と比較します。 この値に達すると、ループとみなされ、プログラムが終了します。 画面 I/O 処理の後、データベースコールカウントは 0 にリセットされます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1010: UPDATE=OFF コマンドで **STORE/UPDATE/DELETE** が拒否されました。

テキスト	UPDATE=OFF コマンドで STORE/UPDATE/DELETE が拒否されました。
説明	UPDATE OFF が有効な間にプログラムが実行され、 そのプログラムがデータベースに対して STORE/UPDATE/DELETE ステートメントを発行した場合に、 データベース更新ステートメントがあったが、 実行されなかったことを知らせるために この警告メッセージが発行されました。

対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1011: 要求されたファンクションキーは、割り当てられていません。

テキスト	要求されたファンクションキーは、割り当てられていません。
説明	ユーザーはファンクションキーで機能を要求する前に、 そのキーを SET KEY ステートメントで プログラムに定義しておく必要があります。 このエラーメッセージが、 NEXT に対する応答として表示された場合は、 このファンクションキーに対する値をKEY コマンドで指定できます。
対処	上記のようにファンクションキーを定義してください。

NAT1012: システムファイルに対する更新はできません。

テキスト	システムファイルに対する更新はできません。
説明	ユーザーは SAVE または CATALOG コマンドを発行する権限がありません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1013: 誤った端末コマンドが要求されました。

テキスト	誤った端末コマンドが要求されました。
説明	正しい端末コマンドについては、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	- 正しい端末コマンドを入力してください。 - または、Enter キーを押してください。

NAT1016: ユーザーアクションによって、アプリケーションが中断されました。

テキスト	ユーザーアクションによって、アプリケーションが中断されました。

説明	次のいずれかのアクションによって、アプリケーションが中断されました。 - メインフレームの端末ユーザーが、アテンション割り込み (端末をリセットして Enter キーを押すこと) によって Natural プログラムを中断しました。 - キャンセルボタンをクリックすることによって、 Entire Connection アップロードやダウンロードダイアログボックスを 閉じたことが原因で、アテンション割り込みが発生しました。 - 通常のシステム中断キーの組み合わせ (Windows の場合は CTRL + BREAK、UNIX の場合は CTRL + C) によって、 アプリケーションが中断されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT1017: 複数のデータベースに対する **Adabas** 更新が行われました。

テキスト	複数のデータベースに対する Adabas 更新が行われました。
説明	Natural は、トランザクションのシステム障害に対する 完全性を保障しないので、 トランザクション内で複数のデータベースを同時に更新することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1018: Invalid database type for system file.

テキスト	Invalid database type for system file.
説明	For system files, the database type must be a version of ADABAS or ↩ VSAM.Example of valid setting: FNAT=(10,99),DB=(ADABAS,10)Example of invalid ↩ setting: FNAT=(10,99),DB=(DLI,10)
対処	Specify the correct database type in the DB parameter or NTDB macro.

NAT1019: Magnetic card reader を **SET KEY** でアクティブにしなければなりません。

テキスト	Magnetic card reader を SET KEY でアクティブにする必要があります。
説明	magnetic card reader によってデータを読み込む前に、 SET KEY ステートメント (SET KEY MGID、 SET KEY CDID、または SET KEY ALL) によって、 magnetic card reader をプログラムで認識できるように する必要があります。

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1024: Total object size (:1: bytes) exceeds :2: Megabyte.

テキスト	Total object size (:1: bytes) exceeds :2: Megabyte.
説明	The total size (... Bytes) of a Natural object exceeds the limit of... ↩ megabytes.
対処	Reduce the size of the Natural object.

NAT1028: データベースへの処理ループの中での再呼び出しはできません。

テキスト	データベースへの処理ループの中での再呼び出しはできません。
説明	すでにアクティブなデータベースへの処理ループからの 2 度目の実行はできません。 例：PERFORM SUB001 DEFINE SUBROUTINE SUB001 FIND ビュー名 WITH field = 'any-value' DISPLAY *ISN *COUNTER *NUMBER PERFORM SUB001 <-- 再呼び出し END-FIND END-SUBROUTINE
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1029: Natural プログラムコールが多すぎて中断しました。

テキスト	Natural プログラムコールが多すぎて中断しました。
説明	FETCH、CALLNAT、PERFORM ステートメントは、それぞれカウントされています。 このカウントは、 - Natural パラメータモジュール、または - MAXCL に対するダイナミックパラメータ機能 によって与えられる値と比較されます。 この値が、カウント結果以下であると、 Natural は、エラートランザクション名を壊し、このエラーを発行します。

対処	- プログラムをチェックして、エラーを修正してください。または - MAXCL を '0' または十分な大きさに設定してください。

NAT1030: 内部エラー、**Natural** システムファイルへの不正なアクセスです。

テキスト	内部エラー、Natural システムファイルへの不正なアクセスです。
説明	
対処	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1031: VSAM データセットに不正なアクセスをしました。

テキスト	VSAM データセットに不正なアクセスをしました。
説明	VSAM データセットへのアクセスが要求されましたが、 Natural システムでは VSAM がサポートされていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1032: DL/I データベースに対し不正なアクセスをしました。

テキスト	DL/I データベースに対し不正なアクセスをしました。
説明	DL/I データベースへのアクセスが要求されましたが、 Natural システムでは DL/I がサポートされていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1049: 方向オペランドの内容が間違っています。

テキスト	方向オペランドの内容が間違っています。
説明	次のステートメントで使用される可変方向オペランド (#op) は 不正な文字を含んでいます。 READ ... IN VARIABLE #op SEQUENCE ... または HISTOGRAM ... IN VARIABLE #op SEQUENCE ... 次の値のみ使用できます。 DESCENDING の場合は 'D' または 'd' ASCENDING の場合は 'A' または 'a'

対処	正しい文字を持った方向オペランドを指定してください。

22 Natural システムエラーメッセージ 1051～1100

NAT1073: :1: バッファプールの初期化ができませんでした。 **(:2:).**

テキスト	... バッファプールを初期化できませんでした。 (...)。
説明	次のいずれかの理由により、バッファプールを 初期化できませんでした。 - ローカルバッファプールストレージ用の GETMAIN に失敗しました。 - 指定したバッファプールサイズ (BPSIZE パラメータ) が小さすぎます。 - EDTSTUB の LINK がありません (インストレーションエラー)。
対処	インストレーションをチェックし、問題点を修正してください。

NAT1074: グローバルな **:1:** バッファプール **:2:** が見つかりません。

テキスト	グローバルな :1: バッファプール :2: が見つかりません。
説明	タイプ :1: のグローバルバッファプール :2: が見つかりません。 グローバルバッファプールがまだ割り当てられていないか、または グローバルバッファプールの名前が間違っています。 Natural サブシステムが存在しないことが原因でバッファプールが 見つからない場合は、Natural サブシステム名をスラッシュ (/) で 区切って、グローバルバッファプール名に加えてください。
対処	グローバルバッファプール名 (Natural プロファイルパラメータ BPNAME または NTBPI/BPI サブパラメータ NAME) および / または Natural サブシステム名 (Natural プロファイルパラメータ SUBSID) を チェックしてください。

NAT1075: Global :1: buffer pool :2: allocated in system key.

テキスト	Global ... buffer pool ... allocated in system key.
説明	The indicated global buffer pool has been allocated in system key, butthe ↩ authorized services manager (ASM) has not been started or is notof the ↩ required minimum version.To process a buffer pool that has been allocated ↩ in system key, the ASMis required.
対処	Start an authorized services manager of the required minimum versionfor ↩ the Natural subsystem in use.

NAT1076: プリロードリスト **:2: :3:** のロード中にエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	プリロードリスト :2: :3: のロード中にエラー :1: が発生しました。
説明	Natural セッション開始時に、バッファプールプリロードリスト :2: をロードしようとして Natural エラー :1: が発生しました。 プリロードリストの読み込み中に Natural エラーが 発生すると、情報 :3: は空白となります。 プリロードリストに指定されたオブジェクトのロード中に Natural エラーが発生すると、:3: にはオブジェクトのライブラリとプログラム名が含まれます。 典型的な Natural エラーは NAT0082 です。これは、プリロードリスト または指定オブジェクトが見つからなかったことを示すエラーです。
対処	プリロードリストのオブジェクト名をチェックしてください。

NAT1080: キャッシュ作成障害 **:1: :2: :3:** 理由 **= :4:** が発生しました。

テキスト	キャッシュ作成障害 :1: :2: :3: 理由 = :4: が発生しました。
説明	キャッシュ作成機能は失敗しました。 このメッセージには、失敗したオペレーティングシステムのマクロおよびマクロ関数 (:1:) が示されています。 このメッセージでは、マクロ要求障害のタイプ (:2:) 、つまり、マクロが、 マクロ障害 (RC=) または ABEND (CC=) のために失敗したかどうかも示されます。 パラメータ :3: は、それぞれ、ABEND コードまたはマクロ要求のリターンコード です。 パラメータ :4: は、該当する理由コードです。

対処	障害の理由について、関連するオペレーティングシステムの マニュアルを参照してください。

NAT1081: キャッシュ削除障害 **:1: :2: :3:** 理由**= :4:** が発生しました。

テキスト	キャッシュ削除障害 :1: :2: :3: 理由= :4: が発生しました。
説明	キャッシュ削除機能は失敗しました。 このメッセージには、失敗したオペレーティングシステムのマクロおよびマクロ関数 (:1:) が示されています。 このメッセージでは、マクロ要求障害のタイプ (:2:) 、つまり、マクロが、 マクロ障害 (RC=) または ABEND (CC=) のために失敗したかどうかも示されます。 パラメータ :3: は、それぞれ、ABEND コードまたはマクロ要求のリターンコード です。 パラメータ :4: は、該当する理由コードです。
対処	障害の理由について、関連するオペレーティングシステムの マクロを参照してください。

NAT1100: 数値フィールドの入力値が数値ではありません。

テキスト	数値フィールドの入力値が数値ではありません。
説明	数値フィールドの入力値は、正しい数値でなければなりません。 数値フィールドには、前後に 1 つ以上の空白が含まれていてもよく、 1 つの符号と、小数点を指定できます。 値がフィールドより大きくてはいけません。
対処	正しい数値を入力してください。

23 Natural システムエラーメッセージ 1101〜1150

NAT1101: 指定された最大ページ数を超えました。

テキスト	指定された最大ページ数を超えました。
説明	Natural セッションパラメータ MP で指定されたページ数の最大値を超えました。
対処	- MP パラメータの値を増やしてください。 - または、生成するページ数を減らしてください。

NAT1102: 16 進の入力値が **16** 進文字を含んでいません。 文字

テキスト	16 進の入力値が 16 進文字を含んでいません。
説明	16 進入力の指定には、'0' から '9' までと 'A' から 'F' までの文字しか使用できません。
対処	正しい 16 進文字を入力してください。

NAT1103: REINPUT ステートメントで指定されたフィールド番号が **255** を超えました。

テキスト	REINPUT ステートメントで指定されたフィールド番号が 255 を超えました。

説明	REINPUT ステートメントでフィールドをマークするための フィールド番号は、255 以下の数値定数、または数値変数で 指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1104: モーダルウィンドウがアクティブな間は、従来の **I/O** は許可されません。

テキスト	モーダルウィンドウがアクティブな間は、従来の I/O は許可されません。
説明	モーダルウィンドウが PROCESS PAGE MODAL ステートメントによってアクティブにされた場合、 従来の I/O (WRITE、PRINT、DISPLAY、INPUT) は 許可されません。 モーダルウィンドウでは、PROCESS PAGE ステートメントによって開始されたリッチ GUI 処理のみが 許可されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1105: 入力のためのキーワード **:1:** が定義されていません。

テキスト	入力のためのキーワード ... が定義されていません。
説明	キーワード / デリミタ入力モードでは、 個々のフィールドをキーワード (つまり、 - フィールド名、または - INPUT ステートメントでフィールド名の前に 指定されているテキスト) によって指定することができます。 指定された値は、 INPUT ステートメントのキーワードとして識別できません。
対処	- キーワードテキストでの入力を促すために、 %F や IM=F を使ってフォームモードにしてください。または - キーワード値を修正してください。

NAT1106: 入力フィールド（長さ **:1:**）に対する値（長さ **:2:**）が長すぎます。

テキスト	入力フィールド (長さ ...) に対する値 (長さ ...) が長すぎます。
説明	デリミタモードでフィールドに入力したデータ文字列が、 フィールドの長さの内部定義より長くなっています。
対処	正しい長さのデータ文字列を入力してください。

NAT1107: PROCESS PAGE (MODAL) はサポートされていません。

テキスト	PROCESS PAGE (MODAL) はサポートされていません。
説明	PROCESS PAGE (MODAL) ステートメントの実行は、 Natural がリッチ GUI サーバーとして実行されている場合にのみサポートされます。
対処	適切なコンポーネントを購入、インストール、または構成してください。

NAT1108: 前に **INPUT** ステートメントがないのに **REINPUT** ステートメントが実行されました。

テキスト	前に INPUT ステートメントがないのに REINPUT ステートメントが実行されました。
説明	REINPUT ステートメントを実行するには、 画面との最後のやり取りが INPUT ステートメントで実行されている必要があります。 WRITE/DISPLAY ステートメントで作られた画面に対して REINPUT することはできません。 また、INPUT ステートメントが、 ループ、サブルーチン、または特殊条件ブロック内にあって、 そのループ、サブルーチン、または特殊条件ブロックがすでに終了している場合は、その INPUT ステートメントに対してREINPUT することはできません。 例 : REPEAT INPUT ... ESCAPE LOOP REINPUT 上記の例では、INPUT ステートメントを含む REPEAT ループが LOOP ステートメントによって閉じられているので REINPUT ステートメントを実行すると、このエラーが発生します。

対処	INPUT ステートメントがすでに閉じられています。 プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1109: REINPUT ステートメントはバッチモードでは実行できません。

テキスト	REINPUT ステートメントはバッチモードでは実行できません。
説明	REINPUT ステートメントのあるプログラムは、 バッチモードで実行することはできません。
対処	バッチモードで REINPUT を実行しないでください。

NAT1110: OBJIN および **SYNIN** の同調後に再開してください。

テキスト	OBJIN および SYNIN の同調後に再開してください。
説明	入力エラーが起きた場合、Natural は現在のプログラムを終了します。 再開位置は、OBJIN と SYNIN の両方に、 次の '%%' (つまり、現在の端末制御機能値) として定義されます。 次の '%%' まで OBJIN と SYNIN の両方を読み飛ばした後、 Natural は、SYNIN の '%%' の後の次のコマンドで処理を再開し、 OBJIN の次の '%%' の後の入力データを読み込みます。 注 : 最初の '%' は、端末コマンドを示す文字です。 この文字には、Natural 管理者が、Natural セッションパラメータ CF または GLOBALS コマンド、または SET GLOBALS ステートメントで定義した、任意の特殊文字を使用できます。
対処	入力データをチェックし、エラーを修正してください。

NAT1111: 入力データ文字列が正しくありません。

テキスト	入力データ文字列が正しくありません。
説明	入力データ文字列の等号記号 '=' の後に 正しくない文字が見つかりました。
対処	入力データ文字列での割り当て文字の使用をチェックしてください。

NAT1112: 必須入力フィールドにデータが入力されませんでした。

テキスト	必須入力フィールドにデータが入力されませんでした。
説明	INPUT ステートメントに対して入力が必要な場合、 入力フィールドを入力必須オプションで定義できます。
対処	正しい値を入力します。

NAT1113: サブルーチンのエントリが **PERFORM** を介していません。

テキスト	サブルーチンのエントリが PERFORM を介していません。
説明	REINPUT ステートメントは、サブルーチン内の 前の INPUT ステートメントを参照します。または、 RETRY ステートメントは、サブルーチン内の データベースステートメントを参照します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1114: 内部出力バッファがオーバーフローしました。

テキスト	内部出力バッファがオーバーフローしました。
説明	出力エリアへの情報の書き出し中に、 オーバーフロー条件が発生しました。
対処	- プログラムに定義されているページサイズを小さくした後に、 プログラムを再実行してください。または - ページサイズ (PS) を増やした後に、 Natural セッションを開始してください。

NAT1115: SET GLOBALS ステートメントの値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの値が正しくありません。
説明	正しい値は、次のとおりです。 CC ON/OFF CF 任意の文字 CC ON/OFF CF any character DU ON/OFF DC 任意の文字 EJ ON/OFF IA 任意の文字 FS ON/OFF ID 任意の文字 LE ON/OFF IM F/D RECAT ON/OFF PM C/I/N SA ON/OFF DFSTACK S/I/C WH ON/OFF DFOUT S/I ZD ON/OFF

	ZP ON/OFF 注意：'T' と 'F' は、それぞれ 'ON' と 'OFF' の同義語です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1116: SET GLOBALS ステートメントの数値が正しくありません。

テキスト	SET GLOBALS ステートメントの数値が正しくありません。
説明	正しい値は次のとおりです。 LS 0〜250 LT 0〜2147483647 (ただし、セッション開始時に指定された デフォルトの LT 値を超えてはいけません。) MT 0〜最大値は処理環境によって決まります。 PD 0〜255 PS 0〜250 SF 1〜30 SL 20〜80
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1117: 要求された **MAP** は有効ではありません。

テキスト	要求された MAP は有効ではありません。
説明	INPUT USING MAP ステートメントで使用する MAP は、 現在のライブラリにオブジェクトの形式で 存在している必要があります。 要求された MAP は現在のライブラリにありません。
対処	正しいライブラリ名、および正しい MAP 名を使用していることを確認してください。

NAT1118: ロードされた **MAP** 項目のフォーマット／長さが指定された変数と一致しません。

テキスト	ロードされた MAP 項目のフォーマット / 長さが指定された変数と一致しません。
説明	INPUT USING MAP ステートメントに指定されたフィールドは、 MAP で定義されたフィールドと順序、フォーマット、および長さが 一致する必要があります。

対処	プログラムおよび MAP をチェックして、エラーを修正してください。

NAT1119: ロードされた **MAP** が変数リストと一致していません。

テキスト	ロードされた MAP が変数リストと一致していません。
説明	INPUT USING MAP ステートメントのフィールドは、 MAP で定義されたフィールドと、 順序および数が一致する必要があります。 ロードされた MAP の工レメント数が、 指定された変数リストの工レメント数と異なっています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1120: 位置決めパラメータはすでに入力された値を上書きしてはいけません。

テキスト	位置決めパラメータによって、すでに入力された値を上書きしないでください。
説明	デリミタモードで入力される位置決めパラメータには、 1 つの値のみ割り当てることができます。 例：%1=値1,値2 -> このエラーが生じます。 値1,%1=値2 -> 正しい指定です。Natural では、 位置決めモードで入力した値を上書きするために 位置またはキーを指定することができます。
対処	入力をチェックして、エラーを修正します。

NAT1121: %nnn の数が、範囲内にありません。

テキスト	%nnn の数が、範囲内にありません。
説明	%nnn で指定されたフィールドの位置は、 INPUT ステートメントで定義されていません。 入力処理できる最大数は、 定義された入力フィールドの数で決まります。
対処	入力フィールドに正しい数を入力してください。

NAT1122: %nnn の後に '=' がありません。

テキスト	%nnn の後に '=' がありません。
説明	Natural は、'%nnn' をキーワードとして扱います。 値は割り当て文字の後に指定する必要があります (%nnn=値)。
対処	入力値に正しい構文を使用してください。

NAT1123: %nnn の番号が数値ではありません。

テキスト	%nnn の番号が数値ではありません。
説明	
対処	フィールド選択のため整数のフィールド番号を入力してください。

NAT1124: 入力継続が要求されたが、エンドオブファイルになりました。

テキスト	入力継続が要求されたが、エンドオブファイルになりました。
説明	INPUT ステートメントに対するデータストリーム内で、 データ連結が要求されましたが、 次の行にデータがありませんでした。
対処	継続行にデータを入力してください。

NAT1125: 数字入力値の整数部分に、変数定義桁より多い数が入力されました。

テキスト	数字入力値の整数部分に、変数定義桁より多い数が入力されました。
説明	数字入力値の整数部分に、 変数定義桁より多い数が入力されました。
対処	正しい入力データを入力してください。

NAT1126: PROCESS PAGE UPDATE not preceded by PROCESS PAGE statement.

テキスト	PROCESS PAGE UPDATE not preceded by PROCESS PAGE statement.
説明	When a PROCESS PAGE UPDATE statement is to be executed, the ↩ lastcommunication with an external rendering engine must have beenvia a ↩ PROCESS PAGE statement.No INPUT, WRITE, PRINT or DISPLAY statements may be ↩ executed betweena PROCESS PAGE statement and its corresponding PROCESS PAGE ↩ UPDATEstatement.It is not possible, however, to place a PROCESS PAGE ↩ statementwithin a loop, subroutine or special condition block, and ↩ thenexecute the PROCESS PAGE UPDATE statement when the status under whichthe ↩ PROCESS PAGE statement was executed has already been terminated.
対処	Check program and correct error.

NAT1127: 浮動小数点変数の割り当て中にエラーが発生しました。

テキスト	浮動小数点変数の割り当て中にエラーが発生しました。
説明	このエラーの主な原因は、変数のオーバーフローです。 単精度の浮動小数点変数は、7 桁以下の値しか表せません。 倍精度の浮動小数点変数は、ほぼ 19 桁まで使用できます。 拡張精度は、20 桁またはそれ以上の値に使用する必要があります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1128: DC、'IA'、'ID' パラメータの値が同じであってはなりません。

テキスト	DC、'IA'、'ID' パラメータの値が同じであってはなりません。
説明	DC、IA、または ID パラメータのうちの 1 つに対して、 他の 2 つのいずれかと同じ値を SET GLOBALS ステートメントで指定しました。
対処	IA、ID、DC には、互いに異なる値を指定してください。

NAT1129: 物理端末バッファがオーバーフローしました。

テキスト	物理端末バッファがオーバーフローしました。
説明	INPUT ステートメントの実行中に、 物理端末バッファがオーバーフローしました。 INPUT ステートメントを実行すると、 すぐに端末へ結果の MAP を書き込むので、 オーバーフロー条件がエラーとみなされます。
対処	- 表示するフィールド数を減らしてください。または - Natural 管理者に連絡して、 物理端末バッファサイズ (TP ドライバソース内) を 拡張できるかどうか問い合わせてください。

NAT1130: 日付文字列のスタック時に無意味な世紀スイッチがあります。

テキスト	日付文字列のスタック時に無意味な世紀スイッチがあります。
説明	DFSTACK=C が指定されている場合は、世紀情報なしで 日付文字列をスタック上に置きます (Natural V22 モード)。 (スライディングウィンドウの制御下または現在の世紀で) この情報を回復すると、無意味な世紀スイッチが発生します。 その年はスライディングウィンドウの範囲外であるか、または 現在の世紀ではありません。
対処	プログラムをチェックし、エラーを修正してください。 または、DFSTACK=I を指定してください。

NAT1131: 画面の入力／出力エラーがあります。

テキスト	画面の入力 / 出力エラーがあります。
説明	端末デバイスへの読み込み / 書き込み処理中に 端末ドライバがエラーを返しました。
対処	使用している端末デバイスが Natural のサポート対象であることを 確認してください。

NAT1132: オフセット **:1:** での **IOPATTR** バッファで行サイズの不一致が発生しました。

テキスト	オフセット ... での IOPATTR バッファで行サイズの不一致が発生しました。
説明	ページバッファとページ属性バッファとの間の不一致が 検出されました。 このエラーが発生する主な原因は、 ページバッファの一部の行が同じ行サイズで 生成されていないことです。
対処	FORMAT ステートメントのプログラムで、異なる行サイズがないかどうかチェックしてください。

NAT1133: 誤った端末処理が要求されました。

テキスト	誤った端末処理が要求されました。
説明	
対処	正しい端末処理を再入力してください。

NAT1134: 端末処理はサポートされていません。

テキスト	端末処理はサポートされていません。
説明	
対処	Enter キーを押して、セッションを続けてください。

NAT1135: ハードコピー処理はサポートされていません。

テキスト	ハードコピー処理はサポートされていません。
説明	ハードコピー (%H) 機能を使用するには、 スプーリングサブシステムおよび正しいデバイスアドレスが 必要です。 ハードコピー (%H) が要求されましたが、 その端末 / TP モニタでは使用できません。
対処	ハードコピーのサポートについて、 Natural 管理者に相談してください。

NAT1136: 出力ページが **250** 行を超えています。

テキスト	出力ページが 250 行を超えています。
説明	出力ステートメントを実行しましたが、 現在の出力ページで 250 行を超えました。 PS パラメータの最大値は 250 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1137: 日付が正しい範囲内ではありません。

テキスト	日付が正しい範囲内ではありません。
説明	日付フィールドまたは時間フィールドに、有効な日付ではない値が含まれています。 考えられる理由： - 日付の値が 1582 より小さいか、または 9999 より大きい。 - 日付の値がローマ数字で編集されているが、日付の値が 2887 より大きい。 - 負の値であるか、または有効なパック10進数ではない。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1138: SKIP 値が正しくありません。

テキスト	SKIP 値が正しくありません。
説明	SKIP ステートメントに 250 を超える値を指定してはなりません。
対処	正しい値を入力します。

NAT1139: 全値必須 入力フィールドへの入力が不完全です。

テキスト	全値必須 入力フィールドへの入力が不完全です。
説明	全値必須 入力定義してあるフィールドでは、 フィールドに値を完全に入力する必要があります。

対処	正しい値を入力します。

NAT1140: 入力値が浮動小数点数ではありません。

テキスト	入力値が浮動小数点数ではありません。
説明	入力した値が正しい浮動小数点数ではありません。 正しい浮動小数点数は、オプション記号 (+、-) で始まり、 その後には最高で 1 つの小数点とオプションのべき数が続きます。 べき数は文字 'E' で始め、後にはオプション記号 (+、-)、 その後には 1 桁または 2 桁の小数点桁が続く必要があります。
対処	正しい番号を入力します。

NAT1141: 入力の結果、浮動小数点のオーバーフローがおきました。

テキスト	入力の結果、浮動小数点のオーバーフローが起きました。
説明	正または負の浮動小数点が入力されましたが、 浮動小数点処理を行うには大きすぎます。
対処	正しい番号を入力します。

NAT1142: 入力の結果、整数値がオーバーフローしました。

テキスト	入力の結果、整数値がオーバーフローしました。
説明	入力した整数値が、プログラムで指示した処理を行うには大きすぎます。
対処	正しい整数値を入力してください。

NAT1143: 入力値が入力編集マスクと一致しません。

テキスト	入力値が入力編集マスクと一致しません。
説明	入力値とプログラムで定義した入力マスクとが一致しません。

対処	エラーを修正してください。

NAT1144: 割り当て／出力されるデータが編集マスクと一致しません。

テキスト	割り当て / 出力されるデータが編集マスクと一致しません。
説明	次のエラーのうちの 1 つが発生しました。 - MOVE EDITED ステートメントが受け取り側編集マスク付きで 実行されましたが、送り元のデータが受け取り側の編集マスクに 一致しません。 - DISPLAY/INPUT/PRINT/WRITE ステートメントが編集マスク付きで 実行されましたが、送り元のデータは指定された編集マスクに 一致しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1145: 入力が編集マスク **:1:** に一致しません。

テキスト	入力が編集マスク ... に一致しません。
説明	入力フィールドに入力されたデータ値は、 そのフィールドに割り当てられた編集マスクに一致しません。
対処	表示された編集マスクに適切な値を入力してください。

NAT1147: DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS の使用法が正しくありません。

テキスト	DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS の使用法が正しくありません。
説明	DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS は、 1 レポートにつき 1 度しか使用できません。 これは、CALLNATS や外部サブルーチンなどの外部ルーチンにも適用されます。
対処	プログラムおよび呼び出されるルーチンをチェックし、 重複する DISPLAY GIVING SYSTEM FUNCTIONS を削除してください。

NAT1148: このデータフィールドに対し、ヘルプは使えません。

テキスト	このデータフィールドに対し、ヘルプは使えません。
説明	ヘルプキーを押した、または あるフィールドに対してヘルプ文字を入力しましたが、このフィールドにはエラーテキストもエラールーチンも定義されていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1149: 要求したメッセージは有効ではありません。

テキスト	要求したメッセージは有効ではありません。
説明	REINPUT ステートメントで要求したユーザー定義メッセージが、データベース内にありません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1150: 属性バッファがオーバーフローしました。

テキスト	属性バッファがオーバーフローしました。
説明	1 論理ページに多くの属性を指定したため、属性バッファのオーバーフローが起きました。
対処	1 ページのフィールド数を減らしてください。

24 Natural システムエラーメッセージ 1151〜1200

NAT1151: Natural システム関数への不正なアクセスです。

テキスト	Natural システム関数への不正なアクセスです。
説明	Natural システム関数に不正なアクセスをしようとしました。 例えば、参照のみの関数に値を割り当てようとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1152: 画面ページング内の処理が正しくありません。

テキスト	画面ページング内の処理が正しくありません。
説明	画面ページ処理中に不正なファンクションコードが入力されました。
対処	正しいファンクションコードを入力してください。

NAT1153: 要求した画面ページが有効ではありません。

テキスト	要求した画面ページが有効ではありません。
説明	画面ページング中に要求した画面ページは 有効ではありません。

対処	エラーを修正してください。

NAT1155: レポーティングモードは使用できません。

テキスト	レポーティングモードは使用できません。
説明	Natural セッションを ストラクチャードモード (パラメータ SM=ON) で始めた場合、 レポーティングモードへの切り替えは許されません。 レポーティングモードへの切り替えは、GLOBALS コマンドを使って行うことができます。 Natural ソースプログラムをソースエリアに読み込んだ場合、 Natural はそのプログラムが格納されたモードに自動的に切り替わります。 プログラムを編集することはできますが、STOW コマンドを実行する前に、 ユーザーはプログラム構造を適切なプログラミングモードに 変える必要があります。
対処	正しいプログラミングモードを使用していることを確認してください。

NAT1156: TOP OF PAGE/END OF PAGE ブロック内で指定されたステートメントは使用できません。

テキスト	TOP OF PAGE/END OF PAGE ブロック内で指定されたステートメントは使用できません。
説明	AT TOP OF PAGE または AT END OF PAGE ステートメントブロック内で 指定されたステートメントを使用しないでください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1157: オペランドのフォーマットが正しくありません。

テキスト	オペランドのフォーマットが正しくありません。
説明	ランタイム時に、オペランドのフォーマットが、正しいフォーマットのリストに 含まれていません。
対処	SAG サポートに連絡してください。

NAT1160: RECORDING 処理内エラーがあります。

テキスト	RECORDING 処理内エラーがあります。
説明	このメッセージは次のいずれかが原因です： - 要求したレコーディングが見つかりません。 - レコーディング名が指定されていません。 - 新しいレコーディングと同名のレコーディングが すでに存在しています。
対処	正しいライブラリの正しいレコーディング名を使用していることを確認してください。

NAT1161: DBCS : SO/SI の対が正しくありません。**line :1: COLUMN :2:**

テキスト	DBCS : SO/SI の対が正しくありません。line ... COLUMN ...。
説明	Natural は、DBCS (ダブルバイト文字セット) 端末に対して SO/SI の対が正しいかどうかをチェックします。
対処	プログラムロジックをチェックし、 SO/SI の対を正しく指定してください。

NAT1162: DBCS 専用フィールドの文字またはシフト文字に誤りがあります。

テキスト	DBCS 専用フィールドの文字またはシフト文字に誤りがあります。
説明	DBCS 専用フィールドは、セッションパラメータ PM=D を設定 する英数字フィールドです。 DBCS 専用フィールドで使用できるのは有効な DBCS 文字のみで、シフトアウト / シフトイン文字 (SO/SI) は 使用できません。 - シフトアウト / シフトイン文字 (SO/SI) - 有効な DBCS 文字でない文字コード のいずれかが検出された場合に、このエラーは発行されます。 シフトアウト / シフトイン文字 (SO/SI) は、常に検出されます。 非 DBCS 文字の検出には ICU が必要なので、ICU を 使用できない場合 (つまり、プロファイルパラメータ CFICU=OFF が 設定されている場合) は、検出は実行されません。
対処	DBCS 専用フィールドの内容を修正してください。

NAT1165: WINDOW ステートメントが正しくありません。

テキスト	WINDOW ステートメントが正しくありません。
説明	INPUT WINDOW=ウィンドウ名 または 'SET WINDOW ウィンドウ名' の実行中、 Natural は DEFINE WINDOW ステートメントへの 内部参照を実行しようとしました。 参照が正しいステートメントではありません。 おそらく、生成されたプログラムは破壊されています。
対処	バッファプールをクリアし、Natural を再開してください。 プログラムを再カタログしてください。

NAT1166: SIZE 節に指定されたウィンドウ幅が正しくありません。

テキスト	SIZE 節に指定されたウィンドウ幅が正しくありません。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節の列数の値が、 正しい範囲内にありません。 FRAME 節を使用する場合、列の最小数は 13 です。 FRAME 節を使用しない場合、列の最小数は 10 です。 列の最大数は物理画面サイズです。
対処	プログラムを修正してください。

NAT1167: SIZE 節に指定されたウィンドウ長が正しくありません。

テキスト	SIZE 節に指定されたウィンドウ長が正しくありません。
説明	DEFINE WINDOW ステートメントの SIZE 節の列数の値が、 正しい範囲内にありません。 FRAME 節を使用する場合、行の最小数は 4 です。 FRAME 節を使用しない場合、行の最小数は 2 です。 行の最大数は物理画面サイズです。
対処	プログラムを修正してください。

NAT1168: ウィンドウ開始行（**:1:**）が正しくありません。

テキスト	ウィンドウ開始行 (. . .) が正しくありません。
説明	ウィンドウの現在のサイズでは、画面内の指定行にウィンドウを位置付けることができません。
対処	ウィンドウのサイズを小さくしてください。または行の値を小さくして使用してください。

NAT1169: ウィンドウ開始列（**:1:**）が正しくありません。

テキスト	ウィンドウ開始列 (. . .) が正しくありません。
説明	画面上の指定列でウィンドウを開始するには、ウィンドウの現在のサイズは大きすぎます。
対処	ウィンドウのサイズを小さくしてください。または列の値を小さくして使用してください。

NAT1170: PC アクセスメソッドが使えません。

テキスト	PC アクセスメソッドが使えません。
説明	Natural は、端末コマンド '%+' が、現在の環境内で有効であるかどうかをチェックします。 PC アクセスメソッドが Natural ニュークリアスにリンクされていません。
対処	%+ を使用しないでください。または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1171: 要求された端末コンバータモジュールがありません。

テキスト	要求された端末コンバータモジュールがありません。
説明	端末コマンド「%T = nnnn」が入力されましたが、指定された端末タイプがソースモジュール NATCONFG のマクロ NTDVCE で定義されていない場合、または要求されたコンバータモジュール NATnnnn が Natural ニュークリアスにリンクされていない場合に、このエラーは発生します。 Natural Connection フルスクリーンサポートを稼動させるために、ASYNCH モード (TTY モード) での PC 実行中に端末コマンド「%+」を入力したが、必須モジュール NATTTY が Natural ニュークリアスにリンクされていない場合にもこのエラーは発生します。

対処	正しい端末タイプを指定するか、または要求された端末コンバータモジュールを Natural ニュークリアスにリンクしてください。

NAT1172: PC コネクションはすでにアクティブです。

テキスト	PC コネクションはすでにアクティブです。
説明	端末コマンド「%+」が入力されましたが、PC コネクションはすでにアクティブです。
対処	対処は必要ありません。

NAT1173: PC コネクションがアクティブではありません。

テキスト	PC コネクションがアクティブではありません。
説明	端末コマンド「%-」が入力されましたが、PC コネクションがアクティブではありません、またはすでに終了しています。
対処	対処は必要ありません。

NAT1174: UPLOAD の場合、小文字モードが必要です。

テキスト	UPLOAD の場合、小文字モードが必要です。
説明	UPLOAD の場合、Natural は、正しく計算し、合計をチェックしてバイナリデータを UPLOAD できるように小文字でなければいけません。
対処	小文字に設定して、再実行してください。

NAT1175: 合計エラーのチェックのために **UPLOAD** できません。

テキスト	合計エラーのチェックのために UPLOAD できません。
説明	送られた合計チェックが、Natural で計算したものとは異なります。

対処	後でもう一度 UPLOAD を実行してください。

NAT1176: 端末タイプ **:1:** は当環境で使用できません。

テキスト	端末タイプ ... は当環境で使用できません。
説明	TTYPE プロファイルパラメータまたは端末コマンド %T= によって指定された端末タイプは、この環境で使用できません。 例えば、オンライン端末タイプをバッチ環境で使用することはできません。
対処	この環境に適切な端末タイプを指定してください。

NAT1177: サポートされないフォーマットタイプが見つかりました。

テキスト	サポートされないフォーマットタイプが見つかりました。
説明	旧 PC アクセス方式でサポートされるフォーマットタイプは、英数字および数字です。 新 PC アクセス方式でサポートされるフォーマットタイプは次のとおりです。 - 英数字 - 数字 - パック10進数 - 論理 - 浮動小数点 - 整数 - バイナリ
対処	プログラムを修正して、再実行してください。

NAT1178: UPLOAD するデータが **DDM** または **Natural** ソース／オブジェクトではありません。

テキスト	UPLOAD するデータが DDM または Natural ソース / オブジェクトではありません。
説明	DDM、ソースバイナリ、またはオブジェクトを UPLOAD するときに使用されたデータが、適切なタイプではありません。 PC 上で使用されたファイルが、バイナリの DOWNLOAD された DDM、ソース、またはオブジェクトを保持していません。

対処	適切なファイルを使用して、再実行してください。

NAT1179: 使用されたワークファイル番号は **PC** または **PCNEW** に割り当てられていません。

テキスト	使用されたワークファイル番号は、PC または PCNEW に割り当てられていません。
説明	現在の UPLOAD/DOWNLOAD のサブプログラムに使用された ワークファイル番号は、 - バイナリを UPLOAD/DOWNLOAD している場合、 PCNEW に割り当てられません。 - または、ソースとして UPLOAD/DOWNLOAD している場合、 PC または PCNEW に割り当てられません。 SYSFILE を使用して、どのワークファイルが PC および PCNEW に 割り当てられているかをチェックしてください。
対処	正しいワークファイル番号を割り当てて、再実行してください。

NAT1180: PCからのアップロード に入力されたタイプが正しくありません。

テキスト	PCからのアップロード に入力されたタイプが正しくありません。
説明	PCからのアップロード に有効なタイプは、 P、N、S、H、C、K、T、M、4 です。
対処	適切なタイプを使用してください。

NAT1181: DOWNLOAD するソース、またはオブジェクトが存在しません。

テキスト	DOWNLOAD するソース、またはオブジェクトが存在しません。
説明	存在しないソースまたはオブジェクトを DOWNLOAD しようとしました。
対処	DOWNLOAD するソースまたはオブジェクトの名前と ライブラリをチェックし、再実行してください。

NAT1182: DOWNLOAD するソースのタイプが正しくありません。

テキスト	DOWNLOAD するソースのタイプが正しくありません。
説明	ソースとしてデータエリアを DOWNLOAD しようとしました。 データエリアのソースはバイナリのみ DOWNLOAD できます。
対処	データエリアバイナリのソースを DOWNLOAD してください。

NAT1183: 指定されたワークファイルは **COMMAND** の **DOWNLOAD** に使用することはできません。

テキスト	指定されたワークファイルは COMMAND の DOWNLOAD に使用することはできません。
説明	次のいずれかが原因で、指定されたワークファイルは WRITE/DOWNLOAD PC/WORK 5 COMMAND ステートメントに 使用することはできません。 - ワークファイルは新 PC アクセス方式に定義されていません。 - ワークファイルはすでに使用中です。
対処	- ワークファイルを正しく定義してください。 - または、別のワークファイルを使用してください。

NAT1184: DOWNLOAD されたコマンドが **PC** に拒否されました。

テキスト	DOWNLOAD されたコマンドが PC に拒否されました。
説明	DOWNLOAD されたコマンドは有効でないので、PC に拒否されました。 DOWNLOAD 可能なコマンドについては、 『Natural Connection』ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムを修正して、DOWNLOAD を再実行してください。

NAT1185: オブジェクトを **DOWNLOAD/UPLOAD** する前にカタログしてください。

テキスト	オブジェクトを DOWNLOAD/UPLOAD する前にカタログしてください。
説明	オブジェクトに DOWNLOAD/UPLOAD を妨げるエラーまたは矛盾があります。

対処	DOWNLOAD/UPLOAD するオブジェクトをカタログしてから、 もう一度 DOWNLOAD/UPLOAD を実行してください。

NAT1186: フィールド名が多すぎるか、長すぎるため、バッファがオーバーフローしました。

テキスト	フィールド名が多すぎるか、または長すぎるため、バッファがオーバーフローしました。
説明	フィールド名を持つデータのダウンロード / アップロード中に、 バッファがオーバーフローしました。 フィールド名が対応するバッファに一致しない理由は - 送られたフィールドが多すぎるため、 - または、フィールド名が長すぎるためです。
対処	フィールド名なしでデータをアップロード / ダウンロードしてください （PC プロファイルパラメータを参照）。 または、アップロード / ダウンロード するフィールド数を 減らしてください。

NAT1187: PC Connection ワークエリア用の **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	PC Connection ワークエリア用の GETMAIN が失敗しました。
説明	アップロードまたはダウンロード処理中に、転送されたデータは PC Connection ワークエリアで中間的に格納されます。 このバッファの拡張に失敗しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT1188: PC ファイルアクセスの最大レコード長（**32 KB**）を超過しました。

テキスト	PC ファイルアクセスの最大レコード長 (32 KB) を超えました。
説明	PC ファイルへのアクセスに許された最大レコード長は 32 KBです。
対処	適切な READ/WRITE WORK FILE ステートメントのオペランドの数 またはサイズを減らしてください。

NAT1190: PC ワークファイルでは 'フォーマットなし' タイプはサポートされません。

テキスト	PC ワークファイルでは 'フォーマットなし' タイプはサポートされません。
説明	PC とメインフレーム間のフォーマットなしのファイル転送は 現在サポートされていません。
対処	別のタイプのファイル転送を使用してください。

NAT1191: Option ADJUST is not supported for PC work files.

テキスト	Option ADJUST is not supported for PC work files.
説明	The option ADJUST is currently not supported with the READ WORK ↩ FILEstatement for PC work files.
対処	Use a different type of file transfer.

NAT1200: 外部ソート中に **I/O** エラーが起きました。

テキスト	外部ソート中に I/O エラーが起きました。
説明	外部ソート機能で使用するシステムソートプログラムが、 ロードライブラリとして Natural プログラムに定義された どのライブラリにも見つかりません。
対処	- NATPARM またはダイナミックパラメータの SORTNAM (ソート名) に 正しいソートプログラム名が含まれていること、および - Natural で使用可能なロードライブラリに そのモジュールがあることを確認してください。

25 Natural システムエラーメッセージ 1201～1250

NAT1201: 外部ソート制御フィールドの合計長が **256** バイトを超えました。

テキスト	外部ソート制御フィールドの合計長が 256 バイトを超えました。
説明	SORT ステートメントで使われる外部ソートは、 ソートフィールドとして最大 256 バイトまでしか サポートしません。
対処	SORT ステートメントで指定するソートフィールドの 個数または長さを減らしてください。

NAT1202: 外部ソートのエラーがあります。コア／ディスクスペースが不足しています。

テキスト	外部ソートのエラーがあります。コア / ディスクスペースが不足しています。
説明	外部ソート機能は、 バッチモードではシステムソートプログラムが呼び出され、 オンラインモードでは、インコアソートが呼び出されます。 - バッチモードでは、 エラーメッセージはディスクスペースの不足またはDD カードの欠如のために出力されます。 - オンラインモードでは、 ソート処理で中間ストレージとして使用される ファイルバッファのメモリ不足が エラーの原因です。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1205: ソートワークのスペースがありません。

テキスト	ソートワークのスペースがありません。
説明	考えられるエラーの原因は以下のとおりです： - コアにスペースがありません。 - ワークファイルにアクセスできません。 - ワークファイルがいっぱいです。 - ワークファイルをサポートできません。 - レコードサイズが最大バッファサイズより大きくなっています。
対処	- ソートのレコード数、またはソートレコード当たりのフィールド数を減らしてください。または - インコアソートワークエリア、またはソートワークファイル（存在すれば）を拡大してください。

NAT1212: 内部エラー**:**クイックソートワークエリアのスペースがありません。

テキスト	内部エラー：クイックソートワークエリアのスペースがありません。
説明	
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1214: SORT/NTSORT オプション **STORAGE = SD** は **Com-plete** 環境でのみ使用できます。

テキスト	SORT/NTSORT オプション STORAGE = SD は Com-plete 環境でのみ使用できます。
説明	Natural セッションが Com-plete 下で実行されている場合に限り、 Natural 内部ソートのために SORT/NTSORT オプション STORAGE=SD を使用することができます。
対処	STORAGE=MAIN または STORAGE=BP を使用してください。

NAT1220: 複数のアクティブな **SORT** は許されていません。

テキスト	複数のアクティブな SORT は許されていません。
説明	複数の SORT ループを一度にアクティブにすることはできません。 SORT ステートメントで初期化されたアクティブな処理ループ内で、 他のプログラム、サブプログラム、またはサブルーチンが 呼び出され、呼び出されたオブジェクト内で 他の SORT ステートメントが実行されたときに、 このエラーが起こります。

対処	アプリケーションのエラーを修正してください。

NAT1222: ステートメント実行のために必要となるメモリを使用できません。

テキスト	ステートメント実行のために必要となるメモリを使用できません。
説明	ステートメント実行のために必要となるメモリが利用できません。 考えられる理由： - ダイナミック変数、または X- 配列に割り当てられたメモリの量を 増加させなければなりませんでした。しかし、これによって、 Natural セッションにて利用可能なトータルメモリを超過しました。 - ステートメントの実行に必要なワークメモリ量は、Natural セッション にて利用可能なトータルメモリ量を超過しました。 - Natural 環境の制約 (例えば、プロファイルパラメータの設定) により、 Natural セッションにて利用可能なメモリの量が制限されます。 - オペレーティングシステム、または TP システムの制限 (例えば、利用可能なトータルメモリ) により、 Natural セッションにて利用可能なメモリの量が制限されます。
対処	メモリ要求に失敗した正確な原因が何であるかを特定するために、 システムコマンド LASTMSG * を使用してください。プログラムをチェックしてエラーを修正するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1223: 数値フィールドに数値以外の桁が含まれています。

テキスト	数値フィールドに数値以外の桁が含まれています。
説明	数値フィールドの 1 以上の桁が数値でないため、 数値コンテキストで処理できません。
対処	問題の数値フィールドが英数字またはバイナリとして再定義されるかどうかを 確認します。 これに該当する場合は、フィールドに数値の桁のみが含まれるように注意します。 これに該当しない場合、(データベースからの) 入力データに誤りがある可能性があります。

26 Natural システムエラーメッセージ 1251～1300

NAT1254: REDUCE/EXPAND/RESIZE: :1: のためのサイズ値が利用できません。

テキスト	REDUCE/EXPAND/RESIZE: ... のためのサイズ値が利用できません。
説明	与えられたダイナミックオペランドのためのメモリを再割り当てするために、 サイズ値が REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントに指定されます。 サイズ値は以下の条件に従っている必要があります。 1.サイズ値は負の値であってはいけません。 2.サイズ値は 1 GB を超えてはいけません。 エラーを起こした値はエラーメッセージに示されます。
対処	サイズ値が上記条件に適合するか確認してください。

NAT1255: REDUCE/EXPAND/RESIZE: :1: の **ARRAY** 節に不正な値があります。

テキスト	REDUCE/EXPAND/RESIZE: ... の ARRAY 節に不正な値があります。
説明	REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントの ARRAY 節は、X-array のオカレンス数の調整を可能にするために提供されます。 範囲表記で指定された下限と上限の値、またはオカレンス表記で 指定されたオカレンス数は、次の条件を満たしている必要があります。 1.固定境界値を変更してはいけません。 2.オカレンス数が負の数であってはいけません。 3.オカレンス数が 1073741824 を超えてはいけません。 エラーを起こした値はエラーメッセージに示されます。

対処	値が上記の条件を満たしていることを確認してください。

NAT1256: システム変数 **:1:** の値は未定義です。

テキスト	システム変数 ... の値は未定義です。
説明	Natural ステートメントは、システム変数を参照して、その値を取得します。 システム変数の値は次の理由のために現在未定義です。 1.対応する X-array が実体化されていない (オカレンスが割り当てられていない)場合、 システム変数 *UBOUND または *LBOUND の値は未定義です。 エラーを起こしたシステム変数はエラーメッセージに示されます。
対処	*UBOUND または *LBOUND を参照する前に、対応する X-array のオカレンスを REDUCE/EXPAND/RESIZE ステートメントで割り当ててください。

NAT1257: 実体化されていない **X-array** フィールドへのアクセスは許可されていません。

テキスト	実体化されていない X-array フィールドへのアクセスは許可されていません。
説明	X-array は、可変オカレンス数を持つ配列フィールドです。 ランタイム時に、X-array はデフォルトで空になっています。 EXPAND ..ARRAY ステートメントによって事前に明示的に割り当てられていない限り、X-array には 割り当てます。
対処	EXPAND ..ARRAY ステートメントで X-array オカレンスを 割り当てます。

NAT1300: 負の指数は使用できません。

テキスト	負の指数は使用できません。
説明	Natural では、累乗は掛算を繰り返すことにより行うので負の指数は使用できません。
対処	正の指数値を使用してください。

27 Natural システムエラーメッセージ 1301〜1350

NAT1301: 中間結果が大きすぎます。

テキスト	中間結果が大きすぎます。
説明	算術演算式の構文によって桁数が大きすぎる中間結果を生成しました。
対処	算術演算を複数のステートメントに分けて、 中間結果の長さを自分で定義してください。

NAT1302: ZD パラメータが **ON** になっている場合、ゼロでの除算は許されません。

テキスト	ZD パラメータが ON になっている場合、ゼロでの除算は許されません。
説明	ZD セッションパラメータが 'ON' に設定されています。 この場合、ゼロによる除算はエラーになります。 ZD セッションパラメータを 'OFF' に設定すると、 ゼロ除算の結果をゼロとして割り出すことができます。
対処	必要な場合は、'ZD=OFF' を設定してください。

NAT1303: フィールドに **1** を加算または減算することにより、数字の桁落ちが起こりました。

テキスト	フィールドに 1 を加算または減算することにより、数字の桁落ちが起こりました。
説明	関係式の評価では、演算子 GREATER および LESS THAN は、 値に '1' を加算または減算することによって評価されます。
対処	関係式で使用するフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1304: 四捨五入によって桁落ちが起きました。

テキスト	四捨五入によって桁落ちが起きました。
説明	四捨五入によって、値がフィールドの定義桁数を超えました。
対処	四捨五入されるフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1305: MOVE/ASSIGN 処理で数値が桁落ちしました。

テキスト	MOVE/ASSIGN 処理で数値が桁落ちしました。
説明	MOVE/ASSIGN オペレーションの受け取りフィールドが 値の結果を格納するのに十分な大きさではありません。
対処	受け取りフィールドの長さを大きくしてください。

NAT1306: FOR ステートメントの **STEP** 値が正しくありません。

テキスト	FOR ステートメントの STEP 値が正しくありません。
説明	STEP 値が 0 なので、 開始値を STEP 値で増加させても、終了値になりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1307: MOVE INDEXED の結果項目アドレスが範囲外です。

テキスト	MOVE INDEXED の結果項目アドレスが範囲外です。

説明	MOVE INDEXED オペレーションの結果項目アドレスが Natural データエリアの外を示しました。
対処	MOVE INDEXED の基本フィールドの添字または長さをチェックしてください。

NAT1308: 置き換え後の結果文字列が変数の長さを超えました。

テキスト	置き換え後の結果文字列が変数の長さを超えました。
説明	EXAMINE ステートメントで、文字列を調べて置き換えた結果、 合計長が変数の長さを超えました。 EXAMINE ステートメントで値の桁落ちは許されません。
対処	EXAMINE ステートメントのフィールドの長さを調整してください。

NAT1309: EXAMINE ステートメントの **NUMBER** 変数が桁あふれしました。

テキスト	EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数が桁あふれしました。
説明	ソース変数の中で見つかった文字列の数が大きすぎて、 EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数で表示できません。
対処	EXAMINE ステートメントの NUMBER 変数の長さを調整してください。

NAT1310: RETRY ステートメントはそのエラー番号に対して使用できません。

テキスト	RETRY ステートメントはそのエラー番号に対して使用できません。
説明	1. 1. RETRY は、そのレコードが現在他のユーザーによる更新のために 'ホールド' 状態で読み込まれていることを示す データベースレスポンスコード '145' を 受け取ったときにだけ使用できます。 NAT3145 のエラーは、グローバルオプション WH=OFF (ホールド待ち) が指定されているときにだけ起きます。 2.2. 実際にはレスポンスコード '145' である場合でも、 次のいずれかの条件下では NAT1310 が起きます。 - '145' を受け取ったときにアクティブであったオブジェクト モジュールが ON ERROR ステートメントを含んでいません。 - '145' に対して実行する RETRY ステートメントが レスポンスコードを受け取った時にアクティブな オブジェクトモジュールと同じではありません。 レスポンスコード '145' は、そのレスポンスコードを受けったときに アクティブであったオブェクトモジュールだけが操作できます。 そのモジュールから制御が返されると、 Natural は自動的に NAT3145 を NAT1310 に変換します。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1311: MOVE INDEXED ステートメントの添字がゼロまたは負です。

テキスト	MOVE INDEXED ステートメントの添字がゼロまたは負です。
説明	MOVE INDEXED ステートメントの添字は正でなければなりません。
対処	プログラムを修正してください。

NAT1312: NUMBER フィールドに対し、要素の数が大きすぎます。

テキスト	NUMBER フィールドに対し、要素の数が大きすぎます。
説明	SEPARATE ステートメントで NUMBER 節を使用しましたが、返される要素の数が指定したフィールドに入りません。
対処	処理結果の要素数を入れるフィールドの長さを増やしてください。

NAT1313: SEPARATE ステートメント内の受け取りフィールドが十分ではありません。

テキスト	SEPARATE ステートメント内の受け取りフィールドが十分ではありません。
説明	ソースフィールド内のデリミタ文字が多すぎて、SEPATE ステートメントの受け取りフィールドが全部の値を受け取りきれません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1314: 受け取りフィールドが小さすぎます。

テキスト	受け取りフィールドが小さすぎます。
説明	SEPARATE ステートメントで転送されるフィールドの一部が指定した受け取りフィールドより大きい。

対処	受け取りフィールドの長さを増やしてください。

NAT1315: SEPARATE でソースフィールドと受け取りフィールドが重複しています。

テキスト	SEPARATE でソースフィールドと受け取りフィールドが重複しています。
説明	
対処	両者が重複しないようにしてください。

NAT1316: 指定した添字が配列構造内にありません。

テキスト	指定した添字が配列構造内にありません。
説明	配列に指定した添字が 配列定義した次元内に存在しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1317: 配列範囲処理が誤った範囲で行われました。

テキスト	配列範囲処理が誤った範囲で行われました。
説明	算術処理は、 同じ範囲構造の配列の範囲で、または 単一の値 (スカラ値) の配列の範囲で 行うことができます。 算術処理用に 2~3 個の配列範囲が定義されましたが、 それらは、同じ範囲構造ではありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1318: ASSIGN 中に値が重複しました。

テキスト	ASSIGN 中に値が重複しました。
説明	英数字またはバイナリのオペランドの割り当て中に、 不正な重複が検出されました。 この状態は、ステートメントの実行中に すでに移動済みのバイトを移動しようとしたときに起きます。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1319: 日付処理が正しくありません。

テキスト	日付処理が正しくありません。
説明	日付処理の結果値 (日付整数) が負になっています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1320: システム関数 **VAL** のオペランドが正しくありません。

テキスト	システム関数 VAL のオペランドが正しくありません。
説明	VAL システム関数のオペランドに、 結果値の正しい英数字表現がありません。 VAL システム関数は INPUT ステートメントに似ており、 INPUT ステートメントで受け取るものは、 VAL システム関数でも受け取ることができます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1321: MOVE ALL ステートメントの **UNTIL** パラメータが正しくありません。

テキスト	MOVE ALL ステートメントの UNTIL パラメータが正しくありません。
説明	このエラーは次のいずれかが原因で起きます。 - UNTIL パラメータに負の値がある。 - UNTIL パラメータ内の値が 10 進の 7 桁、または 2 進の 31 桁よりも大きい。
対処	エラーを修正してください。

NAT1322: パラメータ **:1:** がありません（**:3:/:4:/:5:/:6:** により **:2:** 行で呼び出された）。

テキスト	パラメータ ... がありません (.../.../.../... により ... 行で呼び出された)。

説明	Natural がオブジェクト .../.../.../... によって渡されなかった パラメータ ... への参照を含んだステートメントを実行しようとしました。 これは、行 ... の呼び出しステートメントが、呼び出された オブジェクトによってオプションとして定義されたパラメータを 提供しなかった場合に発生します。
対処	呼び出しステートメントに指定されていないパラメータを指定してください。

NAT1323: エンドデータ条件で **ACCEPT/REJECT/REINPUT** は使用できません。

テキスト	エンドデータ条件で ACCEPT/REJECT/REINPUT は使用できません。
説明	エンドデータ条件 (ループがすでに閉じられている) で ACCEPT および REJECT は使用できません。 同様に、REINPUT ステートメントも、 対応する INPUT ステートメントを含むループが閉じた後は 使用できません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1324: 当ステートメントを使用する場合は、ループをアクティブにしてください。

テキスト	当ステートメントを使用する場合は、ループをアクティブにしてください。
説明	次の理由により、ESCAPE TOP、ESCAPE BOTTOM、ACCEPT、REJECT、 または PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントを実行できません。 - ESCAPE TOP、ESCAPE BOTTOM、または PERFORM BREAK PROCESSING ステートメントに対してアクティブなループがありません。 - ACCEPT または REJECT ステートメントに対して、アクティブな FIND、 READ、HISTOGRAM、CALL FILE、SORT、または READ WORK FILE ループが ありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1325: パターン内のアスタリスク **'*'** が多すぎます。

テキスト	パターン内のアスタリスク '*' が多すぎます。
説明	最大 10 個のアスタリスク '*' をパターンに指定できます。 10 個を超える '*' がパターン内に検出されると、 テーブルオーバーフローが起き、実行が中止されます。 ただし、'**' は '*' として認識されます。

対処	パターン内のアスタリスク '*' の数を減らしてください。

NAT1326: FROM/LENGTH 節で指定された範囲はフィールド外です。

テキスト	FROM/LENGTH 節で指定された範囲はフィールド外です。
説明	EXAMINE または SEPARATE ステートメントの FROM/LENGTH 節に、次のエラーがあります。 - FROM 位置がフィールド内ではありません。 - 指定された LENGTH がフィールド長を超えました。 - LENGTH 値が負の値です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1328: 使用可能なデフォルトコードページがありません。

テキスト	使用可能なデフォルトコードページがありません。
説明	現在のステートメントを実行するには、デフォルトコードページが定義されている必要があります。
対処	CP パラメータを使用して、コードページを定義してください。

28 Natural システムエラーメッセージ 1351～1400

NAT1392: PCHECK/ECHECK validation has found :1: inconsistencies.

テキスト	PCHECK/ECHECK validation has found ... inconsistencies.
説明	During the PCHECK/ECHECK validation, more than one inconsistency wasfound. ↩ This message is displayed to indicate that several parts of theNatural ↩ object need to be inspected. The original messages related tothe actual ↩ errors can be displayed with the system command LASTMSG.For example, program ↩ MAIN contains:PERFORM SUBR1 at line 100 with an inconsistent parameter ↩ list.CALLNAT "CLN1" at line 200 with an inconsistent parameter list.The ↩ initial error messages would be: MAIN 0100 NAT0936 Format/length conflict ↩ in parameter 1 (Subroutine... MAIN 0200 NAT0936 Format/length conflict in ↩ parameter 1 (Subprogram...In addition, the following message would be ↩ displayed: MAIN 0200 NAT1392 PCHECK=ON validation has found 2 ↩ inconsistencies.
対処	Check program and correct error.

NAT1393: Object :1: (:2:/:3:/:4:) cataloged with unsupported version.

テキスト	Object ... (.../.../...) cataloged with unsupported version.
説明	An attempt was made to execute a Natural programming object or loada GDA, ↩ LDA, PDA or map at compilation which is not supported by thecurrent version ↩ of Natural.For a list of supported Natural versions, see theNatural ↩ documentation.

対処	Re-compile the object under the current version of Natural.

NAT1394: Object :1: (:2:/:3:/:4:) ARCH level :5: too high for machine :6:

テキスト	Object ... (.../.../...) ARCH level ... too high for machine ...
説明	An attempt was made to execute a Natural programming object whichwas ↩ compiled with the Natural Optimizer Compiler (NOC), with anarchitecture ↩ level (ARCH) higher than executable by this machine.Programs can only be ↩ executed if their NOC ARCH level is same or lessthan the current machine ↩ ARCH level.
対処	Re-compile the object with the NOC ARCH level of this machine.

NAT1395: Reporting mode of object :1: (:2:/:3:/:4:) not permitted.

テキスト	Reporting mode of object :1: (:2:/:3:/:4:) not permitted.
説明	Switch to reporting mode by object :1: loaded from library :2:(database ↩ :3:/file :4:) is not permitted.Switching to reporting mode is not permitted ↩ if Natural was startedwith structured mode (parameter SM=ON).When a Natural ↩ source program is read into the source area, Naturalautomatically switches ↩ to the mode in which the program was stored.The program can be edited, but ↩ before a STOW command can be executed,you have to ensure that the program ↩ structure is in accordance withthe appropriate programming mode.
対処	Make sure you are using the correct programming mode.

NAT1396: 一時的に **:1: :2:** はユーザー **:3:** により修正されずに保存されました。

テキスト	一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正されずに保存されました。
説明	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それはユーザー :3: によって一時的に (修正されずに) 保存されたからです。
対処	ソースを削除して、保存しなおしてください。

NAT1397: 一時的に **:1: :2:** はユーザー **:3:** により修正され、保存されました。

テキスト	一時的に :1: :2: はユーザー :3: により修正され、保存されました。
説明	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それはユーザー :3: によって一時的に修正され、保存されたからです。
対処	ソースを削除して、保存しなおしてください。

NAT1398: :1: :2: は、**:3:** のためにロックされています。

テキスト	:1: :2: は、:3: のためにロックされています。
説明	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それは :3: として示された別の目的のために現在ロックされているからです。
対処	オブジェクトを保存する前にアンロックしてください。

NAT1399: :1: :2: は、ユーザー **:3:** によってロックされています（セッション **ID :4:**）。

テキスト	:1: :2: は、ユーザー :3: によってロックされています (セッション ID :4:) 。
説明	タイプ :1: のオブジェクト :2: を保存することはできません。 なぜなら、それは、セッション :4: のユーザー :3: によって現在ロックされているからです。
対処	オブジェクトをロックしたユーザーまたは権限を持つ管理者が、 オブジェクトをアンロックする必要があります。

NAT1400: Natural システム関数の **TOTAL/SUM** がオーバーフローしました。

テキスト	Natural システム関数の TOTAL/SUM がオーバーフローしました。
説明	Natural システム関数で、 すべての処理レコードの値を合計した値がオーバーフローしました。 Natural システム関数の桁数は、 評価フィールドの長さによって決まります。
対処	対象となるフィールドの長さを増やしてください。

29 Natural システムエラーメッセージ 1451～1500

NAT1500: ワークファイル **:1:** がオープンできません。

テキスト	ワークファイル ... がオープンできません。 考えられる理由は、次のとおりです。- ファイルが存在しません (READ WORK) 。
説明	- ユーザーがファイルへのアクセス (読み取り / 書き込み) 権を 持っていないため、既存のファイルにアクセスできません。 - ユーザーがディレクトリへの書き込み権を持っていないため、 ファイルを作成できません (WRITE WORK) 。 - ファイルシステムがいっぱいであるか、または、ファイルシステムの ファイルリストがいっぱいであるため、ファイルを作成できません (inodes list) 。 - ユーザーはファイルへのパス内のディレクトリのいずれに アクセスする権限も持っていません。 - ファイルへのパス内のディレクトリのひとつが存在しません。 - ネットワークエラーです。ファイルサーバー、ネームサーバー等の 応答がありません。またはアクティブではありません。 - Entire Connection データ転送は、Natural for Windows には実装されていません。 - オペレーティングシステム固有の理由がいくつかあります。 詳細については、 オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。
対処	- Entire Connection ファイル (.NCD ファイル) に書き込もうとしたときに、 最大フィールド長の 255 を超えました。 Natural 管理者に連絡してください。

30 Natural システムエラーメッセージ 1501～1550

NAT1501: :1: ファイル **:2:** のためのコントロール情報が不足しています。

テキスト	... ファイル ... のためのコントロール情報が不足しています。
説明	- READ ステートメントに対する DCB 情報が 不足しています。または - 可変長の WRITE 処理に対して RECFM=F パラメータが指定されています。 考えられる理由として、ジョブ制御での矛盾した DCB の 指定が挙げられます。
対処	参照するワークファイルが出力ファイルとして 事前に使用されていることを確認してください。 ファイルにラベルがない場合は、 ファイルの特性が前の WRITE と一致していることを確認してください。

NAT1502: 永久的な物理 **I/O** エラー。

テキスト	永久的な物理 I/O エラー。
説明	永久的な I/O エラーが起きたのでワークファイルを処理できません。 考えられる理由は、ファイルの物理的損傷です。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1503: ワークファイル **:1:** は**READ WORK FILE** ループ内で閉じられました。

テキスト	ワークファイル ... は READ WORK FILE ループ内で閉じられました。
説明	READ WORK FILE 処理ループ内で、 他の Natural プログラム、またはサブプログラムで - CLOSE WORK FILE ステートメントによって明確に、または - READ WORK FILE ステートメント中の END-OF-FILE 条件のため、無条件に そのワークファイルが閉じられました。 そのワークファイルが閉じられていた場合は、 そのワークファイルの READ WORK FILE ループを ESCAPE BOTTOM ステートメントで抜ける必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT1504: エンドオブファイルになったが、**AT END** 処理が指定されていません。

テキスト	エンドオブファイルになったが、AT END 処理が指定されていません。
説明	READ WORK FILE ONCE オプションが指定されていて、 エンドオブファイルの状態になりました。 この条件は、AT END OF FILE 節でチェックする必要があります。
対処	プログラムを修正してください。

NAT1505: 数字入力フィールドのデータが正しくありません。

テキスト	数字入力フィールドのデータが正しくありません。
説明	READ WORK FILE SELECT オプションは、 全データフィールドが正しい入力データかどうかをチェックします。 数値フィールドとして定義されたフィールドに 数値以外の値が見つかりました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1506: パック **10** 数値と変数定義が一致しません。

テキスト	パック 10 数値と変数定義が一致しません。
説明	RECORD オプションなしの READ WORK FILE ステートメントは、 偶数の桁数で定義したパック変数 (例 : P6、P5.1) を読み込もうとしています。 ただし、ワークファイル内の数値データが変数に適合しないため、 現在の定義より 1 大きい桁数である奇数桁の数字を要求します。 考えられる理由は、データが、別の変数定義を使用しているか、または、 再定義を使用しているワークファイルに書き込まれたことです。
対処	数字の桁数が奇数になるように変数定義内の数字の数を 1 つ増やしてください。 あるいは、ワークファイルにデータを記述したアプリケーションを チェックしてください。

NAT1507: 出力ワークファイル **:1:** がいっぱいです。

テキスト	出力ワークファイル ... がいっぱいです。
説明	出力ワークファイルへのスペース割り当てが小さいため、 Natural プログラムで記述した全レコードを保持できません。
対処	Natural 管理者に、出力ワークファイルの サイズの増加を依頼してください。

NAT1508: :1: ファイル **:2:** は、すでに他のユーザーが開いています。

テキスト	... ファイル ... は、すでに他のユーザーが開いています。
説明	出力またはワークファイルは、現在他のユーザーが使用しています。 そのため異なるユーザー間で共有はできません。
対処	同じファイルを使うプログラムを 同時に実行しないようにチェックしてください。

NAT1510: :1: ファイル **:2:** に対してレコードが小さすぎます。

テキスト	... ファイル ... に対してレコードが小さすぎます。

説明	z/VSE システムについては、 - DTFDI を使っているリーダー、または DTFMT や DTFSD を使っているワークファイルで WLRERR 出口に入ったことを示しています。 z/OS システムについては、 - RECFM=F のレコードがデータセットレコード長より短く、そして- 空白のパディング (出力ファイル) またはヌル (ワークファイル) の 使用は許されていないことを示しています。 レコードパディングは、PRINT または WORK パラメータのサブパラメータ PAD に よって制御されます。
対処	Natural 管理者に連絡して、 JCL が正しく指定されていることを確認してください。 z/OS システムについては、アプリケーションを修正するか、または レコードパディングを許可するためにサブパラメータ PAD=ON でセッションを開始してください。

NAT1511: READ WORK FILE の後、**WRITE WORK FILE** を発行しました。

テキスト	READ WORK FILE の後、WRITE WORK FILE を発行しました。
説明	ワークファイルを Natural プログラム内で生成し、 その後同プログラム内で参照することができます。 この逆を行うことはできません。 READ WORK FILE ステートメントの実行結果として ワークファイルをオープンした場合、 WRITE WORK FILE ステートメントを実行すると ランタイムエラーになります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1512: :1: ファイル **:2:** に対してレコードが大きすぎます。

テキスト	... ファイル ... に対してレコードが大きすぎます。
説明	書き込まれるレコードの長さが出力データセットレコード長を超えました。 また、空白のトランケーション (出力ファイル) または ヌル (ワークファイル) の使用は許されていません。 レコードトランケーションは、PRINT または WORK プロファイルパラメータのサブパラメータ TRUNC によって 制御されます。

対処	出力データセットレコード長を修正します (例 : プロファイルのサブパラメータ LRECL)、または アプリケーションプログラムを修正します、または レコードトランケーションを許可するために サブパラメータ TRUNC=ON でセッションを開始します。

NAT1513: ワークファイル **:1:** のクローズ中にエラーが発生しました。

テキスト	ワークファイル ... のクローズ中にエラーが発生しました。
説明	
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1514: :1: ファイル **:2:** はサポートしていないファイル編成です。

テキスト	... ファイル ... はサポートしていないファイル編成です。
説明	Natural は現在ワークファイルとしてシーケンシャルファイルしかサポートしていません。
対処	処理するファイルのファイル編成をチェックし、エラーを修正してください。

NAT1515: 一度にたくさんのワークファイルをオープンしようとしました。

テキスト	一度にたくさんのワークファイルをオープンしようとしました。
説明	この Natural バージョンは、Com-plete 下でアクティブになっています。 Com-plete では、1 トランザクションで 5 つを超える ワークファイル (SD ファイル) を同時に処理できないよう 制限されているため、Natural によって、同時に 5 つを超えるファイルを オープンしないようにチェックされています。 一連のトランザクション群で 5 つを超えるワークファイルを 処理することはできますが、同時に行うことはできません。
対処	処理するワークファイルの数を減らしてください。

NAT1516: :1: ファイル **:2:** に対するオープン時の **GETMAIN** エラーです。

テキスト	... ファイル ... に対するオープン時の GETMAIN エラーです。
説明	指定されたファイルのオープン時の GETMAIN 要求を満たすための 十分なメインストレージがありません。
対処	ストレージスレッドのサイズを増やしてください。 非スレッド環境では、 利用可能なリージョンまたはパーティションサイズを増やしてください。

NAT1517: :1: ファイル **:2:** に対するクローズ時の **FREEMAIN** エラーです。

テキスト	... ファイル ... に対するクローズ時の FREEMAIN エラーです。
説明	指定されたファイルを閉じようとしたとき、FREEMAIN 要求に失敗しました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1518: GET または **PUT** は **:1:** ファイル **:2:** をオープンできませんでした。

テキスト	GET または PUT は ... ファイル ... をオープンできませんでした。
説明	内部エラーが発生したと思われます。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1519: デバイスタイプが正しくありません。

テキスト	デバイスタイプが正しくありません。
説明	プリンタのデバイスタイプがプリンタでない、または ワークファイルのデバイスタイプがテープでもディスクでもありません。
対処	JCL をチェックして、エラーを修正してください。 または、Natural 管理者に連絡してください。

NAT1520: デバイスまたは論理プリンタ **:1:** が使用できません。

テキスト	デバイスまたは論理プリンタ ... が使用できません。
説明	ワークファイルの処理に使用するデバイスが、 Natural プログラムに割り当てられていません。
対処	JCLをチェックして、エラーを修正してください。または、Natural管理者に連絡してください。

NAT1521: 可変レコードが正しくありません。

テキスト	可変レコードが正しくありません。
説明	入力ワークファイルの可変レコードの最初の 4 バイトが、 正しいレコードディスクリプタワードではありません。 Natural パラメータ BWORKD の設定が正しくありません。
対処	JCL、またはファイルをチェックして、 エラーを修正してください。 または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1522: NATAMUSR :アクセスメソッド出口 **NATAM9EX** がインストールされていません。

テキスト	NATAMUSR :アクセスメソッド出口 NATAM9EX がインストールされていません。
説明	ユーザーアクセスメソッド出口のエントリポイント NATAM9EX は ユーザーアクセスメソッドモジュール NATAMUSR 内で解析されませんでした。
対処	出口がエントリポイント NATAM9EX を持っているかどうかをチェックしてください。 出口がモジュール NATAMUSR にリンクされているかどうかをチェックしてください。

NAT1525: 当ワークファイルはダイナミック変数でアクセスできません。

テキスト	当ワークファイルはダイナミック変数でアクセスできません。
説明	ダイナミック変数は、TYPE=STREAM ワークファイルに対する READ WORK ... ONCE ステートメントでのみ使用することができます。

対処	このタイプのワークファイルでダイナミック変数を使わないでください。

NAT1526: OFFSET キーワードは **UNFORMATTED** ワークファイルには使用できません。

テキスト	OFFSET キーワードは UNFORMATTED ワークファイルには使用できません。
説明	OFFSET は、ワークファイルレコードの開始と相対的な読み込み位置を 指定します。 UNFORMATTED ワークファイルには、レコードの概念がないので、 OFFSET キーワードは許されません。 最後に処理されたフィールドの終わりに対してその前に位置付けるために、 FILLER キーワードを使用してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1527: TYPE = STREAM ワークファイルは当オブジェクトに対してサポートされません。

テキスト	TYPE = STREAM ワークファイルは当オブジェクトに対してサポートされません。
説明	TPYE=STREAM のワークファイルは、Natural バージョン 4 以上で コンパイル (CATALOG、STOW) される Natural プログラムに よってのみ、読み込みと書き込みが可能です。
対処	

NAT1528: DEFINE WORK ステートメントに不正な **TYPE** が指定されました。

テキスト	DEFINE WORK ステートメントに不正な TYPE が指定されました。
説明	有効なワークファイルタイプは次のとおりです。 'FORMATTED' ：正規のレコード指向のワークファイル。 'UNFORMATTED' ：バイトストリームとして読み込みや書き込みが行われるワークファイル。
対処	有効なワークファイルタイプを指定してください。

NAT1529: DEFINE WORK の名前は当ワークファイルに対して使用できません。

テキスト	DEFINE WORK の名前は当ワークファイルに対して使用できません。

説明	このワークファイルのために指定されたワークファイルアクセスメソッドは、 名前オペランドを認めません。 名前オペランドはオプションであり、ワークファイル TYPE が指定される場合は、省略できます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT1530: 出力ファイル **:1:** に対して不正な **ASA** 制御文字があります。

テキスト	出力ファイル ... に対して不正な ASA 制御文字があります。
説明	不正な ASA 制御文字が、エラーメッセージに示された出力ファイルに 対する出力レコードで見つかりました。 これは、一般に Natural 出力ファイル定義の ASA=OFF で起こります。 その場合は、有効な ASA 制御文字を設定するユーザーの責任となります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1531: Entire Connection との間のデータ転送が失敗しました。

テキスト	Entire Connection との間のデータ転送が失敗しました。
説明	- 追加レポート TRANSFER への出力の書き込みには、 Entire Connection プロトコルモード TCP/IP が必要です。 - Entire Connection データ転送は、Natural for Windows には 実装されていません。
対処	プロファイルパラメータ ECPMOD を 'ON' に設定してください。 TCP/IP プロトコルが使用されます。

NAT1532: レコード長は **32 KB** を超えてはいけません。

テキスト	レコード長は 32 KB を超えてはいけません。
説明	READ/WRITE WORK FILE ステートメントで読み込む / 書き込むレコードの 長さは 32 KB を超えてはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1533: DEFINE WORK ステートメントでの属性値 **:1:** が正しくありません。

テキスト	DEFINE WORK ステートメントでの属性値 ... が正しくありません。
説明	DEFINE WORK ステートメントの ATTRIBUTES 節に指定されたいずれかの属性値が、正しくありません。
対処	正しい属性値を指定します。

NAT1536: Shift value (:1:) too high for line size (:2:).

テキスト	Shift value (...) too high for line size (...).
説明	With the given line size, the current shift value of (NT)PRINTresults in ↩ empty report lines.
対処	Either decreaze the value of the SHIFT subparameter of (NT)PRINTor increase ↩ the line size.

NAT1548: TPS スプール要求の失敗。

テキスト	TPS スプール要求の失敗。
説明	TPS スプール要求で 0 でないリターンコードが発生しました。
対処	詳細については TPS ドキュメンテーションを参照してください。

NAT1549: TPS スプーリングインターフェイスが有効ではありません。

テキスト	TPS スプーリングインターフェイスが有効ではありません。
説明	オンライン環境： モジュール TPSSPINO が TP 環境で有効ではありません。 バッチ環境： TPSSPINB が NSITPS にリンクされていません。
対処	環境に応じて、 - TPSSPINO を有効にしてください。 - または、TPSSPINB を NSITPS にリンクしてください。

NAT1550: Natural ADVANCED FACILITIES が初期化されていません。

テキスト	Natural ADVANCED FACILITIES が初期化されていません。
説明	WRITE または DISPLAY が要求されましたが、 Natural ADVANCED FACILITIES が初期化されていません。 セッションが、不正な PRINTER パラメータで 開始された可能性があります。
対処	正しく Natural ADVANCED FACILITIES をインストールし、 セッションをもう一度始めてください。

31 Natural システムエラーメッセージ 1551〜1600

NAT1551: NATSPOOL ファイル上のエラーです。

テキスト	NATSPOOL ファイル上のエラーです。
説明	NATSPOOL ファイルにアクセスしたとき、 ゼロでないレスポンスコードを受け取りました。
対処	NATSPOOLファイルのステータスをチェックし、エラー修正してください。

NAT1552: NATSPOOL : 出力するレポートのレコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL ：出力するレポートのレコードが見つかりません。
説明	NATSPOOL ファイル上にレポートを格納するために、 NATSPOOL は現在の DETAIL レコードを (更新のために) 読み込もうとしますが、 レコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
対処	レポートを生成する Natural プログラムを再実行してください。

NAT1553: NATSPOOL : WRITE（**rep**）ステートメントの出力長が正しくありません。

テキスト	NATSPOOL ：WRITE (rep) ステートメントの出力長が正しくありません。

説明	NATSPOOL ニュークリアスは、Natural ニュークリアスから 出力行を受け取ります。 このうちのいずれかの行の長さが正ではありません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1554: NATSPOOL : キューに対しメッセージグループレコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL ：キューに対しメッセージグループレコードが見つかりません。
説明	NATSPOOL ファイル上にキューを格納するため、 NATSPOOL はフリーグループを読み込み、DETAIL レコードを更新してから、 前のグループレコードを（更新のために）読み込もうとしますが、 レコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
対処	キューを生成するNaturalプログラムを再実行してください。

NAT1555: ワークファイルまたは出力ファイルへのアクセス中に **:1:** が起きました。

テキスト	ワークファイルまたは出力ファイルへのアクセス中に DMS エラー DXXX が起きました。
説明	
対処	ワークファイルまたは出力ファイルのファイルコマンド設定をチェックしてください。

NAT1556: NATSPOOL ファイルがいっぱいです。

テキスト	NATSPOOL ファイルがいっぱいです。
説明	NATSPOOL ファイルは、Natural プログラムによって生成される全レポートの物理スプールファイル として使用されますが、これがいっぱいです。 NATSPOOL ファイルに格納できる最大レポート数は、 スプールファイルメンテナンスのフォーマット機能により定義されます。
対処	(1) いくつかのレポートを DISPOSITION D で出力してください。 (2) いくつかのレポートを削除してください。 (3) スプールファイルを大きくしてください （スプールファイルメンテナンスを参照）。

NAT1557: NATSPOOL : ジョブ番号のレコードがチェックポイント上に見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : ジョブ番号のレコードがチェックポイント上に見つかりません。
説明	NATSPOOL 環境 (ユーザープロファイル、論理プリンタプロファイル) は 正しく定義されましたが、ファイルのうち、出力キューを含む部分が プレフォーマットされていません。
対処	NATSPOOL オペレータコマンドの F 機能を使って、 NATSPOOL ファイルをフォーマットしてください。

NAT1558: NATSPOOL : インターバル制御エラーです。

テキスト	NATSPOOL : インターバル制御エラーです。
説明	CICS インターバル制御プログラムによる処理に対し、 不正なタイプの要求を受け取ったため、 NATSPOOL プリンタのタスクが開始できません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT1559: NATSPOOL : ワークエリアの **GETMAIN** ができません。

テキスト	NATSPOOL : ワークエリアの GETMAIN ができません。
説明	このエラーは次のいずれかが原因です。 1) 初期化中、Natural Advanced Facilities ワークエリア (2 KB) を割り当てることができませんでした。 2) 実行中の場合、このワークエリアのサイズが不十分でした。
対処	1) スレッドのサイズを大きくしてください。 2) Software AG サポートに連絡してください。

NAT1560: NATSPOOL : インデックスレコードがキュー内に見つかりませんでした。

テキスト	NATSPOOL : インデックスレコードがキュー内に見つかりませんでした。
説明	このエラーは NATSPOOL ニュークリアスの 内部エラーによって発生します。

対処	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1561: NATSPOOL : 送り先または形式に誤りがあります。

テキスト	NATSPOOL ：送り先または形式に誤りがあります。
説明	NATSPOOL ニュークリアス内で内部エラーが発生しました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT1562: NATSPOOL :クローズ処理中にインデックスレコードが見つかりませんでした。

テキスト	NATSPOOL ：クローズ処理中にインデックスレコードが見つかりませんでした。
説明	NATSPOOL ファイルでレポートを閉じるために、 インデックスレコードは 'ページ数' および '出力' ステータスで 更新されます。 インデックスレコードが見つからなかったため、この要求は失敗しました。
対処	レポートを作成する Natural プログラムを再実行してください。

NAT1563: NATSPOOL : EXEC CICS START、不正な **SYSID**。

テキスト	NATSPOOL ：EXEC CICS START、不正な SYSID。
説明	NATSPOOL プリンタタスクに関連したプリンタの SYSID が 見つかりませんでした。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1564: NATSPOO : EXEC CICS START、不正なトランザクション **ID**。

テキスト	NATSPOOL ：EXEC CICS START、不正なトランザクション ID。
説明	NATSPOOL プリンタタスクのトランザクション ID が CICS プログラムコントロールテーブル内に見つかりませんでした。

対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1565: NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なプリンタ **ID**。

テキスト	NATSPOOL : EXEC CICS START、不正なプリンタ ID。
説明	NATSPOOL プリンタタスクに関連したプリンタの端末 ID が、 CICS 端末コントロールテーブル内に見つかりませんでした。 考えられる理由は次のとおりです。 - NATSPOOL 割り付けテーブル内のプリンタ名に誤りがあります。 - プリンタの端末 ID が CICS TCT 内に存在しません。
対処	NATSPOOL 割り付けテーブルをチェックしてください。または Natural 管理者に連絡してください。

NAT1566: NATSPOOL :プリンタが **CICS** に定義されていない、または **LOCATE** に失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : プリンタが CICS に定義されていない、または LOCATE に失敗しました。
説明	CICS 端末コントロールテーブル (DFHTC CTYPE=LOCATE) を スキャンしたとき、TCATPTA に指定された端末 ID が 見つかりませんでした。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1567: NATSPOOL : CICS ロケートが失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : CICS ロケートが失敗しました。
説明	CICS 端末コントロールテーブル (DFHTC CTYPE=LOCATE) を スキャンしたときに、エラーが発生しました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 Natural ADVANCED FACILITIES ソースライブラリのプログラム NATAF を参照してください。

NAT1568: NATSPOOL : ハードコピー出力用のプリンタをオープンできません。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピー出力用のプリンタをオープンできません。
説明	OPEN PRINTER FOR OUTPUT 要求で、 ハードコピーシステムを呼び出しましたが、 OPEN できませんでした。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1569: NATSPOOL ファイルにインデックスレコードが重複しています。

テキスト	NATSPOOL ファイルにインデックスレコードが重複しています。
説明	NATSPOOL ファイルのキューをクローズするとき、 NATSPOOL は 'ページ数' および '出力' ステータスで インデックスレコードを更新します。 同一キーに対して複数のインデックスレコードが見つかったため、 この要求は失敗しました。
対処	出力キューを生成した Natural プログラムを再実行してください。

NAT1570: NATSPOOL :CSECT 'NOMPUT' がありません。

テキスト	NATSPOOL : CSECT 'NOMPUT' がありません。
説明	NAF から NOM までレポートをルーティングするときに使用する CSECT 'NOMPUT' が、 - リンクエディットにありません。または - 違う名前に変更されました。
対処	NOMPUT がリンクエディットにあるかチェックしてください。

NAT1571: NATSPOOL: NOM has not been installed.

テキスト	NATSPOOL: NOM has not been installed.
説明	A NAF report has been created for NOM (Entire Output Management),but NOM ↩ has not been installed.

対処	Install NOM.

NAT1572: 論理プリンタプロファイル **:1:** がスプールファイルに存在しません。

テキスト	論理プリンタプロファイルがスプールファイルで見つかりません。
説明	印刷のために RSO 直接サポートを使用する場合、 NAF はスプールファイルから対応する LPF を読みます。 CLOSE の処理中、 - LPF が存在しないため、または - Adabas でエラーが発生したため、 この LPF を読むことはできませんでした。
対処	LPF を読めない理由をチェックしてください。

NAT1573: 論理プリンタプロファイル **:1:** がスプールファイルに存在しません。

テキスト	論理プリンタプロファイルがスプールファイルで見つかりません。
説明	(1) ユーザーの Natural プログラムで参照した論理プリンタが ユーザープロファイルと関連していません。 (2) Natural セッションは NATSPOOL に対して正しい PRINTER パラメータ (PRINTER=(NATSPOOL,...)) 付きで開始されませんでした。 (3) DEFINE PRINTER ステートメントの OUTPUT オペランドが、 スプールファイル上に存在しない論理プリンタプロファイルを参照しました。
対処	(1) NATSPOOL オペレータコマンドの U 機能を用いて ユーザーの論理プリンタプロファイルを定義してください。 (2) NATSPOOL に対して、正しい PRINTER パラメータを定義してください。

NAT1574: NATSPOOL :ハードコピーに対して物理プリンタが割り当てられていません。

テキスト	NATSPOOL : ハードコピーに対して物理プリンタが割り当てられていません。
説明	ハードコピー要求 (%H) がありましたが、物理プリンタが割り当てられていません。 ハードコピーを要求する場合、論理プリンタに対して 少なくとも 1 つの物理プリンタの割り当てが 定義されている必要があります: 送り先:ユーザー端末の端末 ID 形式:A 割り当てられたプリンタを NATSPOOL ファイルに 追加する必要があります。

対処	SYSPOOL のハードコピー割り当て機能を用いて、 論理プリンタと物理プリンタ間に割り当てを定義してください。

NAT1575: NATSPOOL :ハードコピー作成のファンクションコードに誤りがあります。

テキスト	NATSPOOL ：ハードコピー作成のファンクションコードに誤りがあります。
説明	ハードコピーシステムが OPEN、PUT、または CLOSE 以外の 要求によって呼び出されました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1576: NATSPOOL :ハードコピーシステムが使用できません。

テキスト	NATSPOOL ：ハードコピーシステムが使用できません。
説明	ハードコピーが要求されました (%H) が、 次のいずれかが原因で、NATSPOOL は ハードコピーをサポートできませんでした。 (1) Natural のリンクエディットに モジュール NATSPOOL が INCLUDE されていません。 (2) Natural の初期化中、ハードコピーシステムに対する GETMAIN が失敗しました。
対処	(1) Natural のリンクエディットに NATSPOOL を INCLUDE してください。 (2) 十分なストレージが利用可能であることを確認してください。

NAT1577: NATSPOOL :CSECT 'NAFPARM' がありません。

テキスト	NATSPOOL ：CSECT 'NAFPARM' がありません。
説明	このエラーの原因は次のいずれかです。 - Natural Advanced Facilities パラメータモジュール NAFPARMC/NAFPARMI がリンクエディットにありません。 - CSECT 命令がパラメータモジュールのソースにありません。 - CSECT 命令の名前が変更されました。 名前は 'NAFPARM' でなければなりません。
対処	- リンクエディットにパラメータモジュールがあることを チェックしてください。 - パラメータモジュールのソースが正しい / 完全であることを チェックしてください。

NAT1578: ハードコピーのための論理プリンタプロファイルが見つかりません。

テキスト	ハードコピーのための論理プリンタプロファイルが見つかりません。
説明	ユーザーが %H を発行する際、NAF には論理プリンタプロファイル (LPF) が必要です。 この LPF 名はそれぞれの NAF に応じて、 CMTERMID または USRID から作られます。 この LPF がセッションの初期化中に見つかりませんでした。 LPF がスプールファイルから削除された可能性があります。
対処	LPF を与えてください、または %Hxyz (xyz : 存在する LPF 名) を発行してください。

NAT1581: NATSPOOL : CSECT :1: がありません。

テキスト	NATSPOOL : CSECT :1: がありません。
説明	エラーメッセージ内に書かれた CSECT がリンクエディット内に ありません。
対処	- NAFIO がない場合は、モジュール NAFAF があるかをチェックしてください。 - NAFBS2FC がない場合は、モジュール NAFSERVR があるかをチェックしてください。

NAT1582: NATSPOOL :'CLOSE' 中にジョブ番号レコードが見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : 'CLOSE' 中にジョブ番号レコードが見つかりません。
説明	レポートのクローズ時に、NATSPOOL はジョブ番号レコードを更新する必要があります。 このレコードが見つかりませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT1583: Natural スプールファイルのオープン、または書き込みができません。

テキスト	Natural スプールファイルのオープン、または書き込みができません。
説明	次のいずれかの理由で出力が正常に実行できませんでした。 - 一時ファイルのオープン、または作成ができません。 - 利用可能な十分なメモリがありません。 - プリンタの初期化が正常に実行できませんでした。

対処	Natural.INI ファイルの一時ファイルパス TMP_PATH を チェックしてください。

NAT1584: NATSPOOL : プリンタを開始できません。

テキスト	NATSPOOL ：プリンタを開始できません。
説明	プリンタを開始するには、NATSPOOL はプリンタステータスを更新する必要があります。 このレコードが別のユーザーによって 'ホールド' されている場合、NATSPOOL は 10 回再実行します。その後、このエラーで処理は終了します。
対処	プリンタを再スタートしてください。 Adabas レスポンスコード 145 を回避するために、ADARUN の NH パラメータを大きくしてください。

NAT1585: NATSPOOL : プリンタのステータスを **HUNG** に設定できません。

テキスト	NATSPOOL ：プリンタのステータスを HUNG に設定できません。
説明	ステータス HUNG をプリンタに割り当てる場合、 NATSPOOL はプリンタステータスを更新する必要があります。 このレコードが別のユーザーによって 'ホールド' されている場合、NATSPOOL は 10 回再実行します。その後、このエラーで処理は終了します。
対処	プリンタレコードが 'ホールド' されている原因を チェックしてください。

NAT1586: 印刷ジョブをサブミットできません。

テキスト	印刷ジョブをサブミットできません。
説明	次のいずれかの理由により、印刷ジョブがサブミットできませんでした。 - プリンタ名が認識できません。 - プリンタの初期化が正常に実行できませんでした。
対処	NATPARM の物理プリンタの設定をチェックして、 実際のプリンタ名と一致しているか確認してください。

NAT1588: NATSPOOL : NAFEXIT4 がエラーを返して、終了しました。

テキスト	NATSPOOL : NAFEXIT4 がエラーを返して、終了しました。
説明	ユーザーによって書かれた出口 NAFEXIT4 がエラーを返しました。
対処	プログラムをチェックしてください。

NAT1589: NATSPOOL : NAFEXIT4 が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : NAFEXIT4 は見つかりません。
説明	モジュール NAFEXIT4 が Natural ニュークリアスにリンクされていませんでした。
対処	インストール環境をチェックしてください。

NAT1590: NATSPOOL : RSO バッファの **GETMAIN** できませんでした。

テキスト	NATSPOOL : RSO バッファの GETMAIN に失敗しました。
説明	RSO を直接サポートするには、Natural Advanced Facilities に約 3700 バイトのサイズのバッファが必要です。 このバッファを割り当てることができませんでした。
対処	インストール環境をチェックしてください。

NAT1591: NATSPOOL : WRLST マクロが **RSO** サポートの使用を失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : WRLST マクロが RSO サポートの使用に失敗しました。
説明	Natural Advanced Facilities の RSO サポートを使用して 作成されるレポートは、BS2000 *SYSLST データセットに書き込まれます。 WRLST マクロの実行に失敗しました。
対処	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1592: NATSPOOL : PRNT マクロが **RSO** サポートの使用に失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : PRNT マクロが RSO サポートの使用に失敗しました。
説明	出力するために閉じられるレポートは、 PRNT マクロを使用して RSO にスプールされます。 このマクロの実行に失敗しました。
対処	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1593: NATSPOOL :RSO サポート（内部の）に対して 不正なプリンタ番号です。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対して 不正なプリンタ番号です。
説明	モジュール NAFRSO に与えられる内部のプリンタ番号が正しくありませんでした。
対処	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1594: NATSPOOL :RSOサポート（内部の）に対して 不正なファンクションコードです。

テキスト	NATSPOOL : RSOサポート (内部の) に対して 不正なファンクションコードです。
説明	不正な内部のファンクションコードを使用して、 RSO 直接サポートが呼び出されました。
対処	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1595: NATSPOOL : RSO サポート（内部の）に対してデバイス名が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポート (内部の) に対してデバイス名が見つかりません。
説明	デバイス名を設定しないで、RSO 直接サポートを ハンドルするためのモジュールが呼び出されました。
対処	NAFRSO のアセンブルをチェックして、ダンプを取得してください。

NAT1596: NATSPOOL : RSO サポートに対して **SYSLST** の割り当てが失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の割り当てが失敗しました。
説明	*SYSLST データセットの割り当てに失敗しました。
対処	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1597: NATSPOOL : 行は不正な制御文字で始まっています。

テキスト	NATSPOOL : 行は不正な制御文字で始まっています。
説明	RSO ダイレクトサポートによってスプールされるレポートの 1 行以上が有効な制御文字 (改行、用紙送り、など) を含んでいません。
対処	プログラムをチェックしてください。

NAT1598: NATSPOOL : RSO サポートに対して **SYSLST** の開放が失敗しました。

テキスト	NATSPOOL : RSO サポートに対して SYSLST の解放が失敗しました。
説明	プライマリへの *SYSLST の割り当ての再設定が失敗しました。
対処	プロトコルを切り替えて、エラーをチェックしてください。

NAT1599: 存在していないファイルに **READ/WRITE WORK** を実行しようとしました。

テキスト	存在していないファイルに READ/WRITE WORK を実行しようとしました。
説明	JCL に指定されたワークファイルが存在しません。
対処	ワークファイルの割り当てをチェックしてください。

NAT1600: 正しくないスタック処理が要求されました。

テキスト	正しくないスタック処理が要求されました。

説明	正しいスタック機能の詳細については、 『Natural プログラマズガイド』を参照してください。
対処	エラーを修正してください。

32 Natural システムエラーメッセージ 1601～1650

NAT1601: スタックされるデータの長さが **0** か負です。

テキスト	スタックされるデータの長さが 0 か負です。
説明	スタックされるデータの長さは正の数を 指定しなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1602: スタックが壊れた、またはコマンドが必要です。

テキスト	スタックが壊れた、またはコマンドが必要です。
説明	Natural はスタックの先頭からコマンドを読もうとしましたが、 1 つも見つかりませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1603: スタックが壊れた、またはデータが必要です。

テキスト	スタックが壊れた、またはデータが必要です。
説明	Natural はスタックの先頭からデータを読み込もうとしましたが、 情報が有効ではありませんでした (STACK=(EX PGM:) のように指定すると生じます)。 データは INPUT ステートメントに対して指定する必要があります。 デフォルトのデータを INPUT フィールドに転送する場合、 存在しない INPUT フィールドにデータを指定してください。 デリミタモードではそのデータは無視されます。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1604: スタックが空です。

テキスト	スタックが空です。
説明	Natural はスタックからデータを読み込もうとしましたが、スタックは空でした。 - 内部エラーが発生しました。または - スタックが壊されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1605: スタックデータがオーバーフローしました。

テキスト	スタックデータがオーバーフローしました。
説明	スタックデータの容量がスタックエリアに入りません。 最大 999 項目をスタックできます。
対処	プログラムをチェックして、スタックするフィールドの数またはサイズを小さくしてください。

NAT1606: 無効な **UTF-16** データです。

テキスト	無効な UTF-16 データです。
説明	スタックするデータが、有効な UTF-16 エンコーディングではありません。
対処	バイトで表す UTF-16 文字列の長さが、 2 の倍数であることを確認してください。

NAT1610: SET KEY エラー、ファンクションキーが正しく指定されていません。

テキスト	SET KEY エラー、ファンクションキーが正しく指定されていません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1611: SET KEY エラー、ファンクションキーが使用できません。

テキスト	SET KEY エラー、ファンクションキーが使用できません。
説明	選択された SET KEY ステートメントのファンクションキーは Natural に定義されていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT1612: SET KEY ステートメントに誤りがあります。

テキスト	SET KEY ステートメントに誤りがあります。
説明	変数が 'SET KEY' の後に指定されましたが、 変数に不正な値があります。 正しい値は、'PA1'～'PA3'、'PF1'～'PF24'、'CLR'、および 'ENTR' です。 変数に 'ENTR' が含まれているが、 NAMED 節以外の SET KEY ステートメントのオプションが そのキーに適用されている場合に、このエラーが起こります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

33 Natural システムエラーメッセージ 1651〜1700

NAT1679: ONE private mode not allowed in NSC environment, reason :1:.

テキスト	ONE private mode not allowed in NSC environment, reason ....
説明	Possible reasons: 1 - Private mode is disallowed. 2 - Private mode library ↩ is assigned to another library.
対処	

NAT1681: NSF サーバー通信エラーレスポンス **:1:**

テキスト	NSF サーバー通信エラーレスポンス ...。
説明	Natural NSF - NSF サーバー通信は、機能していません。
対処	管理者に連絡してください。

NAT1682: NSF :1: システムエラー、理由 **:2:**

テキスト	NSF ... システムエラー、理由 ...。
説明	一般的な問題が発生しました。

対処	管理者に連絡してください。

NAT1683: NSF : ライブラリ **:1:** へのログオンは拒否されました。

テキスト	NSF : ライブラリ ... へのログオンは拒否されました。
説明	このライブラリにログオンする許可を持っていません。 考えられる理由は次のとおりです。 - システムファイル (FUSER/FDIC/FSEC/FNAT) へのアクセスが拒否されました。 - ライブラリへのアクセスが拒否されました。
対処	管理者に連絡してください。

NAT1684: ライブラリ **:1:** への **NSF** ログオンに失敗しました。 **steplib :2:** へアクセスできません。

テキスト	ライブラリ ... への NSF ログオンに失敗しました。 steplib ... へアクセスできません。
説明	ログオンは、ライブラリプロファイル内に定義された steplib への アクセス権がないため、拒否されました。
対処	管理者に連絡してください。

NAT1685: ユーザーは無効です。

テキスト	ユーザーは無効です。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	セキュリティ管理者に連絡してください。

NAT1686: NSFSIZE パラメータが指定されていないか、または使用できません。

テキスト	NSFSIZE パラメータが指定されていないか、または使用できません。
説明	NSFSIZE パラメータが指定されていないか、 または NSFSIZE によって指定されたストレージを NATGWSAF が取得できませんでした。

対処	NSFSIZE パラメータが正しく指定されていること、および Natural リージョン / スレッドが十分な大きさであることを確認してください。

NAT1690: あなたのパスワードは **:1:** 日前に無効となりました。

テキスト	あなたのパスワードは ... 日前に無効となりました。
説明	セキュリティプロファイルによって、 パスワードを定期的に変更することが義務付けられています。 パスワードの期限が切れています。
対処	パスワードを変更してください。

NAT1691: あなたのパスワードは **:1:** 日に期限切れになります。

テキスト	あなたのパスワードは ... 日に期限切れになります。
説明	メッセージに示された日付の時点で、ユーザーの現在のパスワードは 有効でなくなります。
対処	パスワードを変更してください。

NAT1692: ユーザー **:1:** は認可されません。

テキスト	ユーザー ... は認可されません。
説明	クライアント / サーバー環境で、Natural RPC 経由でライブラリにログオン しようとしました。ライブラリのセキュリティプロファイルでは、 オプション 'ログオンオプション' (Natural RPC 制限) が 'E' または 'S' に設定されています。 これは、(例えば、ユーザー出口 USR1071 経由で) RPC サーバーへ アクセスするために Natural ユーザー ID が使用された場合、 (例えば、ユーザー出口 USR2071 経由で供給された) EntireX ユーザー ID と 同一かどうかを Natural Security がチェックすることを意味します。 これらのユーザー ID が同一ではなかった場合に、このエラーメッセージが 発行されます。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1695: Logon to library :1: for user :2: denied, reason :3:, :4:.

テキスト	Logon to library ... for user ... denied, reason ..., ...
説明	Cause of error as indicated by reason code shown in error message: 1 - This application is currently not available to you. 2 - NAT0838: Change your password. Enter the old and a new password. 3 - Logon to Natural RPC server and this library is not permitted. 30 - NAT1692: User ... is not authorized. 31 - ETID cannot be generated because ETID cannot be changed. 32 - ETID generation failed for this user ID.
対処	Contact your Natural Security administrator.

NAT1696: ライブラリ **:1:** へのログオンはユーザー **ID :2:** のため、拒否されました。理由 **:3:**、**:4:**。

テキスト	ライブラリ ... へのログオンはユーザー ... のため、拒否されました。理由 ...、...。
説明	このエラーの原因は、エラーメッセージ内に表示された 理由コードに示されています。 主な原因は次のとおりです。 理由 1 - NAT0873 :ユーザー ID、またはパスワードが正しくありません。 理由 2 - NAT0818 :ユーザーが見つかりません。 理由 7 - NAT0806 :ライブラリが見つかりません。 理由 8 - NAT0807 :このライブラリへのログオンは許可されていません。 理由 9 - NAT0963 :プログラム実行中のセキュリティ違反。 理由 12 - ライブラリからのログオフに失敗しました。 理由 16 - 内部エラー。 理由 14 - 偽装に失敗しました。 理由 20 - NAT0857 :当ユーザーは現在ロックされています。 理由 21 - NAT1685 :ユーザーは無効です。 理由 22 - NAT0812 :ユーザー ID プロファイルに内部的な矛盾があります。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT1697: システムファイルは **Natural Security** 環境でのみアクセスできます。

テキスト	システムファイルは Natural Security 環境でのみアクセスできます。
説明	開発サーバーファイルにアクセスしようとしましたが、このファイルのセキュリティは Natural Security でアクティブ化されています。 そのようなファイルへのアクセスは、Natural Security によって保護されたNatural 環境内でのみ可能です。 アクセスしようとした開発サーバーファイルの Natural 環境は、 非セキュリティ環境となっています。

対処	Security の管理者に連絡してください。

NAT1698: 指定された機能を実行する権限がありません。

テキスト	指定された関数の実行を認可されていません。
説明	指定された関数の実行を認可されていません。
対処	Security の管理者に連絡してください。

NAT1699: 自動ログオンは、不正なデフォルトライブラリにより失敗しました。

テキスト	自動ログオンは、不正なデフォルトライブラリにより失敗しました。
説明	デフォルトライブラリがユーザープロファイルに正しく割り当てられていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT1700: このアプリケーションは現在、使用できません。

テキスト	このアプリケーションは現在、使用できません。
説明	Natural Security によって、アプリケーションの使用が特定時間に制限されています。 その時間外では使用できません。
対処	利用可能な時間を Natural Security 管理者に問い合わせてください。

34 Natural システムエラーメッセージ 1701〜1750

NAT1701: 非アクティビティタイムリミットを超えました。

テキスト	非アクティビティタイムリミットを超えました。
説明	このアプリケーション / ユーザーに対して、非アクティビティタイムリミットが定義されています。 最後の画面 I/O と現在の I/O の間の経過時間が、 定義された制限を超えました。 Natural Security は、新たにログオンすることをユーザーに要求しています。
対処	Enter キーを押して、新たにログオンしてください。

NAT1702: ユーザーは更新ステートメントを使用する権限がありません。

テキスト	ユーザーには、更新ステートメントを使用する権限がありません。
説明	UPDATE/STORE/DELETE ステートメントを発行しましたが、 現在ユーザーにこのような更新コマンドは許可されていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT1703: 非アクティビティタイムリミットを超えました。

テキスト	非アクティビティタイムリミットを超えました。
説明	このアプリケーション / ユーザーに対して、非アクティビティタイムリミットが定義されています。 トランザクションの開始と現在のデータベースコールとの間の 経過時間が、定義された制限を超えました。 Natural システム変数 *TIME-OUT で有効時間を 確認することができます。
対処	トランザクションを再度開始してください。

NAT1704: ダイアログソースのヘッダーが不正です。

テキスト	ダイアログソースのヘッダーが不正です。
説明	ソースコードの第 1 行目が正しいダイアログヘッダーで 構成されていません。
対処	ダイアログフォーマットに関するドキュメントを参照してください。

NAT1705: ダイアログソースフォーマット **:1:** が不明です。

テキスト	ダイアログソースフォーマット ... が不明です。
説明	Natural ダイアログソースのフォーマット識別子 (メッセージに示される) が、正しい形式を示していません。
対処	ダイアログフォーマットに関するドキュメントを参照してください。

NAT1706: 属性 **:1:** の値が不正です。

テキスト	属性 ... の値が不正です。
説明	属性に割り当てられた値は、許可されていません。
対処	正しい属性値を指定してください。

NAT1707: 要素タイプ **:2:** において、不正な属性 **:1:** が指定されました。

テキスト	要素タイプ ... において、不正な属性 ... が指定されました。
説明	このタイプのダイアログエレメントでは、使用できない属性値です。
対処	正しい属性値を指定してください。

NAT1708: :1: の検索中にエラーが発生しました。

テキスト	... の検索中にエラーが発生しました。
説明	そのダイアログソースは、ダイアログエディタで必要な フォーマットと一致しません。 必要なフォーマットについては、 エラーメッセージに示されています。
対処	ダイアログソースを修正してください。

NAT1709: 変数名 **:1:** はすでに使われています。

テキスト	変数名 ... はすでに使われています。
説明	変数名は、他のダイアログエレメントか定義済みの定数として すでに使われています。
対処	他の変数名を使用してください。 ダイアログエディタでは通常、一意の置換が 推奨されます。

NAT1710: ソースウィンドウのオープンに失敗しました。

テキスト	ソースウィンドウのオープンに失敗しました。
説明	ダイアログソースウィンドウがオープンできません。
対処	

NAT1711: ダイアログエレメントの名前 **:1:** が不正です。

テキスト	ダイアログエレメントの名前 :1: が不正です。
説明	指定されたダイアログエレメントの名前は、文法上間違っているか、または定義されていません。
対処	

NAT1712: ダイアログエレメントのインデックスが不正です。

テキスト	ダイアログエレメントのインデックスが不正です。
説明	このダイアログエレメントに指定されたインデックスは、文法上間違っているか、または範囲外です。
対処	

NAT1713: コントロール **:1:** が見つかりません。

テキスト	コントロール :1: が見つかりません。
説明	指定されたコントロール名が、ダイアログのこの位置で定義されていません。
対処	

NAT1714: OLE コントロールプロパティ **:1:** が不正です。

テキスト	OLE コントロールプロパティ :1: が不正です。
説明	指定されたプロパティは、このコントロールでは有効ではありません。
対処	

NAT1715: このダイアログは非拡張フォーマットで保存できません。

テキスト	このダイアログは非拡張フォーマットで保存できません。
説明	このダイアログでは、カスタムコントロールなど、拡張 ソースフォーマットを必要とする機能が使用されています。
対処	これらの機能を使用してダイアログを保存するには、[名前をつけて保存] ダイアログボックスで拡張フォーマットを選択してください。

NAT1716: イベント名 **:1:** が不正です。

テキスト	イベント名 :1: が不正です。
説明	指定されたイベント名は、文法上間違っているか、または このダイアログエレメントでは定義されていません。
対処	

NAT1717: コントロール **:1:** の作成に失敗しました。

テキスト	コントロール :1: の作成に失敗しました。
説明	指定されたコントロールを作成できませんでした。 ダイアログエディタ内のダイアログに ActiveX コントロールを挿入 するときにこのエラーが返された場合、この失敗の一般的な理由は、このマシン上に ActiveX コントロールに利用可能な開発ライセンスがないことです。 開発ライセンスは、通常、ActiveX コントロールのベンダから 入手できます。
対処	ActiveX コントロールが正しくインストールされ、登録されているかチェックしてください。 また、開発ライセンスを持っているか、または、ActiveX コントロールのランタイムライセンスのみを持っているか、 チェックしてください。

NAT1718: コードセクションが不完全です。

テキスト	コードセクションが不完全です。
説明	ダイアログソース構文中の、ユーザーコードセクションの定義が 不完全です。

対処	

NAT1719: ユーザーにより操作がキャンセルされました。

テキスト	ユーザーにより操作がキャンセルされました。
説明	ユーザーによりキャンセルされたため、操作は完了していません。
対処	

NAT1720: オブジェクトタイプが正しくありません。

テキスト	オブジェクトタイプが正しくありません。
説明	このタイプのオブジェクトを埋め込むことはできません。
対処	作成された埋め込みオブジェクトを選択してください。(例： `*.neo` 形式のファイル)

NAT1721: ダイアログソースエラー 行 **:1:**、列 **:2:: :3:**

テキスト	ダイアログソースエラー 行 `:1:`、列 `:2:: :3:`
説明	ダイアログエディタが、ダイアログソースのテキスト `:3:` で `Natural` のエラーを検出しました。行 `:1:`、列 `:2:`。
対処	ソースコードを修正してください。

NAT1750: 認識できないプリプロセッサの指示を発見しました。

テキスト	認識できないプリプロセッサの指示を発見しました。
説明	`Natural` プリプロセッサが指示を表すソース行を発見しましたが、指示キーワードが不正でした。
対処	

35 Natural システムエラーメッセージ 1751〜1800

NAT1751: プリプロセッサ指示の引数が見当たらないか、または正しくありません。

テキスト	プリプロセッサ指示の引数が見当たらないか、または正しくありません。
説明	Natural プリプロセッサが指示を示すソース行を 発見しましたが、必須の引数のいずれかが見当たらないか、 または値のフォーマットが正しくありません。
対処	

NAT1752: 指示の '**if**'、'**else**'、または '**end-if**' が正しく対応していません。

テキスト	指示の 'if'、'else'、または 'end-if' が正しく対応していません。
説明	Naturalプリプロセッサが ソース行に 'end-if' の条件指示 'else' を発見しましたが、 対応する 'if' 指示がありません。または 'end-if' 指示がないままソースが終わりました。
対処	

NAT1753: 要求されたプリプロセッサのファンクションが認識できません。

テキスト	要求されたプリプロセッサのファンクションが認識できません。
説明	Natural プリプロセッサのファンクションが 不正なサブファンクション番号で呼び出されました。
対処	

NAT1754: プリプロセッサの **fct** 引数が見当たらないか、またはフォーマットが正しくありません。

テキスト	プリプロセッサの fct 引数が見当たらないか、またはフォーマットが正しくありません。
説明	Natural プリプロセッサのファンクションが、必須の引数のいずれかが ない状態で、または不正なフォーマットで呼び出されました。
対処	

NAT1755: プリプロセッサのファンクションへの引数に、不正な値があります。

テキスト	プリプロセッサのファンクションへの引数に、不正な値があります。
説明	
対処	

NAT1756: 指定したプリプロセッサのメモリバッファがすでに存在しています。

テキスト	指定したプリプロセッサのメモリバッファがすでに存在しています。
説明	すでに別のメモリバッファで使用している番号で Natural プリプロセッサのメモリバッファを 作成しようとしました。
対処	

NAT1757: 指定したプリプロセッサのメモリバッファが存在しません。

テキスト	指定したプリプロセッサのメモリバッファが存在しません。
説明	存在しない番号で Natural プリプロセッサのメモリバッファを 参照しようとしました。
対処	

NAT1770: 選択された検索キーが多すぎます。 追加のキーが無視されました。

テキスト	選択された検索キーが多すぎます。 追加のキーが無視されました。
説明	SQL のみ：選択できる検索キーは 5 つだけです。 最初は エレメンタリフィールドすべてが検索キーリストに含まれています。 ユーザーは そのリストから検索キーを選択する必要があります。
対処	

NAT1771: 検索キーが選択されていません。

テキスト	検索キーが選択されていません。
説明	SQL のみ：すべてのフィールドが検索キーリストから削除されています。
対処	

NAT1772: オブジェクトビュー **:1:** の作成に失敗しました。 エラー **:2:**。

テキスト	オブジェクトビュー :1: の作成に失敗しました。 エラー :2:。
説明	オブジェクトビュー :1: の作成中に内部エラーが発生しました。
対処	

NAT1773: オブジェクトビューの情報モジュール **:1:** が正しくありません。 エラー **:2:**。

テキスト	オブジェクトビューの情報モジュール :1: が正しくありません。 エラー :2:。
説明	オブジェクトビューの情報モジュール :1: へのアクセス中に 内部エラーが発生しました。
対処	

NAT1774: オブジェクトビューの情報 **:1:** のバージョンが正しくありません。

テキスト	オブジェクトビューの情報 :1: のバージョンが正しくありません。
説明	現在のバージョンの Natural では オブジェクトビューの情報モジュールを読み込むことができません。
対処	オブジェクトビューを再作成してください。

NAT1775: オブジェクトビュー名 **:1:** は、すでに情報モジュール **:2:** で使用されています。

テキスト	オブジェクトビュー名 :1: は、すでに情報モジュール :2: で使用されています。
説明	オブジェクトビューの名前はユニークである必要があります。
対処	オブジェクトビュー名と情報モジュール名が 1 対 1 対応するように、 オブジェクトビュー名または情報モジュール名を変更してください。

NAT1776: SQL テーブル名が必要です。

テキスト	SQL テーブル名が必要です。
説明	このファンクションには SQL テーブル名が必要です。
対処	

NAT1777: オブジェクトビューが選択されていません。

テキスト	オブジェクトビューが選択されていません。
説明	選択したFRAMEにはオブジェクトビューが必要です。
対処	1つもオブジェクトビューが存在しないならば、新しいオブジェクトビューを作成してください。

NAT1778: max. objects パラメータに **0** 以下の値が 入力されました。

テキスト	max. objects パラメータに 0 以下の値が 入力されました。
説明	このパラメータは0より大きい値のみを指定可能です。
対処	

NAT1779: モジュール **:1:** が、すでに別のオブジェクトビューに存在しています。

テキスト	モジュール :1: が、すでに別のオブジェクトビューに存在しています。
説明	別のオブジェクトビューに 1 つ以上のモジュールが存在しています。 オブジェクトビューの情報モジュールにリストされる モジュール名は、すべてユニークである必要があります。
対処	モジュール名または情報モジュール名、あるいはその両方を変更して、 オブジェクトビューに対して モジュール名のリストがユニークになるようにしてください。

NAT1780: オブジェクトビュー **:1:** が存在しません。

テキスト	オブジェクトビュー :1: が存在しません。
説明	入力されたオブジェクトビュー名は、 利用可能なライブラリのいずれにも存在しません。
対処	存在するオブジェクトビューの1つを選択してください。

NAT1781: DDM :1: にディスクリプタフィールドが含まれていません。

テキスト	DDM :1: にディスクリプタフィールドが含まれていません。
説明	ディスクリプタフィールドが 1 つも含まれていない DDM を基礎とするオブジェクトビューは定義できません。 理由：オブジェクトビューにはディスクリプタフィールドである 検索キーが必要です。
対処	DDMの定義を変更してください、または他のDDMを使用してください。

NAT1782: DDM に、ディスクリプタ情報のないスーパーディスクリプタが含まれています。

テキスト	DDM に、ディスクリプタ情報のないスーパーディスクリプタが含まれています。
説明	DDM に、ディスクリプタ情報のないスーパーディスクリプタが含まれています。 これらのスーパーディスクリプタは検索キーとして利用できません。 スーパーディスクリプタの構成フィールドを得るためには、 ディスクリプタ情報が必要です。
対処	スーパーディスクリプタに対するディスクリプタ情報を含むDDMを使用してください。

NAT1783: オブジェクトビュー名がユニークではありません。

テキスト	オブジェクトビュー名がユニークではありません。
説明	オブジェクトビューに、 オブジェクトビューと同じ名前のフィールドが含まれています。
対処	オブジェクトビュー名を変更してください。

NAT1790: 生成されたダイアログを、アプリケーションシェルなしで実行しました。

テキスト	生成されたダイアログを、アプリケーションシェルなしで実行しました。
説明	フレームギャラリーで生成されたダイアログを 実行するためにはアプリケーションシェルが必要です。

対処	アプリケーションシェルを起動した後で、ダイアログを実行してください。

NAT1800: PROCESS GUI ステートメントのパラメータが一致していません。

テキスト	PROCESS GUI ステートメントのパラメータが一致していません。
説明	PROCESS GUI ステートメントに指定されたパラメータ数が、 必要な数と一致していません。
対処	ドキュメントの構文に対してプログラムの構文をチェックしてください。 ほとんどの場合、指定したアクションには 予期していた以上にパラメータが必要とされています。

36 Natural システムエラーメッセージ 1801～1850

NAT1801: CLIENT-KEY の値が最大数を超えました。

テキスト	CLIENT-KEY の値が最大数を超えました。
説明	CLIENT-KEY 属性では値の数が制限されています。
対処	必要の無いCLIENT-KEYの値を再使用してください。

NAT1802: COLUMN-TYPE 属性に指定された値が不正です。

テキスト	COLUMN-TYPE 属性に指定された値が不正です。
説明	テーブルコントロールの COLUMN-TYPE 属性に 不正な値が指定されました。 この属性では列指定コントロールで使用される列のタイプを指定します。 例：INPUTFIELD、SELECTIONBOX
対処	正しい列タイプ： INPUTFIELD、SELECTIONBOX、 TEXTCONSTANT、TOGGLEBUTTON

NAT1803: テーブルフィールドが見つかりません。

テキスト	テーブルフィールドが見つかりません。
説明	渡されたフィールドタイトルがテーブルに存在していなかったため、 PROCESS-GUI ステートメントの アクション TABLE-FIND-FIELD が失敗しました。
対処	存在するフィールドタイトルと比べて、渡されたフィールドタイトルをチェックしてください。

NAT1804: PROCESS GUI ステートメントに不正な行／列範囲が指定されました。

テキスト	PROCESS GUI ステートメントに不正な行 / 列範囲が指定されました。
説明	テーブルコントロールの PROCESS GUI ステートメントに 指定された行 / 列の範囲が正しくありません。 行または列の数が現在のテーブルのサイズを超えています。
対処	ROW-COUNT 属性または COLUMN-COUNT 属性、あるいは その両方を使用して、テーブルの現在のサイズをチェックしてください。

NAT1805: テーブルコントロールにアクティブな選択がありません。

テキスト	テーブルコントロールにアクティブな選択がありません。
説明	テーブルコントロールの現在の選択を調べるために PROCESS-GUI ステートメントのアクションが実行されましたが、 アクティブな選択がありませんでした。
対処	

NAT1806: PROCESS-GUI ステートメントのアクションが失敗しました。

テキスト	PROCESS-GUI ステートメントのアクションが失敗しました。
説明	PROCESS-GUI ステートメントのアクションが正常終了しませんでした。 理由は以下のいずれかです。 - 渡されたパラメータが正しくなかった。 - ウィンドウシステムが機能を処理できなかった。

対処	パラメータをチェックします。

NAT1807: ファイルが見つかりません。

テキスト	ファイルが見つかりません。
説明	環境変数 NATGUI_BMP で指定されたパスに 指定したファイルが見つかりませんでした。
対処	ファイル名のスペルが間違っていないか、または ファイルが NATGUI_BMP 以外のディレクトリにないか チェックしてください。

NAT1808: 編集エリアがオーバーフローしました。

テキスト	編集エリアがオーバーフローしました。
説明	編集エリアには、他の文字または行を挿入することができません。 編集エリアに入力できる文字数は、Windows 95/98/Me では およそ 64 KB、Windows NT/Windows 2000 ではおよそ 4 GB です。 編集エリアが自動スクロール可能でない (垂直スクロールバーがない、 または自動スクロール可能として明示的にマークされていない) 場合、 編集エリアウィンドウの終点を超えて新しい行を挿入 しようとしたときにも、このエラーが発生します。
対処	編集エリアに書き込むテキストを減らしてください。または、 (その編集エリアに垂直スクロールバーがない場合は) '自動スクロール' スタイルを設定してください。

37 Natural システムエラーメッセージ 1851～1900

NAT1900: コネクションポイントを作成できません（ソケットコード **:1:**）。

テキスト	コネクションポイントを作成できません （ソケットコード :1:）。
説明	ソケット関数 'soket' が、次の理由により失敗しました。 - 利用可能なソケットディスクリプタがありません。 - 利用可能なバッファスペースがありません。 - ネットワークサブシステムまたは関連 するサービスプロバイダの問題です。
対処	次の点に関して、システムをチェックしてください。 1）ソケットディスクリプタがすでに使用されていないか。 2）バッファスペースは十分か。 3）ネットワークシステムが正しくインストールされているか。

38 Natural システムエラーメッセージ 1901～1950

NAT1901: コネクションポイントをバインドできません（ソケットコード **:1:**）。

テキスト	コネクションポイントをバインドできません (ソケットコード :1:) 。
説明	ソケット関数 'bind' が、次の理由により失敗しました。 - ネットワークサブシステムが失敗しました。 - コネクションが多すぎて、十分なバッファスペースを利用できません。
対処	次の点に関して、システムをチェックしてください。 - ネットワークシステムが正しくインストールされているか。 - バッファスペースは十分か。

NAT1902: ソケットエラー **:1: :** サービスポートを解析できません。

テキスト	未定
説明	未定
対処	未定

NAT1903: リモートデバッグサービスに接続できません（ソケットコード **:1:**）。

テキスト	リモートデバッグサービスに接続できません (ソケットコード :1:) 。

説明	次のいずれかの理由により、Natural が リモートデバッグサービスへの接続を作成できません。 - 指定されたリモートノードにアクセスできません。 - リモートデバッグサービスがアクティブではありません。 - 使用したポート ID が、リモートデバッグサービスの ポートと一致していません。 - リモートデバッグサービスが正しく初期化されていません。
対処	- 'ping' コマンドなどで、リモートデバッグサービスが 稼働中の NT マシンにアクセス可能か確認してください。 - リモートデバッグサービスが正しくインストールされ、稼働中であるか 確認してください。 - サービスのインストールに使用したポート (デフォルト値 : 2500) が、 RDPORT パラメータに指定したポート 番号と一致しているか確認してください。 - NT のイベントビューアで、リモートデバッグサービスに 関連するエラーがないか確認してください。

NAT1904: ノード名 **:1:** が解析できません（ソケットコード **:2:**）。

テキスト	ノード名 :1: が解析できません (ソケットコード :2:) 。
説明	リモートデバッグサービスの稼動場所と 想定されているノード名を解析できません。
対処	ネットワークシステムに対して正しいノード名であるか確認してください。

NAT1905: リモートデバッグ**:**データ受信中にエラーが発生しました（ソケットコード **:1:**）。

テキスト	リモートデバッグ : データ受信中にエラーが発生しました (ソケットコード :1:) 。
説明	Natural とリモートデバッグサービスの間の接続が 切断されています。
対処	デバッグセッションを再度セットアップします。

NAT1906: リモートデバッグ**:**データ送信中にエラーが発生しました（ソケットコード **:1:**）。

テキスト	リモートデバッグ : データ送信中にエラーが発生しました (ソケットコード :1:) 。

説明	Natural とリモートデバッグサービスの間の接続が 切断されています。
対処	デバッグセッションを再度セットアップします。

NAT1907: ローカルデバッグセッションの確立に失敗しました。

テキスト	ローカルデバッグセッションの確立に失敗しました。
説明	このプラットフォームには Natural デバッガが用意されていません。
対処	Natural のリモートデバッグ機能を使用して、 アプリケーションをデバッグしてください。

39 Natural システムエラーメッセージ 1951～2000

NAT1999: :1:。

テキスト	. . . 。
説明	エラー . . . が発生しました。
対処	

NAT2000: オプション選択が正しくありません。

テキスト	オプション選択が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

40 Natural システムエラーメッセージ 2001～2050

NAT2001: ユーザー **ID** が必要です。

テキスト	ユーザー ID が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2002: パブリックライブラリ名を入力してください。

テキスト	パブリックライブラリ名を入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2003: パブリックライブラリが見つかりません。

テキスト	パブリックライブラリが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2004: パブリックライブラリには許可されていないファンクションです。

テキスト	パブリックライブラリには許可されていないファンクションです。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2005: ファンクションが正しくありません。

テキスト	ファンクションが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2006: 誤りです。'**Y**' または '**N**' を入力してください。

テキスト	誤りです。'Y' または 'N' を入力してください。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT2008: コマンドが無効です。

テキスト	コマンドが無効です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2009: パブリックライブラリにコピーするときには名前を変更しないでください。

テキスト	パブリックライブラリにコピーするときには名前を変更しないでください。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2010: トランザクションが見つかりません。

テキスト	トランザクションが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2011: トランザクション **ID** が必要です。

テキスト	トランザクション ID が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2012: TRANSACTION IS CORRUPT

テキスト	TRANSACTION IS CORRUPT
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2013: トランザクションは互換性のないバージョンで作成されました。

テキスト	トランザクションは互換性のないバージョンで作成されました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2014: トランザクションはエラーにより実行できません。

テキスト	トランザクションはエラーにより実行できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2015: トランザクションはすでに存在しています。

テキスト	トランザクションはすでに存在しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2016: DISPLAY 問い合わせを使用する権限がありません。

テキスト	DISPLAY 問い合わせを使用する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2017: TABULAR 問い合わせを使用する権限がありません。

テキスト	TABULAR 問い合わせを使用する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2018: WORK-FILE/PC 問い合わせを使用する権限がありません。

テキスト	WORK-FILE/PC 問い合わせを使用する権限がありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2019: JCL-ID は **8** 文字を超えることはできません。

テキスト	JCL-ID は 8 文字を超えることはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2020: GRAPHICS(PGF) 問い合わせを使用する権限がありません。

テキスト	GRAPHICS(PGF) 問い合わせを使用する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2021: GRAPHICS(ICU) 問い合わせを使用する権限がありません。

テキスト	GRAPHICS(ICU) 問い合わせを使用する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2022: ON-LINE 問い合わせを実行する権限がありません。

テキスト	ON-LINE 問い合わせを実行する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2023: BATCH トランザクションを実行する権限がありません。

テキスト	BATCH トランザクションを実行する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2024: EDIT トランザクションを実行する権限がありません。

テキスト	EDIT トランザクションを実行する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2025: PRINTER トランザクションを実行する権限がありません。

テキスト	PRINTER トランザクションを実行する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2026: BATCH トランザクションをサブミットする権限がありません。

テキスト	BATCH トランザクションをサブミットする権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2027: トランザクション番号が必要です。

テキスト	トランザクション番号が必要です。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2028: 無効な番号。

テキスト	無効な番号。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2029: ACCEPT/REJECT が使用されていると、これ以上のアクションは実行できません。

テキスト	ACCEPT/REJECT が使用されていると、これ以上のアクションは実行できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2030: プライマリファイル番号を入力してください。

テキスト	プライマリファイル番号を入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2031: プライマリファイルとセカンダリファイルが同じではいけません。

テキスト	プライマリファイルとセカンダリファイルが同じではいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2032: スーパーファイルは別のファイルと一緒に選択できません。

テキスト	スーパーファイルは別のファイルと一緒に選択できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2033: ファイル番号が見当たらないか、または不正です。

テキスト	ファイル番号が見当たらないか、または不正です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2034: ファイル番号が正しい範囲にありません。

テキスト	ファイル番号が正しい範囲にありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2035: このファイルは定義されていません。

テキスト	このファイルは定義されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2036: このファイルにアクセスする権限がありません。

テキスト	このファイルにアクセスする権限がありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2037: ファイルはスーパーファイルではありません。

テキスト	ファイルはスーパーファイルではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2038: ファイルはスーパーファイルです。

テキスト	ファイルはスーパーファイルです。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2039: フォーマットの組み合わせが正しくありません。

テキスト	フォーマットの組み合わせが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2040: 無効です。**1** つのフィールドのみをマークしてください。

テキスト	無効です。1 つのフィールドのみをマークしてください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2041: リンクフィールドを入力しなければなりません。

テキスト	リンクフィールドを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2042: 開始位置がプライマリリンクフィールドの外にあります。

テキスト	開始位置がプライマリリンクフィールドの外にあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2043: 終了位置がプライマリリンクフィールドの外にあります。

テキスト	終了位置がプライマリリンクフィールドの外にあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2044: 終了位置が開始位置の前にあってはいけません。

テキスト	終了位置が開始位置の前にあってはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2045: 処理シーケンス文字が正しくありません。

テキスト	処理シーケンス文字が正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2046: 選択条件の入力がありません。

テキスト	選択条件の入力がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2047: 選択条件が完全ではありません。

テキスト	選択条件が完全ではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2048: フィールド名または参照が正しくありません。

テキスト	フィールド名または参照が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2049シーケンシャル**READ**はキーフィールドに対してのみ使用可能です。**:**

テキスト	シーケンシャル READ はキーフィールドに対してのみ使用可能です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2050: 演算子が見当たらないか無効です。

テキスト	演算子が見当たらないか無効です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

41 Natural システムエラーメッセージ 2051〜2100

NAT2051: 数値が正しくありません。

テキスト	数値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2052: 値の文字数が多すぎます。

テキスト	値の文字数が多すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2053: THRU の構文が正しくありません。

テキスト	THRU の構文が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2054: 論理演算子が **AND** か **OR** でありません。

テキスト	論理演算子が AND か OR でありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2055: 右カッコが一致しません。

テキスト	右カッコが一致しません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2056: 右カッコがありません。

テキスト	右カッコがありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2057: 選択された中でグループフィールドが正しくありません。

テキスト	選択された中でグループフィールドが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2058: キーでない条件でフィールドが正しくありません。

テキスト	キーでない条件でフィールドが正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2059: スーパー／サブ／フォネティックキーの使用が正しくありません。

テキスト	スーパー / サブ / フォネティックキーの使用が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2060:マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループフィールドの使用が正しくありません。

テキスト	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループフィールドの使用が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2061: MORE は **Y** または **N** である必要があります。

テキスト	MORE は Y または N である必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2062: ファイル全体を読み込む必要がありますが、これは許可されていません。

テキスト	ファイル全体を読み込む必要がありますが、これは許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2063: 選択にはフィールドタイプは許可されていません。

テキスト	選択にはフィールドタイプは許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2064: 条件の最大数を超えました。

テキスト	条件の最大数を超えました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2065: キーでない条件は許可されていません。

テキスト	キーでない条件は許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2066: 数値フィールドに **ST** は使用できません。

テキスト	数値フィールドに ST は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2067: ALL ではこれ以上の条件は許されません。

テキスト	ALL ではこれ以上の条件は許されません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2068: インデックスは指定できません。

テキスト	インデックスは指定できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2069: インデックスの値が正しくありません。

テキスト	インデックスの値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2070: 副条件は同じファイルに対して指定する必要があります。

テキスト	副条件は同じファイルに対して指定する必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2071: カッコの階層が多すぎます。

テキスト	カッコの階層が多すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2072: MASK/SCAN の値が正しくありません。

テキスト	MASK/SCAN の値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2073: 結果のフィールド名／参照が正しくありません。

テキスト	結果のフィールド名 / 参照が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2074: 計算が完了していません。

テキスト	計算が完了していません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2075: #NAME?

テキスト	'=' 演算子が見当たりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2076: 英数字定数が正しくありません。

テキスト	英数字定数が正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2077: グループフィールドは使用できません。

テキスト	グループフィールドは使用できません。
説明	この エラーの原因は次のとおりです。 - プロパティ配列の SET/GET では、すべての配列エレメントの値が連続的に利用可能であることが必要ですが、 グループ配列は、どのような場合でもこの条件を満たしてはいません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT2078: スーパー／サブ／フォネティックキーは使用できません。

テキスト	スーパー / サブ / フォネティックキーは使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2079: 2 番目のインデックスは最初のインデックスより大きくしなければいけません。

テキスト	2 番目のインデックスは最初のインデックスより大きくしなければいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2080: 英数字フィールドに演算子は使用できません。

テキスト	英数字フィールドに演算子は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

対処	

NAT2081: 定数が長すぎます。

テキスト	定数が長すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2082: フィールドが長すぎます。

テキスト	フィールドが長すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2083: 英数字フィールドに合計は使用できません。

テキスト	英数字フィールドに合計は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2084: 表示番号が正しくありません。

テキスト	表示番号が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2085: コントロール／ソートレベルはすでに使用されています。

テキスト	コントロール / ソートレベルはすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2086: フィールドはテキストフィールドでない可能性があります。

テキスト	フィールドはテキストフィールドでない可能性があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2087: 番号はすでに表示フィールドに使用されています。

テキスト	番号はすでに表示フィールドに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2088: フィールドの機能が正しくありません。

テキスト	フィールドの機能が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2089: コントロール／ソートフィールドでない可能性があります。

テキスト	コントロール / ソートフィールドでない可能性があります。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2090: フィールドが数値ではありません。

テキスト	フィールドが数値ではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2091: #NAME?

テキスト	'=' フィールドはすでに計算に使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2092: フィールドは表示フィールドでない可能性があります。

テキスト	フィールドは表示フィールドでない可能性があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2093: フィールドはルックアップに使用できません。

テキスト	フィールドはルックアップに使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2094: ソート／コントロールの指定が正しくありません。

テキスト	ソート / コントロールの指定が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2095: ルックアップキーには **1** つのフィールドのみを指定できます。

テキスト	ルックアップキーには 1 つのフィールドのみを指定できます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2096: フィールドがキーフィールドではありません。

テキスト	フィールドがキーフィールドではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2097: このフィールドはキーとしてのみ使用できます。

テキスト	このフィールドはキーとしてのみ使用できます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2098: フィールドマークは **D** または **K** でなければいけません。

テキスト	フィールドマークは D または K でなければいけません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2099: スーパーファイルはルックアップファイルとして使用できません。

テキスト	スーパーファイルはルックアップファイルとして使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2100: コントロールの指定が正しくありません。

テキスト	コントロールの指定が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

42 Natural システムエラーメッセージ 2101～2150

NAT2101: 表示の指定が正しくありません。

テキスト	表示の指定が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2102: Y、**N**、または空白（デフォルト）でなければいけません。

テキスト	Y、N、または空白 (デフォルト) でなければいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2103: 小数点以下の桁数は **0** から **7** の範囲でなければなりません。

テキスト	小数点以下の桁数は 0 から 7 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2104: 長さ **+** 小数点以下の桁数は **1** から **27** の範囲でなければなりません。

テキスト	長さ + 小数点以下の桁数は 1 から 27 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2105: ヘッダー行に '/' は使用できません。

テキスト	ヘッダー行に '/' は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2106: 編集マスクが正しくありません。

テキスト	編集マスクが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2107: FLOAT と **LEADING** のどちらか **1** つのみを入力できます。

テキスト	FLOAT と LEADING のどちらか 1 つのみを入力できます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2108: オカレンスは **1** から **191** の範囲でなければなりません。

テキスト	オカレンスは 1 から 191 の範囲でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2109: オカレンスが不正です。マルチプルバリューフィールドではありません。

テキスト	オカレンスが不正です。マルチプルバリューフィールドではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2110: オカレンスが不正です。**2** レベルのマルチプルバリューフィールドではありません。

テキスト	オカレンスが不正です。2 レベルのマルチプルバリューフィールドではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2111: 最初のオカレンスなしで **2** 番目のオカレンスを入力することはできません。

テキスト	最初のオカレンスなしで 2 番目のオカレンスを入力することはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2112: 長さは **1** から **79** の範囲でなければなりません。

テキスト	長さは 1 から 79 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2113: オカレンスが正しい範囲にありません。

テキスト	オカレンスが正しい範囲にありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2114: グループフィールドはテキストフィールドとして表示できません。

テキスト	グループフィールドはテキストフィールドとして表示できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2115: オカレンスが不正です。ピリオディックグループではありません。

テキスト	オカレンスが不正です。ピリオディックグループではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2116: 応答が不正です。再入力してください。

テキスト	応答が不正です。再入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2117: フォーマットは **A**、**N**、または **P** でなければなりません。

テキスト	フォーマットは A、N、または P でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2118: フォーマットを変更してはいけません。

テキスト	フォーマットを変更してはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2119: コントロールフィールドにテキストを表示することはできません。

テキスト	コントロールフィールドにテキストを表示することはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2120: 名前または値に空白を埋め込むことはできません。

テキスト	名前または値に空白を埋め込むことはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2121: 名前が正しくありません。

テキスト	名前が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2122: 値は **18** 文字を超えることはできません。

テキスト	値は 18 文字を超えることはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2123: 値に整数部が多すぎます。

テキスト	値に整数部が多すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2124: 値に小数部が多すぎます。

テキスト	値に小数部が多すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2125: 長さは **20** を超えることができません。

テキスト	長さは 20 を超えることができません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2126: 長さは **249** を超えることができません。

テキスト	長さは 249 を超えることができません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2127: 小数部はゼロでなければなりません。

テキスト	小数部はゼロでなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2128: 長さと小数部を両方ともゼロにすることはできません。

テキスト	長さと小数部を両方ともゼロにすることはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2129: 長さとオフセットの合計がベースフィールド長を超えています。

テキスト	長さとオフセットの合計がベースフィールド長を超えています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2130: 出力長は長さを超えることができません。

テキスト	出力長は長さを超えることができません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2131: 制限を超えました。

テキスト	制限を超えました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2132: Y または **N** である必要があります。

テキスト	Y または N である必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2133: オカレンスは **1** から **99** の範囲でなければなりません。

テキスト	オカレンスは 1 から 99 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2134: 1 から **5** の範囲でなければなりません。

テキスト	1 から 5 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2135: P または **1** から **5** でなければなりません。

テキスト	P または 1 から 5 でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2136: 12 未満にはできません。

テキスト	12 未満にはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2137: 80 から **250** の範囲でなければなりません。

テキスト	80 から 250 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2138: トランザクションはこれ以上許されません。

テキスト	トランザクションはこれ以上許されません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2139: 自由フォーマットのトラザクションは固定フォーマットモードでは修正できせん。

テキスト	自由フォーマットのトラザクションは固定フォーマットモードでは修正できせん。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2140: IF 条件が入力されていません。

テキスト	IF 条件が入力されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2141: IF 条件が不完全です。

テキスト	IF 条件が不完全です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2142: フィールドフォーマットの混合は許されません。

テキスト	フィールドフォーマットの混合は許されません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2143: リンクファイル間に **OR** は許されません。

テキスト	リンクファイル間に OR は許されません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2144: 不明エラーです。

テキスト	不明エラーです。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2145: NATTAB にエラーがあります。

テキスト	NATTAB にエラーがあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2146: NATDDR にエラーがあります。

テキスト	NATDDR にエラーがあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2147: システムファイルレコードが必要ですが、見当たりません。

テキスト	システムファイルレコードが必要ですが、見当たりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2148: プログラム生成中に選択エラーが見つかりました。

テキスト	プログラム生成中に選択エラーが見つかりました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2149: プログラム生成中に計算エラーが見つかりました。

テキスト	プログラム生成中に計算エラーが見つかりました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2150: エレメンタリフィールドでなければなりません。

テキスト	エレメンタリフィールドでなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

43 Natural システムエラーメッセージ 2151～2200

NAT2151: エレメンタリ数値フィールドでなければなりません。

テキスト	エレメンタリ数値フィールドでなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2152: システム関数の指示が正しくありません。

テキスト	システム関数の指示が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2153: 非数値フィールドに範囲は使用できません。

テキスト	非数値フィールドに範囲は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2154: 1 つのグラフィックタイプをマークしてください。

テキスト	1 つのグラフィックタイプをマークしてください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2155: P、**H**、**Q**、または **S** でなければなりません。

テキスト	P、H、Q、または S でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2156: B、**M**、**T**、または空白でなければなりません。

テキスト	B、M、T、または空白でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2157: PAGE グラフでは空白でなければなりません。

テキスト	PAGE グラフでは空白でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2158: L、**C**、**R**、または空白でなければなりません。

テキスト	L、C、R、または空白でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2159: B/M/T と **L/C/R** を両方とも入力しないでください。

テキスト	B/M/T と L/C/R を両方とも入力しないでください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2160: B、**M**、または **T** でなければなりません。

テキスト	B、M、または T でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2161: L、**C**、または **R** でなければなりません。

テキスト	L、C、または R でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2162: オーバーレイのグラフではありません。

テキスト	オーバーレイのグラフではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2163: B、**T**、または **N** でなければなりません。

テキスト	B、T、または N でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2164: 値が正しくありません。

テキスト	値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2165: L、**R**、または **N** でなければなりません。

テキスト	L、R、または N でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2166: LINE グラフまたは **SURFACE** グラフにのみ有効です。

テキスト	LINE グラフまたは SURFACE グラフにのみ有効です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2167: FROM と **TO** 両方の値を入力するか、またはどちらの値も入力しない必要があります。

テキスト	FROM と TO 両方の値を入力するか、またはどちらの値も入力しない必要があります。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2168: FROM の値は **TO** の値より小さくなければなりません。

テキスト	FROM の値は TO の値より小さくなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2169: ワークフィールド／ルックアップフィールドは許されません。

テキスト	ワークフィールド / ルックアップフィールドは許されません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2170: フィールドはプライマリファイルに格納されている必要があります。

テキスト	フィールドはプライマリファイルに格納されている必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2171: 範囲が指定されていません。

テキスト	範囲が指定されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2172: ページ幅を超えました。

テキスト	ページ幅を超えました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2173: CHARACTERS と **INCREMENT** を両方とも指定しないでください。

テキスト	CHARACTERS と INCREMENT を両方とも指定しないでください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2174: CHARACTERS の値が正しくありません。

テキスト	CHARACTERS の値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2175: 非数値フィールドに増分は使用できません。

テキスト	非数値フィールドに増分は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2176: 増分値が正しくありません。

テキスト	増分値が正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2177: 範囲がオーバーラップしています。

テキスト	範囲がオーバーラップしています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2178: 範囲の開始値が正しくありません。

テキスト	範囲の開始値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2179: 範囲の終了値が正しくありません。

テキスト	範囲の終了値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2180: 終了値が開始値の前にあってはいけません。

テキスト	終了値が開始値の前にあってはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2181: 少なくとも **1** つのシステム関数を選択してください。

テキスト	少なくとも 1 つのシステム関数を選択してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2182: 名前または参照を入力しなければなりません。

テキスト	名前または参照を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2183: O、**B**、**E**、または **P** でなければなりません。

テキスト	O、B、E、または P でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2184: モードは指定できません。

テキスト	モードは指定できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2185: 1 から **32** の範囲でなければなりません。

テキスト	1 から 32 の範囲でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2186: D、**T**、**G**、**I**、または **W** でなければなりません。

テキスト	D、T、G、I、または W でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2187: この指定に対し権限がありません。

テキスト	この指定に対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2188: 実行モードと指定が矛盾しています。

テキスト	実行モードと指定が矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2189: 指定がバッチ使用で許されていません。

テキスト	指定がバッチ使用で許されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2190: 指定がオンライン使用で許されていません。

テキスト	指定がオンライン使用で許されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2191: 演算子が正しくありません。

テキスト	演算子が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2192: 値が指定されていません。

テキスト	値が指定されていません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT2193: BT または **OU** には **2** つの値が必要です。

テキスト	BT または OU には 2 つの値が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2194: 1 つの値のみが使用できます。

テキスト	1 つの値のみが使用できます。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2195: 値が長すぎます。

テキスト	値が長すぎます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2196: ソートレベルはすでに使用されています。

テキスト	ソートレベルはすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2197: ソートフィールドでない可能性があります。

テキスト	ソートフィールドでない可能性があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2198: フォネティックキーは使用できません。

テキスト	フォネティックキーは使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2199: グループフィールドは縦表示に使用しないでください。

テキスト	グループフィールドは縦表示に使用しないでください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2200: ヘルプページが指定されていません。再試行してください。

テキスト	ヘルプページが指定されていません。再試行してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

44 Natural システムエラーメッセージ 2201～2250

NAT2201: 選択が不正です。再試行してください。

テキスト	選択が不正です。再試行してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2202: 接頭辞を入力しなければなりません。

テキスト	接頭辞を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2203: ライブラリ **ID** を入力しなければなりません。

テキスト	ライブラリ ID を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2204: TO は **FROM** と同じにはできません。

テキスト	TO は FROM と同じにはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2205: オブジェクトがオーバーフローしました。コピー機能を続けられません。

テキスト	オブジェクトがオーバーフローしました。コピー機能を続けられません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2206: 指定された条件に合致するトランザクションが見つかりません。

テキスト	指定された条件に合致するトランザクションが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2207: 行番号が正しくありません。

テキスト	行番号が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2208: ONLINE または **BATCH** を許可する必要があります。

テキスト	ONLINE または BATCH を許可する必要があります。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2209: O、**B**、または空白（デフォルト）でなければなりません。

テキスト	O、B、または空白 (デフォルト) でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2210: 1 から **191** の範囲にあるか、またはゼロ（デフォルト）でなければなりません。

テキスト	1 から 191 の範囲にあるか、またはゼロ (デフォルト) でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2211: 1 から **99** の範囲にあるか、またはゼロ（デフォルト）でなければなりません。

テキスト	1 から 99 の範囲にあるか、またはゼロ (デフォルト) でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2212: ユーザーが見つかりません。

テキスト	ユーザーが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2213: 1 から **31** の範囲でなければなりません。

テキスト	1 から 31 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2214: ヘルプ **ID** が必要です。

テキスト	ヘルプ ID が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2215: ID フォーマットが正しくありません。

テキスト	ID フォーマットが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2216: 記述が必要です。

テキスト	記述が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2217: 指定しなければなりません。

テキスト	指定しなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2218: プライベートライブラリの接頭辞と同じにはできません。

テキスト	プライベートライブラリの接頭辞と同じにはできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2219: Y、**N**、**O**、または **B** でなければなりません。

テキスト	Y、N、O、または B でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2220: O または **B** でなければなりません。

テキスト	O または B でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2221: E、**A**、**G**、**I**、または **N** でなければなりません。

テキスト	E、A、G、I、または N でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2222: コピーが失敗しました。**Enter** キーを押して、再試行してください。

テキスト	コピーが失敗しました。Enter キーを押して、再試行してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2223: ファイルが見つかりません。

テキスト	ファイルが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2224: オブジェクトが正しくありません。

テキスト	オブジェクトが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2225: 選択したオブジェクトに対してこの機能は利用できません。

テキスト	選択したオブジェクトに対してこの機能は利用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2226: オブジェクト名／**ID** が必要です。

テキスト	オブジェクト名 / ID が必要です。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2227: ユーザー**ID** は **7** 文字を超えてはいけません。

テキスト	ユーザーID は 7 文字を超えてはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2228: ユーザーはすでに存在しています。

テキスト	ユーザーはすでに存在しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2229: ファイルはすでに存在しています。

テキスト	ファイルはすでに存在しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2230: ファイルが **Natural Security** で定義されていません。

テキスト	ファイルが Natural Security で定義されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2231: 番号はすでに使用されています。

テキスト	番号はすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2232: ID は **9** 文字を超えてはいけません。

テキスト	ID は 9 文字を超えてはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2233: ID はすでに存在しています。

テキスト	ID はすでに存在しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2234: ID が見つかりません。

テキスト	ID が見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2235: この機能はスーパーファイルには使用できません。

テキスト	この機能はスーパーファイルには使用できません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2236: この機能はトランザクションには使用できません。

テキスト	この機能はトランザクションには使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2237: 1 から **9** の範囲でなければなりません。

テキスト	1 から 9 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2238: *- 文字は変更してはいけません。

テキスト	*- 文字は変更してはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2239: レコードタイプフォーマットを入力しなければなりません。

テキスト	レコードタイプフォーマットを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2240: フォーマットが正しくありません。

テキスト	フォーマットが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2241: レコードタイプ長を入力しなければなりません。

テキスト	レコードタイプ長を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2242: レコードタイプ値を入力しなければなりません。

テキスト	レコードタイプ値を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2243: 値は数値でなければなりません。

テキスト	値は数値でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2244: 値が長すぎます。

テキスト	値が長すぎます。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2245: サブフィールドオフセットを入力しなければなりません。

テキスト	サブフィールドオフセットを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2246: サブフィールドフォーマットを入力しなければなりません。

テキスト	サブフィールドフォーマットを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2247: レコードタイプがサブフィールドより優先されます。

テキスト	レコードタイプがサブフィールドより優先されます。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2248: 出口ライブラリを入力しなければなりません。

テキスト	出口ライブラリを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2249: 出口プログラムを入力しなければなりません。

テキスト	出口プログラムを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2250: 出口ロケーションを入力しなければなりません。

テキスト	出口ロケーションを入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

45 Natural システムエラーメッセージ 2251〜2300

NAT2251: 出口ロケーションが **1** から **5** の範囲にありません。

テキスト	出口ロケーションが 1 から 5 の範囲にありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2252: 選択条件を入力しなければなりません。

テキスト	選択条件を入力しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2253: 続行するには **PF** キーを使用してください。

テキスト	続行するには PF キーを使用してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2254: 変更できません。**B** のままにしてください。

テキスト	変更できません。B のままにしてください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2255: 空白（何もしない）、**'B'**（前）、または **'A'**（後）にしなければなりません。

テキスト	空白（何もしない）、'B'（前）、または 'A'（後）にしなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2256: プライマリフィールドと同名のフィールドがセカンダリファイルにありません。

テキスト	プライマリフィールドと同名のフィールドがセカンダリファイルにありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2257: モードが正しくありません。

テキスト	モードが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2258: 0 から **254** の範囲でなければなりません。

テキスト	0 から 254 の範囲でなければなりません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2259: 0 から **255** の範囲でなければなりません。

テキスト	0 から 255 の範囲でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2260: トランザクションタイプと指定が矛盾しています。

テキスト	トランザクションタイプと指定が矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2261: レポートタイプとレポートレベルが矛盾しています。

テキスト	レポートタイプとレポートレベルが矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2262: 選択モードと実行モードが矛盾しています。

テキスト	選択モードと実行モードが矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2263: 変更モードと実行モードが矛盾しています。

テキスト	変更モードと実行モードが矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2264: トランザクションタイプと実行モードが矛盾しています。

テキスト	トランザクションタイプと実行モードが矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2265: 実行モードとレポートタイプが矛盾しています。

テキスト	実行モードとレポートタイプが矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2266: 実行モードと指定が矛盾しています。

テキスト	実行モードと指定が矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2267: 変更モードと指定が矛盾しています。

テキスト	変更モードと指定が矛盾しています。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2268: レポートタイプと指定が矛盾しています。

テキスト	レポートタイプと指定が矛盾しています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2269: モード変更はできません。

テキスト	モード変更はできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2270: このトランザクションタイプに対し権限がありません。

テキスト	このトランザクションタイプに対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2271: このトランザクション選択モードに対し権限がありません。

テキスト	このトランザクション選択モードに対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2272: このトランザクション変更モードに対し権限がありません。

テキスト	このトランザクション変更モードに対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2274: このトランザクションの指定に対し権限がありません。

テキスト	このトランザクションの指定に対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2275: このトランザクションのレポートレベルに対し権限がありません。

テキスト	このトランザクションのレポートレベルに対し権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2276: オンライントランザクションを使用する権限がありません。

テキスト	オンライントランザクションを使用する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2277: バッチトランザクションに対し権限がありません。

テキスト	バッチトランザクションに対し権限がありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2278: これは固定フォーマットモードのトランザクションではありません。

テキスト	これは固定フォーマットモードのトランザクションではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2279: バッチトランザクションを実行する権限がありません。

テキスト	バッチトランザクションを実行する権限がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2280: この割り当て内で使用できるユーザーファイルがありません。

テキスト	この割り当て内で使用できるユーザーファイルがありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2281: ユーザーファイル番号が最大割り当てより大きくなっています。

テキスト	ユーザーファイル番号が最大割り当てより大きくなっています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2282: ユーザーファイルがすでに使用されています。

テキスト	ユーザーファイルがすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2283: ユーザーファイルが存在しません。

テキスト	ユーザーファイルが存在しません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2284: ファイル名が必要です。

テキスト	ファイル名が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2285: ファイル番号またはファイル名が必要です。

テキスト	ファイル番号またはファイル名が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2286: ファイル名がユニークではありません。

テキスト	ファイル名がユニークではありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2287: 使用中のユーザーファイルがありません。

テキスト	使用中のユーザーファイルがありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2288: ファイル名フォーマットが正しくありません。

テキスト	ファイル名フォーマットが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2289: 有効期限に達したため、ファイルにアクセスできません。

テキスト	有効期限に達したため、ファイルにアクセスできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2290: シーケンス番号がすでに使用されています。

テキスト	シーケンス番号がすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2291: データ変更のためにフィールドを選択できません。

テキスト	データ変更のためにフィールドを選択できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2292: シーケンス番号が正しくありません。

テキスト	シーケンス番号が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2293: シーケンス番号がすでに使用されています。

テキスト	シーケンス番号がすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2294: 抽出のためにフィールドを選択できません。

テキスト	抽出のためにフィールドを選択できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2295: レポートレベルと指定が矛盾しています。

テキスト	レポートレベルと指定が矛盾しています。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2296: オプションコードが正しくありません。

テキスト	オプションコードが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2297: フィールドはキーにできません。

テキスト	フィールドはキーにできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2298: このトランザクションタイプにはルックアップを使用できません。

テキスト	このトランザクションタイプにはルックアップを使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2299: 要求された機能が実行されました。

テキスト	要求された機能が実行されました。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2300: D でなければなりません。

テキスト	D でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

46 Natural システムエラーメッセージ 2301～2350

NAT2301: フィールド名に空白文字は使用できません。

テキスト	フィールド名に空白文字は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2302: フィールド名に不正な文字があります。

テキスト	フィールド名に不正な文字があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2303: フォーマットを指定しなければなりません。

テキスト	フォーマットを指定しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2304: 長さを指定しなければなりません。

テキスト	長さを指定しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2305: 名前なしでフォーマットを指定できません。

テキスト	名前なしでフォーマットを指定できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2306: 長さなしでフォーマットを指定できません。

テキスト	長さなしでフォーマットを指定できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2307: フォーマットコードが正しくありません。

テキスト	フォーマットコードが正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2308: 長さの指定が正しくありません。

テキスト	長さの指定が正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2309: 英数字フィールドの最大長は **253** です。

テキスト	英数字フィールドの最大長は 253 です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2310: 英数字フィールドに小数は使用できません。

テキスト	英数字フィールドに小数は使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2311: 整数の最大長は **20** です。

テキスト	整数の最大長は 20 です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2312: 小数の最大桁数は **7** です。

テキスト	小数の最大桁数は 7 です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2313: シーケンス番号を指定しなければなりません。

テキスト	シーケンス番号を指定しなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2314: シーケンス番号がすでに使用されています。

テキスト	シーケンス番号がすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2315: ライブラリ **ID** が正しくありません。

テキスト	ライブラリ ID が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2316: プログラム **ID** が正しくありません。

テキスト	プログラム ID が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2317: 出口ロケーションコードが正しくありません。

テキスト	出口ロケーションコードが正しくありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2318: 行は挿入できません。

テキスト	行は挿入できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2319: R でなければなりません。

テキスト	R でなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2320: フィールドが存在しません。

テキスト	フィールドが存在しません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2321: フィールドはプライマリファイルではありません。

テキスト	フィールドはプライマリファイルではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2322: フィールドはリンクフィールドとして使用できません。

テキスト	フィールドはリンクフィールドとして使用できません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2323: フィールドはセカンダリファイルにありません。

テキスト	フィールドはセカンダリファイルにありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2324: セカンダリファイルのリンクフィールドはキーフィールドでなければなりません。

テキスト	セカンダリファイルのリンクフィールドはキーフィールドでなければなりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2325: サブフィールド長がこのファイルに許可されている長さより短くなっています。

テキスト	サブフィールド長がこのファイルに許可されている長さより短くなっています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2326: セカンダリフィールドがプライマリフィールドより短くなっています。

テキスト	セカンダリフィールドがプライマリフィールドより短くなっています。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2327: 名前の長さは **3** 以上にしてください。

テキスト	名前の長さは 3 以上にしてください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2328: フィールド行でフィールドの追加または削除はできません。

テキスト	フィールド行でフィールドの追加または削除はできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2329: キー以外のマルチプルバリュー／ピリオディックフィールドにはインデックスが必要です。

テキスト	キー以外のマルチプルバリュー / ピリオディックフィールドにはインデックスが必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2330: いずれかのオプションを入力してください。

テキスト	いずれかのオプションを入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2331: 現在の選択モードでは選択条件がありません。

テキスト	現在の選択モードでは選択条件がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2332: フィールドが選択されていません。

テキスト	フィールドが選択されていません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT2333: 現在のトランザクションはデータ変更を持っていません。

テキスト	現在のトランザクションは変更データを持っていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2334: 出力フィールドが選択されていません。

テキスト	出力フィールドが選択されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2335: 現在のトランザクションは抽出タイプではありません。

テキスト	現在のトランザクションは抽出タイプではありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2336: モード変更はできません。

テキスト	モード変更はできません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2337: 現在のトランザクションモードに適切なコマンドではありません。

テキスト	現在のトランザクションモードに適切なコマンドではありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2338: REPORT EDITOR では縦フィールドは許可されていません。

テキスト	REPORT EDITOR では縦フィールドは許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2340: ACCEPT/REJECT は **FLATTENING BEFORE** と一緒に使えません。**Log. Stmt.:**

テキスト	ACCEPT/REJECT は FLATTENING BEFORE と一緒に使えません。Log. Stmt.:
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2341: キーシーケンス番号はすでに使用されています。

テキスト	キーシーケンス番号はすでに使用されています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2342: キー参照なしで開始値を入力しないでください。

テキスト	キー参照なしで開始値を入力しないでください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2343: キー参照なしで終了値を入力しないでください。

テキスト	キー参照なしで終了値を入力しないでください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2344: フィールド参照が正しくありません。

テキスト	フィールド参照が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2345: フィールドがキーではありません。

テキスト	フィールドがキーではありません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2346: READ BY KEY はこのフィールドには許可されていません。

テキスト	READ BY KEY はこのフィールドには許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2347: 終了値はこのキーには許可されていません。

テキスト	終了値はこのキーには許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2348: このキーでは開始値は数値である必要があります。

テキスト	このキーでは開始値は数値である必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2349: このキーでは終了値は数値である必要があります。

テキスト	このキーでは終了値は数値である必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2350: 開始値がフィールド長より大きくなっています。

テキスト	開始値がフィールド長より大きくなっています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

47 Natural システムエラーメッセージ 2351～2400

NAT2351: 終了値がフィールド長より大きくなっています。

テキスト	終了値がフィールド長より大きくなっています。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2352: 終了値が開始値より小さくてはいけません。

テキスト	終了値が開始値より小さくてはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2353: 開始値が正しくありません。

テキスト	開始値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2354: 終了値が正しくありません。

テキスト	終了値が正しくありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2355: .

テキスト	
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2357: COUNT には最低 **6** 文字の長さの編集マスクが必要です。

テキスト	COUNT には最低 6 文字の長さの編集マスクが必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2358: COUNT には最低 **6** 文字の出力長が必要です。

テキスト	COUNT には最低 6 文字の出力長が必要です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2359: レポートレベル **SUMMARY** に制御フィールドが指定されていません。

テキスト	レポートレベル SUMMARY に制御フィールドが指定されていません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2360: 選択条件の行のエラーです。

テキスト	選択条件の行のエラーです。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2361: 選択条件のエラーです。

テキスト	選択条件のエラーです。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2362: 選択条件が不完全です。

テキスト	選択条件が不完全です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2363: 選択条件が入力されていません。

テキスト	選択条件が入力されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2364: 選択条件を満たすためにファイル全体を読み込む必要があります。

テキスト	選択条件を満たすためにファイル全体を読み込む必要があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2365: これは許可されていません。

テキスト	これは許可されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2366: 計算行にエラーがあります。

テキスト	計算行にエラーがあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2367: 計算が不完全です。

テキスト	計算が不完全です。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2368: 論理ステートメント番号にエラーがあります。

テキスト	論理ステートメント番号にエラーがあります。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2369: レポート指定にエラーがあります。ページ**:**

テキスト	レポート指定にエラーがあります。ページ：
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2370: フィールド指定にエラーがあります。ページ**:**

テキスト	フィールド指定にエラーがあります。ページ：
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2371: データ変更の指定にエラーがあります。ページ**:**

テキスト	データ変更の指定にエラーがあります。ページ：
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2372: 抽出指定にエラーがあります。ページ**:**

テキスト	抽出指定にエラーがあります。ページ：
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2373: コントロールブレーク出力のシステム関数（**SUM** など）がありません。

テキスト	コントロールブレーク出力のシステム関数 (SUM など) がありません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2374: 表形式のレポートの指定にエラーがあります。

テキスト	表形式のレポートの指定にエラーがあります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2375: GRAPH レポートタイプが選択されましたが、グラフが指定されていません。

テキスト	GRAPH レポートタイプが選択されましたが、グラフが指定されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2376: グラフ定義のエラーがあります。グラフ番号**:**

テキスト	グラフ定義のエラーがあります。グラフ番号 :
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2377: 入力フィールドのエラーがあります。ページ**:**

テキスト	入力フィールドのエラーがあります。ページ :

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2378: エラー数 =

テキスト	エラー数 =
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2379: 最大レコード数の制限**:**

テキスト	最大レコード数の制限：
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2380: 表形式のレポートタイプが指定されましたが、データが指定されていません。

テキスト	表形式のレポートタイプが指定されましたが、データが指定されていません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2381: .

テキスト	
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2382: .

テキスト	
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2385: ユーザーファイルディレクトリレコードが見つかりません。

テキスト	ユーザーファイルディレクトリレコードが見つかりません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2386: CMDDP エラー。

テキスト	CMDDP エラー。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2388: フィールドはキーであってはいけません。

テキスト	フィールドはキーであってはいけません。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2389: これ以上のフィールドは許可されていません。

テキスト	これ以上のフィールドは許可されていません。

説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2390: トランザクションタイプと変更モードに矛盾があります。

テキスト	トランザクションタイプと変更モードに矛盾があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2391: 選択モードと指定に矛盾があります。

テキスト	選択モードと指定に矛盾があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2392: 変更モードとレポートタイプに矛盾があります。

テキスト	変更モードとレポートタイプに矛盾があります。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2400: 処理 **:1:** が中断されました。

テキスト	処理 :1: が中断されました。
説明	PF キーによって最後の処理の実行が中止されました。
対処	

48 Natural システムエラーメッセージ 2401～2450

NAT2401: 処理 **:1:** は正常に終了しました。

テキスト	処理 :1: は正常に終了しました。
説明	
対処	

NAT2402: この選択ではクロスリファレンスデータは使用できません。

テキスト	この選択ではクロスリファレンスデータは使用できません。
説明	
対処	

NAT2403: 参照するプログラムのタイプと呼び出しモードが一致しません。

テキスト	参照するプログラムのタイプと呼び出しモードが一致しません。
説明	正しい組み合せは次のとおりです。 Natural プログラム：FETCH、RUN、STACK、FETCH RETURN サブプログラム：CALLNAT サブルーチン：PERFORM ヘルプルーチン：HELP マップ：MAP 外部プログラム：CALL エキスパートモデル：INVESTIGATE

対処	

NAT2404: プログラム **:1:**（タイプ **:2:**）が見つかりません。

テキスト	プログラム :1:（タイプ :2:）が見つかりません。
説明	
対処	

NAT2405: 正しい値 **:1:** を指定してください。

テキスト	正しい値 :1: を指定してください。
説明	
対処	

NAT2406: データベース上のエラーです。 **Adabas** レスポンスコード **:1:**。

テキスト	データベース上のエラーです。 リターンコード =:1:。
説明	Adabas レスポンスコードを受け取りました。
対処	

NAT2407: プログラムタイプとデータエリアタイプが一致しません。

テキスト	プログラムタイプとデータエリアタイプが一致しません。
説明	パラメータデータエリアはサブプログラムでのみ使用できます。
対処	

NAT2408: データエリア **:1:**（タイプ **:2:**）が見つかりません。

テキスト	データエリア :1:（タイプ :2:）が見つかりません。
説明	
対処	

NAT2409: :1:::2: に有効な値。

テキスト	:1:::2: に有効な値。
説明	
対処	

NAT2410: 警告**::1::2:**。

テキスト	警告：:1::2:。
説明	内部エラーまたは内部制限のために、 機能が完全には実行されませんでした。
対処	

NAT2411: :1: の処理中に内部テーブルがオーバーフローしました。

テキスト	:1: の処理中に内部テーブルがオーバーフローしました。
説明	次の 2 つの異なる状況でこのメッセージが表示されます。 1.'list programs not referenced starting from one program'（1 つのプログラムから参照されていないプログラムをリスト）機能には、 処理できるオブジェクト数に関していくつかの制限があります。 メッセージに、関連する検索オブジェクトが表示されています。 2.'operate on sets'（セットでの演算）機能では、UNION（和）や INTERSECTION（積）などの任意の演算の結果が 9999 レコード（約 600000 メンバ）を超えることはできません。

対処	

NAT2412: ソートスペースが不足しています。 検索を制限します。 オブジェクト**::2:**。

テキスト	ソートスペースが不足しています。 検索を制限します。 オブジェクト：:1:。
説明	内部ソートのスペースが不足しているため、 出力が完全にソートされません。 メッセージに、関連する検索オブジェクトが表示されています。
対処	

NAT2413: :1: が見つかりません。

テキスト	:1: が見つかりません。
説明	
対処	

NAT2414: コマンド行に構文エラーがあります。

テキスト	コマンド行に構文エラーがあります。
説明	コマンド行に入力された文字列が、 正しい LIST XREF コマンドではありません。
対処	

NAT2415: この機能はライブラリ **:1:** では使用できません。

テキスト	この機能はライブラリ :1: では使用できません。
説明	この機能は、Natural ライブラリのみで使用できます。
対処	

NAT2416: レポートを選択してください。

テキスト	レポートを選択してください。
説明	この機能では、少なくとも 1 つのレポートを選択する必要があります。
対処	レポートを選択してください。

NAT2417: PF キーはすでに割り当てられています。

テキスト	PF キーはすでに割り当てられています。
説明	この PF キーは、すでに他の機能に割り当てられています。
対処	この機能には別の PF キーを割り当ててください。

NAT2418: PF キーはすでに **'PF**キー表示' 機能に割り当てられています。

テキスト	PF キーはすでに 'PFキー表示' 機能に割り当てられています。
説明	PF キーはすでに 'PF キー表示' 機能に割り当てられています。 'PF キー表示' 機能が 1 つの PF キーに割り当てられると、 他のレベルの対応する PF キーに自動的に割り当てられます。
対処	他の PF キーを選択してください。

NAT2419: このコマンドはオンラインモードでは使用できません。

テキスト	このコマンドはオンラインモードでは使用できません。
説明	選択したそのコマンドは、バッチモードでのみ使用できます。
対処	

NAT2420: 有効な値は、***SYSCOB***、***SYSBAL***、***SYSPLI***、および ***SYSFOR*** です。

テキスト	有効な値は、*SYSCOB*、*SYSBAL*、*SYSPLI*、および *SYSFOR* です。
説明	ライブラリ名が正しくありません。
対処	正しい値を入力します。

NAT2421: プロファイル **:1:** が更新されました。

テキスト	プロファイル :1: が更新されました。
説明	機能 'プロファイルの更新' が正常に終了しました。
対処	

NAT2422: 更新したプロファイルはこのセッションでのみ有効です。

テキスト	更新したプロファイルはこのセッションでのみ有効です。
説明	ユーザーが Predict に定義されていないので、 更新したユーザープロファイルは このセッションでのみ有効となります。
対処	Predict でユーザー ID を定義するよう、データディクショナリ管理者に依頼します。

NAT2423: プロファイルは名前 **:1:** で保存されました。

テキスト	プロファイルは名前 :1: で保存されました。
説明	更新したプロファイルはこの名前で Predict に保存されました。
対処	

NAT2424: ヘルプ情報が表示されました。

テキスト	ヘルプ情報が表示されました。

説明	ヘルプシステムが使用されました。
対処	

NAT2425: 機能 **:1:** がエラーで終了しました。

テキスト	機能 :1: がエラーで終了しました。
説明	機能の実行がエラーで終了しました。
対処	エラーをチェックした後、機能を再実行してください。

NAT2426: 名前が **:1:** のプロファイルが見つかりません。

テキスト	名前が :1: のプロファイルが見つかりません。
説明	選択したプロファイルが、Predict で見つかりません。
対処	別のプロファイルを選択してください。

NAT2427: 入力されたコマンが不明瞭です。

テキスト	入力されたコマンが不明瞭です。
説明	入力されたコマンドが、コマンドプロセッサによって一意に識別できませんでした。
対処	コマンドを修正してください。

NAT2428: アクティブなライブラリ構造**::1:**。

テキスト	アクティブなライブラリ構造：:1:。
説明	このメッセージは、ユーザーの LIST XREF プロファイル、またはデフォルトのプロファイルに設定されている現在アクティブなライブラリ構造を知らせるために表示されます。

対処	

NAT2429: :1: セットは **:2:** でマークされています。

テキスト	:1: セットは :2: でマークされています。
説明	リストされた数のセットは、リストされた処理でマークされています。
対処	処理を完了するには、すでに 'Y' または 'X' でマークされているセットの場合、'X' または 'Y' で 2 番目をマークしてください。 あるいは、'U' または 'I' でマークされている 2 つ以上のセットでは、 対応する PF キーでアクションを確認してください。

NAT2430: この機能では起動プログラム名を指定する必要があります。

テキスト	起動プログラム名を指定する必要があります。
説明	この機能では、 指定されたプログラムで開始するプログラムの参照 / 実装をチェックします。
対処	プログラム名を指定してください。

NAT2432: セットは保存されません。 エディタ **:1:** のエラーです。

テキスト	セットは保存されません。 エディタのエラー。
説明	Natural エディタの操作で内部エラーが発生しました。 セットを保存できませんでした。
対処	

NAT2434: 結果のセットが空です。

テキスト	結果のセットが空です。
説明	実行した演算の結果が空でした。 セットは Predict に保存されませんでした。

対処	

NAT2435: セット番号 **:1:** は保存されました。

テキスト	セットは保存されました。
説明	実行した機能の結果が Predict に保存されたので、後の演算に使用できます。
対処	

NAT2436: 演算は正常に終了しました。

テキスト	演算は正常に終了しました。
説明	
対処	

NAT2437: ユーザーが **Predict** に定義されていません。 セットは保存できません。

テキスト	このオプションでは、ユーザーが Predict で定義されている必要があります。
説明	LIST XREF 機能の実行結果を Predict に保存しようとしました。 この操作は、ユーザー ID が Predict に定義されていないと実行できません。
対処	Predict でユーザー ID を定義するよう、データディクショナリ管理者に依頼します。

NAT2438: 最大数のセットが存在します。 新しいセットを作成できません。

テキスト	最大数のセットが存在します。 新しいセットを作成できません。
説明	Predict バージョン 4.4.1 以降では、ユーザーとアプリケーションごとに同時に存在できるセット数は最大 99 までです。 4.4.1 より前のバージョンの Predict では、ユーザーとアプリケーションごとに同時に存在できるセット数は 最大 12 までです。

対処	不要となったセットを削除してください。

NAT2439: この処理で * 記号は使用できません。

テキスト	この処理で * 記号は使用できません。
説明	
対処	完全なプログラム名を入力してください。

NAT2440: :1: キーワードが定義されていません。

テキスト	キーワードが定義されていません。
説明	キーワードは他のディクショナリのオブジェクトに 割り当てる前に、ディクショナリに定義しておく必要があります。
対処	正しいキーワードを入力してください。または、キーワードを Predict に定義してください。

NAT2441: オブジェクト **:1:** が正しくありません。

テキスト	オブジェクトが無効です。
説明	存在しないオブジェクトタイプを参照しようとしました。
対処	正しいオブジェクトタイプを入力します。

NAT2442: マップエディタではフリーステータスの整合性チェックのみが許可されています。

テキスト	マップエディタではフリーステータスの整合性チェックのみが許可されています。
説明	フリー 以外のステータス整合性チェックを定義しようとしました。 マップエディタでは、フリー処理ルールのみを定義できます。
対処	ステータス 'フリー' を指定してください。

NAT2443: セットが見つかりません。

テキスト	セットが見つかりません。
説明	Natural メンバのセットは、いくつかの LIST XREF 関数を使用すると作成できます。 現時点で、このユーザー ID では このアプリケーションにセットは存在しません。
対処	

NAT2444: 24 のキーワードのみがサポートされます。

テキスト	24 のキーワードのみがサポートされます。
説明	1つの Predict エントリに対して 24 を超えるキーワードを入力することはできません。
対処	

NAT2445: キーワードの定義が重複しました。

テキスト	キーワードの定義が重複しました。
説明	1 つの Predict エントリに対して 同一キーワードを 2 回指定することはできません。
対処	

NAT2446: ユーザー出口がアクティブですが、**SYSLIB** で利用できません。

テキスト	ユーザー出口がアクティブですが、SYSLIB で利用できません。
説明	Predict の '特殊機能' で、 整合性チェックのメンテナンスに対するユーザー出口が マップエディタ内からアクティブになりましたが、 このユーザー出口プログラムを SYSLIB で利用できません。

対処	プログラム SUMPRDEX を SYSLIB にコピーしてください。

NAT2447: 複数のセットが存在しますが、セット番号が指定されませんでした。

テキスト	複数のセットが存在しますが、セット番号が指定されませんでした。
説明	当ユーザーに対して保存されたセットが複数存在します。 カタログ化または格納するセットの番号を指定する必要があります。
対処	

NAT2448: 正しい値（**CATALOG** または **STOW**）を入力してください。

テキスト	正しい値を入力します。
説明	有効な値は 'CATALOG' または 'STOW' です。
対処	

NAT2449: 指定されたセット番号が見つかりません。

テキスト	指定されたセット番号が見つかりません。
説明	
対処	

NAT2450: 指定された起動プログラムがアプリケーション内に見つかりません。

テキスト	指定された起動プログラムがアプリケーション内に見つかりません。
説明	
対処	

49 Natural システムエラーメッセージ 2451～2500

NAT2451: 起動プログラム名を入力してください。

テキスト	起動プログラム名を入力してください。
説明	この機能には、起動プログラム名が必要です。
対処	

NAT2452: 1 つの制限のみをマークしてください。

テキスト	1 つの制限のみをマークしてください。
説明	
対処	

NAT2453: ルールステータスとルール使用が一致しません。

テキスト	ルールステータスとルール使用が一致しません。
説明	自動処理ルールをフリールールとして使用することもできますが、フリールールのステータスと使用は常に同じになります。

対処	

NAT2454: 相手先ユーザー **ID** は 最大数の セットを持っています。機能は実行できません。

テキスト	相手先ユーザー ID は最大数のセットを持っています。 機能は実行できません。
説明	Predict バージョン 4.4.1 以降では、ユーザーとアプリケーションごとに 同時に存在できるセット数は最大 99 までです。 4.4.1 より前のバージョンの Predict では、ユーザーとアプリケーションごとに同時に存在できるセット数は 最大 12 までです。
対処	この機能を使用する前に、相手先ユーザーが このアプリケーションに対して持っているセットが 99 個未満であることを確認してください。

NAT2455: 呼び出し戻り モードは、機能 '**E**'、'**I**'、'**X**'、'**Y**' でのみ有効です。

テキスト	呼び出し戻り モードは、機能 'E'、'I'、'X'、'Y' でのみ有効です。
説明	呼び出しモード '呼び出し戻り' は、CALL、CALLNAT、PERFORM、FETCH RETURN、HELP、MAP、STATIC SQL、INVESTIGATE に 制御を返す すべての呼び出しモードで構成されています。 これは再帰レポートの出力を制限するために使用されます。
対処	

NAT2456: STOW するには「**W**」、カタログするには「**C**」を入力してください。

テキスト	STOW するには「W」、カタログするには「C」を入力してください。
説明	
対処	

NAT2457: オプションが正しくありません。

テキスト	オプションが正しくありません。
説明	
対処	正しいオプションを指定してください。

NAT2458: 処理するセットが見つかりません。

テキスト	処理するセットが見つかりません。
説明	
対処	

NAT2459: セットが見つかりません。

テキスト	セットが見つかりません。
説明	Natural メンバのセットは、いくつかの LIST XREF 関数を使用すると 作成できます。 現時点で、このユーザー ID ではこのアプリケーションにセットは存在しません。
対処	

NAT2460: ユーザーが **Predict** に定義されていません。 関数を実行できません。

テキスト	ユーザーが Predict に定義されていません。 関数を実行できません。
説明	ユーザー ID が Predict に定義されているユーザーのみが この機能を実行できます。
対処	データディクショナリ管理者に連絡してください。

NAT2461: 検証するオブジェクトタイプがマークされていません。

テキスト	検証するオブジェクトタイプがマークされていません。
説明	検証するオブジェクトが 現在アクティブなプロファイルでマークされている場合にのみ、 この機能を実行できます。 バッチで使用されるプロファイルは、コマンド LIST XREF PROFILE <ユーザー ID> を使用して指定できます。その他の場合は、SYSTEM プロファイルが使用されます。
対処	検証するオブジェクトを LIST XREF プロファイルでマークしてください。

NAT2462: 警告:テーブルがいっぱいであるため、新規セットの保存または作成を実行できません。

テキスト	警告：テーブルがいっぱいであるため、新規セットの保存または作成を実行できません。
説明	ライブラリおよびユーザーごとに最大 99 個のセットが存在します。 'UNION'、'INTERSECTION'、または 'DIFFERENCE' オペレーションで 新しいセットを作成する前に、不要となったセットを削除してください。
対処	

NAT2463: 指定が許可されていません。

テキスト	指定が許可されていません。
説明	入力した機能と指定が適合していません。
対処	入力したパラメータをチェックしてください。

NAT2464: スタータスが '**A**' の場合、フォーマットには '**A**'、'**B**'、または '**N**' のみを指定できます。

テキスト	スタータスが 'A' の場合、フォーマットには 'A'、'B'、または 'N' のみを指定できます。
説明	Predict 内でフィールドフォーマット 'L'、'D'、および 'K' は指定できないため、 フィールドに転結される AUTOMATIC RULES のフォーマットは、 'A'、'N'、または 'B' である必要があります。

対処	フォーマットを変更してください。

NAT2465: ルールを編集する場合は、ルールフォーマットを入力する必要があります。

テキスト	ルールを編集する場合は、ルールフォーマットを入力する必要があります。
説明	ルールのフォーマットとフィールドフォーマットに 互換性がある場合にのみ、ルールは実行されます。
対処	ルールフォーマットを入力してください。

NAT2466: ルールフォーマットは '**A**'、'**N**'、'**B**'、'**D**'、または '**K**' である必要があります。

テキスト	ルールフォーマットは 'A'、'N'、'B'、'D'、または 'K' である必要があります。
説明	ルールフォーマットは次のいずれかである必要があります。 A - 英数字 N - 数値 B - バイナリ D - 日付 / 時間 K - ファンクションキー
対処	正しいルールフォーマットを入力してください。

NAT2467: :1: セットは存在します。

テキスト	指定されたセットの番号は、このユーザー ID でこのアプリケーションに存在します。
説明	
対処	

NAT2470: フリールールに対して少なくとも **1** 人の修正担当者が必要です。

テキスト	フリールールに対して少なくとも 1 人の修正担当者が必要です。
説明	DDA では、保護ルールスイッチの 1 つを '強制' に設定しています。 移行ユーティリティでは、このメッセージは単に警告です。

対処	移行ユーティリティの場合は、 整合性チェックに必要な修正担当者を後で追加してください。

NAT2471: ユーザー／グループ **:1:** が **Natural Security** で定義されていません。

テキスト	マークされているユーザーまたはグループは、Natural Security で定義されていません。
説明	フリールールのすべての修正担当者を Natural Security で定義する必要があります。
対処	Predict で使用する前に、ユーザーまたはグループを Natural Security で 定義してください。 または、名前を修正してください。

NAT2472: :1: はこの **:2:** には許可されていません。

テキスト	この場合、このタイプのオブジェクトは許可されていません。
説明	
対処	ポップアップメニューからタイプを 1 つ選択してください。または、ファンクションコードを変更してください。

NAT2473: ユーザーは修正担当者のリストに記載されていません。

テキスト	ユーザーは修正担当者のリストに記載されていません。
説明	
対処	修正を行う場合、ユーザーはメンバリストに記載されている必要があります。

NAT2474: この言語には許可されていない機能です。

テキスト	この言語には許可されていない機能です。
説明	機能 'DISPLAY'(D) および 'RENAME'(N) は、 DDM、SUPER Natural、および整合性チェックルールには許可されていません。

対処	正しい言語を入力してください。

NAT2475: セットが異なる方法でソートされています。

テキスト	セットが異なる方法でソートされています。
説明	セットの操作に含まれているすべてのセットは、 同じ方法でソートする必要があります (名前別、タイプ別など) 。
対処	すべてのセットを名前別またはタイプ別でソートしてください。

NAT2476: この **Natural** バージョンではサポートされていない機能です。

テキスト	この Natural バージョンではサポートされていない機能です。
説明	Natural V2 では次の機能のみがサポートされています。 - 整合性チェックルールの生成 - 整合性チェックルールの編集
対処	DDA に連絡してください。

NAT2477: ADAMINT はインストールされていません。

テキスト	ADAMINT はインストールされていません。
説明	ADAMINT は '選択ユニット' であるため、 インストールされていない場合があります。
対処	DBA に連絡してください。

NAT2478: 次の編集コマンドは無効です**:EDIT** 'オブジェク **1**' 'オブジェク **2**'。

テキスト	次の編集コマンドは無効です : EDIT 'オブジェク 1' 'オブジェク 2'。
説明	EDIT 'オブジェクト 2' の 'オブジェク 1' 機能は実行されません。
対処	機能を変更してください。または、コマンドを修正してください。

NAT2479: コマンドに対してオブジェクトが正しくありません。

テキスト	コマンドに対してオブジェクトが正しくありません。
説明	入力されたオブジェクトに対して、そのダイレクトコマンドを使用することはできません。
対処	ダイレクトコマンドを変更してください。

NAT2480: フォーマットと長さを複数回 再定義することはできません。

テキスト	フォーマットと長さを複数回 再定義することはできません。
説明	フィールドに複数の再定義が存在する場合、 (フィールドタイプ = 'RE'、フィールド名 = 'FILLER') フォーマットと長さを定義することはできません。 基本フィールドのフォーマットと長さの定義がすでに有効となっています。
対処	フォーマットと長さの定義を削除してください。

NAT2481: 開始位置がフィールド外にあります。

テキスト	開始位置がフィールド外にあります。
説明	VSAM プライマリキーまたはオルタネートキーの開始位置が、 ソースフィールド外にあります。
対処	エラーを修正してください。または、ソースフィールドを変更してください。

NAT2482: ソースフィールドのフォーマットに '**F**' または '**I**' は指定できません。

テキスト	ソースフィールドのフォーマットに 'F' または 'I' は指定できません。
説明	Adabas V4.1 でソースフィールドのフォーマットに 'F' または 'I' を使用することはできません。
対処	ディスクリプタまたはソースフィールドのフォーマットを変更してください。

NAT2483: ソースフィールドとして **1** つの **MU** フィールドのみが許可されています。

テキスト	ソースフィールドとして 1 つの MU フィールドのみが許可されています。
説明	スーパーディスクリプタの 1 つのソースフィールドのみを、フィールドタイプ 'MU' にすることができます。
対処	スーパーディスクリプタを変更してください。

NAT2484: ソースフィールドを **1** つ入力する必要があります。

テキスト	ソースフィールドを 1 つ入力する必要があります。
説明	サブディスクリプタまたはフォネティックディスクリプタには、1 つのソースフィールドのみを入力する必要があります。
対処	ソースフィールド名を入力してください。

NAT2485: 関連ファイルが削除されました。

テキスト	関連ファイルが削除されました。
説明	マスタファイル (ファイルタイプが A (Adabas) または V (VSAM)) が MIGRATE (移行) ユーティリティで置き換えられた場合、 古い関連ユーザービューは削除されます。
対処	

NAT2486: ステータス **'A'** のルールを置き換えることはできません。

テキスト	ステータス 'A' のルールを置き換えることはできません。
説明	ステータス 'A' のルールをステータス 'F' または空白と置き換えることはできません。
対処	この整合性チェックのロードは排除されます。

NAT2487: 移行ユーティリティはエラーのため失敗しました。

テキスト	移行ユーティリティはエラーのため失敗しました。
説明	メッセージをチェックして、エラーを修正してください。
対処	

NAT2488: プログラム の内部エラーです。 「**MENU**」で再スタートします。

テキスト	プログラム の内部エラーです。 「MENU」で再スタートします。
説明	「MENU」で再スタートします。
対処	

NAT2489: オーナー／キーワードはアンロードキーワードとしては使用できません。

テキスト	オーナー / キーワードはアンロードキーワードとしては使用できません。
説明	エラーを修正します
対処	

NAT2490: オブジェクト '**ALL**' に対してはオールオプション '**N**' のみを使用できます。

テキスト	オブジェクト 'ALL' に対してはオールオプション 'N' のみを使用できます。
説明	エラーを修正します
対処	

NAT2491: コマンド '**VERSIONS**' に対してコード '**Y**' は使用できません。

テキスト	コマンド 'VERSIONS' に対してコード 'Y' は使用できません。

説明	エラーを修正します
対処	

NAT2492: 「**Y**」、「**N**」、または「**L**」を入力してください。

テキスト	「Y」、「N」、または「L」を入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2493: 「**Y**」、「**N**」、または「**S**」を入力してください。

テキスト	「Y」、「N」、または「S」を入力してください。
説明	プログラムをチェックして、エラーを修正します。
対処	

NAT2494: この機能は **DDM** を持つファイルに対して許可されていません。

テキスト	この機能は DDM を持つファイルに対して許可されていません。
説明	RENAME 機能は、DDM を持つファイルに対して許可されていません。
対処	このようなファイルのファイルタイプを 'C'(概念)または 'Z'(標準)に変更することも許可されていません。 コピー機能を使用してください。

NAT2495: ファイルは **SUPER Natural** のユーザーファイルです。

テキスト	ファイルは SUPER Natural のユーザーファイルです。
説明	SUPER Natural のユーザーファイルは、 Predict ではなく SUPER Natural でのみ保持されます。

対処	SUPER Natural のプロトタイプユーザーファイルの場合は、Predict に組み込むことができます。

NAT2496: Natural VMS ではサポートされていない機能です。

テキスト	Natural VMS ではサポートされていない機能です。
説明	VMS環境では VSAM がサポートされていません。 このため、VSAM ファイル (ファイルタイプ ↩ 'V'、'W'、'L'、'R') では、 DDM 生成は許可されておらず、 VSAM DDM を組み込むこともできません。 ただし、ディクショナリに VSAM ファイルの記述を保持することはできます。
対処	COBOL 組み込みも同様に VMS 環境では利用できません。

NAT2497: ライブラリ名を '**SYS**' で開始しないでください。

テキスト	ライブラリ名を 'SYS' で開始しないでください。
説明	SYS で始まる Natural のライブラリは、 Software AG の製品用に予約されています。
対処	正しいライブラリ名を入力します。

NAT2498: メンバ名が正しくありません。

テキスト	メンバ名が正しくありません。
説明	入力されたメンバ名が正しくありません。 生成されたコードに対するメンバ名は、次のルールに従っている必要があります。 - 最初の文字は英字 (A～Z) である。 - その他の文字は英数字 (A～Z、0～9) またはハイフン (-) である。 - 空白を埋め込むことはできない。
対処	正しいメンバ名または「*」を入力してください。 「*」を入力した場合は、Predict によって有効なメンバ名が作成されます。

NAT2499: ライブラリ名が正しくありません。

テキスト	ライブラリ名が正しくありません。
説明	次のルールにより、生成されたコードに対するライブラリ名は有効ではありません。 - 最初の文字は英字 (A ~ Z) である。 - その他の文字は英数字 (A ~ Z、0-9) またはハイフン (-) である。 - 空白を埋め込むことはできない。
対処	正しいライブラリ名を入力します。

NAT2500: INCORPORATE COBOL 機能とは異なるエラーメッセージです。

テキスト	INCORPORATE COBOL 機能とは異なるエラーメッセージです。
説明	これらのメッセージは、選択ユニット 'INCORPORATE COBOL' でサポートされていない COBOL のデータ定義の説明です。
対処	メッセージを参照してください。

50 Natural システムエラーメッセージ 2501～2550

NAT2501: オブジェクトの追加に成功しました。

テキスト	オブジェクトの追加に成功しました。
説明	このオブジェクトが正常に追加されました。
対処	

NAT2502: オブジェクトのコピーに成功しました。

テキスト	オブジェクトのコピーに成功しました。
説明	コピー機能が正常に実行されました。
対処	

NAT2503: オブジェクトの修正に成功しました。

テキスト	オブジェクトの修正に成功しました。
説明	修正機能が正常に実行されました。
対処	

NAT2504: オーナーが定義されていません。

テキスト	オーナーが定義されていません。
説明	他のディクショナリオブジェクトのオーナーとして定義する前に、 そのディクショナリにオーナーレコードを登録する必要があります。
対処	正しいオーナー ID を入力してください。または空白のままにしてください。

NAT2505: キーワードが定義されていません。

テキスト	キーワードが定義されていません。
説明	キーワードは、他のディクショナリのオブジェクトに 割り当てる前に、ディクショナリに定義しておく必要があります。
対処	正しいキーワードを入力してください。または、空白のままにしてください。

NAT2506: エディタがアクティブな場合は、オブジェクトを編集することはできません。

テキスト	エディタがアクティブな場合は、オブジェクトを編集することはできません。
説明	後続のオブジェクトのリストの修正中に、 拡張記述、整合性チェック、またはオーナーリストの修正を 行うことはできません。
対処	記述編集、整合性チェック編集、またはオーナー編集に「N」を入力してください。

NAT2507: データベースのタイプが違います。

テキスト	データベースのタイプが違います。
説明	DDM 生成では、データベースのタイプと照合して、 ファイルタイプがチェックされます。 Natural V2.1 以降、VSAM データベースの番号に 254 という 制限はなくなりました。 ファイルタイプ 'A' および 'U' に対するデータベースタイプは、 'A' である必要があり、ファイルタイプ 'V'、'L'、'W'、および 'R' の場合は 'V' である必要があります。

対処	正しいデータベース ID を入力してください。

NAT2508: オブジェクトは使用中です。

テキスト	オブジェクトは使用中です。
説明	他のユーザーによって同じオブジェクトが重複して更新されたため、 編集機能に競合が発生しました。
対処	編集セッションを再スタートしてください。

NAT2509: XXX を超えるオブジェクトはサポートされません。

テキスト	XXX を超えるオブジェクトはサポートされません。
説明	XXX を超えるオブジェクトを他のオブジェクトに追加しようとしました。 - 1 つのオブジェクトに対して後続オブジェクトを 500 まで、 - 任意のオブジェクトに対してオーナーを 99 まで、および - 1 つのファイルに対して異なるコードを 30 まで 定義することができます。 これを超える追加は拒否されます。
対処	すべてのオブジェクト (ファイルなど) が必要かどうかを確認し、 不要なオブジェクトはすべて削除してください。

NAT2510: エラーを修正するか、**'Enter'** を押してオブジェクトリストを編集してください。

テキスト	エラーを修正するか、'Enter' を押してオブジェクトリストを編集してください。
説明	カタログまたはチェック中にエラーが見つかった場合、 直ちにエラーを修正するか、または Enter を押してフルスクリーンエディタに戻ることができます。
対処	Enter を押してください。または、エラーを修正してください。

NAT2511: オブジェクト構造がカタログされました。

テキスト	オブジェクト構造がカタログされました。
説明	カタログ機能が正常に終了しました。
対処	

NAT2512: 重複するオブジェクトが見つかりました。

テキスト	重複するオブジェクトが見つかりました。
説明	オブジェクトの要素の編集時、 カタログまたはチェック処理中に 重複した要素名が見つかりました。
対処	重複した名前を修正してください。 または、Enter を押してフルスクリーンエディタに戻ります。

NAT2513: 名前の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	名前の最初の文字が英字ではありません。
説明	すべてのオブジェクト名は、英字で始まる必要があります。 また、3 文字以上である必要があります。
対処	オブジェクト名を修正してください。

NAT2514: オブジェクトが正常に表示されました。

テキスト	オブジェクトが正常に表示されました。
説明	表示機能が正常に終了しました。
対処	

NAT2515: オブジェクトが無効です。

テキスト	オブジェクトが無効です。
説明	存在しないオブジェクトタイプを参照しようとしました。
対処	正しいオブジェクトタイプを入力します。

NAT2516: ファンクションコードが正しくありません。

テキスト	ファンクションコードが正しくありません。
説明	正しい Predict 機能を入力してください。
対処	

NAT2517: 機能が正常に終了しました。

テキスト	機能が正常に終了しました。
説明	Predict 機能が正常に終了しました。
対処	

NAT2518: オブジェクトが指定されていません。

テキスト	オブジェクトが指定されていません。
説明	オブジェクト ID を入力する必要があります。
対処	正しいオブジェクト ID を入力します。

NAT2519: オブジェクトが存在しません。

テキスト	オブジェクトが存在しません。

説明	指定されたオブジェクトは、ディクショナリ内に存在しません。
対処	正しいオブジェクト ID を入力します。

NAT2520: 複数のオブジェクトが見つかりました。 **DBA** を参照してください。

テキスト	複数のオブジェクトが見つかりました。 DBA を参照してください。
説明	ディクショナリ内に複数のオブジェクトが見つかりました。 ディクショナリ内のオブジェクトは、 ユニークである必要があります。 重大なエラーです。
対処	直ちに作業を中止し、データベース管理者に連絡してください。

NAT2521: オブジェクト名がすでに存在しています。

テキスト	オブジェクト名がすでに存在しています。
説明	入力されたオブジェクト ID は、すでにディクショナリ内に存在しています。 Predict に入力されているすべての ID (フィールド名は除く) は、 ユニークである必要があります。
対処	注 : 1 つのファイル内では、フィールド名もユニークである必要があります。正しいオブジェクト ID を入力します。

NAT2522: 新しいオブジェクト **ID** の最初の文字が英字になっていません。

テキスト	新しいオブジェクト ID の最初の文字が英字になっていません。
説明	オブジェクト ID の最初の文字は英字である必要があります。 また、文字の長さは 3 文字以上である必要があります。
対処	正しい新オブジェクト ID を入力してください。

NAT2523: 機能は実行されませんでした。

テキスト	機能は実行されませんでした。

説明	不正な入力であったため、またはフィールドが空白のままになっていたため、機能が実行されませんでした。
対処	

NAT2524: ファイル **ID** を指定する必要があります。

テキスト	ファイル ID を指定する必要があります。
説明	フィールドは、フィールドとファイル名によってのみ、一意に定義されます。
対処	ファイル ID も入力してください。

NAT2525: オブジェクトの順展開がリストされました。

テキスト	オブジェクトの順展開がリストされました。
説明	オブジェクトの順展開が正常に表示されました。
対処	

NAT2526: オブジェクトが正常にリストされました。

テキスト	オブジェクトが正常にリストされました。
説明	要求されたオブジェクトが正常にリストされました。
対処	

NAT2527: オブジェクトの逆展開がリストされました。

テキスト	オブジェクトの逆展開がリストされました。
説明	オブジェクトの逆展開が正常に表示されました。
対処	

NAT2528: オブジェクトの名前を変更しました。

テキスト	オブジェクトの名前を変更しました。
説明	オブジェクトの RENAME が正常に実行されました。
対処	

NAT2529: XREF データが見つかりません。

テキスト	XREF データが見つかりません。
説明	このメッセージは、機能 'DELETE XREF DATA' によって発行されます。 検索条件がどの XREF データとも一致しない場合に、このメッセージが発行されます。
対処	正しい検索条件を入力します。

NAT2530: ファイルタイプが正しくないため、ファイルがロードされません。

テキスト	ファイルタイプが正しくないため、ファイルがロードされません。
説明	ファイルレコード中のファイルタイプは、Predict で認識されません。 このため、ファイル記述がロードされていません。
対処	正しいファイル記述レコードを作成してください。

NAT2531: 最大ファイル数は **256** より小さくする必要があります。

テキスト	最大ファイル数は 256 より小さくする必要があります。
説明	1 つの Adabas データベースは最大 255 のファイルを持つことができます。 つまり、MAX-FILE パラメータは 256 より少ない必要があります。
対処	255 以下の数を入力してください。または、このフィールドを空白に設定してください。

NAT2532: デフォルトの変換が実行されました。

テキスト	デフォルトの変換が実行されました。
説明	バージョン 1 のデータから必要な変換を実行すると、 このメッセージが発行されます。
対処	

NAT2533: ホールド中のオブジェクトは存在しません。

テキスト	ホールド中のオブジェクトは存在しません。
説明	Adabas ホールドキューのオーバーフローを防ぐため、 RENAME/RENUMBER 機能によって ET がいくつか発行されます。 ET が発行されるたびに、Predict ファイルに制御レコードが書き込まれます。 この機能が異常終了した場合、Predict はこの機能のすべての処理を バックアップすることができます。 全機能終了後、制御レコードは削除されます。 RECOVERY 機能で制御レコードが見つからない場合、 このメッセージが発行されます。
対処	

NAT2534: チェックポイントファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

テキスト	チェックポイントファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。
説明	Adabas チェックポイントファイルの番号は、 このデータベースに指定された最大ファイル数に等しいか、 それよりも小さい必要があります。
対処	正しいファイル番号を入力するか、フィールドを空白のままにします。

NAT2535: セキュリティファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

テキスト	セキュリティファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

説明	Adabas セキュリティファイルの番号は、 このデータベースに指定された最大ファイル数に等しいか、 それよりも小さい必要があります。
対処	正しいファイル番号を入力するか、フィールドを空白のままにします。

NAT2536: システムファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

テキスト	システムファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。
説明	Adabas システムファイルの番号は、 このデータベースに指定された最大ファイル数に等しいか、 それよりも小さい必要があります。
対処	正しいファイル番号を入力するか、フィールドを空白のままにします。

NAT2537: Natural、セキュリティ、およびチェックポイントのファイルがユニークでありません。

テキスト	Natural、セキュリティ、およびチェックポイントのファイルがユニークでありません。
説明	Adabas チェックポイントファイル、セキュリティファイル、 および Natural システムファイルは それぞれユニークでなければなりません。 つまり、各ファイルタイプに対して、 異なる番号を指定する必要があります。
対処	異なるファイル番号を入力してください。または、フィールドを空白のままにしてください。

NAT2538: Natural Security ファイル番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

テキスト	Natural Security ファイル番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。
説明	Natural Security ファイルの番号は、 このデータベースに指定された最大ファイル数に等しいか、 それよりも小さい必要があります。
対処	正しいファイル番号を入力するか、またはフィールドを空白のままにしてください。

NAT2539: エンドオブファイルに達しました。

テキスト	エンドオブファイルに達しました。
説明	ブラウズ機能の処理中に、エンドオブファイルに達しました。 全フィールドの処理が正常に行われました。
対処	注：適切な PF キーを押して、ブラウズ機能を終了します。 デフォルトは PF1 です。

NAT2540: Predict ファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。

テキスト	Predict ファイルの番号は、最大ファイル数以下となる必要があります。
説明	Predict ファイルの番号は、最大ファイル数と等しいか、それよりも小さい必要があります。
対処	正しいファイル番号を入力してください。または、フィールドを空白のままにしてください。

NAT2541: ソースフィールド名がありません。

テキスト	ソースフィールド名がありません。
説明	フォネティック / スーパー / サブディスクリプタを定義する場合、 少なくとも 1 つのフィールド名を入力する必要があります。
対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2542: スーパーディスクリプタは、**2**〜**5** のフィールドを保有している必要があります。

テキスト	スーパーディスクリプタは、2~5 のフィールドを保有している必要があります。
説明	ファイル内でスーパーディスクリプタを定義する場合は、 2~5 のフィールドを入力する必要があります。 1 フィールドしか含まれないスーパーディスクリプタは、 サブディスクリプタです。
対処	2~5 のフィールドを入力してください。

NAT2543: 終了位置が入力されていません。

テキスト	終了位置が入力されていません。
説明	サブまたはスーパーディスクリプタ内のフィールドには終了位置を入力する必要があります。 デフォルトの値はありません。
対処	終了位置を正しく入力してください。

NAT2544: Natural に **VSAM** データベースが定義されていません。

テキスト	Natural に VSAM データベースが定義されていません。
説明	VSAM のファイルまたはユーザービューの DDM 生成で データベース ID が指定されないと、 Natural で定義された最初の VSAM データベース番号が 割り当てられます。 この場合は Natural に定義された VSAM データベース ID がありません。
対処	DBA に連絡してください。

NAT2545: 開始位置が入力されていません。

テキスト	開始位置が入力されていません。
説明	サブまたはスーパーディスクリプタ内のフィールドの開始位置を入力する必要があります。 デフォルトはありません。
対処	開始位置を正しく入力してください。

NAT2546: 開始位置が終了位置より大きくなっています。

テキスト	開始位置が終了位置より大きくなっています。
説明	入力された開始位置が終了位置より大きくなっています。
対処	正しい位置を入力してください。

NAT2547: フィールドがピリオディックグループです。

テキスト	フィールドがピリオディックグループです。
説明	スーパーディスクリプタは、ピリオディックグループとして 定義されたフィールドを含むことはできません。 ただし、ピリオディックグループの要素はスーパーディスクリプタに含めることができます。
対処	フィールド名を修正してください。

NAT2548: フィールドはグループです。

テキスト	フィールドはグループです。
説明	スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタは、 グループとして定義されたフィールドを含むことはできません。 ただし、グループの要素は、ディスクリプタの一部として含めることができます。
対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2549: フィールドは **REDEFINE**（再定義）です。

テキスト	フィールドは REDEFINE (再定義) です。
説明	スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタを 再定義することはできません。 フィールドは、Adabas フィールドである必要があります。
対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2550: フィールドがカウンタフィールドです。

テキスト	フィールドがカウンタフィールドです。
説明	スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタは、 カウンタフィールドとマークされたフィールド (PE カウント = 'C') を含むことはできません。

対処	使用するフィールド名を修正してください。

51 Natural システムエラーメッセージ 2551〜2600

NAT2551: フィラーを使用することはできません。

テキスト	フィラーを使用することはできません。
説明	スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタは、 'FILLER' と名付けられたフィールドで定義することはできません。
対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2552: スーパーディスクリプタの長さが **126** を超えています。

テキスト	スーパーディスクリプタの長さが 126 を超えています。
説明	スーパーディスクリプタの最大長は 126 文字または それ以下である必要があります。 つまり、スーパーディスクリプタ内の全フィールドの長さの合計は 126 を超えてはなりません。
対処	長さを修正してください。

NAT2553: フィールドは、サブ、スーパー、またはフォネティックディスクリプタです。

テキスト	フィールドは、サブ、スーパー、またはフォネティックディスクリプタです。

説明	回帰的なディスクリプションは、 スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタに 使用することはできません。
対処	ディスクリプタのソースフィールドを変更してください。

NAT2554: フィールドが英数字ではありません。

テキスト	フィールドが英数字ではありません。
説明	このフィールドはフォネティックフィールドとして定義されました。 フォネティックディスクリプタのソースフィールドは、 常に英数字でなければなりません。
対処	英数字フィールドを指定してください。

NAT2555: サブディスクリプタに対して、**1** フィールドのみ指定します。

テキスト	サブディスクリプタに対して、1 フィールドのみ指定します。
説明	サブディスクリプタの定義には、1 フィールドのみ使用できます。 サブディスクリプタは、1 つの Adabas フィールドのサブフィールドのみを含むディスクリプタです。
対処	1 つのフィールド名のみを指定してください。

NAT2556: フォネティックディスクリプタには、**1** つのフィールドのみを指定します。

テキスト	フォネティックディスクリプタには、1 つのフィールドのみを指定します。
説明	フォネティックディスクリプタは 1 つのフィールドのみを含みます。 そのフィールドは英数字フィールドである必要があります。
対処	1 つのフィールドのみを指定してください。

NAT2557: 発見されたファイルが **Adabas** ファイルまたは **VSAM** ファイルではありません。

テキスト	発見されたファイルが Adabas ファイルまたは VSAM ファイルではありません。
説明	関連フィールド / ファイル機能 は、以下に対してのみ実行できます。 ファイルタイプ 'A' または 'U' の Adabas ファイルまたはユーザービュー、 ファイルタイプ 'V' または 'W' の VSAM ファイルまたはユーザービュー、 ファイルタイプ 'L' または 'R' の論理 VSAM ファイルまたはユーザービュー
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT2558: 入力されたファイルは標準ファイルではありません。

テキスト	入力されたファイルは標準ファイルではありません。
説明	標準ファイル関連フィールド 機能は、標準ファイル (ファイルタイプ = 'Z') を参照します。 入力されたファイルは標準ファイルではありません。
対処	標準ファイル名を入力してください。 または、空白のままにしてください。

NAT2559: メンバが見つかりません。

テキスト	メンバが見つかりません。
説明	指定されたソースライブラリで Natural メンバが見つかりません。
対処	正しいメンバ名やライブラリ名を使用して、 PUNCH ジョブを再スタートしてください。

NAT2560: サイファ（暗号）に「**Y**」、「**N**」、または空白を入力してください。

テキスト	サイファ (暗号) に「Y」、「N」、または空白を入力してください。
説明	暗号フラグは、Y (可) またはN (否) のいずれかです。 空白は N と同じ意味になることに注意してください。

対処	暗号フラグを正しく入力してください。

NAT2561: プリプロセッサの異常終了データが見つかりません。

テキスト	プリプロセッサの異常終了データが見つかりません。
説明	プリプロセッサはディクショナリに制御レコードを書き込みます。 プリプロセッサが何らかの理由で異常終了した場合、 アクティブリファレンスレコードは削除される必要があります。 このレコードは、Predict の制御下で削除できます。 指定された検索条件では、 ディクショナリ内に制御レコードは見つかりませんでした。
対処	正しい検索条件を入力します。

NAT2562: ファイル番号（**n001**〜**n255**）が正しくありません。

テキスト	ファイル番号 (n001 ~ n255) が正しくありません。
説明	ファイルの番号は、1 ~ 255 である必要があります。 最初の桁 (n) は、ファイルを認識する ID として Predict で使用されます。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT2563: セキュリティレベルは、**0**〜**15** である必要があります。

テキスト	セキュリティレベルは、0 ~ 15 である必要があります。
説明	アクセスまたは更新用の Adabas セキュリティレベルは、 0 ~ 15 の範囲にある必要があります。 '0' は 'プロテクトされていない' ことを意味し、 '15' は最高の保護レベルを示します。
対処	正しいセキュリティレベルを入力してください。

NAT2564: ファイルタイプが正しくありません。

テキスト	ファイルタイプが正しくありません。
説明	不正なファイルタイプが入力されました。 有効なファイルタイプを次に示します。 A - Adabas ファイル C - 概念ファイル I - ISAM L - 論理 VSAM ファイル O - オペレーティングシステムファイル P - 区分データセット R - VSAM ファイル、ユーザービュー S - シーケンシャルデータセット U - Adabas ファイル、ユーザービュー V - VSAM ファイル、ユーザービュー W - 論理 VSAM ファイル、ユーザービュー Z - 標準ファイル
対処	正しいファイルタイプを入力します。

NAT2565: メンバ名はすでに使用されています。

テキスト	メンバ名はすでに使用されています。
説明	生成時に、ユーザーは他のファイルですでに使用されているメンバに 生成コードを格納しようとしました。 コードの上書きを防ぐために、 Predict はこのメッセージを発行し、 生成コードを格納するための 新しいメンバおよび / またはライブラリ名を入力することをユーザーに求めます。
対処	正しいメンバ名またはライブラリ名を入力してください。

NAT2566: レコードフォーマットが正しくありません。

テキスト	レコードフォーマットが正しくありません。
説明	無効な RECFM が指定されました。 有効な RECFM を次に示します。 F - 固定 FB - 固定ブロック V - 可変 VB - 可変ブロック VBS - 標準可変ブロック FBS - 標準固定ブロック U - 未定義

対処	正しい RECFM を入力してください。

NAT2567: ファイル番号はすでに存在します。 新しいファイル番号が割り当てられました。

テキスト	ファイル番号はすでに存在します。 新しいファイル番号が割り当てられました。
説明	ファイルのロード中に、 Predict は、ロードするファイルの番号が 使用できるかどうかをチェックします。 番号がすでに他のファイルに割り当てられている場合、 Predict は次の空き番号を使用して、ロードするファイルにその番号を割り当てます。
対処	

NAT2568: 入力データセットでファイル番号が重複しています。

テキスト	入力データセットでファイル番号が重複しています。
説明	入力データセットで 2 つのマスタファイルが 同じ番号を持っている場合に、このメッセージが返されます。 整合性を保つために、2 つ目のマスタファイルの属性 'ファイルタイプ' は Conceptual (概念) に変更されます。
対処	

NAT2569: テーブルのオーバーフローです。

テキスト	テーブルのオーバーフローです。
説明	LIST Adabas FIELDS USED BY PROGRAMS 機能は、 次の制限があります。 - 1 つの Adabas ファイルに 50 を超えるユーザービューは定義できません。 - 接頭辞付きで生成された 100 を超える DDM はサポートされません。 - 同じ Adabas ショートネームを持つ 100 を超えるフィールドはサポートされません。 このメッセージは制限に達したときに発行され、 処理はそこで中断されます。
対処	

NAT2570: 言語 = '**N**' の場合は **Natural** の指定のみが可能です。

テキスト	言語 = 'N' の場合は Natural の指定のみが可能です。
説明	言語 = 'N' を指定した場合、 - Natural プログラム - Natural ライブラリ - Natural ファイル番号 - Natural データベース番号 のみを使用できます。
対処	言語 = 'N' を指定してください。

NAT2571: ファイル番号はすでに存在します。

テキスト	ファイル番号はすでに存在します。
説明	ディクショナリにすでに存在するファイル番号を 追加しようとしました。 Predict では ファイル番号の最初の 1 桁は異なるデータベースを区別するために使うことができます (Predict でのファイル番号の範囲は n001～n255 です)。
対処	ファイル番号を変更してください。

NAT2572: ユーザービューはファイルタイプ **A**、**U**、**V**、**R**、**L**、**W** からのみコピーできます。

テキスト	ユーザービューはファイルタイプ A、U、V、R、L、W からのみコピーできます。
説明	ユーザービューは別のユーザービュー、Adabas、または VSAM ファイルからの コピーによってのみ作成できます。 有効なファイルタイプは 'A'、'U'、'V'、'R'、'L'、および 'W' です。
対処	正しいファイルタイプを入力します。

NAT2573: 言語 = '**N**' が指定された場合、**Natural** パラメータのみを使用できます。

テキスト	言語 = 'N' が指定された場合、Natural パラメータのみを使用できます。

説明	言語 = 'N' を指定した場合、 - Natural プログラム - Natural ライブラリ - Natural ファイル番号 - Natural データベース番号 のみを入力できます。
対処	Natural パラメータのみを入力してください。

NAT2574: ファイルは存在しません。

テキスト	ファイルは存在しません。
説明	使用され、かつ定義されていない要素を表示する場合、 指定されたファイルが存在する必要があります。
対処	存在するファイルを指定してください。

NAT2575: メンバ名とライブラリ名を指定する必要があります。

テキスト	メンバ名とライブラリ名を指定する必要があります。
説明	サブシステムの機能 'MAINTENANCE GENERATED CODE' では、 メンバ名とライブラリ名を指定する必要があります。
対処	メンバ名および / またはライブラリ名を入力してください。

NAT2576: プログラミング言語が不明です。

テキスト	プログラミング言語が不明です。
説明	プログラムまたはモジュールの追加および修正時に、不正な言語が入力されました。 有効な言語は次のとおりです。 B - BAL (アセンブラ) C - COBOL P - PL/1 N - Natural (プログラム入力のみ) ' ' (空白) - その他

対処	正しい言語を入力してください。

NAT2577: B、**'O'**、または空白のみ使用できます。

テキスト	B、'O'、または空白のみ使用できます。
説明	モードは、'O'（オンライン）または 'B'（バッチ）のいずれかになります。
対処	正しいモードを入力してください。

NAT2578: 関連 **Adabas** フィールドが存在しません。

テキスト	関連 Adabas フィールドが存在しません。
説明	関連 Adabas ファイル内に存在しない Adabas フィールドを 参照しようとしました。
対処	正しいフィールド ID を入力してください。または、空白のままにしてください。

NAT2579: ファイルが **Adabas** ファイルではありません。

テキスト	ファイルが Adabas ファイルではありません。
説明	関連 Adabas ファイルは、 タイプが 'A' のファイルである必要があります。
対処	正しいファイル ID を入力してください。または、空白のままにしてください。

NAT2580: フィラーは、**REDEFINE**（再定義）でのみ使用できます。

テキスト	フィラーは、REDEFINE（再定義）でのみ使用できます。
説明	Predict は、フィールドタイプのフィラーを認識できますが、 フィールドタイプのフィラーの指定は REDEFINE でのみ行えます。 フィラーは基本フィールドに対して定義できません。
対処	基本（実）フィールドを定義する場合は、フィラーを使用しないでください。

NAT2581: C、**'I'**、または空白のみが正しいタイプです。

テキスト	C、'I'、または空白のみが正しいタイプです。
説明	関係エントリーのタイプは 'C'(Adabas のカップリング)、'I'(暗黙)、および空白(暗黙)のいずれかです。
対処	正しいタイプを入力します。

NAT2582: ファイル **1** または **2** がありません。

テキスト	ファイル 1 または 2 がありません。
説明	関係は 2 ファイル間でのみ設定できます。 ファイル名を入力してください。
対処	ファイル名を入力してください。

NAT2583: 自動ルールのパージは許可されていません。

テキスト	自動ルールのパージは許可されていません。
説明	自動ルールのパージを行う前に、フィールドとの関係をすべて解除し、 対応するファイルの DDM を再生成する必要があります。 整合性チェックとフィールドの関係がアクティブでなければ、 ステータスはコンセプチュアル(概念)に変更されます。 その後、ルールをパージ(PURGE)することができます。
対処	整合性チェックとフィールド間の関係を解除し、 対応するファイルの DDM を再生成してください。

NAT2584: 関係フィールド **1** または **2** が存在しません。

テキスト	関係フィールド 1 または 2 が存在しません。
説明	関係は 2 つの異なるファイルの 2 フィールド間でのみ設定できます。 ファイルが存在している場合は、 フィールドもそのファイル内に存在している必要があります。

対処	正しい関係フィールドを入力してください。

NAT2585: バッチ方式では、必要なカウンタ承認を得ることはできません。

テキスト	バッチ方式では、必要なカウンタ承認を得ることはできません。
説明	このファイルを修正する権限はありますが、カウンタ承認が必要です。 バッチ方式では承認がとれません。
対処	オンラインで DDM を生成してください。

NAT2586: フィールド **1** または **2** がありません。

テキスト	フィールド 1 または 2 がありません。
説明	関係は 2 フィールド間でのみ成り立ちます。 フィールド名を入力してください。
対処	関係フィールドを入力してください。

NAT2588: ファイルは **Predict** ファイルではありません。

テキスト	ファイルは Predict ファイルではありません。
説明	指定されたファイルは、Predict ファイルではありません。
対処	正しいファイル番号を入力してください。

NAT2589: 入力ファイルへのフォーマットバッファが空です。

テキスト	入力ファイルへのフォーマットバッファが空です。
説明	ADACMP 定義の生成で、入力ファイル ID が入力されました。 このファイルは、ADACMP ユーティリティへの入力データを 記述しますが、フォーマットバッファが生成されませんでした。
対処	入力ファイルで、Adabas ファイルに対応するフィールドをチェックしてください。

NAT2590: 使用は '**ACC**' または '**UPD**' である必要があります

テキスト	使用は 'ACC' または 'UPD' である必要があります
説明	ユーザーが使用できるのは、ACC（アクセスのみ）または UPD（更新）のみです。
対処	正しい使用コードを入力してください。

NAT2591: 整合性チェックタイプが正しくありません。

テキスト	整合性チェックタイプが正しくありません。
説明	正しい整合性チェックタイプを次に示します。 R - 範囲 E - 等しい L - 小さい G - 大きい U - ユーザールーチン T - テーブル
対処	正しい整合性チェックタイプを入力してください。

NAT2592: REDEFINE グループの場合、タイプは空白である必要があります。

テキスト	REDEFINE グループの場合、タイプは空白である必要があります。
説明	REDEFINE メンバのフィールドタイプは、空白である必要があります。
対処	空白を指定してください。

NAT2593: 標準フィールド名は **...** です。

テキスト	標準フィールド名は ... です。
説明	参照するフィールドは標準フィールドです。 つまり、フィールド名は変更できません。 RENAME 機能を使用すると、標準フィールド名を変更することができ、 関連のあるすべてのフィールド名も自動更新されます。

対処	フィールド名を変更しないでください。または、RENAME 機能を使用してください。

NAT2594: フォーマット **'I'** および **'F'** は、オプション **'FI'** を必要とします。

テキスト	フォーマット 'I' および 'F' は、オプション 'FI' を必要とします。
説明	Adabas の定義により、整数フィールドはオプション 'FI' を必要とします。 浮動小数点フィールドについても同じことが当てはまります。
対処	オプション 'FI' を指定してください。

NAT2595: 再定義に **Adabas** 名は使用できません。

テキスト	再定義に Adabas 名は使用できません。
説明	REDEFINE グループのメンバが Adabas 名を含むことはできません。
対処	Adabas ショートネームを削除してください。

NAT2596: ディスクリプタの長さが **126** を超えています。

テキスト	ディスクリプタの長さが 126 を超えています。
説明	Adabas 定義では、ディスクリプタフィールドの最大長は 126 バイトです。
対処	フィールド長を 126 またはそれ以下にしてください。 または、ディスクリプタにしないでください。

NAT2597: 新しいユーザー **ID** が割り当てられました。

テキスト	新しいユーザー ID が割り当てられました。
説明	Predict バージョン 2 では、ユーザーコンセプトが変わり、 ユーザーエントリに新しいユーザー ID が割り当てられたので、 Predict バージョン 1 データのロード中に、 このメッセージが送られます。

対処	

NAT2598: バイナリフィールドの長さは、**126** を超えてはなりません。

テキスト	バイナリフィールドの長さは、126 を超えてはなりません。
説明	Adabas 定義により、バイナリフィールドの最大長は、126 を超えることはできません。
対処	126 以下の長さを指定してください。

NAT2599: Adabas フィールドはディスクリプタでありません。

テキスト	Adabas フィールドはディスクリプタでありません。
説明	Adabas ファイルの関係フィールドは、ディスクリプタとして定義されていません。
対処	ディスクリプタオプションを指定しないでください。

NAT2600: REDEFINE グループに対してオプションは指定できません。

テキスト	REDEFINE グループに対してオプションは指定できません。
説明	再定義されたフィールドではなく、既存の Adabas フィールドのみに SUPPRESSION (省略) オプションを定義できます。
対処	SUPPRESSION オプションをクリアしてください。

52 Natural システムエラーメッセージ 2601～2650

NAT2601: レベル番号は **1** ずつしか増加できません。

テキスト	レベル番号は 1 ずつしか増加できません。
説明	Adabas のレベル番号は、 グループ、PE グループ、または REDEFINE 定義の後でのみ 増加できます。 1 を超える増分値を指定することはできません。
対処	正しいレベル番号を入力します。

NAT2602: フィールドを持たないグループが見つかりました。

テキスト	フィールドを持たないグループが見つかりました。
説明	定義されたグループには、エレメンタリフィールドがありません。
対処	Enter キーを押して、エディタに戻ってください。

NAT2603: フィールドタイプは、**'GR'**、**'MU'**、**'PE'**、**'RE'**、または空白である必要があります。

テキスト	フィールドタイプは、'GR'、'MU'、'PE'、'RE'、または空白である必要があります。
説明	不正なフィールドタイプが入力されました。 有効なフィールドタイプを次に示します。 GR - グループ MU - マルチプルバリューフィールド PE - ピリオディックグループ RE - 再定義されたフィールド ' ' - エレメンタリフィールド

対処	正しいタイプを入力します。

NAT2604: フォーマットは **A**、**F**、**N/U**、**B**、**P**、**US**、**PS**、**NS** のいずれかです。

テキスト	フォーマットは A、F、N/U、B、P、US、PS、NS のいずれかです。
説明	指定されたフォーマットが正しくありません。 有効なフォーマットを次に示します。 A - 英数字 F - 固定小数点 N - 数値 U - アンパック (数値と同じ) B - バイナリ P - パック I - 整数 PS - 符号付きパック NS - 符号付き数値 US - 符号付きアンパック
対処	正しいフォーマットを入力します。

NAT2605: オプションには '**NU**'、'**FI**'、または空白を指定する必要があります。

テキスト	オプションには 'NU'、'FI'、または空白を指定する必要があります。
説明	有効な Adabas 省略オプションを次に示します。 NU - 空値省略 FI - 固定 ' '(空白) - 普通の省略
対処	正しい省略オプションを入力してください。

NAT2606: ディスクリプタは、**DE**、**SB**、**SP**、**PH**、**UQ**、**PR**、**AL**、**SV**、**SA**、または空白です。

テキスト	ディスクリプタは、DE、SB、SP、PH、UQ、PR、AL、SV、SA、または空白です。
説明	Adabas には次のディスクリプタタイプがあります。 DE - ディスクリプタ SP - スーパーディスクリプタ SB - サブディスクリプタ PH - フォネティックディスクリプタ UQ - ユニークなディスクリプタ ' ' - 非ディスクリプタ VSAM の場合のディスクリプタタイプを次に示します。 PR - プライマリキー AL - オルタネートキー

	SV - スーパー / サブディスクリプタ SA - オルタネートスーパー / サブディスクリプタ
対処	有効なディスクリプタタイプを指定してください。 または、空白のままにしてください。

NAT2607: レベル番号が数字ではありません。

テキスト	レベル番号が数字ではありません。
説明	レベル番号は数値である必要があります。 数値以外の値を入力しないでください。
対処	正しいレベル番号 (0~9 の間の数字) を入力してください。

NAT2608: オフセット名がありません。

テキスト	オフセット名がありません。
説明	同等ステートメントに対するオフセット名を指定する必要があります。
対処	正しいオフセット名を入力してください。

NAT2609: 小数点の右側に **7** 桁を超える小数が入力されました。

テキスト	小数点の右側に 7 桁を超える小数が入力されました。
説明	小数点の右側に 7 桁を超える小数が入力されました。 最高は 7 桁です。
対処	切り捨ててください。

NAT2610: 数値の最高桁数は **27** 桁です。

テキスト	数値の最高桁数は 27 桁です。
説明	数値の桁数が 27 を超えました。 つまり、小数点の左右の桁数の合計が 27 を超えています。

対処	桁数を減らしてください。

NAT2611: マスタファイルに、フィールドが見つかりません。

テキスト	マスタファイルに、フィールドが見つかりません。
説明	ユーザービュー内の Adabas ショートネームに対応するフィールドが、 関連マスタファイルには見つかりません。 ユーザービュー (ファイルタイプ = 'U') のマスタファイルに 対応しているのは Adabas ファイル、 VSAM ユーザービュー (ファイルタイプ = 'W') に 対応しているのは VSAM ファイル、また 論理 VSAM ファイルのビュー (ファイルタイプ = 'R') に 対応しているのは論理 VSAM ファイルです。 グループフィールドについては、対応するフィールドがマスタファイルになくても 構いません。
対処	エラーを修正してください。

NAT2612: CMRNS にエラーがあります。レスポンスコード**:**

テキスト	CMRNS にエラーがあります。レスポンスコード :
説明	アクティブにする必要のあるルールは、CMRNS モジュールとともに格納されますが、 このモジュール内でエラーが発生しました。 最初の 3 文字が 'NAT' の場合、Natural のエラーが発生したことを示します。
対処	エラーをチェックしてください。または、データベース管理者に連絡してください。

NAT2613: 重複したフィールド名が見つかりました。

テキスト	重複したフィールド名が見つかりました。
説明	ファイル内でフィールド名はユニークである必要があります。
対処	ユニークなフィールド名を指定してください。

NAT2614: 整合性チェックルールが見つかりません。

テキスト	整合性チェックルールが見つかりません。
説明	DDM 生成時に、 ステータスがコンセプチュアル (概念) または自動の 整合性チェックを生成 / 再生成する必要があります。 しかし、この整合性チェック対するルールが格納されていません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT2615: オブジェクトが完全にアンロードされました。

テキスト	オブジェクトが完全にアンロードされました。
説明	WORK FILE 1 ですべてのオブジェクトクラスが正常にアンロードされました。
対処	

NAT2616: 長さを指定する必要があります。

テキスト	長さを指定する必要があります。
説明	長さを定義してはならない PE グループとグループ定義を除き、 Predict では長さがゼロのフィールドはサポートされていません。 グループ内の工レメンタリフィールドは、 長さ属性を持つ必要があります。
対処	有効な長さの定義を指定してください。

NAT2617: 英数字フィールドには小数桁を指定できません。

テキスト	英数字フィールドには小数桁を指定できません。
説明	フォーマット 'NUMERIC' または 'PACKED' のフィールドでのみ、 小数桁を使用できます。
対処	正しい長さを定義してください。

NAT2618: 英数字フィールドの最大長は **253** です。

テキスト	英数字フィールドの最大長は 253 です。
説明	エラーを修正してください。
対処	

NAT2619: Adabas 名が指定されていません。

テキスト	Adabas 名が指定されていません。
説明	REDEFINE グループのメンバを除き、 ユーザービューまたは Adabas ファイル内の全フィールドに、 Adabas ショートネームが指定されている必要があります。
対処	ショートネームを指定してください。

NAT2620: 標準ディスクリプタは **...** です。

テキスト	標準ディスクリプタは ... です。
説明	このフィールドは、標準ファイルに関連があります。 ディスクリプタの属性は標準ファイルで定義されており、 変更することはできません。 ディスクリプタ属性の例は次のとおりです。
対処	UQ、DE、SP、SB、PH 標準属性を変更しないでください。 メッセージに示されているオプションを入力してください。

NAT2621: マスタフィールドディスクリプタは **...** です。

テキスト	マスタフィールドディスクリプタは ... です。
説明	Adabas ディスクリプタのタイプが正しくありません。 スーパー、サブ、またはフォネティックディスクリプタを ユーザービューで変更することはできません。 これらのディスクリプタは、オリジナルファイルで定義されたものと 一致する必要があります ('UQ'、'DE' 以外)。 ユーザービューにある VSAM ディスクリプタタイプは、 物理 / 論理 VSAM ファイル内のものと同じである必要があります。

対処	メッセージに示されているディスクリプタタイプを入力してください。

NAT2622: ディスクリプタは **Adabas** と同じである必要があります。

テキスト	ディスクリプタは Adabas と同じである必要があります。
説明	このフィールドは、Adabas ファイルからコピーされたものなので、 オリジナルフィールドと同じディスクリプタオプションを 持っている必要があります。
対処	ディスクリプタオプションを変更しないでください。

NAT2623: 標準フィールド名は **...** です。

テキスト	標準フィールド名は ... です。
説明	入力されたオプションは、標準フィールドと異なります。
対処	表示された標準オプションを入力してください。または、非標準としてフィールドにマークをしてください。

NAT2624: 入力された **Adabas** の省略オプションが正しくありません。

テキスト	入力された Adabas の省略オプションが正しくありません。
説明	ユーザービューの Adabas の省略オプションと、 Adabas ファイル内の省略オプションは同一ではありません。
対処	表示されたオプションを入力してください。

NAT2625: フォーマット **'A'** は変更できません。

テキスト	フォーマット 'A' は変更できません。
説明	Adabas では、英数字から数字へのデータ変換はサポートされません。 マスタファイルのフィールドのフォーマットが 'A'（英数字）である場合、 ユーザービュー内の対応するフィールドのフォーマットも 'A' である必要があります。

対処	フォーマット定義に「A」を入力してください。

NAT2626: フィールドをディスクリプタとして定義できません。

テキスト	フィールドをディスクリプタとして定義できません。
説明	REDEFINE グループのフィールドまたは COUNTER フィールドをディスクリプタとして定義することはできません。
対処	エラーを修正してください。

NAT2627: ファイルに対してのみオプション **'U'** を指定できます。

テキスト	ファイルに対してのみオプション 'U' を指定できます。
説明	入力されたオプションは、このオブジェクトタイプには使用できません。 指定できるオプションの組み合わせを探すには、ヘルプ画面を参照してください。
対処	ファイルオプションをチェックしてください。

NAT2628: Adabas 名が正しくありません。

テキスト	Adabas 名が正しくありません。
説明	Adabas 名の第 1 字は英字である必要があります。 第 2 字には数字または英字を使用することができます。 Adabas 名は 2 文字です。 Adabas ショートネーム 'E0' から 'E9' までは、 編集マスクの指定用に予約されているので、使用できません。
対処	正しい Adabas 名を入力してください。

NAT2629: 重複する **Adabas** フィールド名が見つかりました。

テキスト	重複する Adabas フィールド名が見つかりました。
説明	CATALOG 処理中に、重複する Adabas フィールド名が見つかりました。 Adabas ファイル内でフィールド名はユニークである必要があります。 ただし、ユーザービューでは、Adabas ショートネームを 2 度以上指定することができます。

対処	ユニークな Adabas フィールド名を入力してください。

NAT2630: E0 から **E9** までを **Adabas** ショートネームとして使うことはできません。

テキスト	E0 から E9 までを Adabas ショートネームとして使うことはできません。
説明	E0 から E9 までを Adabas ショートネームとして使うことはできません。 E0~E9 は、編集マスクの指定用に予約されています。
対処	E0~E9 以外のショートネームを入力してください。

NAT2631: アンパックフィールドを固定フォーマットにできません。

テキスト	アンパックフィールドを固定フォーマットにできません。
説明	Adabas では、アンパックフィールドを固定フォーマットにすることはできません。
対処	オプションを変更してください。

NAT2632: レベルは **...** である必要があります。

テキスト	レベルは ... である必要があります。
説明	フィールドの最大レベル数は、Adabas ファイルまたは Adabas ユーザービューの場合は 7 です。 その他のファイルのフィールドレベルは、1~9 です。
対処	正しいレベル数を入力してください。

NAT2633: アクティブリファレンスユニットがインストールされていません。

テキスト	アクティブリファレンスユニットがインストールされていません。
説明	この環境では、選択ユニットの ACTIVE REFERENCE は インストールされていません。 このメッセージが発行されたのは、 メインメニューまたはコマンドプロセッサを通して、 アクティブリファレンスを呼び出そうとしたからです。

対処	選択ユニット ACTIVE REFERENCE をインストールしてください。

NAT2634: 再定義の長さが基本フィールドより長くなっています。

テキスト	再定義の長さが基本フィールドより長くなっています。
説明	REDEFINE グループの長さは、 基本 (再定義される) フィールドより長くできません。 つまり、フィールドの長さの合計は、 再定義されたフィールドの長さと一致する必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT2635: REDEFINE グループが、基本フィールドより短くなっています。

テキスト	REDEFINE グループが、基本フィールドより短くなっています。
説明	REDEFINE は、少なくとも基本フィールドと 同じ長さである必要があります。 つまり、基本フィールド内の全フィールドの長さの合計は、 REDEFINE の全フィールドの長さの合計と一致する必要があります。
対処	再定義をチェックし、必要な場合は、フィラーを定義してください。

NAT2636: 標準フォーマット名は **...** です。

テキスト	標準フォーマット名は ... です。
説明	フィールドに入力されたフォーマットが、 標準ファイルのフォーマットと異なります。
対処	標準フォーマットを入力してください。 または、非標準としてフィールドをマークしてください。

NAT2637: 標準長は **...** です。

テキスト	標準長は ... です。

説明	フィールドに入力されたフィールドの長さが、標準長と異なります。
対処	長さを修正してください。 または、非標準としてフィールドをマークしてください。

NAT2638: 標準 **Adabas** 名は **...** です。

テキスト	標準 Adabas 名は ... です。
説明	フィールドに入力されたショートネームは、 標準ファイルで指定されたものと異なります。
対処	標準名を入力してください。 または、非標準としてフィールドをマークしてください。

NAT2639: 標準フィールドタイプは **...** です。

テキスト	標準フィールドタイプは ... です。
説明	入力されたフィールドタイプが標準ファイルで指定されたものと異なります。
対処	標準フィールドタイプを入力してください。 または、非標準としてフィールドをマークしてください。

NAT2640: 無効なコマンドが入力されました。

テキスト	無効なコマンドが入力されました。
説明	指定したコマンドが正しくありません。 有効なコマンドに関する情報を得るために、 ヘルプ機能を使用してください。
対処	有効なコマンドを入力してください。 または、「?」を入力して、ヘルプ機能を使用してください。

NAT2641: 検索条件を満足するオブジェクトがありません。

テキスト	検索条件を満足するオブジェクトがありません。

説明	検索または表示で、ディクショナリ内のオブジェクトが選択されますが、指定された検索条件を満たすオブジェクトが見つかりません。
対処	

NAT2642: ファイルがデータベースにありません。

テキスト	ファイルがデータベースにありません。
説明	要求されたファイルが、指定されたデータベースには属していません。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT2643: 要求されたユーザーが組み込まれました。

テキスト	要求されたユーザーが組み込まれました。
説明	ユーザーがディクショナリに組み込まれました。
対処	

NAT2644: ファイルのないモジュール／レポートが正しくリストされました。

テキスト	ファイルのないモジュール / レポートが正しくリストされました。
説明	ファイルのないすべてのモジュールまたはレポートを見つけるために、検索を行いました。
対処	

NAT2645: ファイルが見つからないか、標準ファイルでありません。

テキスト	ファイルが見つからないか、標準ファイルでありません。
説明	参照されたファイルは、ディクショナリで定義されていないか、または標準ファイルではありません。

対処	標準ファイル名を入力してください。

NAT2646: フィールドがファイルにありません。

テキスト	フィールドがファイルにありません。
説明	指定されたフィールドはファイルに属していません。 そのフィールドをコピーできません。
対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2647: フィールドが見つかりません。

テキスト	フィールドが見つかりません。
説明	入力されたフィールドが見つかりませんでした。
対処	正しいフィールド ID を入力してください。

NAT2648: 24 までの **PF** キーを使用できます。

テキスト	24 までの PF キーを使用できます。
説明	1 から 24 までの PF キーのみがサポートされます。
対処	PF キーをチェックし、エラーを修正してください。

NAT2649: メンバはすでに存在しています。

テキスト	メンバはすでに存在しています。
説明	コピー要素のメンバ名がすでに存在しており、 REPLACE プションが 'Y' に設定されていないため、 コピーコードが生成されませんでした。
対処	新しいメンバ名を指定してください。 または、REPLACE オプションを使用してください。

NAT2650: コメント行の範囲は **0**〜**16** 行です。

テキスト	コメント行の範囲は 0~16 行です。
説明	Predict は、16 行までのコメントをサポートします。最小はゼロです。
対処	0~16 までの値を指定してください。

53 Natural システムエラーメッセージ 2651～2700

NAT2651: 生成の場合、 **FB = 'Y'**、**DSECT = 'N'**、および **DS/DC = 'DC'** を入力する必要があります。

テキスト	生成の場合、 FB = 'Y'、DSECT = 'N'、および DS/DC = 'DC' を入力する必要があります。
説明	フォーマットバッファを生成する場合、 必ず DSECT = 'N' を宣言し、 DS/DC オプションに 'DC' を設定する必要があります。
対処	DSECT オプションに「N」を入力し、 'DS/DC' オプションに「DC」を入力します。

NAT2652: フォーマットバッファはファイルタイプ **'A'** または **'U'** に対してのみ生成されます。

テキスト	フォーマットバッファはファイルタイプ 'A' または 'U' に対してのみ生成されます。
説明	Adabas ファイルまたはユーザービューに対してのみ、 フォーマットバッファを生成することができます。
対処	フォーマットバッファに「N」を入力してください。

NAT2653: ファイルが見つかりません。

テキスト	ファイルが見つかりません。
説明	コピーコードを生成するには、 正しいファイル名を入力する必要があります。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT2654: VSAM の '**RRDS**' ファイルにキーは指定できません。

テキスト	VSAM の 'RRDS' ファイルにキーは指定できません。
説明	VSAM の 'RRDS' ファイルに ディスクリプタタイプを指定することはできません。
対処	別のファイル編成を使用してください。または、指定したキーを削除してください。

NAT2655: 日付が正しくありません。

テキスト	日付が正しくありません。
説明	入力された日付のフォーマットまたは値が正しくありません。 日付の指定は、JJ-MM-DD のフォーマットを 使用する必要があります。
対処	正しい日付を入力します。

NAT2656: 「**DS**」または「**DC**」と入力します。

テキスト	「DS」または「DC」と入力します。
説明	アセンブラ生成で、'DC' または 'DS' ステートメントは ストレージ定義のために使用します。 必要なステートメントを選択してください。
対処	「DS」または「DC」と入力します。

NAT2657: 「**Y**」または「**N**」と入力します。

テキスト	「Y」または「N」と入力します。
説明	この入力フィールドには、'Y' または 'N' のみを指定できます。
対処	エラーを修正してください。

NAT2658: 生成されたコードが保存されました。

テキスト	生成されたコードが保存されました。
説明	指定されたライブラリに生成されたコードをメンバとして保存しました。
対処	

NAT2659: ソースエリアにコードが生成されました。

テキスト	ソースエリアにコードが生成されました。
説明	生成されたコードがソースエリアに保存され、今後編集することができます。 生成機能が正常に終了しました。
対処	

NAT2660: 生成処理が異常終了しました。

テキスト	生成処理が異常終了しました。
説明	COBOL コピーコード、PL/1 インクルードコード、 アセンブラコピーコード、日付定義モジュールのいずれかを 生成中にエラーが発生しました。 詳細なメッセージはこのメッセージの前に表示されました。
対処	エラーを修正し、生成機能を再スタートしてください。

NAT2661: 重複名が見つかりました。

テキスト	重複名が見つかりました。
説明	コピーコードの生成中に重複名が見つかりました。 例えば、フィールド名が長すぎると切り捨てられます。
対処	ファイル内のフィールド名を修正してください。

NAT2662: 概念／標準ファイルにコピーコードは生成できません。

テキスト	概念 / 標準ファイルにコピーコードは生成できません。
説明	概念ファイルまたは標準ファイルに コピーコードを生成しようとしましたが、 生成可能なファイルタイプは Adabas ファイル、ユーザービュー、VSAM などの実ファイルタイプに限定されるので、生成できませんでした。
対処	概念ファイルまたは標準ファイルにコピーコードを生成しないでください。

NAT2663: レベル増加の範囲は **1**〜**40** です。

テキスト	レベル増加の範囲は 1~40 です。
説明	レベルの増加を指定する場合、その範囲は 1~40 とする必要があります。
対処	レベルの増加値を修正してください。

NAT2664: 開始レベルは、**1**〜**40** です。

テキスト	開始レベルは、1~40 です。
説明	0 より大きい開始レベルを入力してください。
対処	

NAT2665: 複数のプライマリキーが見つかりました。

テキスト	複数のプライマリキーが見つかりました。
説明	1 つの要素のみをプライマリキーに指定することができます。
対処	プライマリキー定義を修正してください。

NAT2666: プライマリキーが見つかりません。

テキスト	プライマリキーが見つかりません。
説明	この VSAM ファイルにプライマリキーを 1 つ定義する必要があります。
対処	プライマリキーを 1 つ指定してください。

NAT2667: 生成コードが置き換えられました。

テキスト	生成コードが置き換えられました。
説明	生成時に、Predict は、生成コードが格納される ターゲットライブラリ / メンバが存在するかどうかチェックします。 古いコードを新しいコードに置き換える命令に従って、 Predict は古いコードを探して、置き換えました。
対処	

NAT2668: ファイルの再生成は必要ありません。

テキスト	ファイルの再生成は必要ありません。
説明	生成後、いずれのファイルも修正されていません。
対処	

NAT2669: カウンタフィールドに英字フォーマットは使用できません。

テキスト	カウンタフィールドに英字フォーマットは使用できません。
説明	カウンタフィールドは数値フィールドです。 フィーマットは、'N'、'P'、'U'、'B'、または 'I' である必要があります。
対処	数値フォーマットに変更してください。

NAT2670: 入力ファイルがユーザービューまたはシーケンシャルファイルではありません。

テキスト	入力ファイルがユーザービューまたはシーケンシャルファイルではありません。
説明	Adabas V5.1 では、ADACMP ユーティリティの入力データを Adabas ファイルのユーザービュー、または タイプ 'S'(シーケンシャル)ファイル として記述することができます。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT2671: DDM はすでに存在しています。

テキスト	DDM はすでに存在しています。
説明	このメッセージは警告です。 REPLACE オプション = 'N' が指定され、 古いデータ定義モジュール(DDM)が見つかったため、 発行されました。 既存の DDM は置き換えられません。
対処	REPLACE オプション = 'Y' を指定してください。

NAT2672: PE または '**MU**' に対してキーは指定できません。

テキスト	PE または 'MU' に対してキーは指定できません。
説明	VSAM ファイルにある ピリオディックグループおよびマルチプルフィールドに対して、 キー定義を行うことはできません。

対処	キーフィールドを空白にしてください。

NAT2673: フィールドが標準ファイルに連結されていません。

テキスト	フィールドが標準ファイルに連結されていません。
説明	フィールドを非標準に設定し、 そのフィールドが標準ファイルに連結されていない場合、 このメッセージが発行されます。
対処	非標準フラグを削除してください。

NAT2674: データベース番号が正しくありません。

テキスト	データベース番号が正しくありません。
説明	Adabas のデータベース番号は 254 を超えてはなりません。 データベース番号 255 は内部使用のために予約されています。 Natural V1.2 では、データベース番号 254 は、VSAM のデータベース用に予約されています。
対処	正しいデータベース番号を入力します。

NAT2675: ファイル番号（**FNR**）が正しくありません。

テキスト	ファイル番号 (FNR) が正しくありません。
説明	Adabas は、255 個の異なるファイルのみサポートします。
対処	256 未満の数を入力してください。

NAT2676: プライマリシーケンスフィールドがファイルにありません。

テキスト	プライマリシーケンスフィールドがファイルにありません。
説明	プライマリシーケンスフィールドは、 ファイルを読み込むデフォルトのディスクリプタを指定します。 このフィールドはファイルに属している必要があります。

対処	プライマリシーケンスフィールドを修正してください。

NAT2677: ターゲットデータベースがアクティブではありません。

テキスト	ターゲットデータベースがアクティブではありません。
説明	データ定義モジュール (DDM) を ターゲットデータベース用に生成する場合、 ターゲットデータベースはアクティブでなければなりません。
対処	ターゲットデータベースを起動してください。

NAT2678: 入力ファイルは **Adabas** ファイルのユーザービューではありません。

テキスト	入力ファイルは Adabas ファイルのユーザービューではありません。
説明	Adabas V5.1 では、ADACMP ユーティリティの入力データは、 入力された Adabas ファイルの対応するユーザービューとみなされます。
対処	入力ファイル ID を修正するか、 または、Adabas ファイルのユーザービューあるいはシーケンシャルファイルとして 入力データを定義してください。

NAT2679: ファイル **ID** を入力する必要があります。

テキスト	ファイル ID を入力する必要があります。
説明	ファイル ID はこの機能の必須パラメータです。
対処	正しいファイル ID を入力します。

NAT2680: データベース番号がありません。

テキスト	データベース番号がありません。
説明	ファイルから DDM を生成する際、DDM はデータベース番号に依存するので、 指定されたデータベース ID に番号がなければなりません。 データベース ID が入力されていない場合は、データベース番号は DDM 内で 0 に設定されます。 この場合、そのデータベース番号はランタイム時にパラメータ機能 (ADAPARM モジュール、ダイナミック Natural パラメータ など) から取り込まれます。

対処	正しいデータベース番号を入力してください。または、データベース ID を空白にしてください。

NAT2681: プライマリシーケンスフィールドがディスクリプタではありません。

テキスト	プライマリシーケンスフィールドがディスクリプタではありません。
説明	プライマリシーケンスフィールドは、 ファイルを読み込むデフォルトのディスクリプタを定義します。 プライマリシーケンスフィールドがディスクリプタでない場合、READ ステートメントでデフォルトは有効ではありません。 このため、データ定義モジュール (DDM) が生成されません。
対処	有効なプライマリシーケンスフィールド、つまりディスクリプタを指定してください。

NAT2682: Adabas エラーが発生しました。

テキスト	Adabas エラーが発生しました。
説明	リストされた Adabas レスポンスコードが返されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT2683: プログラム名または「*****」を入力してください。

テキスト	プログラム名か「*」を入力します。
説明	プログラムの XREF データを削除する場合、 プログラム名または「*」を指定する必要があります。 プリプロセッサの異常終了データを削除する場合は、 アスタリスク (*) を入力する必要があります。
対処	プログラム名か「*」を入力します。

NAT2684: コマンドがありません。

テキスト	コマンドがありません。

説明	Predict のバージョン 1 からバージョン 2 へのデータ変換が バッチモードで起動されましたが、 コマンドが提供されなかったため、コマンドプロセッサがこのメッセージを発行しました。
対処	バッチセッションを再スタートし、正しいコマンドを指定してください。

NAT2685: 組み込まれる **DDM** が **VSAM DDM** ではありません。

テキスト	組み込まれる DDM が VSAM DDM ではありません。
説明	VSAM でないタイプの DDM を組み込もうとしました。
対処	DDM のタイプをチェックしてください。

NAT2686: このファイルは、セキュリティ保護されていません。

テキスト	このファイルは、セキュリティ保護されていません。
説明	このファイルは、セキュリティ保護されていません。 したがって、セキュリティ定義を生成することはできません。
対処	保護されていないファイルに対して、セキュリティ定義を生成しないでください。

NAT2687: サブ／スーパーディスクリプタのソースフィールドが **DDM** にありません。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタのソースフィールドが DDM にありません。
説明	サブ / スーパーディスクリプタ定義で指定されたフィールドが、 DDM でフィールドとして定義されていません。 サブ / スーパーディスクリプタは、 DDM で定義されたフィールドのみを参照することができます。
対処	サブ / スーパーディスクリプタのソースフィールド名を チェックしてください。

NAT2688: ファイルタイプが間違っています。

テキスト	ファイルタイプが間違っています。

説明	Adabas ファイルとそのユーザービュー、および VSAM ファイルとそのユーザービューに対してのみ データ定義モジュールを生成できます。 (指定できるファイルタイプは 'A'、'U'、'V'、'R'、'L'、または 'W' のみ)
対処	正しいファイルタイプを入力します。

NAT2689: 最大 **90** のサブ／スーパーディスクリプタを組み込むことができます。

テキスト	最大 90 のサブ / スーパーディスクリプタを組み込むことができます。
説明	組み込まれた DDM が、90 を超えるサブ / スーパーディスクリプタを保有しています。 90 までのディスクリプタを組み込むことができます。
対処	

NAT2690: ファイルが **Adabas** ファイルではありません。

テキスト	ファイルが Adabas ファイルではありません。
説明	ADAWAN/ADACMP または Adabas セキュリティ定義の生成は、 Adabas ファイルに対してのみ実行可能です。
対処	ファイルタイプをチェックしてください。

NAT2691: フォーマットには **F**、**FB**、**V**、**VB**、**U**、または空白のみ指定できます。

テキスト	フォーマットには F、FB、V、VB、U、または空白のみ指定できます。
説明	ADAWAN/ADACMP 定義の生成には、次のレコードフォーマットを指定する必要があります。 F - 固定 FB - 固定ブロック V - 可変 VB - 可変ブロック U - 非ブロック ' ' - 指定なし
対処	エラーを修正してください。

NAT2692: 重複するファイルレコードが見つかりました。

テキスト	重複するファイルレコードが見つかりました。
説明	Predict では、同じオブジェクトタイプ内に 重複する名前を持つことはできません。 矛盾が生じた場合にこのメッセージが発行されます。 アンロードファイル処理中に、 MIGRATE (移行) ユーティリティによって この重複レコードは削除されます。
対処	アンロードし、その後 MIGRATE ユーティリティを使ってファイルをロードしてください。

NAT2693: セキュリティ定義はすでに存在しています。

テキスト	セキュリティ定義はすでに存在しています。
説明	セキュリティ定義が存在する DDM を生成しようとすると、 このメッセージが発行されます。
対処	必要な場合は、セキュリティ定義を変更してください。

NAT2694: サイファ（暗号）コードを入力する必要があります。

テキスト	サイファ (暗号) コードを入力する必要があります。
説明	データは、暗号化してデータベースにロードする必要があります。
対処	サイファコードを入力してください。 または、データベース管理者に連絡してください。

NAT2695: 指定されたオブジェクトは正常にアンロードされました。

テキスト	指定されたオブジェクトは正常にアンロードされました。
説明	オブジェクトはワークファイル 1 に正常にアンロードされました。
対処	

NAT2696: オブジェクトが見つかりません。

テキスト	オブジェクトが見つかりません。
説明	アンロードまたはロードを実行するには、 オブジェクト ID およびオブジェクトタイプを 指定する必要があります。 指定された条件に合うオブジェクトが見つかりませんでした。
対処	

NAT2697: サイファ（暗号）コードは使用できません。

テキスト	サイファ (暗号) コードは使用できません。
説明	データをデータベースにロードする場合、データは暗号化しないでください。
対処	サイファコードをリセットしてください。 または、データベース管理者に連絡してください。

NAT2698: VSAM ファイル内のフィールド長が、ユーザービューのフィールド長と異なります。

テキスト	VSAM ファイル内のフィールド長が、ユーザービューのフィールド長と異なります。
説明	一般に、VSAM ファイルを使用しているときは、フォーマットの上書きはできません。 ただし、ユーザービューで英数字フィールドをオリジナルフィールドより 短く定義できます (長くすることはできません)。 数字フィールドの属性は、マスタフィールドのものと同一である必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT2699: VSAM ファイルで定義されたフォーマットのタイプと異なります。

テキスト	VSAM ファイルで定義されたフォーマットのタイプと異なります。
説明	VSAM のユーザービューを定義する場合、そのフィールドのフォーマットは、 変更することはできず、 マスタファイルのフィールドのフォーマットと同一である必要があります。

対処	VSAM ファイルのユーザービュー内のフィールドのフォーマットを 変更しないでください。

NAT2700: X と **Y** のマークの間に '**.I**' および '**.W**' を使用できません。

テキスト	X と Y のマークの間に '.I' および '.W' を使用できません。
説明	行コマンド '.I' または '.W'、および '.MX-Y' または '.CX-Y' が正しく使用されないと、 このメッセージが発行されます。 X と Y マークの間の行をコピーまたは移動して、 同時に 2 つのマークの間の行に挿入することはできません。
対処	コピーまたは移動する行の間に、行を挿入しないでください。

54 Natural システムエラーメッセージ 2701～2750

NAT2701: 行サブコマンドが、ソース行の外にあります。

テキスト	行サブコマンドが、ソース行の外にあります。
説明	入力された行サブコマンドが、ソース行の外にあります。
対処	ソース行の外にコマンドを入力することはできません。

NAT2702: X または '**Y**' を含まない行コマンド '**.M**' が見つかりました。

テキスト	X または 'Y' を含まない行コマンド '.M' が見つかりました。
説明	このメッセージは、エディタが行コマンド '.M' を認識したが、 'X'、'Y'、または 'X-Y' がないことを意味します。 行コマンド '.M' には、 次の 3 つの形式があります。 .MX .MY .MX-Y その他の形式はすべて無効です。
対処	データを移動する場合は、上記の 3 つのコマンドのいずれかを入力してください。

NAT2703: X でマークされている行がありません。

テキスト	X でマークされている行がありません。
説明	X でマークされた行を参照する編集コマンドが 入力されましたが、マークされている行がありません。
対処	必要な行を 'X' でマークしてください。

NAT2704: Y でマークされている行がありません。

テキスト	Y でマークされている行がありません。
説明	Y でマークされた行を参照する編集コマンドが 入力されましたが、マークされている行がありません。
対処	必要な行を 'Y' でマークしてください。

NAT2705: Y の位置が **X** の位置より前にあります。

テキスト	Y の位置が X の位置より前にあります。
説明	マークされた 2 行に関連のある行コマンドが入力されましたが、 'X' でマークされた行が、'Y' でマークされた行の後にあります。
対処	マークの位置を入れ替えてください。

NAT2706: コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。

テキスト	コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。
説明	ソース行の間にあるエリアにソース行をコピーしようとしました。
対処	X および 'Y' でマークされた行の間に 行コマンドを入力しないでください。

NAT2707: 最後の行に **'.J'** が入力されました。

テキスト	最後の行に '.J' が入力されました。
説明	最後の行に '.J' 行コマンド (結合) を入力することはできません。
対処	

NAT2708: 無効な編集コマンドが入力されました。

テキスト	無効な編集コマンドが入力されました。
説明	無効な編集コマンドが入力されました。 有効な編集コマンドは、ヘルプ画面で説明されています。
対処	有効なコマンドを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

NAT2709: 同じデータを置き換えようとしました。

テキスト	同じデータを置き換えようとしました。
説明	データをスキャンしてそれを同じデータで置き換えないでください。
対処	スキャンする文字列とは異なる置換文字列を入力してください。

NAT2710: ワークファイル **1** からすべてのオブジェクトがロードされました。

テキスト	ワークファイル 1 からすべてのオブジェクトがロードされました。
説明	MIGRATE ユーティリティによって、 Predict のすべてのオブジェクトがワークファイル 1 からロードされました。
対処	

NAT2711: VSAM ファイルの **DDNAME** がありません。

テキスト	VSAM ファイルの DDNAME がありません。
説明	VSAM ファイルの DDM を生成するには、DDNAME が必要です。
対処	Predict のファイル定義に DDNAME を追加してください。

NAT2712: REPORT モードのルールを生成することはできません。

テキスト	REPORT モードのルールを生成することはできません。
説明	モードが 'STRUCT' (SM = ON) に設定されているので、'REPORT' モードに変更することはできません。
対処	DDA に連絡してください。

NAT2713: エディットセッションが終了しました。

テキスト	エディットセッションが終了しました。
説明	エディットセッションが、ユーザーの発行した編集コマンドにより終了しました。更新は行われませんでした。
対処	

NAT2714: Adabas ショートネームが使用できません。

テキスト	Adabas ショートネームが使用できません。
説明	Adabas ショートネームをこれ以上使用できないので、Adabas ショートネームの生成が異常終了しました。
対処	ファイルのフィールド数を減らしてください。

NAT2715: 標準ファイルが更新されました。

テキスト	標準ファイルが更新されました。

説明	標準ファイルが更新されました。 標準ファイルに連結されたすべての要素も 更新されました (自動更新処理)。
対処	

NAT2716: 標準ファイルにすでに全フィールドが存在しています。

テキスト	標準ファイルにすでに全フィールドが存在しています。
説明	他の標準ファイルにすでに結合されているフィールドを持つ ファイルを使用して、PUSH BACKWARD 機能を実行しようとしました。 1 つのフィールドは 1 つの標準ファイルにのみ結合できるので、 このフィールドは標準ファイルにコピーされませんでした。
対処	

NAT2717: プログラムタイプが正しくありません。

テキスト	プログラムタイプが正しくありません。
説明	有効なプログラムタイプは次のとおりです。 'F' - Fetch プログラム 'M' - Map 'N' - Call Subroutine 'S' - Perform Subroutine
対処	プログラムタイプを修正してください。

NAT2718: サブ／スーパー／フォネティックディスクリプタのソースフィールドがありません。

テキスト	サブ / スーパー / フォネティックディスクリプタのソースフィールドがありません。
説明	DDM 生成中に工ラーが発生しました。 ソースフィールドを持たないスーパーディスクリプタが見つかったか、または スーパーディスクリプタのソースフィールドがファイルに見つかりませんでした。 このため、DDM の生成が中止されました。
対処	ファイルをチェックして、工ラーを修正します。

NAT2719: CHANGE コマンドの使用が正しくありません。

テキスト	CHANGE コマンドの使用が正しくありません。
説明	この強力な編集コマンドは、文字列の変更や、空値との置換を行いますが、2 つを同時に行うことはできません。
対処	空値または新しい文字列で置き換えてください。

NAT2720: 標準フィールドに対して **RENAME** はできません。

テキスト	標準フィールドに対して RENAME はできません。
説明	標準フィールドの名前は変更できません。
対処	標準フィールドを RENAME しないでください。

NAT2721: ユーザーによりファイルがロックされています。

テキスト	ユーザーによりファイルがロックされています。
説明	ファイルの RENAME または RENUMBER 機能が異常終了した場合、ファイルはロック状態から解除されません。
対処	Predict の RECOVERY 機能を開始してください。

NAT2722: カーソルがソース行の外にあります。

テキスト	カーソルがソース行の外にあります。
説明	.S 行コマンドを使用する場合、 カーソルの位置がソース行内にあるかどうかがテストされます。 ソース行内にない場合に、このメッセージが発行されます。
対処	行を分割する場合、 カーソルはソース行を分割する位置に置いてください。

NAT2723: 入力ファイルがユーザーによってロックされています。

テキスト	入力ファイルがユーザーによってロックされています。
説明	ADACMP ユーティリティの入力データを記述するファイルが、 ユーザーによってロックされています。
対処	Predict RECOVERY 機能を使用して、ファイルを解放してください。

NAT2724: 削除した行は修正できません。

テキスト	削除した行は修正できません。
説明	エディタで一部のフィールドを削除できます。 削除したフィールドは削除済みとマークされ、画面上にそのまま残ります。 ただし、修正することはできません。
対処	削除済みのフィールドを修正しないでください。

NAT2725: 2 番目の '**REDEFINE**' のレベルが正しくありません。

テキスト	2 番目の 'REDEFINE' のレベルが正しくありません。
説明	フィールド名 'FILLER' を含む追加の 'REDEFINE' は、 ベースフィールドと同じレベルを持っていません。
対処	エラーを修正してください。

NAT2726: 自動ルールまたはフリールールは **Natural V2** だけで保持してください。

テキスト	自動ルールまたはフリールールは Natural V2 だけで保持してください。
説明	AUTOMATIC または 'FREE' ルールは、Natural V2 の機能なので、 その環境の中だけで保持することができます。
対処	Natural V2 を使用してください。

NAT2727: Natural Security には '**SCRATCH**' はありません。

テキスト	Natural Security には 'SCRATCH' はありません。
説明	Natural Security がアクティブな場合、 'PURGE DATABASE' 機能のみを使用できます。 データベースの関連ファイルは明示的に削除する必要があります。
対処	ファンクションコードに PURGE を入力してください。

NAT2728: .J コマンドは画面の先頭行では使えません。

テキスト	.J コマンドは画面の先頭行では使えません。
説明	.J コマンドは現在行と先行行を接合します。 この場合は先行行がないので、.J コマンドは実行されません。
対処	.J コマンドを先頭行に入力しないでください。

NAT2729: カーソルの位置を分割ポイントに合わてください。

テキスト	カーソルの位置を分割ポイントに合わてください。
説明	行を分割するには、 分割する位置にカーソルを置く必要があります。 次に、Enter キーを押して、行を分割します。
対処	分割する位置にカーソルを置いてから、Enter を押してください。

NAT2730: シフト方向（**+NN**、**-NN**）が指定されていません。

テキスト	シフト方向 (+NN、-NN) が指定されていません。
説明	シフト編集コマンドは 1 つのパラメータ、つまり方向を必要とします。 このパラメータは、省略可能な符号付きの数値です。 省略すると、デフォルト値 '+3' とみなされます。
対処	シフトパラメータ (+NN または -NN) を入力してください。

NAT2731: 行コマンドのパラメータが正しくありません。

テキスト	行コマンドのパラメータが正しくありません。
説明	いくつかの行コマンドはパラメータを持ちます。 例えば、行コマンド '.C(NNN)' は、行を ↩ 'NNN'" 回コピーします。 ただし、行コマンド '.C(0)' は「この行をゼロ回コピーせよ」 ということになり、意味がありません。 このため、上記のメッセージが発行されます。
対処	行コマンドに正しいパラメータを入力してください。

NAT2732: SHIFT では、**X** 行が画面上になければなりません。

テキスト	SHIFT では、X 行が画面上になければなりません。
説明	文字列をシフトするには、画面上に X 行が 必要です。 文字列をシフトした後、文字列の一部分が画面上にある必要があります。
対処	コマンド行に .X を入力して、X 行を位置付けしてください。

NAT2733: DDM が存在しません。

テキスト	DDM が存在しません。
説明	指定された DDM が存在しないので、組み込みが実行できません。 DDM が存在しないか、または別の Natural システムファイルにカタログされていることが考えられます。
対処	正しい DDM を入力してください。 正しい Natural システムファイルが指定されていることを 確認してください。

NAT2734: オブジェクトが正常にロードされました。

テキスト	オブジェクトが正常にロードされました。
説明	オブジェクトがディクショナリにロードされました。

対処	

NAT2735: ワークファイル **1** からオブジェクトがロードされませんでした。

テキスト	ワークファイル 1 からオブジェクトがロードされませんでした。
説明	入力ファイル上 (ワークファイル 1) のオブジェクトが 1 つもロードされませんでした。 入力ファイルが空であるか、または 検索条件が入力ファイル上のどのオブジェクトにも一致しなかったことが考えられます。
対処	ロード条件を確認してください。

NAT2736: ワークファイル **1** のグループに認識できないオブジェクトタイプがあります。

テキスト	ワークファイル 1 のグループに認識できないオブジェクトタイプがあります。
説明	ワークファイル上のオブジェクトのそれぞれのグループの前に、 制御レコードがあります。 制御レコードが見つからなかった場合、このエラーメッセージが発行されます。
対処	シーケンシャルファイルに正しい制御レコードが 書き込まれていることを確認してください。

NAT2737: ワークファイル **1** からすべてのオブジェクトがロードされました。

テキスト	ワークファイル 1 からすべてのオブジェクトがロードされました。
説明	このメッセージは、ワークファイル 1 から全オブジェクトがロードされたことを示します。
対処	

NAT2738: 名前 **+** 接頭辞 **+** 接尾辞 **>** 32文字です。

テキスト	名前 + 接頭辞 + 接尾辞 > 32文字です。
説明	結果として生じた名前、つまり名前の接頭辞と接尾辞の結合が 長過ぎたので、オブジェクトの新しい名前を32文字までに切り捨てました。

対処	このような長い接頭辞と接尾辞を使用しないでください。

NAT2739警告**:** オーナーはロードされていません。

テキスト	警告：オーナーはロードされていません。
説明	DDA がオーナースイッチを 'FORCE'（強制）に設定しています。 ロードされたオブジェクトにはオーナー属性が必要ですが、 この場合それがありません。 このメッセージは単なる警告です。
対処	要求されたオーナーをオブジェクトに登録してください。

NAT2740: オブジェクトに対する記述が見つかりません。

テキスト	オブジェクトに対する記述が見つかりません。
説明	指定されたオブジェクトに対する記述が存在しません。
対処	必要な記述をオブジェクトに追加してください。

NAT2741: オブジェクトがすでに存在します。

テキスト	オブジェクトがすでに存在します。
説明	同じオブジェクト ID を持つオブジェクトがすでに存在しています。
対処	オブジェクト ID をチェックして、エラーを修正してください。

NAT2742: 使用できるファイル番号が見つかりません。

テキスト	使用できるファイル番号が見つかりません。
説明	同じ Adabas ファイル番号で 10 個以上のファイルを 定義しようとしました。 Predict のファイル番号は 4 桁です（n001～n255）。 最初の桁 'n' はファイルの区別をするもので、 末尾 3 桁は Adabas ファイル番号です。

対処	すべてのファイルが必要かどうかをチェックし、不要なファイルを削除してください。

NAT2743: DDM が正常に組み込まれました。

テキスト	DDM が正常に組み込まれました。
説明	Predict で生成されていない DDM がディクショナリに組み込まれました。
対処	

NAT2744: ファイルバッファが小さすぎます。

テキスト	ファイルバッファが小さすぎます。
説明	ファイルバッファは、DDM を組み込めるだけの十分な大きさである必要があります。 バッファが小さすぎたため、DDM が組み込まれませんでした。 ファイルバッファのサイズは、ダイナミックパラメータ FSIZE で 指定されます。
対処	ファイルバッファのサイズを増やしてください。

NAT2745: オブジェクトがロードされませんでした。

テキスト	オブジェクトがロードされませんでした。
説明	適当なオブジェクトが存在しませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正します。

NAT2746: オブジェクトがロードされました。

テキスト	オブジェクトがロードされました。
説明	オブジェクトが正常にロードされました。
対処	

NAT2747: 不正なレコードが見つかりました。

テキスト	不正なレコードが見つかりました。
説明	読み込まれたレコードが正しくありません。例えば、長さが間違っています。
対処	正しいレコードを生成してください。 MIGRATE (移行) ユーティリティのアンロード機能で 入力ファイルが生成された場合は、SAG に連絡してください。

NAT2748: ファイル番号が指定されていません。

テキスト	ファイル番号が指定されていません。
説明	FDT を組み込むには、 FDT とファイル間の関係を設定するファイル番号が必要です。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT2749: 警告**:KEYWORD**（キーワード）が定義されていません。

テキスト	警告：KEYWORD (キーワード) が定義されていません。
説明	Predict データはロード中にチェックされます。 そのときにキーワードがないと、警告が送られます。 このデータセットに属するキーワードは、後でロードできます。
対処	全データがロードされた後に、キーをチェックしてください。

NAT2750: 警告**:**オーナーが定義されていません。

テキスト	警告：オーナーが定義されていません。
説明	Predict データのロード中に、ロードされたオブジェクトのオーナーが定義されているかどうかチェックします。 このメッセージは警告です。 オーナーレコードは後でロードされる場合があります。 オーナーレコードは、同じデータセットに属している必要があります。

対処	すべてのレコードがロードされた後に、データをチェックしてください。

55 Natural システムエラーメッセージ 2751～2800

NAT2751: オブジェクトが置き換えられました。

テキスト	オブジェクトが置き換えられました。
説明	ロード処理中に、Predict のオブジェクト記述が置き換えられました。
対処	

NAT2752: ファイルタイプが **'S'** に変更されました。

テキスト	ファイルタイプが 'S' に変更されました。
説明	Predict バージョン 1 で保存した VSAM ファイルをロードすると、Predict バージョン 2 では VSAM ファイル定義の属性が足りないためファイルタイプ 'S' に設定されます。
対処	VSAM ファイルのシーケンシャルファイルを手動で変更し、必要な属性を追加してください。

NAT2753: Adabas フィールド名が指定されていません。

テキスト	Adabas フィールド名が指定されていません。

説明	ロード処理中、Adabas ショートネームなしのフィールドが ロードされました。 このメッセージは警告です。 一部のファイルは、全フィールドで Adabas のショートネームが必要となります。 フィールドはロードされましたが、ファイル内のデータは正しくありません。 これらのフィールドに Adabas ショートネームを定義してください。
対処	不正なフィールドを修正してください。

NAT2754: FDT が組み込まれました。

テキスト	FDT が組み込まれました。
説明	FDT は正常に組み込まれました。
対処	

NAT2755: マスタフィールドがありません。

テキスト	マスタフィールドがありません。
説明	ユーザービューをロードする場合、関連 Adabas フィールドが Predict に 存在しないと、このメッセージが送られます。
対処	関連 Adabas ファイルを最初にロードしてください。

NAT2756: Natural Security がインストールされていません。

テキスト	Natural Security がインストールされていません。
説明	Natural Security 機能がインストールされていません。 このため、セキュリティオプションは利用できません。
対処	- セキュリティオプションを指定しないでください。または - Natural Security システムをインストールしてください。

NAT2757: PREFIX（接頭辞）の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	PREFIX (接頭辞) の最初の文字が英字ではありません。
説明	PREFIXは、英字で始まる必要があります。
対処	接頭辞をチェックし、エラーを修正してください。

NAT2758: VERSIONS コマンドのみ使用できます。

テキスト	VERSIONS コマンドのみ使用できます。
説明	Predict バージョン 1 データに対して、'UNLOAD' コマンドは使用できません。
対処	VERSIONS コマンドを使用してください。

NAT2759: 関連マスタファイルが見つかりません。 ファイルがロードされていません。

テキスト	関連マスタファイルが見つかりません。 ファイルがロードされていません。
説明	ユーザービューをロードしようとして、関連 Adabas ファイルが存在していない場合に、このメッセージが発行されます。
対処	Adabas ファイルを最初にロードしてください。

NAT2760: ユーザー出口プログラムがありません。

テキスト	ユーザー出口プログラムがありません。
説明	Predict DDA SERVICES を通じてユーザー出口を作動させる場合、ユーザー出口プログラムが必要です。
対処	ユーザー出口プログラムをカタログしてください。

NAT2761: O、**'N'**、**'Y'**、または **'F'** を入力してください。

テキスト	O、'N'、'Y'、または 'F' を入力してください。
説明	ジェネラルシステムデフォルトパラメータ EDIT OWNER/DESCRIPTION に入力可能な値は、O、N、Y、または F です。 詳細については、ドキュメントを参照してください。
対処	

NAT2762: ファイルはロックされていません。

テキスト	ファイルはロックされていません。
説明	ロックされていないファイルに対して RECOVER 機能を使うと、このメッセージが表示されます。
対処	ファイル ID を確認してください。

NAT2763:関連マスタファイルが拒否されたため、ユーザービューがロードできませんでした。

テキスト	関連マスタファイルが拒否されたため、ユーザービューがロードできませんでした。
説明	ユーザービューをロードしようとしましたが、 関連マスタファイルの番号がユニークでなかったため、 関連マスタファイルが拒否されました。
対処	使用するファイル番号をチェックしてください。

NAT2764: プリプロセッサが指定されると、**Natural** データは使用できません。

テキスト	プリプロセッサが指定されると、Natural データは使用できません。
説明	Predict プリプロセッサを使用してアクティブなクロスリファレンスを削除すると、Natural パラメータデータを使用できません。
対処	Natural データを指定しないでください。

NAT2765: プログラム **ID** を指定すると、ライブラリ **ID** も指定する必要があります。

テキスト	プログラム ID を指定すると、ライブラリ ID も指定する必要があります。
説明	プログラム名を使用して評価を行う場合、ライブラリ名も指定する必要があります。 ライブラリ名のみでも指定できます。
対処	ライブラリ名を指定します。

NAT2766: プリプロセッサの異常終了データを削除しました。

テキスト	プリプロセッサの異常終了データを削除しました。
説明	0 でないコンディションコードでプリプロセッサを終了すると、 データディクショナリ内にアクティブリファレンスも格納されます。 こうした異常終了データは、DDA SERVICES の特殊機能を使用して削除できます。
対処	

NAT2767: 130 を超えるフィールドが定義されていません。

テキスト	130 を超えるフィールドが定義されていません。
説明	使用されているが、Predict に定義されていないフィールドは、 130 まで表示されます。
対処	使用するフィールドを Predict に定義してください。

NAT2768: XREF データを削除しました。

テキスト	XREF データを削除しました。
説明	アクティブクロスリファレンスレコードが正常に削除されました。
対処	

NAT2769: ユーザー **ID** または「**.**」を入力してください。

テキスト	ユーザー ID または「.」を入力してください。
説明	オーナーエディタを使用するときに、オブジェクトのオーナーを入力できます。 オーナーにユーザー定義がないと、'?' のマークが付けられます。 オーナーにユーザーを定義するには、それぞれのエディタ行に「.E」を入力し、 ユーザー ID を入力して、新しいユーザーを記述してください。
対処	新しいユーザー ID または「.」を入力してください。

NAT2770: ファイルがセキュリティ定義されている場合、**SUPER Natural** のみを使用できます。

テキスト	ファイルがセキュリティ定義されている場合、SUPER Natural のみを使用できます。
説明	Natural Security がアクティブな場合、 SUPER Natural のファイルエントリの生成は、 ファイルのセキュリティ定義がある場合にのみ行うことができます。
対処	セキュリティ定義も生成してください。 Natural Security に対して「Y」を入力してください。

NAT2771: コピーフィールド **ID** またはコピーファイル **ID** がありません。

テキスト	コピーフィールド ID またはコピーファイル ID がありません。
説明	コピーフィールド ID を指定せずにフィールドをコピーしようとしました。 名前を変えることにより、フィールドをあるファイルから別のファイルへ、 または、同じファイルにコピーすることができます。
対処	フィールド ID またはファイル ID を入力してください。

NAT2772: 開始フィールド **ID** が見つかりません。

テキスト	開始フィールド ID が見つかりません。
説明	ファイルに開始フィールド ID が見つかりませんでした。 フィールドをコピーするには、有効な開始フィールド ID を入力する必要があります。

対処	正しい開始フィールド ID を入力してください。

NAT2773: 開始フィールド **ID** がありません。

テキスト	開始フィールド ID がありません。
説明	開始フィールド ID が入力されていません。
対処	開始フィールド ID を入力してください。

NAT2774: 開始フィールドにフィールド **ID** とファイル **ID** の両方を指定しないでください。

テキスト	開始フィールドにフィールド ID とファイル ID の両方を指定しないでください。
説明	次のいずれかの方法を選択できます。 - 1 ファイルのすべてのフィールドを選択用に表示する。または、 - 対象フィールドを含むすべてのファイルを表示する。
対処	フィールド ID またはファイル ID のいずれかを入力してください。

NAT2775: プライベートステータスでは **SUPER Natural** は使用できません。

テキスト	プライベートステータスでは SUPER Natural は使用できません。
説明	Natural Security がアクティブであり、ファイルがプライベートで定義されていると、SUPER Natural のファイルエントリは生成できません。
対処	必要な場合は、ファイルのステータスを変更してください。

NAT2776: SUPER Natural のファイルを追加しました。

テキスト	SUPER Natural のファイルを追加しました。
説明	ファイルの DDM 生成時に、SUPER Natural のエントリが生成されました。
対処	

NAT2777: メニューに戻るには、**Enter** キーを押してください。

テキスト	メニューに戻るには、Enter キーを押してください。
説明	データ定義モジュール (DDM) の生成時にエラーが発生するとこのメッセージが表示されます。 また特定のエラーメッセージが一緒に表示されます。
対処	Enter を押すと、メニューが表示されます。 Enter を押してメニューに戻り、エラーを修正してください。

NAT2778: プライマリキーのオフセットまたは長さが正しくありません。

テキスト	プライマリキーのオフセットまたは長さが正しくありません。
説明	このエラーメッセージは論理 VSAMファイルの DDM 生成時に発行されます。 接頭辞の長さを考慮すると、論理 VSAM ファイルのプライマリキーのオフセット および長さは、物理 VSAM ファイルのプライマリキーのオフセットおよび長さと 同じである必要があります。 論理 VSAM ファイルのメンテナンス時に VSAM の接頭辞が指定されていない場合、 標準 VSAM 接頭辞の 'FILE NUMBER' が使用されます。
対処	論理または物理 VSAM ファイルで プライマリキーのオフセットまたは長さを修正してください。

NAT2779: プライマリキーの長さが正しくありません。

テキスト	プライマリキーの長さが正しくありません。
説明	プライマリキーの長さを修正してください。
対処	

NAT2780: フィールドの移動が正常に終了しました。

テキスト	フィールドの移動が正常に終了しました。
説明	ファイル内でのフィールドの移動が正常に終了しました。

対処	

NAT2781: オブジェクトのパージが確認されませんでした。

テキスト	オブジェクトのパージが確認されませんでした。
説明	Predict でオブジェクトを削除する場合、システムは追加の確認を必要とします。この場合、PURGE 機能が異常終了し、オブジェクトはディクショナリ内に残ったままです。
対処	

NAT2782: オブジェクトのパージが正常に終了しました。

テキスト	オブジェクトのパージが正常に終了しました。
説明	オブジェクト記述がディクショナリから削除されました。このオブジェクトに属する他のすべてのエントリは、ディクショナリに残っています。
対処	

NAT2783: オブジェクトのスクラッチが正常に終了しました。

テキスト	オブジェクトのスクラッチが正常に終了しました。
説明	オブジェクトとそれに属するすべてのものをディクショナリから削除しました。
対処	

NAT2784: 「**DELETE**」、「**SCRATCH**」、または「**.**」を入力してください。

テキスト	「DELETE」、「SCRATCH」、または「.」を入力してください。
説明	ユーザーに次の選択を促しています。 「DELETE」を入力すると、指定したオブジェクトのみが削除されます。 「SCRATCH」を入力すると、指定したオブジェクトとそれに従属する全オブジェクトが削除されます。 「.」を入力すると、どのオブジェクトも削除されません。

対処	希望するオプションを入力します。

NAT2785: 代替インデックスのオフセットが正しくありません。

テキスト	代替インデックスのオフセットが正しくありません。
説明	代替インデックスのオフセットの定義が正しくありません。
対処	オフセットをチェックしてください。

NAT2786: 代替インデックスの長さが正しくありません。

テキスト	代替インデックスの長さが正しくありません。
説明	代替インデックスの長さの定義が正しくありません。
対処	代替インデックスの長さをチェックしてください。

NAT2787: 概念／標準ファイルの生成はできません。

テキスト	概念 / 標準ファイルの生成はできません。
説明	概念 / 標準ファイルにコピーコードは生成できません。 概念 / 標準ファイル以外のタイプのファイルに ファイル定義をコピーすれば、生成を実行できます。
対処	ファイルタイプをチェックしてください。または、他のファイルを使用してください。

NAT2788: ファイル番号が有効でないので、ファイルはロードされません。

テキスト	ファイル番号が有効でないので、ファイルはロードされません。
説明	指定されたファイル番号の最後の 3 桁と同じファイル番号はすべて使用されています。 例えば、0001、1001、2001、3001、.....、9001 がすべて使用されています。
対処	違うファイル番号を使用してください。

NAT2789: Adabas ファイル番号が正しくないので、ファイルはロードされません。

テキスト	Adabas ファイル番号が正しくないので、ファイルはロードされません。
説明	ファイル番号の最後の 3 桁が 255 より大きくなっています。
対処	ファイル番号をチェックし、エラーを修正してください。

NAT2790: 「**DELETE**」または「**.**」を入力します。

テキスト	「DELETE」または「.」を入力します。
説明	ユーザーに次の選択を促しています。 「DELETE」を入力すると、指定したオブジェクトが削除されます。 「.」を入力すると、どのオブジェクトも削除されません。
対処	希望するオプションを入力します。

NAT2791: すべてのキーワードは関係を持っています。

テキスト	すべてのキーワードは関係を持っています。
説明	Predict で定義されたすべてのキーワードは関係を持っています。
対処	

NAT2792: オブジェクトが選択されませんでした。

テキスト	オブジェクトが選択されませんでした。
説明	リストからオブジェクトを選択するメニューを表示し ユーザーに選択を促しましたが、 マークされませんでした。
対処	

NAT2793: オブジェクトが選択されました。

テキスト	オブジェクトが選択されました。
説明	リストからオブジェクトを選択するよう促し、 1 つのオブジェクトがマークされました。 このメッセージは、Predict が選択を行ったことを意味します。
対処	

NAT2794: RENAME 機能は実行されませんでした。

テキスト	RENAME 機能は実行されませんでした。
説明	RENAME 機能が呼び出された後、 ユーザーがオブジェクトの新しい名前を入力しなかったため、 RENAME 機能は実行されませんでした。
対処	

NAT2795: コピーでユーザービューファイル番号は変更できません。

テキスト	コピーでユーザービューファイル番号は変更できません。
説明	Adabas マスタファイルからユーザービューをコピーする場合、 ファイル番号は変更できません。
対処	マスタファイルのファイル番号を入力してください。

NAT2796: インジケータが '**+**' または '**-**' になっていません。

テキスト	インジケータが '+' または '-' になっていません。
説明	インジケータは、入力した行コマンドを 入力した行の後 (+) で実行するか、または前 (-) で実行するかを工ディタに指定します。 例えば、行コマンド '.W' は、インジケータが '+' の場合はそのコマンドを入力した行の後で、および '-'" の場合はそのコマンドを入力した行の前で、 ウィンドウを開きます。

対処	インジケータに「+」または「-」を入力してください。

NAT2797: 対象ファイルが存在しません。

テキスト	対象ファイルが存在しません。
説明	存在しないファイルにフィールドをコピーしようとしました。
対処	正しいファイル ID を入力します。

NAT2798: ファイルのテストは正常に終了しました。

テキスト	ファイルのテストは正常に終了しました。
説明	FDT に対して、ファイルをテストしました。 FDT とそのファイルの間に相違はありませんでした。
対処	

NAT2799: ファイルテストは失敗しました。

テキスト	ファイルテストは失敗しました。
説明	FDT に対するファイルのテスト中に、違いが見つかりました。 (例えば、ファイルのフィールド名が FDT にはありません。)
対処	ファイルをチェックして、エラーを修正します。

NAT2800: 入力したファイルにアクセスできません。

テキスト	入力したファイルにアクセスできません。
説明	Adabas がファイルにアクセスできません。 考えられる理由は以下のとおりです。 - ファイルがデータベースにない、または - アクセスするには権限レベルが低い、または - ファイルがロックされている

対処	エラーを修正し、再実行してください。

56 Natural システムエラーメッセージ 2801～2850

NAT2801: ファイルを再生成する必要があります。

テキスト	ファイルを再生成する必要があります。
説明	Adabas ファイルが FDT と異なっています。 Adabas ファイルを再生成するか、または Predict のファイル定義を変更してください。
対処	ファイルを再生成してください。

NAT2802: モジュール／レポートがプログラムに属していません。

テキスト	モジュール / レポートがプログラムに属していません。
説明	入力されたサブオブジェクトは、どのオブジェクトにも属しません。 例えば、ディクショナリで定義されたレポートが どのプログラムとも関連がない場合、このメッセージが発行されます。
対処	

NAT2803: FROM- 日付が **TO-** 日付より大きくなっています。

テキスト	FROM- 日付が TO- 日付より大きくなっています。

説明	TO- 日付には、FROM- 日付より大きい値を指定する必要があります。
対処	入力した日付をチェックして、エラーを修正してください。

NAT2804: ユーザービューに対する物理／論理ファイルは存在しません。

テキスト	ユーザービューに対する物理 / 論理ファイルは存在しません。
説明	ユーザービューに対する物理または論理ファイルは存在しません
対処	物理または論理ファイルを作成してください。

NAT2805: PF キーを使用して、プログラムの実行を中止しました。

テキスト	PF キーを使用して、プログラムの実行を中止しました。
説明	PF キーを使用して、プログラムの実行が中止されました。
対処	

NAT2806: 論理 **VSAM** ファイルを組み込むために必要な物理 **VSAM** ファイルが存在しません。

テキスト	論理 VSAM ファイルを組み込むために必要な物理 VSAM ファイルが存在しません。
説明	関連する論理 VSAM ファイル (FILE-TYPE 'L') を組み込む前に、 物理 VSAM ファイル (FILE-TYPE 'V') をディクショナリに 定義する必要があります。
対処	物理 VSAM ファイルを定義または組み込んでください。

NAT2807: ファイルは存在しません。

テキスト	ファイルは存在しません。
説明	存在しないファイルに RECOVER を実行しようとしました。 回復するファイルの正しい名前を入力してください。

対処	正しいファイル名を入力します。

NAT2808: ファイルを回復できません。

テキスト	ファイルを回復できません。
説明	これは正常なファイルです。 不整合は検出されなかったため、 RECOVER を実行できませんでした。また、その必要もありません。
対処	正常なファイルを RECOVER しないでください。

NAT2809: 関連オブジェクトを持たないすべてのサブオブジェクトがリストされました。

テキスト	関連オブジェクトを持たないすべてのサブオブジェクトがリストされました。
説明	RETRIEVAL で、オブジェクトとの関係を持たない すべてのサブオブジェクトがリストされました。 例えば、関連データベースを持たないすべてのファイルが リストされました。
対処	

NAT2810: すべてのサブオブジェクトに、関連オブジェクトが存在します。

テキスト	すべてのサブオブジェクトに、関連オブジェクトが存在します。
説明	RETRIEVAL で、関連オブジェクトを持たない すべてのサブオブジェクトを要求しましたが、 その条件を満たすサブオブジェクトはありませんでした。 例えば、ディクショナリで定義されたすべてのファイルが、 レポートまたはモジュールとの関係を持っています。
対処	

NAT2811: すべてのオブジェクトに、関連するサブオブジェクトが存在します。

テキスト	すべてのオブジェクトに、関連するサブオブジェクトが存在します。

説明	RETRIEVAL 時に、サブオブジェクトを持たない すべてのオブジェクトを要求しましたが、 この条件を満たすオブジェクトはありませんでした。 例えば、すべてのプログラムにレポートやモジュールがあります。
対処	

NAT2812: 入力されたオブジェクトに、サブオブジェクトがありません。

テキスト	入力されたオブジェクトに、サブオブジェクトがありません。
説明	RETRIEVAL で、オブジェクトのサブオブジェクトを要求しました。 このメッセージは、 オブジェクトにサブオブジェクトがないこと、例えば、 ファイルにフィールドがないことを示しています。
対処	

NAT2813: サブオブジェクトを持たないオブジェクトが、正常にリストされました。

テキスト	サブオブジェクトを持たないオブジェクトが、正常にリストされました。
説明	RETRIEVAL で、サブオブジェクトと関係を持たない すべてのオブジェクトが要求されました。 これらのオブジェクトは、正常に表示されました。
対処	

NAT2814: 連続しているカードが多すぎます。 入力はスキップされました。

テキスト	連続しているカードが多すぎます。 入力はスキップされました。
説明	バッチでの Predict のコマンド入力はデリミタで区切られます。 特殊な環境下でいくつかの入力カードがスキップされました。 スキップされたパラメータは リストされます。
対処	コマンド入力を削減してください。

NAT2815: オーバーフローが発生しました。 次のパラメータがスキップされた可能性があります。

テキスト	オーバーフローが発生しました。 次のパラメータがスキップされた可能性があります。
説明	バッチでの Predict のコマンド入力はデリミタで区切られます。 特殊な環境下では、オーバーフローが発生することがあり、 一部のパラメータがコマンドプロセッサによって認識されません。 スキップされたパラメータは リストされます。
対処	バッチ方式でのコマンド入力を減らしてください。

NAT2816: エラーに関する説明が表示されました。

テキスト	エラーに関する説明が表示されました。
説明	コマンド行でヘルプ要求が入力されました。 要求されたエラーの説明が表示されました。
対処	

NAT2817: コマンドのヘルプが表示されました。

テキスト	コマンドのヘルプが表示されました。
説明	コマンド行でヘルプ要求が入力されました。 ヘルプの説明が表示されます。
対処	

NAT2818: コマンドプロセッサで内部エラーが発生しました。

テキスト	コマンドプロセッサで内部エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	コマンドシーケンスを記録し、SAG サポートに連絡してください。

NAT2819: オブジェクトが変換されました。

テキスト	オブジェクトが変換されました。
説明	バージョン 1 形式からバージョン 2 形式へのオブジェクトの変換が実行されました。
対処	

NAT2820: オブジェクトに旧バージョンの記述がありました。

テキスト	オブジェクトに旧バージョンの記述がありました。
説明	変換が開始される前に、 オブジェクトに旧バージョンの記述が見つかりました。
対処	

NAT2821: オブジェクトに新バージョンの記述がありました。

テキスト	オブジェクトに新バージョンの記述がありました。
説明	変換が開始される前に、 バージョン 2 形式の記述が見つかりました。
対処	バージョン 2 の記述を削除してください。または、変換を実行しないでください。

NAT2822: オブジェクトの変換が正常にリストされました。

テキスト	オブジェクトの変換が正常にリストされました。
説明	変換されたオブジェクトが正常にリストされました。
対処	

NAT2823: オブジェクトクラス '**ALL**' を使用する場合、**ID** は指定できません。

テキスト	オブジェクトクラス 'ALL' を使用する場合、ID は指定できません。
説明	ディクショナリの全データをアンロードする場合や、 すべてのアンロードされたデータをシーケンシャルデータセットから ロードする場合は、ID を指定することはできません。
対処	コマンド 'ALL' を使用している場合は、ID を指定しないでください。

NAT2824: システムが異なるライブラリを指しています。

テキスト	システムが異なるライブラリを指しています。
説明	- プログラム ID - ライブラリ - ファイル番号 - データベース番号 で構成されるプログラム実行ポインタが、 このプログムが属しているシステムの実行ポインタと異なります。 システム実行は、 - ライブラリ ID - ファイル番号 - データベース番号 で構成されています。
対処	プログラムの実行ポインタを変更してください。

NAT2825: キーは互いに異なるものである必要があります。

テキスト	キーは互いに異なるものである必要があります。
説明	オブジェクトに指定するキーワードは、互いに異なるものである必要があります。
対処	指定したキーをチェックしてください。

NAT2826: シノニムは互いに異なるものである必要があります。

テキスト	シノニムは互いに異なるものである必要があります。
説明	要素に指定するシノニムは、互いに異なるものである必要があります。
対処	異なるシノニムを指定してください。

NAT2827: PF-KEY は **25** 未満である必要があります。

テキスト	PF-KEY は 25 未満である必要があります。
説明	Predict は、PF1 から PF24 までをサポートします。
対処	正しい PF-KEY を入力してください。

NAT2828: 最大ページサイズは **250** です。

テキスト	最大ページサイズは 250 です。
説明	ページには 251 未満のサイズを指定できます。
対処	正しいページサイズを入力します。

NAT2829: 1〜**9** のシノニムを指定できます。

テキスト	1~9 のシノニムを指定できます。
説明	最大 9 のシノニムを指定できます。
対処	シノニム 1 からシノニム 9 までのみを使用してください。

NAT2830: ユーザーは定義されていないか、削除されています。

テキスト	ユーザーは定義されていないか、削除されています。

説明	指定されたユーザーは、Security で認識されませんでした。 詳細については、Natural Security ドキュメント、および Predict リファレンスドキュメントの セキュリティを参照してください。
対処	

NAT2831: 無効なパスワードが入力されました。

テキスト	無効なパスワードが入力されました。
説明	無効なパスワードが入力されました。 ユーザーに権限がないか、またはパスワードの入力ミスです。 詳細については、Natural Security のドキュメント、および Predict ドキュメントの セキュリティノートを参照してください。
対処	正しいパスワードを入力してください。

NAT2832: ユーザーは権限の与えられたオーナーではありません。

テキスト	ユーザーは権限の与えられたオーナーではありません。
説明	ユーザーが権限のないオブジェクトに対して 機能を実行しようとしました。 詳細については、Natural Security の ドキュメント、および Predict ドキュメントのセキュリティノートを参照してください。
対処	

NAT2833: 権限のないユーザー／パスワードが入力されました。

テキスト	権限のないユーザー / パスワードが入力されました。
説明	ユーザーが権限のないオブジェクトに対して 機能を実行するにはパスワードが必要です。 詳細については、 Natural Security のドキュメント、および Predict ドキュメントのセキュリティノートを参照してください。
対処	

NAT2834: 権限のあるユーザーが実行する必要があります。

テキスト	権限のあるユーザーが実行する必要があります。
説明	ユーザーが権限のないオブジェクトに対して 機能を実行するにはパスワードが必要です。 詳細については、Natural Security のドキュメント、 および Predict ドキュメントのセキュリティノートを参照してください。
対処	

NAT2835: ユーザーにはこの **DDM** を生成する権限がありません。

テキスト	ユーザーにはこの DDM を生成する権限がありません。
説明	Natural Security では、このユーザーにこのデータ定義モジュール (DDM) を生成する権限はありません。 詳細については、Natural Security のドキュメント、 および Predict ドキュメントのセキュリティノートを参照してください。
対処	

NAT2836: ユーザー出口がアクティブな場合、'**SCRATCH**' は実行できません。

テキスト	ユーザー出口がアクティブな場合、'SCRATCH' は実行できません。
説明	パージ機能のユーザー出口をアクティブにすると、 オブジェクトの 'SCRATCH' を実行できなくなります。
対処	PURGE 機能を使用してください。

NAT2837: 有効なオーナーが十分ではありません。

テキスト	有効なオーナーが十分ではありません。
説明	セキュリティがアクティブな場合、 Adabas ファイルの削除中にこのメッセージが表示されます。 Predict は Adabas ファイルに関係のある DDM のセキュリティオーナーの最小数を決定し、 それぞれの DDM に対して、オーナーは契約する必要があります。 Natural Security に対して作られたリストが十分でない場合があります。 この場合、まず関連するユーザービューを PURGE してから、 Adabas ファイルを PURGE してください。

対処	ユーザービューを削除してください。

NAT2838: ユーザービューの番号変更は許可されていません。

テキスト	ユーザービューの番号変更は許可されていません。
説明	タイプ 'U'(ユーザービュー)のファイルの 番号変更は許可されていません。
対処	Adabas ファイルの番号を変更してください。

NAT2839: .N でマークされている行がありません。

テキスト	.N でマークされている行がありません。
説明	事前に行を '.N' でマークしていなければ、 編集コマンド 'POINT' は意味がありません。
対処	編集コマンド 'POINT' を発行する前に、 行を '.N' でマークしてください。

NAT2840: 標準ファイルに関連のあるフィールドがリストされました。

テキスト	標準ファイルに関連のあるフィールドがリストされました。
説明	標準ファイルに関連のある全フィールドが 画面に表示されました。
対処	

NAT2841: ファイル番号を指定する必要があります。

テキスト	ファイル番号を指定する必要があります。
説明	ファイル番号を指定する必要があります。
対処	ファイル番号を入力します。

NAT2842: ファイルが **VSAM** ファイルではありません。

テキスト	ファイルが VSAM ファイルではありません。
説明	参照中のファイルは VSAM ファイルではありません。
対処	入力をチェックして、エラーを修正します。

NAT2843: 論理 **VSAM** ファイルの作成は '**KSDS**' ファイルでのみ可能です。

テキスト	論理 VSAM ファイルの作成は 'KSDS' ファイルでのみ可能です。
説明	物理ファイルのタイプが 'KSDS' の場合にのみ、 論理 VSAM ファイルを作成できます。
対処	ファイルタイプをチェックしてください。

NAT2844: ライブラリが指定されていません。

テキスト	ライブラリが指定されていません。
説明	PUNCH コマンドに対して、メンバおよびライブラリを指定する必要があります。
対処	ライブラリを入力してください。

NAT2845: 関連ファイル番号は論理 **VSAM** ファイルにのみ有効です。

テキスト	関連ファイル番号は論理 VSAM ファイルにのみ有効です。
説明	新しいファイルを追加する場合、 関連ファイル番号は、論理 VSAM ファイルに対してのみ指定できます。
対処	関連するファイル番号には空白を入力します。

NAT2846: 指定したメンバをワークファイル **1** に出力しました。

テキスト	指定したメンバをワークファイル 1 に出力しました。
説明	指定したメンバをワークファイル 1 に出力しました。
対処	

NAT2847: 行数処理しました。

テキスト	行数処理しました。
説明	何行処理したかを知らせるメッセージです。
対処	

NAT2848: ファイル番号を変更する必要があります。

テキスト	ファイル番号を変更する必要があります。
説明	ユーザービューのファイルタイプを変更する場合、 ファイル番号も変更する必要があります。
対処	新しいファイル番号を入力します。

NAT2849: オブジェクトがユニークではありません。

テキスト	オブジェクトがユニークではありません。
説明	コマンドプロセッサがチェックし、 切り捨てたオブジェクト名がユニークではありません。
対処	エラーを修正してください。

NAT2850: 標準属性を変更しないでください。

テキスト	標準属性を変更しないでください。
説明	修正したフィールドには標準属性が含まれています。 フィールドを非標準と指定しない限り、 標準属性を修正することはできません。

対処	正しい属性を入力してください。 または、非標準としてフィールドをマークしてください。

57 Natural システムエラーメッセージ 2851～2900

NAT2851: PE- カウントは空白または **'C'** である必要があります。

テキスト	PE- カウントは空白または 'C' である必要があります。
説明	C が入力されると PE- カウントフィールドが指定されます。 空白は、フィールドがカウンタフィールドではないことを示します。 このフィールドタイプは、COBOL、ASM、または PL/1 で使われる PE グループまたは MU フィールドそれぞれのオカレンス数を表します。
対処	空白または「C」を入力してください。

NAT2852: パラメータが多すぎます。 再実行してください。

テキスト	パラメータが多すぎます。 再実行してください。
説明	5 つを超えるコマンド / パラメータが編集コマンド行に 一度に入力されています。
対処	5 つを超えるコマンド / パラメータを一度に入力しないでください。

NAT2853: 非標準フラグは空白または **'N'** のみ指定できます。

テキスト	非標準フラグは空白または 'N' のみ指定できます。

説明	非標準フラグは、フィールドが 標準 (フラグ = ' ') であるか非標準 (フラグ = 'N') であるかを定義します。
対処	「N」を入力するか、または空白のままにしてください。

NAT2854: 標準ファイルのフィールドは非標準としてマークできません。

テキスト	標準ファイルのフィールドは非標準としてマークできません。
説明	標準フィールドを非標準とマークすると、 このメッセージが送られます。
対処	標準オプションを入力してください。

NAT2855: マルチプルバリューフィールドのオカレンス数が **191** を超えています。

テキスト	マルチプルバリューフィールドのオカレンス数が 191 を超えています。
説明	Adabas の定義により、オカレンス数は 191 以下とする必要があります。
対処	191 以下の数を入力してください。

NAT2856: ピリオディックグループのオカレンス数が **99** を超えています。

テキスト	ピリオディックグループのオカレンス数が 99 を超えています。
説明	Adabas 定義により、 ピリオディックグループのオカレンス数は 99 以下とする必要があります。
対処	99 以下の数を入力してください。

NAT2857: フィールドはファイルの中に見つかりません。

テキスト	フィールドはファイルの中に見つかりません。
説明	指定されたフィールドはファイルに属していません。 このメッセージは 警告です。 指定されたフィールドはグループまたは REDEFINE に含まれているため、 実 Adabas フィールドではありません。

対処	正しいフィールド名を入力します。

NAT2858: フィールドタイプが '**PE**' または '**MU**' でありません。

テキスト	フィールドタイプが 'PE' または 'MU' でありません。
説明	フィールドの PE- カウントで 'C' 指定があると、 2 番目のフィールドは、 同じ Adabas ショートネームを持つ PE または MU フィールド、あるいは PE または MU タイプのフィールドとして 定義されている必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT2859: 不正な行コマンドが見つかりました。

テキスト	不正な行コマンドが見つかりました。
説明	編集セッション中に、未知の行コマンドが入力されました。 各エディタの有効な行コマンドは、ヘルプ画面に記載されています。
対処	正しい行コマンドを入力してください。

NAT2860: SP/SB/PH Adabas ファイルディスクリプタは、レベル **1** で定義する必要があります。

テキスト	SP/SB/PH Adabas ファイルディスクリプタは、レベル 1 で定義する必要があります。
説明	スーパー / サブ / フォネティックは、Adabas ファイルに 常にレベル 1 で定義する必要があります。 他のレベルは正しくありません。
対処	レベル 1 を指定してください。

NAT2861: 同じ **Adabas** 名がすでに存在しています。

テキスト	同じ Adabas 名がすでに存在しています。

説明	入力された Adabas ネームはすでに使用されています。 Adabas ショートネームは、ファイル内で ユニークである必要があります。
対処	ユニークな Adabas ショートネームを入力してください。

NAT2862: グループに対してフォーマット／長さのオプションは指定できません。

テキスト	グループに対してフォーマット / 長さのオプションは指定できません。
説明	グループに対してフォーマット、長さ、または空値省略のオプションを使用することはできません。
対処	フィールドを空白のままにしてください。

NAT2863: グループにディスクリプタオプションは指定できません。

テキスト	グループにディスクリプタオプションは指定できません。
説明	グループはディスクリプタとして定義できません。
対処	フィールドを空白のままにしてください。

NAT2864: Adabas ショートネームを変更できません。

テキスト	Adabas ショートネームを変更できません。
説明	Adabas ショートネームを定義した後で、それを変更することはできません。 ショートネームは、Adabas によって使用され、 複数のファイル (マスタファイルやユーザービューなど) に属す場合もあります。
対処	ショートネームを変更しないでください

NAT2865: 関連 **VSAM** ファイルがすでに存在しています。

テキスト	関連 VSAM ファイルがすでに存在しています。

説明	指定された新しい関連 VSAM ファイル番号はすでに存在しています。
対処	別の関連 VSAM ファイル番号を入力してください。

NAT2866: 指定するオプションは、**Adabas** オプションと同一である必要があります。

テキスト	指定するオプションは、Adabas オプションと同一である必要があります。
説明	ユーザービューに入力された空値省略オプションが、 マスタ Adabas ファイルに入力されたオプションと異なります。
対処	マスタファイルと同じオプションを指定してください。

NAT2867: フィールドタイプは、**Adabas** ファイルのフィールドタイプと同一である必要があります。

テキスト	フィールドタイプは、Adabas ファイルのフィールドタイプと同一である必要があります。
説明	ユーザービューに入力されたフィールドタイプが、 マスタ Adabas ファイルで定義されたフィールドタイプと異なります。
対処	Adabas ファイルのフィールドタイプと同じフィールドタイプを入力してください。

NAT2868: スキャン対象値が長すぎます。または、デリミタがありません。

テキスト	スキャン対象値が長すぎます。または、デリミタがありません。
説明	SCAN コマンドでは、32 文字以下のスキャン対象値、 または特殊文字に囲まれたスキャン対象値が必要です。 このエラーの最も可能性の高い原因は、スキャン対象値の始めまたは終りが 特殊文字であることです。 この場合、デリミタ文字で囲まれているスキャン対象値を入力する必要があります。
対処	スキャン対象値を正しく入力してください。

NAT2869: 整合性チェックが定義されていません。

テキスト	整合性チェックが定義されていません。
説明	入力された整合性 ID が Predict に定義されていません。
対処	正しい整合性チェックを入力してください。

NAT2870: この処理を実行する権限がありません。

テキスト	この処理を実行する権限がありません。
説明	Natural Security がアクティブな場合、 次の機能のいずれかを実行できない場合があります。 - 設定の追加 - ファイルの削除 - SUPER Natural の使用 - DDM の生成 - DDM の組み込み
対処	DDA に連絡してください。

NAT2871: 物理／論理 **VSAM** ファイルの **DDM** がまだ生成されていません。

テキスト	物理 / 論理 VSAM ファイルの DDM がまだ生成されていません。
説明	VSAM ファイルにユーザービューの DDM を生成する前に、 マスタ VSAM ファイルの DDM を生成する必要があります。
対処	マスタ VSAM ファイルの DDM を生成してください。

NAT2872: 物理／論理 **VSAM** ファイルは存在しません。

テキスト	物理 / 論理 VSAM ファイルは存在しません。
説明	指定されたファイルタイプ 'R'(論理 VSAM ファイルのユーザービュー) が、 関連論理 VSAM ファイルを持っていません。 あるいは、指定されたファイルタイプ 'L' または 'W'(論理 VSAM ファイルまたは VSAM ファイルのユーザービュー) が 関連物理 VSAM ファイルを持っていません。

対処	ファイル名をチェックしてください。

NAT2873: 物理 **VSAM DDM** を再生成する必要があります。

テキスト	物理 VSAM DDM を再生成する必要があります。
説明	ユーザービューまたは論理ファイルに VSAM DDM を生成する場合、 物理 VSAM ファイルが修正されていると、このメッセージが送られます。
対処	まず、物理ファイルに DDM を生成してください。

NAT2874: 論理 **VSAM DDM** を再生成する必要があります。

テキスト	論理 VSAM DDM を再生成する必要があります。
説明	論理 VSAM ファイルのユーザービューに DDM を生成する場合、 論理 VSAM ファイルが修正されていると、このメッセージが送られます。
対処	論理 VSAM ファイルに対して再度 DDM を生成してください。

NAT2875: DDM が **Adabas DDM** ではありません。

テキスト	DDM が Adabas DDM ではありません。
説明	DDM の組み込み機能で非 Adabas DDM を組み込もうとすると、 このメッセージが送られます。 VSAM タイプの DDM の場合は、VSAM DDM の組み込みを使用してください。
対処	DDM のタイプをチェックしてください。

NAT2876: ライブラリを指定する場合は、タイプ = アプリケーションが必要です。

テキスト	ライブラリを指定する場合は、タイプ = アプリケーションが必要です。
説明	ライブラリを指定する場合は、タイプ = アプリケーションが必要となります。
対処	タイプをアプリケーションに設定してください。

NAT2877: DBID および **FNR** には '*'、' '、または数値のみを指定できます。

テキスト	DBID および FNR には '*'、' '、または数値のみを指定できます。
説明	指定された DBID または FNR に不正な文字がありました。
対処	正しい値を入力してください。

NAT2878: DBID、**FNR**、**LIB**、**MAP** の組み合わせが適切でありません。

テキスト	DBID、FNR、LIB、MAP の組み合わせが適切でありません。
説明	指定された検索条件は許可されていません。 ヘルプ画面を参照して、許可されている組み合わせを確認してください。
対処	DBID、FNR、LIB、MAP の適切な組み合わせを入力してください。

NAT2879: 名前のないフィールドが見つかりました。

テキスト	名前のないフィールドが見つかりました。
説明	Predict が、フィールド名のないフィールド定義を検出しました。 このメッセージは警告です。 このフィールドのレコードはアンロードされませんでした。
対処	このフィールドを含むファイル要素を追加し、正しいフィールド名を入力してから、ファイルを再度アンロードしてください。

NAT2880: DDM の比較が行われました。

テキスト	DDM の比較が行われました。
説明	Predict Adabas ファイルまたはユーザービューが、生成された Natural DDM と比較されました。
対処	

NAT2881: 全 **DDM** は **Predict** に記録されています。

テキスト	全 DDM は Predict に記録されています。
説明	Natural システムファイル上の全 DDM が、ディクショナリおよびデータと一致する生成ログに記録されています。
対処	なし

NAT2882: 入力された整合性チェック文字が正しくありません。

テキスト	入力された整合性チェック文字が正しくありません。
説明	入力された整合性チェック文字は、この言語では無効です。有効な文字については、ヘルプ画面を参照してください。
対処	有効な整合性チェック文字を入力してください。

NAT2883: ファイルをパージする必要があります。

テキスト	ファイルをパージする必要があります。
説明	ファイルのコピーまたはロードの後、このメッセージが表示されます。ファイルを削除し、機能を再スタートしてください。
対処	ファイルを削除します。

NAT2884: 整合性チェック文字が正しくありません。

テキスト	整合性チェック文字が正しくありません。
説明	使用できる整合性チェック文字を次に示します。 PL/1 の場合：'_' (下線)、'*'、' '、および 'A' から '9' COBOL の場合：'-' (ハイフン)、'*'、' '、および 'A' から '9'
対処	上記のいずれかの整合性チェック文字を入力してください。

NAT2885: エディタ内でエラーが発生しました。 レスポンスコードを受け取りました。

テキスト	エディタのエラー。 レスポンスコードを受け取りました。
説明	ソースエリアでデータを操作している (エディタによりバッファが使用されている) 間に、エラーが生じました。 このエラーは回復不可能なため、現在アクティブなプログラムの実行は停止されました。
対処	レスポンスコードを記録し、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT2886: ソースエリアがいっぱいになりました。

テキスト	ソースエリアがいっぱいになりました。
説明	Predict の一部の機能は、中間結果を格納するために工ディタバッファに書き込みます。 全データを格納できるだけの十分な大きさが工ディタバッファにない場合、 このメッセージが発行され、現在アクティブなプログラムの実行が停止されます。 工ディタバッファのサイズは、ダイナミックパラメータ ESIZE により決定されます。
対処	ESIZE を大きくして、Natural セッションを新たに開始してください。

NAT2887: 使用中のファイル／フィールドはすべて定義されています。

テキスト	使用中のファイル / フィールドはすべて定義されています。
説明	使用されているすべてのファイル / フィールド (アクティブリファレンスが存在する) を定義したので、表示されません。
対処	

NAT2888: フィールドが使われていません。

テキスト	フィールドが使われていません。
説明	フィールドが使用されていないので、表示されません。
対処	

NAT2889: 指定された実行ポインタはすでに存在しています。

テキスト	指定された実行ポインタはすでに存在しています。
説明	- プログラム名 - ライブラリ - ファイル番号 - データベース ID から構成される、指定の実行ポインタはすでに存在します。 ユニークな実行ポインタが必要な場合は、 指定した値を変更する必要があります。
対処	指定した実行ポインタをチェックし、修正してください。

NAT2890: SUPER Natural ファイルはすべて **Predict** に定義されています。

テキスト	SUPER Natural ファイルはすべて Predict に定義されています。
説明	SUPER Natural ファイルはすべて Predict に定義されています。
対処	

NAT2891: 拡張記述を追加する必要があります。

テキスト	拡張記述を追加する必要があります。
説明	拡張記述のジェネラルシステムデフォルトパラメータ（DDA サービス）が設定されている場合、 拡張記述を追加する必要があります。
対処	拡張記述を追加してください。

NAT2892: 記述をパージすることはできません。

テキスト	記述をパージすることはできません。
説明	拡張記述のジェネラルシステムデフォルトパラメータを 'FORCE'（強制）に設定した場合、その記述は削除できません。

対処	必要な場合は、ジェネラルシステムデフォルトパラメータを変更してください。

NAT2893: 3 行以上の指定が必要です。

テキスト	3 行以上の指定が必要です。
説明	拡張記述に対してジェネラルシステムデフォルトパラメータ (DDA サービス) を設定した場合、 少なくとも 3 行追加する必要があります。
対処	3 行追加してください。または、システムデフォルトパラメータを変更してください。

NAT2894: 少なくとも、**1** オーナーを追加する必要があります。

テキスト	少なくとも、1 オーナーを追加する必要があります。
説明	ジェネラルシステムパラメータ 'EDIT OWNER'" を (DDA サービスを通じて) 設定した場合、 少なくとも、1 オーナーを追加する必要があります。
対処	1 オーナーを追加してください。 または、システムデフォルトパラメータを変更してください。

NAT2895: オーナーリストをカタログする必要があります。

テキスト	オーナーリストをカタログする必要があります。
説明	追加したオーナーリストを CATALOG コマンドで確認する必要があります。
対処	CATALOG または SAVE を入力してください。

NAT2896: オーナーにはユーザーがありません。

テキスト	オーナーにはユーザーがありません。
説明	ジェネラルシステムパラメータ 'Edit Owners of an object' は、 'FORCE' に設定されています。 この場合、エディタを通じて少なくとも 1 オーナーを DD オブジェクトにリンクする必要があります。 また、DD オブジェクトにリンクされた全オーナーに対して、 少なくとも 1 ユーザーをリンクする必要があります。

対処	定義されたユーザーのあるオーナーのみを入力してください。

NAT2897: オーナー **ID**／ユーザー名がユニークではありません。

テキスト	オーナー ID / ユーザー名がユニークではありません。
説明	維持するユーザー ID は、ユニークである必要があります。
対処	ユーザー ID を入力してください。 選択機能を使用して、正しいユーザー ID を決定できます。

NAT2898: SUPER Natural ファイルではありません。

テキスト	SUPER Natural ファイルではありません。
説明	指定されたファイルは、SUPER Natural ファイルではありません。
対処	指定したファイルをチェックしてください。

NAT2899: ファイルが **Natural** ファイルではありません。

テキスト	ファイルが Natural ファイルではありません。
説明	指定されたファイルは、Natural ファイルではありません。
対処	入力したファイルをチェックしてください。

NAT2900: オブジェクトのクロスリファレンスが表示されました。

テキスト	オブジェクトのクロスリファレンスが表示されました。
説明	要求されたオブジェクトのクロスリファレンスが表示されました。
対処	

58 Natural システムエラーメッセージ 2901～2950

NAT2901: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	SAG サポートに連絡してください。

NAT2902: プリプロセッサで認識できない言語が見つかりました。

テキスト	プリプロセッサで認識できない言語が見つかりました。
説明	プリプロセッサで認識できない言語が見つかり、 プリプロセッサが異常終了しました。 プリプロセッサは次の 2 つの入力データフィールドを受け取ります。言語 1. 2.プログラム ID 有効な言語は、BAL と ASM、ASSEMBLER COBOL P、PLI、PL1、PL/1、PL/I COBOL、BAL、および ASSEMBLER は切り捨てられる場合があります。
対処	入力データを修正し、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2903: 入力ソースコードがありません。

テキスト	入力ソースコードがありません。
説明	ワークファイル 1 に入力ソースコードがありません。
対処	ワークファイル 1 をチェックしてください。

NAT2904: デフォルトの定義レコードがありません。 **DDA** を参照してください。

テキスト	デフォルトの定義レコードがありません。 DDA を参照してください。
説明	認識できない理由はデフォルトのレコードがないからです。
対処	DDA を参照してください。 DDA は、DDA サービスを通じてデフォルトレコードを追加することができます。

NAT2905: コマンドに対する入力が多すぎます。

テキスト	コマンドに対する入力が多すぎます。
説明	1 コマンドに対するパラメータの数には制限があります。 END-EXEC がないことも考えられます。 コマンド COPY、FORMAT-BUFFER には 2 パラメータあります。 コマンド GENERATE には 12 パラメータあります。 コマンド PROGRAM-ID には 1 パラメータあります。
対処	パラメータをチェックします。

NAT2906: エントリ名が長すぎます。

テキスト	エントリ名が長すぎます。
説明	指定されたエントリ名が長すぎます。 このエントリはスキップされました。
対処	エントリ名をチェックしてください。

NAT2907: プリプロセッサのコマンドが正しくありません。

テキスト	プリプロセッサのコマンドが正しくありません。
説明	次に示すプリプロセッサコマンドのみが有効です。 COPY GENERATE FORMAT-BUFFER PROGRAM
対処	コマンドを確認してください。

NAT2908: キーワードを認識できません。

テキスト	キーワードを認識できません。
説明	入力されたキーワードが正しくありません。 キーワードはスキップされました。
対処	キーワードを確認してください。

NAT2909: プログラム名がありません。

テキスト	プログラム名がありません。
説明	アクティブなレコードを格納するには、プリプロセッサにプログラム名が必要です。 プログラム名を指定するには、次のものを使用できます。 INPUT (第 2 パラメータ) プリプロセッサ (EXEC Adabas PROGRAM-ID...) ソース言語ステートメント (ドキュメントを参照)
対処	ソースコードをチェックしてください。 または、入力によってプログラム名を指定してください。

NAT2910: 数字データが必要です。

テキスト	数字データが必要です。
説明	プリプロセッサは数字データフィールドを必要としていましたが、数字ではありませんでした。

対処	入力データをチェックしてください。

NAT2911: キーワードの順序が誤っています。

テキスト	キーワードの順序が誤っています。
説明	PREPROCESSOR コマンドのキーワードの順序が間違っています。
対処	キーワードの順序を修正してください。

NAT2912: ファイルが見つかりません。

テキスト	ファイルが見つかりません。
説明	入力されたファイル ID は Predict で定義されていません（または、定義されていたが現在は定義されていません）。
対処	ファイル ID を確認してください。

NAT2913: メンバが生成されていません。

テキスト	メンバが生成されていません。
説明	ファイルに対して Predict でメンバの生成がされていなかったので、コピー機能を実行できませんでした。
対処	ファイルに対するメンバを生成し、プリプロセッサを再スタートしてください。または、プリプロセッサの生成オプションを使用してください。

NAT2914: 2 つ以上のメンバが生成されました。

テキスト	2 つ以上のメンバが生成されました。
説明	ファイルに対して 2 つ以上のメンバが生成されましたが、メンバが指定されていません。
対処	メンバを 1 つ指定して、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2915: このファイルのメンバを再生成する必要があります。

テキスト	このファイルのメンバを再生成する必要があります。
説明	このファイルは生成後に修正されたので、 このファイルのメンバを再生成する必要があります。
対処	メンバを再生成し、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2916: メンバはこのファイルに対して生成されていません。

テキスト	メンバはこのファイルに対して生成されていません。
説明	指定されたメンバ名は、ファイルに対して生成された コピーコードリストにありません。
対処	ファイルに対して生成されたメンバを確認し、 プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2917: DDA によって変更は禁止されています。

テキスト	DDA によって変更は禁止されています。
説明	ユーザーによる値の書き換えを DDA が禁止しました。 プリプロセッサは、その値をデフォルト値に設定しました。
対処	必要な場合は、デフォルト値を修正してください。

NAT2918: バッファ名が正しくありません。

テキスト	バッファ名が正しくありません。
説明	コマンド GENERATE または FORMAT-BUFFER で指定された バッファ名は、プリプロセッサで使用されている言語のルールに 従った有効な名前である必要があります。
対処	正しいバッファ名を指定し、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2919: 重複したフィールド名が生成されました。

テキスト	重複したフィールド名が生成されました。
説明	生成の際に、重複したフィールド名が生成されました。 このエラーは、接頭辞および接尾語を含むフィールド名の結果長が長いことが原因で、32 バイトに切り捨てられた場合に発生することがあります。
対処	接頭辞および接尾語を短くして、再生成してください。

NAT2920: 不正なレベル番号が生成されました。

テキスト	不正なレベル番号が生成されました。
説明	COBOL に対する生成レベルが高すぎます (49 より大きい)。
対処	高すぎる開始レベルやレベル増分は、指定しないでください。

NAT2921: 不正なフィールド名が生成されました。

テキスト	不正なフィールド名が生成されました。
説明	生成されたフィールド名はそのソース言語では不正であり、 整合性チェック文字が空白になっていました。
対処	別のフィールド名、または有効な整合性チェック文字を指定してください。

NAT2922: オカレンスのないフィールドが見つかりました。

テキスト	オカレンスのないフィールドが見つかりました。
説明	オカレンス数が明示されていないピリオディックグループ またはマルチプルバリューフィールドが見つかりました。 ファイルが Adabas ファイルまたはユーザービューの場合、 ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドのデフォルトのオカレンス数はそれぞれ、 99 および 191 とみなされます。 その他の場合はデフォルトで 1 とみなされます。

対処	デフォルトが不適切な場合は、フィールドレベルに最大オカレンス数を指定してください。

NAT2923: フィールドは初期化されません。

テキスト	フィールドは初期化されません。
説明	ピリオディックグループフィールドとマルチプルバリューフィールドは、VALUE 節で初期化できません。
対処	

NAT2924: フィールドが不正なフォーマットで生成されました。

テキスト	フィールドが不正なフォーマットで生成されました。
説明	フィールドが不正なフォーマットで生成されました。 例えば、COBOL で BIT フォーマットは許可されていないので、CHARACTER フォーマットが生成されます。 このメッセージは警告です。 生成フォーマットをチェックして、必要な場合は変更します。
対処	生成フォーマットをチェックしてください。

NAT2925: フィールド名が切り捨てられました。

テキスト	フィールド名が切り捨てられました。
説明	フィールド名が長すぎると、切り捨てられます。 切り捨てたくない場合は、ショートネームのみを使用します。
対処	

NAT2926: フィラー文字が生成されました。

テキスト	フィラー文字が生成されました。
説明	オブジェクト名が、不正な文字のみであったために 見つからなかった場合、フィラー文字が生成されます。 このメッセージは 警告です。

対処	オブジェクト名をチェックし、必要な場合は変更してください。

NAT2927: 生成されたコードがありません。

テキスト	生成されたコードがありません。
説明	コピー機能用の生成コードがありません。 ユーザーがそのコードをパージした可能性があります。
対処	Predict でファイル用にメンバを生成 / 再生成し、 プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2928: 複数のファイルが見つかりました。

テキスト	複数のファイルが見つかりました。
説明	指定された検索条件に対して、複数のファイルが見つかりました。 このメッセージは警告です。
対処	検索条件を指定してください。

NAT2929: ファイル名が指定されていません。

テキスト	ファイル名が指定されていません。
説明	COPY、GENERATE、FORMAT-BUFFER の各コマンドに対して ファイル名を指定する必要があります。
対処	指定したファイル名を使用して、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2930: ファイルを回復する必要があります。

テキスト	ファイルを回復する必要があります。
説明	トランザクションが中断されたので、ファイルを回復する必要があります。 DDA サービスを使用して、 ファイルを回復します。

対処	DDA サービス機能を使用して、 ファイルを回復してください。

NAT2931: 概念ファイルでは、生成できません。

テキスト	概念ファイルでは、生成できません。
説明	概念ファイルでは、生成機能を開始することはできません。
対処	生成するには別のファイルタイプを使用してください。

NAT2932: 開始レベルは **1**〜**40** です。

テキスト	開始レベルは 1~40 です。
説明	40 より大きい開始レベルは指定できません。
対処	開始レベルの値を確認してください。

NAT2933: レベルの増分は **1**〜**40** です。

テキスト	レベルの増分は 1~40 です。
説明	レベルの増分を指定する場合、1~40 の値を指定する必要があります。
対処	レベル増分の値を修正して、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2934: コメント数は **16** 以下である必要があります。

テキスト	コメント数は 16 以下である必要があります。
説明	コメントの最大数は 16 です。 16 を超えるコメントは許可されていません。
対処	コメント数を修正して、プリプロセッサを再スタートしてください。

NAT2935: 「**Y**」または「**N**」を入力します。

テキスト	「Y」または「N」を入力します。
説明	入力データに対して 'Y' または 'N' を指定する必要があります。
対処	入力データを修正します。

NAT2936: 切り捨てには右、左、中央のみを指定できます。

テキスト	切り捨てには右、左、中央のみを指定できます。
説明	オブジェクト名を切り捨てるには、次の方法があります。 'R' - 右側を切り捨てます。 'L' - 左側を切り捨てます。 'M' - 中央を切り捨てます。
対処	3 つの切り捨てモードのいずれかを指定してください。

NAT2937: フォーマットバッファは、ファイルタイプ '**A**' または '**U**' でのみ生成できます。

テキスト	フォーマットバッファは、ファイルタイプ 'A' または 'U' でのみ生成できます。
説明	Adabas ファイルとユーザービューに対してのみ フォーマットバッファを生成することができます。
対処	他のファイルに対して フォーマットバッファを生成しないでください。

NAT2938: 開始レベルと増分レベルの合計は **49** より少ない必要があります。

テキスト	開始レベルと増分レベルの合計は 49 より少ない必要があります。
説明	開始レベルと増分レベルの指定値の合計は、 49 より少ない必要があります。
対処	開始レベルと増分レベルの値を修正してください。

NAT2939: 切り捨て文字が正しくありません。

テキスト	切り捨て文字が正しくありません。
説明	不正な切り捨て文字が指定されました。
対処	切り捨て文字を確認してください。

NAT2940: プログラムドキュメンテーションを利用できません。

テキスト	プログラムドキュメンテーションを利用できません。
説明	システムデフォルトで、 DDA は全エントリの記録の必要性を指定しました。 プリプロセッサはこの制限をチェックし、有効なドキュメンテーションがない場合には機能を拒否します。
対処	Predict ドキュメンテーションを入力してください。

NAT2941: オブジェクトを編集する必要があります。

テキスト	オブジェクトを編集する必要があります。
説明	あるオブジェクトを修正し、DDA サービス内の オブジェクト編集用の変数を 'Y' または 'F' に設定すると、 このオブジェクトを編集する必要があります。
対処	DDA サービス内の変数を変更してください。または、 このオブジェクトを編集してください。

NAT2942: フィールドは非標準としてマークされます。

テキスト	フィールドは非標準としてマークされます。
説明	フィールドは非標準としてマークされます。つまり、 フィールドはもはや標準ファイルに関連せず、 その後の処理で修正できなくなります。

対処	

NAT2943: PE カウンタでのタイプは空白である必要があります。

テキスト	PE カウンタでのタイプは空白である必要があります。
説明	要素タイプに空白を入力してください。
対処	

NAT2944: VSAM で上書きはできません。

テキスト	VSAM で上書きはできません。
説明	VSAM でフォーマットおよび長さを上書きすることはできません。
対処	

NAT2945: 編集マスクの定義は、**Adabas** ファイルとそのユーザービューにのみ許可されています。

テキスト	編集マスクの定義は、Adabas ファイルとそのユーザービューにのみ許可されています。
説明	編集マスクの定義は、 Adabas ファイルとそのユーザービューにのみ許可されています。
対処	Adabas ファイルまたはユーザービューに 編集マスクを指定してください。

NAT2946: 編集マスクは **E1**〜**E15** である必要があります。

テキスト	編集マスクは E1~E15 である必要があります。
説明	編集マスクには E1~E15 のみを使用できます。
対処	使用した編集マスクをチェックし、エラーを修正してください。

NAT2947: VSAM では **PE/MU** フィールドのオカレンス数を指定する必要があります。

テキスト	VSAM では PE/MU フィールドのオカレンス数を指定する必要があります。
説明	VSAM ファイルでは、ピリオディックグループまたは マルチプルフィールドのオカレンス数が必要です。
対処	オカレンス数を指定してください。

NAT2948: オカレンス数はマスタフィールドと同一である必要があります。

テキスト	オカレンス数はマスタフィールドと同一である必要があります。
説明	VSAM ユーザービューの エレメントオカレンス数は、 マスタフィールドのものと 同一である必要があります。
対処	正しいオカレンス数を入力してください。

NAT2949: オカレンスの指定はできません。

テキスト	オカレンスの指定はできません。
説明	フィールドタイプが MU または PE の場合にのみ、オカレンスを指定できます。
対処	オカレンス数は空白にしてください。

NAT2950: VSAM ファイルに指定できるのは **PR**、**AL**、**SA**、**SV** のみです。

テキスト	VSAM ファイルに指定できるのは PR、AL、SA、SV のみです。
説明	VSAM ファイルでは、ディスクリプタオプションに 指定できるのは PR、AL、SA、SV のみです。
対処	ディスクリプタのタイプを変更します。

59 Natural システムエラーメッセージ 2951～3000

NAT2951: プライマリキーは '**KSDS**' ファイルにのみ指定できます。

テキスト	プライマリキーは 'KSDS' ファイルにのみ指定できます。
説明	ディスクリプタタイプ 'PR' は、VSAM の 'KSDS' ファイルにのみ使用できます。
対処	ディスクリプタのタイプを変更します。

NAT2952: RRDS ファイルにキーは指定できません。

テキスト	RRDS ファイルにキーは指定できません。
説明	RRDS ファイルでは、ディスクリプタタイプは空白である必要があります。
対処	空白を指定してください。

NAT2953: ディスクリプタまたは **PE** カウントは **Adabas** ファイルにのみ有効です。

テキスト	ディスクリプタまたは PE カウントは Adabas ファイルにのみ有効です。
説明	ディスクリプタまたは PE カウントは、Adabas ファイルにのみ有効です。
対処	ディスクリプタ定義、PE カウント、またはファイルタイプを チェックしてください。

NAT2954: GR-STRUCT は **Adabas** ファイルの **PE** グループにのみ指定できます。

テキスト	GR-STRUCT は Adabas ファイルの PE グループにのみ指定できます。
説明	オプション GR-STRUCT は、PE グループのフォーマットバッファレイアウトを定義します。 GR-STRUCT = ' ' は、全体で N 回発生するグループとして PE グループが生成される、という意味です。 GR-STRUCT = 'N' は、各メンバが N 回発生するグループが生成される、という意味です。 このオプションは、ファイルタイプ 'A'(Adabas)または 'U'(ユーザービュー)にのみ有効です。
対処	エラーを修正してください。

NAT2955: フィールドが見つかりません。 続行するには **Enter** を押してください。

テキスト	フィールドが見つかりません。 続行するには Enter を押してください。
説明	指定されたフィールドが Predict にありません。
対処	別のフィールドを入力してください。または、Enter キーを押して続行してください。 注意：変更しない場合は、エラーが発生します。

NAT2956: フィールド名を指定する必要があります。

テキスト	フィールド名を指定する必要があります。
説明	指定した機能を実行するには、フィールド名を指定する必要があります。
対処	フィールド名を入力します。

NAT2957: 代替インデックス名（**DD** 名）がありません。

テキスト	代替インデックス名(DD 名)がありません。
説明	代替インデックス名が指定されていません。
対処	代替インデックス名を入力してください。

NAT2958: トランザクションのバックアウトが発生しました。

テキスト	トランザクションのバックアウトが発生しました。
説明	新しいファイルの追加中、別のユーザーが同じファイル番号でファイルを格納しました。 このため、トランザクションのバックアウトが発生しました。
対処	新しいファイル番号を入力します。

NAT2959: セキュリティアクセスレベルはセキュリティ更新レベル以下である必要があります。

テキスト	セキュリティアクセスレベルはセキュリティ更新レベル以下である必要があります。
説明	Adabas ファイルの指定されたセキュリティアクセスレベルは、 入力されたセキュリティ更新レベル以下である必要があります。
対処	入力したセキュリティレベルをチェックしてください。

NAT2960: プライマリシーケンスフィールドが定義されていません。

テキスト	プライマリシーケンスフィールドが定義されていません。
説明	VSAM ファイルのプライマリキーが定義されていません。
対処	VSAM ファイルのプライマリキーを入力してください。

NAT2961: プライマリシーケンスフィールドがインバートされません。

テキスト	プライマリシーケンスフィールドがインバートされません。
説明	定義されたプライマリキーがインバートされません。 プライマリキーとして誤ったフィールドが 指定された可能性があります。
対処	フィールドをチェックしてください。

NAT2962: PREFIX（接頭辞）はファイルタイプ '**L**' にのみ使用できます。

テキスト	PREFIX (接頭辞) はファイルタイプ 'L' にのみ使用できます。
説明	VSAM の接頭辞は、ファイルタイプ 'L' (論理 VSAM ファイル) にのみ使用できます。 VSAM の接頭辞とプライマリキーの合計は、 物理 VSAM ファイル (ファイルタイプ 'V') のプライマリキーの 長さおよびオフセットと等しい必要があります。
対処	エラーを修正してください。

NAT2963: VSAM の **DD** 名を指定する必要があります。

テキスト	VSAM の DD 名を指定する必要があります。
説明	使用した機能では、VSAM DD 名を指定する必要があります。
対処	VSAM の DD 名を入力してください。

NAT2964: ファイルに論理ファイルが含まれています。

テキスト	ファイルに論理ファイルが含まれています。
説明	KSDS ファイルのみが、関連論理 VSAM ファイルを持つことができます。 ファイルの VSAM 編成の属性を KSDS から ESDS または RRDS に修正しようとしました。 KSDS ファイルが論理ファイルを持たない場合にのみ、 この属性を変更できます。
対処	ファイルに関連論理ファイルがある場合は、 KSDS のファイル編成の属性を変更しないでください。

NAT2965: 最小レコードサイズは最大レコードサイズより小さい必要があります。

テキスト	最小レコードサイズは最大レコードサイズより小さい必要があります。
説明	入力された最小レコードサイズが、 最大レコードサイズより大きい値になっています。

対処	入力したレコードサイズをチェックしてください。

NAT2966: KSDS ファイルのみ圧縮できます。

テキスト	KSDS ファイルのみ圧縮できます。
説明	COMPRESSION = 'Y' の指定は、KSDS ファイルでのみ許可されています。
対処	COMPRESSION = 'N' を指定してください。

NAT2967: VSAM 編成が正しくありません。

テキスト	VSAM 編成が正しくありません。
説明	KSDS、RRDS、または ESDS の VSAM ファイル編成のみを使用できます。
対処	有効な VSAM 編成を入力してください。

NAT2968: ファイル圧縮が正しくありません。

テキスト	ファイル圧縮が正しくありません。
説明	ファイル圧縮には、'Y' または 'N' のみを指定できます。
対処	「Y」または「N」と入力します。

NAT2969: ゾーン指定が正しくありません。

テキスト	ゾーン指定が正しくありません。
説明	VSAM ファイルの数字ゾーン指定には、'F' または 'C' のみ使用できます。
対処	「F」または「C」を入力してください。

NAT2971: ブロックサイズはレコードサイズより大きい必要があります。

テキスト	ブロックサイズはレコードサイズより大きい必要があります。
説明	ファイルに BLKSIZE (ブロックサイズ) より大きい RECSIZE (レコードサイズ) を指定することはできません。
対処	RECSIZE (レコードサイズ) をチェックし、エラーを修正してください。

NAT2972: 関連ファイル番号を指定する必要があります。

テキスト	関連ファイル番号を指定する必要があります。
説明	新しい論理 VSAM ファイル追加する場合、関連ファイル番号を指定する必要があります。
対処	関連ファイル番号を指定してください。

NAT2973: 関連ファイル番号が見つかりません。

テキスト	関連ファイル番号が見つかりません。
説明	指定した論理 VSAM ファイルの関連ファイル番号が見つかりませんでした。
対処	有効な関連ファイル番号を指定してください。

NAT2974: 関連ファイルは '**KSDS**' ファイルではありません。

テキスト	関連ファイルは 'KSDS' ファイルではありません。
説明	論理 VSAM ファイルの指定した関連ファイルは、'KSDS' ファイルである必要があります。
対処	関連 KSDS ファイル番号を指定してください。

NAT2975: ファイルタイプ = '**L**' の場合にのみ関連ファイル番号が有効です。

テキスト	ファイルタイプ = 'L' の場合にのみ関連ファイル番号が有効です。

説明	ファイルタイプ = 'L'（論理 VSAM ファイル）の場合にのみ 関連ファイル番号を指定できます。
対処	関連するファイル番号には空白を入力します。

NAT2976: エントリポイントがすでに使われています。

テキスト	エントリポイントがすでに使われています。
説明	同じエントリポイントを持つモジュールがすでに存在します。
対処	エントリポイント名を修正してください。

NAT2977: エントリポイントがユニークでありません。

テキスト	エントリポイントがユニークでありません。
説明	同じエントリポイント名がすでに存在します。
対処	

NAT2978: Natural プログラムまたはライブラリ名が正しくありません。

テキスト	Natural プログラムまたはライブラリ名が正しくありません。
説明	指定したプログラム名またはライブラリ名に不正な文字があります。
対処	有効なプログラム名またはライブラリ名を指定してください。

NAT2979: Natural ライブラリはプログラムが存在する場合にのみ指定できます。

テキスト	Natural ライブラリはプログラムが存在する場合にのみ指定できます。
説明	Natural 実行ポインタは、 - プログラム ID - ライブラリ - ファイル番号 - データベース番号 で構成されますが、これらの一部のみを指定することもできます。 ただし、ライブラリを指定した場合は、 プログラム ID も指定する必要があります。

対処	Natural 実行ポインタをチェックします。

NAT2980: Natural ファイル番号はライブラリが存在する場合にのみ指定できます。

テキスト	Natural ファイル番号はライブラリが存在する場合にのみ指定できます。
説明	Natural 実行ポインタは、 - プログラムID - ライブラリ - ファイル番号 - データベース番号 で構成されますが、これらの一部のみを指定することもできます。 ただし、ファイル番号が指定されている場合は、ライブラリ名も指定する必要があります。
対処	Natural 実行ポインタをチェックします。

NAT2981: Natural データベース番号はファイル番号が存在する場合にのみ指定できます。

テキスト	Natural データベース番号はファイル番号が存在する場合にのみ指定できます。
説明	Natural 実行ポインタは、 - プログラム ID - ライブラリ - ファイル番号 - データベース番号 で構成されますが、これらの一部のみを指定することもできます。 ただし、データベース番号が指定されている場合は、 ファイル番号も指定する必要があります。
対処	Natural 実行ポインタをチェックします。

NAT2982: COBOL プリプロセッサが異常終了しました。

テキスト	COBOL プリプロセッサが異常終了しました。
説明	COBOL のソースプログラムに PROCEDURE DIVISION がありません。
対処	COBOL のソースプログラムをチェックし、 エラーを修正してください。

NAT2983: ダイレクトパンチが必要な場合は、メンバ名を指定する必要があります。

テキスト	ダイレクトパンチが必要な場合は、メンバ名を指定する必要があります。
説明	ダイレクトパンチが必要な場合は、メンバ名を指定する必要があります。
対処	メンバ名を入力してください。

NAT2984: SUPER Natural ファイルが比較されました。

テキスト	SUPER Natural ファイルが比較されました。
説明	SUPER Natural ファイルが Predict 内のファイル定義と比較されました。
対処	

NAT2985: SUPER Natural はインストールされていません。

テキスト	SUPER Natural はインストールされていません。
説明	SUPER Natural がインストールされている必要のある機能を使用すると、このメッセージが送られます。
対処	SUPER Natural をインストールしてください。

NAT2986: 「**X**」を入力するか、または空白のままにしてください。

テキスト	「X」を入力するか、または空白のままにしてください。
説明	X でマークされた各システムデフォルトについては、ユーザーが修正できます。フィールド内がスペースの場合は、デフォルトを修正できないことを意味します。
対処	

NAT2987: TO FILE 指定がありません。

テキスト	TO FILE 指定がありません。
説明	あるファイルから別ファイルにファイル定義をコピーする場合、'TO FILE' が必要です。
対処	新しいファイルを追加してください。

NAT2988: TO FILE ID を指定する必要があります。

テキスト	TO FILE ID を指定する必要があります。
説明	コピー機能では、'TO FILE' を指定する必要があります。
対処	正しい 'TO FILE' を入力します。

NAT2989: TO FILE は標準ファイルである必要があります。

テキスト	TO FILE は標準ファイルである必要があります。
説明	標準ファイルは、'TO FILE' も標準ファイルである場合にのみコピーすることができます。
対処	正しい 'TO FILE' を入力します。

NAT2990: ユーザービューに対して **PUSH BACKWARD** は使用できません。

テキスト	ユーザービューに対して PUSH BACKWARD は使用できません。
説明	PUSH BACKWARD 機能は Adabas ファイルにのみ使用できます。
対処	Adabas ファイルを修正してから、'PUSH BACKWARD' を使用してください。

NAT2991: この **DDM** のオーナーではありません。

テキスト	この DDM のオーナーではありません。
説明	Natural Security がインストールされており、 ユーザーが DDM のオーナーではない場合に、このメッセージが発行されます。

対処	必要な場合は、Security 定義を変更してください。

NAT2992: 有効なファンクションコードまたは有効なコマンドを入力してください。

テキスト	有効なファンクションコードまたは有効なコマンドを入力してください。
説明	表示されたファンクションコードのうちの 1 つ、または XREF コマンドのヘルプに示されているコマンドのうちの 1 つを XREF メニューに入力してください。
対処	

NAT2993: セキュリティ定義により、**XREF** 要求は許可されていません。

テキスト	セキュリティ定義により、XREF 要求は許可されていません。
説明	Natural Security 環境では、 XREF スイッチは、適切なセキュリティプロファイルに 詳細に定義された値にのみ設定できます。 次の表に正しい組み合わせを示します。 セキュリティ ! XREF コマンドによる要求 プロファイル ! ! での定義 ! オフ オン 強制 ----------+------------------------------ オフ (off) ! + + + + + + オン (on) ! - + + - + + 強制 (force) ! ・ ・ +
対処	データをチェックして、エラーを修正してください。または、 データベース管理者に連絡して、セキュリティプロファイルの修正を依頼してください。

NAT2994: XREF スイッチが **FORCE** に設定されています。

テキスト	XREF スイッチが FORCE に設定されています。
説明	以降の全カタログ処理に対して、 Natural はプログラムが Predict に記録されているかどうかをチェックし、 クロスリファレンスデータを生成します。

対処	

NAT2995: XREF スイッチが **on** に設定されています。

テキスト	XREF スイッチが on に設定されています。
説明	以降の全カタログ処理に対して、 Natural はクロスリファレンスデータを生成します。
対処	

NAT2996: XREF スイッチが **off** に設定されています。

テキスト	XREF スイッチが off に設定されています。
説明	以降の全カタログ処理に対して、 Natural はクロスリファレンスデータを生成しません。 注意： 新しくカタログされるプログラムの 既存のクロスリファレンスデータは削除されます。
対処	

NAT2997: インストールされた **Predict** バージョンはこの機能をサポートしません。

テキスト	インストールされた Predict バージョンはこの機能をサポートしません。
説明	クロスリファレンス機能は、Predict バージョン 2 以上でのみ サポートされます。
対処	適切な Predict バージョンをインストールするようにデータベース管理者に要請してください。

NAT2998: DBID = 0 ではこの機能を利用できません。

テキスト	DBID = 0 では関数を利用できません。
説明	Natural クロスリファレンスを生成するには、Natural システムファイル (モジュールの格納先) の DBID がゼロ以外の値である必要があります。

対処	DBA に連絡して、正しい Natural パラメータモジュールを生成するか、 Natural を呼び出してデータベース ID の値をダイナミックに上書きするように 要請してください。

NAT2999: プログラムは **Predict** に記録されていません。

テキスト	プログラムは Predict に記録されていません。
説明	XREF スイッチが FORCE に設定されている場合、 カタログする Natural プログラムは、 Predict に記録されている必要があります。
対処	プログラムを Predict に記録してください。

NAT3000: データベースからゼロでないレスポンスコードを受け取りました。

テキスト	データベースからゼロでないレスポンスコードを受け取りました。
説明	3000 番台の Natural エラーメッセージ (NAT3001～NAT3999) は、データベースの レスポンスコードです。エラーメッセージ 'NAT3nnn' は、 データベースがコマンドに対してレスポンスコード 'nnn' を 返したことを示します。 次の原因が考えられます。 - データベースに不正な要求を出しました。 - データベース内で異常が発生しました。
対処	レスポンスコードの番号を控えて、データベース管理者に連絡してください。

60 Natural システムエラーメッセージ 3001～3050

NAT3001: ISN リストがソートされません。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	ISN リストがソートされません。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
説明	次の理由が考えられます。 - ISN 数が多すぎます。または - 返された ISN 数と実際の検出レコード件数に矛盾があるために ISN リストがソートされませんでした (後者は 'セキュリティバイバリュー' (security by value) が使用されている場合にのみ起こります) 。
対処	ソートする ISN 数を減らしてください。

NAT3002: 機能は完全には実行されませんでした。 **DB/FNR/subc/field :1:/:2:/:3:/:4:**。

テキスト	機能は完全には実行されませんでした。 DB/FNR/subc/field .../.../.../...。
説明	要求された機能は完全には実行されませんでした。 コマンドオプション 2 = E での OP コマンド、または RE コマンド用に 指定されたレコードバッファの長さが、読み込まれた ET データより 短かったため、 レコードバッファが切り捨てられました。
対処	レコードバッファの長さを増やしてください。または、警告を無視してください。

NAT3003: エンドオブファイルまたはエンドオブリスト条件が検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	エンドオブファイルまたはエンドオブリスト条件が検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	

NAT3004: 同期チェックポイント間の最小タイム以前に **S2/S9** コマンドが発行されました。

テキスト	同期チェックポイント間の最小タイム以前に S2/S9 コマンドが発行されました。
説明	次の理由が考えられます。 - 同期チェックポイント間の最小タイムが経過する前に S2/S9 コマンドが発行されました。または、 - 最小限の数のコマンドが発行されませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3005: 同期チェックポイントが保留状態です。

テキスト	同期チェックポイントが保留状態です。
説明	同期チェックポイントがまもなく取られることを通告しています。
対処	有効な C2/C3 コマンドを発行してください。

NAT3007: タイムリミットを超えたので、**Sx** コマンドは中断されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	タイムリミットを超えたので、Sx コマンドは中断されました。 DB/FNR .../...。
説明	許された時間の最大値を超えたので、Sx コマンドは中断されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3008: WORK のオーバーフローを防ぐためにコマンドは中断されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	WORK のオーバーフローを防ぐためにコマンドは中断されました。 DB/FNR .../...。
説明	保留中のバックアウト操作が原因で、 WORK のオーバーフローを防ぐために現在のユーザーによるコマンドが 中断されました。
対処	LP パラメータに指定された値を増加しなければならない場合があります。

NAT3009: 最新のトランザクションがデータベース **:1:** からバックアウトされました。 サブコード **:2:**。

テキスト	最新のトランザクションがデータベース ... からバックアウトされました。 サブコード ...。
説明	このレスポンスの原因は次のいずれかです。 - 最後のユーザートランザクションが、アクティブでない時間制限を超えた Adabas (ET ロジックのユーザーのみ)、排他制御ユーザー (非 ET ユーザー)、または アクセスオンリーユーザーのいずれかによってバックアウトされました。 - ニュークリアスが異常終了した状態で、ユーザーがコマンドを発行しました。 - プロテクションログエリアが非常に小さいにもかかわらず、 内部 BT コマンドを実行しました。 CB 内のアディション 2 フィールドには、次の追加情報があります。 トランザクションタイムアウト : 0 - TT セキュリティ : 5 - SE 非アクティブティタイムアウト : 1 - TN ホールドキューデッドロック : 6 - DL STOP ユーザー (ユーザーの停止) : 2 - ST 一貫読み込み : 7 - RC LP オーバーフロー : 3 - LP トランザクション間の OP コマンド : 8 - OP AUTO-RESTART : 4 - AR ユーザーに対しての Open コマンドの発行 : 9 - OR
対処	該当する原因をチェックしてください。

NAT3010: ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	ピリオディックグループのオカレンス数が多すぎます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3017: ファイル番号が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	ファイル番号が正しくありません。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
説明	ファイル番号が正しくありません。 考えられる理由は次のとおりです。 - ファイル番号が 0 であるか、または 255 より大きくなっています。 - データベースにファイルが存在しません。 - ファイルがロックされています。 - 必要な Adabas システムファイルがロードされていません。
対処	正しいファイル番号を使用していることを確認してください。

NAT3018: ファイル番号の使用法が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ファイル番号の使用法が正しくありません。 DB/FNR .../...。
説明	連続した L2/L5 コール間でファイル番号が変更されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3019:アクセスオンリーとしてオープンされたファイルを更新しようとしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	アクセスオンリーとしてオープンされたファイルを更新しようとしました。 DB/FNR .../...。
説明	アクセスオンリーでオープンされたファイルを更新しようとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3020: CID 値に不正なエントリが指定されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	CID 値に不正なエントリが指定されました。 DB/FNR .../...。
説明	CID 値として、次のような不正なエントリが指定されました。 - X'00000000' - X'40404040' - X'FFxxxxxx'

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3021: 正しくない **CID** 値が検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	正しくない CID 値が検出されました。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
説明	コマンド ID が見つからなかったため、タイムアウトになりました。 このプログラムエラーの原因は次のとおりです。 - CMD ID が別の Ln コマンド (n = 1,...9) に指定されました。 - CMD ID が別のファイルに指定されました。 - CMD ID が S8 コマンドに見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3022: コマンドが無効です。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。 コマンド**:4:**。

テキスト	コマンドが無効です。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。 コマンド ...。
説明	入力されたコマンドが次の理由で正しくありません。 - コマンドコードが正しくありません。 - アクセスオンリーユーザーが更新コマンドを発行しようとしました。 - 非 ET ロジックユーザーが BT コマンドを発行しました。 - CLU ユーザーが ET コマンドを発行しました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3023: 不正な開始 **ISN** が指定されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	不正な開始 ISN が指定されました。 DB/FNR .../...。
説明	L2/L5 コマンドシーケンスに指定した開始 ISN が次の理由で正しくありません。 - ISN がファイル内のレコードに割り当てられていません。 - ISN がファイルに対する有効な MAXISN よりも大きい値になっています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3024: ISN バッファ内に不正な **ISN** が見つかりました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ISN バッファ内に不正な ISN が見つかりました。 DB/FNR .../...。
説明	ISN バッファ内に、 - ISN = 0、 - 最初の未使用な ISN、または - 16777216 より大きい ISN が見つかりました。
対処	ISN バッファを修正してください。

NAT3025: S1/S4 で **ISN** 下限に指定した **ISN** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	S1/S4 で ISN 下限に指定した ISN が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	S1/S4 (または S2/S9) コマンドで ISN 下限に指定した ISN が 見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3026: S9 コマンドの **ISN** バッファ長が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	S9 コマンドの ISN バッファ長が正しくありません。 DB/FNR .../...。
説明	ISN 数が指定されたが ISN の数が 0 になっていました。 または、リンクルーチンで誤った SVC 番号が指定されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3027: サーチ／バリューバッファがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サーチ / バリューバッファがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
説明	サーチバッファ長およびバリューバッファ長のフィールドに 示されたサーチバッファおよびバリューバッファの合計サイズを 収容するのに十分なワークスペースがありません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3028: ディスクリプタが正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	ディスクリプタが正しくありません。 DB/FNR .../...。 サブコード ...。
説明	次の理由により、L3/L6 または S2/S9 コマンドのディスクリプタが不正です。 - そのフィールドはディスクリプタではありません。 - 連続コール間にディスクリプタが変更されました。 - ピリオディックグループ内にディスクリプタがあります。 - アディション 1 フィールドのディスクリプタが、サーチバッファ内のディスクリプタと異なります。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3029: 正しくない値の再位置決めを試みました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	正しくない値の再位置決めを試みました。 DB/FNR .../...。
説明	L3/L6 コマンドで値の再位置決めを試みましたが (アディション 1 フィールドの 7~8 バイトには空白が入っている)、 コマンドオプション 2 フィールドには値 'V' が入っていません。 コマンド ID は解放されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3031: レコードは **ADASTAR** 分配条件に合いません。

テキスト	レコードは ADASTAR 分配条件に合いません。
説明	
対処	プログラムのエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3032: ADASTAR NETTAB テーブルに論理 **ID** が含まれていません。

テキスト	ADASTAR NETTAB テーブルに論理 ID が含まれていません。

説明	
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3033: ADASTAR はコマンドを物理ノードに渡しました。

テキスト	ADASTAR はコマンドを物理ノードに渡しました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT3039: Logically deleted descriptor used as search crit. DB/FNR :1:/:2:

テキスト	Logically deleted descriptor used as search crit. DB/FNR .../...
説明	A logically deleted descriptor was used as a search criterionor was ↩ specified in the first two bytes of the Additions 1 fieldfor an L3, L6, ↩ L9, S2, or S9 command. DB/FNR .../....
対処	Remove the use of the logically deleted descriptor and inform yourdatabase ↩ administrator about the problem.

NAT3040: フォーマットバッファに構文エラーが検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォーマットバッファに構文エラーが検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	構文エラーは次のいずれかです。 - 最後のピリオドがありません。 - 第 1 桁目にピリオドがあります。 - 長さおよび (または) フォーマットが範囲定義で指定されました。 - 不正な項目が検出されました。 -サーチバッファの L9 ディスクリプタ名が、フォーマットバッファの 名前と一致しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3041: フォーマットバッファにエラーが検出されました。 **DB/FNR/subc/field :1:/:2:/:3:/:4:**。

テキスト	フォーマットバッファにエラーが発生しました。 DB/FNR/subc/field .../.../.../...。
説明	このエラーは、次のうちの 1 つ、または複数が原因で起こります。 - フォネティックディスクリプタが指定されました。 - フィールドが正しく指定されていません。 - ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドの 添字指定が正しくありません。 - ピリオディックグループの参照が正しくありません。 - マルチプルバリューフィールドでないフィールドに カウントが指定されました。 - マルチプルバリューフィールドの添字が正しくありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3042: 内部フォーマットバッファが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	内部フォーマットバッファが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
説明	ユーザーが定義したフォーマットバッファによってフォーマットを生成するには 内部フォーマットバッファが小さすぎます。
対処	Adabas の LFP パラメータサイズを大きくしてください。

NAT3043: フォーマット／サーチバッファでディスクリプタが不一致です。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォーマット / サーチバッファでディスクリプタが不一致です。 DB/FNR .../...。
説明	フォーマットバッファに指定されたディスクリプタが サーチバッファに指定されたディスクリプタと一致しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3044: フォーマットバッファが正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォーマットバッファが正しくありません。 DB/FNR .../...。
説明	更新コマンド (A1/A4) または追加コマンド (N1/N2) で使用するフォーマットバッファが正しくありません。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3045: 更新で **N-** オプションを使用するときに、**PE/MU** がオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	更新で N- オプションを使用するときに、PE/MU がオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
説明	更新で N- オプションを使用するときに、マルチプルバリューフィールド またはピリオディックグループがオーバーフローしました。
対処	

NAT3046: 指定されたコマンド **CID** を使用するとフォーマットバッファが一致しません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定されたコマンド CID を使用するとフォーマットバッファが一致しません。 DB/FNR .../...。
説明	指定されたコマンド ID を使用すると、フォーマットバッファが一致しません。 - テストオプションユーザーが、以前の Adabas コールの フォーマットバッファとは異なるフォーマットバッファを指定しました。 - グローバルコマンド ID を使用している非テストオプションユーザーが このレスポンスを受け取るのは、テストオプションユーザーが グローバルコマンド ID に不正なフォーマットバッファを指定したときです。 - グローバル ID フォーマットバッファのコマンド ID が、フォーマットプールに見つかり、 呼び出し側が指定したのとは異なるファイル番号を持ちます。 - このファイル番号は、同じ通常の ID またはグローバル ID によって後続の Adabas コールで、 テストオプションに影響されることなく、変更されました。
対処	コマンド ID の使用をチェックしてください。

NAT3047: Adabas パラメータ **NISNHQ** の最大値を超えました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	NAT3047 : Adabas パラメータ NISNHQ の最大値を超えました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3048: オープン（**OP**）時のファイル／**USERID** が有効でありません。 **DB**／サブコード **:1:/:2:**。

テキスト	オープン (OP) 時のファイル / USERID が有効でありません。 DB / サブコード .../... 。
説明	OP コマンド： - 1つ以上のファイルの要求された使用法は、現在の他のユーザー、 または Adabas ユーティリティによるファイルの使用法と矛盾します。- OP コマンド時に指定された USERID はすでに他のユーザーに割り当てられています。 - 前に実行された Natural セッションは、データベースを閉じずに 異常終了しました。 この USERID は、Adabas のユーザーキューにまだ存在しています。
対処	前に実行された Natural セッションが異常終了した場合、 データベース管理者は、Adabas ユーザーキュー内の USERID をチェックし、それを削除する必要があります。

NAT3049: 圧縮されたレコードの長さが長すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:** サブコード **:3:**。

テキスト	圧縮されたレコードの長さが長すぎます。 DB/FNR .../... 。 サブコード ... 。
説明	プロテクションエリア (WORK) 、またはデータストレージディスクデバイスに対して、圧縮されたレコードが長すぎます。
対処	関係するファイルの可能なレコードサイズを調べてください。

NAT3050: レコードバッファに構文エラーが検出されました。 **DB :1:**。

テキスト	レコードバッファに構文エラーが検出されました。 DB ... 。
説明	OP コマンド処理中にレコードバッファで構文エラーが検出されました。
対処	OPRB パラメータを変更してレコードバッファを修正します。

61 Natural システムエラーメッセージ 3051〜3100

NAT3051: レコードバッファにエラーが検出されました。 **DB :1:**。

テキスト	レコードバッファにエラーが検出されました。 DB ...。
説明	OP コマンド処理中にレコードバッファでエラーが検出されました。
対処	OPRB パラメータを変更してレコードバッファを修正します。

NAT3052: バッファの処理中にエラーが発生しました。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	バッファの処理中にエラーが発生しました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	レコードバッファ、バリューバッファ、またはサーチバッファの 処理中に次のようなエラーが発生しました。 - P フォーマットフィールドの値がパック 10 進形式でありません。 - U フォーマットフィールドの値がアンパック 10 進形式でありません。 - 可変長フィールドに長さパラメータが指定されていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3053: レコードバッファが小さすぎます。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	レコードバッファが小さすぎます。 DB / FNR / サブコード .../.../...。

説明	レコードバッファは、必要なすべての Adabas 値を 圧縮形式で収容するのに十分な大きさである必要があります。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3054: レコードバッファが長すぎます。 **DB :1:**。

テキスト	レコードバッファが長すぎます。 DB ...。
説明	C5 または ET コマンドのレコードバッファが長すぎます。 最大 2000 バイトをチェックポイントファイルに書き込むことができます。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3055: 変換できません。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	変換できません。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	互換性のないデータフォーマットまたはその他の互換性の問題が原因で、 フォーマット変換が実行できませんでした。 読み込み操作を実行中、SQL NULL (NC) オプションで定義された フィールドに空値が見つかりましたが、フォーマットバッファは 'S' (有意性 NULL) インジケータフィールドを保持していませんでした。 アディション 2 の左端 2 バイトにフィールド名 が含まれ、右端 2 バイトにレコードバッファ内 へのオフセットが含まれる場合があります。
対処	プログラムのエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3056: ディスクリプタ値が長すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ディスクリプタ値が長すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	ディスクリプタ値が次のように長すぎます。 - ディスクリプタの場合は 126 を超えています。 - スーパーディスクリプタの場合は 253 を超えています。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3057: サーチバッファに不正なディスクリプタが指定されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サーチバッファに不正なディスクリプタが指定されました。 DB/FNR .../...。
説明	L9 コマンドのサーチバッファに指定したディスクリプタが正しくありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3058: フォーマットが見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォーマットが見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	フォーマット選択条件内に定義されたフォーマットが見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3059: サブフィールドのフォーマット変換ができません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サブフィールドのフォーマット変換ができません。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3060: サーチバッファに構文エラーが検出されました **DB/FNR/subc/field :1:/:2:/:3:/:4:**。

テキスト	サーチバッファに構文エラーが検出されました DB/FNR/subc/field .../.../.../...。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3061: サーチバッファにエラーが検出されました。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	サーチバッファにエラーが検出されました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。

説明	エラーの原因は以下のとおりです。 - 要素の順序が正しくありません。 - 指定フィールドがディスクリプタではありません。 - 添字が指定されていないか、正しくありません。 - 部分条件の結合が正しくありません。 - フォネティックディスクリプタの使用方法が正しくありません。 - ディスクリプタ値の長さが 253 バイトを超えています。 - ファイル番号が正しくありません。 - 範囲の指定が正しくありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3062: サーチ／バリューバッファ長が短すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サーチ / バリューバッファ長が短すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	サーチバッファ / バリューバッファ長フィールドに指定した値が、指定の検索条件の長さを収容するのに十分ではありません。 または、サーチバッファの最初の文字が '.' でした。 または、サーチバッファに '.' が含まれていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3063: サーチバッファに指定された **CID** 値が見つかりません。 **DB/FNR**／サブ **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	サーチバッファに指定された CID 値が見つかりません。 DB/FNR / サブ .../.../...。
説明	サーチバッファに指定されたCID値が見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3064: 要求された処理は実行できません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	要求された処理は実行できません。 DB/FNR .../...。
説明	要求した機能は、Adabas システムファイルに対して実行できません。
対処	ADAREP 出力レポートでシステムファイルのリストを参照してください。

NAT3065: 内部エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	内部エラーが発生しました。 Adabas ニュークリアスはスペース見積もりにエラーを検出しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3067: Adabas Sx コマンドの実行中に内部エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas Sx コマンドの実行中に内部エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas Sxコマンドの実行中に内部エラーが発生しました。
対処	すべての関連情報を取得して、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3070: シーケンシャルコマンドテーブルがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	シーケンシャルコマンドテーブルがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
説明	データベース管理者は、LQ パラメータに指定している値を大きくするか、 または RC コマンドを使用して エレメントを解放してください。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3071: ISN 結果リストテーブルがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ISN 結果リストテーブルがオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
説明	データベース管理者は、LI パラメータに指定している値のサイズを大きくするか、 または RC コマンドを使用して要素を解放してください。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3072: ユーザーキューでオーバーフローが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーキューでオーバーフローが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	データベース管理者は、NU パラメータ値を増加できます。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3073: 実行結果の **ISN** リストを格納する **WORK** データセットがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**。

テキスト	実行結果の ISN リストを格納する WORK データセットがオーバーフローしました。DB/FNR ↩ .../...。
説明	ISN 結果リストを格納する WORK データセットのセクションでオーバーフローが発生しました。 データベース管理者は、WORK データセットのサイズを大きくするか、 または Adabas セッション中に保存される ISN リストの数を減らします。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3074: 複合 **FIND** コマンドを処理するためのスペースが **WORK** データセットにありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	複合 FIND コマンドを処理するためのスペースが WORK データセットにありません。DB/FNR ↩ .../...
説明	複合 FIND コマンドを処理するためのスペースが WORK データセットにありません。 データベース管理者は、WORK データセットのサイズを大きくします。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3075: ファイルコントロールブロック（**FCB**）内のエクステントがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ファイルコントロールブロック (FCB) 内のエクステントがオーバーフローしました。 DB/FNR ↩ .../...。
説明	ファイルでアソシエータまたはデータストレージの エクステントの追加が必要ですが、 最大数である 4 つのエクステントが FCB 内にすでに割り当てられています。 5 番目のエクステントは、バックアウトされているコマンドと AUTORESTART にのみ使用されます。

対処	適当な初期化割り当てで、ファイルのアンロード および再ロードを実行してください。

NAT3076: インバーテッドリストのインデックスでオーバーフローが起きました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	インバーテッドリストのインデックスでオーバーフローが起きました。 DB/FNR .../...。
説明	インバーテッドリストのインデックスでオーバーフローが起きました。
対処	アソシエータの適当なパディングファクタで、ファイルの アンロードおよび再リロードを実行してください。

NAT3077: ASSO/DATA に利用可能なスペースがありません。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	ASSO/DATA に利用可能なスペースがありません。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	要求されたアソシエータまたはデータストレージ エクステントに十分なスペースがありません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3078: フリースペーステーブル（**FST**）がオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フリースペーステーブル (FST) がオーバーフローしました。 DB/FNR .../...。
説明	ASSO/DATA がフラグメント化されたことにより、 フリースペーステーブル (FST) にオーバーフローが発生しました。
対処	割り当てがフリーブロックに近接しているファイルをアンロードし、 適当な初期化割り当てでファイルを再ロードしてください。

NAT3079: ハイパー出口はニュークリアスには利用できません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ハイパー出口はニュークリアスには利用できません。 DB/FNR .../...。
説明	ハイパー出口はニュークリアスには利用できません。 コントロールブロックのアディション 2 フィールドには、 次の情報が返されます。 - 下位 (右端) 2 バイトはハイパー出口の数を示します。 - 上位 (左端) 2 バイトはハイパーディスクリプタの数を示します。

対処	ハイパー出口を定義し、ニュークリアスを再スタートしてください。

NAT3080: ユーザーにユーザーデータが格納されませんでした。

テキスト	ユーザーにユーザーデータが格納されませんでした。
説明	RE コマンドを発行したが、ユーザーにユーザーデータが格納されませんでした。
対処	

NAT3081: ファイルクラスタテーブルが変更され、正常なバックアウトができませんでした。

テキスト	ファイルクラスタテーブルが変更され、正常なバックアウトができませんでした。
説明	ファイルクラスタテーブルが変更されたため、 異常終了後の Adabas 初期化中に、 クラスタの正常なバックアウトができませんでした。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3082: ロック状態のクラスタを更新しようとしました。

テキスト	ロック状態のクラスタを更新しようとしました。
説明	更新しようとしたクラスタがロックされていました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3083: ハイパー出口ルーチンが無効な **ISN** を返しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ハイパー出口ルーチンが無効な ISN を返しました。 DB/FNR .../...。
説明	ハイパー出口ルーチンが無効な ISN を返しました。 コントロールブロックのアディション 2 フィールドには、 次の情報が返されます。 - 最初の 2 バイトはハイパーディスクリプタの名前を示します。

対処	ハイパー出口ルーチンを修正し、データベースを再起動してください。

NAT3084: サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタの値が多すぎます。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3085: UPDATE/ADD RECORD で、ディスクリプタ値が多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	UPDATE/ADD RECORD で、ディスクリプタ値が多すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	UPDATE/ADD RECORD コマンドで、ディスクリプタ値が多すぎます。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3086: ハイパーディスクリプタ出口のリターンエラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ハイパーディスクリプタ出口のリターンエラー。 DB/FNR .../...。
説明	考えられるエラーの原因は次のとおりです。 - パック 10 進のディスクリプタ値に対して、無効な符号が作成されました。 - 無効な長さバイトの値が返されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3087: Adabas バッファプールがロックされています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas バッファプールがロックされています。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas バッファプールの長さ (LBP) は、 オペレータコマンド DPARM でチェックしてから、 ADARUN で大きくする必要があります。
対処	データベース管理者に連絡して LBP を大きくして もらってから、オペレーションを再実行してください。 それでも同じエラーが発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT3088: コアが不足しています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コアが不足しています。 DB/FNR .../...。
説明	1 人のユーザーのみがアクティブだったにもかかわらず、十分なコアが利用できませんでした。 コアの割り当てに関連する PARM 値を確認 するように、データベース管理者に依頼してください。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3089: UQE はすでに使用されています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	UQE はすでに使用されています。 DB/FNR .../...。
説明	UQE はすでに使用されていますが、 同一ユーザーに対して同時に 2 つのコマンドを実行しようとしました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3090: ADASTAR NETTAB テーブルが **32 KB** を超えています。

テキスト	ADASTAR NETTAB テーブルが 32 KB を超えています。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3091: ADASTAR NETTAB テーブルを増やすためのスペースがありません。

テキスト	ADASTAR NETTAB テーブルを増やすためのスペースがありません。
説明	ADASTAR NETTAB テーブルを増やすためのスペースがありません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3094: DDWORKR4 で **I/O** エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	DDWORKR4 で I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	DDWORKR4 で I/O エラーが発生しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3095: WORK LP エリアに **I/O** エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	WORK LP エリアに I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3096: 修復実行中にエラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	修復実行中にエラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3097: バッファフラッシュ中に **I/O** エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	バッファフラッシュ時に I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3098: 追加しようとした値はすでに存在しています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	追加しようとした値はすでに存在しています。 DB/FNR .../...。

説明	ユニークなディスクリプタにすでに 存在する値を追加しようとしました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3099: I/O エラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	I/O エラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

62 Natural システムエラーメッセージ 3101～3150

NAT3101: Adabas FASTPATH 処理中にエラーが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas FASTPATH 処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	このエラーの詳細については、Adabas メッセージおよびコード ドキュメントの Adabas レスポンスコード 101 を参照してください。
対処	

NAT3102: スペース計算エラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	スペース計算エラー。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	OPEN 操作を再試行してください。

NAT3103: Adabas STAR コールを独立データベースに送りました。

テキスト	Adabas STAR コールを独立データベースに送りました。
説明	

対処	データベースを終了し、ADARUN パラメータの ADASTAR=YES または ADASTAR=NO を指定して再起動してください。

NAT3104: プログラムが **Adabas STAR** のレプリケートされたファイルを呼び出そうとしました。

テキスト	プログラムが Adabas STAR のレプリケートされたファイルを呼び出そうとしました。
説明	Adabas STAR のレプリケートされたファイルとして定義された 物理ファイルに対して、プログラムが論理コールを実行しようとしました。
対処	コールを発行するときは論理ファイル番号のみを使用してください。

NAT3106: CB に指定されたレコードバッファが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	CB に指定されたレコードバッファが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
説明	ユーザーコントロールブロックに指定された プリフェッチレコードバッファが小さすぎます。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3107: プリフェッチ実行中に、**GETMAIN** エラーが発生したか、または十分なスペースを確保できませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	プリフェッチ実行中に、GETMAIN エラーが発生したか、または十分なスペースを確保できませんでした。 DB/FNR .../...。
説明	プリフェッチ実行中に、GETMAIN エラーが発生したか、 または十分なスペースを確保できませんでした。 プリフェッチ機能を無効にします。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3110: コマンド **ID** プールがいっぱいになりました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンド ID プールがいっぱいになりました。 DB/FNR .../...。

説明	
対処	ADARUN の NQCID パラメータまたは NU パラメータのいずれか、または両方のサイズを増やしてください。

NAT3113: 指定された **ISN** が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定された ISN が正しくありません。 DB/FNR .../...。
説明	このエラーの原因としては、次のいずれかが考えられます。 - HI コマンドの発行時に MINISN より小さい ISN が指定されました。 - N2 コマンドの発行時に、ISN が 0 か、 またはそのファイルに対して有効な MAXISN よりも大きい値に指定されました。 - N2 コマンドは発行されましたが、 指定された ISN はファイルの他のレコードに割り当てられました。 - 存在しない ISN に対して、A1/A4、L1/L4、E1/E4、 または S1/S2/S4 (FB) のいずれかのコマンドが発行されました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3114: E1 コマンドが許されていないか、または **ISN=0** を指定しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	E1 コマンドが許されていないか、または ISN=0 を指定しました。 DB/FNR .../...。
説明	E1コマンドを使用してのリフレッシュファイル機能を発行したが、 コマンドの実行は許されていません。 または、E1コマンドに対してISN=0を指定しました。
対処	

NAT3123: Adabas クラスタサービスからのエラー。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	Adabas クラスタサービスからエラーが返されました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	送信側の Adabas クラスタメッセージングサービス によってエラーが報告されました。 メッセージが送信されませんでした。 次のサブコードのいずれかが 示されることがあります。 4 有効な宛先 (複数可) がありません。 8 宛先が多すぎます。 12 メッセージタイプが無効です。 16 環境が無効です。 20 送信バッファ長を超えました。 24 受信バッファ長を超えました。 28 返信または承認 (複数可) がありません。 32 AXMCB を割り当てることができません。

	36 送信元のシステムでタイムアウトになりました。 40 宛先のシステムでタイムアウトになりました。 他に考えられるサブコードについては、Adabas のドキュメントを参照してください。
対処	他に考えられるサブコードについては、Adabas のドキュメントを参照してください。 問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3124: Adabas クラスタサービスからのエラー。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	Adabas クラスタサービスからエラーが返されました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	受信側の Adabas クラスタメッセージングサービス によってエラーが報告されました。 メッセージが送信されました。 レスポンスコード 123 で説明されている サブコードのいずれかが示されることがあります。
対処	問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3125: 1 つのクラスタニュークリアスからの内部エラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	1 つのクラスタニュークリアスからの内部エラー。 DB/FNR .../...。
説明	1 つのクラスタニュークリアスがニュークリアス間コマンドを他の 1 つ以上のクラスタニュークリアスに発行しようとしたとき、内部エラーが発生しました。 通常この状態は異常終了を引き起こします。
対処	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3126: ニュークリアス間通信中のエラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ニュークリアス間通信中のエラー。 DB/FNR .../...。
説明	ニュークリアス間通信中にメッセージング・エラーが発生しました。 - ニュークリアスは、割り当てられた時間内に応答しませんでした (ADARUN MXMSG パラメータ参照)。 - ブロードキャスト、つまり、複数のターゲットとの通信で 1 つ以上の問題が発生しました。 この場合、各 ACB にレスポンスコード 0、123、または 124 が 含まれています。

対処	問題を解決できない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3129: サポートされていない機能を実行しようとしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	サポートされていない機能を実行しようとしました。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas クラスタ環境で、ユーザーは、Adabas クラスタニュークリアス によってサポートされていない Adabas 機能を実行しようとしました。
対処	サポートされていない機能を実行しないでください。

NAT3130: 内部エラーが発生しました。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	内部エラーが発生しました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	次のサブコードのいずれかによって識別されるエラーが Adabas シスプレックスクラスタ環境で発生しました。 2 MPM 8 コールでユーザーテーブルエントリ (UTE) が見つかりませんでした。 3 MPM 8 コールでコマンドキューエントリ (CQE) が見つかりませんでした。 4 MPM 8 コールで中間ユーザーバッファ (IUB) が見つかりませんでした。 5 MPM 8 コールで Adabas コントロールブロックが見つかりませんでした。 6 ニュークリアスチェーンで無効な UTE です。 7 ユーザーチェーンの追加で無効な UTE です。 8 'lura' チェーン (リモートに割り当てられたローカルユーザーを 表す UTE のリンクリスト) の削除で無効な UTE です。 23 無効な CQE です。
対処	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3131: レプリケーション関連エラー **:4:**。 **DB/FNR/Subc**。 **:1:/:2:/:3:.**

テキスト	レプリケーション関連エラー ...。 DB/FNR/Subc。 .../.../...。
説明	Adabas Event Replicator の処理中に、エラーメッセージに示されるように 制限されたレスポンスコードが返されました。 サブコードは、報告されたエラー条件を表します。 Event Replicator のドキュメントの 「Replication Response Codes」を参照してください。

対処	このドキュメントに記載されているように、適切な対処は、 レスポンスサブコードで示される特定のエラー条件に依存します。

NAT3132: LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 **DB/FNR/Subc :1:/:2:/:3:**。

テキスト	LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 DB/FNR/Subc :1:/:2:/:3:。
説明	LB フィールドの処理中にエラーが発生しました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。 詳細な理由については、サブコードを参照してください。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3133: Replication processing error. DB/FNR/Sub :1:/:2:/:3:.

テキスト	Replication processing error. DB/FNR/Sub .../.../....
説明	An error was detected when an attempt was made to replicate a ↩ compressedrecord.The subcode identifies the kind of error: 1 The function ↩ is not permitted for this type of file. The file is an LOB file. 2 The ↩ compressed input record length is invalid.11 The record structure is ↩ invalid.12 An invalid elementary empty field was encountered. The structure ↩ does not agree with the FDT definition.13 An invalid multiple-value field ↩ count was encountered.14 An invalid periodic group count was encountered.15 ↩ An invalid structure of an elementary field was encountered.
対処	Check program and correct error.

NAT3134: Error while creating system fields. DB/FNR/Subc :1:/:2:/:3:.

テキスト	Error while creating system fields. DB/FNR/Subc .../.../....
説明	An error was detected when creating system fields.
対処	Check program and correct error.

NAT3143: 要求したロックが許可されませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	要求したロックが許可されませんでした。 DB/FNR .../...。
説明	デッドロックが検出されたため、 要求したロックが許可されませんでした。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3144: 指定された **ISN** が 'ホールド' 状態ではありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定された ISN が 'ホールド' 状態ではありません。 DB/FNR .../...。
説明	UPDATE コマンドで指定された ISN がユーザーに対して 'ホールド' 状態ではありません。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3145: ISN が、別のユーザーによってすでにホールドされています。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	ISN が、別のユーザーによってすでにホールドされています。 DB / FNR / サブコード ↩ .../.../...。
説明	- 別のユーザーに対してホールド状態になり、R オプションが 指定されている ISN をホールドしようとしました。 - ホールドキューがいっぱいで、R オプションが指定されています。 - ホールドキューがオーバーフローしました。
対処	

NAT3146: 無効なバッファ長。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	無効なバッファ長。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	Adabas インターフェイスルーチンによって、無効なバッファ長が検出されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3147: ユーザーバッファにアクセスできません。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	ユーザーバッファにアクセスできません。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	Adabas インターフェイスルーチンによってユーザーバッファにアクセスできません。
対処	コントロールブロック、フォーマットバッファ、バリューバッファ、 レコードバッファ、および ISN バッファの アドレスおよび長さが正しいかチェックしてください。 コントロールブロック、ISN バッファ、およびレコードバッファが書き込み保護されているかチェックしてください。

NAT3148: データベース **:1:** がアクティブではないか、またはアクセスできません。

テキスト	Adabas がアクティブではないか、またはアクセスできません。
説明	コマンドの発行時に、Adabas ニュークリアスが アクティブでなかったか、またはアクセスできませんでした。
対処	データベースを起動するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3149: システム通信エラー。

テキスト	システム通信エラー。
説明	通信エラーが検出されました。 アディション 2 フィールドに、 エラーレスポンス (例：割り当て量超過、権限なしなど) の 原因となるシステムサービス完了コードが含まれています。
対処	アディション 2 フィールドをチェックしてください。

NAT3150: 同時に使用しているニュークリアスが多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	同時に使用しているニュークリアスが多すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	同時に使用しているニュークリアスが多すぎます。
対処	1 つのプログラムで 16 個を超える異なる データベース ID を使用しないでください。

63 Natural システムエラーメッセージ 3151～3200

NAT3151: コマンドキューでオーバーフローが発生しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンドキューでオーバーフローが発生しました。 DB/FNR .../...。
説明	データベース管理者が NC パラメータの 値を大きくするか、またはコマンド処理 レベルの低いときにコマンドを発行します。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3152: 内部ユーザーバッファが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	内部ユーザーバッファが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
説明	内部ユーザーバッファが、ユーザーバッファエリアを格納するのに 十分な大きさではありません。 データベース管理者は、LU パラメータ値を 大きくする必要があります。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3153: 前の **Adabas** コールが処理中です。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	前の Adabas コールが処理中です。 DB/FNR .../...。

説明	ユーザーが直前に出したコールの処理が終了する前に、 同じユーザーによって 'CALL Adabas' が発行されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3154: Adabas コールはキャンセルされました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーにより、Adabas コールはキャンセルされました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT3160: バッファプール内でアクティブになっている **ASSO/DATA** ブロックが多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	バッファプール内でアクティブになっている ASSO/DATA ブロックが多すぎます。 DB/FNR ↩ .../...。
説明	1 つのコマンドに対して、Adabas バッファプール内でアクティブと マークされるアソシエータおよびデータストレージのブロックが多すぎます。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3161: ヘッダーリスト内に不正な **RABN** チェーンがあります。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ヘッダーリスト内に不正な RABN チェーンがあります。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas バッファプールのヘッダーリストにある RABN チェーンが 正しくありません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3162: Adabas バッファプールのヘッダーブロックにスペースがありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas バッファプールのヘッダーブロックにスペースがありません。 DB/FNR .../...。

説明	Adabas バッファプールのヘッダーブロックに、 追加用のスペースがありません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3163: RABN がすでにチェーン内にあります。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	RABN がすでにチェーン内にあります。 DB/FNR .../...。
説明	RABN ヘッダーチェーンにリンクしようとした RABN は、 すでにチェーン内に存在します。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3164: コマンドに対して割り当てられているワークエリアが多すぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンドに対して割り当てられているワークエリアが多すぎます。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3165: ディスクリプタ **:3:** が無効か、または存在していません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ディスクリプタが無効か、または存在していません。 DB/FNR .../...。
説明	ディスクリプタ名が無効か、 またはディスクリプタバリューテーブル内に存在していません。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3166: インバーテッドリストのインデックスでエラーが検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	インバーテッドリストのインデックスでエラーが検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	インバーテッドリストのインデックスでエラーが検出されました。 削除処理中にディスクリプタ値が見つかりませんでした。 o エラーを引き起こしたディスクリプタを、ユーザーコントロールブロックの アディション 2 フィールドに配置します。 o このディスクリプタで ADAINV の VERIFY オプションを実行し、出力 を保存します。 o ディスクリプタを再インバートします。 o 必要に応じてデータベースを再スタートします（可能な場合）。 o 以下の情報を最寄りのサポートセンターに 送付します。

	- ADAINV の VERIFY オプションの出力 - 利用可能なすべての PLOG - エラーを含むファイルの FDT - ニュークリアスが破損している場合は、破損したディレクトリ。
対処	- ニュークリアスが破損している場合は、破損したディレクトリ。 説明を参照

NAT3167: インバーテッドリストのインデックスでエラーが検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	インバーテッドリストのインデックスでエラーが検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	インバーテッドリストのインデックスで工ラーが検出されました。 挿入処理中にディスクリプタ値がすでに存在していました。 o エラーを引き起こしたディスクリプタを、ユーザーコントロールブロックの アディション 2 フィールドに配置します。 o このディスクリプタで ADAINV の VERIFY オプションを実行し、出力 を保存します。 o ディスクリプタを再インバートします。 o 必要に応じてデータベースを再スタートします (可能な場合) 。 o 以下の情報を最寄りのサポートセンターに 送付します。 - ADAINV の VERIFY オプションの出力 - 利用可能なすべての PLOG - エラーを含むファイルの FDT - ニュークリアスが破損している場合は、破損したディレクトリ。
対処	- ニュークリアスが破損している場合は、破損したディレクトリ。 説明を参照

NAT3168: カップリング処理用の内部 **CID** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	カップリング処理用の内部 CID が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	カップリング処理中に必要な内部 'CID' が見つかりませんでした。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3170: そのコマンド用の **Adabas RABN** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	そのコマンド用の Adabas RABN が見つかりません。 DB/FNR .../...。

説明	そのコマンドに必要な Adabas RABN が見つかりません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3171: Adabas で使用される定数セットが見つかりませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas で使用される定数セットが見つかりませんでした。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3172: ISN が **MINISN** より小さいか、または **MAXISN** より大きくなっています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ISN が MINISN より小さいか、または MAXISN より大きくなっています。 DB/FNR .../...。
説明	ISN がファイルに対して有効な MINISN 設定より小さいか、 または MAXISN より大きくなっています。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3173: 不正なデータストレージ **RABN** が検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	不正なデータストレージ RABN が検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3174: L2/L5 での開始 **RABN** がアドレスコンバータにありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	L2/L5 での開始 RABN がアドレスコンバータにありません。 DB/FNR .../...。
説明	L2/L5 コマンドでのデータストレージの開始 RABN が、 ファイルのアドレスコンバータに含まれていません。

対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3176: Adabas サブルーチンのコール、またはインバーテッドリストのエラーです。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas サブルーチンのコール、またはインバーテッドリストのエラーです。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas サブルーチンの不正なコール、 またはインバーテッドリスト内の矛盾が検出されました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3177: 指定されたデータストレージブロック内にレコードが見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定されたデータストレージブロック内にレコードが見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	アドレスコンバータによって示されたレコードが、 データストレージブロックに見つかりませんでした。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3178: FDT と内部フォーマットバッファが矛盾しています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	FDT と内部フォーマットバッファが矛盾しています。 DB/FNR .../...。
説明	フィールド定義テーブル (FDT) と内部フォーマットバッファの 間に矛盾が検出されたか、またはマルチプルバリューフィールドの 更新時に内部エラーが発生しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3181: 自動バックアウト時にトランザクションの開始位置が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	自動バックアウト時にトランザクションの開始位置が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	自動バックアウト の実行時に トランザクションの開始位置が見つかりません。

対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3182: 必要な **ET** データが **WORK** ブロック内で見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	必要な ET データが WORK ブロック内で見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	必要な ET データが、適切な WORK ブロック内で見つかりません。
対処	エラーを修正するか、またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT3183: データベース **I/O** オペレーション用の 内部番号が正しくありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	データベース I/O オペレーション用の 内部番号が正しくありません。 DB/FNR .../...
説明	データベース I/O オペレーション用に 内部的に割り当てられた番号が正しくありません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3184: フォネティックフィールド名が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フォネティックフィールド名が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3185: ADAM フィールドが圧縮レコードに見つかりませんでした。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ADAM フィールドが圧縮レコードに見つかりませんでした。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3196: Referential integrity violated (DB/FNR/sub/con :1:/:2:/:3:/:4:).

テキスト	Referential integrity violated (DB/FNR/sub/con .../.../.../...).
説明	The command has been rejected by Adabas.Referential integrity has been violated. The error message showsthe database ID, file number, subcode and constraint name of theviolated constraint.
対処	Handle the referential integrity violation;for example, by issuing an appropriate error message.

NAT3197: ユニークなディスクリプタ値のプールが小さすぎます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユニークなディスクリプタ値のプールが小さすぎます。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3198: ユニークなディスクリプタの値はすでに存在します。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユニークなディスクリプタの値はすでに存在します。 DB/FNR .../...。
説明	ユニークなディスクリプタの値を複製しようとしました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3199: インバーテッドリストインデックスに矛盾があります。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	インバーテッドリストインデックスに矛盾があります。 DB/FNR .../...。
説明	UPDATE 処理中にインバーテッドリストインデックスに 矛盾が検出されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3200: セキュリティ違反または無効なサイファコード。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	セキュリティ違反または無効なサイファコード。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

64 Natural システムエラーメッセージ 3201～3250

NAT3201: 指定したパスワードが見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	指定したパスワードが見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3202: セキュリティファイルへの不正な **Adabas** パスワードです。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	セキュリティファイルへの不正な Adabas パスワードです。 DB/FNR .../...。
説明	指定した Adabas パスワードでは、目的の Adabas セキュリティファイルへの アクセス / 更新は認められません。 オープントランザクションは Adabas によってバックアウトされます。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3203: ユーザーはセキュリティファイルへアクセスを認められていません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーはセキュリティファイルへアクセスを認められていません。 DB/FNR .../...。
説明	そのファイルは Adabas Security で保護されています。 そのファイルのレコードを削除するには、 正しい Adabas パスワードを指定する必要があります。 オープントランザクションは Adabas によってバックアウトされます。

対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3204: パスワードはすでに使用中です。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	パスワードはすでに使用中です。 DB/FNR .../...。
説明	指定したパスワードはすでに使用中です。
対処	パスワード名は、存在しているパスワード名に変更できません。

NAT3207: Adabas ESI インターフェイスのログオンフェイズ **1** が完了しました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas ESI インターフェイスのログオンフェイズ 1 が完了しました。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas ESIインターフェイスはログオンのフェイズ 1 を完了し、 フェイズ 2 を要求しました。
対処	フェイズ 2 ログオン要求を ADAESI に送ります。

NAT3208: フェイズ **1** ログオンを実行してください。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	フェイズ 1 ログオンを実行してください。 DB/FNR .../...。
説明	ESI リモートユーザーは、 フェイズ 1 ログオンを実行する必要があります。 ログオン ID とパスワードが ADAESI に送られます。
対処	そのプラットフォームには正しい Adabas リンクルーチンが インストールされていません。 このレスポンスコードは、 ワークステーションの Adabas リンクルーチンによってインターセプトされました。フェイズ 1 ログオンが実行されます。

NAT3210: NETRDI 内で受信バッファが失われました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	NETRDI 内で受信バッファが失われました。 DB/FNR .../...。
説明	NETRDI 内で受信バッファが失われました。

対処	データベース管理者は、ターゲットノード内の NETRDI の NAB パラメータまたは NC パラメータに指定している値を大きくしてください。

NAT3211: ローカルユーティリティのみ使用できます。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ローカルユーティリティのみ使用できます。 DB/FNR .../...。
説明	データベースに OPTIONS=REMOTE_UTILITIES と 設定しているため、リモートユーティリティは実行できません。
対処	リモートデータベースの管理者に連絡してください。

NAT3212: ターゲットアーキテクチャでは実装されていない関数です。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ターゲットアーキテクチャでは実装されていない関数です。 DB/FNR .../...。
説明	ターゲットアーキテクチャでは実装されていない関数です。
対処	ターゲットノードでそのユーティリティを実行してください。

NAT3213: ID テーブルが見つかりません。**SVC** が正しくインストールされていません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ID テーブルが見つかりません。SVC が正しくインストールされていません。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas のインストール手順が正しく行われていません。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3214: 内部コマンドが、**ADA V4 ADALINK** から発行されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	内部コマンドが、ADA V4 ADALINK から発行されました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3215: Adabas のバージョンが一致しません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas のバージョンが一致しません。 DB/FNR .../...。
説明	Adabas バージョン 5 の ユーザーバッファまたは AMODE=31 属性をもつ Adabas バージョン 4 の ADALINK から、SVC 04/16 コールを受け取りました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3216: Adabas ユーザー出口によりコマンドが拒否されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas ユーザー出口によりコマンドが拒否されました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3217: Adabas ユーザー出口によりコマンドが拒否されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	Adabas ユーザー出口によりコマンドが拒否されました。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3218: ユーザーバッファを割り当てるのに十分なメモリがありません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーバッファを割り当てるのに十分なメモリがありません。 DB/FNR .../...。
説明	リージョン / パーティションを大きくして、プログラム / ユーティリティを再実行する必要があります。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3219: ATM からのレスポンスコード。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	ATM からのレスポンスコード。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	このレスポンスコードは、Adabas Transaction Manager を使用中の場合にのみ 発生します。 2 グローバルトランザクションはコール可能な状態ではありません。 3 トランザクション ID (XID) のエントリが存在しません。 4 'R' および 'J' オプションがサポートされていないか、 またはグローバルトランザクションではありません。 トランザクション ID (XID) が存在しないか、または見つかりませんでした (指定された XID が、この UQE に属していない場合など)。 5 レコードまたはバリューバッファ定義が無効である場合があります (長さサイズが無効など)。 または、バリューバッファの内容が無効である場合があります (トランザクション ID (XID) が無効など)。 6 ユーザーが、更新ユーザーまたは ET ユーザーではないか、 またはグローバルトランザクションに関連しています。 サブコードの詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。
対処	サブコードの詳細については、Adabas のドキュメントを参照してください。プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3220: レシービング／リレーノードがコマンド用のバッファを割り付けられません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	レシービング / リレーノードがコマンド用のバッファを割り付けられません。 DB/FNR .../...。
説明	レシービング / リレーノードがコマンドを読み込むためのバッファを 割り付けられません。 このレスポンスがくり返し起こる場合は、レシービング / リレーノードの アタッチドバッファプールのサイズを大きくしてください (NET-WORK CTCS のドキュメントの実行パラメータ NAB を参照)。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3221: レシービングノードが **SVC 4** コール時に異常終了をインターセプトしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	レシービングノードが SVC 4 コール時に異常終了をインターセプトしました。 DB/FNR .../...。
説明	レシービングノードが Adabas SVC 4 コール時に 異常終了をインターセプトしました。

対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3222: リレーノードで **CQE** の割り付けができません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	リレーノードで CQE の割り付けができません。 DB/FNR .../...。
説明	リレーノードで CQE の割り付けができません (レシービングノードでの Natural エラー NAT3151 と同じ)。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3223: CTCS レスポンスコード**:**ノードのループ。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	CTCS レスポンスコード : ノードのループ。 DB/FNR .../...。
説明	
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3224: レシービング／リレーノードで **Adabas** コマンドがタイムアウト。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	レシービング / リレーノードで Adabas コマンドがタイムアウト。 DB/FNR .../...。
説明	レシービング / リレーノードで Adabas コマンドがタイムアウトになりました。
対処	プログラムをチェックしてエラーを修正するか、データベース管理者に連絡してください。

NAT3225: Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
説明	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
対処	これらのレスポンスコードの意味と用途については、 Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3226: Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
説明	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
対処	これらのレスポンスコードの意味と用途については、 Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3227: Entire Net-Work からのレスポンスコード。

テキスト	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
説明	Entire Net-Work からのレスポンスコード。
対処	これらのレスポンスコードの意味と用途については、 Entire Net-Work ドキュメントを参照してください。

NAT3228: SVC やデータベースが **UES** 使用不可能。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	SVC やデータベースが UES 使用不可能。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	ADALCO は UES に対応していますが、 - SVC は UES に対応していません (アディション 2 のサブコードが x'01')、または - ターゲットデータベースは UES に対応していません (アディション 2 のサブコードが x'02')。
対処	Adabas と SVC が V712 レベルであり、 データベースが UES に対応していることを確認してください。

NAT3229: コマンドキューエレメントが無視されました。ユーザーはすでにアクティブです。
DB/FNR :1:/:2:

テキスト	コマンドキューエレメントが無視されました。ユーザーはすでにアクティブです。DB/FNR .../...。
説明	

対処	後で再試行するか、または現在のユーザーをキャンセルしてください。

NAT3230: X/Open XA 指定のプロトコル違反。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	X/Open XA 指定のプロトコル違反。 DB/FNR .../...。
説明	X/Open XA 指定によって定義されたプロトコルに違反しています。 例えば、ユーザーが XA トランザクションに対して ET コールを発行しようとすると、この違反が発生します。
対処	XA 指定に従ってください。

NAT3231: :Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3232: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味はユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関するドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3233: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3234: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3235: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3236: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3237: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3238: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3239: Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。

テキスト	Adabas ユーザー出口からのレスポンスコード。
説明	このレスポンスコードは特定の Adabas ユーザー出口に割り当てられており、その意味は ユーザーによって定義されています。 例えば、 ユーザー出口 4 で発行された ADALOG ログデータフィールドのレスポンスコードのような場合です。
対処	詳細については、Adabas ユーザー出口に関する ドキュメントの、ユーザー出口についての説明を参照してください。

NAT3240: ATM にエラー **:3:** が発生しました。 **DB/FNR**／サブコード **:1:/:2:/:4:**。

テキスト	ATM にエラー ... が発生しました。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	ATM にエラーが発生しました。 そのエラーコードは、Adabas コントロール ブロックのアディション 2 フィールド内で見つけることができます。 そのレスポンスコードは、 アディション 2 フィールドの最初の 2 バイトに ある場合があります。
対処	エラーコードの意味をチェックしてください。 問題の原因が明確でない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3241: ATM はレスポンスコード **:3:** を受け取りました。 **DB/FNR/Subc**。 **:1:/:2:/:4:.**

テキスト	ATM はレスポンスコード ... を受け取りました。 DB/FNR/Subc。 .../.../...。
説明	ATM は予期しない Adabas レスポンスコードを受け取りました。 そのサブコードとレスポンスコードは、その順番で、 Adabas コントロールブロックのアディション 2 フィールド内で 見つけることができます。 アディション 2 フィールド内に負の値が表示された場合は、 その補数を手に入れてください。これは、ATMによってプロキシに 返されたレスポンスコードです。 非メインフレームシステムの場合は、 Adabas ドキュメントを参照してレスポンスコードを確認してください。
対処	Adabas レスポンスコードおよびサブコードの意味をチェックしてください。 問題の原因が明確でない場合は、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT3242: 二重割り当てエラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	二重割り当てエラー。 DB/FNR .../...。
説明	複数のファイル間またはファイルとフリースペーステーブルの間に、二重割り当てエラーが検出されました。
対処	どのファイルのどの部分が影響を受けるかを確認するために、いずれのオプションも指定しないで ADAVFY を実行してください。 ADAVFY の出力結果を用意して、最寄りのサポートセンターに連絡してください。

NAT3243: ファイルに対して不正な **FCB** エクステントが検出されました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ファイルに対して不正な FCB エクステントが検出されました。 DB/FNR .../...。
説明	ファイルに対して不正な FCB エクステントが検出されました。
対処	最寄りのサポートセンターに連絡してください。

NAT3244: チェックポイントブロック（**CPB**）でのオーバーフロー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	チェックポイントブロック (CPB) でのオーバーフロー。 DB/FNR .../...。
説明	チェックポイントブロック (CPB) でのオーバーフロー。
対処	ニュークリアスを開始し、チェックポイントブロック内のエントリを処理してください。

NAT3245: UCB でユーティリティエントリが保留されています。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	UCB でユーティリティエントリが保留されています。 DB/FNR .../...。
説明	UCB でユーティリティエントリが保留されています。
対処	RECOVER の実行前に、RESET = UCB でエントリを削除してください。

NAT3246: ユーティリティコミュニケーションブロック（**UCB**）がオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーティリティコミュニケーションブロック (UCB) がオーバーフローしました。 DB/FNR ↩ .../...。
説明	ユーティリティコミュニケーションブロック (UCB) がオーバーフローしました。
対処	ADADBM ユーティリティの RESET 機能を実行して、使用されていない エントリをユーティリティコミュニケーションブロックから削除してください。

NAT3247: UCB 内に正しい **ID** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	UCB 内に正しい ID が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	ユーティリティコミュニケーションブロック内に正しい ID が見つかりません。
対処	ユーティリティは再実行できません。 ユーティリティコミュニケーションブロックの エントリを削除し、ユーティリティを再実行してください。

NAT3248: ユーザーキューにユーザー **PID** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーキューにユーザー PID が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	ユーザーキューにユーザー PID が見つかりません。
対処	正しい PID を指定してください。

NAT3249: ユーザーキューにユーザー **TID** が見つかりません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	ユーザーキューにユーザー TID が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	ユーザーキューにユーザー TID が見つかりません。
対処	正しい TID を指定してください。

NAT3250: 機能がまだ実装されていません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	機能がまだ実装されていません。 DB/FNR .../...。
説明	機能がまだ実装されていません。
対処	Adabas の最新バージョンをお待ちください。

65 Natural システムエラーメッセージ 3251～3300

NAT3251: 無効なユーティリティの呼び出し **-** バージョンの競合。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	無効なユーティリティの呼び出し - バージョンの競合。 DB/FNR .../...。
説明	無効なユーティリティの呼び出し - バージョンの競合。
対処	ユーティリティとデータベースのニュークリアスが同じバージョンか調べてください。 最寄りのサポートセンターに連絡してください。

NAT3252: 無効なサブルーチンの呼び出し **-** コーディングエラー。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	無効なサブルーチンの呼び出し - コーディングエラー。 DB/FNR .../...。
説明	無効なサブルーチンの呼び出し - コーディングエラー。
対処	最寄りのサポートセンターに連絡してください。

NAT3253: システムファイルがロードされないか、一致していません。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	システムファイルがロードされないか、一致していません。 DB/FNR .../...。
説明	システムファイルがロードされないか、一致していません。

対処	システムファイルをチェックしてください。

NAT3254: コマンドがタイムアウトしたか、またはアタッチドバッファがオーバーフローしました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	コマンドがタイムアウトしたか、またはアタッチドバッファがオーバーフローしました。 DB/FNR ↩ .../...。
説明	次のいずれかが発生しました。 - Adabas パラメータ CT で設定したタイムリミットを超えました。 - アタッチドバッファの処理中にバッファのオーバーフローが発生しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3255: アタッチドバッファの残量がなくなりました。 **DB/FNR :1:/:2:**

テキスト	アタッチドバッファの残量がなくなりました。 DB/FNR .../...。
説明	コマンド処理時に、全アタッチドバッファが割り当て済みでした。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT3288: 相関節の列名リストが不正です。

テキスト	相関節の列名リストが不正です。
説明	相関節の列名リストは丸カッコで囲み、 列名はコンマで区切る必要があります。 各列名は長い識別子であり、 列名リスト内でユニークにする必要があります。
対処	列名リストを修正してください。

NAT3289: FROM 節でのテーブルロケータ参照が不正です。

テキスト	FROM 節でのテーブルロケータ参照が不正です。

説明	テーブルロケータ参照は、次の構文に従っている必要があります。 TABLE (table· locator· variable LIKE table· name) table· locator· variable は、フォーマットを I4 にする必要があります。 table· name は、有効な DB2 DDM の名前にする必要があります。
対処	FROM 節でのテーブルロケータ参照を修正してください。

NAT3290: FROM 節でのテーブル関数参照が不正です。

テキスト	FROM 節でのテーブル関数参照が不正です。
説明	テーブル関数参照は、次の構文に従っている必要があります。 TABLE (function· name (expr , ...)) correlation· clause 左カッコと右カッコの一致をチェックしてください。 テーブル関数参照には相関節が必要です。 function· name は長い識別子で、 schema· name (短い識別子) によって修飾することができます。
対処	FROM 節でのテーブル関数参照を修正してください。

NAT3291: CAST 表現が不正です。

テキスト	CAST 表現が不正です。
説明	CAST 表現は、次の構文に従っている必要があります。 CAST (expression AS data· type) カッコとキーワードの正しい設定をチェックしてください。 data· type は、組み込みデータタイプと distinct· type のいずれかにできます。 distinct· type は、スキーマ名 (短い識別子) によって修飾可能な長い識別子です。
対処	CAST 表現を修正してください。

NAT3292: QUERYNO として指定された値が不正です。

テキスト	QUERYNO として指定された値が不正です。
説明	QUERYNO は、負でない整数として指定する必要があります。

対処	QUERYNO に、負でない整数を指定してください。

NAT3293: スクロール変数の内容はオフセット **:1:** で無効です。

テキスト	スクロール変数の内容はオフセット ... で無効です。
説明	スクロール変数の内容は、次の規則に従っている必要があります。 <sensitivity> <direction> <integer> - <sensitivity> はオプションで、INSENSITIVE または SENSITIVE に設定できます。 - <direction> は、NEXT、PRIOR、FIRST、LAST、CURRENT、BEFORE、AFTER、 RELATIVE、ABSOLUTE のいずれかに設定できます。 デフォルトは NEXT です。 - <integer> は、<direction> が RELATIVE または ABSOLUTE の場合に指定する必要があります。 -5、0、6 のように、整数にする必要があります。 RELATIVE または ABSOLUTE 以外の任意の <direction> で 指定することはできません。 <sensitivity> <direction> <integer> の指定は、1 つ以上の空白で それぞれを区切る必要があります。
対処	スクロール変数の内容を修正してください。

NAT3294: SENSITIVE STATIC は **READ-ONLY** カーソルに対して許されません。

テキスト	NAT3294 : SENSITIVE STATIC は READ-ONLY カーソルに対して許されません。
説明	SENSITIVE STATIC SCROLLABLE カーソルは、 関連するクエリが READ-ONLY でない場合にのみ使用できます。 UNION、GROUP BY、HAVING、またはネストされた TABLE 表現が 含まれている場合、および READ RESULT SET ステートメントに 使用される場合、クエリは READ-ONLY です。
対処	クエリを変更するか、 または INSENSITIVE STATIC SCROLL カーソルに変更してください。

NAT3295: DATE/TIME ストリング **:1:** の変換がエラー **:2:** で失敗しました。

テキスト	DATE/TIME ストリング ... の変換がエラー ... で失敗しました。
説明	DB2 から受け取った DATE/TIME ストリングが Natural 日付 / 時刻の変数に 変換できなかったため、このメッセージに示された Natural エラーで DB2 DATE/TIME ストリングの変換が失敗しました。 例えば、DB2 に格納された 01.01.1582 より前の日付が、Natural 日付変数に 置かれる場合に、このエラーが発生する可能性があります。 また、'00:00 AM' または '24.00.00' である、DB2 TIME ストリングが 取得される場合も発生します。 詳細については、Natural エラーコードを参照してください。

対処	Natural によって処理できない DATE/TIME ストリングは使用しないでください。

NAT3296: 連続した '**not found**' 条件の制限を超えました。

テキスト	連続した 'not found' 条件の制限を超えました。
説明	連続した 'not found' (sqlcode +1oo) 条件の制限を超えました。 これは、スクロール可能なカーソルに関係している処理ループ内で、 'not found' 条件の数がその制限を超えた場合に発生します。 制限は 5 です。 処理ループは閉じられます。 'not found' 以外の状況が発生したとき、または端末 I/O が発生したときに、 連続した "not found" 条件のカウンタはリセットされます。 制限チェックは、不要なデータベースループを避けるために実行されます。
対処	この状況が発生しないように、プログラムロジックを変更してください。

NAT3297: NDB :1: 変換は、**FC :2: / RC :3: :4: :5:** で失敗しました。

テキスト	NDB :1: 変換は、FC :2: / RC :3: :4: :5: で失敗しました。
説明	Natural 英数字フィールドを使用する、UNICODE でエンコードされた NDB ストアドプロシージャ (A) が、 UTF8 でエンコードされたデータを受け取りましたが、 このデータはEBCDIC に変換する必要があります。 この変換が、指定されたファンクションコードおよび理由コードで失敗しました。 :4: が現在の変換先の長さ、:5: は UTF8 のデータを EBCDIC に完全に変換するために必要な変換先の長さです。
対処	技術サポートに連絡してください。

NAT3298: マルチフェッチ **:1:** 中のエラー。

テキスト	マルチフェッチ ... 中のエラー。
説明	NDB マルチフェッチバッファ (DB2SIZE6) の作成中にエラーが発生しました。 エラーメッセージには、エラーの種類が示されています。 通常、これは GETMAIN エラーまたは内部エラーです。
対処	GETMAIN エラーの場合は、スレッドサイズを大きくするか、 またはプログラムで指定されているマルチフェッチ係数を小さくしてください。 内部エラーの場合は、Natural サポートに連絡してください。

NAT3299: Rowset の位置指定には、整数値または変数が必要です。

テキスト	Rowset の位置指定には、整数値または変数が必要です。
説明	Rowset の位置指定節には、 マルチフェッチバッファのサイズ (行数) を決定する 整数値または変数を指定する必要があります。 Rowset の位置指定節の構文は次のとおりです。 WITH ROWSET POSITIONING FOR int ROWS 'int' には、整数による数値定数、 またはフォーマット / 長さ I4 の変数を指定できます。
対処	目的に応じて、Rowset の位置指定節を修正してください。

NAT3300: Adabas で内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	Adabas で内部エラー :1: が発生しました。
説明	Adabas で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、Adabas の内部エラーメッセージを参照してください。

66 Natural システムエラーメッセージ 3301～3350

NAT3301: このバージョンの **Adabas** は、データベースに対して無効です。

テキスト	このバージョンの Adabas は、データベースに対して無効です。
説明	このバージョンの Adabas は現在使用されておらず、 データベースに対応していません。 このバージョンの Adabas は古すぎるため、 データベースとともに実行することはできません。 データベースの作成に使用した Adabas のバージョンの方が新しいか、またはデータベースがアップグレードされました。
対処	新しいバージョンの Adabas を使用してください。

NAT3302: データベースは現在、このバージョンの **Adabas** には使用されていません。アップグレードユーティリティを使用してください。

テキスト	データベースは現在、このバージョンの Adabas には使用されていません。 アップグレードユーティリティを使用してください。
説明	このバージョンの Adabas はデータベースに対応していません。
対処	データベースを変換するために、アクティブでないデータベースに対して、 データベースサービスのアップグレード機能を使用してください。

NAT3303: アクセスが拒否されました。 シングルユーザーデータベースが使用中です。

テキスト	アクセスが拒否されました。 データベースがすでにシングルユーザーモードで使用されています。
説明	シングルユーザーモードで使用されているデータベースには、 別のユーザーがアクセスできません。
対処	データベースの使用状況を同期します。

NAT3304: マルチユーザーデータベースはシングルユーザーモードで使用できません。

テキスト	マルチユーザーデータベースはシングルユーザーモードで使用できません。
説明	マルチユーザーモードで使用されているデータベースには、 別のユーザーがシングルユーザーモードでアクセスできません。
対処	データベースの使用状況を同期します。

NAT3305: パスまたはファイル名が見つかりません。

テキスト	パスまたはファイル名が見つかりません。
説明	
対処	指定したパスまたはファイル名をチェックしてください。

NAT3306: このバージョンの **Adabas** は、このバージョンの **Adabas** は、データベースに対してすでに有効です。

テキスト	このバージョンの `Adabas` は、データベースに対してすでに有効です。
説明	このバージョンの `Adabas` は、データベースにすでに対応しています。 アップグレードユーティリティを実行する必要はありません。
対処	アップグレードユーティリティを実行しないでください。

NAT3350: Entire DB に内部エラー **:1:**が発生しました。

テキスト	Entire DB に内部エラー :1:が発生しました。
説明	Entire DB に内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、Entire DB のエラーメッセージを参照してください。

67 Natural システムエラーメッセージ 3351～3400

NAT3400: 定義されたデータベースハンドラが利用可能ではありません。

テキスト	定義されたデータベースハンドラが利用可能ではありません。
説明	データベースは特定のデータベースハンドラで操作するように 定義されました。 ただし、指定されたハンドラが利用可能 ではありません。
対処	特定のデータベースハンドラを使用できるようにするか、または NATPARM ユーティリティを使用して、グローバル コンフィグレーションファイルのデータベース割り当てを変更してください。

68 Natural システムエラーメッセージ 3401～3450

NAT3401: :1: に対して **STOW** された **NAT** オブジェクトが、**:2:** 配下で実行されました。

テキスト	... に対して STOW された NAT オブジェクトが、... 配下で実行されました。
説明	Natural オブジェクトを STOW するときに使用された DBID は、 データベースタイプ .1. に割り当てられていましたが、 ランタイム時にこの DBID はデータベースタイプ .2. に 割り当てられていました。
対処	STOW 時とランタイム時に使用される DBID は、同じデータベースタイプに 割り当てられている必要があります。

NAT3402: 未知の **DB** レスポンスコード **:4:**。 **DB**／**FNR**／サブコード **:1:/:2:/:3:**。

テキスト	未知の DB レスポンスコード ...。 DB / FNR / サブコード .../.../...。
説明	Adabas インターフェイスから未知のレスポンスコードを受け取りました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3403: ADAMODE が **:1:** から **:2:** へ変更されました。

テキスト	ADAMODE が :1: から :2: へ変更されました。

説明	ADAMODE=:1: で Natural が開始されました。 データベースでこのモードがサポートされないか、または このモードで実行するのに必要なリソースを Natural が割り当てることができませんでした。 そのため、Natural は自動的に ADAMODE=:2: に切り替えました。 このメッセージの前に最初のエラーメッセージで、技術的な理由が発行され、LASTMSG コマンドで表示することができます。
対処	Natural/Adabas の管理者に連絡してください。

NAT3410: 利用できる **Natural ICU** ハンドラがありません。

テキスト	利用できる Natural ICU ハンドラがありません。
説明	Natural ICU ハンドラを利用できません。 考えられる理由は、次のとおりです。 - ICU ハンドラモジュールが Natural にリンクされていないか、またはロードできません。 - セッションプロファイルパラメータ CFICU が OFF に設定されています。 - Natural ICU の初期化中にエラーが発生しました。
対処	エラーの理由によって異なります。 初期化エラーが発生した場合は、 セッションの初期化エラーメッセージを確認してください。

NAT3411: コードページ **:1:** が使用できません。

テキスト	コードページ ... が使用できません。
説明	ICU (International Components for Unicode) とは、Natural のコードページおよび Unicode を サポートするエンジンです。 コードページは、ニュークリアスにリンクされているデータファイル、 またはダイナミックにロードされるデータファイルの ICU に定義されています。 コードページが使用できない場合、そのコードページは、 使用されているデータファイルの一部ではありません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3412: ICU::1: からの内部エラー。

テキスト	ICU：... からの内部エラー。
説明	ICU (International Components for Unicode) とは、Natural のコードページおよび Unicode を サポートするエンジンです。 ICU の内部エラーが発生する理由としては、次の原因が考えられます。 - メモリ割り当てのエラー - プログラムの内部エラー - コンバータの定義ファイルの破損 - データファイル内のリソース欠落
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT3413: 変換エラー**:**少なくとも **1** つのコードポイントが変換されていません。

テキスト	変換エラー：少なくとも 1 つのコードポイントが変換されていません。
説明	Unicode 変換中、またはコードページ間の変換中に、 コードポイントまたは文字が、 目的の変換先コードページに変換できない場合は、 コードページ固有の置換文字が使用されます。 このメッセージの生成は、SET GLOBALS ステートメントの CPCVERR=ON/OFF オプションによって異なります。
対処	変換の入力 / ターゲットフィールドの内容をチェックしてください。

NAT3415: 変換結果が切り捨てられました。

テキスト	変換結果が切り捨てられました。
説明	Unicode 変換中、またはコードページ間の変換中に、 受け取りフィールドの結果が切り捨てられました。
対処	受け取りフィールドの長さをチェックしてください。

NAT3416: オペランドの長さおよびフォーマットが、コードページと一致していません。

テキスト	オペランドの長さおよびフォーマットが、コードページと一致していません。
説明	Unicode 変換、またはコードページ間の変換の場合、 ソース / ターゲットフィールドのフォーマットおよび長さは、 対応するコードページと一致している必要があります。 例 1 ：ソース / ターゲットフィールドが (Bn) として定義されていますが、 対応するコードページのコードポイント当たりの最小バイト数の値が n より大きくなっています。 つまり、フィールドには、 コードポイントを 1つも格納できませんでした。 例 2 ：コードポイントの数が多い場合は、 コードポイント当たりの最小バイト数と最大バイト数は同一です。 変換の前に、定義された長さにコードポイントが 適合しているかどうかがチェックされます。 適合していない場合は、このメッセージが発行されます。 この処理は、コードポイントの値が切り捨てられないようにするために実行されます。
対処	ソースオペランドおよびターゲットオペランドの長さをチェックしてください、

NAT3417: このコンテキストでは、使用されているコードページ名が不明瞭です。

テキスト	このコンテキストでは、使用されているコードページ名が不明瞭です。
説明	MOVE ENCODED ステートメントで指定するターゲットコードページは、 明瞭である必要があります。 ただし、'UTF-16' または 'UTF-32' と指定しても、 ターゲットコードページはユニークに識別されません。
対処	UTF-16 ではなく 'UTF-16BE' または 'UTF-16LE'、 あるいは 'UTF-32' ではなく 'UTF-32BE' または 'UTF-32LE' と指定してください。

NAT3418: ICU Data Library :1: cannot be loaded (:2:).

テキスト	ICU Data Library ... cannot be loaded (...).
説明	The data library is treated like an external program.The specified external ↩ data library could be neither loaded dynamicallynor located statically. ↩ See the supplied operating-system/TP-monitorreturn code of the failing LOAD ↩ request for details.Possible reasons:- The data library to be loaded ↩ dynamically is not contained in the load libraries currently defined to ↩ Natural.- Under CICS: The data library is not defined to CICS.- There was ↩ not enough storage available to load the data library dynamically (under ↩ Com-plete: the Com-plete thread was too small).- The CDYNAM limit for ↩ dynamically loaded programs was exceeded.- The DATFILE version is not ↩ compatible with SAGICU (reason 80).- For static data library: The data ↩

	library is not defined in NATPARM with the CSTATIC parameter or not linked ↩ to the NATPARM module.
対処	Make sure that the data library is contained in a library availableto or ↩ linked to Natural. Contact your Natural administrator concerningthe setting ↩ of the Natural profile parameters CDYNAM and CSTATIC.

NAT3420: コードポイント **:1:** とコードページ **:2:** の間で、ソースエリアが矛盾しています。

テキスト	コードポイント ... とコードページ ... の間で、ソースエリアが矛盾しています。
説明	ソースエリアにソースがロードされたとき、または変更された ソースエリアが保存されたときに、変換エラーが発生しました。 ソースエリアのフォーマットは Unicode であり、いくつかのコマンドでは Unicode とコードページ間で変換が必要です。 考えられる矛盾は次のとおりです。 1.ソースのオープンに使用したコードページが間違っています。 CP プロファイルパラメータを変更するか、またはこのソースに専用の コードページを定義して、正しいコードページを定義してください。 2.変更されたソースに、コードページにない文字が含まれています。 文字を削除するか、またはソースのコードページを (UTF-8 などに) 変更して、すべての文字が変換できるようにしてください。
対処	説明を参照

NAT3421: コードページ **:1:** でソースをオープンできません。

テキスト	コードページ ... でソースをオープンできません。
説明	この Natural ソースを保存するときに使用したコードページが、現在の Natural セッションのデフォルトのコードページとは異なっています。 このソースは、ネイティブ Unix エディタではオープンできません。 このソースは、SPoD 環境で Natural スタジオを使用してオープンする必要があります。
対処	Natural スタジオでソースをオープンしてください。

NAT3422: 文字 **:1:** がコードページ **:2:** に含まれていません。

テキスト	文字 ... がコードページ ... に含まれていません。

説明	コンパイル中に、コードページに含まれていない 文字が検出されました。 キーワード、変数名、フォーマット A('...') の定数 などは、示されたコードページに表示されている必要があります。 Unicode 文字は、 次のような場合にのみ使用できます。 - フォーマット U(U'...') の定数 - EMU、ICU、LCU、TCU の各パラメータ内の文字 - コメント内
対処	Unicode 文字に対応する構文を使用するか、 またはコードページをチェックしてください。

NAT3423: Maximum line length exceeded in line :1:.

テキスト	Maximum line length exceeded in line ....
説明	The source area has Unicode UTF-16 format. When you save a source,it is ↩ converted from UTF-16 to the source encoding, which can changethe size (in ↩ code points) of a character.This error occurs because the current source ↩ contains a line which,after the conversion, exceeds the maximum line length.
対処	Either split the line or choose another encoding for saving the source.

69 Natural システムエラーメッセージ 3451～3500

NAT3493: ETP データベースドライバが使用できません。

テキスト	ETP データベースドライバが使用できません。
説明	ETP データベースドライバがインストールされていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT3494: ディストリビューションキーは更新できません。

テキスト	ディストリビューションキーは更新できません。
説明	
対処	

NAT3495: ETP 内部テーブルがオーバーフローしました。

テキスト	ETP 内部テーブルがオーバーフローしました。
説明	プログラムに内部エラーが発生しました。
対処	SAG サポートに連絡してください。

NAT3496: 複数のデータベースを同時に更新することはできません。

テキスト	複数のデータベースを同時に更新することはできません。
説明	これは ETP の制限です。
対処	Natural プログラムを修正してください。

NAT3499: 管理ファイルの **LFILE 200** が未定義か **ETPSIZE=0** です。

テキスト	管理ファイルの LFILE 200 が未定義か ETPSIZE=0 です。
説明	NATPARM に LFILE 200 と ETPSIZE を指定する必要があります。
対処	NATPARM に LFILE 200 と ETPSIZE を指定してください。 Natural 管理者に連絡してください。

NAT3500: SQL データベースに許可されていないステートメントです。

テキスト	SQL データベースに許可されていないステートメントです。
説明	次のNatural ステートメントは、SQL データベースへの アクセス時にはサポートされていません。 - GET、GET SAME、GET TRANSACTION DATA、GET RECORD - STORE USING/GIVING NUMBER (ISN) - READ BY ISN
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

70 Natural システムエラーメッセージ 3501～3550

NAT3501: SQL データベースおよび **XML** データベースに許可されていないステートメントの節です。

テキスト	SQL データベースおよび XML データベースに許可されていないステートメントの節です。
説明	次の Natural ステートメントの節は、SQL データベースまたは XML データベースへのアクセス時にはサポートされません。 - CIPHER - COUPLED - PASSWORD - RETAIN
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3502: SQL データベースにはマルチプルバリューフィールドは許可されていません。

テキスト	SQL データベースにはマルチプルバリューフィールドは許可されていません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3503: Natural SQL ドライバの内部エラーです。

テキスト	Natural SQL ドライバの内部エラーです。
説明	Natural SQLドライバで内部エラーが発生しました。
対処	Natural ソース / オブジェクトプログラムを用意して Software AG サポートに連絡してください。

NAT3504: SQL データベースでは **LFILE** サポートが利用できません。

テキスト	SQL データベースでは LFILE サポートが利用できません。
説明	SQL データベースへのアクセスに使用されている DDM に、 データベース ID 255 が含まれています。 # 正しい値は1 - 254です。
対処	DDM のデータベース ID を変更して Natural プログラムを再カタログするか、 またはグローバルコンフィグレーションファイルのデータベース割り当てをチェックして、 SQL データベースにデータベース ID 255 が割り当てられないようにしてください。

NAT3505: 指定された **SQLOPTION** が正しくありません。

テキスト	指定された SQLOPTION が正しくありません。
説明	PROCESS SQL ... << SET SQLOPTION ... >> に 指定された SQLOPTION が正しくありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3506: SQLOPTION に指定された値が正しくありません。

テキスト	SQLOPTION に指定された値が正しくありません。
説明	PROCESS SQL ... << SET SQLOPTION ... >> に 指定された値が正しくありません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3507: データタイプが **SQL** データベースでサポートされていません。

テキスト	データタイプが SQL データベースでサポートされていません。
説明	SQL データベースにアクセスするステートメントで、使用されているデータタイプの変数が正しくありません。 SQL データベースに使用できる変数のタイプは、A、B、F、I、N、および P のみです。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3508: DBPROCESS が実行中です。

テキスト	DBPROCESS が実行中です。
説明	DBPROCESS が別の SELECT ステートメントで 実行中のため、SQL ステートメントを実行できませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3509: XML データベースに対し許可されていないステートメントです。

テキスト	XML データベースに許可されていないステートメントです。
説明	次の Natural ステートメントは、XML データベースへのアクセス時にはサポートされません。 - GET SAME、GET TRANSACTION DATA - HISTOGRAM - FIND FIRST、FIND UNIQUE - UPDATE - 任意の SQL ステートメント
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT3510: Adabas D でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	Adabas D で内部エラー :1: が発生しました。
説明	Adabas D で内部エラーが発生しました。

対処	詳細については、Adabas D のエラーメッセージを参照してください。

NAT3520: ORACLE でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	ORACLE で内部エラー :1: が発生しました。
説明	ORACLE で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、ORACLE の内部エラーメッセージを参照してください。

NAT3530: IBM DB2 でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	IBM DB2 で内部エラー :1: が発生しました。
説明	IBM DB2 で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、IBM DB2 のエラーメッセージを参照してください。

NAT3540: SYBASE でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	SYBASE で内部エラー :1: が発生しました。
説明	SYBASE で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、SYBASE のエラーメッセージを参照してください。

NAT3550: INFORMIX でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	INFORMIX で内部エラー :1: が発生しました。
説明	INFORMIX で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、INFORMIX のエラーメッセージを参照してください。

71 Natural システムエラーメッセージ 3551〜3600

NAT3560: INGRES でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	INGRES で内部エラー :1: が発生しました。
説明	INGRES で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、INGRES のエラーメッセージを参照してください。

NAT3570: ODBC でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	ODBC で内部エラー :1: が発生しました。
説明	ODBC で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、ODBC のエラーメッセージを参照してください。

NAT3571: ODBC とともに機能を使用することはできません。

テキスト	ODBCとともに機能を使用することはできません。
説明	次のステートメントは、ODBC とともに使用することはできません。 - CALLDBPROC - READ RESULT

対処	プログラムおよびグローバル DBMS 割り当てをチェックしてください。

NAT3580: RDB でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	RDB でエラー :1: が発生しました。
説明	RDB で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、RDB のエラーメッセージを参照してください。

NAT3590: ESQ でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	ESQ で内部エラー :1: が発生しました。
説明	ESQ で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、ESQ のエラーメッセージを参照してください。

72 Natural システムエラーメッセージ 3601～3650

NAT3610: RMS でエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	RMS で内部エラー :1: が発生しました。
説明	RMS で内部エラーが発生しました。
対処	詳細については、RMS のエラーメッセージを参照してください。

73 Natural システムエラーメッセージ 3701～3750

NAT3739: トランザクションが開いている間は、**SQLDISCONNECT** できません。

テキスト	トランザクションが開いている間は、SQLDISCONNECT できません。
説明	トランザクションが開いている間は、SQLDISCONNECTを実行できません。
対処	SQLDISCONNECTの実行前に、END TRANSACTION または BACKOUT TRANSACTION を発行してください。

NAT3740: SQLDISCONNECT ステートメントに構文エラーが見つかりました。

テキスト	SQLDISCONNECT ステートメントに構文エラーが見つかりました。
説明	SQLDISCONNECT ステートメントに構文エラーが検出されました。
対処	SQLDISCONNECT ステートメントを修正してください。

NAT3741: SQL データベースにはすでに接続しています。

テキスト	SQL データベースにはすでに接続しています。
説明	SQL データベースへの接続がすでに確立されているため、SQLCONNECT が失敗しました。

対処	SQLCONNECT を実行する前に、SQLDISCONNECT との 既存の接続をクローズしてください。

NAT3742: SQLCONNECT ステートメントに構文エラーが見つかりました。

テキスト	SQLCONNECT ステートメントに構文エラーが見つかりました。
説明	SQLCONNECT ステートメントに構文エラーが検出されました。
対処	SQLCONNECT ステートメントを修正してください。

NAT3743: SQL の日付／時刻の変換に失敗しました。

テキスト	SQL の日付 / 時刻の変換に失敗しました。
説明	変換する日付が日付 / 時刻の変換マスクに対応していないため、 SQL の日付 / 時刻の変換に失敗しました。
対処	この DBID に指定したSQL の 日付 / 時刻の変換マスクをチェックしてください。

NAT3744: IF NO RECORDS not allowed in SELECT with SCROLL and GIVING.

テキスト	IF NO RECORDS not allowed in SELECT with SCROLL and GIVING.
説明	IF NO RECORDS FOUND is not allowed in a SELECT statement with SCROLLand ↩ GIVING clause. When using SCROLL and GIVING clauses the applicationrequests ↩ to act on the returned SQLCODE in the GIVING variable. Thiscauses the NO ↩ RECORDS FOUND block never to be executed. Therefore theNO RECORDS FOUND ↩ clause is useless and not allowed.
対処	Remove either the NO RECORDS FOUND clause or the GIVING clausefrom the SQL ↩ statement.

74 Natural システムエラーメッセージ 3951～4000

NAT4000: Natural エラーテキスト **4nnn** は表示できません。

テキスト	Natural エラーテキスト 4nnn は表示できません。
説明	4000 番台のエラーに対して、有効な特定のエラーメッセージはありません。
対処	

75 Natural システムエラーメッセージ 4001～4050

NAT4001: DC、ID および **IA** の制御文字は互いに異なるものでなければなりません。

テキスト	DC、ID および IA の制御文字は互いに異なるものでなければなりません。
説明	入力データストリーム処理の際、それぞれの区別ができなくなるので、 小数点 (DC) 、INPUT 区切り (ID) 、INPUT 割り当て文字 (IA) はそれぞれ異なるものでなければなりません。
対処	DC、ID、および IA に異なる値を入力してください。

NAT4002:「**OFF**」、「**ON**」、「**OPT**」、または「*****」を入力してください。

テキスト	「OFF」、「ON」、「OPT」、または「*」を入力してください。
説明	GLOBALS 画面上で MCG パラメータを設定するために、 次のオプションがあります。 - 'OFF' : Natural Optimizer Compiler (NOC) が非アクティブになります。 - 'ON' : 追加オプションなしで NOC がアクティブになります。 - 'OPT' または '*' : ウィンドウが表示され、NOC をアクティブにできます。 また、追加オプション (オーバーフローチェック、インデックスチェック、 ミックスモード、I/O ステートメントの最適化) をアクティブ化するか、 または非アクティブ化することができます。
対処	GLOBALS 画面上の MCG フィールドに、 「ON」、「OFF」、「OPT」または「*」を入力してください。

NAT4003: ON ='Y' のときのみ追加オプション = **'Y'** とできます。

テキスト	ON ='Y' のときのみ追加オプション = 'Y' とできます。
説明	Natural Optimizer Compiler (NOC) の追加オプションをアクティブ ('Y') にするには、まず NOC 自体をアクティブに ('ON' を 'Y' に設定) しなければなりません。 NOC を非アクティブに ('ON' を 'N' に設定) するには、有効になっていた追加オプションをすべて非アクティブにしなければなりません。
対処	追加オプションを 'Y' に設定するには、'ON' を 'Y' に設定してください。 'ON' を 'N' に設定するには、すべての追加オプションを 'N' に設定してください。

NAT4004: 行サイズは、**2** から **250** までの値でなければなりません。

テキスト	行サイズは、2 から 250 までの値でなければなりません。
説明	1 つの論理行には、最大で 250 文字出力できます。 LS パラメータが物理行サイズより大きい場合には、複数行にまたがって出力されます。
対処	行サイズの値を 250 以下にしてください。

NAT4005: ページサイズは、**10** から **250** までか、または **0** である必要があります。

テキスト	ページサイズは、10 から 250 までか、または 0 である必要があります。
説明	1 つのステートメントで作成し、1 つの論理ページに配置できるのは 250 行までです。
対処	PS パラメータに正しい値を入力してください。

NAT4006: IM パラメータに指定できる値は、**'D'** または **'F'** のみです。

テキスト	IM パラメータに指定できる値は、'D' または 'F' のみです。
説明	IM (入力モード) パラメータの値として使用できるのは、'D' (デリミタモード) または 'F' (フォームモード) のみです。

対処	IM パラメータに「D」または「F」を入力してください。

NAT4007: このタイプのパラメータには **'ON'** または **'OFF'** のみを指定できます。

テキスト	このタイプのパラメータには 'ON' または 'OFF' のみを指定できます。
説明	このタイプのパラメータに可能な値は 'ON' と 'OFF' のみです。
対処	このパラメータに「ON」と「OFF」のどちらかを入力してください。

NAT4008: SL パラメータ値は **20**〜**250** にしなければなりません。

テキスト	SL パラメータ値は 20~250 にしなければなりません。
説明	バッチモードで入力する場合、ソース行の長さは 20~250 文字です。 Natural フルスクリーンエディタで編集できるのは 72 文字までの行です。
対処	SL パラメータに正しい値を入力してください。

NAT4009: フィールド間の空白は、**1** から **30** までの値でなければなりません。

テキスト	フィールド間の空白は、1 から 30 までの値でなければなりません。
説明	出力列の間に置くことのできる空白は 30 までです。
対処	SF パラメータに正しい値 (1~30) を入力してください。

NAT4010: ライブラリ **ID** の指定が正しくありません。

テキスト	ライブラリ ID の指定が正しくありません。
説明	ライブラリ ID は、英字で始まる 8 文字までの英数字でなければなりません。
対処	ライブラリ ID に正しい値を入力してください。

NAT4011: デフォルトの制限を超える制限を指定できません。

テキスト	デフォルトの制限を超える制限を指定できません。
説明	表示されている現在のデフォルト制限値より大きい値に 制限を指定することはできません。 制限の値を減らすことは可能です。 デフォルトの制限値は Natural インストレーション時に定義されます。
対処	現在の制限値より小さい値を入力してください。

NAT4012: 前のソースエリアの中身は削除されてしまいました。

テキスト	前のソースエリアの中身は削除されてしまいました。
説明	別のオブジェクトがソースエリアにあるのに、DDM をカタログしようとしました。 このオブジェクトはソースエリアから削除され、現在ソースエリアは空です。
対処	DDM をカタログする前に、オブジェクトをソースエリアに読み込んでください。

NAT4013: 生成機能は **Adabas** ファイルに対してのみ有効です。

テキスト	生成機能は Adabas ファイルに対してのみ有効です。
説明	- DB2 または SQL/DS テーブルからDDMを生成するには、 'DB2, SQL/DS Services' 機能を使用します。 - DL/I セグメント記述から DDM を生成するには、 'DL/I Services' 機能を使用します。 - VSAM ファイルの DDM は生成できないので、編集機能を使用して指定内容を 手入力します。
対処	データベースタイプに対応して、適切な機能を使用してください。

NAT4014: 0 を除く **Adabas DBID** を入力してください。

テキスト	0 を除く Adabas DBID を入力してください。
説明	

対処	正しい DBID を入力してください。

NAT4015: DDM をカタログする前に、ソースエリアに読み込んでください。

テキスト	DDM をカタログする前に、ソースエリアに読み込んでください。
説明	DDM をカタログする前に、ソースエリアに読み込まなくてはなりません。
対処	DDM をソースエリアに読み込んでください。

NAT4016: この機能は有効ではありません。

テキスト	この機能は有効ではありません。
説明	DB2, SQL/DS Services 機能は、Natural for DB2 または Natural for SQL/DS がインストールされているときにのみ有効です。 また 'DL/I Services' 機能は、Natural for DL/I がインストールされているときにのみ有効です。
対処	別の機能を選択するか、 またはデータベース管理者に連絡してください。

NAT4017: オブジェクトの名前を変更しました。

テキスト	オブジェクトの名前を変更しました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4018: ユーザー **:1:** が **CATALL** でこのライブラリをカタログしています。

テキスト	ユーザー ... が CATALL でこのライブラリをカタログしています。
説明	ライブラリの CATALL は一度に 1 ユーザーにのみ許されます。
対処	1) 後でもう一度実行してください。 2) CATALL を発行した人に CATALL を実行するように頼んでください。 または、この人がわからないときは 3) オブジェクト OCATALL を自分で削除してください。

NAT4019: ファイル **:1:** はデータベース **:2:** に存在しません。

テキスト	ファイル ... はデータベース ... に存在しません。
説明	LF コールを使用して Adabas に対する DDM のチェック中に、 レスポンスコード 17、サブコード 11が返されました。 DDM が参照する FDT が Adabas に存在しません。
対処	DDM の DBID または FNR あるいはその両方を変更するか、または Ababas FDT をロードしてください。

NAT4029: オブジェクトが印刷されました。

テキスト	オブジェクトが印刷されました。
説明	選択したオブジェクトは、プリンタに送られました。
対処	対処不要。

NAT4031: 「**ON**」または「**OFF**」を入力してください。

テキスト	「ON」または「OFF」を入力してください。
説明	このフィールドに有効な値は、'ON' または 'OFF' のみです。 値の意味については、ドキュメントを参照してください。
対処	有効値を挿入してください。

NAT4032: OFF、'**ON**' または '**VID**' のいずれかを選択してください。

テキスト	OFF、'ON' または 'VID' のいずれかを選択してください。
説明	このフィールドに有効な値は次のとおりです。 ON ：すべてのビューに対してグローバルフォーマット ID が生成されます (デフォルト値) 。 OFF ：グローバルフォーマット ID は生成されません。 VID ：グローバルフォーマット ID が、ローカル / グローバルデータエリアのビューに対してのみ生成されます。 プログラム内で定義されたビューに対しては生成されません。

対処	正しい値を入力します。

NAT4033: コンパイルオプションが更新されました。

テキスト	コンパイルオプションが更新されました。
説明	画面上に表示された値に従って、コンパイルオプションが更新されました。
対処	対処不要。

NAT4035: 不正な値 **:1:** が入力されました。

テキスト	不正な値 ... が入力されました。
説明	
対処	正しい値を入力してください。

NAT4036: 不正な値 **:1:** がパラメータ **:2:** に渡されました。

テキスト	不正な値 ... がパラメータ ... に渡されました。
説明	不正な値が Natural モジュールのパラメータに渡されました。 ユーザーによる入力が間違っているか、 または内部エラーが発生しました。
対処	入力パラメータを変更するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4037: :1: は **:2:** より小さくしなければなりません。

テキスト	... は ... より小さくしなければなりません。
説明	入力された値は別の値より小さくしなければなりません。
対処	より小さな値を入力してください。

NAT4038: :1: は **:2:** より大きくしなければなりません。

テキスト	. . . は . . . より大きくしなければなりません。
説明	入力された値は別の値より大きくしなければなりません。
対処	より大きな値を入力してください。

NAT4039: :1: は **:2:** から **:3:** の範囲でなければなりません。

テキスト	. . . は . . . から . . . の範囲でなければなりません。
説明	入力値は不正な範囲の値かもしれません。
対処	入力値を変更してください。

NAT4040: :1: が存在しません。

テキスト	. . . が存在しません。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4041: :1: はすでに存在しています。

テキスト	. . . はすでに存在しています。
説明	
対処	入力を変更するか、または置換オプションを 'はい' に設定してください。

NAT4043: :1: は空です。

テキスト	. . . は空です。

説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4044: この機能は **Predict** 定義により許可されていません。

テキスト	この機能は Predict 定義により許可されていません。
説明	Predict 内の定義により、この機能の使用は許可されていません。
対処	Predict 管理者に連絡してください。

NAT4045: Predict マスタレコード内でエラーとなりました。

テキスト	Predict マスタレコード内でエラーとなりました。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4046: フィールドが、**Adabas** の **LOB** フィールドとして定義されています。

テキスト	フィールドが、Adabas の LOB フィールドとして定義されています。
説明	DDM フィールドは Adabas の LOB フィールドとして定義されていますが、'LB' フィールドオプションでマークされていません。
対処	.e コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップで、'LB' フィールドオプションでフィールドをマークしてください。

NAT4047: フィールドが、**Adabas** の ロング英数字フィールドとして定義されています。

テキスト	フィールドが、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されています。
説明	DDM フィールドは Adabas のロング英数字フィールドとして定義されていますが、'LA' フィールドオプションでマークされていません。

対処	.e コマンドでアクティブにした拡張フィールド編集マップで、 'LA' フィールドオプションでフィールドをマークしてください。

NAT4048: 拡張パラメータサイズは小さすぎます。

テキスト	拡張パラメータサイズは小さすぎます。
説明	Natural サブプログラムは、ダイナミックパラメータエリア (1:V) を指定して 呼び出されています。 呼び出し側プログラム内のパラメータエリアのサイズが、 サブプログラム内で予期されているサイズより小さくなっています。
対処	呼び出し側プログラムを変更するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4049: :1: は **:2:** のためにだけ許可されています。

テキスト	... は ... のためにだけ許可されています。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4050: 物理 **DDM** のための重複ファイル番号は許可されていません。

テキスト	物理 DDM のための重複ファイル番号は許可されていません。
説明	物理 VSAM DDM のためのファイル番号は一度のみ使用できます。
対処	別のファイル番号を使用するか、または置換オプションを 'はい' に指定してください。

76 Natural システムエラーメッセージ 4051〜4100

NAT4051: ユーザー **DDM** と関係したファイルは存在しません。

テキスト	ユーザー DDM と関係したファイルは存在しません。
説明	VSAM ユーザー DDM は、存在しない物理 VSAM DDM に関連しています。 論理ユーザー DDM は、物理ファイルと同じファイル番号を持っていなければなりません。
対処	ファイル番号を訂正するか、または適切な物理 VSAM DDM を作成してください。

NAT4052: 与えられた番号の物理ファイルがありません。

テキスト	与えられた番号の物理ファイルがありません。
説明	VSAM DDM は論理上、存在しない物理 VSAM DDM を参照しています。
対処	適切な物理 VSAM DDM を作成してください。 または、論理的に別の物理 VSAM DDM に DDM を関連付けてください。

NAT4053: 論理ファイルは **KSDS** または **VRDS** タイプにしなければなりません。

テキスト	論理ファイルは KSDS または VRDS タイプにしなければなりません。
説明	

対処	論理ファイルタイプを変更してください。

NAT4054: 関連する物理ファイルには見当たらないファイル番号です。

テキスト	関連する物理ファイルには見当たらないファイル番号です。
説明	
対処	ファイル番号を入力します。

NAT4055: DDM がとても大きいので、十分なバッファサイズがありません。

テキスト	DDM がとても大きいので、十分なバッファサイズがありません。
説明	CHECK または CAT 操作中に、DDM は内部バッファ内に一時的に格納されます。 このバッファを割り当てるのに利用可能な十分なスペースがありません。
対処	他の Natural バッファサイズ (例 : ESIZE) を減らすか、 DDM のサイズを減らすか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4056: プライマリキーは **ESDS** ファイルには無効です。

テキスト	プライマリキーは ESDS ファイルには無効です。
説明	
対処	プライマリキーフィールドを削除してください。

NAT4057: RRDS ファイルはキーを含んではいけません。

テキスト	RRDS ファイルはキーを含んではいけません。
説明	
対処	キーを削除してください。

NAT4058: 重複したロングフィールド名 **:1:** は許可されていません。

テキスト	重複したロングフィールド名 ... は許可されていません。
説明	同じロングネームを持った 2 つの DDM フィールドがあります。 これは許可されません。
対処	DDM フィールドのロングネームを変更してください。

NAT4059: :1:

テキスト	...
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4060: KSDS ファイルは少なくとも **1** つプライマリキーを含んでいなければなりません。

テキスト	KSDS ファイルは少なくとも 1 つプライマリキーを含んでいなければなりません。
説明	
対処	KSDS DDM 内にプライマリキーを挿入してください。

NAT4061: 代替インデックス名は '**A**' と '**X**' タイプのみ有効です。

テキスト	代替インデックス名は 'A' と 'X' タイプのみ有効です。
説明	代替インデックスがフィールドに指定されていますが、フィールドのディスクリプタ列に、'A' または 'X' がマークされていません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4062: :1: の値は '**Y**' または '**N**' にしなければなりません。

テキスト	... の値は 'Y' または 'N' にしなければなりません。

説明	入力フィールドの値は 'Y' または 'N' にしなければなりません。
対処	「Y」または「N」を入力するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4063: :1: はブランクであってはいけません。

テキスト	... はブランクであってはいけません。
説明	
対処	ブランク以外の値を入力するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4064: :1: は **:2:** にしなければなりません。

テキスト	... は ... にしなければなりません。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4065: :1: のカタログはセキュリティ定義により許可されていません。

テキスト	... のカタログはセキュリティ定義により許可されていません。
説明	ユーザーは、Natural Security 内に、この DDM をカタログするための特権を持っていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡するか、 または DDM の名前を変更してください。

NAT4066: DDM のカタログは、**SYSDDM** ユーティリティには許可されていません。

テキスト	DDM のカタログは、SYSDDM ユーティリティには許可されていません。
説明	ユーザーは、SYSDDM ユーティリティで DDM をカタログする特権を持っていません。

対処	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4067: コード **'C'** はサポートされていません。 **:1:.**

テキスト	コード 'C' はサポートされていません。 ...。
説明	Natural Security への呼び出し中に内部エラーが発生しました。 Natural Security は、DDM のカタログのためのコード 'C' を識別しません。 Natural Security はレスポンスコードを発行しました。
対処	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4068: 重複したショートネーム **:1:** は許可されていません。

テキスト	重複したショートネーム ... は許可されていません。
説明	2 回以上ショートネームを使用することは、この DDM では許可されていません。
対処	フィールドのショートネームを変更してください。

NAT4069: スーパー／サブディスクリプタ **:1:** は **PE/MU** フィールド **:2:** を参照してはいけません。

テキスト	スーパー / サブディスクリプタ ... は PE/MU フィールド ... を参照してはいけません。
説明	スーパーディスクリプタまたはサブディスクリプタのマスタフィールドは、 ピリオディックグループでもマルチプルバリューでもいけません。
対処	スーパディスクリプタまたはサブディスクリプタを変更してください。

NAT4070: 作成者が **DDM** 名に見つかりません。テーブルに対する確認ができません。

テキスト	作成者が DDM 名に見つかりません。テーブルに対する確認ができません。
説明	SQL DDM の DDM 名は、'-' によって区切られた作成者名とテーブル名で 構成されることになっています。 もし作成者およびテーブル名が識別できない場合、 SQL DDM は SQL テーブルに対して確認できません。 DDM のカタログを作成する場合、SQL テーブルに対する確認がないことに 注意してください。

対処	- によって区切られた作成者名とテーブル名から成る DDM 名を 使用してください。

NAT4071: Adabas LF- コマンドの後にリターンコード **:1:** が返りました。

テキスト	Adabas LF- コマンドの後にリターンコード ... が返りました。
説明	Adabas LF- コマンドは、FDT のフィールド文字を検索するために 発行されました。 0(ゼロ)以外のリターンコードはコール後に受け取られました。
対処	FDT のファイル番号を確認するか、または Natural 管理者に連絡してください。

NAT4072: このコマンドは許可されていません。

テキスト	このコマンドは許可されていません。
説明	Natural Security により許可 されていない機能を実行しようとしました。
対処	Natural Security の管理者に連絡してください。

NAT4073: テーブル名および作成者名を指定してください。

テキスト	テーブル名および作成者名を指定してください。
説明	SQL テーブルから DDM を生成しようとしましたが、 作成者または SQL テーブルのテーブル名が見つかりませんでした。
対処	作成者名およびテーブル名を発行してください。

NAT4074: テーブル **:1:**（**:2:** により作成されたテーブル）が見つかりません。

テキスト	テーブル ... (... により作成されたテーブル) が見つかりません。
説明	DDM の作成元 SQL テーブルは見つかりませんでした。
対処	SQL テーブルを作成するか、または正しい作成者およびテーブル名を発行して ください。

NAT4075: ビューの列が多すぎます（**< 750**）。

テキスト	ビューの列が多すぎます (< 750)。
説明	DDM の生成元 SQL テーブルの列が多すぎます。 列の最大数は 750 です。
対処	テーブル内の列の数を減らしてください。

NAT4076: SQL ビュー構文解析エラー **:1:**（**NATG0301**）。

テキスト	SQL ビュー構文解析エラー ... (NATG0301)。
説明	更新可能フィールド用のビューのチェック中にエラーが発生しました。 ビュー定義内にエラーのある可能性があります。
対処	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4077: テーブル **:1:** に列がありません。

テキスト	テーブル ... に列がありません。
説明	列のない SQL テーブルから DDM を生成しようとしました。
対処	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4078: 列が多すぎるためショートネームを生成できません。

テキスト	列が多すぎるためショートネームを生成できません。
説明	DDM 内のキーフィールドおよびキー以外のフィールドのショートネームは、 数が制限されています。 1 種類のフィールドの最大数を 超えました。
対処	SQL テーブル内の列の数を減らしてください。

NAT4079: 不正なデータベース番号です。

テキスト	不正なデータベース番号です。
説明	コンテキスト内で有効ではないデータベース番号が発行されました。
対処	別のデータベース番号を入力してください。

NAT4080: DDM は **DB2** 以外のデータベース上ですでに定義されています。

テキスト	DDM は DB2 以外のデータベース上ですでに定義されています。
説明	カタログしようとした DDM の名前はすでに存在しています。 ただし、その DDM は DB2 に対するものではありません。
対処	DDM には別の名前を使用してください。

NAT4081: DB2 はアクティブでないため、**DDM** をテストすることができません。

テキスト	DB2 はアクティブでないため、DDM をテストすることができません。
説明	DB2 データベースに対して、DB2 DDM を確認しようとしましたが、 Natural は DB2 がアクティブでないことを検知しました。
対処	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4082: 空値インジケータはタイプ **I2** にしなければなりません。

テキスト	空値インジケータはタイプ I2 にしなければなりません。
説明	空値インジケータは、要求されたタイプおよび長さではありません。
対処	空値インジケータのフォーマットまたは長さ、あるいはその両方を変更してください。

NAT4083: LOB フィールドまたはロング英数字フィールドのフォーマットまたは長さが正しくありません。

テキスト	LOB フィールドまたはロング英数字フィールドのフォーマットまたは長さが正しくありません。
説明	LOB フィールドに許容されているフォーマットは、'A'、'B'、または 'U' です。 フォーマット 'A' または 'B' の最大長は 1073741824 です。 フォーマット 'U' の最大長は 536870912 です。 ロング英数字フィールドに許容されているフォーマットは、'A' または 'U' です。 フォーマット 'A' の最大長は 16381 です。 フォーマット 'U' の最大長は 8190 です。
対処	正しいフォーマットまたは長さ、あるいはその両方を指定してください。

NAT4084: 空値インジケータはディスクリプタです。

テキスト	空値インジケータはディスクリプタです。
説明	空値インジケータはディスクリプタとして定義されていますが、DDM 内の空値インジケータフィールドは、ディスクリプタとして 定義されていません。
対処	ディスクリプタとして DDM の空値インジケータフィールドを定義してください。

NAT4085: 空値インジケータをフィールドに関連付けることができませんでした。

テキスト	空値インジケータをフィールドに関連付けることができませんでした。
説明	このメッセージの原因として次のことが考えられます。 - フィールドのショートネームおよび対応する空値インジケータの ショートネームは同じでなければなりません。 - 空値インジケータの前に、その関連付けられた DB フィールドがなければなりません。
対処	空値インジケータのショートネームまたは位置を変更してください。

NAT4086: 不正な空値インジケータフィールド名です。

テキスト	不正な空値インジケータフィールド名です。

説明	空値インジケータのロングネームは、N@ が接頭辞として付けられた対応するフィールドのロングネームにしなければなりません。 メインフレームプラットフォームでは、'@' は、 16 進の値が H'7C' の文字です。
対処	空値インジケータのロングネームを変更してください。

NAT4087: フォーマットはバイナリ（**B**）にしなければなりません。

テキスト	フォーマットはバイナリ (B) にしなければなりません。
説明	フィールドのフォーマットは、データベースに対して DDM をチェックしている間に、バイナリとして見つかりました。
対処	そのフィールドのフォーマットをバイナリに設定してください。

NAT4088: フィールドが、**Adabas** の **LOB** フィールドとして定義されていません。

テキスト	フィールドが、Adabas の LOB フィールドとして定義されていません。
説明	DDM フィールドは、フィールドオプション 'LB' でマークされています。これは、 このフィールドが Adabas の LOB フィールドであることを示しています。 ただし、このフィールドは、Adabas の LOB フィールドとして定義されていません。
対処	DDM を再生成するか、.e 行コマンドでアクティブにした拡張フィールド 編集マップでフィールドオプションを変更します。

NAT4089: フィールドが、**Adabas** のロング英数字フィールドとして定義されていません。

テキスト	フィールドが、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていません。
説明	DDM フィールドは、フィールドオプション 'LA' でマークされています。これは、 このフィールドが Adabas のロング英数字フィールドであることを示しています。 ただし、このフィールドは、Adabas の ロング英数字フィールドとして定義されていません。
対処	DDM を再生成するか、.e 行コマンドでアクティブにした拡張フィールド 編集マップでフィールドオプションを変更します。

NAT4090: レスポンスコード **:1:** の **CMZUL :2:**。

テキスト	レスポンスコード ... の CMZUL ...。
説明	CMZUL エディタを呼び出し中に工ラーとなりました。
対処	Natural の管理者に連絡してください。

NAT4091: ファイル番号が正しくありません。

テキスト	ファイル番号が正しくありません。
説明	1 から 5000 の範囲内のファイル番号が入力されなければなりません。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT4092: CICS ファイル名が見当たりません。

テキスト	CICS ファイル名が見当たりません。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4093: K、E、R、V (file-org); Y、N (compress); F、C (zone) だけ許可されています。

テキスト	K、E、R、V (file-org) ; Y、N (compress) ; F、C (zone) だけ許可されています。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4094: Y (compress) は **KSDS、ESDS、VRDS** ファイルだけ許可されています。

テキスト	Y (compress) は KSDS、ESDS、VRDS ファイルだけ許可されています。

説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

NAT4095: 不正なコマンドです。正しいコマンドを入力してください。

テキスト	不正なコマンドです。正しいコマンドを入力してください。
説明	不正なコマンドが入力されました。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT4096: 要素の長さは **:1:** より大きくすることはできません。

テキスト	要素の長さは ... より大きくすることはできません。
説明	フィールドの長さとして、このフィールドタイプの最大値よりも長い値が入力されています。
対処	チェックして、正しい長さを入力してください。

NAT4097: 機能はキャンセルされました。

テキスト	機能はキャンセルされました。
説明	ユーザーにより、機能はキャンセルされました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4098: データベース **ID :1:** は **DB2** テーブルには無効です。

テキスト	データベース ID ... は DB2 テーブルには無効です。
説明	
対処	正しいデータベース ID を入力するか、または選択してください。

NAT4099: Super Natural ユーザーファイルへの書き込みは許可されていません。

テキスト	Super Natural ユーザーファイルへの書き込みは許可されていません。
説明	Super Natural ユーザーファイルは、Super Natural アプリケーションにより生成されます。 別のファイルタイプで、そのファイルの読み込みやリスト、および格納やバックアップができます。 しかし、そのファイルを使用する Super Natural アプリケーションは実行されていないので、その変更は許可されていません。
対処	

NAT4100: ファイル名を指定してください。

テキスト	ファイル名を指定してください。
説明	LIST FILE 機能を選択する場合は、ファイル名を指定しなければなりません。
対処	機能とファイル名を入力してください。

77 Natural システムエラーメッセージ 4101～4150

NAT4101: ソースワークエリアには現在オブジェクトが存在しません。

テキスト	ソースワークエリアには現在オブジェクトが存在しません。
説明	パラメータを指定しないで LIST コマンドを発行すると、 現在ソースワークエリア内に存在するオブジェクトのソースを リストしますが、現在ソースワークエリアは空です。
対処	LIST コマンドで、リストするオブジェクト名を指定してください。

NAT4102: 行を選択するための入力値は数値でなればなりません。

テキスト	行を選択するための入力値は数値でなればなりません。
説明	リストするプログラム行は数値で指定しなければなりません。
対処	行を選択するために数値を入力してください。

NAT4103: クロスリファレンスのためのスキャン機能にはスキャン値が必要です。

テキスト	クロスリファレンスのためのスキャン機能にはスキャン値が必要です。
説明	値のクロスリファレンスは、値として英数字定数が指定されている場合にのみ 評価できます。

対処	スキャン値を入力してください。

NAT4104: LIST サブコマンドが正しくありません。

テキスト	LIST サブコマンドが正しくありません。
説明	LIST 機能で不正なサブコマンドが指定されました。 HELP コマンドを使用して正しいコマンドの一覧を調べてください。
対処	正しい LIST サブコマンドを入力してください。

NAT4105: クロスリファレンステーブルがオーバーフローしました。

テキスト	クロスリファレンステーブルがオーバーフローしました。
説明	クロスリファレンスリストを格納するための内部テーブルが格納できる参照は 240 件までのみです。 しかし、指定された値に対する参照がそれ以上存在します。
対処	参照する値をもっと特定のものに絞り込んでください。

NAT4106: 行番号が範囲外なので、**1** 行目からリストします。

テキスト	行番号が範囲外なので、1 行目からリストします。
説明	プログラム内に存在しない行番号が指定されました。 LIST 機能は、プログラムを先頭からリストします。
対処	正しい行番号を入力してください。

NAT4107: プログラムが異常終了しました。

テキスト	プログラムが異常終了しました。
説明	バッチモードで、プログラムの実行が異常終了しました。 エラーの原因がこのメッセージの上のバッチ出力リストに表示されます。

対処	出力リストでエラーの原因を参照してください。

NAT4108: スキャンは、アクティブなオブジェクトリストで選択されたオブジェクトに対してのみ可能です。

テキスト	スキャンは、アクティブなオブジェクトリストで選択されたオブジェクトに対してのみ可能です。
説明	スキャンは、アクティブなオブジェクトリストでマークされたオブジェクトに対して動作します。
対処	オブジェクトを選択して、オブジェクトリストをアクティブにしてください。

NAT4110: 選択した番号は範囲内にありません。

テキスト	選択した番号は範囲内にありません。
説明	選択するために表示されたファイル名の中の ファイルのみが参照可能です。 指定された番号は表示された番号の中にありません。
対処	正しい選択番号を入力します。

NAT4115: 行番号が数値でないので、初めからリストします。

テキスト	行番号が数値でないので、初めからリストします。
説明	行番号として指定された値が数値ではありません。 プログラムは最初からリストされます。
対処	行を選択するために正しい番号を入力してください。

NAT4116: 実際の行番号より大きい行番号が開始行番号に指定されました。

テキスト	実際の行番号より大きい行番号が開始行番号に指定されました。
説明	プログラム内に存在する最大行番号より大きな行番号が、 位置決めのために指定されました。 プログラムは最初からリストされます。

対処	正しい行番号を入力してください。

NAT4119: 選択されたプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。

テキスト	選択されたプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。
説明	指定された名前のプログラムが、指定されたライブラリに存在しません。
対処	正しいプログラム名を入力してください。

NAT4121: 編集するために選択できるプログラムは **1** つだけです。

テキスト	編集するために選択できるプログラムは 1 つだけです。
説明	選択メニューでは、編集するために選択できるプログラムは 1 つのみです。 カタログ、パージ、スクラッチ、リスト等では、複数プログラムの選択が可能です。
対処	編集には 1 つのプログラムのみを選択してください。

NAT4122: 選択された番号は **LIST PROGRAM** の範囲外です。

テキスト	選択された番号は LIST PROGRAM の範囲外です。
説明	選択メニューに表示されたプログラム番号からのみ選択できます。
対処	正しい選択番号を入力してください。

NAT4123: 現ライブラリにはソースプログラムが存在しません。

テキスト	現ライブラリにはソースプログラムが存在しません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4125: 要求されたファイル記述は使用可能ではありません。

テキスト	要求されたファイル記述は使用可能ではありません。
説明	リストするために指定されたファイル記述が存在しません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。 正しいファイル名を指定してください。

NAT4126: 要求されたフィールド名が **DDM** 中にはありません。

テキスト	要求されたフィールド名が DDM 中にはありません。
説明	要求されたフィールド名が DDM 中にはありません。 認識されるのは、Natural フィールドのロングネームのみです。
対処	「--」を入力し、DDMの先頭に移動してください。

NAT4127: 不正な **LIST FILE** コマンドです。

テキスト	不正な LIST FILE コマンドです。
説明	画面分割エディタで使用された LIST FILE コマンドが正しくありません。
対処	「?」を入力し、ヘルプ機能で正しいコマンドを調べてください。

NAT4128: ファイル定義が途中までしかリストされません。

テキスト	ファイル定義が途中までしかリストされません。
説明	リストされる DDM のサイズが大きすぎます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4129: スキャン値の指定がありません。

テキスト	スキャン値の指定がありません。
説明	画面分割モードでは、'S SC=' コマンドを入力してスキャンを繰り返す前に 'S SC value' コマンドでスキャン値を指定しなければなりません。
対処	正しいコマンドを入力してください。

NAT4130: ローカルなコマンドのみ許されます。

テキスト	ローカルなコマンドのみ許されます。
説明	アプリケーションのこの部分では、ローカルなコマンドのみ許されます。
対処	コマンド行のヘルプ機能を使用してください。

NAT4131: ライブラリは空です。プログラムが **1** つも削除されませんでした。

テキスト	ライブラリは空です。プログラムが 1 つも削除されませんでした。
説明	ソースプログラムがないライブラリに対して、PURGE コマンドが発行されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4132: LAST コマンドに対して有効なコマンドがありません。

テキスト	LAST コマンドに対して有効なコマンドがありません。
説明	LAST コマンドは、最後に発行されたコマンドを表示するために使用されます。しかし、LAST コマンドの前に発行されたコマンドがありませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT4133: LAST で要求されたコマンドが有効ではありません。

テキスト	LAST で要求されたコマンドが有効ではありません。

説明	LAST コマンドで、特定のコマンドを要求しましたが、 そのコマンドは有効ではありません。
対処	最後から 9 つ目までに発行したコマンドリストに対して、 'LAST *' コマンドを発行してください。

NAT4134: コマンド選択が正しくありません。

テキスト	コマンド選択が正しくありません。
説明	LAST * で呼び出されたウィンドウで、次のコマンドを選択できます。 - 1 つのコマンドを再実行するには、ある文字でコマンドをマークして Enter キーを押すか、 またはカーソルでコマンドをマークして PF5 キーを押します。 - 複数のコマンドを実行するには、再実行する順に番号で コマンドをマークし、Enter キーを押します。 これで、コマンドは番号の昇順に実行されます。 このエラーが発生した原因は次のとおりです。 - 同じ番号を 2 回使用しました。 - または番号のかわりに文字でコマンドのいずれかをマークしました。
対処	コマンドを正しく選択してください。

NAT4135: Only "L" or "V" allowed as values for DO parameter.

テキスト	Only "L" or "V" allowed as values for DO parameter.
説明	DO=L - Data to display have logical order (default).DO=V - Data to display ↩ have visual order.
対処	Change value for DO parameter to a valid value.

NAT4136: Selection list not available for code L.

テキスト	Selection list not available for code L.
説明	The function code L lists the required objects in a selection list.The ↩ field Selection list should not be used.
対処	Set Selection list to "N" for function code L.

NAT4137: Object name must be "*" when a Predict set is used.

テキスト	Object name must be "*" when a Predict set is used.
説明	When the Predict set number is defined, no objects can be defined inthe ↩ field Object Name.
対処	Set Object Name to "*".

78 Natural System Error Messages 4151-4200

NAT4199: Object :1:(:2:/:3:/:4:) disabled by bufferpool :5:/:6: blacklist.

テキスト	Object ...(.../.../...) disabled by bufferpool .../... blacklist.
説明	The object <name(library/dbid/fnr)> to be executed is contained in ↩ theblacklist of the current buffer pool <host-id/buffer-pool-name>(see the ↩ SYSBPM utility documentation).
対処	Remove the program from the blacklist.

79 Natural システムエラーメッセージ 4201～4250

NAT4201: ファイル番号は、**1** から **5000** の範囲でなければなりません。

テキスト	ファイル番号は、1 から 5000 の範囲でなければなりません。
説明	指定できるデータベースファイル番号の範囲は、1 から 5000 までです。
対処	正しいファイル番号を入力してください。

NAT4202: ファイル名の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	ファイル名の最初の文字が英字ではありません。
説明	正しいファイル名は英字で始まらなければなりません。 また、変数名の規則に従って指定してください。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に 関するセクションを参照してください。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT4203: ファイル名を指定しなければなりません。

テキスト	ファイル名を指定しなければなりません。

説明	ファイル名の必要な CATALOG 機能で、ファイル名が指定されていませんでした。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT4204: その前のレベルより高いレベルを指定しなければなりません。

テキスト	その前のレベルより高いレベルを指定しなければなりません。
説明	
対処	レベルをチェックして、修正してください。

NAT4205: ファイル名に正しくない文字がありました。

テキスト	ファイル名に正しくない文字がありました。
説明	ファイル名は、変数名の規則に従って指定してください。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に 関するセクションを参照してください。
対処	正しいファイル名を入力してください。

NAT4206: デフォルト順 フィールドの名前が正しくありません。

テキスト	デフォルト順 フィールドの名前が正しくありません。
説明	デフォルト順として指定されたディスクリプタ名が正しくありません。 デフォルトのディスクリプタはフィールドの 2 文字のショートネームで指定し、 グローバルデータベースファイル定義に ディスクリプタとして存在していなければなりません。
対処	デフォルト順のディスクリプタとして正しい名前を入力してください。

NAT4207: カップリングフィールドとしてのデータベースフィールド名が正しくありません。

テキスト	カップリングフィールドとしてのデータベースフィールド名が正しくありません。

説明	カップリング関係に指定するフィールド名は、 英字で始まる 2 文字のショートネームでなければなりません。 カップリング関係に使用されるフィールドは、 グローバルデータベースファイル定義に存在していなければなりません。
対処	カップリングフィールドとして正しい名前を入力してください。

NAT4208: カップリングフィールドのフィールド名が正しくありません（**S** および **D** 欄）。

テキスト	カップリングフィールドのフィールド名が正しくありません (S および D 欄)。
説明	カップリングフィールドの名前は、グローバルファイル定義に存在する、 英字で始まる 2 文字のデータベースフィールド名を指定しなければなりません。 カップリングフィールド名の値は、 S および D の列に 1 文字ずつ入力しなければなりません。
対処	正しいカップリングフィールド名を入力してください。

NAT4209: カップリングのファイル番号が数値ではありません。

テキスト	カップリングのファイル番号が数値ではありません。
説明	カップリングファイルの ID には、データベースのファイル番号を入力しなければなりません。 ファイル番号は 1 から 255 までの数値で指定する必要があります。 ヘッダーが 'LENG' のフィールドに入力する必要があります。
対処	正しいカップリングファイル番号を入力してください。

NAT4210: オカレンスの値は **1**〜**999** でなければなりません。

テキスト	オカレンスの値は 1~999 でなければなりません。
説明	オカレンスに指定された値が正しくありません。 ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドに 指定できる値の範囲は、1~999 のみです。
対処	オカレンスに正しい値を入力してください。

NAT4211: ショートネームの指定がありません。

テキスト	ショートネームの指定がありません。
説明	フィールドの指定には、データベースフィールドのショートネームが必要です。 フィールドのショートネームには、英字で始まる 2 文字を 指定しなければなりません。
対処	フィールドの正しいショートネームを入力してください。

NAT4212: ロングネームの指定がありません。

テキスト	ロングネームの指定がありません。
説明	フィールドの指定にはロングネームが必要です。 ロングネームは英字で始まり、変数の命名規則に従っていなければなりません。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に 関するセクションを参照してください。
対処	フィールドの正しいロングネームを入力してください。

NAT4213: フィールド名の最初の文字が英字ではありません。

テキスト	フィールド名の最初の文字が英字ではありません。
説明	フィールドのロングネームの最初の文字は英字でなければなりません。
対処	フィールドに正しいロングネームを入力してください。

NAT4214: フィールドフォーマット（列 **F**）には、**A**、**B**、**U**、**I**、**N**、**P**、**F**、**D**、**T**、**L** のいずれかを指定する必要があります。

テキスト	フィールドフォーマット (列 F) には、A、B、U、I、N、P、F、D、T、L のいずれかを指定する必要があります。
説明	データベースフィールドには次のフォーマットのいずれかを指定してください。 A - 英数字 B - バイナリ U - unicode I - 整数 N - アンパック型数値 P - パック型数値 F - 浮動小数点 D - 日付 T -時刻 L - 論理

対処	正しいフォーマットを入力します。

NAT4215: 英数字フィールド長を **1**〜**253** にするか、または **LA/LB** オプションを設定する必要があります。

テキスト	英数字フィールド長を 1～253 にするか、または LA/LB オプションを設定する必要があります。
説明	英数字フィールドの固定長には、 253 文字までのみ指定できます。 可変長フィールドには、フォーマットオプション LA または LB を設定することにより、 DYNAMIC と定義できます。 フォーマットオプションを入力するには、 .E 行コマンドを使用します。
対処	正しいフィールド長を入力するか、または LA/LB フォーマットオプションを設定してください。

NAT4216: 数値フィールドの長さは **1**〜**29** です。

テキスト	数値フィールドの長さは 1～29 です。
説明	数値フィールドの最大長は 29 桁です。 数値フィールドの長さは常に桁数で指定します。
対処	正しい数値の長さを入力してください。

NAT4217: VSAM ディスクリプタに指定できるのは、'**P**'、'**S**'、'**A**'、'**X**'、または空白のみです。

テキスト	VSAM ディスクリプタに指定できるのは、'P'、'S'、'A'、'X'、または空白のみです。
説明	フィールドをディスクリプタフィールドとしてマークするために、 'P'、'S'、'A'、'X'、または空白以外の文字が指定されました。
対処	正しい文字 (P、S、A、X、または空白) を入力してください。

NAT4218: フィールド長の指定が数値ではありません。

テキスト	フィールド長の指定が数値ではありません。

説明	フィールド長には 'nn.m' の形式で数値を指定しなければなりません。 'nn' は整数の桁数、'm' は小数点以下の桁数を示します。
対処	正しい長さを入力してください。

NAT4219: フィールドのロングネームには最低 **3** 文字必要です。

テキスト	フィールドのロングネームには最低 3 文字必要です。
説明	フィールドのロングネームは 3 文字以上でなければなりません。
対処	正しいフィールドロングネームを入力します。

NAT4220: ロングネームに正しくない文字があります。

テキスト	ロングネームに正しくない文字があります。
説明	ロングネームは、変数名の命名規則に従っていなければいけません。 さらに英字で始まっていなければなりません。 Natural ドキュメントのユーザー定義変数に 関するセクションを参照してください。
対処	正しいフィールドロングネームを入力します。

NAT4221: ショートネームが正しくありません。

テキスト	ショートネームが正しくありません。
説明	フィールドのショートネームは、英字で始まる 2 文字でなければなりません。 フィールドのショートネームには 'E0'から'E9' までは指定できません。
対処	データベースの正しいショートネームを入力してください。

NAT4222: バイナリフィールドの長さは **1**～**126** でなければなりません。

テキスト	NAT4222 ：バイナリフィールドの長さは 1～126 でなければなりません。

説明	バイナリフィールドの長さは 1～126 でなければなりません。
対処	フィールド長の値を修正してください。

NAT4223: フィールドタイプ（**T** 列）は '*****'、'**P**'、'**G**'、'**M**'、空白でなければなりません。

テキスト	フィールドタイプ (T 列) は '*'、'P'、'G'、'M'、空白でなければなりません。
説明	T 列に指定できる正しいフィールドタイプは次のとおりです。 * - コメント行 P - ピリオディックグループ G - フィールドグループ M - マルチプルバリューフィールド 空白 - エレメンタリフィールド
対処	正しいフィールドタイプを入力してください。

NAT4224: 特殊オプションやディスクリプタをグループに対して入力しました。

テキスト	特殊オプションやディスクリプタをグループに対して入力しました。
説明	特殊オプション、または 'D' (ディスクリプタ) はグループフィールドに対して指定できません。 特殊オプションは、個々のフィールドに指定しなければなりません。
対処	フィールドグループに特殊オプションを入力しないでください。

NAT4225: レベルが正しくありません。 レベルは **1**〜**7** である必要があります。

テキスト	レベルが正しくありません。 レベルは 1～7 である必要があります。
説明	フィールドのレベルは 1 から 7 までの範囲で指定します。
対処	正しいレベル番号を入力してください。

NAT4226: ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。

説明	ピリオディックグループはネストできません。つまり、ピリオディックグループに、別のピリオディックグループが含まれていてはいけません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4227: グループに対して、編集マスクを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、編集マスクを指定してはいけません。
説明	フィールド (ピリオディック) グループに対して、編集マスクは指定できません。編集マスクは個々のフィールドに対してのみ指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4228: グループに対して、フォーマットを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、フォーマットを指定してはいけません。
説明	グループにはフォーマットを指定できません。 フォーマットは個々のフィールドに対してのみ指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4229: グループに対して、長さを指定してはいけません。

テキスト	グループに対して、長さを指定してはいけません。
説明	グループには長さを指定できません。 フィールド長は、個々のフィールドに対してのみ指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4230: 特殊オプション（**S** 列）は、'**N**'、'**F**'、または空白である必要があります。

テキスト	特殊オプション (S 列) は、'N'、'F'、または空白である必要があります。
説明	特殊オプションに指定できるのは次のいずれかです。 N - 空値省略 F - 固定フィールド長 空白 - 通常

対処	正しい特殊オプションを入力してください。

NAT4231: カップリングファイルのエントリは **DDM** の先頭に指定しなければなりません。

テキスト	カップリングファイルのエントリは DDM の先頭に指定しなければなりません。
説明	カップリングされたファイルのエントリは、 DDM の先頭に指定しなければなりません。
対処	カップリングされたファイルのエントリを DDM の先頭に入力してください。

NAT4232: VSAM、**ISAM**、**LEASY** に代替インデックスがありません。

テキスト	VSAM、ISAM、LEASY に代替インデックスがありません。
説明	ディスクリプタが 'A' のとき、 代替インデックスを指定しなければなりません。
対処	代替インデックスを入力してください。

NAT4233: オカレンスは '**1**' より大きくしなければなりません。

テキスト	オカレンスは '1' より大きくしなければなりません。
説明	ピリオディックグループやマルチプルバリューフィールドの場合、 '1' より大きなオカレンスのみが許可されます。
対処	正しいオカレンスの値を入力してください。

NAT4234: ピリオディックグループ内のマルチプルバリューフィールドは許されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のマルチプルバリューフィールドは許されません。
説明	VSAM 処理では、ピリオディックグループにマルチプルバリューフィールドが含まれていてはいけません。
対処	DDM のフィールドを変更してください。

NAT4235: マルチプルバリューフィールドをディスクリプタにはできません。

テキスト	マルチプルバリューフィールドをディスクリプタにはできません。
説明	VSAM 処理では、マルチプルバリューフィールドをディスクリプタにはできません。
対処	フィールドタイプを変更するか、またはディスクリプタの指定を削除してください。

NAT4236: ピリオディックグループのオカレンスがありません。

テキスト	ピリオディックグループのオカレンスがありません。
説明	VSAM 処理では、ピリオディックグループのオカレンスに '1' より大きな値を指定しなければなりません。
対処	正しいオカレンスを入力してください。

NAT4237: グループ／ピリオディックグループに代替インデックスを指定できません。

テキスト	グループ / ピリオディックグループに代替インデックスを指定できません。
説明	VSAM 処理では、グループやピリオディックグループに 代替インデックスは指定できません。
対処	フィールドタイプを変更してください。 または、代替インデックスを指定しないでください。

NAT4238: カップリングファイルエントリが許されていません。

テキスト	カップリングファイルエントリが許されていません。
説明	VSAM 処理では、DDM にカップリングファイルエントリは指定できません。
対処	カップリングファイルエントリを削除してください。

NAT4239代替インデックスファイル名に正しくない文字があります。**:**

テキスト	代替インデックスファイル名に正しくない文字があります。
説明	代替インデックスファイル名は 先頭は英文字、その他は英数字でなければなりません。
対処	正しいファイル名を入力します。

NAT4240: DBID は互いに異なる必要があります。

テキスト	DBID は互いに異なる必要があります。
説明	ファイルのコピーでは、ファイルのデータベース ID (DBID) は 互いに異なるものでなければなりません。
対処	正しい DBID を入力してください。

NAT4241: プライマリキーが二度定義されました。

テキスト	プライマリキーが二度定義されました。
説明	VSAM 処理では、1 つのフィールドのみをプライマリキーに指定できます。
対処	プライマリキーを 1 つのみ定義してください。

NAT4242: タイプが空白ではありません。

テキスト	タイプが空白ではありません。
説明	VSAM では、プライマリキーに指定されたフィールドのタイプは 空白でなければなりません。
対処	タイプを空白に変更してください。

NAT4243: プライマリキーが指定されていません。

テキスト	プライマリキーが指定されていません。
説明	VSAM 処理では、DDM に 1 つのプライマリキーが指定されなければなりません。
対処	プライマリキーを 1 つのみ入力してください。

NAT4244: DDM の名前は重複してはいけません。

テキスト	DDM の名前は重複してはいけません。
説明	重複している DDM 名があります。
対処	重複した名前を変更してください。

NAT4245: CICS ファイル名がありません。

テキスト	CICS ファイル名がありません。
説明	ファイルエントリの定義に CICS ファイル名がありません。
対処	CICS ファイル名を入力してください。

NAT4246: このフィールドには「**Y**」または「**N**」のみを入力できます。

テキスト	このフィールドには「Y」または「N」のみを入力できます。
説明	このフィールドには、YES なら「Y」、NO なら「N」のどちらかのみを入力できます。
対処	「Y」または「N」と入力します。

NAT4247: ピリオディックグループが **FDT** にはありません。

テキスト	ピリオディックグループが FDT にはありません。

説明	DDM に指定されたピリオディックグループが、 対応するフィールド記述テーブル (FDT) にはありません。
対処	指定されたピリオディックグループを DDM でチェックしてください。

NAT4248: ユニークキーフラグ／空値フラグは **VSAM** アップグレードのときのみ使用できます。

テキスト	ユニークキーフラグ / 空値フラグは VSAM アップグレードのときのみ使用できます。
説明	ユニークキーフラグおよび空値フラグは、アップグレードフラグがある場合にのみ 指定できます。 また、これはフィールドに代替インデックスがある場合にのみ有効です。
対処	正しいフラグの組合せを指定してください。

NAT4249: フォーマットまたは長さが正しくありません。

テキスト	フォーマットまたは長さが正しくありません。
説明	フォーマット / 長さの正しい組み合せは次のとおりです。 - 整数 (I4) - 浮動小数点 (F4/F8) - 日付 - 時刻 - 論理 (L1)
対処	DDM をチェックして、エラーを修正します。

NAT4250: ディスクリプタオプションの文字が正しくありません。

テキスト	ディスクリプタオプションの文字が正しくありません。
説明	D 列には次の値のみが有効です。 D - ディスクリプタ S - サブディスクリプタまたはスーパーディスクリプタ P - フォネティックディスクリプタ 空白 - ディスクリプタではありません VSAM ファイルの場合 : P - プライマリインデックス A - 代替インデックス

対処	正しいディスクリプタオプションを入力してください。

80 Natural システムエラーメッセージ 4251〜4300

NAT4251: 不正なアクションコードが指定されました。

テキスト	不正なアクションコードが指定されました。
説明	選択メニューに表示されたアクションコードのみが指定できます。
対処	正しいアクションコードを入力してください。

NAT4252: LIST 機能が実行されました。

テキスト	LIST 機能が実行されました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4253: 不正なファイル番号が指定されました。

テキスト	不正なファイル番号が指定されました。
説明	データベースファイル番号は 1 から 5000 までの数字で指定しなければなりません。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT4254: DBID は互いに異なる番号でなければならず、また **'0'** であってはなりません。

テキスト	DBID は互いに異なる番号でなければならず、また '0' であってはなりません。
説明	データベース番号は 1 から 65535 までの数字で指定しなければなりません (DBID=254 は VSAM ファイルを、DBID=255 は論理ファイルを示します)。
対処	正しいデータベース番号を入力します。

NAT4255: ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。

テキスト	ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
説明	参照されたファイル定義がデータディクショナリに見つかりません。 名前の指定が正しくないか、 またはデータディクショナリエントリがまだ定義されていません。
対処	データディクショナリから正しいファイル名を入力してください。

NAT4256: システムファイルのタイプが正しくありません。

テキスト	システムファイルのタイプが正しくありません。
説明	システムファイルを指定するときに有効な値は次のとおりです。 A - Adabas システムファイル V - VSAM システムファイル
対処	システムファイルのタイプに正しい値を指定してください。

NAT4257: VSAM システムファイルの名前が正しくありません。

テキスト	VSAM システムファイルの名前が正しくありません。
説明	VSAM システムファイルに正しい名前が必要です。 この名前は Natural パラメータモジュールに指定された、 VSAM パラメータ (VSAM=<VSAM システムファイル名>) と同じです。
対処	VSAM システムファイルの正しい名前を指定してください。

NAT4258: ソースとターゲットは違っていなければいけません。

テキスト	ソースとターゲットは違っていなければいけません。
説明	Natural ユーティリティの SYSMAIN や SYSDDM で、プログラム、モジュール、または DDM をコピーする場合、正しいソースとターゲットを指定しなければなりません。 ターゲットには、DBID、FNR、システムファイルタイプまたはシステムファイル名 (VSAM システムファイルの場合) を指定してください。 ソースとターゲットは同じではいけません。
対処	正しいソースおよびターゲットを指定してください。

NAT4261: FSIZE が小さすぎて、ビューの読み込み／リストができません。

テキスト	FSIZE が小さすぎて、ビューの読み込み / リストができません。
説明	ビューを読み込み / リストしようとしましたが、 ビューが大きすぎて現在のファイルバッファに入りません。 このエラーは、オンラインユーティリティでのビューの読み込み、 コマンドによるビューのリスト、または エディタを使用してビューを Natural オブジェクトに組み込むときに発生します。
対処	ファイル定義の指定を減らすか、 または FSIZE パラメータの値を大きくしてください。

NAT4262: ファイル定義がすでにデータディクショナリに存在します。

テキスト	ファイル定義がすでにデータディクショナリに存在します。
説明	指定されたファイル定義は、データディクショナリにすでに存在します。
対処	違うファイル名を指定するか、またはすでに存在するエントリを削除してください。 必要に応じて、REPLACE オプションを使用して既存のファイル定義を上書きしてください。

NAT4271: エラーを直接修正することはできないので **Enter** キーを押して **DDM** を編集してください。

テキスト	エラーを直接修正することはできないので Enter キーを押して DDM を編集してください。

説明	ファイル定義の処理中に、エラーを 対話形式で修正することはできません。
対処	エディタを使用してエラーを修正してから、 目的のアクションを繰り返してください。

NAT4272: PE にディスクリプタ／特殊オプションを指定できません。

テキスト	PE にディスクリプタ / 特殊オプションを指定できません。
説明	ピリオディックグループに、ディスクリプタや 特殊オプションを指定することはできません。
対処	フィールドがグループかどうかをチェックしてください。グループの場合、 またはグループであるべき場合は、ディスクリプタや特殊オプションの値を指定しないでください。

NAT4274: フィールドはこの **PE** グループのメンバではありません。

テキスト	フィールドはこの PE グループのメンバではありません。
説明	
対処	フィールド (レベル) を修正してください。

NAT4275: フィールドは **PE** グループのメンバです。

テキスト	フィールドは PE グループのメンバです。
説明	
対処	フィールドを修正してください。

NAT4277: フィールドは **MU** フィールドではありません。

テキスト	フィールドは MU フィールドではありません。
説明	FDT (フィールド記述テーブル) では、そのフィールドは マルチプルバリューフィールドになっていません。

対処	フィールドの正しいタイプを指定してください。

NAT4278: レベル番号は連続して増加しなければなりません。

テキスト	レベル番号は連続して増加しなければなりません。
説明	2 つのレベル番号の差は '1' でなければなりません。
対処	レベル番号を修正してください。

NAT4279: DDM に指定されたフィールドが **FDT** にありません。

テキスト	DDM に指定されたフィールドが FDT にありません。
説明	DDM に指定されたフィールドが、対応する フィールド記述テーブル (FDT) に存在しません。
対処	フィールドの指定が正しいかチェックしてください。

NAT4280: フォーマットは英数字（**A**）でなければなりません。

テキスト	フォーマットは英数字 (A) でなければなりません。
説明	FDT では、フォーマットは英数字で指定されています。 DDM のフォーマットは FDT と同じフォーマットにしなければなりません。
対処	フォーマットを英数字 (A) に変更してください。

NAT4285: ピリオディックグループのタイプには **'P'** を指定しなければなりません。

テキスト	ピリオディックグループのタイプには 'P' を指定しなければなりません。
説明	ピリオディックグループを示すタイプは 'P' です。
対処	正しいタイプ 'P' を指定してください。

NAT4287: フィールドはディスクリプタではありません。

テキスト	フィールドはディスクリプタではありません。
説明	ディスクリプタフィールドに正しくない文字が指定されました。
対処	ディスクリプタフィールドに正しい文字 (空白か 'D') を指定してください。

NAT4288: グループには少なくとも **1** つのフィールドが含まれなければなりません。

テキスト	グループには 1 つ以上のフィールドが含まれている必要があります。
説明	グループは少なくとも 1 つのフィールド、または別のグループを含んでいなければなりません。
対処	レベルをチェックするか、またはグループにフィールドを追加してください。

NAT4289: この **DDM** を **LIST**、または **CATALOG** することは許されていません。

テキスト	この DDM を LIST、または CATALOG することは許されていません。
説明	Natural Security システムのファイルにリンクされていないため、その DDM を LIST したり、CATALOG したりすることはできません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4290: この **DDM** をカタログする権限がありません。

テキスト	この DDM をカタログする権限がありません。
説明	Natural Security では、この DDM をカタログできません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4291: 編集コマンドと行コマンドの両方を指定することはできません。

テキスト	編集コマンドと行コマンドの両方を指定することはできません。

説明	編集中は、ソース行またはコマンド行のどちらか一方のコマンドのみ指定できます。
対処	Enter キーを押して、行コマンドを削除してください。

NAT4292: 行サブコマンドがソース行の外にあります。

テキスト	行サブコマンドがソース行の外にあります。
説明	行サブコマンドは、編集のために表示されたソース行内でのみ指定できます。
対処	ソース行に行コマンドを入力してください。

NAT4293: 位置を指定する番号が正しくありません。

テキスト	位置を指定する番号が正しくありません。
説明	位置決めのアクションが要求されましたが、指定された位置番号が正しくありません。
対処	正しい位置番号を入力してください。

NAT4294: X でマークされている行がありません。

テキスト	X でマークされている行がありません。
説明	MOVE、COPY、SHIFT、または X サブコマンドが使用されましたが、'X' でマークされた行がありませんでした。
対処	参照する前に 'X' で行をマークしてください。

NAT4295: Y でマークされている行がありません。

テキスト	Y でマークされている行がありません。
説明	MOVE、COPY、または SHIFT コマンドが指定されましたが、'Y' でマークされた行がありませんでした。

対処	参照する前に 'Y' で行をマークしてください。

NAT4296: Y の位置は '**X**' の位置より後ろである必要があります。

テキスト	'Y' の位置は 'X' の位置より後ろである必要があります。
説明	プログラム内で 'Y' の位置は常に 'X' の位置より後ろになければなりません。
対処	X と 'Y' を正しく位置づけしてください。

NAT4297: コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。

テキスト	コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。
説明	移動 / コピー先の行が、'X' および 'Y' の ラベルでマークされた範囲外にある場合のみ、 MOVE/COPY 行コマンドを実行できます。
対処	X または 'Y' の位置を変更するか、 あるいは違う位置へ移動 / コピーしてください。

NAT4298: MOVE コマンドのラベルが正しくありません。

テキスト	MOVE コマンドのラベルが正しくありません。
説明	MOVE コマンドのラベルに使用できるのは 'X' または 'Y' のみです。
対処	MOVE コマンドに正しいラベルを入力してください。

NAT4299: 編集コマンドが正しくありません。 詳細を確認するには「**?**」と入力してください。

テキスト	編集コマンドが正しくありません。 詳細を確認するには「?」と入力してください。
説明	編集コマンド行に不正なコマンドが指定されました。
対処	正しい編集コマンドを入力してください。 正しい編集コマンドの詳細については、 「?」と入力してヘルプを参照してください。

81 Natural システムエラーメッセージ 4301～4350

NAT4301: 行番号にスペースがないので行を挿入できません。

テキスト	行番号にスペースがないので行を挿入できません。
説明	選択された複数の行の間には、行を 挿入するための行番号がありません。
対処	行を挿入する前に、Enter キーを押すか、または RENUMBER コマンドを使用して、 行番号を再設定してください。

NAT4303: フィールド定義を編集してください。

テキスト	フィールド定義を編集してください。
説明	フィールド定義の詳細設定を編集できます。
対処	必要な編集を実行してください。

NAT4312: 要求されたファイル記述が正しくありません。

テキスト	要求されたファイル記述が正しくありません。
説明	読み込もうとしたファイル定義は データディクショナリに存在しません。

対処	正しい内容を入力してください。

NAT4322: 定義されていないコマンドです。

テキスト	定義されていないコマンドです。
説明	
対処	正しいコマンドを入力するか、または「?」を入力して、 正しいコマンドに関するヘルプ情報を呼び出してください。

NAT4323: 指定されたファイル番号を持つ **DDM** が見つかりません。

テキスト	指定されたファイル番号を持つ DDM が見つかりません。
説明	指定されたファイル番号の DDM はシステムファイルにありません。
対処	正しいファイル番号を入力してください。

NAT4324: リストの最後に達しました。

テキスト	リストの最後に達しました。
説明	ファイル定義リストの最後に達しました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4331:「**DELETE**」と入力するか、または空白のままにしてください。

テキスト	「DELETE」と入力するか、または空白のままにしてください。
説明	DELETE 機能が要求された場合は、削除の確認をするために「DELETE」と入力しなければなりません。 削除しない場合は、フィールドを空白のままにしてください。
対処	正しい内容を入力してください。

NAT4332: ファイル定義の **UNCATALOG** 処理は確認されませんでした。

テキスト	ファイル定義の UNCATALOG 処理は確認されませんでした。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4333: ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。

テキスト	ファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
説明	指定されたファイル定義がデータディクショナリに存在しません。
対処	ファイル定義に対する正しい名前を入力してください。

NAT4341: DDM はリンクされており、システムファイルから読み込まれます。

テキスト	DDM はリンクされており、システムファイルから読み込まれます。
説明	読み込もうとした DDM がリンクされています。 Enter キーを押すと、DDM がシステムファイルからソース工リアに読み込まれます。
対処	Enter キーを押して DDM を読み込んでください。 DDM を変更するなら、Natural 二ュークリアスにもう一度リンクしてください。

NAT4342: ヘルプ情報が表示されています。

テキスト	ヘルプ情報が表示されています。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4343: DDM がリンクされたが、**SYSDDM** でアクセスできません。

テキスト	DDM がリンクされたが、SYSDDM でアクセスできません。
説明	読み込もうとした DDM が Natural ニュークリアスにリンクされていますが、 読み込み元のシステムファイル (FDIC) 上に存在しません。 誤ったシステムファイルにアクセスしているか、 またはシステムファイルから DDM が削除されています。
対処	正しいシステムファイルを使用しているか確認してください。

82 Natural システムエラーメッセージ 4351～4400

NAT4371: データベースのレスポンスコードを受け取りました。

テキスト	データベースのレスポンスコードを受け取りました。
説明	
対処	レスポンスコードを記録して、データベース管理者に連絡してください。

NAT4373: ゼロ以外の内部レスポンスコードを受け取りました。

テキスト	ゼロ以外の内部レスポンスコードを受け取りました。
説明	内部サブルーチンから、ゼロ以外のレスポンスコードを受け取りました。
対処	エラーを記録して、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT4380: フィールドエントリ行を直接修正するか **ENTER** キーを押して編集してください。

テキスト	フィールドエントリ行を直接修正するか Enter キーを押して編集してください。
説明	ファイル定義の処理中、直接エラーを修正できます。
対処	フィールドエントリのエラーを修正してください。

NAT4390: ファイル定義がカタログされました。

テキスト	ファイル定義がカタログされました。
説明	ファイル定義がカタログされ、データディクショナリに格納されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4391: データベースに対しファイル定義が正しくチェックされました。

テキスト	データベースに対しファイル定義が正しくチェックされました。
説明	物理データベースの定義と比較した結果、 ファイル定義に矛盾はありませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT4392: ファイル定義が正しく生成されました。

テキスト	ファイル定義が正しく生成されました。
説明	データベースの物理ファイルからデータディクショナリ用のファイル定義が 正常に生成されました。そのファイル定義は現在ワークエリアで利用可能です。
対処	対処は必要ありません。

NAT4393: ファイル定義がワークエリアに読み込まれました。

テキスト	ファイル定義がワークエリアに読み込まれました。
説明	データディクショナリからワークエリアに ファイル定義が正常に読み込まれました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4394: ファイルリスト選択メニューが表示されました。

テキスト	ファイルリスト選択メニューが表示されました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4395: ファイル定義が **UNCATALOG** されました。

テキスト	ファイル定義が UNCATALOG されました。
説明	ファイル定義がデータディクショナリからアンカタログされました。
対処	対処は必要ありません。

83 Natural システムエラーメッセージ 4401～4450

NAT4404: 内部サブルーチンのエラーが発生しました。

テキスト	内部サブルーチンのエラーが発生しました。
説明	
対処	エラーの内容を書き留めてから、Software AG に連絡してください。

NAT4405: 選択した番号は範囲外です。

テキスト	選択した番号は範囲外です。
説明	画面上に表示されているグローバル変数の番号のみを、選択することができます。
対処	正しい選択番号を入力してください。

NAT4406: グローバル変数の選択番号がありません。

テキスト	グローバル変数の選択番号がありません。
説明	処理するグローバル変数を選択するために、表示画面から番号を入力しなければなりません。

対処	正しい選択番号を入力します。

NAT4407: グローバル変数のリスト表示が終了しました。

テキスト	グローバル変数のリスト表示が終了しました。
説明	すべてのグローバル変数が正しく表示されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4408: 指定された機能が正しくありません。詳細を確認するには「**?**」と入力してください。

テキスト	指定された機能が正しくありません。詳細を確認するには「?」と入力してください。
説明	
対処	正しい機能を入力するか、または「?」を入力して、グローバル変数に 対する正しい機能に関するヘルプ情報を参照してください。

NAT4409: ワークエリアの内容が削除されます。

テキスト	ワークエリアの内容が削除されます。
説明	要求した機能により、現在ソースワークエリアにある ソースオブジェクトが削除されます。
対処	- ソースを削除しない場合は、機能はそのままにして、 PF12 キーでソースを保存してから機能を実行してください。 - ソースを削除する場合は、Enter キーを押して処理を続けてください。

NAT4410: このファイル番号はすでに存在します。

テキスト	このファイル番号はすでに存在します。
説明	DDM のファイル番号はユニークでなければなりません。
対処	ファイル番号を修正してください。

NAT4411: REPLACE オプションでファイル番号とファイル名が対応しません。

テキスト	REPLACE オプションでファイル番号とファイル名が対応しません。
説明	REPLACE オプションを使用して VSAM DDM を VSAM システムファイルにカタログする場合は、レコードの重複を避けるためにファイル名 (番号) は、VSAM システムファイルに存在している必要があります。 新しい DDM を以前のレイアウトでカタログする場合は、未使用のファイル名とファイル番号を使用し、REPLACE オプションを使用しないでカタログします。
対処	VSAM システムファイルに存在しないファイル名 (番号) で DDM をカタログしてください。 この場合 REPLACE オプションを使用しないでください。

NAT4412: フォーマットは '**A**'、'**P**'、'**N**'、または '**B**' です。

テキスト	フォーマットは 'A'、'P'、'N'、または 'B' です。
説明	可能なフォーマットは次のとおりです。 A - 英数字 N - 数値アンパック P - 数値パック B - バイナリ
対処	正しいフィールドフォーマットを入力してください。

NAT4413: 英数字タイプ変数の長さは **253** を超えてはいけません。

テキスト	英数字タイプ変数の長さは 253 を超えてはいけません。
説明	
対処	変数の正しい長さを入力してください。

NAT4414: バイナリ変数の長さは **126** を超えてはいけません。

テキスト	バイナリ変数の長さは 126 を超えてはいけません。
説明	

対処	バイナリ変数の正しい長さを入力してください。

NAT4415: 数値フィールドの総桁数（**nn.m**）は **29** を超えてはいけません。

テキスト	数値フィールドの総桁数 (nn.m) は 29 を超えてはいけません。
説明	数値フィールドの総桁数 (整数部と小数部の合計) は 29 を超えてはいけません。
対処	数値フィールドの正しい長さを入力してください。

NAT4416: 小数部桁数は **7** を超えてはいけません。

テキスト	小数部桁数は 7 を超えてはいけません。
説明	数値変数の小数部桁数は 7 を超えてはいけません。
対処	小数部の正しい桁数を入力してください。

NAT4417: VSAM システムファイルに存在している **DDM** でなければ **REPLACE** を使用できません。

テキスト	VSAM システムファイルに存在している DDM でなければ REPLACE を使用できません。
説明	すでに VSAM システムファイルに存在している DDM でなければ、 REPLACE オプションでその DDM をカタログすることはできません。
対処	システムファイルに存在しない DDM には、REPLACE オプションを使用しないでください。

NAT4418: グローバル変数名は **'+'** で始めなければなりません。

テキスト	グローバル変数名は '+' で始めなければなりません。
説明	グローバル変数名は '+' で始めなければなりません。
対処	グローバル変数名の先頭文字として「+」を入力してください。

NAT4419: 変数名が正しくありません。

テキスト	変数名が正しくありません。
説明	グローバル変数の名前は '+' で始まり、変数名の規則に従っていなければなりません。 名前に空白を含んではいけません。
対処	正しい変数名を入力してください。

NAT4420: グローバル変数はすでに存在しています。

テキスト	グローバル変数はすでに存在しています。
説明	新しいグローバル変数の作成時、または グローバル変数名の変更時に、同じ名前の 別のグローバル変数が見つかりました。
対処	グローバル変数に別の名前を入力してください。

NAT4421: 現在、ソースエリアに **DDM** がありません。

テキスト	現在、ソースエリアに DDM がありません。
説明	カタログ (C) またはテスト (T) 機能が指定されましたが、 Natural ソースエリアに DDM が見つかりませんでした。
対処	DDM をソースエリアに読み込んでください。 あるいは DDM を編集するか、または生成してください。

NAT4422: REDEFINE はこのフィールドには許されません。

テキスト	REDEFINE はこのフィールドには許されません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4423: 添字は **PE/MU** フィールドのみに許されます。

テキスト	添字は PE/MU フィールドのみに許されます。
説明	添字は、ピリオディックグループまたは マルチプルバリューフィールドにのみ指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4424: 1 構造体内の最大次元数は **3** です。

テキスト	1 構造体内の最大次元数は 3 です。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4425: ビューフィールドに対し初期値は指定できません。

テキスト	ビューフィールドに対し初期値は指定できません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4426: グループ／ピリオディックグループフィールドに対し編集マスクは指定できません。

テキスト	グループ / ピリオディックグループフィールドに対し編集マスクは指定できません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4427: 構造体に対して編集マスクは指定できません。

テキスト	構造体に対して編集マスクは指定できません。

説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4428: 構造体／ビューのレベル番号は **1**〜**99** です。データエリアに変数がありません。

テキスト	構造体 / ビューのレベル番号は 1~99 です。データエリアに変数がありません。
説明	構造体 / ビューのレベル番号は 1~99 です。 または、データエリアに変数が定義されていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4429: レベル番号は **1** ずつ増加しなければなりません。

テキスト	レベル番号は 1 ずつ増加しなければなりません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4430: レベル指定が正しくありません。

テキスト	レベル指定が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4431: 名前フィールドの文字に誤りがあります。

テキスト	名前フィールドの文字に誤りがあります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4432: 名前の中に空白を含んではいけません。

テキスト	名前の中に空白を含んではいけません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4433: フォーマット／長さはこのフィールドタイプに対し指定できません。

テキスト	フォーマット / 長さはこのフィールドタイプに対し指定できません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4434: フォーマットが正しくありません。

テキスト	フォーマットが正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4435: フォーマット、または長さの指定が不正です。

テキスト	フォーマット、または長さの指定が不正です。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4436: フォーマットが **'C'**、**'D'**、**'L'**、**'T'** のときは長さを指定しないでください。

テキスト	フォーマットが 'C'、'D'、'L'、'T' のときは長さを指定しないでください。

説明	次のフォーマットのフィールドには長さを指定できません。 D - 日付 T - 時刻 L - 論理 C - 属性制御
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4437: フォーマットが **'F'** の長さには **4** または **8** を指定する必要があります。

テキスト	フォーマットが 'F' の長さには 4 または 8 を指定する必要があります。
説明	浮動小数点フィールドのフォーマット / 長さには、F4 または F8 のみを指定できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4438: フォーマット **'A'**、**'B'**、または **'I'** の長さが正しくありません。

テキスト	フォーマット 'A'、'B'、または 'I' の長さが正しくありません。
説明	フォーマット A の正しい長さは 1～253 です。 フォーマット B の正しい長さは 1～126 です。 フォーマット I の正しい長さは 1、2、4 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4439: コマンド内に不正なオブジェクトタイプが指定されました。

テキスト	コマンド内に不正なオブジェクトタイプが指定されました。
説明	LIST や EDIT などのコマンド内で指定されたオブジェクトタイプが正しくありません。 正しいオブジェクトタイプは次のとおりです。 P - プログラム T - テキスト S - サブルーチン Z - レコーディング N - サブプログラム K - サーバー 7 - ファンクション R - ルーチン (LIST) H - ヘルプルーチン D - データエリア (LIST) C - コピーコード D - Predict 記述 (EDIT) G - グローバルデータエリア CL - クラス L - ローカルデータエリア DI - ダイアログ A - パラメータデータエリア CP - コマンドプロセッサ M - マップ

対処	正しいコマンドを入力します。

NAT4440: 長さは '**nn**' または '**nn.n**' の形式で指定しなければなりません。

テキスト	長さは 'nn' または 'nn.n' の形式で指定しなければなりません。
説明	長さは 'nn'（整数のみ）、または 'nn.n'（nn は整数桁、n は小数桁）の形式で指定します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4441: 小数の最大桁数は **7** です。

テキスト	小数の最大桁数は 7 です。
説明	小数の最大桁数は 7 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4442: 数値の最大長は **29** 桁です。

テキスト	数値の最大長は 29 桁です。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4443: データエリアは正しくテストされました。

テキスト	データエリアは正しくテストされました。
説明	CHECK コマンドにより、データエリアが正しくテストされました。 生成された DEFINE DATA ステートメントの最終的な構文チェックは、 CHECK 機能ではなく、CATALOG/STOW コマンドによって行われることに注意してください。
対処	対処は必要ありません。

NAT4444: Miscellaneous フィールドのエラー。

テキスト	Miscellaneous フィールドのエラー。
説明	Miscellaneous フィールドの指定が不正です。 有効な指定については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	Miscellaneous フィールドに正しい内容を指定してください。

NAT4445: タイプには **'B'**、**'V'**、**'R'**、または空白のみが指定できます。

テキスト	タイプには 'B'、'V'、'R'、または空白のみが指定できます。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4446: 下位構造のレベルは前のレベル以上でなければなりません。

テキスト	下位構造のレベルは前のレベル以上でなければなりません。
説明	下位構造のレベルは前のレベル 以上でなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4447: 構造体定義に続いて変数定義が必要です。

テキスト	構造体定義に続いて変数定義が必要です。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4448:範囲／フォーマットを変更すると初期値／編集マスクが失われる可能性があります。

テキスト	範囲 / フォーマットを変更すると初期値 / 編集マスクが失われる可能性があります。
説明	フィールドは初期値または編集マスク付きで定義されています。 このフィールドの範囲 / フォーマットを変更すると、 初期値は、変更後の添字範囲定義に適合する場合は残され、 適合しない場合は削除されます。
対処	初期値や編集マスクが失われないか確認してください。

NAT4449: 初期値は指定できません。フィールドにフォーマット／長さ指定がありません。

テキスト	初期値は指定できません。フィールドにフォーマット / 長さ指定がありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4450: ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。

テキスト	ピリオディックグループ内のピリオディックグループは許可されません。
説明	ピリオディックグループの中に別のピリオディックグループを定義することはできません。
対処	ビューの定義を修正してください。

84 Natural システムエラーメッセージ 4451～4500

NAT4451: 配列の添字指定に構文エラーがあります。

テキスト	配列の添字指定に構文エラーがあります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4452: 上限／下限が **0** より小さい、または配列定義の添字が **0** です。

テキスト	上限 / 下限が 0 より小さい、または配列定義の添字が 0 です。
説明	配列の上限 / 下限が 0 より小さいか、または配列定義の添字が 0 です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4453: INDEX 節のデリミタが正しくありません。

テキスト	INDEX 節のデリミタが正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4454: データエリアが正常に **CATALOG/STOW** されました。

テキスト	データエリアが正常に CATALOG/STOW されました。
説明	データ定義にエラーが検出されずに、CATALOG/STOW の処理が終了しました。 データ定義は DEFINE DATA ステートメントのある Natural プログラムで使用できます。
対処	対処は必要ありません。

NAT4455: ビューフィールドでは添字、編集マスクだけを修正できます。

テキスト	ビューフィールドでは添字、編集マスクだけを修正できます。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4456: データ構造の最高ランクは **3** です。

テキスト	データ構造の最高ランクは 3 です。
説明	データエリアエディタで、'.E'(拡張フィールド定義)コマンドが データ構造内のフィールドに対して指定されましたが、 ランク(フィールドの最大次元数)が 3 を超えています。 レベル 1 までの前の下位構造の合計次元数と現在のフィールドの次元数が、 現在のフィールドの次元数に加えられます。
対処	データ構造または編集中のフィールドをチェックして、 次元が正しいかどうかを確認してください。

NAT4458: REDEFINE に指定された変数が利用できません。

テキスト	REDEFINE に指定された変数が利用できません。
説明	REDEFINE 定義に使用された変数が、現在のブロック(またはデータエリア)に定義されていないか、または異なるレベルで定義されています。

対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4459: データブロックが見つかりません。

テキスト	データブロックが見つかりません。
説明	子ブロック定義で親ブロックと示されている データブロックが見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4460: Predict ファイルのタイプが '**CONCEPTUAL**' ではありません。

テキスト	Predict ファイルのタイプが 'CONCEPTUAL' ではありません。
説明	Predict ファイルからデータエリアにデータ定義として組み込む Predict ファイルが 'CONCEPTUAL' として Predict に定義されていません。 データ構造として組み込めるのは 'CONCEPTUAL' ファイルのみです。
対処	Predict のファイル定義を変更するか、または正しいファイルを選択してください。

NAT4461: グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。

テキスト	グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。
説明	
対処	グローバルデータエリアに組み込むフィールドをマークしてください。

NAT4462: グローバルデータエリアに '**n**' 個のフィールドが組み込まれました。

テキスト	グローバルデータエリアに 'n' 個のフィールドが組み込まれました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4463: グローバルデータエリアに **1** つもフィールドが組み込まれていません。

テキスト	グローバルデータエリアに 1 つもフィールドが組み込まれていません。
説明	
対処	

NAT4464: 再定義中に、またはビューに **'.V'** は使用できません。

テキスト	再定義中に、またはビューに '.V' は使用できません。
説明	
対処	再定義中に、またはビューに '.V' を使用しないでください。

NAT4465: ビュー定義にはレベル **1** を指定しなければなりません。

テキスト	ビュー定義にはレベル 1 を指定しなければなりません。
説明	
対処	正しいレベルを割り当てます。

NAT4466: 構造体の定義は前レベル **+1** でなければなりません。

テキスト	構造体の定義は前レベル +1 でなければなりません。
説明	
対処	正しいレベルを割り当てます。

NAT4467: グループ定義には少なくとも **1** つフィールドが入っていなければなりません。

テキスト	グループ定義には少なくとも 1 つフィールドが入っていなければなりません。

説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4468: データ定義をフラグ付きの定義で終了してはなりません。

テキスト	データ定義をフラグ付きの定義で終了してはなりません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4469: 定数が初期値なしで定義されました。

テキスト	定数が初期値なしで定義されました。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4470: 再定義内に定数を含んではいけません。

テキスト	再定義内に定数を含んではいけません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4471: 長さフィールドに数字ではない値があります。

テキスト	長さフィールドに数字ではない値があります。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4472: ビュー定義内にユーザー変数定義が見つかりました。

テキスト	ビュー定義内にユーザー変数定義が見つかりました。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4473: ビューに、新しい **DDM** に存在しないフィールドが含まれています。

テキスト	ビューに、新しい DDM に存在しないフィールドが含まれています。
説明	データエリアエディタ画面の最後の列で、 DDM の名前を変更しようとしました。 しかし、ビューで指定した 1 つ以上のフィールドが、 この DDM に定義されていません。
対処	DDM 名を変更しないでください。 またはビューのフィールドすべてを含む DDM 名を指定してください。

NAT4474: GENERATE コマンドにプログラム名がありません。

テキスト	GENERATE コマンドにプログラム名がありません。
説明	
対処	プログラム名を付けて GENERATE コマンドを発行してください。

NAT4475: 添字として使用されている定数が定義されていません。

テキスト	添字として使用されている定数が定義されていません。
説明	配列定義の添字に使用される定数は、 配列定義の前に定義しておかなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4476: PE/MU の添字として数字ではない定数が使用されました。

テキスト	PE/MU の添字として数字ではない定数が使用されました。
説明	ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドの添字として使用された定数が、数字ではありませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4477: PE/MU の添字として定義されていない定数が使用されました。

テキスト	PE/MU の添字として定義されていない定数が使用されました。
説明	ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドの添字として使用される定数は、その目的に使用する前に定義しておかなければなりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4478: RECAT=ON の場合、**CATALOG** および **PURGE** コマンドは利用できません。

テキスト	RECAT=ON の場合、CATALOG および PURGE コマンドは利用できません。
説明	ダイナミックに、または Natural パラメータモジュールで、パラメータ RECAT (ダイナミックな再カタログ) を RECAT=ON に設定した場合、CATALOG および PURGE コマンドは利用できません。CATALOG と PURGE の代わりに、STOW と SCRATCH コマンドを使用してください。
対処	有効なコマンドを使用するか、またはパラメータを変更してください。

NAT4479: Natural ワークエリアがいっぱいです。**ESIZE** パラメータを大きくしてください。

テキスト	Natural ワークエリアがいっぱいです。ESIZE パラメータを大きくしてください。
説明	
対処	ESIZE パラメータの値を大きくしてください。

NAT4480: FLAG1 の値が正しくありません。

テキスト	FLAG1 の値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4481: .* コマンドは **MU/PE** にのみ有効です。

テキスト	'.*' コマンドは MU/PE にのみ有効です。
説明	データエリアエディタでは、マルチプルバリューフィールドやピリオディックグループに、行コマンド '.*' を使用して C* 変数を生成することができます。 他の種類のすべての行には、このコマンドは使用できません。
対処	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループの 行に '.*' コマンドを入力してください。

NAT4482: マルチプルバリューフィールドに対しては **1** 回のみ **'C*'** 変数を定義できます。

テキスト	マルチプルバリューフィールドに対しては 1 回のみ 'C*' 変数を定義できます。
説明	すでに C* 変数が定義されているマルチプルバリューフィールドに対し、 '.*' コマンドを使用して C* 変数を生成しようとしました。 C* 変数は、マルチプルバリューフィールドごとに 1 回のみ 定義できます。
対処	このフィールドでこの行コマンドを使用しないでください。

NAT4488: Predict がインストールされていないので、機能が使えません。

テキスト	Predict がインストールされていないので、機能が使えません。
説明	指定された機能の実行、および指定されたオブジェクトの処理のためには、 Predict ディクショナリがインストールされていなければなりません。
対処	Predict をインストールしてください。 または、この機能を使用しないでください。

NAT4489: Predict の定義と **DDM** が矛盾しています。

テキスト	Predict の定義と DDM が矛盾しています。
説明	DDM からデータエリアにフィールドを組み込みましたが、 DDM の生成後に、DDM と関係がある Predict の定義が変更されています。 そのため、データエリアに Predict の定義を組み込めません。
対処	無視するか、または DDM を生成しなおして矛盾を避けてください。

85 Natural システムエラーメッセージ 4501～4550

NAT4501: 編集コマンドと行コマンドを同時に指定できません。

テキスト	編集コマンドと行コマンドを同時に指定できません。
説明	フルスクリーンエディタでは、一度に 1 つの行コマンド または 1 つの編集コマンドのみを処理できます。
対処	編集コマンドまたは行コマンドは、両方ではなくいずれかのみを使用してください。

NAT4502: 行サブコマンドがソース行の外にあります。

テキスト	行サブコマンドがソース行の外にあります。
説明	空行に対して、行コマンドの処理はできません。
対処	空白行に行コマンドを入力しないでください。

NAT4503: 位置付けの数字が正しくありません。

テキスト	位置付けの数字が正しくありません。
説明	前方 (+) または後方 (-) に位置付けるための編集コマンドには 0 より大きい数字が必要です。

対処	正しい位置付けの数字を指定してください。

NAT4504: X でマークされている行がありません。

テキスト	X でマークされている行がありません。
説明	特定の行を参照するコマンドが入力されました。 しかし、参照先の行が 'X' でマークされていないために エディタがこのコマンドを処理できません。
対処	適切な行を 'X でマークしてください。

NAT4505: Y でマークされている行がありません。

テキスト	Y でマークされている行がありません。
説明	特定の行を参照するコマンドが入力されました。 しかし、行が 'Y' でマークされていないために エディタがこのコマンドを処理できません。
対処	適切な行を 'Y でマークしてください。

NAT4506: Y の位置は **X** の位置より後ろでなければなりません。

テキスト	Y の位置は X の位置より後ろでなければなりません。
説明	いま入力したコマンドを処理するためには、 'Y' のマークがある行は、'Y' のマークがある行より後ろになければなりません。
対処	X と 'Y' で正しく行をマークしてからコマンドを再発行してください。

NAT4507: コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。

テキスト	コピーまたは移動した行が対象行と重複しています。
説明	行コマンド「.CX-Y」または「.MX-Y」が 'X' でマークされた行と 'Y' でマークされた行の間に入力されましたが、 移動またはコピーする行のブロック内の位置に、 行をコピーまたは移動することはできません。

対処	行を正しくコピーまたは移動してください。

NAT4508: MOVE コマンドの指定に誤りがあります。

テキスト	MOVE コマンドの指定に誤りがあります。
説明	行コマンド MOVE には、'.MX'、'.MY'、'.MX-Y' のようなパラメータの指定が必要です。 指定が必要です。 移動する行は 'X' や 'Y' でマークしなければなりません。
対処	MOVE コマンドを発行する前に、移動する行をマークしてください。

NAT4509: 編集コマンドが正しくありません。 詳細を確認するには「**?**」と入力してください。

テキスト	編集コマンドが正しくありません。 詳細を確認するには「?」と入力してください。
説明	入力された編集コマンドが認識できません。
対処	正しい編集コマンドを入力するか、または「?」を入力して、 使用可能な編集コマンドに関するヘルプ情報を呼び出してください。

NAT4510: 同一データによる置き換えはできません。

テキスト	同一データによる置き換えはできません。
説明	スキャンしているデータと同じデータでソースの 文字列を置き換えることはできません。
対処	正しいスキャン / 置換コマンドを発行してください。

NAT4511: SET TYPE object-type はセキュリティの定義により禁止されています。

テキスト	'SET TYPE object-type' はセキュリティの定義により禁止されています。
説明	このコマンドの発行は、Natural Security により禁止されています。
対処	このコマンドを使用しないでください。 または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4512: 有効なパラメータは '**+**'、'**-**'、または '**Q**' のみです。

テキスト	有効なパラメータは '+'、'-'、または 'Q' のみです。
説明	SHIFT サブコマンドでは次のパラメータのみを指定できます。 + 右にシフトする - 左にシフトする Q SHIFT サブコマンドの終了
対処	正しいサブコマンドを入力してください。

NAT4513: シフト値は **1**～**71** でなければなりません。

テキスト	シフト値は 1~71 でなければなりません。
説明	SHIFT サブコマンドでシフトする文字数は、1~71 でなければなりません。
対処	SHIFT 機能に対して正しい数を入力してください。

NAT4514: 行番号にスペースがありません。'**RENUMBER**' が必要です。

テキスト	行番号にスペースがありません。'RENUMBER' が必要です。
説明	Natural プログラムの行番号は、内部的にプログラムの流れを制御するために、 昇順でユニークでなければなりません。行を挿入する場合、行の増分が 10 の 2 つの行間 (例えば、行 1220 と 1230 の間) には、 一度に 9 行のみを挿入できます。 RENUMBER コマンドを使用するか、または Enter キーを押してプログラムの行番号を再設定してください。
対処	ソースプログラムの行番号を再設定してから、行を挿入してください。

NAT4515: 画面の最終行に「**.J**」が入力されました。

テキスト	画面の最終行に「.J」が入力されました。
説明	行コマンド「.J」は、連結する2つの行の最初の行に入力しなくてはなりません。 連結する行は 2 行とも画面上に表示されていなければなりません。

対処	正しい位置で「.J」を入力してください。

NAT4516: コマンドは実行されませんでした。

テキスト	コマンドは実行されませんでした。
説明	いま入力したコマンドは存在しません。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT4517: カーソルの位置を分割ポイントに合わてください。

テキスト	カーソルの位置を分割ポイントに合わてください。
説明	行コマンド SPLIT を使用するときには、 行を分割する位置をカーソルでマークします。
対処	カーソルを正しい位置に置いてください。

NAT4518: シフトパラメータ（**+nn, -nn**）が指定されていません。

テキスト	シフトパラメータ (+nn, -nn) が指定されていません。
説明	SHIFT コマンドでは、シフト桁数およびシフト方向を、 '+nn' または '-nn' 形式で指定しなければなりません。
対処	シフトする文字数と方向を指定してください。

NAT4519: シフト値（文字数）が指定されていません。

テキスト	シフト値 (文字数) が指定されていません。
説明	SHIFT コマンドでは、シフトする文字数を指定しなければなりません。
対処	シフトする文字数を入力してください。

NAT4520: SHIFT では、**X** 行が画面上になければなりません。

テキスト	SHIFT では、X 行が画面上になければなりません。
説明	SHIFT コマンドが機能するには、画面上に X ラベルが出力されていなければなりません。
対処	X ラベルを出力するように現在の行を位置付けてください。

NAT4521: スキャン値の長さが **32** を超えた、またはデリミタがありません。

テキスト	スキャン値の長さが 32 を超えた、またはデリミタがありません。
説明	スキャン値の長さが 32 を超えて指定されたか、 またはスキャン値を囲むデリミタの一方がありません。
対処	正しいコマンドを指定してください。

NAT4522: REPLACE WITH NULL では置き換え値を指定できません。

テキスト	REPLACE WITH NULL では置き換え値を指定できません。
説明	プログラムエディタの [Scan] メニューで、SCAN WITH NULL 値が指定 (マーク) された後、 特定の置換値を指定した SCAN/CHANGE コマンドが入力されました。 - 空値で置き換える場合は、置換値を指定しないでください。 - 特定の値で置き換える場合は、REPLACE WITH NULL を使用しないでください。
対処	コマンドと値を正しく組み合わせて入力してください。

NAT4523: 指定されたプロファイルが存在しません。

テキスト	指定されたプロファイルが存在しません。
説明	エディタプロファイルの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	正しいプロファイル名を指定してください。

NAT4524: プロファイル **ID** を入力してください。

テキスト	プロファイル ID を入力してください。
説明	プロファイルをメンテナンスするには、プロファイル ID を入力しなければなりません。
対処	プロファイル ID を入力してください。

NAT4525: 他のプロファイルを変更してはいけません。

テキスト	他のプロファイルを変更してはいけません。
説明	Natural Security がインストールされているときには、ユーザーは 自分以外のユーザー ID が割り当てられているプロファイルを変更できません。
対処	変更が禁止されているプロファイルを変更しないでください。

NAT4526: プロファイルは正常に保存されました。

テキスト	プロファイルは正常に保存されました。
説明	プロファイルはデータベース内に正常に保存されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4527: 999 トランザクションを超えた後の '**RECOVER**' はできません。

テキスト	999 トランザクションを超えた後の 'RECOVER' はできません。
説明	RECOVER nnn の最高値は 999 です。 ソースを 'nnn' 回変更すると、現在のプロファイルに定義されたメンバ名で 現在のライブラリに自動的に保存されます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4528: SPLIT コマンドに不正なパラメータが指定されました。

テキスト	SPLIT コマンドに不正なパラメータが指定されました。
説明	エディタの画面分割コマンドで指定されたパラメータが 正しくありません。 有効なパラメータは次のとおりです。 P - プログラミングオブジェクト D - データエリア V - ビュー (DDM) DESC - Predict 記述
対処	SPLIT コマンドに正しいパラメータを入力してください。

NAT4529: エディタの **SET** コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。

テキスト	エディタの SET コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。
説明	エディタの SET コマンドに指定されたパラメータが正しくありません。 SET コマンドの構文の詳細については、Natural ドキュメントを 参照してください。
対処	正しい SET コマンドを入力してください。

NAT4530: EDIT コマンドはセキュリティ定義により禁止されています。

テキスト	EDIT コマンドはセキュリティ定義により禁止されています。
説明	呼び出されたエディタの EDIT コマンドは、Natural Security の 対応するセキュリティプロファイルにより禁止されています。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4531: プロファイルが削除されました。

テキスト	プロファイルが削除されました。
説明	データベースからプロファイルが正常に削除されました。

対処	対処は必要ありません。

NAT4532: エディタプロファイルがデータベースに保存されませんでした。

テキスト	エディタプロファイルがデータベースに保存されませんでした。
説明	自分のものではない エディタプロファイルを変更しました。 変更後のプロファイルは使用できますが、この変更内容は 別のライブラリにログオンするまでのみ有効です。
対処	対処は必要ありません。

NAT4533: 方向インジケータは '**+**' または '**-**' である必要があります。

テキスト	方向インジケータは '+' または '-' である必要があります。
説明	プログラムエディタのコマンド行の方向インジケータは、 '+' と '-' のみ有効です。
対処	方向インジケータを '+' または '-' に設定してください。

NAT4534: 特別な **PF** キーの機能を使用するためにはカーソルがソース内になければなりません。

テキスト	特別な PF キーの機能を使用するためにはカーソルがソース内になければなりません。
説明	コマンド *CURSOR、*X、*Y のいずれかが 割り当てられている PF キーを押す前に、ソース内で コマンドを適用する場所にカーソルを置く必要があります。
対処	正しい位置にカーソルを置いてから、もう一度 PF キーを押してください。

NAT4535: メッセージ行の位置は '**TOP**'、'**BOT**'、'**nn**'、または '**-nn**' です。

テキスト	メッセージ行の位置は 'TOP'、'BOT'、'nn'、または '-nn' です。
説明	メッセージ行の位置を次のように指定できます。 TOP (または T) : 画面の一番上の行 BOT (または B) : 画面の一番下の行 nn : 画面の 'nn' 行目 (画面の一番上から数えて) -nn : 画面の 'nn' 行目 (画面の一番下から数えて)

対処	正しいメッセージ行の位置を指定してください。

NAT4536: オブジェクト **:1:** を組み込むことはできません。

テキスト	オブジェクト ... を組み込むことはできません。
説明	組み込まれるオブジェクトはカタログしなければなりません。
対処	オブジェクトを組み込む前にカタログしておいてください。

86 Natural システムエラーメッセージ 4551～4600

NAT4599: セッションパラメータ **PD** の値は '**0**' ではいけません。

テキスト	セッションパラメータ PD の値は '0' ではいけません。
説明	NATPAGE ユーティリティの端末コマンドの 1 つを発行し、(NATPAGE で Natural システムファイルに格納される画面の数を指定する) PD パラメータが '0' に設定されている場合に、このエラーが発生します。
対処	GLOBALS コマンドを使用して、PD パラメータの値を 1～255 の値に設定してください。

NAT4600: 複数のコマンド入力はできません。

テキスト	複数のコマンド入力はできません。
説明	1 画面につき 1 コマンドのみ入力できます。複数のコマンドが検出された場合、更新もコマンドの解釈も実行されません。
対処	コマンドを 1 つのみ入力してください。

87 Natural システムエラーメッセージ 4601～4650

NAT4601: 画面操作に誤りがあります。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	画面操作に誤りがあります。行 ...、列 ...。
説明	フィールド変数をテキスト定数に変更することはできません。
対処	適切なフィールドコマンドを使用してフィールドを削除するか、または別の位置に移動してから、テキストを挿入してください。

NAT4602: .E コマンドを使用してフィールドを編集してください。

テキスト	.E コマンドを使用してフィールドを編集してください。
説明	フィールド編集マスクの修正や定義は、'.E' コマンドで '拡張フィールド編集' を呼び出さなければなりません。
対処	フィールドコマンド '.E' を使用してください。

NAT4603: DDM にエラーがあります。

テキスト	DDM にエラーがあります。
説明	現在使用中のデータ定義モジュール (DDM) にエラーが検出されました。

対処	DDM を修正してください。

NAT4604: 編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。

テキスト	編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。
説明	
対処	編集マスクを用いてフォーマットを変更してください。

NAT4605: .A コマンドを使用して、配列を定義してください。

テキスト	.A コマンドを使用して、配列を定義してください。
説明	
対処	フィールドにフィールドコマンド '.A' を入力してください。

NAT4606: オブジェクト名が正しくありません。

テキスト	オブジェクト名が正しくありません。
説明	
対処	正しいオブジェクト名を指定してください。

NAT4607: DDM がロードされません。

テキスト	DDM がロードされません。
説明	DDM をロードしようとしたときに内部エラーが発生しました。
対処	Software AG の Natural サポートに連絡してください。

NAT4608: 要求した **DDM** が大きすぎます。

テキスト	要求した DDM が大きすぎます。
説明	要求した DDM が大きすぎて、マップ工ディタで処理できません。
対処	DDM のサイズを減らします。

NAT4609: 編集マスクが正しくありません。

テキスト	編集マスクが正しくありません。
説明	指定された編集マスクが正しくありません。 編集マスクの詳細については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	エラーを修正してください。

NAT4610: フィールドフォーマットが正しくありません。

テキスト	フィールドフォーマットが正しくありません。
説明	指定されたフィールドフォーマットが正しくありません。 正しいフォーマットの定義については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	エラーを修正してください。

NAT4611: フィールド名に誤りがあります。

テキスト	フィールド名に誤りがあります。
説明	フィールド名に使用してはならない文字が含まれています。
対処	エラーを修正してください。

NAT4612: 桁数が矛盾しています。

テキスト	桁数が矛盾しています。
説明	小数部または整数部の桁数が多すぎます。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	エラーを修正してください。

NAT4613: ソースエリアが空です。

テキスト	ソースエリアが空です。
説明	空のソースエリアを編集しようとしました。
対処	関数 'I' (マップの初期化) または 'R' (マップの読み込み) を使用して、マップをソースエリアに配置します。

NAT4614: マップがソースエリア内で見つかりません。

テキスト	マップがソースエリア内で見つかりません。
説明	ソースエリアに、指定された名前のマップが含まれていません。 'L' 機能を使用して、現在ソースエリアにマップがあるかどうか確かめてください。 または、マップエントリフィールドを空白にして、 ソースエリアのすべてのマップを表示させてください。
対処	関数 'I' (マップの初期化) または 'R' (マップの読み込み) を使用して、マップをソースエリアに配置します。

NAT4615: 指定したオブジェクトが現在のライブラリ／**steplib** ライブラリで見つかりません。

テキスト	指定したオブジェクトが現在のライブラリ / steplib ライブラリで見つかりません。
説明	指定した名前の Natural オブジェクト (プログラム、 サブプログラム、データエリア等) は、現在のライブラリ または連結ライブラリ (steplib) 内で見つけることが できませんでした。

対処	正しいオブジェクト名を指定してください。

NAT4616: コマンドの使い方が正しくありません。

テキスト	コマンドの使い方が正しくありません。
説明	コマンドを誤って使用しようとしました。 例えば '.A' コマンドをテキスト定数に対して使用しました。
対処	正しいコマンドを正しいフィールドに入力してください。

NAT4617: デリミタ文字が属性と一致しません。

テキスト	デリミタ文字が属性と一致しません。
説明	指定した属性が、マッププロファイル内のデリミタ設定と矛盾しています。
対処	他の属性を使用するか、またはマッププロファイル内のデリミタ設定を変更してください。

NAT4618: フィールドのオカレンス数が多すぎます。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	フィールドのオカレンス数が多すぎます。行 ...、列 ...。
説明	出力フィールドが 98 オカレンスを超えて使用されました。
対処	新たなフィールドを指定してください。

NAT4619: ここではマルチプルフィールドを使用できません。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	ここではマルチプルフィールドを使用できません。行 ...、列 ...。
説明	入力専用フィールドまたは修正可能フィールドは、 複数オカレンスに使用できません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4620: 文字列が長すぎます。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	文字列が長すぎます。行 ...、列 ...。
説明	58 文字より長いテキスト定数が指定されました。 同じ文字の繰り返しによる文字列のみが 58 文字を超えられます。
対処	テキストを 2 つの定数に分割するか、またはテキストを含んだ変数を使用してください。

NAT4621: システム変数は出力フィールドでなければなりません。

テキスト	システム変数は出力フィールドでなければなりません。
説明	システム変数は出力モードでのみ使用できます。
対処	出力モードを示すデリミタを使用してください。

NAT4622: オーバーラップが検出されました。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	オーバーラップが検出されました。行 ...、列 ...。
説明	このエラーの原因は次のいずれかです。 - ある変数と別の変数とのオーバーラップ - overlapping of 変数がマップの右端とオーバーラップ - 変数とテキスト定数とのオーバーラップ - 誤ったコマンドがテキストとして解釈された
対処	エラーを修正してください。

NAT4623: タイプが **DDM** の定義と一致しません。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	タイプが DDM の定義と一致しません。行 ...、列 ...。
説明	フォーマットの矛盾により DDM 変数属性が画面変数属性に割り当てられません。 矛盾 ：A、B と N、P A と B 適合 ：N と P

対処	画面指定を変更してから、もう一度割り当ててください。

NAT4624: 再割り当てができません。行 **:1:**、列 **:2:**。

テキスト	再割り当てができません。行 ...、列 ...。
説明	このエラーの原因は次のいずれかです。 - 変数がすでに割り当てられています。 - 変数がシステム変数です。
対処	変数を削除して DDM から生成してください。

NAT4625: フィールド名／変数名を指定しなければなりません。

テキスト	フィールド名 / 変数名を入力しなければなりません。
説明	
対処	フィールド名 / 変数名を入力してください。

NAT4626: マップ定義の内部フォーマットエラーを検出しました。

テキスト	マップ定義の内部フォーマットエラーを検出しました。
説明	マップエディタがマップ定義に内部 フォーマットエラーを検出しました。 別のユーティリティやプログラムを使用して、 マップソースを編集しようとしたことが原因と考えられます。
対処	I (マップの初期化) または'R' (マップの読み込み) 機能を使用して、ソースエリアに元のマップを入れてください。

NAT4627: AL/NL 構文エラーがあります。

テキスト	AL/NL 構文エラーがあります。
説明	AL または NL の指定に誤りがあります。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。

対処	AL/NL を正しく指定してください。

NAT4628: メニューからは **1** 項目しか選択できません。

テキスト	メニューからは 1 項目しか選択できません。
説明	
対処	複数の項目を選択しないでください。

NAT4629: 挿入／分割に有効な空白行が不十分です。

テキスト	挿入 / 分割に有効な空白行が不十分です。
説明	..I (挿入) または '..S' (分割) 行コマンドを使用する場合、 挿入 / 分割行の下のすべての行は下方に拡張され、 マップの最後の空白行は挿入 / 分割のために削除されます。 ただし、マップの最下行に十分な空白がない場合は、 挿入 / 分割コマンドは実行できません。
対処	行を新しく挿入したり、行を分割する前に、有効な空白行が十分にあることを確認してください。

NAT4630: ランクの設定が正しくありません。

テキスト	ランクの設定が正しくありません。
説明	このエラーの原因は次のいずれかです。 - 指定値がゼロより大きくありません。 - 指定値が配列のランク以下ではありません。 - 指定値がすでに割り当てられています。 注：配列のランクは添字の数に等しくなります。 例えば、A(3, 4) は、ランク 2 の配列 A の工レメントです。
対処	ランクの設定を修正してください。

NAT4631: 添字が範囲外です。

テキスト	添字が範囲外です。
説明	指定した添字は配列次元の範囲内にありません。
対処	添字指定を修正してください。

NAT4632: 固定の添字指定が必要です。

テキスト	固定の添字指定が必要です。
説明	マップで 3 次元の配列を使用する場合、 少なくとも 1 次元の添え字は固定 (整数または変数) でなければなりません。
対処	添字指定を修正してください。

NAT4633: カラー指定に誤りがあります。

テキスト	カラー指定に誤りがあります。
説明	カラー指定に誤りがあります。 有効なカラーコードは、フィールド COLOUR に カーソルを置いて、HELP キーを押すことで決定できます。
対処	正しいカラーを指定してください。

NAT4634: ソース／オブジェクト名の指定がありません。

テキスト	ソース / オブジェクト名の指定がありません。
説明	READ または PURGE 機能に対してソース名がないか、 または UNCATALOG機能に対してオブジェクト名がありません。
対処	ソース / オブジェクト名を指定してください。

NAT4635: プロファイル名が指定されていません。

テキスト	プロファイル名が指定されていません。
説明	I または 'M' 機能使用時にはプロファイル名を指定しなければなりません。
対処	プロファイル名を指定してください。

NAT4636: 列シフトは **0** か **1** だけです。

テキスト	列シフトは 0 か 1 だけです。
説明	標準的な列シフトは '0' です。 第 1 列をマップフィールドに使用するには、'1' の列シフトを指定します。
対処	0 または '1' を指定してください。.

NAT4637: ヘルプテキストのサイズ／位置と画面サイズが一致しません。

テキスト	ヘルプテキストのサイズ / 位置と画面サイズが一致しません。
説明	現在定義されているヘルプテキストウィンドウのサイズは、 指定されたデバイス ('デバイスチェック') の画面に合わないので、 配置しようとしている位置に置くことができません。 ウィンドウを小さくするか、位置を変更する (またはデバイスチェックオプションを使用しない) 必要があります。
対処	ヘルプテキストを小さくしてください (ページサイズまたは行サイズ、あるいはその両方を減らしてください)。 または、ヘルプテキストの位置を変更してください。

NAT4638: MAP は正常に転送されました。

テキスト	MAP は正常に転送されました。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT4639: MAP 内のフィールド名とパラメータ名はユニークでなければなりません。

テキスト	MAP 内のフィールド名とパラメータ名はユニークでなければなりません。
説明	マップ内で使用されるフィールド名およびパラメータ名はユニークでなければなりません。
対処	フィールド名およびパラメータ名は、マップ内で重複して使用しないでください。

NAT4640: SAVE コマンドが実行されました。

テキスト	SAVE コマンドが実行されました。
説明	ソースが現在のライブラリに保存されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4641: マップのテストが正常終了しました。

テキスト	マップのテストが正常終了しました。
説明	現在のソースに対する RUN コマンドが正常に実行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4642: 変数名は他のフォーマットまたは配列で、すでに使用されています。

テキスト	変数名は他のフォーマットまたは配列で、すでに使用されています。
説明	ヘルプパラメータ、属性制御変数、 または開始値として名前を指定した変数は、 別のフォーマットまたは他の配列次元で、 すでに定義されています。
対処	違う名前を使用するか、または同名の別変数をチェックしてください。

NAT4643: ファンクションコードが正しくありません。

テキスト	ファンクションコードが正しくありません。
説明	ファンクションコードの指定が正しくありません。
対処	正しいファンクションコードを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

NAT4644: デリミタクラスは '**A**'、'**O**'、'**M**'、または'**T**' です。

テキスト	デリミタクラスは 'A'、'O'、'M'、または'T' です。
説明	デリミタクラスに不正なコードが入力されました。 入力できるコードは次のとおりです。 A - 入力専用フィールド O - 出力専用フィールド M - 変更可能フィールド (入出力) T - テキスト定数
対処	正しいデリミタクラスを入力してください。

NAT4645: デリミタの属性が正しくありません。

テキスト	デリミタの属性が正しくありません。
説明	有効な属性コードは次のとおりです。 B 点滅 NE デフォルト色 C 斜体 / イタリック文字 BL 青 D デフォルト (非高輝度表示、非点滅、等) GR Green I 高輝度表示 RE 赤 N 非表示 PI ピンク U 下線付き YE 黄 V 反転表示 TU シアン Y ダイナミック (ユーザプログラムで ダイナミックに指定される属性)
対処	正しいコードを入力します。

NAT4646: デリミタは特殊文字でなければなりません。

テキスト	デリミタは特殊文字でなければなりません。
説明	デリミタには特殊文字のみ使用できます。
対処	デリミタとして特殊文字を入力してください。

NAT4647: ページサイズは **1**〜**250** の範囲でなければなりません。

テキスト	ページサイズは 1 ~ 250 の範囲でなければなりません。
説明	ページサイズの値は 1 ~ 250 行でなければなりません。 3270 タイプの画面の標準ページサイズは 23 行です。
対処	正しいページサイズを入力します。

NAT4648: 行サイズは **5**〜**249** までです。

テキスト	行サイズは 5 ~ 249 までです。
説明	行サイズの値は 5 ~ 249 文字でなければなりません。 3270 タイプの画面の標準行サイズは 79 文字です。
対処	正しい行サイズを入力してください。

NAT4649: 「**T**」（最上行）または「**B**」（最下行）を入力してください。

テキスト	「T」(最上行) または「B」(最下行) を入力してください。
説明	メッセージ行は画面の一番上 (T) か一番下 (B) に表示することができます。
対処	正しいコード (「T」または「B」) を入力してください。

NAT4650: カラーコードが正しくありません。

テキスト	カラーコードが正しくありません。
説明	正しいカラーコードは次のとおりです。 NE - デフォルト色 BL - 青 GR - 緑 RE - 赤 PI - ピンク YE - 黄 TU - シアン
対処	正しいカラーコードを入力してください。

88 Natural システムエラーメッセージ 4651～4700

NAT4651: 「**UC**」（大文字）または「**LC**」（小文字）を入力してください。

テキスト	「UC」（大文字）または「LC」（小文字）を入力してください。
説明	'UC' は入力が大文字に変換されることを示します。 'LC' は小文字入力が大文字に 変換されないことを示します。
対処	正しいコード（「UC」または「LC」）を入力してください。

NAT4652: 「**Y**」**(**はい**)**または「**N**」（いいえ）を入力してください。

テキスト	「Y」（はい）または「N」（いいえ）を入力してください。
説明	フィールドに有効な値は 'Y'（はい）および 'N'（いいえ）のみです。
対処	「Y」または「N」と入力します。

NAT4653: 配列の次元は **0**～**3** でなければなりません。

テキスト	配列の次元は 0～3 でなければなりません。
説明	

対処	正しい配列の次元を指定してください。

NAT4654: 制御文字に使用できるのは特殊文字のみです。

テキスト	制御文字に使用できるのは特殊文字のみです。
説明	制御文字として使用できるのは特殊文字のみです。 デフォルトの制御文字は '.'(ピリオド)です。
対処	正しい制御文字を入力してください。

NAT4655: 「**R**」（右詰め）または「**L**」（左詰め）を入力してください。

テキスト	「R」(右詰め)または「L」(左詰め)を入力してください。
説明	指定できるのは次のコードのみです。 R :変数フィールドはデフォルトで右詰めになります。 L :変数フィールドはデフォルトで左詰めになります。
対処	正しいコード(「R」または「L」)を入力してください。

NAT4656: デリミタ文字の設定が不明瞭です。

テキスト	デリミタ文字の設定が不明瞭です。
説明	同じデリミタが 2 回以上定義されたか、または、同じクラス または同じ属性に対して 2 つ以上のデリミタが定義されました。
対処	デリミタの設定をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4657: 変数フィールドには名前をつけなければなりません。

テキスト	変数フィールドには名前をつけなければなりません。
説明	画面に直接定義されたフィールド(ビューから選択されて いないフィールド)は、後からビューフィールドの属性を 割り当てる(ポスト割り当て)か、または拡張フィールド 編集機能を使用して名前を直接割り当てなければいけません。

対処	ポスト割り当て、または拡張フィールド編集を使用して、 フィールドに名前を割り当ててください。

NAT4658: WRITE または **'INPUT'** のいずれかを選択してください。

テキスト	WRITE または 'INPUT' のいずれかを選択してください。
説明	このエラーの原因は次のとおりです。 - WRITE と INPUT のどちらもマークされていません。 - WRITE と INPUT の両方がマークされています。
対処	エラーを修正してください。

NAT4659: ダイナミックレイアウトにユーザー定義変数が含まれています。

テキスト	ダイナミックレイアウトにユーザー定義変数が含まれています。
説明	ダイナミックレイアウトマップとして使用されるマップに、 ユーザー定義変数が含まれていてはいけません。
対処	ダイナミックレイアウトマップからユーザー定義変数を削除するか、または 別のマップをダイナミックレイアウトマップとして使用してください。

NAT4660: レイアウトとマップの設定に矛盾があります。

テキスト	レイアウトとマップの設定に矛盾があります。
説明	このエラーメッセージの原因は次のいずれかです。 - レイアウト内に、現在のマップに定義されていない ATTRIBUTE/CLASS の組み合わせのデリミタ設定があります。 - レイアウトとマップの PAGESIZE または LINESIZE が異なります。 - レイアウトとマップで COMP 設定が異なります。 - レイアウトとマップで KEYSTD 設定が異なります。 - レイアウトとマップの HELP 名が空白でなく、同一でもありません。
対処	マップとレイアウトの設定をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4661: プロファイルはすでに存在します。

テキスト	プロファイルはすでに存在します。
説明	すでに存在するプロファイルに対して ADD 機能を適用しました。
対処	MODIFY 機能を使用するか、または別のプロファイル名を使用してください。

NAT4662: プロファイルが存在しません。

テキスト	プロファイルが存在しません。
説明	存在しないプロファイルに対して、MODIFY または DELETE 機能を適用しました。
対処	正しいプロファイル名を使用してください。

NAT4663: プロファイル '**SYSPROF**' を変更してはいけません。

テキスト	プロファイル 'SYSPROF' を変更してはいけません。
説明	メンテナンス機能を使用して、デフォルトのプロファイル 'SYSPROF' を変更することはできません。
対処	ADD 機能を使用して、ユーザープロファイルを定義してください。

NAT4664: デリミタが制御文字や小数点文字と同じであってはなりません。

テキスト	デリミタが制御文字や小数点文字と同じであってはなりません。
説明	デリミタは、プロファイル設定に定義された制御文字や小数点文字と同じにしてはいけません。
対処	デリミタとして別の特殊文字を使用してください。

NAT4665: DY オプションが正しくありません。

テキスト	'DY' オプションが正しくありません。
説明	DY オプションは、エスケープ文字と属性 / カラーコードを 交互に入れて構成します。 正しいエスケープ文字は、すべての特殊文字および 16 進要素です。 例 :<i> ('<' で高輝度表示) <re> ('<' で高輝度表示) <bl:re> ('<' で青、':' で赤) '27p'28 ('27 で保護)
対処	エラーを修正してください。

NAT4666: 警告:現在のプロファイルがマップのプロファイルと一致しません。

テキスト	警告 : 現在のプロファイルがマップのプロファイルと一致しません。
説明	編集されるマップが、現在のプロファイルと異なるプロファイルで初期化されました。
対処	PF10 キーを押して正しいプロファイル名を取得するか、または無視してください。

NAT4667: 編集が正常終了しました。

テキスト	編集が正常終了しました。
説明	このメッセージは次のことを示します。 - パラメータモードの場合、INPUT USING MAP ステートメントが、マップの最初に 生成されました。 - 非パラメータモードの場合、全変数が 割り当てられたかどうかチェックされました。 - 整合性チェックルールが、整合性チェックランクと 変数の位置によってソートされました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4668: レイアウトプロファイルが **ENFORCE** のマッププロファイルと一致しません。

テキスト	レイアウトプロファイルが ENFORCE のマッププロファイルと一致しません。

説明	レイアウトマップは現在のプロファイルとは異なる プロファイルで初期化されました。現在のプロファイルは 'ENFORCE' オプションでマークされています。 現在のプロファイルの属性のいくつかが途中で変更されました。
対処	別のプロファイル、または別のレイアウトを使用してください。

NAT4669: ヘルプテキストレイアウトをマップで使用する、およびその逆はできません。

テキスト	ヘルプテキストレイアウトをマップで使用する、およびその逆はできません。
説明	このメッセージの原因は次のいずれかです。 - レイアウトは 'H'、現在のマップは 'I' で初期化されました。 - レイアウトは 'I'、現在のマップは 'H' で初期化されました。
対処	別のレイアウト、または他の初期化機能を使用してください。

NAT4670: 出力モードの設定に誤りがあります。

テキスト	出力モードの設定に誤りがあります。
説明	出力モードでは次のコードが選択できます I ：出力方向を逆にします。 C ：代替文字セットを使用します。 N ：ハードコピーにフィールドが表示されません。 D ：ダブルバイト文字モード。 属性を組み合わせて使用してもかまいません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4671: マップ設定の変更に誤りがあります。

テキスト	マップ設定の変更に誤りがあります。
説明	このエラーメッセージの原因としては、古いマップ設定で 指定されていたデリミタのクラス / 属性の組み合わせが、 新しいマップ設定では指定されていない場合が考えられます。
対処	設定値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4672: Move コマンドの移動先がコマンド指定範囲内にあります。

テキスト	'Move' コマンドの移動先がコマンド指定範囲内にあります。
説明	行コマンド 'Move' を数行の範囲を指定して発行 したが、カーソルがその範囲内の行に置かれたままでした。
対処	カーソル位置を変えるか、または行範囲を変更してください。

NAT4673: 同じ名前のオブジェクトがすでに存在します。

テキスト	同じ名前のオブジェクトがすでに存在します。
説明	マップやヘルプテキストの初期化時に、 ライブラリ内の別オブジェクトですでに 使用されている名前が指定されました。 このエラーは、STOW や SAVE 機能でも、 名前を明示的に指定した場合に発生する可能性があります。
対処	マップ名を変更するか、または既存のオブジェクトを消去してください。

NAT4674: 指定したオブジェクトが存在しないか、マップやヘルプテキストではありません。

テキスト	指定したオブジェクトが存在しないか、マップやヘルプテキストではありません。
説明	指定したマップ名が正しくありません。 指定した名前のマップもヘルプテキストも 存在しないか、または参照されたオブジェクトが マップでもヘルプテキストでもありません。
対処	マップ名を変更するか、または初期化機能を使用してください。

NAT4675: デバイスの指定がありません。

テキスト	デバイスの指定がありません。
説明	デバイスチェックフィールドで指定されたデバイスが、メンテナンス機能 を使用して定義されていません。または、存在 しないデバイス指定に対して MODIFY や DELETE 機能を実行しようとしました。

対処	メンテナンス機能を使用してデバイス属性を指定してください。

NAT4676: デバイス指定がすでに存在しています。

テキスト	デバイス指定がすでに存在しています。
説明	デバイス指定がすでに存在しています。
対処	`MODIFY` 機能を使用してください。

NAT4677: デバイス名がありません。

テキスト	デバイス名がありません。
説明	追加、修正、または削除する デバイス名が指定されていません。
対処	デバイス名を入力してください。

NAT4678: 属性がデバイスの特性と一致しません。

テキスト	属性がデバイスの特性と一致しません。
説明	定義された属性をサポートしないデバイス名を入力 することにより、デバイスチェックが有効になりました。 カーソルは指定デバイスと矛盾した属性に位置付けられました。
対処	属性を変更するか、またはデバイスチェックを無効にしてください。

NAT4679: レイアウトが存在しません。

テキスト	レイアウトが存在しません。
説明	レイアウトマップまたはレイアウトヘルプテキストが、 マップ設定やプロファイルで指定されましたが、 そのレイアウトがソースマップとして存在しません。

対処	エラーを修正してください。

NAT4680: 指定できるのは '**H**' または '**V**' のみです。

テキスト	指定できるのは 'H' または 'V' のみです。
説明	2 次インデックスの方向は、 横 (H) または縦 (V) のみです。
対処	正しい方向を入力してください。

NAT4681: WRITE ステートメントでは出力クラスのみ可能です。

テキスト	WRITE ステートメントでは出力クラスのみ可能です。
説明	フィールドクラスを入力 (A) または修正 (M) として、デリミタまたは AD 属性が指定されました。 これは、マップ定義処理により、 WRITE ステートメントを 生成する場合は不可能です。
対処	プログラムまたはマップ設定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4682: 配列次元が矛盾しています。

テキスト	配列次元が矛盾しています。
説明	配列に DDM 配列がポスト割り当てされましたが、 DDM 配列の 1 つ以上の次元が以前に定義された配列より小さくなっています。
対処	配列の次元をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4683: 属性制御変数がありません。

テキスト	属性制御変数がありません。
説明	属性が 'Y' であるデリミタが使用されましたが、 マップ設定に属性制御変数 (CV=名前) が定義されていません。 または、AD 属性 'Y' が定義されましたが、 フィールドレベルでもマップ設定でも属性制御変数 (CV=名前) が定義されていません。

対処	属性制御変数を定義してください。

NAT4684: 整合性チェックルールのランクがすでに存在します。

テキスト	整合性チェックルールのランクがすでに存在します。
説明	整合性チェックルールのランクを変更しようとしましたが、 このフィールドには、ランクの指定された整合性チェックルールがすでに存在しています。
対処	別のランクを使用してください。

NAT4685: フィールドが配列ではありません。

テキスト	フィールドが配列ではありません。
説明	フィールド名に添字のカッコを適用する前に、フィールドは '.A' または '..A' コマンドを使用して 配列として定義されていなければなりません。
対処	添字のカッコを外してください。

NAT4686: スカラ値には '**.A**' コマンドを適用しないでください。

テキスト	スカラ値には '.A' コマンドを適用しないでください。
説明	配列フィールドコマンドまたは配列行コマンドは、 エレメンタリデータベースフィールドまたはシステム変数に使用できません。 整合性チェックルールはシステム変数には使用できません。
対処	配列を使用しないでください。 またはユーザー定義変数を定義してください。

NAT4687: ヘルプテキストや **WRITE** マップにヘルプルーチンを指定できません。

テキスト	ヘルプテキストや WRITE マップにヘルプルーチンを指定できません。

説明	ヘルプルーチン名はマップでのみ指定でき、ヘルプテキストでは指定できません。 マップを WRITE USING MAP ステートメントで使用する場合もヘルプルーチン名を指定できません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4688: STOW コマンドが正常に実行されました。

テキスト	STOW コマンドが正常に実行されました。
説明	マップが正常にセーブおよびカタログされました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4689: ダイレクトコマンドが正常に実行されました。

テキスト	ダイレクトコマンドが正常に実行されました。
説明	指定したダイレクトコマンドが正常に実行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4690: 編集マスクが正しくありません。

テキスト	編集マスクが正しくありません。
説明	指定された編集マスクは正しい Natural 編集マスクではありません。 正しい編集マスクの詳細については、ヘルプ機能を呼び出してください。
対処	正しい編集マスクを使用してください。

NAT4691: 小数点文字が矛盾しています。

テキスト	小数点文字が矛盾しています。
説明	マップで使用した小数点文字は、現セッションに 定義された小数点文字と一致しません。

対処	GLOBALS コマンドを使用してセッションプロファイルを変更してください。

NAT4692: この処理は使用できません。

テキスト	この処理は使用できません。
説明	要求した機能は、Predict ディクショナリシステムがインストールされている場合にのみ使用可能です。
対処	この機能は使用しないでください。

NAT4693: 処理ルール間に矛盾があります。

テキスト	処理ルール間に矛盾があります。
説明	このエラーは、ユーザー定義フィールドとして最初に定義されたフィールドまたは未定義フィールドに、ユーザーが処理ルールを割り当てた場合に発生します。また、その後このフィールドがデータベースフィールドにポスト割り当てされ、ランクに対するそのデータベースフィールドの処理ルールがディクショナリに含まれている一方、このランクがユーザー定義ルールによってすでに占有されている場合に、この矛盾が発生します。
対処	ユーザールールをチェックしてください。

NAT4694: ディクショナリの一貫性エラーがあります。

テキスト	ディクショナリの一貫性エラーがあります。
説明	処理ルールの定義時または処理時に、ディクショナリの処理ルール内で一貫性エラーが検出されました。
対処	ディクショナリ管理者に連絡してください。

NAT4695: 処理ルールがすでに存在します。

テキスト	処理ルールがすでに存在します。

説明	ディクショナリに追加する処理ルールに 指定した名前がすでに存在しています。
対処	処理ルールに別の名前を使用してください。

NAT4696: ここで接頭辞の指定はできません。

テキスト	ここで接頭辞の指定はできません。
説明	拡張フィールド編集で新しい接頭辞を導入することはできません。 プログラムラベルと対応させるために既存の接頭辞を変更することのみができます。
対処	ポスト割り当て機能を使用して、新しい接頭辞を指定してください。

NAT4697: ページサイズは **3**〜**250** の範囲でなければなりません。

テキスト	ページサイズは 3 ~ 250 の範囲でなければなりません。
説明	Standard Keys が Y に設定されている場合は、最小のページサイズは 3 です。
対処	正しいページサイズを指定してください。

NAT4698: ユーザー出口により変更は拒否されました。

テキスト	ユーザー出口により変更は拒否されました。
説明	Predict DDA サービスでユーザー出口がアクティブにされました。
対処	データベース管理者に連絡して、フリールールの変更を可能にするように依頼してください。

NAT4699: オカレンス数は **0** より大きくなくてはなりません。

テキスト	オカレンス数は 0 より大きくなくてはなりません。
説明	
対処	オカレンス数を '0' より大きな値に設定してください。

NAT4700: DDM が存在しないか、**DDM** にアクセスする権限がありません。

テキスト	DDM が存在しないか、DDM にアクセスする権限がありません。
説明	指定した DDM が存在しないか、または Natural Securityにより保護されています。 DDM はプログラムのデータエリアで使用することもでき、 プログラムはマップエディタに組み込まれています。
対処	正しい DDM 名を入力するか、またはプログラムをチェックしてください。 あるいは、Natural Security 管理者に連絡してください。

89 Natural システムエラーメッセージ 4701～4750

NAT4701: プログラムにデータが定義されていません。

テキスト	プログラムにデータが定義されていません。
説明	編集画面の上半分に表示するプログラム (またはサブプログラム、サブルーチン、ヘルプルーチン) に、明示的なフィールド定義が含まれていません。
対処	表示するプログラムをチェックしてください。また、プログラムで使用されるデータエリアを表示して、目的の変数を確認してください。

NAT4702: フィールド／パラメータタイプがありません。

テキスト	フィールド / パラメータタイプがありません。
説明	フィールド / パラメータタイプを指定しなければいけません。
対処	フィールド / パラメータタイプを入力してください。

NAT4703: インデックスが **'0'** の次元に対して、開始値を入力しないでください。

テキスト	インデックスが '0' の次元に対して、開始値を入力しないでください。
説明	インデックスが '0' の次元に対して、'開始' 値を指定することはできません。

対処	インデックスを指定するか、または開始値を削除してください。

NAT4704: WRITE ステートメントではダイナミックレイアウトを使用できません。

テキスト	WRITE ステートメントではダイナミックレイアウトを使用できません。
説明	WRITE ステートメントを使用して出力するマップには、 ダイナミックレイアウトマップを使用できません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4705: 整合性チェック名はすでに存在していますが、フリールールではありません。

テキスト	整合性チェック名はすでに存在していますが、フリールールではありません。
説明	指定した整合性チェック名はすでに存在し、自動ルール として Predict 内に定義されています。
対処	他の整合性チェック名を指定してください。

NAT4706: Predict のデフォルトによって拒否されました。

テキスト	Predict のデフォルトによって拒否されました。
説明	Predict のデフォルトで、'マップエディタのルール' 設定が 'D' (disallowed) になっています。
対処	Predict 管理者に、デフォルトの変更を依頼してください。

NAT4707: 同時にルール名とソーステキストを入力しないでください。

テキスト	同時にルール名とソーステキストを入力しないでください。
説明	Predict からルールエディタへルールソースをインクルードするために フリールール名またはソーステキストを入力してください。Enter キーを押してから、 Predict にソースを保存するためにルール名を入力してください。

対処	ルール名またはソーステキストを削除し、 Enter キーをもう一度押してください。

NAT4708: 出力フィールドの処理ルールは適用されません。

テキスト	出力フィールドの処理ルールは適用されません。
説明	出力フィールドに割り当てられた 処理ルールが実行されていません。
対処	処理ルールを削除するか、またはフィールドクラスを変更してください。

NAT4709: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	
対処	

NAT4710: メモリの割り当てに失敗しました。

テキスト	メモリの割り当てに失敗しました。
説明	
対処	作業を保存してからリソースを解放してください。

NAT4711: 不正なオブジェクトハンドルが検出されました。

テキスト	不正なオブジェクトハンドルが検出されました。
説明	Natural が、オブジェクトを示さないオブジェクトハンドルを受け取りました。 アプリケーションにプログラミングエラーがあったため、 オブジェクトハンドルに不正な値が割り当てられました。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4712: 属性タイプに不正な値があります。

テキスト	属性タイプに不正な値があります。
説明	アプリケーションのプログラムによって、属性に不正な値が割り当てられました。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4713: SUPPRESS-XXX-EVENT 属性に不正な値が割り当てられました。

テキスト	SUPPRESS-XXX-EVENT 属性に不正な値が割り当てられました。
説明	SUPPRESS-XXX-EVENT 属性のいずれかに、 許可されていない値が割り当てられました。
対処	許可されている値についてドキュメントを参照し、プログラムを修正してください。

NAT4714: 不正な **PARENT** タイプです。

テキスト	不正な PARENT タイプです。
説明	PARENT 属性で参照されたオブジェクトのタイプが矛盾しています。 例えば、リストボックス項目には、親としてリストボックスコントロールが必要です。
対処	ドキュメントでオブジェクトタイプを確認してください。

NAT4715: SUCCESSOR 属性に不正なオブジェクトハンドルが検出されました。

テキスト	SUCCESSOR 属性に不正なオブジェクトハンドルが検出されました。
説明	SUCCESSOR 属性がオブジェクトを参照していません。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4716: Natural は要求された処理を実行できません。

テキスト	Natural は要求された処理を実行できません。
説明	Natural アプリケーションは、オブジェクトに用意されていないオペレーションを実行しようとしました。
対処	有効なオペレーションについてドキュメントを参照し、プログラムを修正してください。

NAT4717: データタイプが正しくありません。

テキスト	データタイプが正しくありません。
説明	パラメータ値に使用されている Natural データタイプが、Natural の要求するタイプと一致しません。
対処	タイプの互換性についてドキュメントを参照し、プログラムを修正してください。

NAT4718: フォントが正しくありません。

テキスト	フォントが正しくありません。
説明	STRING 属性に不正なフォントが割り当てられています。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4719: フォントハンドルが正しくありません。

テキスト	フォントハンドルが正しくありません。
説明	FONT-HANDLE 属性がフォントコントロールタイプのオブジェクトを参照していません。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4720: NGU サブプログラムのパラメータに指定された添字または位置の値が正しくありません。

テキスト	NGU サブプログラムのパラメータに指定された添字または位置の値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4721: NGU サブプログラムのパラメータに指定された開始値が正しくありません。

テキスト	NGU サブプログラムのパラメータに指定された開始値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4722: NGU サブプログラムのパラメータに指定された終了値が正しくありません。

テキスト	NGU サブプログラムのパラメータに指定された終了値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4723: text-length パラメータの値が正しくありません。

テキスト	text-length パラメータの値が正しくありません。
説明	text-length パラメータの値が、'start-position' パラメータと 'end-position' パラメータ値の差より小さくなっています。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4724: line-from パラメータの値が正しくありません。

テキスト	line-from パラメータの値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4725: line-to パラメータの値が正しくありません。

テキスト	line-to パラメータの値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4726: column-from パラメータの値が正しくありません。

テキスト	column-from パラメータの値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4727: column-to パラメータの値が正しくありません。

テキスト	column-to パラメータの値が正しくありません。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4728: :'colour-name' パラメータの値が正しくありません。

テキスト	colour-name パラメータの値が正しくありません。
説明	このエラーが発生する属性は、FOREGROUND-COLOUR-NAME または BACKGROUND-COLOUR-NAME です。

対処	許可されている値についてドキュメントを参照し、プログラムを修正してください。

NAT4729: 属性は修正できません。

テキスト	属性は修正できません。
説明	
対処	

NAT4730: Natural がウィンドウを作成できませんでした。

テキスト	Natural がウィンドウを作成できませんでした。
説明	
対処	プログラムをチェックして、十分なシステムリソースがあることを確認します。

NAT4731: Natural がダイアログエレメントを作成できませんでした。

テキスト	Natural がダイアログエレメントを作成できませんでした。
説明	
対処	プログラムをチェックして、十分なシステムリソースがあることを確認します。

NAT4732: メニュー項目の作成に失敗しました。

テキスト	メニュー項目の作成に失敗しました。
説明	設定できるメニュー項目数には、メニューごとに内部的な制限があります。 メニュー項目数を、ユーザーの管理できる数に制限してください。 最大で 7 個ぐらいが適切です。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4733: ハンドル定義内にキーワード **OBJECT** が必要です。

テキスト	ハンドル定義内にキーワード OBJECT が必要です。
説明	非 GUI プラットフォームでは、オブジェクトハンドル (HANDLE OF OBJECT) のみを定義できます。
対処	ハンドル定義をチェックし、修正してください。

NAT4734: オペランド **2** はハンドル変数として定義する必要があります。

テキスト	オペランド 2 はハンドル変数として定義する必要があります。
説明	
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4735: オペランドのフォーマットが整数でないか、または長さが不正です。

テキスト	オペランドのフォーマットが整数でないか、または長さが不正です。
説明	このオペランドのフォーマットは整数である必要があります。 - OPEN DIALOG、SEND EVENT、または CLOSE DIALOG ステートメントのダイアログ ID のフォーマット / 長さが (I4) になっていません。 - CREATE OBJECT または SEND METHOD ステートメントの GIVING オペランドのフォーマット / 長さが (I4) または (I2) になっていません。
対処	オペランドのフォーマット / 日付の定義を修正してください。

NAT4737: パラメータ名が定義されていません。

テキスト	パラメータ名が定義されていません。
説明	パラメータ名が DEFINE DATA PARAMETAR セクションに定義されていません。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4738: ステートメント／変数／定数は、非 **GUI** プラットフォームでは使用できません。

テキスト	ステートメント / 変数 / 定数は、非 GUI プラットフォームでは使用できません。
説明	プログラムには、OPEN DIALOG ステートメントなど、GUI プラットフォームのみに適用できる工レメントが含まれています。
対処	プログラムをチェックして修正します。

NAT4739: 属性値が正しくありません。

テキスト	属性値が正しくありません。
説明	属性に割り当てられた値は、許可されていません。
対処	正しい属性値を割り当ててください。

NAT4740: 指定された属性名に互換性がありません。

テキスト	指定された属性名に互換性がありません。
説明	ダイアログエレメントタイプに許可された属性の集合の中に属性名がありません。
対処	このダイアログエレメントタイプに許可された属性を選択してください。

NAT4741: 指定されたダイアログエレメントタイプが正しくありません。

テキスト	指定されたダイアログエレメントタイプが正しくありません。
説明	ダイアログエレメントタイプが利用可能ではありません。
対処	ドキュメントを参照して、有効なダイアログエレメントタイプを入力してください。

NAT4742: 指定された属性名が正しくありません。

テキスト	指定された属性名が正しくありません。
説明	
対処	ドキュメントを参照して、許可された属性名を選択してください。

NAT4743: 属性を問い合わせてはいけません。

テキスト	属性を問い合わせてはいけません。
説明	このダイアログエレメントタイプでは、この属性の値を問い合わせてはいけません。
対処	プログラムを修正してください。

NAT4744: 属性を修正してはいけません。

テキスト	属性を修正してはいけません。
説明	このダイアログエレメントタイプでは、この属性の値を修正してはいけません。
対処	プログラムを修正してください。

NAT4745: イベントキューがオーバーフローしました。

テキスト	イベントキューがオーバーフローしました。
説明	長時間のユーザーインターフェイスオペレーション中に発生したイベントが多すぎます。 例えば、ユーザーがマウスボタンを長時間押したまま、スクロールバーでスクロールした場合、その時間に発生するタイマーイベントが多くなりすぎます。
対処	ユーザーインターフェイスを使用した処理は、随時中断してください。

NAT4746: ダイアログ定義でフォーマットエラーが発生しました。

テキスト	ダイアログ定義でフォーマットエラーが発生しました。
説明	ダイアログエディタが、ダイアログ定義内にフォーマットエラーを検出しました。 考えられる原因として次のものがあります。 1) 記憶媒体でソースデータが破損している。 2) ソースを別のエディタまたはユーティリティで 編集したために、ソースが誤って生成された。 3) 現在のバージョンと互換性の ないバージョンのダイアログエディタで ダイアログオブジェクトが作成され、 格納された。
対処	1) Natural 開発環境をアップグレードします。 2） 継続という選択肢が表示されている場合は、作業の継続が可能です。

NAT4747: ダイアログソース内の **:1:** 行でフォーマットエラーが発生しました。

テキスト	ダイアログソース内の :1: 行でフォーマットエラーが発生しました。
説明	ダイアログエディタが、ダイアログソース内のこの行にフォーマットエラーを検出しました。 考えられる原因として次のものがあります。 1) 記憶媒体でソースデータが破損している。 2) ソースを別のエディタまたはユーティリティで 編集したために、ソースが誤って生成された。 3) 現在のバージョンと互換性の ないバージョンのダイアログエディタで ダイアログオブジェクトが作成され、 格納された。
対処	1) Natural 開発環境をアップグレードします。 2） 継続という選択肢が表示されている場合は、作業の継続が可能です。

NAT4748: XREF 要求は **Natural Security** によって許可されていません。

テキスト	XREF 要求は Natural Security によって許可されていません。
説明	Natural Security 環境の XREF では、Natural Security プロファイルで 定義されているよりも詳細な設定のみ可能です。 次の表に正しい組み合わせを示します。 (正しい組み合わせは '+' のマークで示しています) Natural I XREF コマンドによる要求 Security I プロファイル I の定義 I OFF ON FORCE -------------+------------------------------

	OFF I + + + ON I - + + FORCE I - - +
対処	データをチェックして、エラーを修正してください。 または、データベース管理者に連絡して、セキュリティプロファイルの 修正を依頼してください。

NAT4749: DBID=0 では処理できません。

テキスト	DBID = 0 では関数を利用できません。
説明	Natural クロスリファレンスを生成するには、Natural システムファイル (モジュールの格納先) の DBID がゼロ以外の値である必要があります。
対処	DBA に連絡して、正しい Natural パラメータモジュールを生成するか、 Natural を呼び出してデータベース ID の値をダイナミックに上書きするように 要請してください。

NAT4750: 入力データが不正です。

テキスト	入力データが不正です。
説明	不正なデータがフィールドに指定されました。
対処	正しい入力データを指定してください。

90 Natural システムエラーメッセージ 4751〜4800

NAT4751: :1: を入力しなければなりません。

テキスト	. . . を入力しなければなりません。
説明	
対処	. . . を入力してください。

NAT4752: OCX コントロールが認識されませんでした。

テキスト	OCX コントロールが認識されませんでした。
説明	このクラスは、OCX コントロールとして認識されていません。
対処	OLE コントロールがシステムレジストリに入力されており、 ライセンスファイルがシステムに存在していることを確認してください。

NAT4753: サポートされていないフォーマットです。

テキスト	サポートされていないフォーマットです。
説明	このフォーマットは Natural ではサポートされていません。

対処	プログラムを修正してください。

NAT4754:ユーザーメモリ不足のため、ウィンドウ／ダイアログエレメントを生成できません。

テキスト	ユーザーメモリ不足のため、ウィンドウ / ダイアログエレメントを生成できません。
説明	この現象は、Windows 3.x および Windows 9x で発生し、 Windows NT では発生しません。 Windows 3.x および Windows 9x では、 ウィンドウデータの全部または一部が、16 ビットのユーザーモジュールで管理されています。 このため、システム全体で保持できるウィンドウデータ量は、 コンピュータにインストールされているメモリ量に関係なく、64 KB に制限されます。 開いているすべてのウィンドウ / ダイアログエレメントはユーザーメモリをすでに消費しているため、 この制限は、任意に開くことのできるウィンドウの数および複雑性を 制限することになります。 ユーザーメモリの空き容量がクリティカルレベルを下回ると、 Windows がハングしたり、アプリケーションがクラッシュしたりする場合があります。 これを回避するため、Natural では、 (書き込み時に) 利用できるメモリが総ユーザーメモリの 15 %より少なくなると ウィンドウまたはダイアログエレメントが作成されなくなります。 Windows NT の場合、ウィンドウマネージャは 32 ビットコードで記述されているため、 この 64 KB の制限は受けないことに注意してください。
対処	アプリケーションのウィンドウを閉じて、失敗した操作をやり直してください。

NAT4755: ウィンドウマネージャ属性のスタックオーバーフロー

テキスト	ウィンドウマネージャ属性のスタックオーバーフロー
説明	属性データを格納する内部スタックがオーバーフローしました。 考えられる原因は、同時に開かれている 'ダイアログボックス' スタイルの ダイアログが多すぎることです。
対処	同時に開くダイアログボックスの数を減らすように、コードを書き換えてください。

NAT4756: ActiveX コントロールのメソッド／イベントパラメータ **:1:** は変換されません。

テキスト	ActiveX コントロールのメソッド / イベントパラメータ ... は変換されません。

説明	ActiveX コントロールのメソッドに、パラメータとして渡された値は、 ActiveX コントロールで必要なフォーマットに変換できませんでした。 ActiveX コントロールのメソッドからパラメータとして受け取った値は、 Natural ダイアログで必要なフォーマットに変換できませんでした。 ActiveX コントロールのイベントからパラメータとして受け取った値は、 Natural イベントハンドラで必要なフォーマットに変換できませんでした。 Natural イベントハンドラのパラメータとして ActiveX コントロールに戻された値は、 ActiveX コントロールで必要なフォーマットに変換できませんでした。
対処	Natural ドキュメントおよびオンラインヘルプに、 Natural データフォーマットと ActiveX コントロールのデータフォーマットの正しい組み合わせを示した表が含まれています。 これらの表を調べて、一致する Natural データフォーマットを選択してください。

NAT4757: ActiveX コントロールのプロパティ値または戻り値は変換されません。

テキスト	ActiveX コントロールのプロパティ値または戻り値は変換されません。
説明	ActiveX コントロールにプロパティ値として渡された値は、 ActiveX コントロールで必要なフォーマットに変換できませんでした。 ActiveX コントロールからプロパティ値として受け取った値は、 Natural ダイアログで必要なフォーマットに変換できませんでした。 ActiveX コントロールのメソッドから戻り値として受け取った値は、 Natural ダイアログで必要なフォーマットに変換できませんでした。
対処	Natural ドキュメントおよびオンラインヘルプに、 Natural データフォーマットと ActiveX コントロールのデータフォーマットの正しい組み合わせを示した表が含まれています。 これらの表を調べて、一致する Natural データフォーマットを選択してください。

NAT4758: ActiveX コントロールが例外 **:1:: :2:** を発生させました。

テキスト	ActiveX コントロールが例外 ...: ... を発生させました。
説明	ActiveX コントロールは、メッセージに示された番号およびテキストで例外を発生させました。
対処	どのような条件下でこの例外が発生したかを調べるため、 ActiveX コントロールのドキュメントを参照してください。

NAT4759: ActiveX コントロールはエラーコード **:1:: :2:** を返しました。

テキスト	ActiveX コントロールはエラーコード ...: ... を返しました。
説明	ActiveX コントロールは、メッセージに示された番号およびテキストでエラーを返しました。
対処	どのような条件下でこのエラーコードが返されたかを調べるため、 ActiveX コントロールのドキュメントを参照してください。

NAT4760: ハンドル変数またはダイナミック変数は再定義できません。

テキスト	ハンドル変数またはダイナミック変数は再定義できません。
説明	HANDLE または DYNAMIC タイプの変数を再定義しないでください。 また、再定義の結果を HANDLE または DYNAMIC 変数にすることもできません。
対処	変数の定義を修正してください。

NAT4761: 要求されたアクションは現在のコンテキスト内では使用できません。

テキスト	要求されたアクションは現在のコンテキスト内では使用できません。
説明	要求されたアクションが利用できるかどうかは、指定されたオブジェクト（ある場合）の現在の状態 または現在のプログラムの状態によって決まります。 現在の状態では、要求されたアクションは実行できません。
対処	プログラムをチェックして、有効なコンテキストでのみ要求が行われるようにしてください。

NAT4800: 正しいファンクションコードを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコードを入力してください。
説明	
対処	正しいファンクションコードを入力してください。

91 Natural システムエラーメッセージ 4801～4850

NAT4801: 処理はソースプログラムのみに適用されます。

テキスト	処理はソースプログラムのみに適用されます。
説明	選択された機能はオブジェクトプログラムではなく、ソースプログラムのみに使用することができます。
対処	正しい機能を入力してください。

NAT4802: ライブラリタイプは '**S**' または '**O**' のみです。

テキスト	ライブラリタイプは 'S' または 'O' のみです。
説明	正しいライブラリタイプは、ソースが 'S'、オブジェクトが 'O' です。
対処	正しいライブラリタイプを入力してください。

NAT4803: 不正なオブジェクトが指定されました。

テキスト	不正なオブジェクトが指定されました。
説明	次のオブジェクト・コードのみが有効です。 A - プログラム、マップ、およびデータエリア V - Natural ビュー (DDM) P - エディタ、マップ、およびデバイスのプロファイル E - ユーザーおよびシステムのエラーメッセージテキスト 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。

対処	正しいコードを入力してください。

NAT4804: 正しいライブラリ **ID** を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ ID を入力してください。
説明	LIST、COPY、MOVE、DELETE の各機能に 対する正しいライブラリ ID を入力してください。
対処	正しいライブラリ ID を入力します。

NAT4805: 正しいコマンドコードを入力してください。

テキスト	正しいコマンドコードを入力してください。
説明	正しいコマンドコードは次のとおりです。 P 個々のプログラムの選択 * 選択メニュー ? ヘルプ情報 . 終了 空白 メニューに戻る
対処	正しいコマンドコードを入力します。

NAT4806: プログラム名を入力してください。

テキスト	プログラム名を入力してください。
説明	P コマンドで個々のプログラムを指定する場合は、正しいプログラム名を 入力してください。
対処	正しいプログラム名を入力してください。

NAT4807: 正しいデータベース **ID** を入力してください。

テキスト	正しいデータベース ID を入力してください。

説明	SYSMAIN 機能では正しいデータベース ID を指定しなければなりません。 指定できるデータベース番号は次のとおりです。 0 ：デフォルトのデータベース 1～253 ：特定のデータベース
対処	正しいデータベース番号を入力してください。

NAT4808: 不正な '新しい名前' が指定されました。

テキスト	不正な '新しい名前' が指定されました。
説明	ライブラリ (アプリケーション) またはプログラム、あるいはその両方、 データエリア、およびマップに名前を指定するときには、その名前は Natural の命名規則に従っている必要があります。
対処	指定したライブラリまたはオブジェクトの名前をチェックし、修正してください。

NAT4809: システムファイル番号を入力してください。

テキスト	システムファイル番号を入力してください。
説明	MOVE および COPY コマンドでは、1 から 255 までのシステムファイル番号を 指定してください。
対処	正しいシステムファイル番号を入力してください。

NAT4810: 選択条件により全データが拒否されました。

テキスト	選択条件により全データが拒否されました。
説明	処理のために最初に選択されたデータがすべて拒否されました。 拒否が発生する理由はいくつか考えられます。例えば、 1) オブジェクトタイプが、指定されたオブジェクトタイプと一致しませんでした。 2) 指定されたデータ範囲内にデータがありませんでした。 3) 内部サブルーチン名が別のオブジェクト名としてすでに存在していたので、 サブルーチンが処理できませんでした。 4) REPLACE オプションが 'NO' に設定され、 ターゲットライブラリにオブジェクト名がすでに存在していたため、 オブジェクトのコピー / 移動 / 名前変更ができませんでした。 5) RECAT オプションが 'ON' では、保存されたオブジェクトが 存在している場合には、カタログ化オブジェクトのみを処理できます。 6) RECATオプションが 'ON' では、すでに存在しているカタログ化 オブジェクトと別に、保存されたオブジェクトを処理することはできません。

対処	正常に終了しましたが、指定した 選択条件を確認してください。

NAT4811: 同じ環境に 'コピー／移動' はできません。

テキスト	同じ環境に 'コピー / 移動' はできません。
説明	MOVE および COPY 機能では常に、異なる ソース / ターゲット環境を指定しなければなりません (異なる DBID/FNR や異なるライブラリを指定します)。 ただし言語コードが異なれば、エラーテキスト、アプリケーション、 DBID、ファイル番号、およびファイル名 (FCT) が、 ソース環境とターゲット環境で同じでもかまいません。
対処	異なるターゲットライブラリ、または異なるシステムファイルを入力してください。

NAT4812: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	名前のリスト処理中に内部エラーが発生しました。
対処	エラーの内容を書き留めてから、Software AG に連絡してください。

NAT4813: 移動／コピー 操作が実行されました。

テキスト	'移動 / コピー' 操作が実行されました。
説明	要求された MOVE/COPY 機能が正常に実行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4814: 不正なオブジェクトタイプが指定されました。

テキスト	不正なオブジェクトタイプが指定されました。
説明	正しくないオブジェクトタイプが 1 つ以上要求されました。 要求する機能に応じて、指定できるオブジェクトタイプが異なります。 プログラム、データエリア、またはマップを処理するときに指定できる オブジェクトタイプコードは、S、N、P、G、L、A、H、C、M、T、Z です。 プロファイルの処理では E、M、D、P を、 エラーメッセージの処理では S、L を指定できます。 オブジェクトタイプコード '*' はすべてのタイプを示します。

対処	コードをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4815: ユーザーの要求によって処理が終了しました。

テキスト	ユーザーの要求によって処理が終了しました。
説明	機能の処理中に、ユーザーが処理を中断しました (PF キー、または 'プログラム中断 / テスト要求' キーを押すこと、または前画面で '.' を入力することによって)。
対処	正常に終了しました。 対処は必要ありません。

NAT4816: 不正な日付または時刻が指定されました。

テキスト	不正な日付または時刻が指定されました。
説明	指定された日付または時刻が正しくありません。 (Natural ドキュメントに記載されているように) 日付フォーマットは、 Natural プロファイルパラメータ DTFORM で指定したフォーマットと一致していなければなりません。 月の範囲は 1~12 でなければいけません。 そして、日付は月に対応していなければなりません (閏年を含む)。 時刻フォーマットは HH:II でなければなりません。
対処	指定した日付と時刻をチェックして、 フォーマットと範囲の指定が正しいことを確認してください。

NAT4817: 日付の範囲に誤りがあります。 **TO DATE** は **FROM DATE** より大きくなければなりません。

テキスト	日付の範囲に誤りがあります。 TO DATE は FROM DATE より大きくなければなりません。
説明	FROM DATE は論理的に TO DATE より大きくなってはなりません。
対処	日付をチェックし、FROM - TO の範囲を正しく指定してください。

NAT4818: ライブラリが正常にリストされました。

テキスト	ライブラリが正常にリストされました。
説明	特定のライブラリをリストするように要求されました。 正常に終了した場合は、その要求の最後にこのメッセージが表示されます。
対処	対処は必要ありません。

NAT4819: 選択コードの指定が不正です。

テキスト	選択コードの指定が不正です。
説明	選択画面で指定された 1 つ以上のコードが正しくありません。 正しいコードは次のとおりです。 I - ディレクトリ情報 (カタログ化オブジェクトと保存オブジェクトのいずれか、または両方) L - ソースのリスト (保存オブジェクトのみ) H - ソースの印刷 (保存オブジェクトのみ) C - カタログ化オブジェクトのみに対する、指定された機能の実行 S - オブジェクトソースのみに対する、指定された機能の実行 A - カタログ化オブジェクトまたは保存オブジェクト、 あるいはその両方に対する、指定された機能の実行。 このコードは、保存オブジェクトのみ、またはカタログ化 オブジェクトのみが存在する場合にも使用できます。 プロファイルパラメータ RECAT が 'ON' に設定されている場合は、 コード 'C' も無効です。
対処	選択をチェックし、強調表示されたエラーを修正してください。

NAT4820: 選択したプログラムは存在しません。

テキスト	選択したプログラムは存在しません。
説明	指定されたライブラリに、選択したプログラムが存在しません。
対処	プログラム名とライブラリ名をチェックしてください。

NAT4821: ダイナミックな再カタログの要求が不正です。

テキスト	ダイナミックな再カタログの要求が不正です。
説明	パラメータ RECAT が 'ON' に設定 されている環境では正しくない要求が行われました。 ダイナミックな再カタログがアクティブになっている環境では、カタログ化 オブジェクトと保存オブジェクトをまとめて処理する必要があります。 唯一の例外は、保存オブジェクトが存在し、それに対応するカタログ化オブジェクトがない場合 (コピーコードなど)のみです。
対処	選択した要求をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4822: RENAME 要求が正しくありません。

テキスト	RENAME 要求が正しくありません。
説明	指定した選択条件では、要求した RENAME 機能が実行できません。 選択リスト、オブジェクト名、新規名称のいずれか、 あるいは複数が互いに適合しません。 バッチモードでは、オブジェクト名に範囲指定が 使用された場合にこのエラーが発生します。
対処	選択条件をチェックして、エラーを修正します。 必要な場合は、Natural の管理者に連絡してください。

NAT4823: オプションに正しくない選択コードが指定されました。

テキスト	オプションに正しくない選択コードが指定されました。
説明	SYSMAIN のライブラリ選択画面では、 処理中に次の追加オプションを指定できます。 L - ライブラリ内の全オブジェクトをリストします。 S - ライブラリ内の全外部サブルーチン名をリストします。 ? - ヘルプ情報 . - 現在の処理を終了します。
対処	選択条件をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4824: 要求したオプションの処理が正常終了しました。

テキスト	要求したオプションの処理が正常終了しました。
説明	SYSMAIN 機能を正常実行中、他にいくつかのオプションを実行できます。 例えば、 - ディレクトリ情報をリストします。 - ライブラリ内の全サブルーチンを名前順にリストします。 - 特定の保存オブジェクトをリストします。 要求したオプションの処理が正常終了しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4825: 入力コマンド文字列が長すぎます。

テキスト	入力コマンド文字列が長すぎます。
説明	バッチでもオンラインでも、ダイレクトコマンドで SYSMAIN を呼び出すときに、 1 つのコマンド文字列で渡すことのできる最大項目数は 36 です。 これより多い数が SYSMAIN で 検出された場合、処理は終了します。
対処	SYSMAIN に指定したコマンド文字列を チェックし、文字列内の項目数を減らしてください。

NAT4826: データは数値ではありません。

テキスト	データは数値ではありません。
説明	SYSMAIN コマンド行のパラメータ DBID、FNR、または SETNO の日付を処理中に、数値でないデータが見つかりました。 DBID、FNR、および SETNO の値は次のようなフォーマットでなければなりません。 FNR n DBID n SETNO n ('n' は 1～3 桁の数値 (SENTO は 1～2 桁の数値))
対処	コマンド行をチェックして、指定したデータの文字列を修正してください。

NAT4827: XREF インジケータは、'**N**'、'**Y**'、'**F**'、または '**S**' である必要があります。

テキスト	XREF インジケータは、'N'、'Y'、'F'、または 'S' である必要があります。
説明	Predict では、クロスリファレンスインジケータを 次の値のいずれかに設定できます。 N - No (オブジェクトが削除されたら XREF 情報を削除) Y - Yes (全 XREF 情報を維持) F - Force (Predict のプログラムエントリを検査し、全 XREF 情報を維持) S - Special (XREF 情報が存在する場合は処理するが、 XREF データの存在は検索条件ではありません) Natural Security では、XREF インジケータは '上位' の設定にのみ変更できます。例えば、'Y' の場合は 'F' に変更できますが 'N' にはできません。
対処	関連するフィールドをチェックし、エラーを修正してください。

NAT4828: サブルーチンの 'コピー／移動／名前変更' が正しくありません。

テキスト	サブルーチンの 'コピー / 移動 / 名前変更' が正しくありません。
説明	コピー / 移動 / 名前変更されるサブルーチン名がすでに、 関連付けられたターゲットライブラリに存在しています。 カタログ化オブジェクトでは、1 つのライブラリに、 重複するサブルーチン名が存在することはできないため、 この機能は正しくありません。
対処	関連するオブジェクトをチェックし、エラーを修正してください。

NAT4829: 不正な機能が要求されました。

テキスト	不正な機能が要求されました。
説明	要求された機能が正しくないか、 またはまだ実装されていません。
対処	要求された機能をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4830: SCAN と '**REPLACE**' の値は異なっていなければなりません。

テキスト	'SCAN' と 'REPLACE' の値は異なっていなければなりません。
説明	SCAN VALUE フィールドと REPLACE VALUE フィールドに、 同じ値または文字列が含まれています。
対処	SCAN VALUE または REPLACE VALUE を変更して、 同じ値が含まれないようにしてください。

NAT4831: 指定されたオブジェクトタイプで '**REPLACE**' オプションを使用してはなりません。

テキスト	指定されたオブジェクトタイプで 'REPLACE' オプションを使用してはなりません。
説明	Natural は様々な機能に対して多数の異なるオブジェクトタイプを使用します。 REPLACE の影響が Natural 環境の活動に重大なかかわりを持つことがあるので、 SCAN の REPLACE オプション使用時には指定できないオブジェクトタイプがあります。 REPLACE オプションで指定できないオブジェクトタイプは G (グローバルデータ) 、L (ローカルデータ) 、A (パラメータデータ) 、およびM (マップ) です。 ライブラリ全体をスキャンした場合、 上記のオブジェクトタイプはリストされるのみで、編集はされません。 ただし、SCAN で E または EDT コマンドを 発行してオブジェクトを編集することはできます。
対処	REPLACE VALUE フィールドの値を除去するか、NULL REPLACE を 'N' に設定するか、 または別のオブジェクトタイプを指定してください。

NAT4832: オブジェクトタイプに対して '**?**' は要求できません（バッチの場合のみ）。

テキスト	オブジェクトタイプに対して '?' は要求できません (バッチの場合のみ) 。
説明	? は、TP 環境でのみ SCAN ユーティリティの Object Type フィールドに指定でき、バッチ環境では指定できません。
対処	バッチモードで SCAN ユーティリティを使用する前に、 Object Type パラメータの正しい設定を決定してください。

NAT4833: 正しいオブジェクトタイプを入力してください。

テキスト	正しいオブジェクトタイプを入力してください。
説明	オブジェクトタイプに指定したコードが正しくありません。 正しい値は次のとおりです。 A、C、G、H、L、M、N、P、S、*、?、空白 '?' では、リストから正しいコードを選択できます。 '*' または ' '(空白)では、ライブラリ内の 全オブジェクトタイプがスキャンされます。 詳細については、Natural ドキュメントを参照するか、SCAN の ヘルプ機能を使用するか、または Natural 管理者に確認してください。
対処	正しいオブジェクトタイプを入力します。

NAT4834: 正しいファンクションコードを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコードを入力してください。
説明	誤ったファンクションコードが入力されました。 正しいファンクションコードは、'S'、'.'、および '?' です。
対処	ファンクションコードを修正して続行してください。

NAT4835: ライブラリは空白にできません。

テキスト	ライブラリは空白にできません。
説明	SCAN は一度に 1 つのライブラリのみをスキャンします。 そのため、正しいライブラリ名、または適切なアプリケーション名 (Natural Security)を指定する必要があります。
対処	正しいライブラリ名 / アプリケーション名を指定してください。

NAT4836: 内部エラー **'edit' :0000 -** データベース管理者に連絡してください。

テキスト	内部エラー 'edit' :0000 - データベース管理者に連絡してください。

説明	SCAN/REPLACE を実行する前に SCAN はオブジェクトを編集しなければなりません。 オブジェクトの編集中にエラーを 受け取った場合、SCAN はエラーで終了します。 - ERROR : 0000。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT4837: 内部エラー **'scan' :0000 -** データベース管理者に連絡してください。

テキスト	内部エラー 'scan' : 0000 - データベース管理者に連絡してください。
説明	SCAN によるオブジェクトの編集中にエラーが検出されました。 SCAN はエラーで終了します。 ERROR : 0000。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT4838: RENAME 機能に対し新しい名前を入力してください。

テキスト	RENAME 機能に対し新しい名前を入力してください。
説明	RENAME 機能では、新しいプログラム名を指定する必要があります。
対処	新しいプログラム名を入力してください。

NAT4839: 指定されたライブラリはセキュリティ定義により保護されています。

テキスト	指定されたライブラリはセキュリティ定義により保護されています。
説明	Natural Security プロファイルが SCAN/REPLACE を許可していない ライブラリ / アプリケーションに対し、SCAN/REPLACE を実行しようとしました。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4840: 正しいコマンド（**?** 空白 **E EDT I L LET LIST Q .**）を入力してください。

テキスト	正しいコマンド (? 空白 E EDT I L LET LIST Q .) を入力してください。

説明	正しいコマンドは次のとおりです。 Q または . SCAN/REPLACE 処理を中断してメニューに戻ります。 E フルスクリーンエディタを呼び出してオブジェクトを編集します。 EDT ラインエディタを呼び出してオブジェクトを編集します。 I 現在のオブジェクトへの処理を無視 して次のオブジェクトに進みます。 修正内容は一切保存されません。 L または LIST 現在 SCAN/REPLACE 中のオブジェクトをリストします。 LET 最後に Enter キーを押して以降に 行われた編集中の修正はすべて無視します。 空白 通常の処理を続けます。 ? または PF1 SCAN のヘルプ機能を呼び出します。 PF2 SCAN/REPLACE 処理を中断して メニューに戻ります。 PF3 SCAN/REPLACE 処理を中断して 直前の機能に戻ります。
対処	正しいコマンドを入力するか、または正しい PF キーを押してください。

NAT4841: SCAN/REPLACE がユーザーによって終了されました。

テキスト	'SCAN/REPLACE' がユーザーによって終了されました。
説明	ユーザーが SCAN の終了を要求して、メニューに戻りました。 SCAN/REPLACE は完了しませんが、終了を要求する前に行われた修正はすべて保存されます。
対処	対処は必要ありません。

NAT4842: SCAN/REPLACE がユーザーによって中断されました。

テキスト	'SCAN/REPLACE' がユーザーによって中断されました。
説明	SCAN/REPLACE 操作をユーザーが終了しました。 現在処理中のオブジェクトに対して行われた修正はすべて失われてしまいます。 メニューに戻ります。
対処	ユーザーの要求によって終了したので対処の必要はありません。

NAT4843: SCAN/REPLACE が正常に終了しました。

テキスト	'SCAN/REPLACE' が正常に終了しました。

説明	SCAN/REPLACE 処理に指定された選択条件の処理が正常に終了しました。 処理が正常に終了して、メニューに戻ります。
対処	対処は必要ありません。

NAT4844: スキャン対象値は空白にはできません。

テキスト	スキャン対象値は空白にはできません。
説明	SCAN VALUE フィールドに値または文字列を 指定しないと、SCAN 操作を実行できません。
対処	SCAN VALUE フィールドに値または文字列を入力してください。

NAT4845: オブジェクト **<object>** の処理中に **Natural** エラー **NATnnnn** を受け取りました。

テキスト	オブジェクト <object> の処理中に Natural エラー NATnnnn を受け取りました。
説明	あるオブジェクトに SCAN または REPLACE を 実行しているときに、SCAN が Natural エラーコードを 受け取った場合、エラーが発生したときに処理していた オブジェクト名と Natural エラーコードが返されます。 例えば次のようなコードが同時に返されます。 NAT0082 - 選択したオブジェクトが SCAN の前に削除されました。 NAT3148 - SCAN 処理中にデータベースが終了しました。
対処	「? nnnn」を入力して、エラーメッセージ NATnnnn の説明を参照してください。 必要に応じて、データベース管理者に 連絡して詳細を尋ねてください。

NAT4846: REPLACE 操作はセキュリティ定義により制限されています。

テキスト	'REPLACE' 操作はセキュリティ定義により制限されています。
説明	REPLACE 操作を Natural Security 環境で実行するには、 適切なユーザー / アプリケーションプロファイルで、 READ、SAVE、(および EDIT または EDT) が許可されている必要があります。
対処	Natural Security 管理者に連絡して、 SCAN の実行中に有効なセキュリティプロファイルを見直してください。

NAT4847: オブジェクトタイプはセキュリティ定義で保護されています。

テキスト	オブジェクトタイプはセキュリティ定義で保護されています。
説明	Natural は様々な機能に対して多数の異なるオブジェクトタイプを使用します。 例えば、'P'（プログラム）、'N'（サブプログラム）、'G'（グローバルデータエリア）を使用します。 SCAN 機能に特定のオブジェクトタイプを入力すると、SCAN はセキュリティ定義を チェックして、ユーザーがそのオブジェクトタイプにアクセスできるかどうかを確認します。
対処	Natural Security 管理者に連絡して、 SCAN の処理時に有効な Natural Security プロファイルを見直してください。

NAT4848: プログラム／モジュールのステータスが正しく出力されました。

テキスト	プログラム / モジュールのステータスが正しく出力されました。
説明	指定された検索条件に合ったユーザーのライブラリにある プログラム / モジュールのステータス情報が正しく出力されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4849: 日付指定が正しくありません。

テキスト	日付指定が正しくありません。
説明	入力された日付が正しくありません。 データは、国際式の日付形式（YY-MM-DD）で入力する必要があります。
対処	正しい形式で正しい日付を入力してください。

NAT4850: 範囲の指定が正しくありません。

テキスト	範囲の指定が正しくありません。
説明	検索条件の範囲が正しく指定されていません。 開始値は終了値以下でなければなりません。

対処	エラーを修正してください。

92 Natural システムエラーメッセージ 4851～4900

NAT4851: 指定された検索条件に合うプログラム／モジュールが見つかりません。

テキスト	指定された検索条件に合うプログラム / モジュールが見つかりません。
説明	ユーザーのライブラリに、指定された検索条件 に合うプログラム / モジュールがありません。
対処	データをチェックして、より正確に検索条件を指定してください。

NAT4852: セキュリティ定義により処理が許されていません。

テキスト	セキュリティ定義により処理が許されていません。
説明	要求した機能は、Natural Security のアプリケーションプロファイルにより禁止されています。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4853: ライブラリにモジュールが見つかりません。

テキスト	ライブラリにモジュールが見つかりません。
説明	SIZE コマンド実行中、検索条件に一致するモジュールは見つかりませんでした。

対処	モジュール名をチェックしてください。

NAT4854: SIZE 操作はセキュリティ定義により制限されています。

テキスト	'SIZE' 操作はセキュリティ定義により制限されています。
説明	Natural Security 環境で SIZE コマンドを実行するには、EXECUTE コマンドの使用が許可されている必要があります。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4855: 指定した **'SCAN'** 条件に一致するオブジェクトが見つかりませんでした。

テキスト	指定した 'SCAN' 条件に一致するオブジェクトが見つかりませんでした。
説明	SCAN では指定された条件に従ってのみ処理し、 指定された条件を満たすオブジェクトのみが表示されます。 そのようなオブジェクトが見つからない場合はメニューに戻ります。
対処	SCAN が正常終了したため、対処は必要ありません。

NAT4856: RENAME 機能のフィールドの組み合わせが正しくありません。

テキスト	RENAME 機能のフィールドの組み合わせが正しくありません。
説明	SYSMAIN の 'RENAME' 機能で、Object Name フィールドに 特定の名前を入力したときには、新しい名前も入力しなければなりません。 一方、'?'、'<'、'>'、または '*' を使用した範囲指定記号を使用できますが、 その場合は新しい名前を指定できません。
対処	指定値をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4857: ファイルタイプが指定したファイルに有効ではありません。

テキスト	ファイルタイプが指定したファイルに有効ではありません。
説明	SYSMAIN では、特定のファイルタイプのみをサポートしています。 ファイルタイプは、ソースファイルおよびターゲットファイルに指定した DBID と FILE 番号で決定されます。 正しいファイルタイプについては、 関連する Natural ドキュメントを参照してください。

対処	指定された DBID および FILE 番号をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4858: ライブラリへのアクセスは許されていません。

テキスト	ライブラリへのアクセスは許されていません。
説明	Natural Security で SYSMAIN ユーティリティを使用するとき、 別のユーザーの 'プライベートライブラリ' にアクセスすることは許されません。 ユーザー自身の (プライベート) ライブラリへのアクセスのみが許されます。 このエラーの原因は次のとおりです。 - ユーザーが LIST/FIND 機能を実行して、プライベートライブラリを選択しようとしました。 - ユーザーが COPY/MOVE/DELETE/RENAME 機能を実行して、プライベートライブラリを ソース / ターゲットライブラリとして指定しました。
対処	使用を許可されているライブラリのみを使用してください。

NAT4859: 新しい '**RENAME**' データは異なるものでなければいけません。

テキスト	新しい 'RENAME' データは異なるものでなければいけません。
説明	SYSMAIN の RENAME 機能を使用する場合、 (保存またはカタログされた) オブジェクト、プロファイル、 またはビューの新旧のデータが同じであってはなりません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4860: 正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。

テキスト	正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。
説明	適切なフィールドに正しいファンクションコード、 または正しいコマンドを入力しなければなりません。
対処	正しいファンクションコード、または正しいコマンドを入力してください。

NAT4861: 正しいライブラリ名を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ名を入力します。
説明	ライブラリ名を指定しなければなりません。
対処	指定したライブラリ名をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4862: ライブラリ名に不正な文字があります。

テキスト	ライブラリ名に不正な文字があります。
説明	正しいライブラリ名を指定しなければなりません。 値の範囲を示すアスタリスク (*) や疑問符 (?) は使用できません。
対処	正しいライブラリ名を入力します。

NAT4863: データベース **ID** は **0**〜**253** です。

テキスト	データベース ID は 0~253 です。
説明	正しいデータベース ID (DBID) を指定しなければなりません。 正しい DBID は次のとおりです。 0 - デフォルトのデータベース 1~253 - 特定のデータベース
対処	正しいデータベース ID を入力します。

NAT4864: ファイル番号は **1**〜**255** でなければなりません。

テキスト	ファイル番号は 1~255 でなければなりません。
説明	1 から 255 までの範囲の正しいシステムファイル番号を指定しなければなりません。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT4865: Natural システムファイルのタイプが正しくありません。

テキスト	Natural システムファイルのタイプが正しくありません。
説明	システムファイル ID に対して誤った値が入力されました。 正しい値は次のとおりです。 A - Adabas システムファイル V - VSAM システムファイル
対処	システムファイルのタイプとして、「A」または「V」を入力してください。

NAT4866: ファイルに指定した名前が正しくありません。

テキスト	ファイルに指定した名前が正しくありません。
説明	Natural システムファイルが Adabas ファイルでない場合、 アクセスするシステムファイル名を指定しなければなりません。 これは、次のようなシステムファイルタイプに適用されます。 V - VSAM 2- DB2 U- USER D - DL/I S - SESAM
対処	Name フィールドに値を入力してください。

NAT4867: この選択条件では何も見つかりません。

テキスト	この選択条件では何も見つかりません。
説明	指定した選択条件に合ったデータが見つからなかったか、 または選択画面で、実行する処理が 1 つも要求されませんでした。 これは通常の終了メッセージです。
対処	対処は必要ありません。

NAT4868: 機能が正しく実行されました。

テキスト	機能が正しく実行されました。
説明	機能が正常終了し、選択した全データが正しく処理されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4869: 処理されなかったモジュール／プログラムがあります。

テキスト	処理されなかったモジュール / プログラムがあります。
説明	指定されたモジュール / プログラムの一部で、機能が実行されませんでした。 選択メニューで指定されたモジュールが 途中で別のユーザーによって削除されたか、 または REPLACE オプションが 'NO' に設定されていたために モジュール / プログラムを上書きできませんでした。
対処	エラーを修正してください。

NAT4870: コマンド行に構文エラーがあります。

テキスト	コマンド行に構文エラーがあります。
説明	コマンドの処理中、コマンド行の評価時に構文エラーが検出されました。 処理するコマンドが正しいコマンドではありませんでした。 存在しないコマンドを入力したか、またはコマンドを誤って 指定しました (パラメータの順番が正しくない、等)。 処理する実際のコマンドは、エラーメッセージの最後に、 カッコに囲んで表示できます。
対処	コマンド行をチェックし、エラーを修正してください。

NAT4871: 誤ったオブジェクト名が指定されました。

テキスト	誤ったオブジェクト名が指定されました。
説明	処理を続ける前に、正しいオブジェクト名を 'Object Name' フィールドに 入力しなければいけません。

対処	データをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4872: オブジェクトに対して **XREF** 情報が見つかりません。

テキスト	オブジェクトに対して XREF 情報が見つかりません。
説明	XREF インジケータは 'Y' または 'F' に設定されていますが、 指定された Predict (FDIC) ファイルには、現在処理中のオブジェクトの XREF (クロスリファレンス) 情報が含まれていません。
対処	指定された FDIC ファイル、XREF インジケータ、およびエラーに なったオブジェクトの XREF 情報のステータスをチェックしてください。

NAT4873: ライブラリが正しくリストされました。

テキスト	ライブラリが正しくリストされました。
説明	指定した検索条件に合ったライブラリが正しくリストされました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4874: 選択した番号は範囲内にありません。

テキスト	選択した番号は範囲内にありません。
説明	選択メニューに表示された番号のみを選択できます。
対処	正しい番号を入力します。

NAT4875: プログラムが存在しません。

テキスト	プログラムが存在しません。
説明	選択した番号のプログラムが存在しません。
対処	別の番号を選択してください。

NAT4876: ライブラリが見つかりません。

テキスト	ライブラリが見つかりません。
説明	検索条件に合うライブラリが見つかりません。
対処	検索条件を確認してください。

NAT4877: プログラムが正しくリストされました。

テキスト	プログラムが正しくリストされました。
説明	Natural プログラムが正しくリストされました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4878: セキュリティ定義により許可されていません。

テキスト	セキュリティ定義により許可されていません。
説明	Natural Security 環境でこの機能を実行するには、 次のいずれかの条件を満たす必要があります。 - 処理するライブラリがユーザーの 'プライベートライブラリ' である。 - 処理するライブラリがパブリックライブラリである。 - 処理するライブラリが人に対して保護されたライブラリで、ユーザーは そのライブラリの '所有者' である (共同所有者がいれば、カウンタ承認を 得る必要がある) 。 さらに、対応する Natural コマンド SAVE、CATALOG、STOW、SCRATCH、 PURGE、UNCATALOG の使用が、そのライブラリで許可されていなければなりません。
対処	この機能を使用しないでください。 または Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT4879: バッチ処理で範囲指定はできません。

テキスト	バッチ処理で範囲指定はできません。
説明	バッチモードでダイレクトコマンドを介して SYSMAIN ユーティリティの RENAME 機能を使用するときは、'*' や '?' 記号を 使用してモジュール / プログラムの範囲を指定してはなりません。

対処	バッチモードでは '*' や '?' 記号を使用しないでください。

NAT4880: 正しいコマンドを入力するか、または「**?**」を入力してヘルプを参照してください。

テキスト	正しいコマンドを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。
説明	無効なコマンドが入力されました。 「?」を入力して正しいコマンドのリストを参照してください。
対処	正しいファンクションコードを入力するか、または「?」を入力してヘルプを参照してください。

NAT4881: Natural バッファプールメンテナンスが異常をきたしました。

テキスト	Natural バッファプールメンテナンスが異常をきたしました。
説明	次のいずれかの理由で Natural バッファプールメンテナンスに異常が発生しました。 - Natural バッファプールがインストールされていません。 - 異常終了後に Natural バッファプールが使用不能になりました。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT4882: Natural バッファプールメンテナンスが実行されました。

テキスト	Natural バッファプールメンテナンスが実行されました。
説明	Natural バッファプールのメンテナンスが実行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT4883: TP ユーザー **ID** が必要です。

テキスト	TP ユーザー ID が必要です。
説明	
対処	正しい TP ユーザー ID を入力してください。

NAT4884: データベース **ID** が正しくありません。

テキスト	データベース ID が正しくありません。
説明	0～255 の範囲のデータベース ID を入力しなければなりません。
対処	正しいデータベース ID を入力します。

NAT4885: ファイル番号が正しくありません。

テキスト	ファイル番号が正しくありません。
説明	0 から 255 の範囲のファイル番号を入力しなければなりません。
対処	正しいファイル番号を入力します。

NAT4886: 正しいライブラリ名を入力してください。

テキスト	正しいライブラリ名を入力してください。
説明	Natural ライブラリに対して正しい名前を入力しなければなりません。
対処	正しいライブラリ名を入力します。

NAT4887: 正しいモジュール名を入力してください。

テキスト	正しいモジュール名を入力してください。
説明	Natural モジュールに対して正しい名前を入力しなければなりません。
対処	正しいモジュール名を入力してください。

NAT4888: 現在、有効な論理ファイルが存在しません。

テキスト	現在、有効な論理ファイルが存在しません。

説明	ユーティリティは、要求された処理を実行するために '論理ファイル' を利用します。 論理ファイルがすべて使用中の場合、処理は異常終了します。 SYSPROF を使用して、現在のファイルの設定値を表示できます。
対処	データベース管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT4889: ライブラリが **Natural Security** に定義されていません。

テキスト	ライブラリが Natural Security に定義されていません。
説明	ユーザーがアクセスしようとしたライブラリは、Natural Security に定義されていません。 SYSMAIN の場合、このエラーは別のセキュリティ環境に定義 してあるライブラリをメンテナンスしようとしたときに発生します。 複数のセキュリティ環境にわたってメンテナンスする場合は、 SYSMAIN コマンド 'CMD FSEC' を使用してください。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	選択条件をチェックして、エラーを修正します。

NAT4890: アプリケーションに対する所有者または共同所有者の確認がとれません。

テキスト	アプリケーションに対する所有者または共同所有者の確認がとれません。
説明	所有者保護されたアプリケーションを共同所有者が使用する場合、 そのアプリケーションに対して正しいカウンタ承認を指定する必要があります。 指定しない場合、ユーザーはそのアプリケーションの所有者にはなれません。
対処	アクセスするセキュリティ環境に対し、正しいカウンタ承認を指定してください。

NAT4891: ライブラリに対して正しくない **DBID**、または **FNR** が指定されました。

テキスト	ライブラリに対して正しくない DBID、または FNR が指定されました。
説明	Natural Security で保護されたライブラリに対して指定された DBID と FNR は、 そのライブラリのセキュリティプロファイルで指定した DBID と FNR に対応していなければいけません。
対処	DBID または FNR、あるいはその両方を修正するか、 または 'CMD FSEC'コマンドを使用して FSEC 定義を変更してください。

NAT4892: 不正な **Predict** ファイルが定義されました。

テキスト	不正な Predict ファイルが定義されました。
説明	FDIC パラメータの示すデータベース / ファイルが、正しい Predict ファイルでは ありません。 このため XREF データの削除中にエラーが起きます。 - FDIC パラメータが正しい場合は、SYSMAIN の FDIC データベース / ファイルの設定を 確認してください。 これらの設定によって FDIC パラメータのセッションが上書きされている可能性があります。 XREF をサポートできるのは Predict バージョン 2.3 以上です。 - XREF パラメータが 'N' に設定されている場合は、オンラインでのチェックは行われません。 バッチでは、ニュークリアスに XREF モジュールをリンクしないでください。
対処	現在の Natural パラメータ FDIC の設定、および SYSMAIN の FDIC パラメータの設定を チェックして、エラーを修正してください。

NAT4893: 処理が正常終了しましたが、一部のデータは処理されませんでした。

テキスト	処理が正常終了しましたが、一部のデータは処理されませんでした。
説明	結果が選択画面に表示されないような機能の処理中、 一部のオブジェクトが拒否されても処理は継続します。 オブジェクトが拒否される原因は様々で、エラーメッセージ NAT4810 の下にリストされます。 各オブジェクトのステータスをモニタリングするには、 ('?' オプションを使用して) 選択画面を使用します。 これは処理の正常終了メッセージです。
対処	対処は必要ありません。

NAT4894: 指定されたエラー番号が正しくありません。

テキスト	指定されたエラー番号が正しくありません。
説明	次のように、FROM エラー番号に誤った値が指定されました。 - 範囲記号を指定していません。 - FROM 番号が TO 番号より大きい値です。 - 範囲記号が正しくありません。 バッチでは、エラー番号 (ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、NEW ERROR TO) のいずれかに数値が指定されなかった場合にも、このエラーが起きます。 正しい数字の指定は、1 または 01、あるいは 001 または 0001 です。

対処	エラー番号の指定をチェックして、エラーを修正してください。

NAT4895: 不正な言語コードが指定されました。

テキスト	不正な言語コードが指定されました。
説明	指定された言語コードが正しくありません。 詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	正しい言語コードを入力してください。

NAT4896: 拡張エラーメッセージを処理する要求に誤りがあります。

テキスト	拡張エラーメッセージを処理する要求に誤りがあります。
説明	拡張エラーメッセージを移動、コピー、および名前変更するときには、 対応するショートエラーメッセージが常に存在している必要があります。 ソース環境にショートエラーメッセージがない場合は、 拡張エラーメッセージは処理されません。 またターゲット環境にショートエラーメッセージがない場合は、 このエラーメッセージが出力されます。 ショートエラーメッセージと拡張エラーメッセージの両方をまとめて処理するのが正しい使用法です。
対処	エラーを修正してください。

NAT4897: エラーアプリケーションの指定に誤りがあります。

テキスト	エラーアプリケーションの指定に誤りがあります。
説明	要求した機能に対してエラーアプリケーションの指定が正しくありません。 存在しないアプリケーションであるか、またはユーザーエラーメッセージを システムエラーメッセージに移動、コピー、または名前変更しようとしました。 システムエラーメッセージの削除はできませんが、 移動、コピー、または名前変更は可能です。
対処	指定したアプリケーションをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4898: RENAME オプションに指定したエラー番号に誤りがあります。

テキスト	RENAME オプションに指定したエラー番号に誤りがあります。
説明	エラーメッセージを名前変更 (番号変更) する場合、 エラー番号 (ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、NEW ERROR TO) の値は すべて数字でなければならず、次の規則に従わなければなりません。 1) 番号を次のような正しい組み合わせにします。 A) ERROR FM のみ B) ERROR および ERROR TO C) ERROR FM および NEW ERROR FM D) ERROR FM、ERROR TO、NEW ERROR FM、および NEW ERROR TO 2) 範囲表記を使用する場合は、NEW ERROR FM は ERROR FM より少なくとも 2 つ大きくしなければなりません。 3) 範囲表記を使用する場合は、ERROR FM と ERROR TO の差は NEW ERROR FM と NEW ERROR TO の差と等しくなければなりません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4899: この機能は **VSAM** システムファイルでは実施されません。

テキスト	この機能は VSAM システムファイルでは実施されません。
説明	この機能を使用するには、Adabas データベース内に 含まれている Natural システムファイルが必要です。
対処	別の機能を選択してください。

NAT4900: 名前の指定が多すぎます。

テキスト	名前の指定が多すぎます。
説明	UNCATALOG、PURGE、SCRATCH の各コマンドに対して、40 個までの Natural モジュール / プログラムの名前を入力して削除することができます。
対処	名前の数を減らしてください。

93 Natural システムエラーメッセージ 4901～4950

NAT4901: バッチ環境のデータが正しくありません。

テキスト	バッチ環境のデータが正しくありません。
説明	バッチ環境では、UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドに対する 入力は、Natural モジュール / プログラム名のリストでのみ構成できます。 少なくとも 1 つの名前が必要で、 最大 40 個の名前が入力できます。 アスタリスク表記はできません。
対処	正しい名前を 1 つ以上入力してください。

NAT4902: 1 つの総称キーだけが許されます。

テキスト	1 つの総称キーだけが許されます。
説明	1 回の UNCAT/PURGE/SCRATCH の呼び出しにつき 1 つの総称キーのみが許されます。 総称キーは文字列で、空白でもよく、アスタリスクで切り捨てられます。 総称キーを使用すると、その文字列で始まる 全モジュール / プログラムが含まれたメニューが表示されます。 これらのモジュール / プログラムをマークしてさらに処理を行うことができます。
対処	正しいデータを入力してください。

NAT4903: アスタリスク表記と名前のリストの両方を使用しないでください。

テキスト	アスタリスク表記と名前のリストの両方を使用しないでください。
説明	UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドを使用する場合、 Natural モジュール / プログラム名のリストを入力するか、アスタリスク表記を使用するかのいずれかです。両方とも使用することはできません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4904: モジュール／プログラムが現在のライブラリに見つかりません。

テキスト	モジュール / プログラムが現在のライブラリに見つかりません。
説明	検索条件に合うモジュール / プログラムが見つかりません。
対処	検索条件が正しいか、確認してください。

NAT4905: 新エラー番号の範囲は現在のエラー番号の範囲と重複してはいけません。

テキスト	新エラー番号の範囲は現在のエラー番号の範囲と重複してはいけません。
説明	ある範囲のエラー番号を番号変更 (名前変更) する場合、データの一貫性が失われてしまうため、同一アプリケーション内での重複は許されません。 NEW ERROR FROM は元の ERROR FROM の番号より小さいか、 または元の ERROR TO よりも大きくなければなりません。 例 : エラー 10～20 を 13～23 に番号変更する場合、 10 番は 13 番に、13 番は 16 番に、16 番 は 19 番に、 というように移動します。ここでエラー番号 13 が重複してしまいます。 NEW ERROR FROM が 10 より小さいか、または 20 より大きい場合は、 このエラーは起こりません。 利用可能な番号範囲では重複を防げない場合は、 エラーの番号変更をまずダミーアプリケーションに対して行い、 その次に元のアプリケーションに対して行います。
対処	エラー番号とアプリケーショをチェックして、エラーを修正してください。

NAT4906: ユーザー出口が呼び出されましたが、もう存在していません。

テキスト	ユーザー出口が呼び出されましたが、もう存在していません。
説明	SYSMAIN の初期化時には、ユーザー出口 1 または 2、あるいは その両方がアクティブでしたが、処理中はユーザー出口を呼び出せません。 これはカタログ済みのオブジェクトが SYSMAIN ライブラリに カタログされていない場合に起きます。
対処	対処は必要ありません。 SYSMAIN は、エラーの原因になった ユーザー出口を呼び出さなくなります。

NAT4907: XREF データの処理に対して **Predict** ファイルが正しくありません。

テキスト	XREF データの処理に対して Predict ファイルが正しくありません。
説明	(XREF パラメータを 'Y'、'F'、または 'S' に設定した状態で) XREF データが処理されるとき、Predict (FDIC) ファイルは Predict バージョン 2.3 以上で有効なファイルでなければなりません (SYSMAIN では、コマンド 'SET FDIC' を使用して、 Predict の現在のファイル設定を上書きできます)。 集合を処理するときに、FDIC ファイルが正しい Predict ファイルでない場合にも、このエラーは発生します。
対処	正しい Predict ファイルを使用するか、 XREF インジケータを 'N' に設定するか、 または集合番号を '0' に設定してください。

NAT4908: タイプが矛盾しているか、または多すぎます。

テキスト	タイプが矛盾しているか、または多すぎます。
説明	コマンド DELETE では TYPE オプションを使用できます。 この削除要求に入力した タイプが多すぎます。 これは、タイプ 'X' または 'U' が拡張され、 結果のリストが大きくなりすぎたか、あるいは、繰り返された エントリまたは冗長なエントリが見つかったためです。
対処	タイプを減らして要求を繰り返してください。デフォルトの '*' が 適している場合は、TYPE を指定しないで要求を繰り返してください。

NAT4909: アスタリスク表記と名前のリストの両方を入力しないでください。

テキスト	アスタリスク表記と名前のリストの両方を入力しないでください。
説明	UNCATALOG/PURGE/SCRATCH コマンドを使用する場合、 Natural モジュール / プログラム名のリストを入力するか、アスタリスク表記を使用するかのいずれかです。両方とも使用することはできません。
対処	エラーを修正してください。

NAT4910: オブジェクトは **Predict Application Control** で保護されています。

テキスト	オブジェクトは Predict Application Control で保護されています。
説明	選択したオブジェクトが Predict Application Control の制御下にあるので、修正できません。
対処	Predict Application Control 管理者に連絡してください。

NAT4911: 集合 **:1:** を見つけられませんでした。

テキスト	集合 ... を見つけられませんでした。
説明	指定された集合が見つかりませんでした。
対処	ユーザー、ライブラリ、ライブラリ DBID/FNR、FDIC DBID/FNR、および集合番号を正しく指定したか確認してください。

NAT4912: PCダウンロードは '**Y**' または '**N**' です。

テキスト	PCダウンロードは 'Y' または 'N' です。
説明	PC に Natural オブジェクトをエクスポート / ダウンロードするときには、 このオプションは 'Y'（エクスポート）または 'N'（通常処理）に設定する必要があります。
対処	正しい値を指定します。

NAT4913: ワークファイル **6** と **7** はダウンロードのために **PCNEW** に指定しなければなりません。

テキスト	ワークファイル 6 と 7 はダウンロードのために PCNEW に指定しなければなりません。
説明	PC ダウンロードオプションを使用するときには、 ワークファイル 6 と 7 を PCNEW に割り当てなければなりません。
対処	ワークファイル 6 と 7 を割り当ててください。

NAT4914: セットにライブラリの範囲内を指定できません。

テキスト	セットにライブラリの範囲内を指定できません。
説明	セットがオブジェクトのソースの場所として使用されるとき、 特定のライブラリ名は指定できますが、ライブラリの範囲は指定できません。
対処	正しくライブラリを指定してください。

NAT4915: アンロードのタイプは '**A**'、'**C**'、'**S2** または '**W**'です。

テキスト	アンロードのタイプは 'A'、'C'、'S2 または 'W'です。
説明	アンロードのタイプは以下のいずれかです。 A - (カタログまたは保存された) 全オブジェクト C - カタログ化オブジェクト S - 保存されたオブジェクト W - STOW されたオブジェクト
対処	正しい値を指定してください。

NAT4916: 要求に矛盾があります。

テキスト	要求に矛盾があります。
説明	コマンド DELETE では TYPE オプションを使用できます。 削除対象がビュー (DDM) の場合、 その (サブ) コマンドに他のタイプの オブジェクトは指定できません。

対処	DDM (ビュー) を別々に削除してください。

NAT4917: オブジェクト名を指定するとき、ライブラリ名が必要です。

テキスト	オブジェクト名を指定するとき、ライブラリ名が必要です。
説明	アンロード / ロードするためにオブジェクト名を指定するときには、 指定したオブジェクトが格納されているライブラリを特定できるように、 ライブラリ名も指定しなければなりません。
対処	ライブラリ名を指定します。

NAT4918: Error in DELETE command (invalid syntax).

テキスト	Error in DELETE command (invalid syntax).
説明	The DELETE command specified could not be executed, because it doesnot ↩ comply with the rules for command syntax.See "System Commands" in the ↩ documentation for the correct syntax.
対処	Enter a valid command (with fewer options).

NAT4919: 比較オプションは **'S'**（**short**）または **'D'**（**differ**）です。

テキスト	比較オプションは 'S' (short) または 'D' (differ) です。
説明	詳細については、Natural の『SYSMAIN ユーティリティ』ドキュメントを参照してください。
対処	正しい値を指定します。

NAT4920: コマンドが正しくありません。

テキスト	コマンドが正しくありません。
説明	Natural ライブラリまたはアプリケーションが 'VERSIONED' として 定義されているので、コマンド STOW、CATALOG、UNCATALOG、PURGE、および SCRATCHは、 いかなるプログラミングオブジェクトにも使用してはなりません。

対処	STOWALL または VERSION ユーティリティを使用して問題を回避してください。

NAT4921: Predict Application Control でのみ比較を利用できます。

テキスト	Predict Application Control でのみ比較を利用できます。
説明	SYSMAIN の比較オプションは、Predict Application Control (PAC) がインストールされている場合にのみ使用できます。 PAC がインストールされているのに比較が実行されない場合は、 SYSMAIN の 'SET FSEC' コマンドを使用して、 PAC がインストールされている FSEC ソースの場所を指定してください。
対処	PAC が使用可能でない場合は、比較を使用しないでください。 または、比較を使用する前に FSEC ソースの正しい場所を指定してください。

94 Natural システムエラーメッセージ 4951～5000

NAT4960: Natural システムファイルへのアクセスが正しくありません**:**リターンコード **:1:**。

テキスト	Natural システムファイルへのアクセスが正しくありません：リターンコード :1:。
説明	論理ファイルの初期化中、 'リターンコード' のエラーが発生しました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT4961: 論理ファイルの初期化に失敗しました**:**リターンコード **:1:**。

テキスト	論理ファイルの初期化に失敗しました：リターンコード ...。
説明	ユーティリティは必要な処理を実行するために論理ファイルを利用します。 有効な論理ファイルがすべて使用中の場合、処理は異常終了します。 現在の設定を解析するために SYSPROF を使用できます。
対処	データベース管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT4962: 組み込まれるオブジェクトが指定されていません。

テキスト	組み込まれるオブジェクトが指定されていません。

説明	
対処	組み込まれるオブジェクトを指定してください。

NAT4963: 不正な '拡張タイプ' が指定されました。

テキスト	不正な ' 拡張タイプ ' が指定されました。
説明	正しい ' 拡張タイプ ' は次のとおりです。 P - プログラム G - グローバルデータエリア N - サブプログラム L - ローカルデータエリア S - 外部サブルーチン A - パラメータデータエリア H - ヘルプルーチン M - マップ C - コピーコード E - エラーメッセージ * - 全オブジェクトタイプ 1 つの ' 拡張タイプ ' を指定するか、または間に空白を 入れないで順番に複数の ' 拡張タイプ ' を指定することができます。
対処	正しい ' 拡張タイプ ' を指定してください。

NAT4964: 不正な '組み込み' オプションが指定されました。

テキスト	不正な ' 組み込み ' オプションが指定されました。
説明	正しい ' 組み込み ' オプションを指定してください。
対処	

NAT4965: オブジェクトタイプが正しく指定されていません。

テキスト	オブジェクトタイプが正しく指定されていません。
説明	
対処	オブジェクトタイプを正しく指定してください。

NAT4966: 正しいマップパラメータは **S**、**P**、**I**、**R** です。

テキスト	正しいマップパラメータは S、P、I、R です。
説明	
対処	S、'P'、'I'、または 'R' を指定してください。

NAT4967: 指定した '拡張オブジェクト' は、リストされたソース内で参照されません。

テキスト	指定した '拡張オブジェクト' は、リストされたソース内で参照されません。
説明	リストされたソースに表示する '拡張オブジェクト' を 指定しましたが、指定した拡張オブジェクトが、 リストされたソース内で参照されません。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT4969: オブジェクトを選択するためにはオブジェクト名の上にカーソルを置いてください。

テキスト	オブジェクトを選択するためにはオブジェクト名の上にカーソルを置いてください。
説明	リストされたソース内で参照されたオブジェクトのソースを表示するには、 カーソルでそのオブジェクトの NAME (名前) をマークしなければなりません。
対処	カーソルを正しく置いて、オブジェクトを選択してください。

NAT4981: サブルーチンは内部サブルーチンです。または現在のライブラリにはありません。

テキスト	サブルーチンは内部サブルーチンです。または現在のライブラリにはありません。
説明	ZOOM/EXPAND モードで表示するために選択したサブルーチンは、 - 内部サブルーチンです (つまり、リストされるソースに含まれています)。 または - ソースが現在のライブラリに含まれていない外部サブルーチンです。
対処	要求したサブルーチンが、リストされたソースまたは現在のライブラリに含まれているかチェックしてください。

NAT4983: ZOOM 表示のために **1** つのオブジェクトだけが選択されました。

テキスト	ZOOM 表示のために 1 つのオブジェクトだけが選択されました。
説明	現在 ZOOM ウィンドウに表示されているオブジェクトから前または次のオブジェクトに移動するために、'PREV' または 'NEXT' を入力しました (または、PF4 キーまたは PF5 キーを押しました)。しかし、ZOOM コマンドでオブジェクトを指定するときに、アスタリスク、つまりワイルドカードを使用しませんでした。そのため、1 つのオブジェクトのみが ZOOM ウィンドウに表示されます。
対処	正しいコマンドを入力します。

NAT4989: 選択したオブジェクトは現在のライブラリにありません。

テキスト	選択したオブジェクトは現在のライブラリにありません。
説明	LIST コマンドで、現在のライブラリにソースが格納されていないオブジェクトを指定しました。
対処	現在のライブラリが正しいことを確認してください。または、現在のライブラリのオブジェクトリストを表示するために、アスタリスク / ワイルドカードを使用して LIST コマンドを発行してください。

NAT4990: FORMAT コマンドはマップ／データエリアに対してのみ適用されます。

テキスト	FORMAT コマンドはマップ / データエリアに対してのみ適用されます。
説明	LIST コマンドで、FORMAT オプションを指定しました。このオプションはマップとデータエリアに対してのみ有効です。リストされているオブジェクトは、マップまたはデータエリアではありません。
対処	このオブジェクトに対して FORMAT を使用しないでください。

NAT4991: STOW されたデータエリアのみ表示可能な形式になります。

テキスト	STOW されたデータエリアのみ表示可能な形式になります。

説明	STOW されたデータエリアのみが表示可能な形式になります。 このデータエリアの構文が正しいことが保証され、フォーマットが許可されるのは、表示可能な形式になった後に限定されます。
対処	データエリアを STOW してから、もう一度実行してください。

95 Natural システムエラーメッセージ 5201～5250

NAT5234: ADJUST 要求が正しくありません。

テキスト	ADJUST 要求が正しくありません。
説明	データセットのバージョンが Natural のバージョンと矛盾します。
対処	

NAT5235: ロード中に不正なサブルーチン名が検出されました。

テキスト	ロード中に不正なサブルーチン名が検出されました。
説明	ロード中に、すでに別のサブルーチンで使用されている外部名と同じ外部名をもつサブルーチンを検出しました。
対処	

NAT5236: ロードファイルが空です。何もロードされませんでした。

テキスト	ロードファイルが空です。何もロードされませんでした。
説明	

対処	

NAT5237: 終了時にユーザー出口から **0** でないコンディションコードを受け取りました。

テキスト	終了時にユーザー出口から 0 でないコンディションコードを受け取りました。
説明	
対処	

NAT5238: XREF データを処理するための **FDIC** ファイルが正しくありません。

テキスト	XREF データを処理するための FDIC ファイルが正しくありません。
説明	
対処	

NAT5239: NATLOAD の処理中に **0** でないエラーコードを受け取りました。

テキスト	NATLOAD の処理中に 0 でないエラーコードを受け取りました。
説明	NATLOAD エラートランザクションが呼び出されたとき、このエラーが起こります。
対処	

NAT5240: NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。

テキスト	NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。
説明	NATUNLD/NATLOAD コマンドの確認中にエラーが発生しました。
対処	チェックして、コマンドを修正してください。

NAT5241: PC のワークファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

テキスト	PC のワークファイルの読み込み中にエラーが発生しました。
説明	NATLOAD が PC のワークファイルであるロードファイルを読み込んでいる間にエラーが発生しました。
対処	

NAT5242: 誤ったヘッダー情報または誤ったロードファイルのフォーマットです。

テキスト	誤ったヘッダー情報または誤ったロードファイルのフォーマットです。
説明	ロードファイル上のヘッダー情報が正しくないか、またはロードファイルのフォーマットと、使用している NATLOAD のバージョンとが矛盾しています。
対処	

NAT5243: 不完全または矛盾のあるロードファイルです。

テキスト	不完全または矛盾のあるロードファイルです。
説明	プログラミングオブジェクトを処理しているとき、ロードファイルの処理中に矛盾が発生したか、またはロードファイルが不完全です。
対処	

NAT5244: ビューの処理中にロードファイルに矛盾が発生しました。

テキスト	ビューの処理中にロードファイルに矛盾が発生しました。
説明	ビューの処理中に、ロードファイルの処理内に矛盾を検出しました。
対処	

NAT5245: 0 でないコンディションコード； **NATLOAD** を続けられません。

テキスト	0 でないコンディションコード；NATLOAD を続けられません。
説明	0 でないコンディションコードを受け取りました。 NATLOAD の処理を継続できません。
対処	

96 Natural システムエラーメッセージ 5251～5300

NAT5251: RECOVER が拒否されました；ロードファイルは **Natural Security** ファイルではありません。

テキスト	RECOVER が拒否されました。ロードファイルは Natural Security ファイルではありません。
説明	
対処	

NAT5252: RECOVER が拒否されました； **Natural Security** がインストールされていません。

テキスト	RECOVER が拒否されました。Natural Security がインストールされていません。
説明	
対処	

NAT5270: このロード機能を使用する権限がありません。

テキスト	このロード機能を使用する権限がありません。
説明	Natural Security 内の 'PAA-AUTH' グループの メンバとして定義されていません。 このエラーは、Predict APPLICATION AUDIT でのみ発生します。

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT5271: ファイル変換テーブルの処理中に矛盾が発生しました。

テキスト	ファイル変換テーブルの処理中に矛盾が発生しました。
説明	ファイル変換テーブルを処理している間、 ロードファイルの処理中に矛盾が発生しました。 このエラーは Predict Application Control でのみ起きます。
対処	

NAT5272: オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。

テキスト	オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。
説明	オブジェクトのバージョンが最大数に達したので、処理を継続できません。 このエラーは、Predict APPLICATION AUDIT でのみ発生します。
対処	

97 Natural システムエラーメッセージ 5351～5400

NAT5360: 0 でない **Adabas** レスポンス **- :1:/:2: (RC=:3:/:4:)**

テキスト	0 でない Adabas レスポンス - .../... (RC=.../...)。
説明	Natural/SAP コミュニケーションがデータベースから 0 でない レスポンスを受け取りました。 このエラーの原因は以下のいずれかです。 - タイムアウトが発生しました。 - データベースに不正な要求をしました。 どのコマンドがレスポンスコードを受け取ったかの 詳細については、DDM フィールドの 'ERROR-TEXT' の内容を分析して取得してください。
対処	ERROR-TEXT フィールドを使用して永続的なエラーを分析してください。

NAT5361: インストレーションエラー**:'ADALNK'** はリエントラントではありません。

テキスト	インストレーションエラー：'ADALNK' はリエントラントではありません。
説明	Natural/SAP コミュニケーションでは、リエントラントな Adabas リンクモジュール 'ADALNK' を使用する必要があります。
対処	ソースに記述されているように、ADANLK に必要な修正を加えます。 再実行する前にアセンブルし、モジュールをリンクエディットしてください。

NAT5362: 予期しない **SDAM** レスポンスを受け取りました（**RC=:1:**）。

テキスト	予期しない SDAM レスポンスを受け取りました (RC=...) 。
説明	Natural/SAP コミュニケーションで使用された SDAM インターフェイスが 0 でないレスポンスを受け取りました。 レスポンスコードは DDM の ERROR-TEXT フィールドにあります。 RC 説明 -- -------------------------------- 01 EXTENT チェーン内のエラー。 02 RSA が与えられていない。 03 与えられた RSA で 1 つもレコードが見つからない。 07 ユーザーエリアが小さすぎる。 08 圧縮されたフィールドグループが長すぎる。 09 不正な Qmacro。 FE 検索基準で何も見つからない。
対処	XCOMSAP がコンパイルされているか、SAP/Qmacros をチェックしてください。 問題が解決しないようなら、Software AG サポートに連絡してください。

NAT5363: 与えられたキーまたは **RSA** で **1** つもレコードが見つかりませんでした。

テキスト	与えられたキーまたは RSA で 1 つもレコードが見つかりませんでした。
説明	レコードが見つからなかった理由は次のとおりです。 1) ヘッダーセグメントにアクセスするときに使用した Master-Index フィールド 'BMI' の値が不正です。 2) 不正な RSA でSAP / ドキュメントファイルに アクセスしているときに、内部エラーが発生しました。
対処	BMI を使用したとき、その値をチェックしてください。 Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5364: 記述テーブルに論理ファイル **ID**／セグメント **ID** が見つかりません。

テキスト	記述テーブルに論理ファイル ID / セグメント ID が見つかりません。
説明	SAP / 記述テーブル (XCOMSAP) に見つからない論理ファイル番号を 使用してアクセスしました。 または内部的に使用されたセグメント ID が、 SAP / 記述テーブル内にありませんでした。

対処	XCOMSAP と XCOMFUNC モジュールのファイル番号 (LFID) をチェックしてください。 XCOMSAP をアセンブルするために使用された SAP Qmacros のバージョンを チェックしてください。

NAT5365: ドキュメントタイプは使用される **SAP/** テーブルに対して正しくありません。

テキスト	ドキュメントタイプは使用される SAP / テーブルに対して正しくありません。
説明	ドキュメントタイプ (DDM フィールド 'BLTYP') に対して FIND/READ ステートメントで使用された値は、この SAP / ビューに対しては 正しくありません。 ドキュメントタイプと関係する論理ファイルの リストは、ドキュメントに記載されています。 ドキュメントタイプは任意であり、省略することができます。 Natural/SAP コミュニケーションは、別途明記 されていないときには、ドキュメントタイプを提供します。
対処	ドキュメントタイプの値をチェックし、可能であれば その使用を回避してください。

NAT5366: SAP/ ドキュメントファイルは同じデータベース **ID** を持てません。

テキスト	SAP / ドキュメントファイルは同じデータベース ID を持てません。
説明	SAP / ドキュメントファイルは SAP / 記述テーブル (XCOMSAP) に 異なるデータベース ID を持ちます。 Natural/SAP は次のような SAP / ファイルを必要とします。 ABMI - マスタインデックスファイル ABIB - 2 次インデックスファイル ABEZ - ドキュメントコンテナファイル すべて同じデータベース ID を持ちます。
対処	SAP / 記述テーブルをチェックしてください。

NAT5367: キューイングエラーです**: WADS** またはワークエリアのアドレスが見つかりません。

テキスト	キューイングエラーです： WADS またはワークエリアのアドレスが見つかりません。
説明	内部エラーが発生しました。

対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5368: FB/SB ワークバッファがオーバーフローしました（**:1:/RECAREA**）。

テキスト	FB/SB ワークバッファがオーバーフローしました (:1:/RECAREA)。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5369: GETMAIN 保存エラー **- :1:/:2: (RC=:3:)**

テキスト	GETMAIN 保存エラー - .../... (RC=...)
説明	GETMAIN を実行しようとしたときに、Natural/SAP コミュニケーションが 0 でないレスポンスコードを受け取りました。 このエラーは、リソースを使い果たしたときにのみ発生します。 この問題の最も一般的な理由は、同時にアクティブなユーザー数に対して リージョンサイズが小さすぎることです。
対処	リージョンサイズをチェックしてください。 Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5370: FREEMAIN 保存エラー **- :1:/:2: (RC=:3:)**

テキスト	FREEMAIN 保存エラー - .../... (RC=...)
説明	FREEMAIN を実行しようとしたときに、Natural/SAP コミュニケーションが 0 でないレスポンスコードを受け取りました。 この状況では本来発生しないものです。 このエラーがたびたび発生すると、リソースの減少と GETMAIN エラーを 引き起こします。
対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5371: Master-Index - :1: の値が正しくありません。

テキスト	Master-Index - ... の値が正しくありません。
説明	SAP / ドキュメントファイルにアクセスするために使用される Master-Index のサブフィールドに、不正な値が含まれています。 サブフィールドのそれぞれの値の範囲は次のとおりです。 サブフィールド フィールド名 値の範囲 --- --- --- Client Number MANDANT 00～99 Company Code BUKRS '00' より大きな数 Document Number BLNR '00000000' より大きな数
対処	FIND/READ ステートメントで使用される Master-Index の値を チェックしてください。

NAT5372: 内部エラー**:**サーチ／バリューバッファの分析（**RC=:1:**）

テキスト	内部エラー：サーチ / バリューバッファの分析 (RC=:1:)
説明	サーチ / バリューバッファの分析を実行中に内部エラーが発生しました。 このエラーは、使用可能なワークエリアスペースが不十分なとき、 またはバリューバッファに不正な数値があったときに発生します。
対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5373: ワイルドカードと複数の **SVB** エントリはサポートされていません。

テキスト	サーチ / バリューバッファに、ワイルドカード、または複数のフィールドエントリがありました。
説明	ワイルドカード '*' または複数のフィールドエントリの使用は Natural/SAP コミュニケーションでサポートされていません。
対処	FIND ステートメントで使用された検索基準をチェックして、修正してください。

NAT5374: 検索基準またはオーバーラップに不正な **OFFSET** フィールドを使用しました。

テキスト	ディスクリプタでない OFFSET フィールドが検索基準の一部に使用されたか、または、ある ↩ OFFSET フィールドが別の OFFSET フィールドにオーバーラップしています。

説明	2 次インデックスのメインデータキーは、 頻繁に再定義されるため、データへのアクセスに 使用できる複数のキーがユーザーに与えられます。 不正な検索基準を使用し、異なるキーのある部分が 1 つの 論理検索基準に結合されたときに、このエラーは起こります。 サーチバッファの分析により、これらの OFFSET フィールドが オーバーラップすることからそのようなエラーが検出されます。
対処	検索条件をチェックして修正します。 詳細については、SAP / システムの記述を参照してください。

NAT5375: ディスクリプタとして不正な **DB** フィールドが使用されました。

テキスト	使用されたフィールドが、フィールドプロセッサに認識されないか、または反転されません。
説明	ディスクリプタでないフィールドを検索基準に使用することはできません。 さらに、DDM には、ファイルアクセス依存であるフィールドがあります。 例えば、SAP / ドキュメントファイルにアクセスしている場合にのみ、 'MASTER-INDEX' というフィールドグループと、 このグループ内のすべてのフィールドを使用できます。 2 次インデックス (ABIB) にアクセスしているときに、 これらのフィールドを検索条件に使用すると、このエラーが発生します。
対処	検索条件をチェックして修正します。 詳細については、NATSAP の「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5376: 必須入力フィールドがありません。

テキスト	必須入力フィールドがありません。
説明	検索基準には必須入力フィールドがいくつかあります。 これはフィールド CLIENT NUMBER(MANDT) の場合です。 詳細については、Natural/SAP コミュニケーション ドキュメントの「プログラミングの考慮事項」を参照してください。
対処	検索条件をチェックして修正します。 詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5377: 複数値に '単一値' フィールドが使用されています。

テキスト	複数値に '単一値' フィールドが使用されています。
説明	検索基準には、複数値または値の範囲を使用できないフィールドがあります。 それらのフィールドには '単一値' のみを割り当てることができ、 例えば、Natural THRU 節に使用してはなりません。 そのようなフィールドの例は次のとおりです。 - CLIENT NUMBER - DOCUMENT TYPE 単一値フィールドの詳細については、 「プログラミングの考慮事項」を参照してください。
対処	検索条件をチェックして修正します。 詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5378: 複合キーフィールドが誤って使用されました。

テキスト	複合キーフィールドが誤って使用されました。
説明	どの DDM にも、'BMI' と 'BSI' という 2 つの複合キーがあります。 これらのフィールドは検索基準の一部として使用されたり、 次の FIND/READ ループで使用するために返されます。 フィールドは使用されるときは単独で、他のキーフィールドと結合できません。 これらの複合フィールドはファイル指向です。 - 'BMI' はドキュメントファイル (ABEZ) にアクセスするときのみに使用されます。 - 'BSI' は 2 次インデックス (ABIB) にアクセスするときのみに使用されます。 また、アクセスされているレコードの現在のマスタインデックスの値は、 常に 'BMI' に返されます。
対処	検索基準をチェックして、修正してください。 詳細については、「プログラミングの考慮事項」を参照してください。

NAT5379: 内部位置付けエラーが発生しました（**RC=:1:**）。

テキスト	内部位置付けエラーが発生しました (RC=...)。
説明	構造ドキュメント内で位置付けをしているときに内部エラーが発生しました。 次のエラーのいずれかが発生しました。 RC 説明 ----- -- x'FB' ドキュメント内のセグメント ID の位置付けの不一致 x'FD' XCOMSAP 内の位置付け中のインデックスエラー

対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5380: 親セグメントを読み込まないで、依存セグメントにアクセスしました。

テキスト	親セグメントを読み込まないで、依存セグメントにアクセスしました。
説明	ドキュメントファイル AUFK と AUAK の位置セグメントは 階層構造 (例 : 親子関係) です。 構造化されたドキュメントには、この親 - 子の順序でアクセスする必要があります。 最初に高いレベルのドキュメントセグメントを読み込まないで、 それより低いレベルのセグメントにアクセスすることはできません。
対処	SAP のドキュメントを参照してファイル構造の詳細を確認し、 FIND/READ ステートメントのネストを修正します。

NAT5381: セグメントにアクセスする順番が正しくありません。

テキスト	セグメントにアクセスする順番が正しくありません。
説明	ドキュメントファイル AUFK と AUAK の位置セグメントは 階層構造 (例 : 親子関係) です。 構造化されたドキュメントには、この親 - 子の順序でアクセスする必要があります。 低いレベルのアクセスループ内では、高い レベルのセグメントにアクセスできません。 アクセスの順番はいつも一番上から一番下でなければなりません。
対処	SAP のドキュメントを参照してファイル構造の詳細を確認し、 FIND/READ ステートメントのネストを修正します。

NAT5382: 不正なフィールドグループ長がありました。

テキスト	不正なフィールドグループ長がありました。
説明	ドキュメントの解凍中に、不正な長さ属性のフィールドグループが 見つかりました。 長さ属性が 0 か、または 8000 より大きくなっています。 SAP データのバージョンが、NATSAP 記述テーブル (XCOMSAP) を 生成するために使用される QMACROS のバージョンと一致しないときに、 このタイプのエラーが発生します。

対処	XCOMSAP を再生成して、再実行してください。 これでもエラーが解決しない場合は、SAP ユーティリティの ドキュメントを分析してください。

NAT5399: エラーハンドラへの反復的な入力です。

テキスト	エラーハンドラが再帰的に入力されました。
説明	内部エラーの可能性が高いので、 Software AG に報告してください。
対処	Software AG 顧客サポートに連絡してサポートを依頼してください。

NAT5400: COMPOSE ステートメントに **1** つも副節が与えられていません。

テキスト	COMPOSE ステートメントに 1 つも副節が与えられていません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

98 Natural システムエラーメッセージ 5401～5450

NAT5401: MOVING 節のフォーマットは **A**、または **P/N** で、長さは **16** 以下です。

テキスト	MOVING 節のフォーマットは A、または P/N で、長さは 16 以下です。
説明	COMPOSE MOVING 節内のオペランド 1 のフォーマットは、 英数字、パック、または数値でなければなりません。 オペランドが長さ 1 の英数字タイプである場合、 値が '.'(ピリオド)または ','(コンマ)であってはいけません。 パックまたは数値タイプのオペランドは、 数字の合計桁数が 16 を超えてはいけません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5402: MOVING 節に **TO VARIABLES** または **TO DATAAREA** がありません。

テキスト	MOVING 節に TO VARIABLES または TO DATAAREA がありません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5403: MOVING 節に **37** 以上の変数／定数があります。

テキスト	MOVING 節に 37 以上の変数 / 定数があります。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5404: STATUS 変数のエラーです。

テキスト	STATUS 変数のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5405: COMPOSE の **ASSIGNING** 節の左辺のエラーです。

テキスト	COMPOSE の ASSIGNING 節の左辺のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5406: COMPOSE の **ASSIGNING** 節の右辺のエラーです。

テキスト	COMPOSE の ASSIGNING 節の右辺のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5407: ASSIGNING/EXTRACTING 節に変数の組の数が **19** を超えています。

テキスト	ASSIGNING/EXTRACTING 節に変数の組の数が 19 を超えています。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5408: EXTRACTING 節の左辺のエラーです。

テキスト	EXTRACTING 節の左辺のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5409: EXTRACTING 節の右辺のエラーです。

テキスト	EXTRACTING 節の右辺のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5411: フォーマットされた出力用の出力デバイスがありません。

テキスト	フォーマットされた出力用の出力デバイスがありません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5412: OUTPUT CALLING 変数は英数字フォーマットでなければいけません。

テキスト	OUTPUT CALLING 変数は英数字フォーマットでなければいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5413: FORMATTING 節内の副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	FORMATTING 節内の副節は一度しか指定してはいけません。

説明	FORMATTING 節のすべての副節は任意の順番で使用されます。 ただし、それぞれの副節は一度だけ使用できます。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5414: OUTPUT 副節の **GIVING** オペランドは **B4** または **B10** です。

テキスト	OUTPUT 副節の GIVING オペランドは B4 または B10 です。
説明	COMPOSE ステートメントの OUTPUT 副節のキーワード GIVING の後に指定された オペランドのフォーマット / 長さは B4 または B10 でなければなりません。 COMPOSE ステートメントの詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5415: 入力目的定義のエラーです。

テキスト	入力目的定義のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5416: 入力ソースの定義のエラーです。

テキスト	入力ソースの定義のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5417: FROM キーワードがありません。

テキスト	FROM キーワードがありません。
説明	

対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5418: INPUT 節のソース定義の最大数は **9/10** です。

テキスト	INPUT 節のソース定義の最大数は 9/10 です。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5419: ERRORS/MESSAGES 副節のプリンタ割り当てのエラーです。

テキスト	ERRORS/MESSAGES 副節のプリンタ割り当てのエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5420: STARTING/ENDING 副節のページ番号が正しくありません。

テキスト	STARTING/ENDING 副節のページ番号が正しくありません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5422: PROFILE 定義のエラーです。

テキスト	PROFILE 定義のエラーです。
説明	PROFILE オペランドは A タイプで、 長さが 2～32 文字である必要があります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5423: STATUS 定義のエラーです。

テキスト	STATUS 定義のエラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5424: INPUT 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	INPUT 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5425: EXIT/CABINET パラメータの入力エラーです。

テキスト	EXIT/CABINET パラメータの入力エラーです。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5426: ERRORS 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	ERRORS 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5427: MESSAGES 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	MESSAGES 副節は一度しか指定してはいけません。

説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5428: STARTING 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	STARTING 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5429: ENDING 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	ENDING 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5430: PROFILE 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	PROFILE 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5431: STATUS 副節は一度しか指定してはいけません。

テキスト	STATUS 副節は一度しか指定してはいけません。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5432: PASSW オペランドは **8** 文字以下の **A** タイプでなければなりません。

テキスト	PASSW オペランドは 8 文字以下の A タイプでなければなりません。
説明	COMPOSE ステートメントのキーワード PASSW の後に指定された オペランドのフォーマット / 長さは A8 でなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5433: CONTROL 変数のフォーマット／長さは **A1** です。

テキスト	CONTROL 変数のフォーマット / 長さは A1 です。
説明	COMPOSE ステートメントの OUTPUT 副節のキーワード CONTROL の後に指定された 2 つの変数のフォーマットは A1 でなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5434: OUTPUT TO VARIABLES の変数の最大数は **20** です。

テキスト	OUTPUT TO VARIABLES の変数の最大数は 20 です。
説明	COMPOSE ステートメントの OUTPUT TO VARIABLES 副節に、 20 より大きな変数を指定してはいけません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5435: FORMATTING OUTPUT 節の受け取り変数のエラーです。

テキスト	FORMATTING OUTPUT 節の受け取り変数のエラーです。
説明	OUTPUT 副節の中の受け取り変数は、A タイプでなければなりません。 注意：A1 変数の使用はお勧めできません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5436: MOVING OUTPUT オペランドは **A** フォーマットです。

テキスト	MOVING OUTPUT オペランドは A フォーマットです。
説明	COMPOSE ステートメントの MOVING OUTPUT の後に 指定されたオペランドは A フォーマットでなければなりません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT5440: Java エラー（**:1:**）が発生しました。 メッセージ**::2:**。

テキスト	Java エラー (:1:) が発生しました。 メッセージ : :2:。
説明	クラス java.lang.Error の Java 例外が、呼び出された Java コードで 発生しました。
対処	詳細については、Java のドキュメントを参照してください。 呼び出される Java コードをチェックして、エラーを修正します。

NAT5441: Java ランタイム例外（**:1:**）が発生しました。 メッセージ**::2:**。

テキスト	Java ランタイム例外 (:1:) が発生しました。 メッセージ : :2:。
説明	クラス java.lang.RuntimeException の Java 例外が、呼び出された Java コードで 発生しました。
対処	詳細については、Java のドキュメントを参照してください。 呼び出される Java コードをチェックして、エラーを修正します。

NAT5442: Java Exception（**:1:**）が発生しました。 メッセージ**::2:**。

テキスト	Java Exception (:1:) が発生しました。 メッセージ : :2:。
説明	クラス java.lang.Exception の Java 例外が、呼び出された Java コードで 発生しました。
対処	詳細については、Java のドキュメントを参照してください。 呼び出される Java コードをチェックして、エラーを修正します。

NAT5444: JVM の初期化に失敗しました。 関数**::1:**。 理由**::2:**。

テキスト	JVM の初期化に失敗しました。 関数：:1:。 理由：:2:。
説明	Java 仮想マシンの初期化は失敗しました。 Natural コンフィグレーションパラメータ 'JVM' で示された位置から JVM をロードできなかったか、または指定された初期化機能を実行するときに 初期化が失敗しました。'
対処	Natural コンフィグレーションパラメータ 'JVM' のエントリを修正してください。' JVM のドキュメントも参照してください。

NAT5445: Natural Java Bridge の内部エラーです。 行**::1:**（**:2:**）。 理由**::3:**。

テキスト	Natural Java Bridge の内部エラーです。 行：:1:(:2:)。 理由：:3:。
説明	Natural Java Bridge で内部エラーが発生しました。 このメッセージはエラーの位置を示します。
対処	詳しいエラー情報を Software AG サポートに報告してください。

NAT5446: 必須パラメータが指定されていません。

テキスト	必須パラメータが指定されていません。
説明	Natural Java Bridge のメソッドを呼び出すときに、 必須パラメータが指定されませんでした。
対処	メソッドのドキュメントをチェックして、 エラーを修正してください。

NAT5447: メソッドまたはフィールド **:1:** が見つかりません。

テキスト	メソッドまたはフィールド :1: が見つかりません。
説明	Java クラスには、指定された名前と署名を持つ public メソッドが含まれていないか、 または、指定された名前の public フィールドが含まれていません。

対処	Java クラスのドキュメントを参照して、エラーを修正します。

NAT5448: SEND METHOD に指定されたパラメータの数が不正です。

テキスト	SEND METHOD に指定されたパラメータの数が不正です。
説明	Java クラスには、指定された名前とパラメータカウントを持つ public メソッドが含まれていません。
対処	Java クラスのドキュメントを参照して、エラーを修正します。

NAT5449: パラメータ **:1:** を変換できません。

テキスト	パラメータ :1: の変換はできません。
説明	メッセージに示されたパラメータは、Java タイプから Natural タイプへ、またはその逆への変換ができませんでした。
対処	パラメータ :1: の変換はできません。

NAT5450: フィールドまたは戻り値を変換できません。

テキスト	フィールドまたは戻り値を変換できません。
説明	メソッド戻り値またはフィールドは、Java タイプから Natural タイプへ、またはその逆への変換ができませんでした。
対処	Natural Java Bridge のドキュメントで、Natural と Java の間で可能なデータタイプ変換をチェックしてください。 エラーを修正してください。

99 Natural システムエラーメッセージ 5451～5500

NAT5460: Natural for Ajax 環境が正しく設定されていません。

テキスト	Natural for Ajax 環境が正しく設定されていません。
説明	Natural アプリケーションを開始するときには、Web I/O インターフェイスデーモン (UNIX) または Web I/O インターフェイスサーバー (メインフレーム) を経由する必要があります。Web I/O インターフェイスデーモンまたは Web I/O インターフェイスサーバーがインストールされ、正常に実行および設定されていることを確認してください。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5461: セッションが切断されました。 エラー番号 **:1:**、エラーテキスト **:2:**。

テキスト	セッションが切断されました。 エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
説明	Natural for Ajax からデータを受信するまで待機していたセッションが、異常切断されました。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5462: データ長の受信に失敗しました。 エラー番号 **:1:**、エラーテキスト **:2:**。

テキスト	データ長の受信に失敗しました。 エラー番号 ...、エラーテキスト ...。

説明	Natural for Ajax から次のパケットの 長さを受信しているときにエラーが発生しました。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5463: データの受信に失敗しました。 エラー番号 **:1:**、エラーテキスト **:2:**。

テキスト	データの受信に失敗しました。 エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
説明	Natural for Ajax から次のパケット を受信しているときにエラーが発生しました。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5464: データ長の送信に失敗しました。 エラー番号 **:1:**、エラーテキスト **:2:**。

テキスト	データ長の送信に失敗しました。 エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
説明	Natural for Ajax に次のパケットの 長さを送信しているときにエラーが発生しました。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5465: データの送信に失敗しました。 エラー番号 **:1:**、エラーテキスト **:2:**。

テキスト	データの送信に失敗しました。 エラー番号 ...、エラーテキスト ...。
説明	Natural for Ajax に次のパケット を送信しているときにエラーが発生しました。
対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5466: タイムリミットを過ぎました。

テキスト	タイムリミットを過ぎました。
説明	Natural for Ajax からデータを受信するまで待機していたセッションで、 NWO・TIMEOUT に指定されたタイムリミットを過ぎました。

対処	システム管理者に連絡してください。

NAT5470: ページレイアウト **:1:** が未定義です。

テキスト	ページレイアウト ... が未定義です。
説明	アプリケーションで要求されたページレイアウトが、 Natural for Ajax に定義されていません。
対処	ページレイアウトを作成してからアプリケーションで使用してください。

NAT5471: ID :1: がレイアウト **:2:** に定義されていません。

テキスト	ID ... がレイアウト ... に定義されていません。
説明	アプリケーションによるデータ送信先のフィールドが、 要求されたページレイアウトに定義されていませんでした。
対処	ページレイアウトをチェックして、ページアダプタを再生成してください。

NAT5472: イベント **:1:** は **Natural for Ajax** でサポートされていません。

テキスト	イベント ... は Natural for Ajax でサポートされていません。
説明	アプリケーションが PROCESS PAGE ステートメントの SEND EVENT 節で Natural for Ajax にイベントを送信しましたが、 このイベントは Natural for Ajax でサポートされていませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正します。

NAT5477: :1: の **NAME** 構文が正しくありません。

テキスト	... の NAME 構文が正しくありません。
説明	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に 示した値 ... の構文が正しくありません。

対処	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に示した値 ... を修正してください。

NAT5478: :1: の **NAME** に互換性がありません。

テキスト	... の NAME に互換性がありません。
説明	PROCESS PAGE ステートメントの NAME 節に示した値 ... に、 対応する VALUE 変数との互換性がありません。 NAME と VALUE は両方とも、 スカラーまたは配列タイプの変数で、 次元数が同じである必要があります。
対処	NAME 節に示した値を修正するか、 または VALUE パラメータを互換性のある変数に変更してください。

NAT5479: ID :1: が **PROCESS PAGE** ステートメントに定義されていません。

テキスト	ID ... が PROCESS PAGE ステートメントに定義されていません。
説明	クライアントによるデータ送信先のフィールドが、現在の PROCESS PAGE ステートメントの NAME/VALUE に定義されていませんでした。
対処	ページアダプタが、PROCESS PAGE ステートメントによって要求 されたページのページレイアウトに対応していることを確認してください。 必要に応じて、アダプタの再生成、転送、 および再カタログを行ってください。

NAT5500: ジョブのサブミット中に **VSAM** エラー。

テキスト	ESY5500 ジョブのサブミット中に VSAM エラー。
説明	ジョブのサブミット中にエラーが発生しました。
対処	ジョブを再サブミットしてください。 エラーが解決しない場合は、システムプログラマに連絡してください。

100 Natural システムエラーメッセージ 5501～5550

NAT5502: SYSQL エラー。

テキスト	ESY5502 SYSQL エラー。
説明	内部 ESY エラーです。
対処	SAG サポートに連絡してください。

NAT5503: RECALL エラー。

テキスト	ESY5503 RECALL エラー。
説明	データセットは ARCHRCAL マクロを使用して再呼び出しすることができませんでした。 そのデータセットが実際に移行されているかチェックしてください。 移行されている場合は、インストールされている移行 ツールに関係するシステムプログラマに連絡してください。
対処	データセットのステータスまたは移行ツール、あるいはその両方を システムプログラマに確認してください。

NAT5506: データセットは移行されています。

テキスト	ESY5506 データセットは移行されています。

説明	データセットは、外部ストレージ媒体に保管されています。
対処	ESY 内のスタートアップ (起動) パラメータ RECALL を使用してください。

NAT5507: あまりにも多くのパラレル **ESY** が要求されます。

テキスト	ESY5507 あまりにも多くのパラレル ESY が要求されます。
説明	ESY 内ではネストされた 5 つのループのみを使用できます。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5508: Adabas レスポンスコード **:1:** が **ESY** から返されました。

テキスト	ESY5508 : Adabas レスポンスコード :1: が ESY から返されました。
説明	Adabas レスポンスコード :1: が ESY から返されました。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT5509: ログオンに失敗しました **- LOGON-ID / PASSWORD** をチェックしてください。

テキスト	ESY5509 ログオンに失敗しました - LOGON-ID / PASSWORD をチェックしてください。
説明	試みられたログオンは失敗しました。 注意 : より詳細なメッセージは、ERROR-TEXT フィールドが指定 されたとき、インストールされたセキュリティシステムにより返されます。
対処	正しい LOGON-ID および PASSWORD を使用して、再度ログオンしてください。

NAT5510: ログオンが必須です。

テキスト	ESY5510 ログオンが必須です。
説明	
対処	Entire System Server (ビュー NATPROC-LOGON) にログオンしてください。

NAT5511: 機能は **LOGON/LOGOFF** しなければなりません。

テキスト	ESY5511 機能は LOGON/LOGOFF しなければなりません。
説明	不正な機能がビュー NATPROC-LOGON 内で与えられました。
対処	ソースプログラムをチェックします。 有効な機能に LOGON および LOGOFF します。

NAT5520: コアが利用できません。

テキスト	ESY5520 コアが利用できません。
説明	各ユーザーのために必要なコアの量： MAXFBL + MAXSBL + MAXCBL + (NUMREQ * BUFLEN)
対処	補助バッファサイズ (ASIZE パラメータ) を増やしてください。

NAT5521: NATPNI/NATPNIP が解決されません。

テキスト	ESY5521 NATPNI/NATPNIP が解決されません。
説明	この Natural ニュークリアスは Entire System Server 機能を実行できません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。

NAT5530: セキュリティ機能によりアクセスは拒絶されました。

テキスト	ESY5530 セキュリティ機能によりアクセスは拒絶されました。
説明	セキュリティ違反が発生しました。 このリターンコードは、Entire System Server インターフェイスのセキュリティシステムによって返されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5531: パスワードが見当たらない、または不正です。

テキスト	ESY5531 パスワードが見当たらない、または不正です。
説明	データセットはパスワードにより保護されており、パスワードを指定する必要があります。
対処	正しいパスワードを入力してください。

NAT5532: :1: 境界が指定されています。

テキスト	ESY5532 ... 制限が指定されています。
説明	制限に達しました。 要求の処理を停止しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5533: レコード数のスキャンが要求されました。

テキスト	ESY5533 レコード数のスキャンが要求されました。
説明	スキャンされた READ-FILE または READ-SPOOL 内のレコード数が要求されましたが、検索条件に一致するものは見つかりませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5534: ファイルはロードライブラリではありません。

テキスト	ESY5534 ファイルはロードライブラリではありません。
説明	
対処	

NAT5535: ファイルは不正なフォーマットです。

テキスト	ESY5535 ファイルは不正なフォーマットです。

説明	ファイルは DSORG をサポートしていません。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5536: VTOC へのアクセス中に **CVA** エラー **:1:**。

テキスト	ESY5536 :VTOC へのアクセス中に CVA エラー :1:。
説明	マクロ CVAFDIR はエラーを引き起こしました。
対処	インラインエラーコードをシステムプログラマに確認してください。

NAT5537: タイムリミットに達しました。

テキスト	ESY5537 タイムリミットに達しました。
説明	タイムリミットに達しましたが、 この検索条件ではレコードは見つかりませんでした。
対処	

NAT5538: :不正なレコード長が指定されました。

テキスト	ESY5538 不正なレコード長が指定されました。
説明	
対処	

NAT5539: DFHSMREQ は **RC = :1:** で失敗しました。

テキスト	ESY5539 DFHSMREQ は RC = :1: で失敗しました。
説明	移行されたデータセットを削除する要求が失敗しました。
対処	ストレージ管理者に連絡してください。

NAT5541: Member generation not found in directory.

テキスト	Member generation not found in directory.
説明	An attempt was made to access a member generation which doesn"t exist.
対処	Specify a valid combination of member name and generation number.

NAT5542: GENERATION not valid for this library.

テキスト	GENERATION not valid for this library.
説明	A generation number has been specified, but the library does not ↩ supportmember generations.
対処	Specify a generation number only for a PDSE library that supports ↩ membergenerations..

NAT5543: GENERATION not valid for FUNCTION =:1:.

テキスト	GENERATION not valid for FUNCTION =:1:.
説明	A GENERATION cannot be specified for the requested FUNCTION.
対処	Specify a GENERATION only for FUNCTION=SCRATCH.

NAT5544: 不正なファイル **ID** です。

テキスト	ESY5544 不正なファイル ID です。
説明	要求されたファイル ID は存在しません。
対処	正しいファイル ID を指定してください。

NAT5548: CLOSE required for :1:

テキスト	CLOSE required for :1:
説明	A sequence of WRITE-FILE requests ended without a terminating requestwith ↩ FUNCTION="CLOSE" specified.
対処	Specify FUNCTION="CLOSE" for the last WRITE-FILE request.

NAT5549: PDSE データセットではありません。

テキスト	PDSE データセットではありません。
説明	データセットは PDSE フォーマットではありません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5550: PDS または **LIBRARIAN** ファイル、あるいは **VSAM** データセットがありません。

テキスト	ESY5550 PDS または LIBRARIAN ファイル、あるいは VSAM データセットがありません。
説明	非 PDS ファイルのディレクトリにアクセスしようとしました。
対処	対処は必要ありません。

101 Natural システムエラーメッセージ 5551〜5600

NAT5551: メンバは指定されていません。

テキスト	ESY5551 メンバは指定されていません。
説明	名前を指定しないで PDS メンバにアクセスしようとしました。
対処	メンバ名を指定してください。

NAT5552: NEWNAME/ALIAS オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5552 NEWNAME/ALIAS オペランドが見当たりません。
説明	NEWNAME または ALIAS に値が指定されませんでした。 フォーマットは次のとおりです。 NEWNAME (A8) - ビュー PDS-UPDATE ALIAS (A8) - ビュー CATALOG-UPDATE NEWNAME (A44) - ビュー VTOC-UPDATE
対処	NEWNAME または ALIAS に値を指定してください。

NAT5553: ディレクトリ上で **I/O** エラー。

テキスト	ESY5553 ディレクトリ上で I/O エラー。

説明	PDS ディレクトリの読み込み中にエラーが発生しました。
対処	指定されたデータセットのディレクトリが不正である可能性があります。システムプログラマに確認してください。

NAT5554: ディレクトリ内に **MEMBER** が見つかりません。

テキスト	ESY5554 ディレクトリ内に MEMBER が見つかりません。
説明	存在しないメンバにアクセスしようとしました。
対処	正しいメンバ名を指定してください。

NAT5555: ディレクトリ内に **NEWNAME/ALIAS** はすでに存在します。

テキスト	ESY5555 ディレクトリ内に NEWNAME/ALIAS はすでに存在します。
説明	NEWNAME および ALIAS の値は、ディレクトリ内でユニークにしなければなりません。指定された値はすでに存在しています。
対処	NEWNAME または ALIAS にユニークな値を入力してください。

NAT5556: ファイルは使用されています。

テキスト	ESY5556 ファイルは使用されています。
説明	そのファイルは、別のユーザーの排他制御下にあります。
対処	しばらくしてから再試行します。

NAT5557: ファイルはリンケージエディタによりホールドされています。

テキスト	ESY5557 ファイルはリンケージエディタによりホールドされています。
説明	そのファイルは、リンケージエディタの排他制御下にあります。
対処	しばらくしてから再試行します。

NAT5558: ディレクトリ内にスペースがありません。

テキスト	ESY5558 ディレクトリ内にスペースがありません。
説明	ディレクトリ内に利用可能なスペースがありません。
対処	ディレクトリを拡張してください。

NAT5559: STOW エラー。

テキスト	ESY5559 STOW エラー。
説明	STOW 中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5560: 253 を超えるセグメント長です。

テキスト	ESY5560 253 を超えるセグメント長です。
説明	最大セグメント長は 253 です。
対処	正しい SEGMENT-LENGTH を指定してください。

NAT5561: 必要なカタログは存在しません。

テキスト	ESY5561 必要なカタログは存在しません。
説明	指定されたカタログは存在しません。
対処	正しい CVOL を指定してください。

NAT5562: カタログエントリが見つかりません。

テキスト	ESY5562 カタログエントリが見つかりません。

説明	エントリは、カタログ内に見つかりませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5563: データセットはインディクスです。

テキスト	ESY5563 データセットはインディクスです。
説明	カタログされたデータセットはインディクスです。
対処	正しいデータセット名を指定します。

NAT5564: データセットは最低のインディクスレベルではありません。

テキスト	ESY5564 データセットは最低のインディクスレベルではありません。
説明	入力されたデータセット名は、最低のインディクスレベルである必要があります。
対処	正しいデータセット名を入力してください。

NAT5565: データセット名の構文エラー。

テキスト	ESY5565 データセット名の構文エラー。
説明	データセット名の中に構文エラーが見つかりました。
対処	正しいデータセット名を指定します。

NAT5566: カタログ名の構文エラー。

テキスト	ESY5566 カタログ名の構文エラー
説明	カタログ名の中に構文エラーが見つかりました。
対処	正しいカタログ名を指定してください。

NAT5567: 指定された **LONG** または **USERCAT** は無効なオプションです。

テキスト	ESY5567 OPTION が無効です。LONG または USERCAT を指定してください。
説明	無効な OPTION が指定されました。有効なオプションは LONG および USERCAT です。
対処	有効な OPTION (LONG または USERCAT) を指定してください。

NAT5571: DSNAME オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5571 DSNAME オペランドが見当たりません。
説明	完全修飾されたデータセット名を指定する必要があります。
対処	正しい DSNAME を入力してください。

NAT5572: NEWNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5572 NEWNAME が見当たりません。
説明	RENAME 機能の NEWNAME に、 完全修飾された DSNAME を指定する必要があります。
対処	RENAME 機能 NEWNAME フィールドに正しい DSNAME を指定してください。

NAT5573: SCRATCH が無効です。

テキスト	ESY5573 SCRATCH が無効です。
説明	
対処	

NAT5574: RENAME が無効です。

テキスト	ESY5574 RENAME が無効です。

説明	NEW データセット名は不正な文字を含んでいます。
対処	NEW データセット名の不正な文字をチェックしてください。

NAT5575: データセットの名前は変更されません。 **CATALOG-UPDATE** 機能は失敗しました。

テキスト	ESY5575 データセット名が変更されていません。CATALOG-UPDATE 機能が失敗しました。
説明	新規データセット名はカタログすることができません。 そのため、まだ 古いデータセット名が有効です。データセットには、正確な ボリュームを指定するだけでアクセスすることができます。
対処	新規データセット名をカタログできない理由について、 システムプログラマに確認してください。

NAT5576: SCRATCH で **RC :1:** およびステータス **:2:** が返りました。

テキスト	ESY5576 SCRATCH で RC ... および ステータス ... が返されました。
説明	SCRATCH を実行できませんでした。 リターンコードおよびステータスコードの詳細 については、『OS/390 DFSMSdfp Advanced Services』マニュアルを参照してください。
対処	データセットのステータスをチェックします。

NAT5577: RENAME で **RC :1:** およびステータス **:2:** が返りました。

テキスト	ESY5577 RENAMEで RC ... および ステータス ... が返されました。
説明	RENAME を実行できませんでした。 リターンコードおよびステータスコードの詳細 については、『OS/390 DFSMSdfp Advanced Services』マニュアルを参照してください。
対処	データセットのステータスをチェックします。

NAT5578: RENAME の致命的なエラー； **VOL :1: DSN :2:**。

テキスト	ESY5578 RENAME の致命的なエラー。VOL ... DSN ...。
説明	RENAME を実行できませんでした。 ボリューム (VOL 値を見る) 上のデータセット (DSN 値を見る) をチェックしてください。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5580: バインダ **API :1:** コール、**rc :2:**、**rsn :3:**。

テキスト	ESY5580 バインダ API :1: コール、rc :2:、rsn :3:。
説明	バインダ API のコールに失敗しました。
対処	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5590: inplace-update 中にデータの終わりに達しました。

テキスト	ESY5590 inplace-update 中にデータの終わりに達しました。
説明	UPDATE-INPLACE 機能ではレコードを追加できません。
対処	レコードを追加するために UPDATE-INPLACE は使用しないでください。

NAT5591: inplace-update のためのメンバが見つかりません。

テキスト	ESY5591 inplace-update のためのメンバが見つかりません。
説明	
対処	正しい MEMBER を指定してください。

NAT5592: 変数 **inplace-update** のレコード長エラー。

テキスト	ESY5592 変数 inplace-update のレコード長エラー。

説明	
対処	ソースプログラムをチェックしてください。 RECORD-LENGTH は変更できません。

NAT5600: 未知の機能です。

テキスト	ESY5600 未知の機能です。
説明	不正な値が FUNCTION フィールド内で指定されました。
対処	正しい FUNCTION 値を指定してください。

102 Natural システムエラーメッセージ 5601～5650

NAT5601: DSNAME が見当たりません。

テキスト	DSNAME が見当たりません。
説明	データセット名は、データセットをカタログするために必要です。
対処	

NAT5602: デバイスが無効です。

テキスト	ESY5602 デバイスが無効です。
説明	無効な DEVICE 値が指定されました。
対処	有効な DEVICE 値を指定してください。

NAT5603: INDEX / ALIAS が見当たりません。

テキスト	ESY5603 INDEX / ALIAS が見当たりません。
説明	
対処	INDEX/ALIAS を指定してください。

NAT5604: 指定されたボリュームがありません。

テキスト	ESY5604 指定されたボリュームがありません。
説明	CATLG/RECATLG に VOLUMES が指定されていません。
対処	VOLUMES を指定してください。

NAT5605: IGWASMS は、**RC :1:** および理由 **:2:** が返りました。

テキスト	ESY5605 :IGWASMS で、RC :1: および 理由 :2: が返されました。
説明	データセットの属性を取得する要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5606: 管理されたデータセットは、アンカタログすることができません。

テキスト	ESY5606 :管理されたデータセットは、アンカタログすることができません。
説明	SMS で管理されるデータセットをアンカタログする要求が発行されました。
対処	SMS で管理されるデータセットをアンカタログする要求は発行しないでください。

NAT5610: QNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5610 QNAME が見当たりません。
説明	QNAME フィールド内に指定された値がありません。
対処	正しい QNAME 値を指定します。

NAT5611: QNAME は **SYS** でスタートできません。

テキスト	ESY5611 QNAME は SYS でスタートできません。

説明	SYS で始まる主要な名前は許可されていません。
対処	正しい QNAME 値を指定します。

NAT5612: RNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5612 RNAME が見当たりません。
説明	RNAME フィールド内に指定された値がありません。
対処	RNAME 値を指定してください。

NAT5613: RNAME 長が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5613 RNAME 長が見当たりません。または無効です。
説明	RNAME-LENGTH フィールド内に指定された値がありません。
対処	RNAME-LENGTH 値を指定してください。

NAT5614: リソースが使用されています。

テキスト	ESY5614 リソースが使用されています。
説明	リソースは、すでに別のタスクにより共有として割り当てられています。また、排他的アクセスが要求されました。
対処	しばらくしてから再試行します。

NAT5615: リソースは別のタスクによりホールドされました。

テキスト	ESY5615 リソースは別のタスクによりホールドされました。
説明	リソースは、すでに別のタスクにより排他的に割り当てられています。
対処	しばらくしてから再試行します。

NAT5616: CQSCAN ルーチン内エラー。

テキスト	ESY5616 GQSCAN ルーチン内エラー。
説明	GQSCAN マクロ要求の結果として内部エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。 (同様に、Software AG 技術サポートにも連絡してください。)

NAT5621: 識別子が見当たりません／重複しています／見つかりません。

テキスト	ESY5621 識別子が見当たりません / 重複しています / 見つかりません。
説明	その エリアに関連した識別子が見当たらないか、重複しているか、または見つかりません。
対処	正しい識別子を指定してください。

NAT5622: NUMBER-OF-ENTRIES が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5622 NUMBER-OF-ENTRIES が見当たりません。または無効です。
説明	エントリの最大数の指定が見当たらないか、または無効です。
対処	正しい NUMBER-OF-ENTRIES 値を指定してください。

NAT5623: ENTRY-LENGTH が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5623 ENTRY-LENGTH が見当たりません。または無効です。
説明	エントリの長さの指定が見当たらないか、または無効です。
対処	正しい ENTRY-LENGTH 値を指定してください。

NAT5624: ENTRY-NUMBER が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5624 ENTRY-NUMBER が見当たりません。または無効です。

説明	エントリ番号の指定が見当たらないか、または無効です。
対処	正しいエントリ番号を指定してください。

NAT5625: エリアをアロケートすることができません。

テキスト	ESY5625 エリアをアロケートすることができません。
説明	そのエリアの割り当てに利用可能なストレージが不十分です。
対処	要求されたストレージの量を減らすか、またはシステムプログラマに通知してください。

NAT5626: DATA が見当たりません。

テキスト	ESY5626 DATA が見当たりません。
説明	指定されたデータがありません。
対処	DATA フィールドを指定してください。

NAT5627: フィールド位置 **+** 長さ **> 250**。

テキスト	ESY5627 フィールド位置 + 長さ > 250。
説明	そのフィールドは、最大エリア長 (250) を超えています。
対処	正しいフィールド位置 / 長さを指定してください。

NAT5628: エディタ内でエラーが発生しました。

テキスト	ESY5628 エディタ内でエラーが発生しました。
説明	内部エディタエラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5629: エリアは保護されています。

テキスト	ESY5629 エリアは保護されています。
説明	エリアは保護されています。
対処	対処は必要ありません。

NAT5630: コンソールは定義されていません。または、アクティブではありません。

テキスト	ESY5630 コンソールは定義されていません。または、アクティブではありません。
説明	指定されたコンソール ID が見つかりませんでした。
対処	正しいコンソール ID を指定してください。

NAT5631: コンソールテーブルが見つかりません。

テキスト	ESY5631 コンソールテーブルが見つかりません。
説明	コンソールテーブルが見つかりませんでした。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5632: 一般またはコントロールオブジェクトが見つかりません。

テキスト	ESY5632 一般またはコントロールオブジェクトが見つかりません。
説明	マルチコンソールサポート (MCS) により返された一般またはコントロールオブジェクトを見つけることができません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5633: コンソールテーブルをロックできません。

テキスト	ESY5633 コンソールテーブルをロックできません。

説明	コンソールテーブルは、排他的使用のためにロックすることができません。
対処	操作を再試行してください。 問題が続く場合は、システム プログラマに連絡してください。

NAT5634: 不正なレコード番号。

テキスト	ESY5634 不正なレコード番号
説明	要求されたレコード番号は不正です。
対処	操作を再試行してください。 問題が続く場合は、システム プログラマに連絡してください。

NAT5635: KSDS ファイル内でキーの変更が試みられました。

テキスト	ESY5635 KSDS ファイル内でキーの変更が試みられました。
説明	KSDS ファイル内でキーを変更することはできません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5636: この **ACB** 上にあるアクティブ要求が多すぎます。

テキスト	ESY5636 この ACB 上にあるアクティブ要求が多すぎます。
説明	VSAM ファイルにアクセスする際にネストされたループがあります。 または、開いているパラレル要求の数が多すぎます。
対処	プログラムをチェックしてください。また、ESY のデータベース管理者に確認してください。

NAT5637: VSAM サブタスクはアクティブではありません。

テキスト	ESY5637 VSAM サブタスクはアクティブではありません。
説明	VSAM にアクセスするための ESY サブタスクが異常終了しました。 ESY を再起動するために ESY のデータベース管理者に確認します。

対処	ESY のデータベース管理者に連絡するか、または Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5638: キーが見つかりません。

テキスト	ESY5638 キーが見つかりません。
説明	ファイル内には要求されたレコードにアクセスするためのキーが見つかりません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5639: ESDS ファイル内でレコードの削除はできません。

テキスト	ESY5639 ESDS ファイル内でレコードの削除はできません。
説明	ESDS ファイルのレコードの削除は許可されていません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5640: VSAM コントロールブロック生成中にエラー。

テキスト	ESY5640 VSAM コントロールブロック生成中にエラー。
説明	VSAM コントロールブロックの生成中にエラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5641: SMF または **VSAM** ファイルのオープン中にエラー **:1:**。

テキスト	ESY5641 SMF または VSAM ファイルのオープン中にエラー :1:。
説明	SMF ファイルのオープン中に VSAM エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5642: SMF または **VSAM** ファイルの読み込み中にエラー **:1:**。

テキスト	ESY5642 SMF または VSAM ファイルの読み込み中にエラー :1:。
説明	SMF ファイルの読み込み中に VSAM エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5643: SMF はアクティブ／記録中ではありません。

テキスト	ESY5643 SMF はアクティブ / 記録中ではありません。
説明	要求されたとき、SMF がアクティブでないか、または記録中ではありません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5644: :1:。

テキスト	ESY5644 POWER インターフェイスでの xxxxxxxx エラー aabb。
説明	POWER インターフェイス機能 xxxxxxxx により、エラー aabb が返されました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5645: 不正な **RBA** が指定されました。

テキスト	ESY5645 不正な RBA が指定されました。
説明	要求された RBA が見つかりませんでした。
対処	正しい RBA 値を指定してください。

NAT5646: VSAM への書き込みはベースクラスタ上でのみ許可されました。

テキスト	ESY5646 VSAM への書き込みはベースクラスタ上でのみ許可されました。

説明	非ベースクラスタに書き込もうとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5647: VSAM クラスタは、再利用可能なものとして定義されていません。

テキスト	ESY5647 VSAM クラスタは、再利用可能なものとして定義されていません。
説明	VSAM クラスタへのアクセスは、再利用可能な場合にのみ許可されています。
対処	VSAM クラスタを再利用可能と定義してください。

NAT5648: 昇順キー内にレコードがありません。

テキスト	ESY5648 昇順キー内にレコードがありません。
説明	間違ったキーでレコードを書き込もうとしました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5649: ESY ユーザーが見つかりません。または、キャンセルすることができません。

テキスト	ESY5649 ESY ユーザーが見つかりません。または、キャンセルすることができません。
説明	ESY ユーザーは、様々な機能で見つかりませんでした。
対処	入力データを修正します。

NAT5650: シーケンシャルファイルが無効です。

テキスト	ESY5650 シーケンシャルファイルが無効です。
説明	要求されたシーケンシャルファイルは存在しません。
対処	ファイル名をチェックしてください。そして、プログラムを再実行してください。

103 Natural システムエラーメッセージ 5651〜5700

NAT5651: 要求されたカタログは存在しません。

テキスト	ESY5651 要求されたカタログは存在しません。
説明	要求された CVOL は存在しません。
対処	正しい CVOL を指定してください。

NAT5652: カタログ構造は矛盾しています。

テキスト	ESY5652 カタログ構造は矛盾しています。
説明	カタログ構造は矛盾しています。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5653: インデックスを削除できません。

テキスト	ESY5653 インデックスを削除できません。
説明	インデックスを削除できません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5654: インデックス構造は存在しません。

テキスト	ESY5654 インデックス構造は存在しません。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT5655: カタログデータセット上のスペースが不十分です。

テキスト	ESY5655 カタログデータセット上のスペースが不十分です。
説明	カタログデータセットがいっぱいです。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5656: 生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5656 生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。
説明	生成データセットのカタログ中にエラーが発生しました。
対処	指定された値をチェックしてください。 正しい値である場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5657: カタログ上で **I/O** エラー。

テキスト	ESY5657 カタログ上で I/O エラー。
説明	カタログへのアクセス中に I/O エラーが発生しました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 システムプログラマに連絡してください。

NAT5658: データセットはカタログされていません。

テキスト	ESY5658 データセットはカタログされていません。

説明	指定されたデータセットは、カタログされていません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5659: データセットはすでにカタログされています。

テキスト	ESY5659 データセットはすでにカタログされています。
説明	指定されたデータセットは、すでにカタログされています。
対処	対処は必要ありません。

NAT5660: :1: - :2: モジュールは利用可能ではありません。

テキスト	ESY5660 ... - ... モジュールは利用可能ではありません。
説明	指定した Natural モジュールが見つかりませんでした。
対処	既存の Natural モジュールの名前を指定してください。

NAT5661: :1: - Natural サブタスクはすでにアクティブです。

テキスト	ESY5661 :1: - Natural サブタスクはすでにアクティブです。
説明	Natural サブタスクは、このユーザーに関してすでにアクティブです。
対処	サブタスクが終了していることを確認してから再起動してください。

NAT5662: :1: - Natural サブタスクは許可されていません。

テキスト	ESY5662 :1: - Natural サブタスクは許可されていません。
説明	Natural サブタスクシステムは初期化されていません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5663: :1: - Natural サブタスクはアクティブではありません。

テキスト	ESY5663 :1: - Natural サブタスクはアクティブではありません。
説明	Natural サブタスクは存在しません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5664: :1: - Natural サブタスクテーブルはいっぱいです。

テキスト	ESY5664 :1: - Natural サブタスクテーブルはいっぱいです。
説明	Natural サブタスクの最大数に達しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5665: :1: - 無効なアクションが要求されました。

テキスト	ESY5665 :1: - 無効なアクションが要求されました。
説明	無効なアクションが要求されました。
対処	正しいアクションを指定してください。

NAT5666: :1: - Natural サブタスクはパラメータを持たなければなりません。

テキスト	ESY5666 :1: - Natural サブタスクはパラメータを持たなければなりません。
説明	パラメータなしで Natural サブタスクを起動しようとしました。
対処	Natural サブタスクのパラメータを指定してください。

NAT5669: キーワードの無効な指定

テキスト	ESY5669 キューまたはジョブ名が正しくありません。

説明	サブミット JCL はエラーを含んでいます。
対処	JCL エラーを訂正し、プログラムを再実行してください。

NAT5670: ビューはサポートされていません。

テキスト	ESY5670 ビューはサポートされていません。
説明	このビューは、ローカルオペレーティングシステム上ではサポートされていません。
対処	

NAT5671: クラスが見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5671 クラスが見当たりません。または無効です。
説明	CHANGE 機能では、正しい NEW-CLASS、NEW-DESTINATION、または NEW-USERID 値を必要とします。
対処	

NAT5672: セグメントオプションは **JOBNAME/JOBNUMBER** を必要とします。

テキスト	ESY5672 セグメントオプションは JOBNAME/JOBNUMBER を必要とします。
説明	SEGMENT オプション (SEGMENT-NUMBER > 0) の指定では、そのジョブが JOB-NAME および JOB-NUMBER で識別される必要があります。
対処	

NAT5673: FILETABLE=STATIC によるアクセスエラー。

テキスト	ESY5673 FILETABLE=STATIC によるアクセスエラー。
説明	要求されたファイルは、Entire System Server の起動パラメータ FILETABLE が STATIC に指定されているためアクセスできません。 ESY 初期化時に利用可能なファイル (STD および PARSTD&TEMP ラベル) のみにアクセスできます。

対処	ESY 初期化時に指定されていないファイルにダイナミックにアクセス できるようにするには、FILETABLE パラメータを DYNAMIC に 変更して、Entire System Server を再起動してください。

NAT5674: フォーマット**-3** ラベルの読み込み中に **VTOC** エラー。

テキスト	ESY5674 ：フォーマット-3 ラベルの読み込み中に VTOC エラー。
説明	要求されたファイルのフォーマット-3 ラベルの読み込み中に VTOC エラーが発生しました。
対処	情報メッセージのみ。 必要とされる、または可能な対処方法はありません。

NAT5675: :1: はサポートされていません。

テキスト	ESY5675 :1: はサポートされていません。
説明	Entire System Server は、要求されたファイルに、このバージョンの ESY では サポートされていない属性が含まれていることを検出しました。 例えば、マルチボリュームファイルやマルチエクステント出力ファイルなどが見つかりました。
対処	

NAT5676: マルチボリュームファイルの最初のボリュームがありません。

テキスト	ESY5676 マルチボリュームファイルの最初のボリュームがありません。
説明	Entire System Server は、指定したボリューム上のファイルが、 マルチボリュームファイルの最初のボリューム / エクステントで ないことを検知しました。
対処	

NAT5677: FAMS エラー、**R15=XXXXXXXX**、**R0=XXXXXXXX**

テキスト	
説明	COPY-FILE による 1 つ以上のプログラムオブジェクトのコピー中に、 FAMS エラーが発生しました。

対処	詳細については、FAMS によって発行された、先頭が IGW のメッセージのコンソールログをチェックしてください。

NAT5678: メンバはすでに存在しています。

テキスト	ESY5678 メンバはすでに存在しています。
説明	WRITE-FILE または COPY-FILE 内で REPLACE = 'NO' として指定されましたが、 メンバは存在しています。
対処	対処は必要ありません。

NAT5679: 入力および出力ファイルは互換可能ではありません。

テキスト	ESY5679 入力および出力ファイルは互換可能ではありません。
説明	COPY-FILE は、入力ファイルと出力ファイルの レコードフォーマットに互換性がないと判定しました (RECFM が一致していない、ブロックサイズに互換性がない、など)。
対処	データセット属性を確認して、正しいパラメータで要求を再発行してください。

NAT5680: ジョブ／出力は保護されています。

テキスト	ESY5680 ジョブ / 出力は保護されています。
説明	そのユーザーには、指定したジョブ / 出力にアクセスする権限がありません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5681: ジョブ／出力はアクティブです。

テキスト	ESY5681 ジョブ / 出力はアクティブです。
説明	指定したジョブ / 出力は現在アクティブです。
対処	対処は必要ありません。

NAT5682: ジョブ／出力は実行可能ではありません。

テキスト	ESY5682 ジョブ / 出力は実行可能ではありません。
説明	ジョブ / 出力は実行可能ではありません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5683: FAMS エラー、**R15=:1:**、**R0=:2:**。

テキスト	ESY5683 FAMS エラー、R15=:1:、R0=:2:.
説明	COPY-FILE による 1 つ以上のプログラムオブジェクトのコピー中に、FAMS エラーが発生しました。
対処	詳細については、FAMS によって発行された、先頭が IGW のメッセージのコンソールログをチェックしてください。

NAT5684: リモートプログラムオブジェクトのコピーは現在サポートされていません。

テキスト	ESY5684 リモートプログラムオブジェクトのコピーは現在サポートされていません。
説明	このリリースの Entire System Server では、OS/390 上で COPY-FILE を使用し、異なるノード間でプログラムオブジェクトをコピーすることは、サポートされていません。 このメッセージは、プログラムオブジェクトのコピー要求が VSE/ESA ノードに発行される場合にも発行されます。
対処	回避するには、プログラムオブジェクトを最初にローカルのノード上の PDS にコピーし、次にリモートノード上の PDS にコピーし、最後にターゲット PDSE にコピーしてください。

NAT5685: FAMS サブタスクが異常終了しました。

テキスト	FAMS サブタスクが異常終了しました。
説明	リモートプログラムオブジェクトのコピーによって使用されたサブタスクのいずれかが異常終了しました。 ERROR-NODE と ERROR-VIEW フィールドは、どのノードが ABEND を持っていたかを示します。 ABEND についての情報は JES ログにあります。

対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT5687: 不正な変数レコード。

テキスト	ESY5687 不正な変数レコード。
説明	不正な変数レコード。
対処	対処は必要ありません。

NAT5688: リターンコード **:1: HCF** 機能 **:2:**。

テキスト	ESY5688 リターンコード :1: HCF 機能 :2:。
説明	HCF 機能は失敗しました。 そのリターンコードは、HCF リターンコードです。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5690: :3: 中の **:1:** エラー **:2:**。

テキスト	ESY5690 :3: 中の :1: エラー :2:。
説明	PANVALET または LIBRARIAN データへのアクセス中にエラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5691: librarian メンバにアクセス中にエラー。

テキスト	ESY5691 librarian メンバにアクセス中にエラー。
説明	LIBRARIAN メンバへのアクセス中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5692: メンバにアクセスすることは許可されていません。

テキスト	ESY5692 メンバにアクセスすることは許可されていません。
説明	このユーザーには、指定したメンバにアクセスする権限がありません。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5693: :1:。

テキスト	ESY5693 :1:。
説明	PANVALET エラーが発生しました。
対処	メッセージテキストを見てください。

NAT5694: VTOC 開始時に未知のエラー。

テキスト	ESY5694 VTOC 開始時に未知のエラー。
説明	VTOC の読み込み中に未知の内部エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5695: VTOC は使用されています。

テキスト	ESY5695 VTOC は使用されています。
説明	VTOC は現在使用中です。
対処	再実行してください。

NAT5696: 論理ユニットを割り当てることができません。

テキスト	ESY5696 論理ユニットを割り当てることができません。

説明	論理ユニットを割り当てることができませんでした。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5697: ライブラリ／サブライブラリが見つかりません。

テキスト	ESY5697 ライブラリ / サブライブラリが見つかりません。
説明	指定したライブラリ / サブライブラリが見つかりませんでした。
対処	正しいライブラリ / サブライブラリ名を指定してください。

NAT5698: 内部 **LIBRARIAN** エラーが発生しました。

テキスト	ESY5698 内部 LIBRARIAN エラーが発生しました。
説明	内部 LIBRARIAN エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5699: 利用可能な十分なメインストレージがありません。

テキスト	ESY5699 利用可能な十分なメインストレージがありません。
説明	要求を処理するために利用可能な十分なメインストレージがありませんでした。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5700: 無効な値が指定されました（**DSORG / RECFM / TYPE**）。

テキスト	ESY5700 無効な値が指定されました (DSORG / RECFM / TYPE) 。
説明	FILE-ALLOCATE ビューに、無効な値が指定されました。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
対処	DSORG/RECFM/ TYPE に正しい値を指定してください。

104 Natural システムエラーメッセージ 5701～5750

NAT5701: DSNAME が見当たりません。

テキスト	ESY5701 DSNAME が見当たりません。
説明	DSNAME が見当たりません。
対処	正しい DSNAME を指定してください。

NAT5702: OUTADD エラーコード **:1:** 理由コード **:2:** キー **:3:**。

テキスト	ESY5702 OUTADD エラーコード :1: 理由コード :2: キー :3:。
説明	
対処	

NAT5703: 空のファイルのコピーは許可されていません。

テキスト	ESY5703 空のファイルのコピーは許可されていません。
説明	
対処	

NAT5710: アロケーションはコード **:1:** で失敗しました。

テキスト	ESY5710 アロケーションはコード :1: で失敗しました。
説明	アロケーションは失敗しました。 そのコードはDYNALLOCリターンコードです。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
対処	DYNALLOC リターンコードをチェックしてください。

NAT5711: 論理エラーが共通 **JES** インターフェイス内で発生しました。

テキスト	ESY5711 論理エラーが共通 JES インターフェイス内で発生しました。
説明	論理エラーが共通 JES インターフェイス内で発生しました。 エラーのタイプについて記述する追加メッセージが、 コンソールに出力された可能性があります。
対処	追加メッセージのシステムログをチェックしてください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5712: 共通 **JES** インターフェイスへの要求は失敗しました。

テキスト	ESY5712 共通 JES インターフェイスへの要求は失敗しました。
説明	スプールデータにアクセスする要求が失敗しました。
対処	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5713: ジョブ名およびジョブ **ID** が見当たりません。 そのいずれかが必須です。

テキスト	ESY5713 ジョブ名およびジョブ ID が見当たりません。 そのいずれかが必須です。
説明	JOB-NAME も JOB-ID/JOB-NUMBER も指定されていません。 少なくともそれらのいずれかが、要求の処理に必要とされます。
対処	JOB-NAME、JOB-ID、または JOB-NUMBER を要求に指定してください。

NAT5714: SYSOUT データセットの **:1:** タイプを読むことができません。

テキスト	ESY5714 SYSOUT データセットの :1: タイプを読むことができません。
説明	指定したスプールファイル TYPE が無効か、または処理できません。
対処	正しいスプールファイルタイプ (CC、JL、SI、SM、または SO) を指定してください。

NAT5715: 重複したジョブ名が見つかりました。 ジョブ **ID** を指定してください。

テキスト	ESY5715 重複したジョブ名が見つかりました。 ジョブ ID を指定してください。
説明	指定したジョブ名の複数のジョブが見つかりました。
対処	さらにジョブ ID / ジョブ番号を指定してください。

NAT5717: ACB または **RPL** のための **GENCB** は、**RC:1:** および **RSN:2:** により失敗しました。

テキスト	ESY5717 ACB または RPL のための GENCB は、RC:1: および RSN:2: により失敗しました。
説明	ACB または RPL は、SYSOUT データセットにアクセスするために生成することが できませんでした。
対処	システムプログラマに確認してください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5719: SYSOUT データセットを **:1:** できません。

テキスト	ESY5719 SYSOUT データセットを :1: できません。
説明	SYSOUT データセットのオープンまたはクローズ時にエラーが発生しました。
対処	システムプログラマに確認してください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5720: 不正な **TYPE**。

テキスト	ESY5720 不正な TYPE。

説明	不正な TYPE が、READ-SPOOL ビュー内で与えられました。
対処	ソースプログラムをチェックします。 TYPE の正しい値は次のとおりです。 MVS 内：JL、SI、SO、SM、および CC。 VSE 内：LS、PU、RD、XM、および CC。

NAT5721: ジョブが見つかりましたが、指定されたスプール **ID** はありません。

テキスト	ESY5721 ジョブが見つかりましたが、指定されたスプール ID はありません。
説明	ジョブは、指定したものとは異なるスプール上で見つかりました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5722: 要求されたデータセットが見つかりません。

テキスト	ESY5722 要求されたデータセットが見つかりません。
説明	要求されたデータセットは見つかりませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5723: ジョブは出力サービス内にありません。

テキスト	ESY5723 ジョブは出力サービス内にありません。
説明	要求されたジョブは、出力サービス内にありません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5724: 要求されたジョブが見つかりません。

テキスト	ESY5724 要求されたジョブが見つかりません。
説明	要求されたジョブは JES スプール上で見つけることができませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5725: JES3 スプール上で **I/O** エラー。

テキスト	ESY5725 JES3 スプール上で I/O エラー。
説明	JES スプールへの READ 要求に失敗しました。
対処	再実行してください。 その エラーがまだ続く場合は、ハードウェアの障害と考えられます。

NAT5726: JES3 スプール上で論理エラー。

テキスト	ESY5726 JES3 スプール上で論理エラー。
説明	JES3 スプールデータセットの読み込み中に論理エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。 同様に、Software AG 技術サポートにも通知してください。

NAT5727: スパンレコードが大きすぎます。

テキスト	ESY5727 スパンレコードが大きすぎます。
説明	スパンレコードが大きすぎます。
対処	対処は必要ありません。

NAT5728: このジョブを見ることは許可されていません。

テキスト	ESY5728 このジョブを見ることは許可されていません。
説明	ユーザーは、認可されていないジョブにアクセスしようとしました。 このエラーは、Entire System Server インターフェイスの セキュリティシステムによって発行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5729: 不正なジョブ **TYPE** です。**JOB**、**STC** または **TSU** を指定してください。

テキスト	ESY5729 不正なジョブ TYPE です。JOB、STC または TSU を指定してください。
説明	指定したジョブ TYPE は不正です。
対処	正しいジョブタイプ (JOB、STC、または TSU) を指定してください。

NAT5730: スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。

テキスト	ESY5730 スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。
説明	スプールのオープン中に未知のエラーが発生しました。
対処	システムプログラマおよび Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5731: スプール **GET** 中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5731 スプール GET 中にエラーが発生しました。
説明	スプール GET 中にエラーが発生しました。
対処	システムプログラマおよび Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5732: アカウント番号が見当たりません。

テキスト	ESY5732 アカウント番号が見当たりません。
説明	アカウント番号が提供されませんでした。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5733: ユーザー **ID** が存在しません。

テキスト	ESY5733 ユーザーに JOIN エントリがありません。

説明	ユーザーはシステム内に定義されていません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5734: ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5734 ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。
説明	ARCHIVE 実行中にエラーが発生しました。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5735: I-T-C の使用中の論理エラー。

テキスト	ESY5735 I-T-C の使用中の論理エラー。
説明	内部タスクコミュニケーション (inter-task-communication) が、正しく使用されていませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5736: MESSAGE-ID が見当たりません。

テキスト	ESY5736 MESSAGE-ID が見当たりません。
説明	MESSAGE-ID 値が提供されていません。
対処	MESSAGE-ID を指定してください。

NAT5737: レコード挿入のためのインデックススペースがありません。

テキスト	ESY5737 レコード挿入のためのインデックススペースがありません。
説明	レコードの数は、利用可能インデックス範囲を超えています。
対処	対処は必要ありません。

NAT5738: メモリプール使用時にエラー。

テキスト	ESY5738 メモリプール使用時にエラー。
説明	MAIN-STORAGE ビューの使用が正しくありません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5739: ジョブ変数の使用時にエラー。

テキスト	ESY5739 ジョブ変数の使用時にエラー。
説明	JOB-VARIABLES ビューの使用が正しくありません。 詳細情報は、SYSTEM-MESSAGE-CODE で利用可能です。
対処	SYSTEM-MESSAGE-CODE を分析してください。

NAT5740: BTAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5740 BTAM ファイルの使用時にエラー。
説明	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5741: SAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5741 SAM ファイルの使用時にエラー。
説明	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5742: PAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5742 PAM ファイルの使用時にエラー。

説明	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5743: ISAM ファイルの使用時にエラー。

テキスト	ESY5743 ISAM ファイルの使用時にエラー。
説明	ファイルの割り当て中にエラーが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5744: 無効のイベント名が指定されました。

テキスト	ESY5744 無効のイベント名が指定されました。
説明	無効なイベント名が指定されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5745: イベントの実行時にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5745 イベントの実行時にエラーが発生しました。
説明	P1-Eventing の使用中の論理エラー。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5746: 連続実行でエラー。

テキスト	ESY5746 連続実行でエラー。
説明	連続要求が失敗しました。 詳細情報は、SYSTEM-MESSAGE-CODE で利用可能です。
対処	後で要求を繰り返してください。

NAT5747: LENGTH または **SUBSTRING-LENGTH** は不正です。

テキスト	ESY5747 LENGTH または SUBSTRING-LENGTH は不正です。
説明	ビュー JOB-VARIABLES に不正な値が指定されました。 考えられる理由は次のとおりです。 - 位置が JV の長さより大きい - サブストリングの長さが、位置を引いた JV 長よりも大きい - 位置が JV の長さより大きい
対処	値を修正し、再度実行してください。

NAT5748: 内部 **LMS** エラーが発生しました。

テキスト	ESY5748 内部 LMS エラーが発生しました。
説明	内部 LMS エラーが、LMS サブプログラムインターフェイスから返されました。 SYSTEM-MESSAGE-CODE で詳細をチェックします。
対処	SYSTEM-MESSAGE-CODE をチェックしてください。

NAT5749: PVS (CATID) は利用できません。

テキスト	ESY5749 PVS (CATID) は利用できません。
説明	要求された CATID は、呼び出し側のユーザー ID で利用可能ではありません。
対処	可能な対処法はありません。

NAT5750: オペランドリスト内の無効なオペランド。

テキスト	ESY5750 オペランドリスト内の無効なオペランド
説明	Entire System Server ビューの使用が正しくありません。
対処	対処は必要ありません。

105 Natural システムエラーメッセージ 5751～5800

NAT5751: 機能を実行するのに十分なメモリがありません。

テキスト	ESY5751 機能を実行するのに十分なメモリがありません。
説明	機能を実行するために十分なメモリがありません。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5752: メッセージ／メッセージ長が見当たりません。

テキスト	ESY5752 メッセージ / メッセージ長が見当たりません。
説明	考えられる理由は次のとおりです。 - メッセージ長が指定されていない - メッセージ長が 4 未満 - フィールド MESSAGE-ARRAY の使用中に、 メッセージ長が 1250 を超えた - フィールド MESSAGE-TEXT の使用中に、 メッセージ長が 250 を超えた - メッセージが指定されていない
対処	入力値を修正し、再度実行してください。

NAT5753: I-T-C 名が見当たりません。

テキスト	ESY5753 I-T-C 名が見当たりません。
説明	OPEN、RECEIVE、SEND の各機能には、ITC 名を指定しなければなりません。
対処	ITC 名を指定してください。

NAT5754: 行われませんでした。

テキスト	ESY5754 行われませんでした。
説明	
対処	

NAT5755: SWITCH タイプの指定がないか、または不正です。

テキスト	ESY5755 SWITCH タイプの指定がないか、または不正です。
説明	スイッチタイプとして、USER も PROCESS も指定されませんでした。
対処	スイッチタイプを修正してください。

NAT5756: ジョブ変数名が見当たりません。または無効です。

テキスト	ESY5756 ジョブ変数名が見当たりません。または無効です。
説明	無効な構文が使用されているか、または値が指定されていません。
対処	修正してください。

NAT5757: ユーザー管理中のエラー。

テキスト	ESY5757 ユーザー管理中のエラー。

説明	
対処	

NAT5758: ユーザー **ID** が見当たりません。

テキスト	ESY5758 ユーザー ID が見当たりません。
説明	ユーザー名が指定されていません。
対処	名前を指定してください。

NAT5759: 名前が見当たりません。

テキスト	ESY5759 名前が見当たりません。
説明	
対処	

NAT5760: プロセッサ名が見当たりません。

テキスト	ESY5760 プロセッサ名が見当たりません。
説明	
対処	

NAT5761: 起動オペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5761 起動オペランドが見当たりません。
説明	
対処	

NAT5762: 行／位置が見当たりません。

テキスト	ESY5762 行 / 位置が見当たりません。
説明	
対処	

NAT5763: 情報タイプオペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5763 情報タイプオペランドが見当たりません。
説明	
対処	

NAT5764: バーチャルコールが見当たりません。

テキスト	ESY5764 バーチャルコールが見当たりません。
説明	
対処	

NAT5765: 必要とされるカタログ **ID** がアクセス可能ではありません。

テキスト	ESY5765 必要とされるカタログ ID がアクセス可能ではありません。
説明	
対処	

NAT5766: ユーザー **ID** または端末 **ID** が見当たりません。

テキスト	ESY5766 ユーザー ID または端末 ID が見当たりません。

説明	ユーザーID もプロセッサ / 端末名も指定されていません。
対処	要求された値を指定してください。

NAT5767: TSN が見つかりません。

テキスト	ESY5767 TSN が見つかりません。
説明	
対処	

NAT5768: マクロのリスト内に無効なコマンドがあります。

テキスト	ESY5768 マクロのリスト内に無効なコマンドがあります。
説明	
対処	

NAT5769: ショートネームが見当たりません。

テキスト	ESY5769 ショートネームが見当たりません。
説明	
対処	

NAT5770: 連続名が見当たりません。

テキスト	ESY5770 連続名が見当たりません。
説明	
対処	

NAT5771: 情報が見つかりません。

テキスト	ESY5771 情報が見つかりません。
説明	指定した要求の情報が見つかりません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5772: BS2000 コマンドはエラーが返りました。

テキスト	ESY5772 BS2000 コマンドはエラーが返りました。
説明	
対処	

NAT5773: 新バージョンのオペランドが見当たりません。

テキスト	ESY5773 新バージョンのオペランドが見当たりません。
説明	
対処	

NAT5774: コアが利用できません。

テキスト	ESY5774 コアが利用できません。
説明	ESY ユーザーブロックを割り当てるために利用可能な十分なスペースがありません。
対処	Software AG に連絡してください。 BS2000/OSD のみ： ESY ユーザーブロックの番号は、起動パラメータ NUMUSER で設定できます。

NAT5775: 不正なプライオリティ値が指定されています。

テキスト	ESY5775 不正なプライオリティ値が指定されています。
説明	
対処	

NAT5776: 要求はキャンセルされました。

テキスト	ESY5776 要求はキャンセルされました。
説明	ユーザーがタイムアウトになったので、 要求は内部的にキャンセルされました。
対処	

NAT5777: 要求は異常終了しました。

テキスト	ESY5777 要求は異常終了しました。
説明	内部エラーが発生しました。 簡潔な異常終了情報は、ジョブログに含まれています。
対処	システムプログラマに確認してください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5778: コマンドを実行できません **- APF** 認可されていません。

テキスト	ESY5778 コマンドを実行できません - APF 認可されていません。
説明	Entire System Server ニュークリアスは、認可された APF を実行できません。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5779: IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。

テキスト	ESY5779 IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。
説明	IDCAMS ユーティリティは異常終了しました。

対処	詳細については、ジョブログをチェックしてください。

NAT5780: 終了コードは **OK** ではありません。

テキスト	ESY5780 終了コードは OK ではありません。
説明	要求の実行は成功しませんでした。
対処	要求の入力データをチェックしてください。

NAT5781: ワークエリア拡張のためのストレージを得ることができません。

テキスト	ESY5781 ワークエリア拡張のためのストレージを得ることができません。
説明	ワークエリア拡張のためのストレージを得る要求が失敗しました。
対処	Entire System Server のリージョンサイズを 16 MB を超えるサイズに増やします。

NAT5782: :2: の **:1:** からエラーが返されました。**RC :3:**、理由 **:4:**。

テキスト	ESY5782 :2: の :1: からエラーが返されました。RC :3:、理由 :4:。
説明	VTOC を読み込もうとしているときに、要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5783: :1: をアロケートすることができません。**RC :2:**、理由 **:3:**。

テキスト	ESY5783 :1: をアロケートすることができません。RC :2:、REASON :3:。
説明	指定されたボリュームは、アロケートすることができませんでした。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5784: :1: 上の **VTOC** を開くことができません。**RC :2:**。

テキスト	ESY5784 :1: 上の VTOC を開くことができません。RC :2:。
説明	OPEN 要求が、指定したボリューム上の VTOC で失敗しました。
対処	再試行してください。 問題が解決しない場合は、システムプログラマに連絡してください。

NAT5785: CVAF :1: は、**RC :2:** および **CVSTAT :3:** により失敗しました。

テキスト	ESY5785 CVAF :1: は、RC :2: および CVSTAT :3: により失敗しました。
説明	共通 VTOC アクセス機能に対する要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5786: CSI ワークエリアのためのストレージを得ることができません。

テキスト	ESY5786 CSI ワークエリアのためのストレージを得ることができません。
説明	CSI ワークエリアのためのストレージを得る要求が失敗しました。
対処	Entire System Server のリージョンサイズを 16 MB を超えるサイズに増やします。

NAT5787: CSI 要求は失敗しました。モジュール **:1:**、理由 **:2:**、**RC :3:**。

テキスト	ESY5787 CSI 要求は失敗しました。モジュール :1:、理由 :2:、RC :3:。
説明	カタログ検索インターフェイスへの要求は失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5788: シンボル **:1:** を代用することができません。**RC :2:**。

テキスト	ESY5788 シンボル :1: を代用することができません。RC :2:。

説明	システムシンボルにテキストを代用する要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5789: :1: のための **UCB** コピーを得ることができません。**RC :2:**。

テキスト	ESY5789 :1: のための UCB コピーを得ることができません。RC :2:。
説明	指定したボリュームのための UCB コピーを得る要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5790: IEBCOPY 中に **:1:** が異常終了しました。

テキスト	ESY5790 IEBCOPY 中に :1: が異常終了しました。
説明	IEBCOPY ユーティリティの処理中に、異常終了が発生しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5798: Task was not started under TSOS.

テキスト	Task was not started under TSOS.
説明	The ENTIRE SYSTEM SERVER does not run under TSOS and does not have ↩ therequired privileges to process the user requests.
対処	Check the job control and make sure that all tasks of the ENTIRE ↩ SYSTEMSERVER run under TSOS. Do a restart after changing the job control.

NAT5799: ENTIRE SYSTEM SERVER 内部エラー。

テキスト	ESY5799 ENTIRE SYSTEM SERVER 内部エラー。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	SAG サポートに連絡してください。

NAT5800: 指定されたレベルは、データセット名です。

テキスト	ESY5800 指定されたレベルは、データセット名です。
説明	指定されたレベル名は、データセット名です。
対処	対処は必要ありません。

106 Natural システムエラーメッセージ 5801～5850

NAT5801: ジョブが見つかりません。

テキスト	ESY5801 ジョブが見つかりません。
説明	要求されたジョブは見つかりませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5802: CSA エリアのための **GETMAIN** は失敗しました。

テキスト	ESY5802 CSA エリアのための GETMAIN は失敗しました。
説明	メインストレージにアクセスしようとしましたが、 CSA エリアのための GETMAIN は失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5803: データにアクセスすることができません。

テキスト	ESY5803 データにアクセスすることができません。
説明	メインストレージにアクセスしようとしましたが、 指定したデータにアクセスすることができません。

対処	対処は必要ありません。

NAT5804: データにアクセスする要求は、タイムアウトです。

テキスト	ESY5804 データにアクセスする要求は、タイムアウトです。
説明	メインストレージにアクセスされました。また、SRBは、 アドレススペース内で実行するようにスケジュールされました。 SRB は 10 秒以内で終了しなければなりません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5805: TCB アドレスは無効です。

テキスト	ESY5805 TCB アドレスは無効です。
説明	無効な TCB-ADDRESS が指定されました。
対処	正しい TCB-ADDRESS を指定してください。

NAT5806: カタログ上で永久 **I/O** エラー。

テキスト	ESY5806 カタログ上で永久 I/O エラー。
説明	カタログへのアクセス中に、永久 I/O エラーが発生しました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 データセンターに連絡してください。

NAT5807: 無効なトラックアドレス。

テキスト	ESY5807 無効なトラックアドレス。
説明	無効なトラックアドレスが指定されました。
対処	有効なトラックアドレスを指定してください。

NAT5808: SRB failed RC :1: CMP :2: RET :3: RSN :4:

テキスト	SRB failed RC :1: CMP :2: RET :3: RSN :4:
説明	A request failed to schedule an SRB. The return, completion and reasoncodes ↩ provide more information about the type of the failure.
対処	Contact Software AG technical support.

NAT5809: サブシステムはアクティブではありません。

テキスト	ESY5809 サブシステムはアクティブではありません。
説明	関連するサブシステムは、適切に起動されていません。 そのため、 要求された機能は、ESY のこの実行で利用可能ではありません。 次のビューは、BS2000/OSD 上でこのエラーコードを返します。 - ビュー SPOOL-QUEUE、SPOOL-FILES、WRITE-SPOOL (SPOOL=NONE が定義されている場合) - ビュー SEND-MESSAGE、CONSOLE (CONSOLE タスクが実行中でない場合) - ビュー CONSOLE、EVENTING (EVENTING タスクが実行中でない場合)
対処	管理者に連絡して、次の ESY 実行のために サブシステムの起動を依頼してください。

NAT5810: 終了処理中に、カタログ内でエラーが検知されました。

テキスト	ESY5810 終了処理中に、カタログ内でエラーが検知されました。
説明	カタログ構造内でエラーが検知されました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5811: 指定されたレベルは、空のインデックスです。

テキスト	ESY5811 指定されたレベルは、空のインデックスです。
説明	指定されたレベルは、空のインデックスです。
対処	対処は必要ありません。

NAT5820: 未知のコマンドです。

テキスト	ESY5820 未知のコマンドです。
説明	Entire System Server に未知のコマンドが入力されました。
対処	コマンドのスペルや構文をチェックしてください。 コマンドが NATURAL コマンドであるかどうかを確認してください。

NAT5821: ジョブはもはやアクティブではありません。

テキスト	ESY5821 ジョブはもはやアクティブではありません。
説明	アクティブでなくなったジョブにアクセスしようとしました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5822: JES3 スプール上で論理エラー。

テキスト	ESY5822 JES3 スプール上で論理エラー。
説明	JES3 スプールデータセットの読み込み中に論理エラーが発生しました。
対処	再試行してください。 エラーがまだ続く場合は、JES3 スプール上のコントロールブロックが不正であることを 示していると考えられます (ハードウェア障害が原因となっている可能性があります)。

NAT5823: 入力キュー内のジョブが要求されました。

テキスト	ESY5823 入力キュー内のジョブが要求されました。
説明	入力キューに格納されているジョブの 出力データにアクセスしようとしました。
対処	ジョブが処理されるまで待ってください。

NAT5824: JES3 スプール上で **I/O** エラー。

テキスト	ESY5824 JES3 スプール上で I/O エラー。
説明	JES3 スプールへの READ 操作が、正常に終了しませんでした。
対処	ハードウェアの障害が原因と考えられます。 JES3 ウォームスタート（分析付き）を検討してください。

NAT5825: JES3 コマンドデータセットはいっぱいです。

テキスト	ESY5825 JES3 コマンドデータセットはいっぱいです。
説明	JES3 コマンドデータセットへの WRITE 操作は、データセットがいっぱいであるために失敗しました。
対処	スペースが利用可能になるまで待ってください。

NAT5826: JES3 コマンドデータセット上にて **I/O** エラーで失敗しました。

テキスト	ESY5826 JES3 コマンドデータセットに I/O エラーが発生しました。
説明	JES3 コマンドデータセットに WRITE しようとしましたが失敗しました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 エラーが解決しない場合は、JES3 コマンドデータセットを再配置することをお勧めします。

NAT5830: JES インターフェイスはアクティブではありません。

テキスト	ESY5830 JES インターフェイスはアクティブではありません。
説明	JESインターフェイスは、アクティブではありません。
対処	Entire System Server パラメータファイル内の JES パラメータをチェックしてください。

NAT5831: キューの初期化中にエラー。

テキスト	ESY5831 キューの初期化中にエラー。
説明	JES コントロールブロックの読み込み中に、エラーが発生しました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 データセンターに連絡してください。

NAT5832: キューのオープン中にエラー。

テキスト	ESY5832 キューのオープン中にエラー。
説明	JES スプールデータセットのオープン中に、エラーが発生しました。
対処	システムプログラマに確認してください。

NAT5833: このジョブの変更は認められていません。

テキスト	ESY5833 このジョブの変更は認められていません。
説明	ジョブを変更しようとしました。 このユーザーには、指定された ジョブを変更する権限がありません。 このエラーメッセージは、Entire System Server インターフェイスの セキュリティシステムによって発行されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5834: コマンドは失敗しました。**MGCRE RC = :1:**。

テキスト	ESY5834 コマンドは失敗しました。MGCRE RC = :1:。
説明	内部 JES またはシステムコマンドを発行する要求が失敗しました。
対処	システムプログラマに確認してください。 Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5840: VTAM オペレータ **ACB** はオープンしていません。

テキスト	ESY5840 VTAM オペレータ ACB はオープンしていません。
説明	VTAM オペレータ ACBは、初期化中にオープンされませんでした。
対処	アクティブな VTAM サポートがシステムパラメータによって要求されていないか、または初期化中にオープンエラーが発生しました。ジョブログには、詳細な情報が含まれています。

NAT5841: SENDCMD 内でエラー **- RTNCD=:1: FDBK2=:2:**。

テキスト	ESY5841 SENDCMD 内でエラー - RTNCD=:1: FDBK2=:2:。
説明	コマンドの送信中に VTAM エラーが発生しました。 注：フィールド ERROR-TEXT が指定されている場合、さらに詳細なメッセージが返されます。
対処	要求されたコマンドをチェックしてください。 RTNCD および FDBK2 値は、適切な VTAM ドキュメント内に定義されています。

NAT5842: VTAM コマンドが無効です。

テキスト	ESY5842 VTAM コマンドが無効です。
説明	無効な VTAM コマンドが要求されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5845: プリンタは、ユーザー **:1:** のためにアクティブです。

テキスト	ESY5845 プリンタは、ユーザー :1: のためにアクティブです。
説明	別のユーザーがプリンタを使用しています。
対処	プリンタが使用中でなくなるまで、待ってください。

NAT5849: 出力に失敗しました。 **Fct=:1: FD=:2: S=:3:**。

テキスト	ESY5849 出力に失敗しました。 Fct=:1: FD=:2: S=:3:。
説明	出力要求に失敗しました。 詳細については、FUNCTION、FEEDBACK、および STATUS の変数データをチェックしてください。 VTAM ドキュメント内に、これらのフィールドの説明があります。
対処	システムプログラマに連絡してください。

107 Natural システムエラーメッセージ 5851〜5900

NAT5851: ファイルはボリューム上にありません。

テキスト	ESY5851 ファイルはボリューム上にありません。
説明	要求ししたファイルは、指定したボリューム上に存在しません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5852: パスワードが供給されていません／**VSAM** データスペース。

テキスト	ESY5852 パスワードが供給されていません / VSAM データスペース。
説明	パスワードで保護された VSAM ファイルにアクセスしようとする前に、 パスワードが指定されていませんでした。
対処	パスワードを指定してください。

NAT5853: 保存期限が終わっていません／**NEWNAME** は存在します。

テキスト	ESY5853 保存期限が終わっていません / NEWNAME は存在します。
説明	VTOC-UPDATE RENAME 機能が試みられましたが、 保存期限が過ぎていないため、NEWNAME はまだ存在します。

対処	異なる NEWNAME を指定するか、 または保存期限が過ぎるまで待ってください。

NAT5854: 永久 **I/O** エラー。

テキスト	ESY5854 永久 I/O エラー。
説明	永久 I/O エラーが検知されました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 データセンターに連絡してください。

NAT5855: ボリュームがマウントされません。

テキスト	ESY5855 ボリュームがマウントされません。
説明	要求されたボリュームは、マウントされませんでした。
対処	要求を再発行する前に、そのボリュームがマウントされているかどうか確かめてください。

NAT5856: オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。

テキスト	ESY5856 オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。
説明	オペレータは、ボリュームをマウントすることができません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5857: ファイルは使用中です。

テキスト	ESY5857 ファイルは使用中です。
説明	ファイルは使用中です。
対処	しばらくしてから再試行してください。

NAT5858: 認可されませんでした。

テキスト	ESY5858 認可されませんでした。
説明	セキュリティ違反が検知されました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5859: ファイル定義は、**RACF** により削除されません。

テキスト	ESY5859 ファイル定義は、RACF により削除されません。
説明	ファイル定義は、RACF により削除されませんでした。
対処	RACF ファイル削除を実行してください。

NAT5860: MSHP コントロール環境下のメンバ、または **MSHP** バイパスと交換されました。

テキスト	ESY5860 MSHP コントロール環境下のメンバ、または MSHP バイパスと交換されました。
説明	上書きされるメンバは MSHP コントロール環境にあるか、 または MSHP バイパスと交換されました。
対処	MSHP バイパスが要求されたことを示すために、MSHP=YES を使用してください。

NAT5861: SYSIPT データを含んだメンバ。

テキスト	ESY5861 SYSIPT データを含んだメンバ。
説明	上書きするメンバには、SYSIPT データが含まれています。
対処	INLINE-DATA=YES を使用して、要求された SYSIPT データを確認するか、または INLINE-DATA=OFF を使用して、SYSIPT インジケータのスイッチをオフにしてください。

NAT5870: RECORD フィールドは、サーチバッファ内にありません。

テキスト	ESY5870 RECORD フィールドは、サーチバッファ内にありません。
説明	WRITE-FILE には RECORD を指定しなければなりません。
対処	RECORD 値を指定してください。

NAT5871: MEMBER/MEMBER-TYPE は指定されていません。

テキスト	ESY5871 MEMBER/MEMBER-TYPE は指定されていません。
説明	メンバ名またはメンバタイプ、あるいはその両方を指定していませんでした。
対処	メンバ名またはメンバタイプ、あるいはその両方を指定してください。

NAT5872: レコードフォーマットはサポートされていません。

テキスト	ESY5872 レコードフォーマットはサポートされていません。
説明	要求されたデータセットのレコードフォーマットは、サポートされていません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5873: RECORD-LENGTH が見当たりません。

テキスト	ESY5873 RECORD-LENGTH が見当たりません。
説明	RECORD-LENGTH 値が見当たりません。
対処	RECORD-LENGTH 値を指定してください。

NAT5874: RECORD-LENGTH > LRECL。

テキスト	ESY5874 RECORD-LENGTH > LRECL。
説明	データセットの LRECL より大きな RECORD-LENGTH 値が指定されました。

対処	正しい RECORD-LENGTH 値を指定してください。

NAT5875: データフィールドの位置 **> RECORD-LENGTH**。

テキスト	ESY5875 データフィールドの位置 > RECORD-LENGTH。
説明	無効なパラメータが指定されました。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT5876: CHANGE 要求のための新規フィールドがありません。

テキスト	ESY5876 CHANGE 要求のための新規フィールドがありません。
説明	CHANGE 要求に、NEW-CLASS、NEW-DESTINATION、 または NEW-USERID フィールドが指定されていません。
対処	NEW- 値を指定してください。

NAT5877: VSAM (SHOWCAT) 処理エラー。

テキスト	ESY5877 VSAM (SHOWCAT) 処理エラー。
説明	要求された VSAM カタログの処理中に SHOWCAT エラーが検出されました。
対処	

NAT5878: ボリュームは、**DYNAM/D** プール名として定義されました。

テキスト	ESY5878 ボリュームは、DYNAM/D プール名として定義されました。
説明	要求されたボリュームは、DYNAM/D 'バーチャル' プール名として、 Entire System Server に定義されます。 要求された機能は実行できません。
対処	

NAT5881: ファイルのオープン中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5881 ファイルのオープン中にエラーが発生しました。
説明	OPEN 中にエラーが発生しました。
対処	データセットのステータスをチェックします。

NAT5882: ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。

テキスト	ESY5882 ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。
説明	CLOSE 中にエラーが発生しました。
対処	データセットのステータスをチェックします。

NAT5883: データセットはいっぱいです。

テキスト	ESY5883 データセットはいっぱいです。
説明	データセットがいっぱいです。
対処	PDS を圧縮するか、またはデータセットサイズを増やしてください。

NAT5886: イベントは使用中です。

テキスト	ESY5886 イベントは使用中です。
説明	他のユーザーが待っていたイベントを削除しようとしました。
対処	イベントを削除する前に、'POST' 要求を発行してください。

NAT5887: イベントはすでに定義されています。

テキスト	ESY5887 イベントはすでに定義されています。

説明	すでに存在するイベントを定義しようとしました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5888: イベント名を指定しなければなりません。

テキスト	ESY5888 イベント名を指定しなければなりません。
説明	イベント要求が、EVENT-NAME を指定しないで発行されました。
対処	EVENT-NAME を指定してください。

NAT5889: データセットの書き込み中に永久 **I/O** エラー。

テキスト	ESY5889 データセットの書き込み中に永久 I/O エラー。
説明	WRITE アクセス中に I/O エラーが検知されました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 データセンターに連絡してください。

NAT5890: イベントは存在しません。

テキスト	ESY5890 イベントは存在しません。
説明	指定されたイベントは存在しません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5891: イベント待ち中にタイムアウト。

テキスト	ESY5891 イベント待ち中にタイムアウト。
説明	イベントが送られる前にタイムアウトが発生しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5893: Getmain に失敗しました。

テキスト	ESY5893 Getmain に失敗しました。
説明	要求を続けることができる十分なストレージがありませんでした。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5894: 有効なイベントが失敗しました。

テキスト	ESY5894 有効なイベントが失敗しました。
説明	内部イベントエラーが発生しました。
対処	Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5895: :1: を指定しなければなりません。

テキスト	ESY5895 :1: を指定しなければなりません。
説明	必要な値 :1: が指定されませんでした。
対処	必要な値を指定してください。

NAT5896: 電子メールを送信しているときにエラーが発生しました。

テキスト	ESY5896 電子メールを送信しているときにエラーが発生しました。
説明	電子メール処理中に深刻なエラーが発生しました。 詳細情報が、副機能とレスポンスコードを識別するフィールド SYSTEM-MESSAGE に返されます。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT5897: メール配布機能のレスポンス**: :1:**。

テキスト	ESY5897 メール配布機能のレスポンス： :1:。
説明	メール配信機能で電子メール処理中に、エラー :1: が発生しました。 重大なエラーが起こった場合、電子メールは受信者（複数可）に配信されませんでした。
対処	Entire System Server 管理者に連絡してください。 メール配信機能の レポートに、詳細なエラー診断が含まれている場合があります。

NAT5899: データセットの読み取り中に永久 **I/O** エラー。

テキスト	ESY5899 ：データセットの読み取り中に永久 I/O エラー。
説明	READ アクセス中に I/O エラーが検知されました。
対処	これはハードウェア障害の可能性があります。 データセンターに連絡してください。

NAT5900: SYSOUT データセットをアロケートすることができません。

テキスト	ESY5900 SYSOUT データセットをアロケートすることができません。
説明	SYSOUT データセットのダイナミックアロケーションに失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

108 Natural システムエラーメッセージ 5901～5950

NAT5901: 内部リーダーをアロケートできません。

テキスト	ESY5901 内部リーダーをアロケートできません。
説明	内部リーダのダイナミックアロケーションに失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5902: ダイナミックアロケーションに失敗しました。

テキスト	ESY5902 ダイナミックアロケーションに失敗しました。
説明	
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5903: 一時的データセットのためのダイナミックアロケーションに失敗しました。

テキスト	ESY5903 一時的データセットのためのダイナミックアロケーションに失敗しました。
説明	一時的データセットのダイナミックアロケーションに失敗しました。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5904: 編集は許可されていません（**SCLM** プロテクション）。

テキスト	ESY5904 編集は許可されていません (SCLM プロテクション) 。
説明	選択された PDS メンバは、SCLM により保護されています。 このメンバに許可されるのは参照のみです。 すべての更新アクションは拒絶されます。
対処	メンバを解放するために、SCLM ダイアログを使用してください。

NAT5906: DESERV :1: エラー、**R15=:2:**、**R0=:3:**。

テキスト	ESY5906 DESERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
説明	DESERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。 関数および R15 と R0 の値が表示されています。
対処	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5907: DSPSERV :1: エラー、**R15=:2:**、**R0=:3:**。

テキスト	ESY5907 DSPSERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
説明	DSPSERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。 関数および R15 と R0 の値が表示されています。
対処	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5908: ALESERV :1: 障害、**R15=:2:**、**R0=:3:**。

テキスト	ALESERV :1: エラー、R15=:2:、R0=:3:。
説明	ALESERV マクロが発行され、予期しないエラーが発生しました。 関数および R15 と R0 の値が表示されています。
対処	R15 と R0 の値をチェックし、必要な場合は Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT5909: JCL コマンド内で構文エラー。

テキスト	ESY5909 JCL コマンド内で構文エラー。
説明	構文エラーが検知されました。
対処	JCL をチェックして、エラーを修正してください。

NAT5921: ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。

テキスト	ESY5921 ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。
説明	ENTIRE SYSTEM SERVER ノードテーブルはリンクされていません。
対処	システムプログラマに連絡してください。

NAT5922: ENTIRE SYSTEM SERVER ノード **:1:** はアクティブではありません。

テキスト	ESY5922 ENTIRE SYSTEM SERVER ノード :1: はアクティブではありません。
説明	
対処	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

109 Natural システムエラーメッセージ 5951～6000

NAT5981: 無効な値が指定されました（**BLKCTRL/BLKSIZE/LRECL**）。

テキスト	ESY5981 無効な値が指定されました (BLKCTRL/BLKSIZE/LRECL) 。
説明	BLOCK CONTROL、BLOCK SIZE、または RECORD LENGTH に無効な値が指定されました。
対処	エラーを修正してください。

NAT5982: ISAM-key の使用中にエラー。

テキスト	ESY5982 ISAM-key の使用中にエラー。
説明	考えられる理由は次のとおりです。 - DUPEKY=NO の場合に重複したキーが検出されました。 - キーの生成が必要ですが、KEYLEN が 8 バイトより大きいか、またはデフォルトの KEYPOS がありません。 - ファイルのキー長が 253 バイトより大きくなっています。 - キーが ISAM ファイル内に見つかりません。 - UPDATE-INPLACE=YES の場合にキーが指定されていません。 - 無効なキー順が検出されました。
対処	パラメータまたはファイル属性をチェックしてください。

NAT5983: :1: は **:2:** によりサポートされていません。

テキスト	ESY5983 :1: は :2: によりサポートされていません。
説明	特別なモードではサポートされない機能があります。 例えば、ビュー EVENTING は、BS2000 のマルチユーザーモードでのみ利用可能です。 エラーテキスト 'シングルユーザーモードは EVENTING によりサポートされていません' が表示されます。'
対処	可能な対処法はありません。

NAT5984: サーバーはアクセスするためには認可されません。

テキスト	ESY5984 サーバーはアクセスするためには認可されません。
説明	ESY サーバータスクには、保護属性を備えた様々なオブジェクトにアクセスする権限がないため、$TSOS はアクセスできません。
対処	可能な対処法はありません。

NAT5985: テープファイルへのアクセスは許可されていません。

テキスト	ESY5985 テープファイルへのアクセスは許可されていません。
説明	テープファイルへのアクセスが要求されましたが、ESY 起動ファイルにパラメータ TAPES=NO が指定されています。
対処	ESY の管理者に連絡してください。

NAT5986: :1: のためのスペースが全然ないか、十分にありません。

テキスト	ESY5986 :1: のためのスペースが全然ないか、十分にありません。
説明	様々な起動パラメータサイズを超えています。 詳細については、変数テキストを参照してください。
対処	ESY の管理者に連絡してください。

NAT5987: ジョブ変数はすでに存在します。

テキスト	ESY5987 ジョブ変数はすでに存在します。
説明	存在しているジョブ変数は、再割り当てできません。
対処	入力値をチェックしてください。

NAT5988: 無効なタスクタイプが検知されました。

テキスト	ESY5988 無効なタスクタイプが検知されました。
説明	タスクタイプは 1 から 7 の間の値でなければなりません。
対処	プログラムを修正してください。

NAT5989: 無効な **ELEMENT** を指定。

テキスト	ESY5989 無効な ELEMENT を指定。
説明	要素名はユニークである必要があります。
対処	要素名を修正してください。

NAT5990: フィールド **RECORD** は、フォーマットバッファ内で見つかりません。

テキスト	ESY5990 フィールド RECORD は、フォーマットバッファ内で見つかりません。
説明	RECORD フィールドを指定 しないでレコードを読み込もうとしました。
対処	プログラム内にフィールド RECORD を指定してください。

NAT5991: 未知の製品です。

テキスト	ESY5991 未知の製品です。

説明	無効な PRODUCT 値が指定されました。
対処	正しい製品コードを指定してください。

NAT5992: 要求されたジョブ変数が見つかりません。

テキスト	ESY5992 要求されたジョブ変数が見つかりません。
説明	要求されたジョブ変数は、カタログされていません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5993: ファイルを開くことができません。

テキスト	ESY5993 ファイルを開くことができません。
説明	オープン要求は失敗しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT5994: ファイルはボリューム上にありません。

テキスト	ESY5994 ファイルはボリューム上にありません。
説明	要求されたデータセットは、指定したボリューム上にありません。
対処	対処は必要ありません。

NAT5995: ファイルはカタログ内にありません。

テキスト	ESY5995 ファイルはカタログ内にありません。
説明	このデータセットは、カタログされていません。
対処	VOLSER を指定するか、またはデータセットをカタログしてください。

NAT5996: ボリュームはオンラインではありません。

テキスト	ESY5996 ボリュームはオンラインではありません。
説明	指定されたボリュームは、現在利用可能ではありません。
対処	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

NAT5997: データセットは **PDS** またはシーケンシャルではありません。

テキスト	ESY5997 データセットは PDS またはシーケンシャルではありません。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT5998: MEMBER が見つかりません。

テキスト	ESY5998 MEMBER が見つかりません。
説明	要求されたメンバが見つかりませんでした。
対処	対処は必要ありません。

NAT5999: ENTIRE SYSTEM SERVER ノード **:1:** はアクティブではありません。

テキスト	ESY5999 ENTIRE SYSTEM SERVER ノード :1: はアクティブではありません。
説明	
対処	オペレータまたはシステムプログラマに連絡してください。

110 Natural システムエラーメッセージ 6001～6050

NAT6001: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	フィールドのフォーマットを変換する内部ルーチンでエラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6003: 変換に非互換のフォーマットタイプが使用されています。

テキスト	変換に非互換のフォーマットタイプが使用されています。
説明	値をあるフォーマットから他のフォーマットへ変換しようとしましたが、 これらのフォーマットタイプ間の変換は許可されていません。 長さが 4 以下 (整数として扱える) のバイナリ値のフォーマットと、 長さが 5 以上 (整数として扱えない) のもののフォーマットとは 異なることに注意してください。
対処	リファレンスドキュメントで、 フォーマットタイプの変換の互換性を参照してください。

NAT6005: リストファイルはすでに開いています。

テキスト	リストファイルはすでに開いています。
説明	リストファイルはすでに開いているので、再度開くことはできません。
対処	リストファイルを閉じてください。

NAT6007: 1 つのプログラムで使用する **DO ... DOEND** ループは **40** 未満にしてください。

テキスト	1 つのプログラムで使用する DO ... DOEND ループは 40 未満にしてください。
説明	このプログラムには、40 以上の DO ... DOEND ループがあります。
対処	DO ... DOEND ループの数を 40 未満にしてください。

NAT6008: 1 つのプログラムで使用する **SETTIME** ステートメントは **5** 未満にしてください。

テキスト	1 つのプログラムで使用する SETTIME ステートメントは 5 未満にしてください。
説明	このプログラムには、5 以上の SETTIME ステートメントがあります。
対処	SETTIME ステートメントの数を 5 未満にしてください。

NAT6009: 1 つのプログラムで実行されるサブルーチンは **50** 未満にしてください。

テキスト	1 つのプログラムで実行されるサブルーチンは 50 未満にしてください。
説明	このプログラムでは、50 以上の異なるサブルーチンが実行されます。
対処	サブルーチンの数を 50 未満にしてください。

NAT6010: 処理を実行できませんでした。 メモリの割り当てに失敗しました。

テキスト	処理を実行できませんでした。 メモリの割り当てに失敗しました。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、または システムスワップファイル用の十分なスペースがディスクにありません。 または、 Natural の内部バッファサイズ USIZE および SSIZE が小さすぎる可能性があります。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを 確認します。 さらに、NATPARM の USIZE と SSIZE の設定をチェックして、 値が小さすぎる場合には、値を増やしてください。

対処	それでも再発する場合は、システム管理者に連絡してください。

NAT6011: GP 構造の限界を超えました**: :1:**

テキスト	GP 構造の限界を超えました。
説明	次のキーワードは、対応する GP テーブル構造を識別します。 OVFL・CT ：ステートメントブロックが大きすぎます。 （IF-THEN-ELSE、ループ構造など） OVFL・ADE ：配列定義構造が大きすぎます。 OVFL・ATT ：フィールド属性定義が大きすぎます。
対処	Natural プログラム内を適した構造に縮小してください。

NAT6012: 内部バッファがオーバーフローしました。

テキスト	内部バッファがオーバーフローしました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6013: 予期しないバッファプールのエラーです。

テキスト	予期しないバッファプールのエラーです。
説明	バッファプールへのアクセス時に、予期しないエラーが発生しました。
対処	Natural を再スタートしてください。 エラーが再発する場合は、Natural システム管理者に連絡して、 Natural バッファプールの再起動を依頼してください。 それでも問題が解決されない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6014: ファイルのロック中にタイムアウトが発生しました。

テキスト	ファイルのロック中にタイムアウトが発生しました。

説明	ファイルを開こうとしたときに、ファイルのロックでタイムアウトが発生しました。
対処	エラーが発生した処理を再実行してください。

NAT6015: WORK FILE 番号 **:1:** が配置されていません／有効ではありません。

テキスト	WORK FILE 番号 ... が配置されていません / 有効ではありません。
説明	ワークファイルは、Natural 管理者によって事前に定義されている必要があります。
対処	正しいワークファイル番号が使用されていることを確認してください。 正しい場合は、Natural 管理者にワークファイルの状態 / 使用を 確認してください。

NAT6016: バッチ入力エラー**::1:**。

テキスト	バッチ入力エラー：...。
説明	バッチモード内の INPUT ステートメントを完了できませんでした。
対処	バッチ入力ファイルがアクセス可能であり、必要なすべてのデータが 含まれていることを確認してください。

NAT6017: PC コネクションはワークファイル **:1:** に対してすでに開いています。

テキスト	PC コネクションはワークファイル ... に対してすでに開いています。
説明	別の転送がすでにアクティブな間に、PC への転送または PC からの転送が 開始されました。 同時に実行できるアクティブな転送は 1 つのみです。
対処	別の転送がアクティブでない場合にのみ転送が開始されるようにしてください。

NAT6018: ワークファイル **:1:** 内に誤った構造のレコードがあります。コード **:2:**

テキスト	ワークファイル ... 内に誤った構造のレコードがあります。コード ...
説明	ポータブルワークファイルを開いているときに、誤った構造のレコードが見つかりました。 このエラーは、ワークファイルがポータブルワークファイルでない場合、 または、ワークファイルが修正された場合に発生します。

対処	読み込み対象のワークファイルが確かに Natural で生成された移植可能なワークファイルであることを確認します。 問題が続く場合は、Software AG サポートに連絡し、表示されたコードを伝えてください。

NAT6019: フィールドの数が間違っています。ファイル **:1:**、レコード **:2:**、コード **:3:**。

テキスト	フィールドの数が間違っています。ファイル ...、レコード ...、コード ...。
説明	ポータブルワークファイルの読み込み中に、不正な長さが検出されました。 このエラーには次の原因が考えられます。 1 フィールドの数が、READ WORK ステートメントと一致しません。 2 長さフィールドが桁落ちしています。 次のことを確認してください。 - READ WORK ステートメントのフィールドが、 対応する WRITE WORK ステートメント内のフィールド (フィールド数、スカラ / 配列など) と一致すること。 - 読み込まれるワークファイルが、Natural によって生成された ポータブルワークファイルであること。
対処	問題が続く場合は、Software AG サポートに連絡し、 表示されたコードを伝えてください。

NAT6020: フィールドが一致しません。ファイル **:1:**、レコード **:2:**、フィールド **:3:**、コード **:4:**。

テキスト	フィールドが一致しません。ファイル ...、レコード ...、フィールド ...、コード ...。
説明	ポータブルワークファイルの読み込み中に読み込まれたフィールドが、 READ WORK ステートメント内の指定と一致しませんでした。 ワークファイル番号、レコード番号、および、 フィールド番号は、エラーメッセージ内に示されています。 配列は 1 つのフィールドとして数えられ、タイプやオカレンス数も 一致している必要があります。 コード説明 : 1 READ WORK ステートメントのフィールドは 配列ですが、 ファイルのレコードとは異なっています。 2 ファイルのレコード内のフィールドは配列ですが、 READ WORK ステートメントとは異なっています。 3 データタイプが一致しません (ALPHA および FLOAT)。 4 長さが一致しません (バイト単位のフィールド長)。 5 配列フィールドのオカレンスが一致しません。

対処	プログラムが一致していることを確認してください (write/read work file) 。

NAT6021: 不正なレコードタイプです。ファイル **:1:**、レコード **:2:**、コード **:3:**。

テキスト	不正なレコードタイプです。ファイル ...、レコード ...、コード ...。
説明	ポータブルワークファイルの読み込み中に、不正なレコードタイプが見つかりました。 レコード番号とコードがゼロの場合、Natural によって生成された ポータブルワークファイルではないファイルにアクセスしたことを示します。
対処	読み込み対象のワークファイルが確かに Natural で生成された移植可能なワークファイル であることを確認します。 問題が続く場合は、Software AG サポート に連絡し、表示されたコードを伝えてください。

NAT6022: 予期しない **END OF FILE** です。ワークファイル **:1:**。

テキスト	予期しない END OF FILE です。ワークファイル ...。
説明	このエラーには次の 2 つの原因があります。 - フォーマットされていないファイルの読み込み中に、 ファイルの終わりに到達しました。ファイルの読み込み中に 桁落ちした場合にのみエラーとなります。 - ポータブルワークファイルをオープン / 読み込み中に、 ファイルの終わりに到達しました。
対処	- フォーマットされていないワークファイルへのアクセスが 他にないことを確認してください。 - 読み込まれるワークファイルが、Natural によって生成された ポータブルワークファイルであることを確認します。 問題が解決されない場合は、SAG サポートに連絡してください。

NAT6023: ダイナミック変数を使用するワークファイルのアクセスが不正です。

テキスト	ダイナミック変数を使用するワークファイルのアクセスが不正です。
説明	ワークファイルタイプ UNFORMATTED および PORTABLE のみを ダイナミック変数とともに使用することができます。
対処	タイプ UNFORMATTED または PORTABLE でワークファイルを定義してください。

111 Natural システムエラーメッセージ 6051〜6100

NAT6098: このステートメントは、現在のバージョンでは使用されていません。

テキスト	このステートメントは、現在のバージョンでは使用されていません。
説明	現在のバージョンの Natural では、このステートメントを使用できません。
対処	プログラムからこのステートメントを削除してください。

NAT6099: ファイルのオープンエラー **:1:** が **:2:** に発生しました。

テキスト	ファイルのオープンエラー ... が ... に発生しました。
説明	DU=ON によって、Natural コンフィグレーションユーティリティの Natural TMP ディレクトリオプションで定義されているディレクトリに、 ダンプファイルが生成されます。 この 'ファイルオープン' コールは、示されている エラーで失敗しました。 ダンプファイルはすでに開かれているか、または ユーザーに書き込み権限がありません。
対処	詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

NAT6100: XREF ダンプファイルをオープンできませんでした。

テキスト	XREF ダンプファイルをオープンできませんでした。
説明	XREF ダンプファイルはすでに開かれているか、または ユーザーに書き込み権限がありません。
対処	XREF ダンプファイルを閉じてください。または書き込み権限を設定してください。

112 Natural システムエラーメッセージ 6101～6150

NAT6101: UNIX シェルに有効な名前がないため、シェルを起動できません。

テキスト	UNIX シェルに有効な名前がないため、シェルを起動できません。
説明	シェルを起動するには、シェルの名前が定義されている必要があります。
対処	NATPARM (NATENV) にシェルの名前を定義してください。

NAT6102: NATPARM.SAG に指定された外部エディタを起動できませんでした。

テキスト	NATPARM.SAG に指定された外部エディタを起動できませんでした。
説明	プログラムエディタとして外部エディタを呼び出しました。 パラメータモジュールで定義された値は、有効なプログラム名ではありません。
対処	PATH を含めて正確にエディタの名前を定義してください。

NAT6103: クリップボードフォーマットの登録に失敗しました。

テキスト	クリップボードフォーマットの登録に失敗しました。
説明	クリップボードフォーマットを登録できませんでした。

対処	実行中のプログラム数を減らしてから、操作をやり直してみます。 エラーが再度発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6104: メッセージの表示に失敗しました。

テキスト	メッセージの表示に失敗しました。
説明	メッセージを表示できませんでした。
対処	実行中のプログラム数を減らしてから、操作をやり直してみます。 エラーが再度発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6105: ウィンドウクラスの登録に失敗しました。

テキスト	ウィンドウクラスの登録に失敗しました。
説明	ウィンドウクラスを登録できませんでした。
対処	実行中のプログラム数を減らしてから、操作をやり直してみます。 エラーが再度発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6106: ウィンドウの作成に失敗しました。

テキスト	ウィンドウの作成に失敗しました。
説明	ウィンドウを作成できませんでした。
対処	実行中のプログラム数を減らしてから、操作をやり直してみます。 エラーが再度発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6107: デバッグモードがアクティブな間はコマンドを処理できません。

テキスト	デバッグモードがアクティブな間はコマンドを処理できません。
説明	Natural プログラムまたはダイアログは、現在デバッグモードで実行されています。この状況では、入力されたコマンドは処理できません。

対処	デバッグモードを停止してから、コマンドを再度入力してください。

NAT6110: この番号のエラーに関するメッセージテキストがありません。

テキスト	この番号のエラーに関するメッセージテキストがありません。
説明	現バージョンの Natural メッセージテキストは、使用している Natural で有効ではありません。 または、メッセージテキストが編集されました。
対処	現在のバージョンのメッセージテキストをロードしてください。

NAT6111: Natural が、プログラムにテーブルタイプを指定できませんでした。

テキスト	Natural が、プログラムにテーブルタイプを指定できませんでした。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6112: このライブラリは空です。

テキスト	このライブラリは空です。
説明	メンバのないライブラリにログオンしました。
対処	対処は必要ありません。

NAT6113: ソース名を入力してください。

テキスト	ソース名を入力してください。
説明	Software AG Editor を使用しない場合は、 オブジェクト名を編集コマンドに指定する必要があります。
対処	編集するオブジェクト名を指定して、コマンドを再入力してください。

NAT6120: Natural ソースエリアで読み込み／編集するには、オブジェクトが大きすぎます。

テキスト	Natural ソースエリアで読み込み / 編集するには、オブジェクトが大きすぎます。
説明	オブジェクトは、読み込み / 編集の際に、 Natural ソースエリアに合うサイズである必要があります。
対処	Natural ソースエリアをクリアしてください。 または NATPARM プログラムを使用して、ソースエリアのサイズを増やしてください。

NAT6121: 最大のソース行数を超えました。

テキスト	生成されたオブジェクトに含まれているソースコード行が多すぎます。
説明	Natural ソースオブジェクトには、最大で 9999 行を含めることができます。 現在のオブジェクトを表すのに必要なソース行数が、 この制限を超えています。
対処	オブジェクトの複雑さを減らして、操作を再試行してください。

NAT6130: 生成されたプログラム（オブジェクトコード）のバージョンが無効です。

テキスト	生成されたプログラム (オブジェクトコード) のバージョンが無効です。
説明	生成された Natural プログラムは、 現在の実行環境では実行できません。 次の条件を確認してください。 - 生成されたプログラムのバージョンは、 実行環境のバージョンより高くしないでください。 - Natural バージョン 4.1.1 でカタログされ、 SQL ステートメントを含む生成プログラムは、 Natural バージョン 4.1.2 またはそれ以降の環境では実行できません。
対処	アプリケーションを実行する前に、オブジェクトを再カタログしてください。

NAT6131: 一時出力ファイルへのアクセス時のエラーです。

テキスト	一時出力ファイルへのアクセス時のエラーです。

説明	Natural.INI の <TMP_PATH> で指定されたディレクトリに一時出力ファイルを作成できません。
対処	Natural.INI に指定されたパスをチェックしてください。

NAT6132: 標準入力からの読み込み中にエンドオブファイルが検出されました。

テキスト	標準入力からの読み込み中にエンドオブファイルが検出されました。
説明	Natural は、標準入力端末からの読み込み中にエラーを検出しました。
対処	必要な文字すべてを引き渡す Natural の標準入力ストリームをチェックしてください。

NAT6133: プログラム **:1:** はポータブルではなく、インポートできません。

テキスト	プログラム ... はポータブルではなく、インポートできません。
説明	インポートのターゲットプラットフォームでは、生成されたプログラムのフォーマットを処理できませんでした。 生成されたプログラムは、ポータブルなコードの生成をサポートしない Natural バージョンにより作成されました。また、エンディアンモードがターゲット環境のものと互換性がない環境でプログラムが作成された可能性があります。
対処	ポータブルなコードをサポートする Natural バージョンで、プログラムを再カタログしてください。

NAT6134: パスの長さが **255** 文字を超えています。

テキスト	パスの長さが 255 文字を超えています。
説明	Natural オブジェクトは、インポート / コピー / 移動 / 名前変更することができませんでした。ターゲット環境のファイルの結果のパス名が 255 文字を超えたので、これらの操作は拒否されました。
対処	名前を短くして操作を再試行してください。

NAT6139: パラメータ **CO=ON** はサポートされていません。

テキスト	パラメータ CO=ON はサポートされていません。
説明	CO パラメータが ON に設定されていますが、 この Natural ではサポートされていません。
対処	CO を OFF に設定してください。

NAT6140: ダイアログはすでにアクティブです。

テキスト	ダイアログはすでにアクティブです。
説明	ダイアログはすでにアクティブなので、 指定されたダイアログ ID でのダイアログの呼び出しはできません。
対処	アクティブなダイアログを呼び出さないようにするために、コール構造をチェックしてください。

NAT6141: ダイアログが定義されていません。

テキスト	ダイアログが定義されていません。
説明	ダイアログとダイアログ ID が定義されていないので、 ダイアログを呼び出せません。
対処	コールに指定したダイアログ ID を確認してください。

NAT6142: FILEDIR.SAG の構造が正しくありません。

テキスト	FILEDIR.SAG の構造が正しくありません。
説明	旧バージョンの Natural での FILEDIR.SAG 構造は、 現バージョンでは認識されません。
対処	変換オプションを指定した FTOUCH ユーティリティを使用して、 FILEDIR.SAG を新しいフォーマットに変換してください。

NAT6143: SyncSort エラー**:** 状態 **:1:**、エラー番号 **:2:** が発生しました。

テキスト	SyncSort エラー: 状態 ...、エラー番号 ... が発生しました。
説明	Natural の SORT ステートメントで呼び出された SyncSort が、 上記のエラーコードで中止されました。 次に示す情報を基に、SyncSort ドキュメントを参照してください。 - 状態 ：関数 syncsort() のリターンコード - エラー番号：標準 'エラー番号' 変数値
対処	適切な対処については、SyncSort ドキュメントを参照してください。

NAT6144: リポジトリエラー**:**トランザクションをバックアウトできませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：トランザクションをバックアウトできませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 トランザクションをバックアウトするために Natural/C のシステムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6145: リポジトリエラー**:**トランザクションが完全には実行されませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：トランザクションが完全には実行されませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 トランザクションを終了するために Natural のシステムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6146: リポジトリエラー**:**トランザクションを開始できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：トランザクションを開始できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 トランザクションを開始するために Natural/C のシステムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。

対処	環境をチェックしてください。

NAT6147: リポジトリエラー:オブジェクトを削除できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：オブジェクトを削除できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 オブジェクトを削除するために Natural/C のシステムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6148: リポジトリエラー:オブジェクトをコピー／移動できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：オブジェクトをコピー / 移動できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 オブジェクトをコピー / 移動するために Natural/C のシステムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6149: ロックの競合:オブジェクトをロックできませんでした。

テキスト	ロックの競合：オブジェクトをロックできませんでした。
説明	オブジェクトをロックするために Natural システムファイルが呼び出されましたが、 ロック対象のオブジェクトは別のユーザーによってすでにロックされています。
対処	その別のユーザーに、オブジェクトをアンロックするように依頼してください。

NAT6150: ロックの競合:オブジェクトはロックされていません。

テキスト	ロックの競合：オブジェクトはロックされていません。
説明	ネットワークソフトウェアにエラーが発生したか、または ロックされていると想定したオブジェクトを Natural が解放しようとしました。

対処	環境をチェックしてください。

113 Natural システムエラーメッセージ 6151～6200

NAT6151: Natural プログラムエラー**:**無限の再帰。

テキスト	Natural プログラムエラー：無限の再帰。
説明	このエラーが発生する典型的なプログラムは、CLOSE イベントに CLOSE DIALOG *DIALOG-ID ステートメントを 含むダイアログです。
対処	再帰的なコールをチェックしてください。

NAT6152: オブジェクトのアンロック中にエラーが発生しました。

テキスト	オブジェクトのアンロック中にエラーが発生しました。
説明	ネットワークソフトウェアにエラーが発生したか、または、 オブジェクトのアンロック中に Natural が内部エラーを検出しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6153: オブジェクトのロック中にエラーが発生しました。

テキスト	オブジェクトのロック中にエラーが発生しました。

説明	ネットワークソフトウェアにエラーが発生したか、または、 オブジェクトのロック中に Natural が内部エラーを検出しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6154: ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。

テキスト	ファイルのクローズ中にエラーが発生しました。
説明	Natural が開いていたファイルを閉じようとしましたが、 オペレーティングシステムによってエラーが返されました。
対処	環境をチェックしてください。 問題の原因が見つからない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6155: 読み取り専用のシステムファイルを変更しようとしました。

テキスト	読み取り専用のシステムファイルを変更しようとしました。
説明	Natural が書き込むためにシステムファイルエミュレーションに ファイルを開こうとしましたが、このシステムファイルは グローバルコンフィグレーションファイルに読み取り専用として記述されています。
対処	システムファイルを変更しないでください。または、 NATCONV.CFG から読み取り専用フラグを削除してください。

NAT6156: システムファイルエミュレーションの内部エラー。

テキスト	システムファイルエミュレーションの内部エラー。
説明	Natural にシステムファイルエミュレーションの内部エラーが 発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6157: 非 **GUI** 環境からダイアログを呼び出しました。

テキスト	非 GUI 環境からダイアログを呼び出しました。
説明	ダイアログがレベル 1 で起動されると GUI 環境が作成され、 ダイアログの呼び出しが可能になります。 次の場合には、非 GUI 環境がアクティブになります。 - プログラムがレベル 1 で起動されました、または - Natural がサーバーとして実行されています。 非 GUI 環境では、ダイアログを呼び出すことはできません。
対処	プログラムをチェックして、ダイアログの呼び出しを削除してください。または、 ダイアログ経由でプログラムを呼び出してください。

NAT6158: リポジトリにオブジェクトディスクリプタを送信できませんでした。

テキスト	リポジトリにオブジェクトディスクリプタを送信できませんでした。
説明	Natural / リポジトリの同期処理中に、 Natural はオブジェクトの記述をリポジトリに送信できませんでした。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6159: リポジトリエラー**:**ライブラリを削除できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー : ライブラリを削除できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 ライブラリを削除するために Natural システムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6160: リポジトリエラー**:**ライブラリの名前を変更できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー : ライブラリの名前を変更できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 ライブラリの名前を変更するために Natural システムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。

対処	環境をチェックしてください。

NAT6161: リポジトリエラー:オブジェクトを保存できませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：オブジェクトを保存できませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 オブジェクトを保存するために Natural システムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6162: リポジトリエラー:オブジェクトをロックできませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：オブジェクトをロックできませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 オブジェクトをロックするために Natural システムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6163: リポジトリエラー:オブジェクトをアンロックできませんでした。

テキスト	リポジトリエラー：オブジェクトをアンロックできませんでした。
説明	Natural リポジトリが、 オブジェクトをアンロックするために Natural システムファイルドライバによって呼び出され、 エラーコードを返しました。
対処	環境をチェックしてください。

NAT6164: オブジェクトは正常に保存されました。 格納情報に誤りがある可能性があります。

テキスト	オブジェクトは正常に保存されました。 格納情報に誤りがある可能性があります。
説明	Natural オブジェクトの SAVE/CATALOG に成功しましたが、 リポジトリの処理に失敗したため、 Natural リポジトリに保存されたオブジェクト情報が正しくない可能性があります。

対処	操作を再試行します。 エラーが再発する場合は、システム管理者または Software AG サポートに連絡してください。

NAT6200: グローバル変数／アプリケーション独立変数を挿入できません。

テキスト	グローバル変数 / アプリケーション独立変数を挿入できません。
説明	このエラーは、次の 2 つの原因により発生します。 a) メモリ不足 b) テーブルのオーバーフロー オペレーティングシステムが適切に設定されていないか、または ディスク上にシステムスワップファイル用の十分なスペースがありません。 アプリケーション独立変数のすべての記述は、 限られたサイズのテーブルに集められます。 非常に大きな数のアプリケーション独立変数が作成された場合、そのテーブルはオーバーフローする可能性があります。 同じ状況はコンテキスト変数にも当てはまります。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。 アプリケーション独立変数およびコンテキスト変数の数をチェックします。
対処	アプリケーション独立変数およびコンテキスト変数の数をチェックしてください。 システム管理者に連絡してください。

114 Natural システムエラーメッセージ 6201～6250

NAT6201: アプリケーション独立変数の初期化でエラーが発生しました。

テキスト	アプリケーション独立変数の初期化でエラーが発生しました。
説明	Natural で内部エラーが検出されました。 コンテキスト変数の初期化でも発生する可能性があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6202: マルチフェッチモード内のネストされたデータベースループの処理中にエラーが発生しました。

テキスト	マルチフェッチモード内のネストされたデータベースループの処理中にエラーが発生しました。
説明	ネストされたデータベースアクセスのループ内で、データベースを修正するステートメントが、外部のループによって読み込まれるファイルを修正しようとしました。
対処	マルチフェッチ処理が、1 つまたは複数の外側のデータベースループ内で OFF に切り換えられるようにしてください。

NAT6203: 算術関数でドメインエラーが発生しました。

テキスト	算術関数でドメインエラーが発生しました。

説明	関数の引数が、関数のドメイン外にあります。 不正な浮動小数点オペランドで関数が呼び出されました。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6204: 算術関数で特異な引数エラーが発生しました。

テキスト	算術関数で特異な引数エラーが発生しました。
説明	関数の引数に不正な値が代入されました。 (例 : 0 でない数値を必要とする関数に 0 が渡された。)
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6205: 算術関数でオーバーフローが発生しました。

テキスト	算術関数でオーバーフローが発生しました。
説明	関数の結果が大きすぎて表示できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6206: 算術関数で有効数字の桁落ちが発生しました。

テキスト	算術関数で有効数字の桁落ちが発生しました。
説明	
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6207: 算術関数で有効数字全体が失われました。

テキスト	算術関数で有効数字全体が失われました。
説明	関数の結果が不正確なものになります。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6208: 算術関数にアンダーフローが発生しました。

テキスト	算術関数にアンダーフローが発生しました。
説明	関数の結果が小さすぎて表示できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6209: 制御を戻すときに、呼び出し元オブジェクトが使用できなくなっています。

テキスト	制御を戻すときに、呼び出し元オブジェクトが使用できなくなっています。
説明	呼び出されたオブジェクトの処理は終了しました。 呼び出し元オブジェクトがバッファプールとライブラリのいずれでも使用できないため、 そのオブジェクトに制御を戻すことができません。
対処	呼び出し元オブジェクトをカタログ形式で 現在のライブラリ、システムライブラリ、またはステップライブラリに配置してください。

NAT6210: グローバルデータエリアの初期化中に内部エラーが発生しました。

テキスト	グローバルデータエリアの初期化中に内部エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6211: マルチフェッチモードで **DYNAMIC** 方向変更を使用しないでください。

テキスト	マルチフェッチモードで DYNAMIC 方向変更を使用しないでください。
説明	対応する処理ループがマルチフェッチモードで実行されない場合にのみ、 ダイナミックな方向変更を使用することができます。
対処	可能な場合は、DYNAMIC 方向節の代わりに VARIABLE 方向節を使用してください。 または、MULTI-FETCH OFF 節で、このステートメントに対する マルチフェッチモードを OFF に切り換えてください。

NAT6212: 利用可能なメモリがありません。 サブタスクのスタックでオーバーフローが発生しました。

テキスト	利用可能なメモリがありません。 サブタスクのスタックでオーバーフローが発生しました。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。
対処	管理者に連絡してください。

NAT6213: メモリ不足で、入出力処理ができません。

テキスト	メモリ不足で、入出力処理ができません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。
対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6214: メモリ不足で、**CALL** ステートメントを実行できません。

テキスト	メモリ不足で、CALL ステートメントを実行できません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。
対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6215: RET 関数は、呼び出されたプログラムにのみ有効です。

テキスト	RET 関数は、呼び出されたプログラムにのみ有効です。

説明	RET 関数が、呼び出されていないプログラムに使用されました。
対処	RET 関数の前に CALL が行われるようにプログラミングしてください、または RET 関数を削除してください。

NAT6216: PF キーを設定しているプログラムレベルが多すぎます。

テキスト	PF キーを設定しているプログラムレベルが多すぎます。
説明	PF (プログラムファンクション) キーが設定されているすべてのプログラムレベルに構造体が割り当てられます。 1 プログラム中のすべての構造体は、64 K のセグメント内に収める必要がありますが、 現在のレベルの構造体は、現在のプログラムのセグメント内に収まりません。
対処	PF キーを設定するプログラムレベルを減らしてください。

NAT6217: ランタイムのエラー処理でエラーが発生しました。

テキスト	ランタイムのエラー処理でエラーが発生しました。
説明	ランタイム時にエラーが発生しましたが、 エラー処理と、適切なメッセージの表示ができませんでした。
対処	Natural の内部エラーの可能性があるため、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6218: 現在の言語に使用できる年月のテキストがありません。

テキスト	現在の言語に使用できる年月のテキストがありません。
説明	
対処	その言語が現在インストールされているシステムで 利用可能かどうか、管理者に問い合わせてください。 利用可能な場合、管理者はその言語に対応するテキストファイルを使用できるかどうかを確認し、ファイルが壊れている場合は再ロードします。

NAT6219: 現在の言語に使用できる日付のテキストがありません。

テキスト	現在の言語に使用できる日付のテキストがありません。
説明	
対処	その言語が現在インストールされているシステムで 利用可能かどうか、管理者に問い合わせてください。 利用可能な場合、管理者はその言語に対応するテキストファイルを使用できるかどうかを確認し、 ファイルが壊れている場合は再ロードします。

NAT6220: ワークファイルの読み込み時に、内部エラーが発生しました。

テキスト	ワークファイルの読み込み時に、内部エラーが発生しました。
説明	ワークファイルに論理エラーが含まれているか、 ディスクに物理エラーが存在しています。
対処	再度、ワークファイルに書き込んでみてください。 他に影響がない場合は、ディスクを変更してください。

NAT6221: ワークファイルへの書き込み時に、内部エラーが発生しました。

テキスト	ワークファイルへの書き込み時に、内部エラーが発生しました。
説明	ワークファイルに論理エラーが含まれているか、 ディスクに物理エラーが存在しています。
対処	再度、ワークファイルに書き込んでみてください。 他に影響がない場合は、ディスクを変更してください。

NAT6222: WRITE WORK FILE ステートメント内のフィールドが長すぎます。

テキスト	`WRITE WORK FILE` ステートメント内のフィールドが長すぎます。
説明	`WRITE WORK FILE` ステートメント内のすべてのフィールドの総桁数は、`64 K` 未満にする必要があります。 ポータブルワークファイルの場合、この制限は `2 GB` に増えました。

対処	WRITE WORK FILE ステートメントのフィールド数を減らしてください。または、フィールド長を短くしてください。

NAT6223: 数値フィールドに数値以外の桁が含まれています。

テキスト	数値フィールドに数値以外の桁が含まれています。
説明	数値フィールドの 1 以上の桁が数値でないため、 数値コンテキストで処理できません。
対処	問題の数値フィールドが英数字またはバイナリとして再定義されるかどうかを 確認します。 これに該当する場合は、フィールドに数値の桁のみが含まれるように注意します。 これに該当しない場合、(データベースからの)入力データに誤りがある可能性があります。

NAT6224: ループ処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	ループ処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6225: AT BREAK 処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	AT BREAK 処理中に内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6226: RETRY 処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	RETRY 処理中に内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6227: 内部エラーが発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6228: プログラムレベルの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	プログラムレベル処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6229: プログラムレベルの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	プログラムレベル処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6230: ループ処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	ループ処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6231: ループ処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	ループ処理中の内部エラー。

説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6232: プログラムレベルの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	プログラムレベル処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6233: プログラムレベルの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	プログラムレベル処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6234: プログラムレベルの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	プログラムレベル処理中の内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6235: オペレーションスタックの処理中に内部エラーが発生しました。

テキスト	オペレーションスタックの処理中に内部エラーが発生しました。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6236: データベースサーバーとのインターフェイスで内部エラーが発生しました。

テキスト	データベースサーバーとのインターフェイスでの内部エラー。
説明	
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6237: 未定義のデータベースタイプに対してデータベースコールの実行が試みられました。

テキスト	未定義のデータベースタイプに対してデータベースコールの実行が試みられた。
説明	Natural プログラムがカタログされたときに 定義されたデータベース環境が実行時の環境と 異なります (データベース ID に誤ったデータベースタイプ が含まれているなど) 。 次のいずれかを実行します。 1.グローバル CONFIG ファイルでデータベース 割り当てを変更し、実行時の環境が カタログ時の環境と同じであることを 確認します。 NATPARM ユーティリティを使用します。 2. データベース割り当てが変更されている場合、Natural プログラムを再カタログします。
対処	説明を参照

NAT6238: 未定義のデータベースタイプに対してデータベースコールの実行が試みられました。

テキスト	未定義のデータベースタイプに対してデータベースコールの実行が試みられた。
説明	Natural プログラムがカタログされたときに 定義されたデータベース環境が実行時の環境と 異なります (データベース ID に誤ったデータベースタイプ が含まれているなど) 。 次のいずれかを実行します。 1.グローバル CONFIG ファイルでデータベース 割り当てを変更し、実行時の環境が カタログ時の環境と同じであることを 確認します。 NATPARM ユーティリティを使用します。 2. データベース割り当てが変更されている場合、Natural プログラムを再カタログします。

対処	説明を参照

NAT6239: データベースサーバーとのインターフェイスで内部エラーが発生しました。

テキスト	データベースサーバーとのインターフェイスで内部エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6240: ダイアログがアクティブなときは **FETCH** できません。

テキスト	ダイアログがアクティブなときは FETCH できません。
説明	ダイアログがアクティブなときは FETCH ステートメントを実行できません。
対処	FETCH ステートメントを削除してください。

NAT6241: パラメータアクセスに失敗しました。

テキスト	パラメータアクセスに失敗しました。
説明	パラメータがダイアログに渡される場合、または、CALLNAT または外部サブルーチンの PDA 内でキーワード OPTIONAL でパラメータが指定されている場合、 パラメータはオプションになります。 パラメータが渡されなかった場合、そのパラメータにアクセスすることはできません。 アクセスしようとすると、このエラーが発生します。 パラメータを再定義した場合にも同様にこのエラーが起こります。
対処	アクセスする前にパラメータをチェックしてください。 ステートメントの 'IF パラメータ SPECIFIED' または 'IF パラメータ NOT SPECIFIED' は、このために使用することができます。

NAT6242: :1: 次元の添え字の値が大きすぎます。**(**配列フィールド上のヘルプ**)**

テキスト	:1: 次元の添え字の値が大きすぎます。(配列フィールド上のヘルプ)

説明	エラーが発生した環境： 配列の要素である INPUT フィールドに対してヘルプが要求されました。 ヘルプルーチンのパラメータの生成時に、 配列要素の添え字がフィールドの内容とともに渡されます。 この場合、ヘルプルーチンが I2 フォーマットで値を受け取るので、 添え字は I2 フォーマットに収まる値である必要があります。 エラーが発生した理由： 指定された添え字が I2 フォーマットに収まりません (オーバーフローします)。
対処	添え字の値をチェックし、I2 フォーマットに収まるようにします。

NAT6243: 外部 **3GL** プログラムからの **Natural** 呼び出し時のパラメータが多すぎます。

テキスト	外部 3GL プログラムからの Natural 呼び出し時のパラメータが多すぎます。
説明	外部プログラム (3GL プログラムなど) からの Natural 呼び出しで、 最大パラメータ数を超えています。 パフォーマンスを維持するため、内部的に 4500 に制限されています。
対処	パラメータ数を減らします。 減らすことができない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6244: 内部メモリ制御エラーが発生しました。

テキスト	内部メモリ制御エラーが発生しました。
説明	このエラーは、不適切なシステム管理により発生します。 Natural 実行中に Natural オブジェクトが変更または削除されました。 このため、アクティブオブジェクト情報を再度ロードできませんでした。 この情報はアクティブメモリを解放するために必要となるため、 このエラーが何度も発生すると、Natural でメモリ不足が発生します。
対処	Natural セッションをシャットダウンし、再起動してください。 オブジェクトの変更または削除は、Natural プロセスが実行されていないときに行ってください。

NAT6245: 内部エラー**:**名前 **:1:** コード **:2:** サブコード **:3:**

テキスト	内部エラー:名前 ... コード ... サブコード ...

説明	内部エラーが発生しました。 名前、コード、およびサブコードは、 エラーメッセージ内に含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡して、エラーメッセージの全文を伝えてください。

NAT6246: ODA（オブジェクトデータエリア）の使用が不正です。

テキスト	ODA (オブジェクトデータエリア) の使用が不正です。
説明	オブジェクトデータエリア (ODA) は、クラス固有のデータを使用するために メソッドで定義されます。 メソッドは、CREATE OBJECT および SEND METHOD ステートメントでアクティブになっている必要があります。 SEND METHOD ステートメント以外 (例 : CALLNAT など) を使用して、 ODA を使用するメソッドをアクティブにしようとしました。
対処	SEND METHOD ステートメントを使用してメソッドをアクティブに してください。

NAT6247: ODA の構造が **CLASS** 内と **METHOD** 内で矛盾しています。

テキスト	ODA の構造が CLASS 内と METHOD 内で矛盾しています。
説明	オブジェクトデータエリア (ODA) は、クラス固有のデータを 使用するためにメソッドで定義されます このため、ODA の構造は CLASS 内と呼び出された METHOD 内で一致している必要があります。
対処	CLASS および METHOD 内の ODA の構造が、同じ数のパラメータ、 フォーマット、および長さを持つようにしてください。

NAT6248: ランタイム時とコンパイラ時で **OPS** の構造に矛盾があります。

テキスト	ランタイム時とコンパイラ時で OPS の構造に矛盾があります。
説明	ダイナミックオペランドとタイプ ANY のオペランドをサポートするために、 コンパイラは GP 内に OPS 構造を生成します。 生成された OPS 構造は、 現在ランタイムシステムで使われている OPS 構造と一致していません。
対処	カタログされた Natural プログラムが、現在使用している Natural バージョンと 互換性のあるバージョンであることを確認してください。 互換性がない場合は、Natural プログラムを再カタログしてください。その他の場合は、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6249: *LENGTH 評価中に内部エラーが発生しました。

テキスト	*LENGTH 評価中に内部エラーが発生しました。
説明	*LENGTH 評価用内部構造が、 内部エラーのため利用できません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6250: 不正な値を ***LENGTH** に適用しようとしました。

テキスト	不正な値を *LENGTH に適用しようとしました。
説明	システム変数 *LENGTH は、ダイナミック変数で使用するサイズを 増やすために修正されます。 *LENGTH が修正されたときは、以下の条件を満たす必要があります。 1.*LENGTH には負の値を設定する必要があります。 2.*LENGTH には割り当てられたデータスペースよりも大きな値を設定 しないでください。
対処	上記の条件をチェックしてください。 Natural EXPAND ステートメントは、ダイナミック変数のデータスペースを 増やすために使用します。

115 Natural システムエラーメッセージ 6251～6300

NAT6251: ダイナミックオペランドの処理中に未知の **OPD** フォーマットが見つかりました。

テキスト	ダイナミックオペランドの処理中に未知の OPD フォーマットが見つかりました。
説明	内部エラー。 未知の Natural 内部オペランドフォーマットがダイナミック変数の 処理中に見つかりました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6252: 非ダイナミック変数のサイズは変更できません。

テキスト	非ダイナミック変数のサイズは変更できません。
説明	内部エラー。 ダイナミック変数のための値スペースのサイズが変更されたとき、 不正な Natural 内部オペランドフォーマットが見つかりました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6253: ダイナミック変数に対する上限を超えました。

テキスト	ダイナミック変数に対する上限を超えました。

説明	ダイナミック変数の値スペースの再割り当て中に、 1 GB の上限を超えました。
対処	ダイナミック変数のデータスペースは 1 GB 以下になるようにしてください。

NAT6254: REDUCE または **EXPAND** ステートメントに不正なサイズ値が指定されました**: :1:**

テキスト	REDUCE または EXPAND ステートメントに不正なサイズ値が指定されました：〈サイズ値〉
説明	与えられたダイナミックオペランドのためのメモリを 再割り当てするために、サイズ値は REDUCE と EXPAND ステートメントに 指定されます。 サイズ値は以下の条件に従っている必要があります。 1.サイズ値は負の値であってはいけません。 2.サイズ値は 1 GB を超えてはいけません。
対処	エラーを引き起こしたサイズ値は、エラーメッセージ内に表示されます。 上記の条件と値を比較しチェックしてください。

NAT6255: *length = 0 でのダイナミック変数の使用は不正です。

テキスト	*length = 0 でのダイナミック変数の使用は不正です。
説明	ダイナミック変数には割り当てられたデータがありません。 これは、データ長が0であることを意味します。 ダイナミック変数の内容は未定義です。 次の条件になったとき、 データなしのダイナミック変数の使用はエラーを引き起こします。 1.ダイナミック変数が論理条件基準内で オペランドとして使用された場合。 2.ダイナミック変数が割り当て内の ソースオペランドとして使用された場合。
対処	ダイナミック変数の使用法をチェックし、 割り当てられたデータがあることを確認してください。

NAT6256: X-array は、このコンテキストでは指定できません。

テキスト	X-array は、このコンテキストでは指定できません。

説明	X-array の指定は、このコンテキストでは許可されません。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT6269: Natural アプリケーションは異常終了しました。

テキスト	Natural アプリケーションは異常終了しました。
説明	Natural アプリケーションは、ハードウェアまたはソフトウェアの例外（例：メモリアクセス違反またはスタックのオーバーフロー）のため突然終了しました。
対処	対話形式で Natural を実行している場合、変更を保存し、できるだけ早く Natural を再スタートすることをお勧めします。 問題解決のために、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6270: Natural デバッガがロードできませんでした。

テキスト	Natural デバッガがロードできませんでした。
説明	メモリが不十分であるか、またはパスの設定が正しくありません。
対処	PATH 環境変数が、Natural デバッガが配置されているディレクトリのパスを指していること、および Natural デバッガをロードするのに十分なメモリがあることを確認してください。

NAT6271: デバッガ通信の作成中に内部エラーが発生しました。

テキスト	デバッガ通信の作成中に内部エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6272: イベント名が不正です。

テキスト	イベント名が不正です。

説明	指定されたイベント名は、Natural で予約されています。 (例 : OPEN、AFTER-OPEN)
対処	異なるイベント名を使用してエラーを修正してください。

NAT6273: AIV/GP バージョン互換エラー

テキスト	AIV/GP バージョン互換エラー
説明	現在のアプリケーションは、新旧両方のカタログ Natural オブジェクトを使用しています。新しいオブジェクトは、64 KB を超えてもよい AIV で作成されました。 古い Natural オブジェクトはこの AIV に アクセスしようとしましたが、64 KB という制限があります。
対処	オブジェクトを再カタログする (推奨) か、AIV 作成を再編成してください。

NAT6274: パラメータ **:1:** は、このインターフェイスには長すぎます。

テキスト	パラメータ ... は、このインターフェイスには長すぎます。
説明	Natural CALL ステートメントの従来の形式は、65535 までの長さのみを サポートしています。 LARGE と DYNAMIC 変数でこの長さを超えることができます。 CALL ステートメントのために INTERFACE4 オプションを使用し、 新しいインターフェイスを使用するために、新規ユーザー出口を 指定してください。 従来の構文に従った旧ユーザー出口への呼び出しが 重複しないように、ユーザー出口には新しい名前を使用してください。
対処	このエラーが別のステートメントで起きた場合は、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6275: パラメータ **:1:** のタイプはこのインターフェイスには不正です。

テキスト	パラメータ ... のタイプはこのインターフェイスには不正です。
説明	CALL INTERFACE4 ステートメントは、 HANDLE タイプのオペランドを使用できません。
対処	CALL ステートメントから HANDLE タイプのオペランドを削除してください。

NAT6276: 情報**::1:**。

テキスト	情報：:1:。
説明	以降のエラーメッセージについての追加情報が表示されます。
対処	

NAT6296: 通信において致命的エラーが発生しました。

テキスト	通信において致命的エラーが発生しました。
説明	Entire Screen Builder または Web I/O インターフェイスクライアントとの通信が中断されたか、あるいは UNIX 端末からの開始が想定されていない Natural ニュークリアスが開始されました (例 : Entire Screen Builder の Natural ニュークリアスが使用された。 または、プロファイルパラメータ WEBIO が ON に設定されている) 。
対処	再接続するか、または Unix 端末から開始される Natural ニュークリアスを使用してください。

NAT6300: グループ抑止（**SUPPRESSION**）オプションは、空白でなければいけません。

テキスト	グループ抑止 (SUPPRESSION) オプションは、空白でなければいけません。
説明	グループにはレベルとロングネームのみを指定できます。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

116 Natural システムエラーメッセージ 6301～6350

NAT6301: サブ／スーパーディスクリプタの開始位置、終了位置、または長さが違います。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタの開始位置、終了位置、または長さが違います。
説明	サブ / スーパーディスクリプタは、0 より大きい開始位置で始まり、 終了位置で終わらなければいけません。 終了位置は、指定されたフィールドのフィールド長を超えてはいけません。 スーパーディスクリプタの長さは 253 を超えてはいけません。
対処	値を上記の範囲で指定してください。

NAT6302: ピリオディックグループのレベルは、**1** です。

テキスト	ピリオディックグループのレベルは、1 です。
説明	ピリオディックグループは、グループ内や 他のピリオディックグループ内には定義できません。 レベルは、1 でなければいけません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

NAT6303: 数値フィールドの圧縮（**SUPPRESSION**）オプションは、固定フォーマットにはできません。

テキスト	数値フィールドの圧縮 (SUPPRESSION) オプションは、固定フォーマットにはできません。
説明	N (Natural) または U (Adabas) フォーマットのフィールドは、 固定フォーマットにはできません。 その省略オプションは、N または空である必要があります。
対処	正しい省略オプションを入力します。

NAT6304: ピリオディックグループのディスクリプタは、固定フォーマットにはできません。

テキスト	ピリオディックグループのディスクリプタは、固定フォーマットにはできません。
説明	ピリオディックグループ内のディスクリプタは、固定フォーマットにできません。 その省略オプションは、N または空である必要があります。
対処	正しい省略オプションを入力します。

NAT6305: 浮動小数点値では、圧縮オプションに固定フォーマットを使用してください。

テキスト	浮動小数点値では、圧縮オプションに固定フォーマットを使用してください。
説明	F (Natural) または G (Adabas) フォーマットのフィールドは、 圧縮オプションを F にする必要があります。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

NAT6306: 1 つのデータベースファイル内の **2** フィールドが、同じ **Adabas** ショートネームを使用しています。

テキスト	1 つのデータベースファイル内の 2 フィールドが、同じ Adabas ショートネームを使用しています。
説明	フィールドのショートネームは、英字で始まる 2 文字でなければいけません。 また、E0 から E9 までは使用できません。 同じファイル内の他のフィールドに同じショートネームは使用できません。

対処	2 つのフィールドのいずれかに違う名前をつけてください。

NAT6307: データベースファイル内のフィールドのレベルを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドのレベルを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6308: データベースファイル内のフィールドのフォーマットを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドのフォーマットを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6309: データベースファイル内のフィールドのタイプを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドのタイプを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6310: データベースファイル内のフィールドのロングネームを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドのロングネームを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。

対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6311: データベースファイル内のフィールドのショートネームを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドのショートネームを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6312: データベースファイル内のフィールドの長さを変更してはいけません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドの長さを変更してはいけません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6313: エリア番号は、**1**～**30** です。

テキスト	エリア番号は、1 ~ 30 です。
説明	データベースファイルが作成されたエリアには、 1 から 30 までの値を指定してください。
対処	1 から 30 までの値を入力してください。

NAT6314: サブ／スーパーディスクリプタは、データベースファイルの最後です。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタは、データベースファイルの最後です。

説明	ディスクリプタ S のフィールドは、 データベースファイルの最後に定義する必要があります。
対処	すべてのサブディスクリプタとスーパーディスクリプタを データベースファイルの最後に移動してください。

NAT6315: フィールドのレベルは、**1** から **7** です。 レベルが入力されていません。

テキスト	フィールドのレベルは、1 から 7 です。 レベルが入力されていません。
説明	フィールドのレベルが入力されていません。
対処	レベルに 1 から 7 までの数字を入力してください。

NAT6316: このフィールドにはフォーマットを指定する必要があります。 フォーマットが入力されていません。

テキスト	このフィールドにはフォーマットを指定する必要があります。 フォーマットが入力されていません。
説明	グループフィールドとピリオディックグループフィールド内のフィールド以外は、 すべてフォーマットを指定する必要があります。
対処	フィールドのフォーマットを指定してください。

NAT6317: 不正な編集マスクが指定されました。

テキスト	不正な編集マスクが指定されました。
説明	有効な編集マスクについては、Natural リファレンスドキュメントに 記載されています。
対処	編集マスクを修正してください。

NAT6318: 圧縮オプションが固定フォーマットのフィールド長は、**4** です。

テキスト	圧縮オプションが固定フォーマットのフィールド長は、4 です。

説明	圧縮オプションが F (固定フォーマット) のフィールドに、4 以外の長さを指定しました。
対処	長さを 4 にするか、圧縮オプションを変更してください。

NAT6319: 内部 **Adabas** バッファのサイズは、**50K** から **9999K** です。

テキスト	内部 Adabas バッファのサイズは、50K から 9999K です。
説明	データベースの定義内に上記の範囲外のバッファサイズが指定されました。
対処	50K から 9999K までの値を指定してください。

NAT6320: 指定されたデータベース名は、すでに存在します。

テキスト	指定されたデータベース名は、すでに存在します。
説明	同じ名前のデータベースを 2 つ作成することはできません。
対処	新しいデータベースに違う名前を指定してください。

NAT6321: サブ／スーパーディスクリプタはレベル **1** です。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタはレベル 1 です。
説明	サブディスクリプタとスーパーディスクリプタを グループ内に定義することはできません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。

NAT6322: 隣接しているフィールドのレベルは **2** 以上違ってはいけません。

テキスト	隣接しているフィールドのレベルは 2 以上違ってはいけません。
説明	隣接しているフィールドは同じレベルか、または、 グループフィールドであればレベルの違いは 1 つでなければいけません。
対処	フィールドのレベルを修正してください。

NAT6323: グループには **1** つ以上のフィールドが含まれている必要があります。

テキスト	グループには 1 つ以上のフィールドが含まれている必要があります。
説明	すべてのグループフィールドの定義は、そのグループに属する 1 つ以上のフィールド定義を持つ必要があります。 フィールドのレベルは、グループのレベルより 1 つ大きくなければいけません。
対処	グループフィールドの後ろに そのグループに属するフィールドの定義をしてください。

NAT6324: 1 ファイル内の **2** つのフィールドに同じロングネームが定義されています。

テキスト	1 ファイル内の 2 つのフィールドに同じロングネームが定義されています。
説明	ファイルのすべてのフィールドは、異なるロングネームでなければいけません。
対処	2 つのフィールドのいずれかに違うロングネームを指定してください。

NAT6325: フィールドにロングネームが入力されていません。 ロングネームが入力されていません。

テキスト	フィールドにロングネームが入力されていません。 ロングネームが入力されていません。
説明	フィールドにロングネームが入力されていません。
対処	フィールドにロングネームを入力してください。

NAT6326: ファイルに **1** つ以上の空白行がありました。 それらは削除されています。

テキスト	ファイルに 1 つ以上の空白行がありました。 それらは削除されています。
説明	ファイル定義に空白行は入力できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

NAT6327: データベースファイル **:1:** が存在しません。

テキスト	データベースファイル ... が存在しません。
説明	データベースファイルが生成されていないか、またはすでに削除されています。
対処	Adabas ユーティリティを使用してデータベースを作成し、 DDM ファイルを定義するために編集してください。

NAT6328: ファイル **:1:** が存在しません。

テキスト	ファイル ... が存在しません。
説明	エラーメッセージ内に書かれたファイルが存在しません。 正しいファイル名を入力してください。 DOOnnn で始まるファイル名の場合は、正しい DBID が入力されたかどうかを確認してください。 環境変数 DBENV で指定されたディレクトリを確認してください。または、 Adabas ユーティリティのパラメータで指定されたディレクトリを 確認してください。
対処	説明を参照

NAT6329: ファイル **:1:** の読み込み／書き込み時にエラーが発生しました。

テキスト	ファイル ... の読み込み / 書き込み時にエラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6330: Adabas ショートネームが生成できません。

テキスト	Adabas ショートネームが生成できません。
説明	ファイル内で定義可能な Adabas ショートネームがすべて使われているので、 エディタがこれ以上のフィールドを生成することができません。

対処	不要となったフィールドを削除してください。

NAT6331: PF キーと関数の組み合わせが正しくありません。

テキスト	PF キーと関数の組み合わせが正しくありません。
説明	1 つの PF キーに複数の関数が指定されています、または、 1 つの関数に複数の PF キーが指定されています。
対処	関数をそれぞれ別々の PF キーに指定し、 2 つ以上の関数を 1 つの PF キーに指定しないでください。

NAT6332: サブ／スーパーディスクリプタに使用されたフィールドは変更できません。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタに使用されたフィールドは変更できません。
説明	サブ / スーパーディスクリプタとして使用されているフィールドは、 変更できません。
対処	サブディスクリプタ / スーパーディスクリプタから そのフィールドを削除してください。

NAT6333: データベースファイル内のフィールドオカレンスの数は、変更できません。

テキスト	データベースファイル内のフィールドオカレンスの数は、変更できません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6334: サブ／スーパーディスクリプタには、**1** つ以上のフィールドが必要です。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタには、1 つ以上のフィールドが必要です。
説明	サブディスクリプタは、1 つのフィールドの部分を使用し、 スーパーディスクリプタは、2 つ以上のフィールドの部分を使用します。

対処	サブ / スーパーディスクリプタが使用するフィールドを入力してください。

NAT6335: データベースファイルにユーザービューが定義されていません。

テキスト	データベースファイルにユーザービューが定義されていません。
説明	
対処	対処は必要ありません。

NAT6336: 指定したデータベース内に、指定したファイル名が存在しません。

テキスト	指定したデータベース内に、指定したファイル名が存在しません。
説明	
対処	正しいデータベースとファイルを指定してください。

NAT6337: ファイルを表示するためにはデータベースを指定する必要があります。

テキスト	ファイルを表示するためにはデータベースを指定する必要があります。
説明	データベースが指定されていないので、 データベースのファイルを表示できません。
対処	データベースを指定してください。

NAT6338: 内部エディタバッファにオーバーフローが発生しました。

テキスト	内部エディタバッファにオーバーフローが発生しました。
説明	編集エリアに 1000 を超える行がある場合、 内部エディタバッファにオーバーフローが発生します。
対処	編集エリアの行数を減らしてください。

NAT6339: この名前の **DDM** は、すでに存在します（**DBID :1: FNR :2:**）。

テキスト	この名前の DDM は、すでに存在します (DBID ... FNR ...) 。
説明	この名前の DDM はすでに存在するので、 指定されたファイル番号とデータベース番号の DDM は生成できません。
対処	違う DDM 名を指定してください。

NAT6340: データベースファイルのフィールド圧縮オプションは、変更できません。

テキスト	データベースファイルのフィールド圧縮オプションは、変更できません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、データベースファイルは変更できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーは工ディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6341: データベースファイルにロングネームがありません。

テキスト	データベースファイルにロングネームがありません。
説明	Adabas ユーティリティのバージョン 1.0.3 がインストールされてから、 初めて FDT が編集されました。 バージョン 1.0.2 では、ロングネームはデータベースファイル内に 保存されましたが、 1.0.3 からはデータベース内に保存されます。
対処	ロングネームをデータベースにコピーするために、 アップグレードユーティリティを使用してください。

NAT6342: データベース内のいくつかのフィールドが、ロングネームを持っていません。

テキスト	データベース内のいくつかのフィールドが、ロングネームを持っていません。
説明	ファイルが保存されたときに、エラーが発生しました。
対処	ファイルを編集して、ロングネームを追加し、ファイルを保存してください。 この方法で効果がない場合は、 DBMS に内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6343: DDM フィールドのフォーマットは、数値または英数値です。

テキスト	DDM フィールドのフォーマットは、数値または英数値です。
説明	英数値のデータベースファイルのフォーマットは、数値に変換できます。 また、その逆も可能です。 それ以外の変換は、許可されていません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

NAT6344: Adabas 通信エリアのサイズは、**3K** から **64K** です。

テキスト	Adabas 通信エリアのサイズは、3K から 64K です。
説明	データベース定義内の Adabas 通信エリアのサイズが不正です。
対処	3K から 64K までの値を指定してください。

NAT6345: ログコマンド数は、ログファイルが存在しない場合は **0**、それ以外の場合は **0** 以上です。

テキスト	ログコマンド数は、ログファイルが存在しない場合は 0、それ以外の場合は 0 以上です。
説明	ログファイルがない場合、ログコマンド数は 0 です。 ログファイルが存在する場合、ログコマンド数は 0 以上となります。
対処	正しいログコマンド数を入力してください。

NAT6346: Adabas データベースのページサイズは、**1K**、**2K**、**4K** または **8K** です。

テキスト	Adabas データベースのページサイズは、1K、2K、4K または 8K です。
説明	Adabas データベースの作成時に、不正なページサイズが入力されました。
対処	正しいページサイズを入力します。

NAT6347: ファイル **:1:** を閉じることができませんでした。

テキスト	ファイル ... を閉じることができませんでした。
説明	Natural で内部エラーが検出されました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6348: ファイル **:1:** を実行できませんでした。

テキスト	ファイル ... を実行できませんでした。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6349: ライブラリを指定していません。 ライブラリにログオンする必要があります。

テキスト	ライブラリを指定していません。 ライブラリにログオンする必要があります。
説明	処理を始める前に、処理を行うライブラリにログオンしてください。
対処	ライブラリにログオンしてください。

NAT6350: 処理を実行できませんでした（終了コード**::1:**）。

テキスト	処理を実行できませんでした (終了コード : . . .) 。
説明	Natural がオペレーティングシステム内のエラーを検出しました。
対処	終了コードについてオペレーティングシステムのドキュメントを参照し、必要な対処を実行してください。

117 Natural システムエラーメッセージ 6351〜6400

NAT6351: ライブラリ **:1:** が生成できません。

テキスト	ライブラリ . . . が生成できません。
説明	ライブラリ名が正しくありません、または ディスクスペースがないため、ライブラリのためのディレクトリを 作成できません。
対処	ライブラリ名が正しいかどうかを確認し、必要なら修正してください。 この方法で効果がない場合は、不要なディレクトリをすべて削除してください。

NAT6352: パスが不正か、ディレクトリが存在しません。

テキスト	パスが不正か、ディレクトリが存在しません。
説明	指定したパスが正しくありません、または 指定したディレクトリと一致するものが存在しません。
対処	存在するディレクトリのパスを正しく指定してください。

NAT6353: データベース **:1:**（**:2:**）を閉じることができません。

テキスト	データベース . . . (. . .) を閉じることができません。

説明	他の処理がデータベースを使用中のため、 データベースを閉じることができません。
対処	他の処理を終了してください。

NAT6354: 警告:ロード時に、フィールドの一部が切り捨てられました。

テキスト	警告：ロード時に、フィールドの一部が切り捨てられました。
説明	一部のフィールド情報がロードされませんでした。
対処	情報を失いたくない場合は、すべての情報を保持できる長さのフィールドを選択または作成して、 再度ロードしてください。

NAT6355: フィールドは **Natural CONNECTION** ファイルと互換性がありません。

テキスト	フィールドは Natural CONNECTION ファイルと互換性がありません。
説明	指定されたフィールドのフォーマット / 長さが、 Natural CONNECTION ファイルと一致しません。
対処	フィールドを正しく指定してください。

NAT6356: ファイルの内容と実行しようとした処理が一致しません。

テキスト	ファイルの内容と実行しようとした処理が一致しません。
説明	データベースにロードするファイルのフォーマットが正しくありません。 ロードするために選択されたフィールドの長さが、ファイル内容と一致しません。
対処	ファイルのフォーマットとフィールドの長さをチェックしてください。

NAT6357: パラメータまたはパラメータ数が正しくありません。

テキスト	パラメータまたはパラメータ数が正しくありません。
説明	有効なプログラム名が入力されましたが、パラメータまたは パラメータ数が正しくありません。

対処	パラメータまたはパラメータ数を正しく指定してください。

NAT6358: 空のデータベースファイル／**DDM** は、保存できません。

テキスト	空のデータベースファイル / DDM は、保存できません。
説明	データベースファイルと DDM を保存するには、最低 1 つのフィールドが必要です。
対処	FDT/DDM に最低 1 つのフィールドを挿入してください。

NAT6359: 指定されたファイル名は、すでに存在します。

テキスト	指定されたファイル名は、すでに存在します。
説明	同じ名前のファイルを 2 つ作成することはできません。
対処	新しいファイルに違う名前を指定してください。

NAT6360: 数値フィールドの長さは、**1**〜**29**（**15**）です。

テキスト	数値フィールドの長さは、1 ~ 29 (15) です。
説明	数値フィールドの長さが、Natural モードの範囲を超えています。 ( ) 内は、Adabas モードでのパックフィールドの長さです。
対処	範囲内の数値を指定してください。

NAT6361: メモリがありません。

テキスト	利用可能なメモリがありません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 または、 Natural の内部バッファサイズ USIZE および SSIZE が小さすぎる可能性があります。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。 さらに、NATPARM の USIZE と SSIZE の設定をチェックし、値が小さすぎる場合は、 USIZE と SSIZE を増やしてください。

対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6362: 指定されたデータベース番号は、すでに存在します。

テキスト	指定されたデータベース番号は、すでに存在します。
説明	同じ番号のデータベースを 2 つ作成することはできません。
対処	新しいデータベースに違う番号を指定してください。

NAT6363: グループのすべての要素を選択してください。

テキスト	グループのすべての要素を選択してください。
説明	通常、グループをマークすることで、グループ内のすべての 要素を選択できます。 ただし、グループ内にマルチプルバリューフィールドが存在する場合や、 グループがピリオディックグループフィールドの場合、 グループをマークしても全体を選択できません。 グループ内の各要素を個別にマークする必要があります。
対処	グループ内のすべての要素を個別にマークしてください。

NAT6364: この処理の実行中は、データベースをアクティブにしないでください。

テキスト	この処理の実行中は、データベースをアクティブにしないでください。
説明	データベースを停止した状態でこの処理を実行してください。
対処	データベースを停止してください。

NAT6365: 小数点以下の桁数は、**0** から **7** です。

テキスト	小数点以下の桁数は、0 から 7 です。
説明	アンパックとパックフィールドの小数点以下の桁数を 0 から 7 にしてください。
対処	この範囲内の数字を入力します。

NAT6366: サブ／スーパーディスクリプタの一部のロングネームが正しくありません。

テキスト	サブ / スーパーディスクリプタの一部のロングネームが正しくありません。
説明	サブ / スーパーディスクリプタには、 すでに定義されたフィールドのみを含めることができます。
対処	このロングネームのフィールドを定義するか、または サブ / スーパーディスクリプタからこのロングネームを削除してください。

NAT6367: 指定されたフォーマットタイプは、実装されていません。

テキスト	指定されたフォーマットタイプは、実装されていません。
説明	次のフォーマットタイプは、現在実装されていません。 C、D、I、L、T。
対処	実装されているフォーマットタイプを指定してください。

NAT6368: ファイル定義の全フィールド長が、**64K** を超えています。

テキスト	ファイル定義の全フィールド長が、64K を超えています。
説明	Adabas ファイル定義内に定義されているすべてのフィールドの長さの合計が 64K を超えてはいけません。
対処	データベースファイル定義内のフィールド数を減らすか、または フィールド長を短くしてください。

NAT6369: 指定されたショートネームがデータベースファイルに存在しません。

テキスト	指定されたショートネームがデータベースファイルに存在しません。
説明	DDM フィールドのショートネームが、データベースファイルに存在しません。
対処	挿入 (INSERT) コマンドを使用して、新しい DDM フィールドを選択してください。

NAT6370: 指定されたファイルは、この環境では印刷できません。

テキスト	指定されたファイルは、この環境では印刷できません。
説明	ローカルドライブにログオンしていないので、 指定されたファイルを印刷することができません。
対処	Natural を起動する前にローカルドライブにログオンしてください。

NAT6371: この名前のパラメータファイルへの読み書きはできません。

テキスト	この名前のパラメータファイルへの読み書きはできません。
説明	他のユーザーのパラメータファイルを読み込もうとしているか、または デフォルトのパラメータファイル NATPARM を上書きしようとしています。
対処	正しいユーザー ID でログオンしてください。 また、NATPARM の変更が必要な場合は、Natural 管理者に連絡してください。

NAT6372: マルチプル／ピリオディックフィールドは、ディスクリプタに指定できません。

テキスト	マルチプル / ピリオディックフィールドは、ディスクリプタに指定できません。
説明	ファイルにデータが存在する場合は、 マルチプル / ピリオディックグループフィールドをディスクリプタに 定義できません。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。 データベースファイルを変更するには、まずデータをファイル からアンロードする必要があります。

NAT6373: フォネティックディスクリプタは、まだ実行できません。

テキスト	フォネティックディスクリプタは、まだ実行できません。
説明	現在の PC-DBMS バージョンでは、フォネティックディスクリプタを定義できません。
対処	正しいディスクリプタオプションを選択してください。

NAT6374: 通常のデータベースフィールドをマルチプルバリューフィールドに定義できません。

テキスト	通常のデータベースフィールドをマルチプルバリューフィールドに定義できません。
説明	データベースフィールドを通常のフィールドとして定義した場合、 DDM 内でマルチプルバリューフィールドとして定義することはできません。 マルチプルバリューフィールドとして定義し、このフィールドを 読み込んだ場合は、フォーマットバッファエラーが発生します。
対処	対処は必要ありません。 このエラーはエディタによって自動的に修正されます。

NAT6375: データベースのファイル定義との照合による **DDM** のチェックを実行できません。

テキスト	データベースのファイル定義との照合による DDM のチェックを実行できません。
説明	DDM のチェックでは、最初にすべての DDM フィールドの構文がチェックされ、 次に、DDM フィールドが、対応するファイル定義 (ヘッダー内の DBID と FNR) に対して チェックされます。2 番目のチェックは、データベースが Adabas であり、 起動中の場合にのみ行われます。
対処	DDM を保存し、対応するデータベースを起動してから、DDM をもう一度編集してください。

NAT6376: ISN の範囲は **0**〜**65535** です。

テキスト	ISN の範囲は 0 ~ 65535 です。
説明	Entire DB の DDM を編集する場合、フィールド名、ファイル番号、および デフォルト順を表現する ISN の範囲は、0 から 65535 の間である必要があります。
対処	この範囲内の数字を入力します。

NAT6377: DDM で処理できないデータベースタイプがあります。

テキスト	DDM で処理できないデータベースタイプがあります。
説明	FDT のテンプレートとして DDM をインクルードする場合、 DDM のデータベースタイプは、この DDM を処理するユーティリティで サポートされている必要があります。 例：Entire DB の定義から作成された DDM は、 Adabas FDT のみを処理する FDT エディタ内にインクルードすることは できません。

対処	サポートされているデータベースタイプの DDM を指定してください。

NAT6378: カテゴリ **ISN** をこれ以上生成できません。

テキスト	カテゴリ ISN をこれ以上生成できません。
説明	すべてのカテゴリ ISN がデータベースファイルで使用されています。
対処	不要となったフィールドを削除してください。

NAT6379: 1 つまたは複数のフィールドが **DDM** 内に見つかりません。

テキスト	1 つまたは複数のフィールドが DDM 内に見つかりません。
説明	エディタが、DDM の記述の中に存在しないフィールドを検出しました。
対処	DDM 内の情報を完全なものにしてください。

NAT6380: この **DDM** には **Adabas** ファイルがカップリングされていません。

テキスト	この DDM には Adabas ファイルがカップリングされていません。
説明	DDM ソースのスキャン時に、カップリングされたファイルの情報が見つかりませんでした。
対処	物理ファイルカップリングの詳細については、 Adabas のドキュメントを参照してください。

NAT6381: 内部 **SQL** エラー **:1:** が原因で **DDM** を生成できませんでした。

テキスト	内部 SQL エラー ... が原因で DDM を生成できませんでした。
説明	内部 SQL エラーが原因で、SQL テーブルからの DDM 生成が中断されました。
対処	エラーコードの詳細については、SQL のドキュメントを参照してください。

NAT6382: SQL テーブルとの照合による **DDM** のチェックを実行できません。

テキスト	SQL テーブルとの照合による DDM のチェックを実行できません。
説明	DDM のチェックでは、すべての DDM フィールドの構文がチェックされますが、 DDM の生成後に SQL データベースへの接続がクローズされたので、 DDM エディタでは SQL テーブルに対するチェックを実行できませんでした。
対処	可能な 修正の詳細については、SQL のドキュメントを参照してください。

NAT6383: DDM の編集時に、**SQL** テーブルとの照合ができません。

テキスト	DDM の編集時に、SQL テーブルとの照合ができません。
説明	DDM の編集時は、すべての DDM フィールドが編集エリアに読み込まれます。 ただし、SQL データベースへの接続が確立されていないので、 DDM エディタでは SQL テーブルとの照合ができません。
対処	可能な 修正の詳細については、SQL のドキュメントを参照してください。

NAT6384: このデータベースシステムには、**SQL** テーブルリストが提供されていません。

テキスト	このデータベースシステムには、SQL テーブルリストが提供されていません。
説明	このデータベースシステムの CATALOG 情報を、 Entire ACCESS が提供していないため、 SQL テーブルリストを表示できません。
対処	テーブルオーナー名とテーブル名を入力してください （ワイルドカードは使用できません）。

NAT6385: SQL テーブルが見つかりません。

テキスト	SQL テーブルが見つかりません。
説明	SQL テーブルが存在しないか、または アクセス権のないテーブルオーナー名 / テーブル名を指定しました。

対処	ワイルドカードを使用し、 アクセスできるすべての SQL テーブルを表示して調べてください。

NAT6386: SQL データベースに **LOGON** できません。

テキスト	SQL データベースに LOGON できません。
説明	ユーザー名または、パスワードが間違っています。
対処	データベース管理者に連絡してください。

NAT6387: Predict 定義により機能が制限されています。

テキスト	Predict 定義により機能が制限されています。
説明	Predict プロテクション画面では、SYSDDM ユーティリティは D (disallowed) または C (connected) に設定されます。
対処	『Predict Administration』ドキュメントを参照してください。

NAT6388: DDM を生成できませんでした。 **SPF** セッションへの書き込みに失敗しました。

テキスト	DDM を生成できませんでした。 SPF セッションへの書き込みに失敗しました。
説明	SQL テーブルからの DDM 作成時、テーブルデータを SPF データセッションに書き込みますが、 内部エディタバッファプールがいっぱいになったため、 書き込みができませんでした。
対処	エディタプロファイルで、論理ファイル / バッファプールブロックの数を 増やしてください。 設定後、Natural を再起動してください。

NAT6389: SQL テーブル名が不正か、内部ランタイムエラーが発生しました。

テキスト	SQL テーブル名が不正か、内部ランタイムエラーが発生しました。

説明	SQL テーブルからの DDM 作成時に、CALLNAT が実行されましたが、CALLNAT 時に Natural ランタイムエラーが発生しました。
対処	有効な SQL テーブルリストから、正しいテーブル名を選択してください。問題が解決しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6390: ワークファイル名は **253** 文字以内にする必要があります。

テキスト	ワークファイル名は 253 文字以内にする必要があります。
説明	パスを含めたワークファイル名を 253 文字以内にしてください。 このエラーは、名前に空白しか含まれていない場合にも発生します。 変数 / 定数の長さは 1024 バイトを超えてはいけません。
対処	環境変数を使用するなどして、文字数を減らしてください。

NAT6391: ワークファイルタイプは **253** 文字以内にする必要があります。

テキスト	ワークファイルタイプは 253 文字以内にする必要があります。
説明	ワークファイルのタイプは 253 文字以内にしてください。 このエラーは、名前に空白しか含まれていない場合にも発生します。 正しいタイプはすべて、これよりも短いはずです。 変数 / 定数の長さは 1024 バイトを超えてはいけません。
対処	正しいタイプを選択してください。

NAT6392: ワークファイルタイプ **:1:** が不明です。

テキスト	ワークファイルタイプ :1: が不明です。
説明	指定されたワークファイルタイプが不明です。 これは、ワークファイルタイプが正しくないことを意味します。 このエラーは、名前に空白しか含まれていない場合にも発生します。
対処	正しいワークファイルタイプを選択してください。

NAT6393: ワークファイル名が不正です。

テキスト	ワークファイル名の拡張子 '.NCF' が不正です。
説明	指定されたワークファイル名は、Entire Connection のフォーマットファイルと矛盾しているため、 不正です。 フォーマットファイルには 拡張子 .NCF が付けられています。そのため、指定したワークファイル名に拡張子 .NCF は使用できません。
対処	正しいワークファイル名を選択してください。

NAT6394: DDM のヘッダーの中の **DBMS** タイプが定義されていません。

テキスト	DDM のヘッダーの中の DBMS タイプが定義されていません。
説明	DDM がエディタにロードされる前および CATALOG 中に、 グローバル config ファイルに定義されている DBID のタイプが DDM ヘッダーの DBMS タイプと一致しているかどうかをチェックします。
対処	グローバル config ファイルの 'DBMS割り当て' セクションに 正しい DBMS タイプを定義してください。

NAT6395: DDM 生成は、不正なデータタイプの組み合わせのために失敗しました。

テキスト	DDM 生成は、不正なデータタイプの組み合わせのために失敗しました。
説明	Natural は、LONG または LONG RAW と BLOB または CLOB データタイプの両方を含んでいる Oracle テーブルはサポートしません。
対処	カラムタイプ LONG と LONG RAW、または BLOB と CLOB のみを含むように、Oracle テーブルの定義を変更してください。

NAT6396: DDM ソースに無効なフィールド属性が含まれています。

テキスト	DDM ソースに無効なフィールド属性が含まれています。
説明	DDM が定義された DBMS は、DDM ソースで見つかった拡張フィールド属性をサポートしません。

対処	エディタに DDM をロードしてください。 DDM のロード時に、DDM エディタは不明なフィールド属性をスキップします。 その後、DDM を保存 (stow) することができます。

NAT6400: パラメータ **:1:** は、このコンテキストでは無効です。

テキスト	パラメータ ... は、このコンテキストでは無効です。
説明	このパラメータは、このコンテキストでは意味のないパラメータです。
対処	このパラメータを削除します。 パラメータに間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、Natural で 内部エラーが発生したことになるので、Software AG サポートに連絡してください。

118 Natural システムエラーメッセージ 6401～6450

NAT6401: パラメータ **:1:** の値に、対になっていない引用符があります。

テキスト	パラメータ ... の値に、対になっていない引用符があります。
説明	パラメータの値に、 引用符が 1 つしかありません。 パラメータの値は、対になった 2 つの引用符で囲むか、または引用符なしで指定します。
対処	引用符を挿入するか、または削除してください。 構文が正しく、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 Natural で内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6402: デリミタの前に、パラメータ値／パラメータ名がありません。

テキスト	デリミタの前に、パラメータ値 / パラメータ名がありません。
説明	デリミタの前には、パラメータ値またはパラメータ名がなければなりません。デリミタを削除するか、パラメータ値またはパラメータ名を挿入してください。
対処	構文が正しく、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 Natural で内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6403: パラメータ **:1:** が **2** 回宣言されています。

テキスト	パラメータ ... が 2 回宣言されています。
説明	パラメータが、2回宣言されています。 2 つのキーワードが同じパラメータで使用されている可能性があります。 また、1 つのみ使用できるデータベース番号が 2 つ使用されている可能性があります。
対処	パラメータのいずれかを削除します。 パラメータに間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、Natural で 内部エラーが発生したことになるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6404: パラメータ **:1:** に等号がありません。

テキスト	パラメータ ... に等号がありません。
説明	このパラメータには、等号が必要です。
対処	このパラメータに等号を入れてください。 等号が存在し、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6405: パラメータ **:1:** の値がありません。

テキスト	パラメータ ... の値がありません。
説明	このパラメータには値が必要です。
対処	パラメータの値を入れてください。 パラメータに値が入っており、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 Natural で内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6406: パラメータ **:1:** の値（数値）がありません。

テキスト	パラメータ ... の値 (数値) がありません。
説明	このパラメータには数値が必要です。

対処	パラメータに数値を代入してください。 パラメータに数値が入っており、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 Natural で内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6407: この処理にはパラメータ **:1:** が必要です。

テキスト	この処理にはパラメータ ... が必要です。
説明	この処理に必要なパラメータがありません。 エラーメッセージに示されたパラメータが必要です。
対処	必要なパラメータを追加してください。 パラメータに間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、Natural で 内部エラーが発生したことになるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6408: 2 つのパラメータは相互に排他です。 **1** つは **:1:**。

テキスト	2 つのパラメータは相互に排他です。 1 つは ...。
説明	同時に使用できない 2 つのパラメータが存在します。 2 つのうちの 1 つはエラーメッセージに示されたパラメータです。
対処	パラメータのいずれかを削除します。 パラメータに間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、Natural で 内部エラーが発生したことになるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6409: :1: などのパラメータがありません。

テキスト	... などのパラメータがありません。
説明	パラメータが見つかりません。 エラーメッセージにはパラメータの一例が示されています。 エラーメッセージに示されたパラメータか、 または他の適切なパラメータを追加してください。
対処	パラメータに間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、Natural で 内部エラーが発生したことになるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6410: データベースの環境変数 **DBENV** がありません。

テキスト	データベースの環境変数 DBENV がありません。
説明	環境変数 DBENV によって、データベースのパスを指定します。 DBENV がないとデータベースにアクセスできません。
対処	データベースの環境にこの環境変数を追加してください。

NAT6411: パラメータ **:1:** に不正な値があります。

テキスト	パラメータ ... に不正な値があります。
説明	このパラメータの値は正しくありません。
対処	正しい値を代入してください。 値が正しく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので Software AG サポートに連絡してください。

NAT6412: 指定されたデータベースはプロファイルを持っていません。

テキスト	指定されたデータベースはプロファイルを持っていません。
説明	データベースはプロファイルを持つ必要があります。
対処	データベースのプロファイルを作成してください。

NAT6413: 指定された番号のデータベースは存在しません。

テキスト	指定された番号のデータベースは存在しません。
説明	指定された番号のデータベースは存在しません。
対処	データベース番号を修正してください。 Natural からの自動起動時に エラーが発生する場合は、 パラメータ SDB に指定されたデータベースが存在するかどうかを確認してください。

NAT6414: 指定された名前のデータベースは存在しません。

テキスト	指定された名前のデータベースは存在しません。
説明	指定された名前のデータベースは存在しません。
対処	データベース名を修正してください。

NAT6415: パラメータ **:1:** の値に左カッコがありません。

テキスト	パラメータ ... の値に左カッコがありません。
説明	パラメータ値の前に左カッコを入れる必要があります。
対処	左カッコを入れてください。 構文に間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生したことになるので Software AG サポートに連絡してください。

NAT6416: パラメータ **:1:** の値に右カッコがありません。

テキスト	パラメータ ... の値に右カッコがありません。
説明	パラメータ値の後ろに右カッコを入れる必要があります。
対処	右カッコを入れてください。 構文が正しく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6417: パラメータ **:1:** の値に右カッコまたはコンマがありません。

テキスト	パラメータ ... の値に右カッコまたはコンマがありません。
説明	このパラメータ値はリストの一部であり、 コンマで区切るか、右カッコでリストを閉じる必要があります。
対処	右カッコまたはコンマを入れてください。 構文に間違いがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生したことになるので Software AG サポートに連絡してください。

NAT6418: このパラメータの組み合わせにはパラメータ **:1:** が必要です。

テキスト	このパラメータの組み合わせにはパラメータ ... が必要です。
説明	別のパラメータが存在しているため、エラーメッセージに示されたパラメータが必要となります。
対処	必要なパラメータを追加してください。 このパラメータが存在し、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6419: ファイル **:1:** をオープンできませんでした。

テキスト	ファイル ... をオープンできませんでした。
説明	ファイルが存在しないか、またはすでに開かれているので、 このファイルをオープンできません。
対処	ファイルが存在していることをチェックしてください。 存在する場合は、ファイルが閉じられているかチェックしてください。 開かれている場合は、閉じてください。

NAT6420: オプション **:1:** は使用できません。

テキスト	オプション ... は使用できません。
説明	このオプションは、現在のバージョンの Natural では利用できません。
対処	このオプションを削除して問題を回避するか、または Natural の今後のバージョンをお待ちください。

NAT6421: フォーマットバッファのポジション **:1:** にエラーが発生しました。

テキスト	フォーマットバッファのポジション ... にエラーが発生しました。
説明	FORMAT-BUFFER または FB パラメータに間違いがあります。
対処	FORMAT-BUFFER パラメータをチェックし、エラーを修正してください。 このパラメータが正しく、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6422: :1: と他のパラメータに矛盾した値があります。

テキスト	. . . と他のパラメータに矛盾した値があります。
説明	2 つのパラメータの値が矛盾しています。 2 つのうちの 1 つは、エラーメッセージに示されたパラメータです。
対処	パラメータをチェックし、エラーを修正してください。 値が矛盾しておらず、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6423: すべてのフィールドがすでに選択されています。

テキスト	すべてのフィールドがすでに選択されています。
説明	データファイルに存在するフィールド数までしか選択できません。
対処	これ以上フィールドを選択しないでください。

NAT6424: Adabas のデータベースレポート中にエラーが発生しました。

テキスト	Adabas のデータベースレポート中にエラーが発生しました。
説明	1 つ以上のエラーが Adabas レポート機能の実行中に発生しました。 次のメッセージで理由が示されます。
対処	ENTER キーを押して説明を表示します。

NAT6425: データベース **:1:**（**:2:**）のレポートでエラーが発生しました。

テキスト	データベース . . . (. . .) のレポートでエラーが発生しました。
説明	1 つ以上のエラーが Adabas レポート機能の実行中に発生しました。 データベースの名前および番号がエラーメッセージに示されています。 次の メッセージで理由が示されます。
対処	ENTER キーを押して説明を表示します。

NAT6426: ファイル **:1:**（**:2:**）のレポートでエラーが発生しました。

テキスト	ファイル ...(...) のレポートでエラーが発生しました。
説明	1 つ以上のエラーが Adabas レポート機能の実行中に発生しました。 ファイルの名前および番号がエラーメッセージに示されています。 次のメッセージで理由が示されます。
対処	ENTER キーを押して説明を表示します。

NAT6427: 1 つ以上のエラーが **Adabas** レポート機能の実行中に発生しました。

テキスト	1 つ以上のエラーが Adabas レポート機能の実行中に発生しました。
説明	次のメッセージで理由が示されます。
対処	ENTER キーを押して説明を表示します。

NAT6428: データベースのパスが矛盾しています。

テキスト	データベースのパスが矛盾しています。
説明	データベースのプロファイル内のパスと、実際にデータベースが格納されているパスが異なります。 これは、オペレーティングシステムの COPY コマンドを使用してデータベースを移動した場合などに起こります。
対処	データベースをコピーする場合は、Software AG の DBMS サービスを使用して行うようにしてください。

NAT6429: パスは **64** 文字以内にする必要があります。

テキスト	パスは 64 文字以内にする必要があります。
説明	64 文字を超えるパスが指定されました。
対処	パスを指定する場合は 64 文字以内にしてください。

NAT6430: 1 つ以上のデータベースファイルが見つかりません。

テキスト	1 つ以上のデータベースファイルが見つかりません。
説明	意図せずにファイルが削除された可能性があります。 バックアップ時にこのエラーメッセージが表示されない場合、 失われた各ファイルは、拡張子 .DD、.CRI、または .PRF が付いたファイルです。
対処	失われたファイルを復元してください。

NAT6431: コマンドファイルが存在しません。

テキスト	コマンドファイルが存在しません。
説明	メニュー項目 'DBMS コマンドファイルの起動' を実行するには、 コマンドファイルが必要です。 コマンドファイルは、ADAREP、ADALOAD、または ADAUNLOAD のコマンドの後で生成されます。
対処	ADAREP、ADALOAD、または ADAUNLOAD コマンドを実行し、コマンドファイルを生成した後で、 コマンドファイルを指定してください。

NAT6432:サブディスクリプタとスーパーディスクリプタは、ロードまたはアンロードできません。

テキスト	サブディスクリプタとスーパーディスクリプタは、ロードまたはアンロードできません。
説明	サブディスクリプタとスーパーディスクリプタは、ロードまたはアンロードできません。
対処	サブディスクリプタとスーパーディスクリプタのロードまたはアンロードは実行しないでください。

NAT6433: 指定されたフォーマットは現存のフォーマットと互換性がありません。

テキスト	指定されたフォーマットは現存のフォーマットと互換性がありません。
説明	データをロードまたはアンロードする場合は、互換性のあるフォーマットのみを指定できます。 次に示すフォーマットには互換性があります。 指定フォーマット 現存フォーマット A (英数字) A、B B (バイナリ) A、B、P、U G (浮動小数点) A、B、G P (パック 10 進数) A、B P、U U (アンパック 10 進数) A、B、P、U

対処	現存のフォーマットと互換性のあるフォーマットを指定してください。

NAT6434: オカレンス数がフォーマットバッファと矛盾しています。

テキスト	オカレンス数がフォーマットバッファと矛盾しています。
説明	次の Natural CONNECTION データファイルのオカレンス数は、選択したフィールドのオカレンス数以下にする必要があります。
対処	Natural CONNECTION データファイルを修正してください。

NAT6435: all files = YES のときは、**all databases = NO** を指定できません。

テキスト	all files = YES のときは、all databases = NO を指定できません。
説明	all databases = NO と all files = YES というパラメータの組み合わせは、ADAREP では許可されていません。
対処	他の組み合わせを使用してください。

NAT6436: ファイル名に **1** つ以上の不正な文字があります。

テキスト	ファイル名に 1 つ以上の不正な文字があります。
説明	ファイル名の中に、オペレーティングシステムにとって不正な文字が 1 つ以上あります。
対処	不正な文字を含まない正しいファイル名を指定してください。

NAT6437: ファイルを開くことができないか、ファイルが空です。

テキスト	ファイルを開くことができないか、ファイルが空です。
説明	ファイルが存在しないか、またはファイルが空です。
対処	他のファイルを指定してください。

NAT6438: オカレンス数が正しくありません。

テキスト	オカレンス数が正しくありません。
説明	オカレンス数は、マルチプルバリューフィールドでは 1～199、 ピリオディックグループでは 1～99 の範囲内にある必要があります。
対処	オカレンス数をチェックし、エラーを修正してください。

NAT6439: データベース番号の範囲は **1**〜**254** です。

テキスト	データベース番号の範囲は 1～254 です。
説明	データベースの ID は、1～254 の範囲内にある必要があります。 データベース ID がこの範囲外となっています。
対処	1～254 のデータベース番号を指定してください。

NAT6440: データベース（**:1:**）はすでに存在します。

テキスト	データベース (. . .) はすでに存在します。
説明	同じ番号または名前を持つデータベースがすでに存在しています。 同じ番号または名前のデータベースを 2 つ作成することはできません。
対処	データベースに違う番号または名前を指定してください。

NAT6441: データベース（**:1:**）は存在しません。

テキスト	データベース (. . .) は存在しません。
説明	指定した番号または名前を持つデータベースは存在しません。
対処	正しい番号または名前のデータベースを指定してください。

NAT6442: データベースファイル（**:1:**）はすでに存在します。

テキスト	データベースファイル (. . .) はすでに存在します。
説明	同じ番号または名前を持つデータベースファイルがすでに存在しています。 同じ番号または名前のデータベースファイルを 2 つ作成することはできません。
対処	データベースファイルに違う番号または名前を指定してください。

NAT6443: データベースファイル（**:1:**）は存在しません。

テキスト	データベースファイル (. . .) は存在しません。
説明	指定された番号または名前を持つデータベースファイルは存在しません。
対処	正しい番号または名前のデータベースファイルを指定してください。

NAT6444: ディスク上に十分なスペースがありません。

テキスト	ディスク上に十分なスペースがありません。
説明	ディスク上に十分なスペースがないので、処理が実行できませんでした。
対処	ディスクのフリースペースを拡張してください。

NAT6445: Natural 拡張バッファのポジション **:1:** にエラーがあります。

テキスト	Natural 拡張バッファのポジション . . . にエラーがあります。
説明	Natural フォーマットのフィールド拡張指定から生成されるバッファに 誤りがあります。
対処	DBMS サービスから呼び出された処理でこのエラーが発生した場合は、 Software AG に連絡してください。 そうでない場合は、Natural 拡張バッファの内容をチェックしてください。

NAT6446: 小数点以下の桁数は **0** から **:1:** の間です。

テキスト	小数点以下の桁数は 0 から :1: の間です。
説明	アンパックおよびパック数値フィールドの小数点の桁数は、 0 から 7 またはフィールド長のどちらか小さい方の間です。
対処	小数点以下の桁数をチェックし、エラーを修正してください。

NAT6447: 浮動小数点フィールドのオーバーフローが発生しました。

テキスト	浮動小数点フィールドのオーバーフローが発生しました。
説明	浮動小数点フィールドのオーバーフローが発生しました。
対処	PC では、浮動小数点フィールドの最大値がメインフレームの場合より大きくなります。 そのようなフィールドを Natural-CONNECTION フォーマットでアンロードした場合に、このエラーが発生します。

NAT6448: データベースのスタートアップコンフィグレーションに誤りがあります。

テキスト	データベースのスタートアップコンフィグレーションに誤りがあります。
説明	データベースモード (スタンドアロン、ファイルサーバー) と、 データベースの格納場所が一致しません。 ファイルサーバーモードでのデータベースの起動は、ローカル PC 上では実行できません。 ドライブが 'E' 以下の場合は、ローカルであるとみなされます。
対処	プロファイル機能でスタートアップコンフィグレーションを修正してください。 または、データベースのモードに対応する場所にデータベースをコピーしてください。

NAT6449: ソースとターゲットのパスは異なる必要があります。

テキスト	ソースとターゲットのパスは異なる必要があります。
説明	この処理では、ソースとターゲットに同じパスは使用できません。
対処	ソースとターゲットには異なるパスを指定してください。

NAT6450: NCD ファイルの全フィールドが選択される必要があります。

テキスト	NCD ファイルの全フィールドが選択される必要があります。
説明	NCD ファイルに存在するフィールドをすべて選択する必要があります。
対処	すべてのフィールドを選択してください。

119 Natural システムエラーメッセージ 6451～6500

NAT6498: 更新処理は、同時更新のために拒否されました。

テキスト	更新処理は、同時更新のために拒否されました。
説明	次のいずれかの理由により、更新処理は 実行されませんでした。 1) 更新対象のレコードが別のユーザーによってホールドされています。 2) 参照したレコードは別のユーザーにホールドされています。 3) 'ホールド' キューがいっぱいです。
対処	後で再実行してください。 'ホールド' キューが小さすぎる場合は、 データベース管理者に連絡してください。

NAT6500: オペレーティングシステムでエラー番号 **:1:** が発生しました。

テキスト	オペレーティングシステムでエラー番号 ... が発生しました。
説明	Natural がオペレーティングシステム内のエラーを検出しました。
対処	Natural で内部エラーが発生している可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

120 Natural システムエラーメッセージ 6501～6550

NAT6501: データベース **:1:** がアクティブでないか、またはアクセスできません。

テキスト	データベース ... がアクティブでないか、またはアクセスできません。
説明	指定されたデータベースがアクティブではありません。または、 リモートデータベースを使用している場合は、NET-WORK が稼働していない可能性があります。 Natural からの自動起動中にエラーが発生した場合は、 コマンドプロント (ADAMAIN DBID を使用) からデータベースを起動して、 原因を追求してください。 Natural プログラムの実行中にエラーが発生した場合は、使用するデータベースを 再起動してください。 対応する DDM の DBID をチェックしてください。 トランザクションデータの読み込みまたは書き込み中にエラーが発生した場合は、 UDB パラメータで指定したデータベースが必要です。
対処	説明を参照

NAT6502: データベースコールが大きすぎて、通信エリアに収まりません。

テキスト	データベースコールが大きすぎて、通信エリアに収まりません。
説明	データベースコールが通信エリアより大きいか、または スタンドアロン / ファイルサーバーバージョンの Natural を使用している場合に、 通信エリアに初期のデータベースコールが残っています。 Natural または Adabas ユーティリティなどのアプリケーションが、 データベースコールの応答を待っている間に異常終了した場合などに、 このエラーが発生することがあります。 スタンドアロン / ファイルサーバーバージョンの Natural を使用している場合は、 データベースを再起動してください。 この方法で効果がない場合や、違うバージョンの Natural を使用している場合は、 通信エリアのサイズを増やしてから、データベースを再起動してください。

対処	説明を参照

NAT6504: データベースが許容時間内に応答できませんでした。

テキスト	データベースが許容時間内に応答できませんでした。
説明	データベースコールの制限時間に達しましたが、 データベースからの応答がありません。
対処	制限時間を設定するパラメータのサイズを増やしてください。 この方法で効果がない場合は、 データベースに内部エラーが発生している可能性があるので、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6506: ローカルルーティングテーブルとのコネクションがありません。

テキスト	ローカルルーティングテーブルとのコネクションがありません。
説明	ルーティングテーブルには、データベースのオープンに関する情報が含まれています。 このテーブルへのコネクションがない場合は、内部エラーが発生している可能性があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6507: アプリケーションがすでに最大データベース数に アクセスしています。

テキスト	アプリケーションがすでに最大データベース数に アクセスしています。
説明	現在のバージョンでは、アプリケーションが同時にアクセスできる データベースの最大数は 10 です。
対処	データベースへのアクセス数を減らしてください。

NAT6508: apcm_dbstate で返すことができる範囲以上のデータベースが有効になっています。

テキスト	apcm_dbstate で返すことができる範囲以上のデータベースが有効になっています。
説明	呼び出し処理によって割り当てられたスペースが不十分なために、 apcm_dbstate がすべての有効なデータベースを返せません。 このメッセージは Software AG 専用です。

対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6509: データベースはすでにアクティブです。

テキスト	データベースはすでにアクティブです。
説明	起動しようとしたデータベースは、すでにアクティブです。
対処	アクティブなデータベースは起動しないでください。

NAT6510: データベース番号が正しくありません。

テキスト	データベース番号が正しくありません。
説明	データベース番号は、1～255 の範囲内にある必要があります。
対処	データベース番号をチェックして、 上記の指定された範囲内の番号を使用してください。

NAT6511: データベースサーバーとのインターフェイスでの内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	データベースサーバーとのインターフェイスでの内部エラー。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6512: TP モニタとのインターフェイスでの内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	TP モニタとのインターフェイスでの内部エラー ... が発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6513: TX インターフェイスが無効です。

テキスト	TX インターフェイスが無効です。
説明	データベースは、トランザクション制御のために TX インターフェイスを使用するように構成されていますが、 この TX インターフェイスは無効です。
対処	この TX インターフェイスを有効にしてください。

NAT6514: TX インターフェイスの呼び出しでエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	TX インターフェイスの呼び出しでエラー ... が発生しました。
説明	TP モニタからの 0 以外のレスポンスコードは、このエラーメッセージで記録されています。
対処	詳細については、TP モニタのドキュメントを参照してください。

NAT6515: ET データが無効です。

テキスト	ET データが無効です。
説明	ET データをデータベースに格納できませんでした。これは、トランザクションモニタにより調整されます。
対処	ETDB または XADB パラメータの設定を修正してください。

NAT6520: データベースが見つかりません。

テキスト	データベースが見つかりません。
説明	DBENV ディレクトリ内にデータベースが見つかりません。
対処	

NAT6521: セマフォがすでに存在します。

テキスト	セマフォがすでに存在します。
説明	作成される必要のあるセマフォがすでに存在します。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6523: セマフォのモードが正しくありません。

テキスト	セマフォのモードが正しくありません。
説明	セマフォが、無効なモードで作成されています。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6524: オープンされているセマフォが多すぎます。

テキスト	オープンされているセマフォが多すぎます。
説明	システム内のすべてのセマフォが使用されています。
対処	セマフォを使用するアクティブなプログラムを減らしてください。

NAT6525: セマフォが見つかりません。

テキスト	セマフォが見つかりません。
説明	使用する必要のあるセマフォが存在しません。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6526: セマフォ設定のエラーです。

テキスト	セマフォ設定のエラーです。

説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6527: セマフォのハンドルが正しくありません。

テキスト	セマフォのハンドルが正しくありません。
説明	不正なハンドルでセマフォが使用されました。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6528: プライベートセマフォを共有できませんでした。

テキスト	プライベートセマフォを共有できませんでした。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6529: セマフォの要求が多すぎます。

テキスト	セマフォの要求が多すぎます。
説明	セマフォの要求が多すぎます。
対処	アプリケーションとデータベースを終了して、再実行してください。 エラーが再発する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6530: セマフォのタイムアウトが発生しました。

テキスト	セマフォのタイムアウトが発生しました。
説明	セマフォがタイムアウトしました。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6531: セマフォのオーナーが消滅しました。

テキスト	セマフォのオーナーが消滅しました。
説明	セマフォのオーナー (アプリケーション、データベースなど) が 消滅したため、セマフォにアクセスできませんでした。 セマフォを再度使用するには、このセマフォを使用しているすべてのプロセスを停止する必要があります。
対処	アプリケーションとデータベースを終了してください。 終了できない場合は、システムを再起動し、再試行してください。

NAT6533: 内部セマフォのエラーが発生しました。

テキスト	内部セマフォのエラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6542: 指定された名前の共有メモリセグメントがありません。

テキスト	指定された名前の共有メモリセグメントがありません。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6543: 共有メモリのハンドルが正しくありません。

テキスト	共有メモリのハンドルが正しくありません。
説明	共有メモリのハンドルが正しくありません。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6544: 利用可能なメモリがありません。

テキスト	利用可能なメモリがありません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。
対処	オペレーティングシステムの設定をチェックし、 必要に応じて修正します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを 確認します。 システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6545: 共有メモリへのアクセスが拒否されました。

テキスト	共有メモリへのアクセスが拒否されました。
説明	作成される必要のあるセマフォがすでに存在します。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6547: 共有メモリがすでに存在します。

テキスト	共有メモリがすでに存在します。
説明	作成する必要のある共有メモリがすでに存在します。 内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6549: オープンしている共有セグメントが多すぎます。

テキスト	オープンしている共有セグメントが多すぎます。
説明	システム内のすべての共有セグメントが使用されています。
対処	共有セグメントを使用するアクティブなプログラムを減らしてください。

NAT6550: ディスクがいっぱいです。

テキスト	ディスクがいっぱいです。
説明	デバイスがいっぱいです。
対処	ハードディスク / フロッピーの空き容量を増やしてください。 スワップファイルが配置されているディスクのスペースをチェックしてください。

121 Natural システムエラーメッセージ 6551～6600

NAT6561: DDE メッセージのアイテム名が正しくありません。

テキスト	DDE メッセージのアイテム名が正しくありません。
説明	誤ったアイテム名で DDE メッセージが送信されました。
対処	Software AG 製品のみが関連している場合は、Software AG サポートに連絡してください。 そうでない場合は、要求されたアイテム名をチェックしてください。 Windows 下の Adabas では、アイテム名 'ADACALL' が必要です。'

NAT6562: DDE メッセージのフォーマットが正しくありません。

テキスト	DDE メッセージのフォーマットが正しくありません。
説明	誤ったメッセージフォーマットで DDE メッセージが送信されました。
対処	Software AG 製品のみが関連している場合は、Software AG サポートに連絡してください。 そうでない場合は、要求されたメッセージフォーマットをチェックしてください。 Windows 下の Adabas では、フォーマット 'Adabas_CALL' が必要です。

NAT6563: DDE メッセージが長すぎます。

テキスト	DDE メッセージが長すぎます。

説明	DDE メッセージがデータベースの通信エリアより大きくなっています。
対処	通信エリアのサイズを増やして、 データベースを再起動してください。

NAT6564: クライアント **DDE** 共有メモリをロックできませんでした。

テキスト	クライアント DDE 共有メモリをロックできませんでした。
説明	クライアントによって割り当てられた DDE の共有メモリをロックできませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6565: サーバー **DDE** 共有メモリをロックできませんでした。

テキスト	サーバー DDE 共有メモリをロックできませんでした。
説明	サーバーによって割り当てられた DDE の共有メモリをロックできませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6566: データベースは **1** 度に **1** コールしか処理できません。

テキスト	データベースは 1 度に 1 コールしか処理できません。
説明	データベースが予期せぬ DDE メッセージを受け取りました。 複数のアプリケーションがデータベースに コールを送信しようとした可能性があります。
対処	1 度に 1 つのアプリケーションのみがデータベースに DDE メッセージを送るようにしてください。

NAT6570: 最大対話数を超えました。

テキスト	最大対話数を超えました。
説明	アプリケーションまたはデータベースで、最大 DDE 対話数に達しました。 現在許可されている最大 DDE 対話数は 20 です。 これ以上の対話は開始できません。
対処	不要となったアプリケーションまたはデータベースを終了して、 アクティブな対話数を減らしてください。

NAT6571: 対話はすでに存在しています。

テキスト	対話はすでに存在しています。
説明	追加しようとした対話はすでに存在しています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6572: 対話が存在しません。

テキスト	対話が存在しません。
説明	使用または削除しようとした対話が存在していません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6573: データベースコールを処理する準備ができていません。

テキスト	データベースコールを処理する準備ができていません。
説明	データベースが終了途中の状態、または内部エラーが発生しているため、 データベースコールを実行できません。
対処	データベースがまだアクティブであるかどうかをチェックしてください。 アクティブでない場合は、データベースを再起動して、アプリケーションを再度実行します。 アクティブな場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6574: 共有メモリを **DDE** に割り当てることができません。

テキスト	共有メモリを DDE に割り当てることができません。
説明	DDE に必要な共有メモリの割り当てに失敗しました。
対処	オペレーティングシステムのコンフィグレーション設定をチェックし、必要な場合は修正してください。 または、ディスク上のスワップファイル用のスペースを増やすか、 別のディスクにスワップファイルを移動してください。

NAT6575: アプリケーションの最大数に達しました。

テキスト	アプリケーションの最大数に達しました。
説明	Windows 下で同時に ADALNK.DLL を使用可能なアプリケーションの最大数に達しました。 現在許可されているアプリケーションの最大数は 10 です。
対処	アクティブなアプリケーション数を減らしてください。

NAT6576: アプリケーションが見つかりません。

テキスト	アプリケーションが見つかりません。
説明	アプリケーションに関する内部情報が見つかりません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6580: NATPAGE ファイルの作成に失敗しました。

テキスト	NATPAGE ファイルの作成に失敗しました。
説明	ファイルがすでに開いている、読み込み / 書き込みに対して保護されている、または内部エラーが発生しています。
対処	ファイルがすでに開いているか、 または読み込み / 書き込みに対して保護されているかを確認してください。 これに該当しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6581: 現在の画面サイズは、保存したサイズと異なります。

テキスト	現在の画面サイズは、保存したサイズと異なります。
説明	NATPAGE ファイルに保存した画面サイズが、現在の画面サイズと異なります。 NATPAGE 画面の表示、および NATPAGE ファイルへの新画面の追加はできません。
対処	NATPAGE 画面を表示できる画面サイズに変更するか、 または新しい NATPAGE ファイルをオプション %P で作成してください。

NAT6582: メモリの問題が原因で、**NATPAGE** 画面を保存できません。

テキスト	メモリの問題が原因で、NATPAGE 画面を保存できません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。
対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6583: NATPAGE 内部エラーが発生しました。

テキスト	NATPAGE 内部エラーが発生しました。
説明	NATPAGE 内部エラーが見つかりました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6599: NETWORK エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	NETWORK エラー ... が発生しました。
説明	Natural が NETWORK エラーを検出しました。
対処	NETWORK エラーの説明を参照してください。

NAT6600: このコンテキストでは機能しないキーが押されました。

テキスト	このコンテキストでは機能しないキーが押されました。
説明	このコンテキストで有効なキーは、 Page Up、Page Down、上方向、下方向、Home、End、 ファンクションキー F1～F12、および編集コマンドキーです。 編集コマンドキーのリストを表示するには、F2 キーを押してください。
対処	上記のキーを押してください。

122 Natural システムエラーメッセージ 6601～6650

NAT6601: 内部編集構造の構築に必要なメモリを確保できません。

テキスト	内部編集構造の構築に必要なメモリを確保できません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。
対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6602: ソースエリア内のデータエリアに不正なフォーマットがあります。

テキスト	ソースエリア内のデータエリアに不正なフォーマットがあります。
説明	データエリアは特定のフォーマットで保存されます。 不正なフォーマットを持つデータエリアが、ソースエリアに読み込まれました。 このデータエリアは、異なる工ディタで編集されたか、 または提供されているユーティリティ (ダウンロード / マイグレーション) を使わずに、別のコンピュータからインポートされています。
対処	データエリアを再作成してください。 別のコンピュータからインポートされている場合は、提供されている ダウンロード / マイグレーションユーティリティを使用してインポートしてください。

NAT6603: ファンクションキーには編集処理が割り当てられていません。

テキスト	ファンクションキーには編集処理が割り当てられていません。
説明	使用できる編集機能と割り当てられたキーは、画面の下に表示されています。
対処	編集機能が割り当てられたキーを押してください。

NAT6604: 要求された処理はこの行には適用されません。

テキスト	要求された処理はこの行には適用されません。
説明	要求された処理は、このタイプの行には意味がありません。
対処	このタイプの行に適用される処理を選んでください。または、 この処理を適用できる行に使用してください。

NAT6605: データエリアエディタのコメントブロックに構文エラーがあります。

テキスト	データエリアエディタのコメントブロックに構文エラーがあります。
説明	CHECK、STOW、または GEN コマンドの後に、データエリアエディタの コメントブロックが構文解析されて、対応する Natural コードが生成されます。 問題のコメントブロックは、必要なフォーマットになっていません。 内部エラーが発生した可能性があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 作業を続けるには、エラーが発生した行を削除し、入力し直してください。

NAT6606: 不正なレベル番号が指定されました。 **1**～**99** が有効なレベルです。

テキスト	不正なレベル番号が指定されました。 1~99 が有効なレベルです。
説明	正しいレベル番号は 1~99 です。
対処	正しいレベル番号を入力します。

NAT6607: 不正なフィールドタイプが入力されました。

テキスト	不正なフィールドタイプが入力されました。
説明	正しいフィールドタイプのリストを表示するには、F2 キーを押してください。
対処	正しいフィールドタイプを入力してください。

NAT6608: コメントを含めた配列定義／親ブロック／**DDM** が長すぎます（最大 **32**）。

テキスト	コメントを含めた配列定義 / 親ブロック / DDM が長すぎます (最大 32) 。
説明	配列定義、親ブロック名、または DDM 名の最大長は、 コメントを含めて 32 文字です。 現在の行には 32 を超える文字が入力されています。
対処	コメントを短くしてください。

NAT6609: データエリアが大きすぎて、**Natural** ソースエリアに入りません。

テキスト	データエリアが大きすぎて、Natural ソースエリアに入りません。
説明	ソースエリアには、フィールドの挿入、Natural コードの生成、または新規ソースの オープンのための十分なスペースがありません。 データエリアが 512K より大きいか、または複数のソースエリアがアクティブになっている可能性があります。 現在ソースエリア内にあるオブジェクトの合計サイズが、 NATPARM プログラムで定義したエリアサイズを超えてはいけません。
対処	データエリアが 512K より大きい場合は、これを小さくするか、または分割してください。 そうでない場合は、開いているソーステキストを閉じるか、または NATPARM プログラムで ソースエリアのサイズを大きくしてください。

NAT6610: この行は再定義できません。

テキスト	この行は再定義できません。
説明	この行には、すでに再定義されたフィールドが存在する可能性があります。

対処	このタイプの行に適した処理を選択してください。または、 再定義は、再定義可能な行に適用してください。

NAT6611: 新しいレベルは再定義されるフィールドのレベルより大きい必要があります。

テキスト	新しいレベルは再定義されるフィールドのレベルより大きい必要があります。
説明	フィールドを再定義する場合、新しい再定義フィールドのレベルは、 再定義されるフィールドのレベルより大きい必要があります。
対処	再定義されるフィールドのレベルより大きいレベルを指定してください。

NAT6612: 再定義フィールドの長さが、残りのバイト数を超えています。

テキスト	再定義フィールドの長さが、残りのバイト数を超えています。
説明	再定義フィールドの合計バイト数は、 再定義されるバイト数を超えてはいけません。
対処	残りのバイト数を超えないようにしてください。

NAT6613: GENERATE コマンドにコピーコード名がありません。

テキスト	GENERATE コマンドにコピーコード名がありません。
説明	GENERATE コマンドには生成するコピーコードの名前が必要です。
対処	コピーコード名を入力してください。

NAT6614: コマンド行のパラメータ数が正しくありません。

テキスト	コマンド行のパラメータ数が正しくありません。
説明	コマンドは正しく入力されましたが、パラメータ数が正しくありません。
対処	正しいパラメータを指定してください。

NAT6615: この形式の **SET** コマンドは正しくありません。

テキスト	この形式の SET コマンドは正しくありません。
説明	SET TYPE が、Natural で有効な唯一の SET コマンドです。 次のうちの 1 つのパラメータが必要です。 A、G、GLOBAL、L、LOCAL、PARAMETER
対処	正しい形式の SET コマンドを指定してください。

NAT6616: データエリアエディタに有効なメモリがありません。

テキスト	データエリアエディタに有効なメモリがありません。
説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。 オペレーティングシステムの設定をチェックし、必要に応じて修正 します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを確認します。
対処	システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6617: 指定された名前の **DDM** は存在しません。

テキスト	指定された名前の DDM は存在しません。
説明	ビューは既存の DDM に属している必要があります。
対処	既存の DDM の名前を指定してください。

NAT6618: DDM の処理中にエラーが発生しました。

テキスト	DDM の処理中にエラーが発生しました。
説明	DDM の内部フォーマットが正しくありません。
対処	DDM を再度編集してください。 この方法で効果がない場合は、内部エラーが発生している可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6619: * コマンドはピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドにのみ適用されます。

テキスト	* コマンドは、ピリオディックグループまたはマルチプルバリューフィールドにのみ適用されます。
説明	* コマンドは、カウンタフィールド (C*) を作成します。 ピリオディックフィールドとマルチプルバリューフィールドのみが、 カウンタフィールドを使用できます。
対処	このタイプの行に適用される処理を選択してください。または、 * コマンドは、* コマンドが有効な行に適用してください。

NAT6620: 警告**:**配列の変更は初期化でエラーを起こす可能性があります。

テキスト	警告：配列の変更は初期化でエラーを起こす可能性があります。
説明	フィールドに対して配列定義の追加、削除、変更を行うと、 フィールドに初期値が指定されている場合に、エラーを起こす可能性があります。
対処	初期値を削除するか、または新たに初期値を指定してください。

NAT6622: ピリオディックグループのオカレンス数は、**1**〜**191** の範囲内にある必要があります。

テキスト	ピリオディックグループのオカレンス数は、1 ~ 191 の範囲内にある必要があります。
説明	ピリオディックグループのオカレンス数が、この範囲外になっています。
対処	1 ~ 191 の範囲の番号を入力します。

NAT6623: マルチプルバリューフィールドのオカレンス数は **1**〜**191** の範囲内にある必要があります。

テキスト	マルチプルバリューフィールドのオカレンス数は 1 ~ 191 の範囲内にある必要があります。
説明	マルチプルバリューフィールドのオカレンス数が、この範囲外になっています。
対処	1 ~ 191 の範囲の番号を入力します。

NAT6624: 最大値が最小値より小さくてはいけません。

テキスト	最大値が最小値より小さくてはいけません。
説明	最大値に最小値より小さい値が指定されています。
対処	最大値には最小値より大きい値を指定してください。

NAT6625: このデータエリアでは編集ブロックが定義されていません。

テキスト	このデータエリアでは編集ブロックが定義されていません。
説明	編集ブロックをマーク (定義) していないと、マークの解除 (HIDE) はできません。
対処	別の関数を選択します。

NAT6626: HIDE コマンドは編集ブロック内でのみ有効です。

テキスト	HIDE コマンドは編集ブロック内でのみ有効です。
説明	この行は、このデータエリアの編集ブロックの外にあります。
対処	編集ブロック内で HIDE コマンドを入力してください。

NAT6627: ブロックはグローバルデータエリア内でのみ定義できます。

テキスト	ブロックはグローバルデータエリア内でのみ定義できます。
説明	ブロックはグローバルデータエリア内でのみ定義できます。
対処	別の関数を選択します。

NAT6628: クリップボードを開くための十分なメモリがありません。

テキスト	クリップボードを開くための十分なメモリがありません。

説明	オペレーティングシステムが正しく設定されていないか、 ディスクに十分なスペースがないためシステムのスワップファイルを使用できません。
対処	オペレーティングシステムの設定をチェックし、 必要に応じて修正します。 次に、システムのスワップファイルを利用できるだけのディスクスペースがあることを 確認します。 システム管理者に連絡してサポートを要請してください。

NAT6629: クリップボードが空なので、貼り付けできません。

テキスト	クリップボードが空なので、貼り付けできません。
説明	クリップボードには何もコピーされていません。 クリップボードが空なので、クリップボードからの貼り付けは実行できません。
対処	対処は必要ありません。

NAT6630: 編集ブロックの開始位置が **X** でマークされていません。

テキスト	編集ブロックの開始位置が X でマークされていません。
説明	編集ブロックの開始位置が X でマークされていないので、 編集ブロックの終了位置を Y でマークできません。
対処	行コマンド X を使用して、編集ブロックの開始位置を指定してください。

NAT6631: パラメータデータエリアでは編集マスクまたは初期値の設定はできません。

テキスト	パラメータデータエリアでは編集マスクまたは初期値の設定はできません。
説明	パラメータデータエリアでは、編集マスクまたは初期値の設定はできません。
対処	編集マスクまたは初期値を削除してください。

NAT6632: パラメータデータエリアに定数は定義できません。

テキスト	パラメータデータエリアに定数は定義できません。

説明	グローバルまたはローカルデータエリアでのみ定数を定義できます。
対処	別の関数を選択します。

NAT6633: グローバルユニーク **ID** の生成に失敗しました。

テキスト	グローバルユニーク ID の生成に失敗しました。
説明	新しいグローバルユニーク ID が定義されましたが、NaturalX がその提供に失敗しました。
対処	NaturalX のインストールをチェックしてください。

NAT6634: VALUE 節は、パラメータデータエリア内でのみ指定できます。

テキスト	VALUE 節は、パラメータデータエリア内でのみ指定できます。
説明	このオプションでは、サブプログラムまたはサブルーチンに、 値でパラメータを送ります。 これは、実際のパラメータ値が アドレスに代わってサブプログラムまたはサブルーチンに送られることを意味します。 そのため、サブプログラムまたはサブルーチン内のフィールドは、 CALLNAT または PERFORM パラメータと同じフォーマットおよび長さを持つ必要がありません。
対処	グローバルおよびローカルデータエリアには、VALUE 節を指定しないでください。

NAT6635: 不正な **VALUE** 節が入力されました。

テキスト	不正な VALUE 節が入力されました。
説明	有効な VALUE 節のリストを表示するには、F2 キーを押してください。
対処	有効な VALUE 節を入力してください。

NAT6636: 大きな英数字またはバイナリフィールドの長さは **1 GB** 未満にする必要があります。

テキスト	大きな英数字またはバイナリフィールドの長さは 1 GB 未満にする必要があります。

説明	
対処	有効な長さの変数を入力してください。

123 Natural システムエラーメッセージ 6651～6700

NAT6700: 指定した番号のファイルは存在しません。

テキスト	指定した番号のファイルは存在しません。
説明	内部エラーが発生しました。 指定した番号をチェックしてください。 番号が正しく、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを 再スタートします。 これで影響がなければ、データベースを再スタートします。
対処	説明を参照

124 Natural システムエラーメッセージ 6701～6750

NAT6701: データベースコールに必要なファイル番号がありません。

テキスト	データベースコールに必要なファイル番号がありません。
説明	このデータベースコールにはファイル番号が必要です。 指定した番号をチェックしてください。 番号が正しく、Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを 再スタートします。 これで影響がなければ、データベースを再スタートします。
対処	説明を参照

NAT6702: データベースコールにファイル名もファイル番号も指定されていません。

テキスト	データベースコールにファイル名もファイル番号も指定されていません。
説明	このデータベースコールにはファイル名またはファイル番号が必要です。 指定したファイル名またはファイル番号をチェックしてください。 指定に誤りがなく、 Software AG の DBMS サービスを使用している場合は、 内部エラーが発生した可能性があるので、 Software AG サポートに連絡してください。 処理を 続行するには、DBMS サービスを再スタートします。 これで影響がなければ、 データベースを再スタートします。

対処	説明を参照

NAT6703: 内部エラーにより、ファイルを作成できません。

テキスト	内部エラーにより、ファイルを作成できません。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。 これで影響がなければ、データベースを再スタートします。

NAT6704: ファイルにレコードがあるのでこの処理を実行できません。

テキスト	ファイルにレコードがあるのでこの処理を実行できません。
説明	この処理を実行するには、ファイルは空でなければいけません。
対処	ファイルのレコードを削除してから、この処理を実行してください。

NAT6706: 指定した番号の領域（物理ファイル）はすでに存在しています。

テキスト	指定した番号の領域 (物理ファイル) はすでに存在しています。
説明	内部エラーが発生しました。 Software AG の DBMS サービスが、すでに使用されている番号の領域 (物理ファイル) を作成しようとしました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。 これで影響がなければ、データベースを再スタートします。

NAT6707: 内部エラーにより、ディスクリプタを作成できません。

テキスト	内部エラーにより、ディスクリプタを作成できません。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。 これで影響がなければ、データベースを再スタートします。

NAT6708: 内部エラーにより、ディスクリプタが見つかりません。

テキスト	内部エラーにより、ディスクリプタが見つかりません。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、データベースを再スタートします。

NAT6709: 内部エラーにより、フィールドが見つかりません。

テキスト	内部エラーにより、フィールドが見つかりません。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、データベースを再スタートします。

NAT6710: 互換性のないフィールドがすでに存在しています。

テキスト	互換性のないフィールドがすでに存在しています。
説明	すでにデータがあるファイルに対して、FDT を復元しようとしましたが、 対応する新しいフィールドとは互換性のないフィールドが、すでに存在しています。
対処	古い FDT を新しい FDT と比較して、エラーを修正します。

NAT6711: 多くのディスクリプタを既存ファイルのフィールドに作成しようとしました。

テキスト	多くのディスクリプタを既存ファイルのフィールドに作成しようとしました。
説明	一度に 15 以上のフィールドを使ってディスクリプタを作成することはできません。 例えば、それぞれが 4 フィールドで構成されるスーパーディスクリプタを 一度に 4 つ作成しようとすると、このエラーが発生します。
対処	数ステップに分けてディスクリプタを作成してください。

NAT6712: ファイル内のレコード数を参照中、エラーが発生しました。

テキスト	ファイル内のレコード数を参照中、エラーが発生しました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、データベースを再スタートします。

NAT6713: 内部エラーにより、フィールド数が不正になりました。

テキスト	内部エラーにより、フィールド数が不正になりました。
説明	FDT の保存中に、内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。

NAT6714: 内部エラーにより、領域数が失われました。

テキスト	内部エラーにより、領域数が失われました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。

NAT6715: 内部エラーにより、フィールドフォーマットが不正になりました。

テキスト	内部エラーにより、フィールドフォーマットが不正になりました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。

NAT6716: 内部エラーにより、フィールド長が不正になりました。

テキスト	内部エラーにより、フィールド長が不正になりました。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。 処理を続行するには、DBMS サービスを再スタートします。

NAT6717: ファイルの既存フィールドの順序は変更しないでください。

テキスト	ファイルの既存フィールドの順序は変更しないでください。
説明	ファイルにデータが存在する場合、 既存フィールドの順序は変更しないでください。
対処	古い FDT を新しい FDT と比較して、エラーを修正します。

NAT6718: 内部 **ET** データの構造が正しくありません。

テキスト	内部 ET データの構造が正しくありません。
説明	ET データが壊れているか、または存在しません。 β バージョンでデータベースが作成されている可能性があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6719: 通常のフィールドはユニーク値にできません。

テキスト	通常のフィールドはユニーク値にできません。
説明	ユニークオプションはディスクリプタに対してのみ指定可能です。
対処	FDT をチェックして、エラーを修正します。

NAT6720: マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループ内のフィールドは、ディスクリプタにできません。

テキスト	マルチプルバリューフィールドまたはピリオディックグループ内のフィールドは、ディスクリプタにできません。
説明	ファイルにデータが含まれている場合、マルチプルバリューフィールドまたは ピリオディックグループ内のフィールドは、ディスクリプタにできません。 これは新規フィールドでも同様です。
対処	FDT をチェックして、エラーを修正します。

NAT6750: .DD ファイルの先頭ページが有効ではありません。

テキスト	.DD ファイルの先頭ページが有効ではありません。
説明	データベース作成時に内部エラーが発生しました。
対処	内部エラーが発生しました。 Software AG サポートに連絡してください。

125 Natural システムエラーメッセージ 6751～6800

NAT6751: ページサイズが **512** バイト未満になっています。

テキスト	ページサイズが 512 バイト未満になっています。
説明	データベースのページサイズが最小値よりも小さくなっています。
対処	データベースサービスを使用してエラーが発生した場合は、 Software AG サポートに連絡してください。 使用していない場合は、 プログラム ADACREA の PAGE-SIZE パラメータをチェックしてください。

NAT6752: 内部エラーにより、領域を作成できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、領域を作成できませんでした。
説明	領域の作成時に内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6753: 内部エラーにより、ファイルを作成できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、ファイルを作成できませんでした。

説明	FDT 格納時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6754: 内部エラーにより、ファイル定義を取得できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、ファイル定義を取得できませんでした。
説明	FDT 読み込み時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6755: 内部エラーにより、フィールドを挿入できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、フィールドを挿入できませんでした。
説明	FDT 格納時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6756: 内部エラーにより、領域定義を取得できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、領域定義を取得できませんでした。
説明	領域定義の読み込み時に、内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6757: 内部エラーにより、ディスクリプタを挿入できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、ディスクリプタを挿入できませんでした。
説明	FDT 格納時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6758: 内部エラーにより、フィールド定義を取得できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、フィールド定義を取得できませんでした。
説明	FDT 読み込み時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6759: 内部エラーにより、ディスクリプタを取得できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、ディスクリプタを取得できませんでした。
説明	FDT 読み込み時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6760: 内部エラーにより、ディスクリプタの一部を挿入できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、ディスクリプタの一部を挿入できませんでした。
説明	FDT 格納時の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6761: 内部エラーにより、フィールド定義を変更できませんでした。

テキスト	内部エラーにより、フィールド定義を変更できませんでした。
説明	FDT の変更時に、内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6782: 不正なハンドルが使用されています。 バックアップ／復元の内部エラーです。

テキスト	不正なハンドルが使用されています。 バックアップ / 復元の内部エラーです。

説明	不正なハンドルが使用されています。 バックアップ / 復元の内部エラーです。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6783: バックアップを書き込むためのファイルが、読み取り専用モードです。

テキスト	バックアップを書き込むためのファイルが、読み取り専用モードです。
説明	指定されたファイルが読み取り専用メディアであるか、 または書き込み保護されています。
対処	バックアップのメディアとディレクトリをチェックし、エラーを修正してください。

NAT6784: 復元するファイルが、読み取り専用モードです。

テキスト	復元するファイルが、読み取り専用モードです。
説明	指定されたファイルが読み取り専用メディアであるか、 または書き込み保護されています。
対処	復元先のメディアとディレクトリをチェックし、 エラーを修正してください。

NAT6785: バックアップ／復元の内部エラーです。

テキスト	バックアップ / 復元の内部エラーです。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6786: バックアップ／復元ファイルには **R** ロックを設定できません。

テキスト	バックアップ / 復元ファイルには R ロックを設定できません。
説明	更新の競合により、バックアップ / 復元ファイルに R ロックを設定できませでした。

対処	他のアプリケーションが更新のためにデータベースを使用していないことをチェックしてください。

NAT6787: バックアップ／復元ファイルには **X** ロックを設定できません。

テキスト	バックアップ / 復元ファイルには X ロックを設定できません。
説明	更新の競合により、バックアップ / 復元ファイルに X ロックを設定できませでした。
対処	他のアプリケーションでデータベースが使用されていないことを確認してください。

NAT6788: バックアップ／復元ファイルをロックすることはできません。

テキスト	バックアップ / 復元ファイルをロックすることはできません。
説明	更新の競合により、バックアップ / 復元ファイルに ロックを設定できませでした。
対処	他のアプリケーションでデータベースが使用されていないことを確認してください。

NAT6800: 指定したデバイスが正しくありません。

テキスト	指定したデバイスが正しくありません。
説明	デバイスがフロッピーディスクの場合、A または B になります。 ハードディスクの場合は、C または ハードディスクやハードディスクの一部に定義されているその他の英字になります。
対処	正しい文字を入力してください。

126 Natural システムエラーメッセージ 6801～6850

NAT6801: ディスクがフォーマットされていません。または書き込み保護されています。

テキスト	ディスクがフォーマットされていません。または書き込み保護されています。
説明	ディスクがフォーマットされてないか、または書き込み保護されています。
対処	フォーマット済みの書き込み可能なディスクを使用してください。

NAT6802: 指定されたパスが存在しません。

テキスト	指定されたパスが存在しません。
説明	正しく処理するには、環境にパスが存在している必要があります。
対処	既存のパスを指定してください。

NAT6803: インポート失敗**:**オブジェクトは **Natural** で認識されていません。

テキスト	インポート失敗：オブジェクトは Natural で認識されていません。
説明	FTOUCH ルーチンの内部エラーにより、インポートできませんでした。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6804: オブジェクト名が不正です。

テキスト	オブジェクト名が不正です。
説明	この名前はオブジェクトに使用されていません。またはライブラリ内に存在しません。
対処	オブジェクト名が正しいかチェックしてください。

NAT6805: ファイルがオープンできないので作成または書き込みができません。

テキスト	ファイルがオープンできないので作成または書き込みができません。
説明	ファイルがすでに開いているか、書き込み保護されています。 または内部エラーが発生しました。
対処	ファイルがすでに開いているか、または書き込み保護されていないかチェックしてください。 これに該当しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6806: 書き込みバッファのエラーにより、ファイルに書き込みできません。

テキスト	書き込みバッファのエラーにより、ファイルに書き込みできません。
説明	書き込みバッファのエラーです。
対処	再度、ワークファイルに書き込んでみてください。 この方法で効果がない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6807: ソースファイルを削除できません。

テキスト	ソースファイルを削除できません。
説明	ファイルが書き込み保護されているか、 または内部エラーが発生しました。
対処	ファイルへの書き込みがプロテクトされていないか確認してください。 これに該当しない場合は、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6808: CATALOG されたファイルを削除できません。

テキスト	CATALOG されたファイルを削除できません。
説明	ファイルが書き込み保護されているか、 または内部エラーが発生しました。
対処	ファイルへの書き込みがプロテクトされていないか確認してください。 これに該当しない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6809: ディレクトリ **FILEDIR.SAG** 内のファイルのレコードを削除できません。

テキスト	ディレクトリ FILEDIR.SAG 内のファイルのレコードを削除できません。
説明	ディレクトリ FILEDIR.SAG が存在しないか、またはその内容が破損しています。 ディレクトリ FILEDIR.SAG が消失していないか、またはその内容が破損して いないかを管理者に問い合わせてください。 破損したディレクトリは削除する ことが可能です。削除すると、ライブラリにコピーまたは移動されている最初の ファイルのディレクトリが自動的に再作成されます。 その後、ライブラリ内の 他のファイルのレコードをそのディレクトリにインポートする必要があります。 インポートしてい るプログラムをすべてのユーザーが利用できるようになるまで、 管理者はプログラム FTOUCH を使用してこれらのレコードをインポートします。 ディレクトリが見つからない場合は、内部エラーが発生しています。Software AG サポートに連絡してください。
対処	説明を参照

NAT6810: ディレクトリ **FILEDIR.SAG** にファイルのレコードを挿入できません。

テキスト	ディレクトリ FILEDIR.SAG にファイルのレコードを挿入できません。
説明	ディレクトリ FILEDIR.SAG が存在しないか、またはその内容が破損しています。 または、新しいレコード用のスペースがありません。 ディレクトリ FILEDIR.SAG が消失していないか、またはその内容が破損して いないかを管理者に問い合わせてください。 破損したディレクトリは削除する ことが可能です。削除すると、ライブラリにコピーまたは移動されている最初の ファイルのディレクトリが自動的に再作成されます。 その後、ライブラリ内の 他のファイルのレコードをそのディレクトリにインポートする必要があります。 インポートしてい るプログラムをすべてのユーザーが利用できるようになるまで、 管理者はプログラム FTOUCH を使用してこれらのレコードをインポートします。 ディレクトリが見つからない場合は、内部エラーが発生しています。Software AG サポートに連絡してください。

対処	説明を参照

NAT6811: 名前の変更に失敗しました**:**パス名が正しくないか、ファイル名がディレクトリに存在しません。

テキスト	名前の変更に失敗しました：パス名が正しくないか、ファイル名がディレクトリに存在しません。
説明	ファイルが見つからなかったので、ファイル名を変更できませんでした。 ファイルのパスまたはファイル名の拡張子が変更された可能性があります。 そうでない場合は、内部エラーが発生しました。
対処	管理者に対して、ファイルのパスとファイル名の拡張子をチェックして修正することを 依頼してください。 ファイルのパスとファイル名の拡張子が正しい場合は、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6812: 名前の変更に失敗しました**:**同じ名前のファイルがライブラリにすでに存在します。

テキスト	名前の変更に失敗しました：同じ名前のファイルがライブラリにすでに存在します。
説明	指定した新しい名前のファイルが、そのライブラリにすでに存在しているため、 ファイル名を変更できませんでした。
対処	違う名前を指定してください。 または既存のファイルを削除してください。

NAT6813: オブジェクトの拡張子が不正なため、インポートできません。

テキスト	オブジェクトの拡張子が不正なため、インポートできません。
説明	オブジェクトは、その拡張子が Natural で有効なものである場合にのみ、インポートできます。
対処	Natural で有効な拡張子に変更してください。

NAT6814: 同じ名前のオブジェクトはインポートできません。

テキスト	同じ名前のオブジェクトはインポートできません。

説明	インポートで同じ名前のオブジェクト (拡張子は異なる場合がある) が 2 つ選択されました。 いずれか 1 つのみインポートすることができます。
対処	どちらか一方を選択して、インポートしてください。

NAT6815: このモジュール名は **SYSTEM** または **STEP** ライブラリにすでに存在します。

テキスト	このモジュール名は SYSTEM または STEP ライブラリにすでに存在します。
説明	SYSTEM ライブラリまたは STEP ライブラリですでに使用されているモジュール名は、このライブラリの DDM に使用できません。
対処	この DDM に、違うモジュール名を指定してください。

NAT6816: 新しい名前は古い名前より短くする必要があります。

テキスト	新しい名前は古い名前より短くする必要があります。
説明	複数のオブジェクトを選択して、オブジェクト名の最初の 1 文字 または複数の文字を変更できます。 それぞれの名前の少なくとも最後の 1 文字は、変更せずに残す必要があります。 そのため、新しい文字列は古い名前よりも短くする必要があります。
対処	古い名前よりも短くなるように、新しい名前を指定してください。

NAT6817: DDM のヘッダーに不正なフォーマットがあります。

テキスト	DDM のヘッダーに不正なフォーマットがあります。
説明	DDM のヘッダーは、特定のフォーマットを持っている必要があります。
対処	DDM エディタを使用してヘッダーを編集し、フォーマットを修正してください。 または、管理者に対して、オペレーティングシステムの工ディタを使用してヘッダーを編集し、フォーマットを修正することを 依頼してください。

NAT6818: DDM のモジュール名が正しくありません。

テキスト	DDM のモジュール名が正しくありません。
説明	
対処	DDM エディタを使用してモジュール名を編集し、修正してください。 または、管理者に対して、オペレーティングシステムのエディタを使用してモジュール名を編集し、修正することを 依頼してください。

NAT6819: 入力された名前の有効なライブラリが存在しません。

テキスト	入力された名前の有効なライブラリが存在しません。
説明	正しくない名前が入力されたか、この環境には存在しないライブラリを探しています。
対処	名前を入力し直すか、その名前のライブラリを新規作成してください。

NAT6820: DBID/FNR が正しくありません。

テキスト	DBID/FNR が正しくありません。
説明	この DBID/FNR にはライブラリが存在しません。また、ライブラリを作成できません。
対処	NATPARM >> グローバル定義ファイル >> システムファイル >> システムファイル設定で、新しい DBID/FNR を定義してください。

NAT6821: 選択／ヘルプメニューのファイル **:1:** が見つかりません。

テキスト	選択 / ヘルプメニューのファイル ... が見つかりません。
説明	このファイルを正しいパスにコピーする必要があります。
対処	ファイルが存在し、パスが正しいことをチェックしてください。

NAT6822: ファイル **:1:** をメモリファイルに書き込めません。

テキスト	ファイル ... をメモリファイルに書き込めません。
説明	メモリファイルに書き込むためにファイルを読み込もうとしたときに、読み込みエラーが発生しました。
対処	ファイルが存在し、その内容が正しいことをチェックしてください。

NAT6823: 現在のライブラリと、**SYSTEM/STEP** ライブラリは同じ名前の **DDM** を持てません。

テキスト	現在のライブラリと、SYSTEM/STEP ライブラリは 同じ名前の DDM を持てません。
説明	SYSTEM/STEP ライブラリに、同じ名前の DDM をコピーすることはできません。
対処	DDM 名を変更してください。 名前を変更したくない場合は、コピーではなく移動してください。

NAT6824: ライブラリはこれ以上のオブジェクトを持てません。

テキスト	ライブラリはこれ以上のオブジェクトを持てません。
説明	1 つのライブラリは、タイプに関係なく、特定数のオブジェクトしか持つことができません。 この数に達しました。
対処	他のライブラリを選択してください。

NAT6825: :1: を生成できません。ログが停止されます。

テキスト	... をログのためにオープン / 生成できません。ログが停止されます。
説明	SYSMAIN からログトレースするための NATSYSM.LOG ファイルを オープン / 生成できません。ログなしで SYSMAIN の処理が続行されます。
対処	ログなしで続行してください。

NAT6826: オブジェクトが最大数に達すると、 上書きできません。

テキスト	オブジェクトが最大数に達すると、 上書きできません。
説明	1 つライブラリのオブジェクトが最大数に達すると、 COPY、MOVE、RENAME、または IMPORT を実行できなくなります。
対処	オブジェクトを 1 つ削除してください。

NAT6827: ディスク上に十分なスペースがありません。

テキスト	ディスク上に十分なスペースがありません。
説明	ドライブ / ディスク上に十分なスペースがないので、 処理を正常に実行できませんでした。
対処	ディスクのフリースペースを拡張してください。

NAT6828: DosQFSInfo（フリースペースのチェック）がエラー **:1:** を返しました。

テキスト	DosQFSInfo (フリースペースのチェック) がエラー ... を返しました。
説明	インポートされたファイル用に有効なディスクスペースがあるかどうかを チェックするシステム関数 DosQFSInfo が、内部エラーを返しました。
対処	エラーのリターンコードをチェックし、システムを確認してください。

NAT6829: Natural オブジェクトに対して許可された最大サイズは **65K** です。

テキスト	Natural オブジェクトに対して許可された最大サイズは 65K です。
説明	Natural オブジェクトは 65K を超えてはいけません。 外部的に 65K を超えるオブジェクトを作成した場合、 それを Natural にインポートすることはできません。
対処	オブジェクトのサイズを 65K 未満にしてください。

NAT6830: ファイルバッファを作成するためのメモリがありません。

テキスト	ファイルバッファを作成するためのメモリがありません。
説明	ロードしているプログラムが多すぎる可能性があります。
対処	プログラム SYSMAIN を再スタートします。 これで影響がなければ、内部エラーが発生しています。Software AG サポートに連絡してください。

NAT6831: 配列を作成するのに十分なメモリがありません。

テキスト	配列を作成するのに十分なメモリがありません。
説明	選択リストを格納するための配列を作成するのに十分なメモリがありません。 ロードしているプログラムが多すぎる可能性があります。
対処	プログラム SYSMAIN を再スタートします。 これで影響がなければ、内部エラーが発生しています。Software AG サポートに連絡してください。

NAT6832: 内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	内部エラーが発生しました。
説明	システムコールにより内部エラーが発生しました。
対処	Natural を再スタートしてください。

NAT6833: 環境変数 **:1:** が見つかりません。

テキスト	環境変数 ... が見つかりません。
説明	SET コマンドで設定する環境変数が見つかりません。
対処	使用する環境変数を設定してください。 または、フルパス名を入力してください。

NAT6834: Natural オブジェクトが見つからない、パスが不正である、またはアクセス権がありません。

テキスト	Natural オブジェクトが見つからない、パスが不正である、またはアクセス権がありません。
説明	このパス内のオブジェクトを次の理由で読むことができません。 このディレクトリに Natural オブジェクトはありません。 このパスのディレクトリが不正です。 または、アクセス権が与えられていません。
対処	ディレクトリ、パスの指定、およびアクセス権をチェックしてください。

NAT6835: スタックまたはニュークリアスコールで **:1:** が返されました。

テキスト	スタックまたはニュークリアスコールで ... が返されました。
説明	ニュークリアスがスタックコマンドを実行できません。
対処	再実行してください。 エラーが再度発生する場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6836: :1: ライブラリは見つかりましたが、**Security** によりアクセスを拒否されました。

テキスト	... ライブラリは見つかりましたが、Security によりアクセスを拒否されました。
説明	... ライブラリは見つかりましたが、Natural Security によりアクセスを拒否されました。
対処	この lib 内で作業を実行する権限があることを確認してください。

NAT6837: ファイルに対する **:1:** ライブラリは見つかりましたが **Security** によりアクセスを拒否されました。

テキスト	ファイルに対する ... ライブラリは見つかりましたが Security によりアクセスを拒否されました。
説明	... ライブラリは見つかりましたが、Natural Security によりアクセスを拒否されました。
対処	この lib 内で作業を実行する権限があることを確認してください。

NAT6838: USER_ID が正しくありません。

テキスト	USER_ID が正しくありません。
説明	この USER_ID のオブジェクトは存在しません。
対処	正しい USER_ID またはワイルドカード '*' を入力してください。

NAT6839: DATE/TIME が正しくありません。

テキスト	DATE/TIME が正しくありません。
説明	この日時またはそれ以降に作成されたオブジェクトは存在しません。
対処	正しい DATE/TIME または '0' を入力してください。

NAT6840: MODE が正しくありません。

テキスト	MODE が正しくありません。
説明	このモード (source/cataloged) のオブジェクトは存在しません。
対処	他の MODE または両方を選択してください。

NAT6841: ファイルを削除できません。

テキスト	ファイルを削除できません。
説明	ファイルを削除しようとしましたが、オペレーティングシステムによってアクセスを拒否されました。
対処	問題のファイルへのアクセス権をチェックしてください。

NAT6842: ファイル／フォルダの削除中に共有違反になりました。

テキスト	ファイル / フォルダの削除中に共有違反になりました。

説明	別の処理で使用しているため、Natural はファイルにアクセスすることができません。
対処	ファイル / フォルダの使用を解放してください。

NAT6843: 一致する結果が多すぎるため、選択条件を絞ってください。

テキスト	一致する結果が多すぎるため、選択条件を絞ってください。
説明	LIST ユーティリティは、ライブラリのすべての一致したオブジェクトを表示できません。
対処	別の選択条件を使用してください。

127 Natural システムエラーメッセージ 6851～6900

NAT6890: マップソースはエディタ内へロードすることができません。

テキスト	マップソースはエディタ内へロードすることができません。
説明	このマップはマップエディタで読み込むことができません。 その理由は、マップソースに不正な Natural 構文が含まれているか、 または、マップエディタによって使用される内部定義が解決できません。
対処	ほとんどの場合、これは内部エラーです。 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6899: 内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	内部エラー ... が発生しました。
説明	
対処	ほとんどの場合、これは内部エラーです。 Software AG サポートに連絡してください。

NAT6900: Natural コマンドプロセッサの内部エラー **:1:**。

テキスト	Natural コマンドプロセッサ内部エラー ...。

説明	これはランタイムエラーです。
対処	エラー番号 ... をメモしてください。 Software AG サポートに連絡して、エラー番号を伝えてください。

128 Natural システムエラーメッセージ 6901～6950

NAT6901: PROCESS COMMAND ステートメントの **ACTION** 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの ACTION 節にエラーがあります。
説明	PROCESS COMMAND ステートメントで発生したエラーは、次のうちの 1 つによるものです。 - キーワード 'ACTION' がありません。 - キーワード 'ACTION' の後の指定が間違っているか、指定がありません。 正しい PROCESS COMMAND 構文については、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6902: PROCESS COMMAND ステートメントの **USING** 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節にエラーがあります。
説明	PROCESS COMMAND 出発生したエラーは、 次のうちの 1 つによるものです。 - キーワード 'USING' がありません。 - 指定した action と USING オペランドが矛盾しています。 - USING 節に指定された値の 1 つが、その値を割り当てるための フィールドと一致しません。 - フィールドとその値の間に等号 '=' がありません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6903: PROCESS COMMAND ステートメントの **GIVING** 節にエラーがあります。

テキスト	PROCESS COMMAND ステートメントの GIVING 節にエラーがあります。
説明	PROCESS COMMAND ステートメントで、次のいずれかのエラーが発生しました。 - キーワード 'GIVING' がありません。 - GIVING 節に指定されたフィールドのいずれかが、ACTION 節で指定されたアクションと競合します。 - 指定されたアクションに必要なフィールドが定義 (DEFINE DATA ステートメントまたは GIVING 節) されていません。 - DEFINE DATA ステートメントでフィールド定義されている場合、GIVING 節は指定できません。
対処	プログラムの誤りを修正してください。

NAT6910: プロセッサ名が正しくありません。または見当たりません。

テキスト	プロセッサ名が正しくありません。または見当たりません。
説明	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたコマンドプロセッサ名が正しくないか、または存在しません。
対処	正しい名前を指定してください。 または、存在するコマンドプロセッサ名を指定してください。

NAT6911: 指定されたオブジェクトはコマンドプロセッサではありません。

テキスト	指定されたオブジェクトはコマンドプロセッサではありません。
説明	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたオブジェクトの名前は、コマンドプロセッサ名ではありません。
対処	コマンドプロセッサ名を指定してください。 また、アンパサンド '&' 表記についてもチェックしてください。

NAT6912: プロセッサ **:1:** が見つかりません。

テキスト	プロセッサ ... が見つかりません。

説明	PROCESS COMMAND ステートメントの USING 節に指定されたコマンドプロセッサ名が存在しません。
対処	存在するコマンドプロセッサ名を指定してください。

NAT6913: コマンド行を受け入れられません。

テキスト	コマンドが受け入れられませんでした。
説明	このエラーは、次のいずれかの原因によって発生する可能性があります。 - コマンド行が空です。 - コマンド行にアンダースコアなどの特殊文字が含まれています。
対処	コマンド行の入力を修正してください。

NAT6914: フィールド **:1:** の使い方が正しくありません。

テキスト	フィールド ... の使用方法が無効です。
説明	正しい使用法については、Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、ACTION GET/SET と特に GETSET-FIELD-NAME の可能な値のリストを参照してください。
対処	値を修正します。

NAT6915: フィールド **:1:** の内容が受け入れられません。

テキスト	フィールド ... の内容が受け入れられませんでした。
説明	フィールドのフォーマット / 長さが Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、アクション SET にリストされたものと適合していません。
対処	フィールドのフォーマットと長さをチェックしてください。

NAT6917: フィールド名 **:1:**（アクション **:2:**）が正しくありません。

テキスト	フィールド名 ... (アクション ...) が無効です。
説明	GET アクションに使用された GETSET-FIELD-NAME と SET アクションの間に矛盾がある、または、SET アクションに 使用された値が正しくありません。 GET アクションが LAST-BUFFER を参照する 場合、このエラーは、このバッファが 有効ではないことを示します。
対処	プログラムの構文をチェックしてください。

NAT6918: コマンドデータの **:1:** エラーです。

テキスト	コマンドデータの ... エラーです。
説明	コマンドプロセッサの定義と矛盾のあるデータがコマンド行にあると、 ランタイムにエラーが発生します。 例えば、デリミタが見つからないときにこのエラーが起こります。 変数 ... の中のデータが解釈できません。
対処	コマンド行の入力をコマンドプロセッサの定義を考慮してチェックし、 エラーを修正してください。

NAT6919: Natural コマンドプロセッサ **-** セキュリティエラー **:1:**。

テキスト	Natural コマンドプロセッサ - セキュリティエラー ...。
説明	このエラーは Natural Security によるものです。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6920: プロセッサ **:1:** は許可されていません。

テキスト	コマンドプロセッサ ... は許可されていません。
説明	このコマンドプロセッサを使用する権限がありません。

対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6921: キーワード **:1:** は許可されていません。

テキスト	キーワード ... は許可されていません。
説明	このキーワードを使用する権限がありません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6922: このコマンドは許可されていません。

テキスト	このコマンドは許可されていません。
説明	このコマンドを使用する権限がありません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6923: コマンドプロセッサに対して矛盾したセキュリティ定義があります。

テキスト	コマンドプロセッサに対して矛盾したセキュリティ定義があります。
説明	機能セキュリティが定義された後で、コマンドプロセッサが カタログされました。 そのため、プロセッサと 機能セキュリティ情報が一致しません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6925: PRIVATE シノニムが **:1:** できません。

テキスト	PRIVATE シノニムが ... できません。
説明	この機能に対する権限がないか、または コマンドプロセッサヘッダ定義で この機能が許可されていません。
対処	Natural Security 管理者に連絡してください。

NAT6926: PRIVATE シノニム **:1:** が見つかりません。

テキスト	PRIVATE シノニム ... が見つかりません。
説明	指定された PRIVATE シノニムが見つかりません。
対処	PRIVATE シノニムの詳細については、Natural ドキュメントの PROCESS COMMAND ステートメント、PRIVATE 節を参照してください。

NAT6927: キーワード **:1:** が見つかりません。

テキスト	キーワード ... が見つかりません。
説明	キーワードを正しく指定していません。
対処	キーワード名を正しく入力したかチェックしてください。 (特に大文字、小文字、省略したキーワードの長さに関して)

NAT6928: キーワードが正しい状況で使われていません。

テキスト	キーワード ... が正しい状況で使われていません。
説明	これは語義の工ラーです。 例えば、「UPDATE DELETE」というような意味のない言葉です。
対処	チェックして語義を修正してください。

NAT6929: タイプ **:1:** のキーワードが見つかりません。

テキスト	タイプ :1: のキーワードが見つかりません。
説明	発行したコマンドに必要なキーワードがありません。 このキーワードなしではコマンドは解釈されません。
対処	表示されたタイプのキーワードが、入力されたキーワードとともに 使用することができるかどうかをチェックしてください。 該当するキーワードを選んでください。

NAT6930: キーワードのシーケンスエラーです。

テキスト	キーワードのシーケンスエラーです。
説明	コマンドプロセッサのヘッダーに指定した順序と異なる順序でキーワードを入力しました。 例えば、 `OBJECT ACTION` の順にキーワードが必要なところに `ACTION OBJECT` というような順にキーワードを指定した可能性があります。
対処	正しい順序でキーワードを入力してください。

NAT6931: このコマンドは定義されていません。

テキスト	このコマンドは定義されていません。
説明	定義されていないコマンドを指定しました。 例えば、 `DELETE` と `CUSTOMER` というキーワードは存在しても、 存在しないコマンドである `DELETE CUSTOMER` を入力したなどです。
対処	有効なコマンドを指定してください。

NAT6932: コマンドデータが許されていません。

テキスト	コマンドデータが許されていません。
説明	このコマンドではデータを入力することはできません。
対処	データなしでコマンドを入力してください。

NAT6933: :1: 文字より多い文字のデータ要素が見つかりました。

テキスト	`:1:` 文字より多い文字のデータ要素が見つかりました。
説明	正しい文字数より多い文字数のデータ要素が入力されました。

対処	データ要素に対する正しい入力長をチェックし、 入力を修正してください。

NAT6934: データ要素に数字以外の文字 **:1:** が見つかりました。

テキスト	データ要素に数字以外の文字 :1: が見つかりました。
説明	数字以外の文字がデータ要素の一部に入力されました。 データ要素には数字しか入力できません。
対処	データ要素の入力を修正してください。

NAT6940: Natural コマンドプロセッサのバッファにエラー **:1:** が起こりました。

テキスト	Natural コマンドプロセッサのバッファにエラー ... が起こりました。
説明	これは予期しないエラーです。 NCPWORK にアクセスできません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT6942: Natural コマンドプロセッサへの不正な **GETMAIN** 要求です。

テキスト	Natural コマンドプロセッサへの不正な GETMAIN 要求です。
説明	NCPWORK をオープンできません。 スレッドが使い果たされました。
対処	ESIZE/FSIZE を減らしてください。 BUS コマンドを使用して、どれだけスペースがあるのか調べてください。

NAT6943: コマンドプロセッサのバッファ **:1: KB** を **GETMAIN** できませんでした。

テキスト	コマンドプロセッサのバッファ ... KB を GETMAIN できませんでした。
説明	Natural スレッド内に十分なスペースがありません。 メッセージ中の値は要求できない KB 数を示します。
対処	Natural 管理者に連絡し、ESIZE または FSIZE を増やしてください。

NAT6945: Natural コマンドプロセッサのバッファを割り当てられません。

テキスト	Natural コマンドプロセッサのバッファを割り当てられません。
説明	NCPWORK バッファが上書きされたため、GET/SET アクションが実行できないか、または、コマンドプロセッサが閉じられています。
対処	PROCESS COMMAND ステートメントの ACTION EXEC を使用して コマンドプロセッサを開いてください。

NAT6950: ライブラリを動的にロードできません。

テキスト	ライブラリを動的にロードできません。
説明	ランタイム時に必要なライブラリが見つかりませんでした。 または、ロードできませんでした。 動的にロードするライブラリのシステム検索パスをチェックしてください。 Natural のインストール後に、これらが変更されていないか調べてください。 変更されていない場合は、インストールされていないコンポーネントにアクセスしようとしています。 これも該当しない場合は、SAG サポートに連絡してください。
対処	説明を参照

129 Natural システムエラーメッセージ 6951～7000

NAT6951: 動的にロードしたライブラリ内にプロシージャが見つかりません。

テキスト	動的にロードしたライブラリ内にプロシージャが見つかりません。
説明	ランタイム時に必要なプロシージャが、動的にロードされるライブラリにありませんでした。
対処	動的にロードするライブラリのシステム検索パスをチェックしてください。 特に、現在実行中の Natural と異なるバージョンのライブラリを システムがロードしていないかチェックしてください。

NAT6952: Natural Reporter の処理が正常に終了しませんでした。

テキスト	Natural Reporter の処理が正常に終了しませんでした。
説明	Natural Reporter が要求した処理を正常に実行できませんでした。 ドキュメントをチェックして、要求した処理が正しく使用されているか 確認してください。 プログラムが実行する連続した機能を、直接 Reporter 内から 正常に実行できるか確認してください。 実行できる場合は、OLE が正しくインストールされているか確認してください。 問題の原因が見つからない場合は、Software AG サポートに連絡してください。
対処	説明を参照

NAT6953: Natural/Reporter のインターフェイスを初期化できません。

テキスト	Natural/Reporter のインターフェイスを初期化できません。
説明	インターフェイスを初期化する前に、Natural/Reporter の インターフェイスの処理を呼び出そうとしました。 初期化コールが行われていないか、 または、インターフェイスを終了するためのコールが実行されました。 この場合、インターフェイスを再度初期化する必要があります。 1 つの Natural セッションごとに、Natural/Reporter の初期化と終了が 必要なことに注意してください。
対処	Natural/Reporter インターフェイスを初期化するステートメントを含むプログラムを修正してください。

NAT6954: 要求されたレポートが見つかりませんでした。

テキスト	要求されたレポートが見つかりませんでした。
説明	レポートが名前で指定 (OPEN 要求など) された場合、 指定したレポートがファイルシステム内で見つかりませんでした。 または、指定したレポート ID が正しくありません。 次のことを確認してください。 - レポート名にパスまたはファイル拡張子を指定しているか - 8 文字以上のレポート名を指定していないか - SAG.INI ファイルに指定した NATGUI_BMP のパスにレポートが存在するか - 前の OPEN で返された正しい ID とレポート ID が一致しているか (例 : OPEN からのレスポンスコードをチェックして、レポートが正常にオープンされたことを確認します) - このレポートに対し、その間に CLOSE 要求が発行されていないか
対処	説明を参照

NAT6955: アクティブなレポートが多すぎます。

テキスト	アクティブなレポートが多すぎます。
説明	Natural/Reporter のインターフェイスが同時に保持できるレポートの 最大数に達しました。
対処	不要となったレポートを CLOSE するようにプログラムを修正してください。

NAT6956: パラメータが正しくありません。

テキスト	パラメータが正しくありません。
説明	このエラーは次のことが原因で発生する可能性があります。 - 与えられたパラメータ数が正しくありません。 - または、1つ以上の必須パラメータが与えられていません。 - または、1つ以上のパラメータに誤ったフォーマット / 長さが指定されています。
対処	ドキュメントに対してプログラム内で使用されるパラメータをチェックしてください。

NAT6957: 印刷デバイスが正しくありません。

テキスト	印刷デバイスが正しくありません。
説明	指定したプリンタが NATPARM に設定されていません。 または、TTY 印刷メソッドに関連付けられていません。
対処	NATPARM のプリンタの設定をチェックしてください。

NAT6958: ワークファイルが正しくありません。

テキスト	ワークファイルが正しくありません。
説明	ワークファイルが正しく設定されていません。 または、ファイルが存在しません。 または、Natural CONNECTION (*.NCD) ファイルではありません。
対処	ワークファイルをチェックしてください。

NAT6959: プライベートリソースファイルへのリソースの保存に失敗しました。

テキスト	プライベートリソースファイルへのリソースの保存に失敗しました。
説明	ダイアログソースとともに、リソースを保存する必要がありますが、 これに失敗しました。 考えられる理由は、次のとおりです。 - 現在のライブラリへのアクセスに関する問題 - 現在のライブラリ内のリソースディレクトリへの アクセス / 作成に関する問題 - プライベートリソースファイルへの 書き込み / 追加に関する問題 - ダイナミック機能の実行に関する問題 - メモリに関する問題

対処	ダイアログが保存されたライブラリのサブディレクトリをチェックしてください。 問題が解決されない場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6960: プライベートリソース **:1:** をライブラリ **:2:** にインポートできません。

テキスト	プライベートリソース ... をライブラリ ... にインポートできません。
説明	リソースのインポートに失敗しました。 リソースがプライベートリソースの場合は、そのプライベートリソースが 属している対応するオブジェクトが、ライブラリに存在する必要があります。 また、そのタイプはプライベートリソースのタイプと同じである 必要があります。
対処	適切なリソースをインポートすることで、またはターゲットライブラリの 対応する Natural オブジェクトを最初に置換することによって、 タイプの矛盾を解決してください。 疑問がある場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT6970: Natural RPC 初期化は失敗しました。 **RPC** は利用できません。

テキスト	Natural RPC 初期化は失敗しました。 RPC は利用できません。
説明	このエラーメッセージは、初期化エラーメッセージが表示された後に表示されます。 クライアント側では、以下の機能は使用できません。 - リモート CALLNAT の実行。 - SYSRPC 機能の SM、XC および PM。 - 会話とコンテキスト変数のローカルな使用。 サーバー側では、暗黙的な ITERM=ON によって Natural RPC サーバーセッションの終了が強制されます。
対処	先行する初期化エラーをチェックしてください。

NAT6971: 接続エラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... での接続エラー、理由 ... ...。
説明	理由：1：トランスポート層がない。 2：接続タイムアウト 3：会話のタイムアウト 4：Broker スタブの作業領域のためのスペースがない。 Natural スレッドかリージョンサイズを 35 KB ずつ増やしてください。 5：データが切り捨てられた。 サーバー側の MAXBUFF を増やしてください。 6：ノードが一致しない。 7：ノードがアクティブではない。 8：サーバーがアクティブではない。 9：トランスポート層からのエラー（詳細については RPCERR を発行）。

	理由の後に、メッセージは問題のサーバー / ノードを表示します。 AUTORPC=ON の場合、このエラーは、クライアントサイドのローカルの NAT0082 エラーの代わりに発生する場合もあります。
対処	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6972: ディレクトリエラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... でのディレクトリエラー、理由 ... ...。
説明	ディレクトリエラーが発生しました。 考えられる理由は次のとおりです。 1 - ディレクトリがない。 2 - ディレクトリ名が不正。 3 - ディレクトリのロードスペースがない。 RPC サイズを増やしてください。 4 - サーバーは、エラーメッセージに示された名前に一致する サブプログラム / ライブラリのためのサービスディレクトリ内に見つからなかった。 5 - エラーメッセージに示された 2 つのサブプログラムでの再帰的な RPC。 6 - Natural エラーが NATCLTGS のロード中に発生した。 エラー番号はエラーメッセージ内に示されます。 AUTORPC=ON の場合、このエラーは、クライアントサイドのローカルの NAT0082 エラーの代わりに発生する場合もあります。
対処	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6973: 対話エラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... での会話エラー、理由 ... ...。
説明	理由：1：OPEN CONVERSATION に対してサブプログラムが多すぎます。 2：サブプログラム名が不正です。 3：RPC サイズがオーバーフローしました。 RPC サイズを増やしてください。 4：会話 (プログラム) 内でローカル / リモート CALLNAT が混在しています。 部分的にローカル / リモートである会話のメンバであるサブプログラムを 実行することはできません。 5：会話の繰り返し。 会話内のサブプログラム実行中にその会話のメンバである サブプログラムを実行できません。 6：閉じようとする会話が見つかりません。 7：閉じようとする会話 ID が見つかりません。 8：ローカルの会話内で CLOSE CONVERSATION が実行されました。 会話内のサブプログラム実行中に会話を閉じることはできません。

対処	上記の理由に応じて続行してください。

NAT6974: 変換エラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	変換エラー :1:、理由 :2: :3:。
説明	理由： 1：CONTROL と HANDLE タイプの変数、 および X-array の拡張下限はサポートされていません。 2：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットからの変換エラー。 3：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットへの変換エラー。 4：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットへの変換のための スペースがありません。 :1: サイドで MAXBUFF を増やしてください。 5：:3: 番目のパラメータの内部フォーマットからの変換のための スペースがありません。 :1: サイドで MAXBUFF を増やしてください。 6：:3:番目のパラメータに対するフォーマットバッファエラー。 7：RPC サイズ内に作業領域のためのスペースがありません。 :1: 側の RPC サイズを増やしてください。 8: クライアントサイドで MAXBUFF が定義されていないにもかかわらず、RPC が使用されています。
対処	8: クライアントサイドで MAXBUFF が定義されていないにもかかわらず、RPC が使用されています。 上記の理由に応じて続行してください。

NAT6975: セキュリティエラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... でのセキュリティエラー、理由 ... ...。
説明	理由：1：Natural RPC サーバーにより口グオンデータが要求されました。 2：不正な口グオンデータが Natural RPC サーバーによって受け取られました。 診断情報は、メッセージ内の理由の後に表示されています。 3：RPC メタデータ内にある口グオンデータへのオフセットが 正しくありません。 4：メッセージに示されたユーザーの偽装は失敗しました。 外部セキュリティシステムはユーザーの口グオン試行を拒否しました。 Natural RPC サーバートレースおよびサーバーのシステムログに 理由が示されます。

対処	理由：1：クライアントから Natural RPC サーバーへのログオンデータを渡してください。 2/3：Software AG サポートに連絡してください。 4：セキュリティシステムに有効なログオンデータを渡してください。

NAT6976: プログラム **:1:** でのコンテキストエラー、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... でのコンテキストエラー、理由 ... ...。
説明	理由は次のとおりです。1：コンテキストサイズがオーバーフローしています。 DEFINE DATA CONTEXT ステートメントの変数のためのストレージを 割り当てることができませんでした。 メインフレームコンピュータでは、CONTEXT バッファの割り当て または増加ができませんでした。 これは、オペレーティングまたは TP システムのストレージ制限による、 あるいは、Natural 環境制約 (CONTEXT バッファのための Natural プロファイルパラメータ OVSIZE、NATCONFG テーブルエントリ NTBUFID) によって 生じます。 Windows および UNIX システムでは、USIZE バッファの大きさが、 ストレージ要求を満たすのに十分ではありませんでした。 2：変数のフォーマット / 長さの定義に矛盾があります。 エラーメッセージに示される名前のコンテキスト変数が、 前のプログラムで異なるフォーマット / 長さで定義されました。
対処	フォーマット / 長さ 理由： 1：コンテキスト変数の数および (または) 並行する会話の数を減らすか、 または、ストレージ制約を削除してください。 2：コンテキスト変数のフォーマット / 長さを修正してください。

NAT6977: EntireX RPC エラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... での EntireX RPC エラー、理由... ...。
説明	EntireX RPC エラーが発生しました。 この理由では、EntireX RPC エラー番号、必要に応じてその後に 追加の診断情報が示されます。 このエラーは、Natural クライアントが EntireX RPC サーバーと通信する 場合にのみ発生します。
対処	EntireX Communicator メッセージおよびコードを参照してください。

NAT6978: RPC プロトコルエラー **:1:**、理由 **:2: :3:**。

テキスト	... での RPC プロトコルエラー、理由... ...。
説明	理由：2：サーバーはこの RPC プロトコルバージョンをサポートしません。 理由の後で、サポートされないバージョンがメッセージに示されます。 3：RPC プロトコルヘッダーが無効です。 理由の後で、対応する EntireX エラー番号がメッセージに示されます。
対処	正しい RPC プロトコルバージョンを使用してください。 EntireX メッセージを参照してください。

NAT6979: リモート **CALLNAT** の終了時期が早すぎました。

テキスト	リモート CALLNAT の終了時期が早すぎました。
説明	CALLNAT のリモート実行は、サーバー側で不正に早い時期に終了されたため、 パラメータエリアのすべてのデータを消失しました。 これは次の Natural ステートメントのいずれかの使用によるものです。 - STOP - FETCH - RUN - TERMINATE 注：上記のステートメントは次期 Natural バージョンのいずれかにおいて、 リモートで実行される CALLNAT で使用できなくなります。
対処	リモートに実行される CALLNAT 内では STOP、FETCH、RUN、TERMINATE を使用しないでください。

NAT6980: パラメータが正しくありません。

テキスト	パラメータが正しくありません。
説明	コマンドで 1 つ以上の誤ったパラメータが入力されました。
対処	DDE クライアントのプログラムをチェックして、すべてのパラメータが 正しい順であり、正しいタイプであることを確認してください。 正しく入力するためにドキュメント内のコマンドの説明を確認してください。

NAT6981: メンバまたはファイルがすでに存在しています。

テキスト	メンバまたはファイルがすでに存在しています。
説明	既存のメンバまたはファイルを更新 / 置換しようとしました。
対処	ドキュメント内のコマンドの説明をチェックし、 'Replace' パラメータを使用してコマンドを再発行してください。

NAT6982: DDM 変換ファイルを読み込めません。

テキスト	DDM 変換ファイルを読み込めません。
説明	DDM 変換ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。
対処	ファイルが他のアプリケーションによってアクセスされていないこと、およびそのファイルが存在することをチェックしてください。

NAT6983: エディタがアクティブではありません。

テキスト	エディタがアクティブではありません。
説明	エディタのコマンドが、アクティブでないエディタに対して発行されました。
対処	エディタを起動して、コマンドを再発行してください。

NAT6985: ライブラリが見つかりません。

テキスト	ライブラリが見つかりません。
説明	DELETE または RENAME コマンドが、存在しないライブラリに対して発行されました。
対処	ライブラリ名をチェックして、コマンドを再発行してください。

NAT6986: ライブラリはすでに存在します。

テキスト	ライブラリはすでに存在します。
説明	この名前のライブラリがすでに存在するため、ライブラリ名を変更できませんでした。
対処	他の名前を指定してください。

NAT6987: タイプを変更できません。

テキスト	タイプを変更できません。
説明	エディタでそのタイプを新しいタイプに変更できませんでした。
対処	エディタに正しいタイプを使用していることを確認して、 コマンドを再発行してください。

NAT6989: シャットダウンがキャンセルされました。

テキスト	シャットダウンがキャンセルされました。
説明	ユーザーがシャットダウン処理に対して、'No' または 'Cancel' を返したので、 シャットダウンがキャンセルされました。'
対処	

NAT6990: DDM のタイプが正しくありません。

テキスト	DDM のタイプが正しくありません。
説明	DDM 変換ファイルに不正なタイプ、または不正な情報が見つかりました。
対処	DDM 変換オプションについてのドキュメントをチェックしてください。

NAT6991: エディタが空です。

テキスト	エディタが空です。
説明	空のエディタに対して Natural コマンドを実行しようとしました。

対処	

NAT6992: エディタはアクティブです。

テキスト	エディタはアクティブです。
説明	アクティブなエディタに対して、RENAME または DELETE のような Natural コマンドを実行しようとしました。
対処	編集中のセッションを閉じてから、コマンドを再発行してください。

NAT6993: エディタリストが空です。

テキスト	エディタリストが空です。
説明	アクティブなエディタが 1 つもないときにリストコマンドを発行しました。
対処	

NAT6994: ショートネームが矛盾しています。

テキスト	ショートネームが矛盾しています。
説明	ショートネームが見つからない GenDDM 変換ファイルが入力されました。
対処	変換ファイルで次のことを確認してください。 - すべてのファイルにショートネームがある。または、 - どのフィールドにもショートネームがない。

NAT6999: DDE サーバーの内部エラーです。

テキスト	DDE サーバーの内部エラーです。
説明	DDE サーバーに内部エラーが発生しました。 どのようにエラーが発生したかを、技術サポートに連絡してください。 次の情報が必要になります。 1.問題を起こしたコマンドとパラメータ 2.発行されたコマンドに対するメンバ情報 (タイプ、メンバ、ライブラリ) 3.エラーが発生した手順 (再現できる場合) 4.接続中の他のクライアントまたは複数接続についての情報 (他にアクティブなものが存在する場合) 5.1 つ以上のクライアントがアクティブだった場合、同時に実行されていた処理

対処	説明を参照

NAT7000: ダイナミックパラメータ **:1:** に不正な値が指定されました。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... に不正な値が指定されました。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 Natural プロファイルパラメータの詳細は、 Natural ドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを正しく指定して Natural を再度呼び出します。

130 Natural システムエラーメッセージ 7001～7050

NAT7001: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**:2: - :3:** です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... - ... です。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、エラーメッセージに 示された値です。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7002: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**:2: - :3:** または **0** です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... - ... または 0 です。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、0 または、エラーメッセージに 示された値です。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7003: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**1** 特殊文字でなければなりません。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は 1 特殊文字でなければなりません。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータに有効な値は、単一の特殊文字です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7004: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、数値でなければなりません。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、数値でなければなりません。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには数値を指定する必要があります。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7005: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**1**〜**8** 文字である必要があります。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、1~8 文字である必要があります。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、1~8 文字の名前です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural の『オペレーション』ドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7006: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は **1** 文字です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は 1 文字です。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータの有効値は、単一の文字です。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7007: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は、**:2:** または **:3:** です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、... または ... です。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには、エラーメッセージに示された 2 つのうち 1 つの値 を指定しなければなりません。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7008: ダイナミックパラメータ **:1:** は存在しません／ダイナミック指定できません。

テキスト	パラメータ ... は存在しません / ダイナミック指定ができません。
説明	不正な Natural プロファイルパラメータをダイナミックに指定しました。 次の 1 つが原因として考えられます： - パラメータ名の間違い。 - 存在しないパラメータを指定した。 (旧バージョンのパラメータ) - ダイナミック指定が許可されていないパラメータを指定した。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7009: パラメータ **:1:** の値リストに要素がありません。

テキスト	パラメータ ... の値リストに要素がありません。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要がありますが、1 つまたはそれ以上の値が足りません。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7010: パラメータ **:1:** の値リストに要素が多すぎます。

テキスト	パラメータ ... に対する値リストの要素が多すぎます。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要がありますが、指定した値の数が多すぎます。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7011: パラメータ **:1:** に対する値リストの後に **')'** がありません。

テキスト	パラメータ ... に対する値リストの後に ')' がありません。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、カッコで囲んだ値のリストを 指定する必要がありますが、値のリストの末尾に 閉じカッコがありません。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7012: パラメータ **:1:** の値は、要素のリストである必要があります。

テキスト	パラメータ ... の値は、要素のリストである必要があります。
説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータは、いくつかの値のリストを指定する必要があります。 この Natural プロファイルパラメータの有効な値の詳細については、Natural ドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7013: パラメータモジュール **:1:** がありません。

テキスト	パラメータモジュール ... がありません。
説明	パラメータモジュール名が指定されましたが、 その名前のパラメータモジュールは存在しません。
対処	有効なパラメータモジュールを使用してください。 必要であれば、Natural 管理者に連絡してください。

NAT7014: パラメータモジュール **:1:** は不正です。

テキスト	パラメータモジュール ... は不正です。
説明	次の理由で不正なパラメータモジュールが指定されました。 - パラメータモジュールではない。 - 現在の Natural バージョンでは互換性がない。 - NTUSER マクロにより特定なユーザーに制限している。
対処	有効なパラメータモジュールを使用してください。 必要な場合は、Natural の管理者に連絡してください。

NAT7015: ダイナミックパラメータ **:1:** の値は **16** 進です。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値は、16 進です。

説明	ダイナミックパラメータの値を誤って指定しました。 このパラメータには、16 進を指定する必要があります。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7016: パラメータ **:1:** は **:2:** 回までしか指定できません。

テキスト	パラメータ ... は ... 回までのみ指定できます。
説明	複数回指定したダイナミックパラメータで Natural を起動しましたが、 このパラメータの指定回数が多すぎます。 Natural プロファイルパラメータの詳細については、 Natural のドキュメントを参照してください。
対処	このエラーメッセージは無視するか、ダイナミックパラメータを 正しく指定して Natural を再度呼び出します。

NAT7017: ユーザー **ID :1:** は、このパラメータ文字列を使用できません。

テキスト	ユーザー ID ... は、このパラメータ文字列を使用できません。
説明	パラメータ文字列の使用が特定のユーザー ID に制限されています。 初期ユーザー ID と文字列内の USER プロファイルパラメータで 指定されたユーザー ID が一致しません。
対処	該当するパラメータ文字列内の USER パラメータリストにユーザー ID を 追加してください。または、認証済みのユーザー ID を使用してください。

NAT7018: プロファイルパラメータコメントの終わりにデリミタ ***/** がありません。

テキスト	終了プロファイルパラメータコメントデリミタ '*/' がありません。
説明	ダイナミックプロファイルパラメータストリングに、 開始コメントデリミタ '/*' は含まれていますが、 終了コメントデリミタ '*/' が見つかりませんでした。 開始コメントデリミタの後のすべてのデータは無視されてしまいます。

対処	終了コメントデリミタをパラメータ文字列に挿入してください。

NAT7019: コードページ **:1:** が無効であるか、または定義されていません。

テキスト	コードページ ... が無効であるか、または定義されていません。
説明	プロファイルパラメータ CP によって指定されたコードページ名が モジュール NATCONFG 内の Natural コードページテーブルになかったか、または マクロ NTCPAGE で MULTI=ON が指定されており、このことによってマルチバイトコードページ、 つまり 1 つの文字が 2 バイト以上で表現されている場合があることが示されているために、 このコードページを使用できませんでした。 有効なコードページ名はすべて、ソースモジュール NATCONFG 内の マクロ NTCPAGE によって定義済みである必要があります。 文字変換には、シングルバイト文字の コードページのみを使用できます。
対処	プロファイルパラメータ CP の値を修正するか、または 任意のコードページ名を NATCONFG 内のNatural コードページテーブルに追加します。

NAT7020: ダイナミックパラメータ **:1:** の値はすでに **:2:** によって使用されています。

テキスト	ダイナミックパラメータ ... の値はすでに ... によって使用されています。
説明	次のプロファイルパラメータは 4 つの異なる値を持つ必要があります。 DC、IA。ID および STACKD。
対処	このことに従ってプロファイルパラメータ値を変更します。

NAT7021: CFICU=ON が設定されているため、文字変換パラメータ **:1:** は無視されました。

テキスト	CFICU=ON が設定されているため、文字変換パラメータ ... は無視されました。
説明	次のマクロのいずれかを含む Natural パラメータモジュール内、または示されたダイナミックプロファイル パラメータによって文字変換パラメータが指定されています。 NTTAB、NTUTAB1、NTUTAB2、NTSCTAB。 Unicode サポートが有効化されているため、 文字変換は、代わりに Unicode サポートによって実行されます。 これにより、メッセージに示された文字変換パラメータは 無視されました。

対処	このメッセージが発生しないようにするには、文字変換パラメータを削除するか、 またはパラメータ CFICU=OFF を指定して、Unicode サポートを無効にします。 CFICU=ON を指定する 必要がある場合は、該当アプリケーションで文字変換が正しく行われるかどうかをテストしてください。

NAT7022: コードページサポートでは、パラメータ設定を **CFICU=ON** にする必要があります。

テキスト	コードページサポートでは、パラメータ設定を CFICU=ON にする必要があります。
説明	プロファイルパラメータ CP に、コードページサポートに関してデフォルト (OFF) とは異なる値が 設定されましたが、パラメータ CFICU=OFF が設定されています。 コードページサポートでは ICU サポートが必要です。 そのため、CFICU 設定が ON に変更されて、 セッションが続行されています。
対処	このエラーを回避するには、コードページサポートが必要であるかどうかに応じて、 パラメータ CFICU=ON またはパラメータ CP=OFF を設定します。

NAT7023: Optimized code must not be executed with COLLATE=ON.

テキスト	Optimized code must not be executed with COLLATE=ON.
説明	For performance reasons, optimized code uses a simplified algorithmnot ↩ taking into account local collation services. If local collationservices ↩ are used, this may lead to wrong results of string comparisons.
対処	Check if local collation services are used. If not, set COLLATE to ON;if ↩ yes, recatalog the program with the NOC option UNICC set to OFF.

NAT7024: Variable of type N does not contain numeric data.

テキスト	Variable of type N does not contain numeric data.
説明	Data must not contain blanks or an invalid sign.
対処	

NAT7043: ダイナミックパラメータ **KEY** に指定された値が正しくありません。

テキスト	ダイナミックパラメータ KEY に指定された値が正しくありません。
説明	指定されたファンクションキーの名前が間違っているか、または定義されていない、あるいは指定されたファンクションキーの値が正しくありません。 有効な KEY パラメータ指定は次のとおりです。 KEY=(OFF) - パラメータモジュールで定義されたキーをすべて解除。 KEY=(ON) - パラメータモジュールで定義されたキーをすべて採用。 KEY=(PF1=OFF) - パラメータモジュールで定義された PF1 の値を無視。 KEY=(PF1=LOGON) - パラメータモジュールで定義された PF1 の値を置き換える。 KEY=(PF1='LOGON SYSTEM',PF2='L PROGRAM') - パラメータモジュールで定義された PF1 と PF2 の値を置き換える。
対処	KEY パラメータに正しい値を指定して Natural を再起動してください。

NAT7050: 製品ライセンスモジュールがないか、または無効です。

テキスト	製品ライセンスモジュールがないか、または無効です。
説明	Natural のライセンスモジュールがニュークリアスにリンクされていないか、またはライセンスファイル変換ユーティリティによって正しく生成されていません。 正しい製品ライセンスがないと、セッションを開始できません。
対処	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

131 Natural システムエラーメッセージ 7051～7100

NAT7051: 製品ライセンスキーが無効です。

テキスト	製品ライセンスキーが無効です。
説明	製品ライセンスモジュール内に定義されているライセンスキーが モジュール内の他のデータと一致しません。 データまたはキーが正しく 生成されていません。
対処	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7052: 製品ライセンスは **:1:** 用ではありません。

テキスト	製品ライセンスは ... 用ではありません。
説明	製品ライセンスは無効です。 ... は以下のいずれかです。 - 製品およびリリース 'NAT v.r'(Natural バージョン v リリース r) - オペレーティングシステム 'zOS'、'zVSE'、'zVM' または 'BS2000'
対処	ライセンスファイル内の製品リリースおよびオペレーティングシステムを チェックしてください。 使用する環境に一致するライセンスファイルがない場合は、 Software AG に連絡してください。

NAT7053: 製品ライセンスが **:1:** に期限切れとなりました。

テキスト	製品ライセンスが ... に期限切れとなりました。
説明	製品ライセンスは ... (YYYY/MM/DD) に期限切れとなり、 現在は無効です。 有効な製品ライセンスがないと、セッションを開始できません。
対処	正しいライセンスモジュールを生成してリンクします。 正しいライセンスファイルがない場合は、Software AG に連絡してください。

NAT7054: 製品ライセンスの価格単位の値が無効です。

テキスト	製品ライセンスの価格単位の値が無効です。
説明	製品ライセンスファイル内の価格単位の値が 次のいずれかです。MSU、LPAR、SC または MZ9。
対処	製品ライセンスファイル内の価格単位の値をチェックしてください。 有効なライセンスファイルがない場合は、 Software AG に連絡してください。

NAT7055: CPU-ID :1: が製品ライセンス内で定義されていません。

テキスト	CPU-ID ... が製品ライセンス内で定義されていません。
説明	該当 CPU のシリアル番号 ... が製品ライセンス内で 定義されていません。
対処	Software AG に連絡し、使用する CPU に適合する有効なライセンスファイルを要求してください。

NAT7056: LPAR 名 **:1:** が製品ライセンス内で定義されていません。

テキスト	LPAR 名 ... が製品ライセンス内で定義されていません。
説明	ライセンス内の価格モデルは 'LPAR' ですが、使用しているシステムの 現在の名前 ... が、ライセンス内で定義されている LPAR と一致しません。

対処	Software AG に連絡し、使用する LPAR に適合する有効なライセンスファイルを要求してください。

NAT7057: マシンの容量が製品ライセンス内の **MSU** よりも高くなっています。

テキスト	マシンの容量が製品ライセンス内の MSU よりも高くなっています。
説明	マシンまたはパーティションの現在の容量が製品ライセンス内で定義されている MSU よりも高くなっています。
対処	Software AG に連絡し、必要を満たす MSU 値を持つ ライセンスファイルを要求してください。

NAT7058: 製品ライセンスが **:1:** に期限切れとなります。

テキスト	製品ライセンスが ... に期限切れとなります。
説明	製品ライセンスの有効期限は ... (YYYY/MM/DD) です。 警告： この日付を過ぎると、このライセンスを使用して Natural を開始できなくなります。
対処	Software AG に連絡し、別の有効期限を持つ、または有効期限のない 新しいライセンスファイルを要求してください。

NAT7059: CPU-ID :1: assumed as your DR or DR testing environment.

テキスト	CPU-ID ... assumed as your DR or DR testing environment.
説明	The serial number ... of your CPU is not defined in your productlicense. ↩ A Disaster Recovery (DR) scenario is assumed.
対処	Contact Software AG and request a valid license file foryour disaster ↩ recovery CPUs.

NAT7060: Tag :1: missing in product license.

テキスト	Tag ... missing in product license.

説明	The indicated tag is missing in your product license.
対処	Please contact your sales representative and request a validproduct license file which contains the indicated tag.

NAT7061: Invalid tag value :1: in product license.

テキスト	Invalid value for tag :1: in product license.
説明	The value of the indicated tag in your product license is invalid.
対処	Contact your sales representative and request a validproduct license file which contains a correct value for theindicated tag.

NAT7062: Current CPU-ID not found for product license check.

テキスト	Current CPU-ID not found for product license check.
説明	The current CPU-ID of your machine cannot be located.
対処	Please contact Software AG support for further problem investigation.

NAT7063: Incorrect number of MSU values in product license.

テキスト	Incorrect number of MSU values in product license.
説明	The number of items in the <MSU> list does not correspond to the numberof CPU-IDs in the <CPUIDs> list.
対処	Contact Software AG and request a valid license file whichcontains the same number of MSUs and CPU-IDs.

NAT7064: Extended Rights setting :1: not allowed under this system.

テキスト	Extended Rights setting ... not allowed under this system.
説明	The Extended Rights setting ... in your product license is notallowed under your operating system or operating-system version.It can be used only under z/OS 1.11 and above.

対処	Please contact Software AG and request a valid license file foryour ↩ operating system.

NAT7065: Soft capping is not allowed with <ExtendedRights> LP1.

テキスト	Soft capping is not allowed with <ExtendedRights> LP1.
説明	The tag <ExtendedRights> in your product license is set to LP1.This setting ↩ is not allowed, because your operating system runswith soft capping.
対処	Please contact Software AG and request a valid license file foryour ↩ operating system, or switch off soft capping.

NAT7069: Internal LICMAIN error :1:.

テキスト	Internal LICMAIN error :1:.
説明	During the check of your product license a severe error hasbeen detected. ↩ It can be one of the following:- Invalid LCPCB length- Work area too small- ↩ Invalid function code or operating system- Invalid product code, product ↩ version or current date- Tag not found- Component ID tag not found- Invalid ↩ search tag- Insufficient I/O area size- Output record length too small- ↩ Error message text not found- Too many errors occurred
対処	Contact Software AG support for further problem investigation.

NAT7070: :1: zIIP support successfully enabled.

テキスト	... zIIP support successfully enabled.
説明	Natural zIIP support was successfully enabled. "Advanced" means, thatNatural ↩ runs on zIIP as often as possible. "Standard" means, that onlysome parts ↩ of Natural, e.g. XML parsing, run on zIIP. Currently thismode is not ↩ supported.
対処	None.

NAT7071: zIIP support not enabled due to :1:.

テキスト	zIIP support not enabled due to ....
説明	The Natural zIIP support cannot be enabled due to one of the ↩ following:NATASM The Natural Authorized Service Manager is not active or ↩ it of an old version which does not have zIIP support.LICVAL The length of ↩ the NAZ license is invalid.LICERR The NAZ license check has failed.MEMORY ↩ Not enough memory to allocate the zIIP work area.NATVER The Natural nucleus ↩ does not correspond to the version of the Authorized Service Manager ↩ (NATASM82).
対処	NATASM: Ensure that the latest NATASM is installed and active and the SUBSID ↩ profile parameter is set correctly.LIC...: Request a correct license file ↩ from Software AG and install it.

NAT7072: Natural zIIP support not activated due to NAZ license errors.

テキスト	Natural zIIP support not activated due to NAZ license errors.
説明	The zIIP license check has found one or more errors, which areshown ↩ following this message. Therefore the Natural zIIP support cannotbe ↩ activated.
対処	Your NAZ license is unsufficient for the current environment. Pleasecheck ↩ the following license check errors for more information.

NAT7073: Defined hardware class in the license exceeded (:1:).

テキスト	Defined hardware class in the license exceeded (...).
説明	Your machine exceeds the hardware class defined in your zIIP license.The ↩ machine type is indicated at the end of the message.
対処	Please contact Software AG and request a valid license file foryour machine ↩ type.

NAT7074: The number of zIIPs (:1:) exceeds the license definition.

テキスト	The number of zIIPs (...) exceeds the license definition.
説明	Your machine has more zIIP processors than allowed by the zIIPlicense ↩ definition. The actual number of zIIPs is indicated inthe message.
対処	Please contact Software AG and request a valid license file whichhas defined ↩ a sufficient number of zIIPs for your machine.

132 Natural システムエラーメッセージ 7151～7200

NAT7200: NATSPOOL : :1: エラー **:2:** スプールファイルへのアクセス。

テキスト	NATSPOOL : ... エラー ... スプールファイルへのアクセス。
説明	Natural 初期化時の NATSPOOL ファイルのコールによって生じた Adabas/VSAM レスポンスコードが、0 ではありませんでした。 以下の理由が考えられます。 - FSPOOL パラメータが NATPARM に存在しない。 - FSPOOL に定義されている NATSPOOL ファイルがロードされていない。 - FSPOOL に定義されている NATSPOOL ファイルが開いていない。 - NATSPOOL (VSAM) ファイルの DD/DLBL ステートメントが CICS スタートアップジョブ内に存在しない。
対処	NATSPOOL のステータス および / または、CICS スタートアップジョブをチェックしてください。

133 Natural システムエラーメッセージ 7201～7250

NAT7201: NATSPOOL :ユーザープロファイル **:1:** が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : ユーザープロファイル ... が見つかりません。
説明	プリンタパラメータに定義されたユーザープロファイルが SYSPOOL ファイルに追加されていません。
対処	NATSPOOL オペレータコマンドの 'U' 機能を使用して、ユーザープロファイルを定義してください。

NAT7202: NATSPOOL :論理プリンタプロファイル **:1:** が見つかりません。

テキスト	NATSPOOL : 論理プリンタプロファイル ... が見つかりません。
説明	現在アクティブなユーザープロファイルに含まれる、論理プリンタプロファイルの 1 つが、NATSPOOL ファイルに 定義されていません。
対処	NATSPOOL オペレータコマンドの 'L' 機能を使用して、論理プリンタプロファイルを定義してください。

134 Natural システムエラーメッセージ 7251～7300

NAT7300: ダイナミックパラメータが見つかりません。

テキスト	ダイナミックパラメータが見つかりません。
説明	そのキーワードは、ダイナミックパラメータ機能によって認識されませんでした。 次の理由が考えられます。 - 存在しないパラメータが指定されました。 - パラメータ名が違っています。
対処	正しいパラメータ設定で、Natural セッションを再スタートしてください。

135 Natural システムエラーメッセージ 7301～7350

NAT7301: LFILE の割り当てが正しくありません。

テキスト	LFILE の割り当てが正しくありません。
説明	動的に割り当てられた LFILE の値が正しくありません。 または、パラメータモジュールの割り当てが正しくありません。
対処	それぞれの LFILE 設定を修正してください。

136 Natural システムエラーメッセージ 7351～7400

NAT7386: 不正な **:1:** レベル **:2:**、**:3:** 以上である必要があります。

テキスト	不正な .1.。 レベル .2.。 .3. 以上である必要があります。
説明	.1. コンポーネント内の SM レベルは .3. 以上である必要があります。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 正しい SM レベルをインストールしてください。

NAT7387: Natural for DB2 パラメータモジュールがリンクされていません。

テキスト	Natural for DB2 パラメータモジュールがリンクされていません。
説明	旧バージョン用の Natural パラメータモジュールを使用している可能性があります。 バージョン 2.2.4 以降が必要です。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 Natural for DB2 パラメータモジュールを Natural 環境にリンクしてください。

NAT7388: Natural SQL インターフェイスがアクティブではありません。 **SQL** コールができません。

テキスト	Natural SQL インターフェイスがアクティブではありません。 SQL コールを処理できません。

説明	このエラーメッセージは、初期化エラーメッセージが表示された後に表示されます。
対処	先行する初期化エラーをチェックしてください。

NAT7389: Natural SQL インターフェイスがアクティブですが、ファイルサーバーがありません。

テキスト	Natural SQL インターフェイスがアクティブですが、ファイルサーバーがありません。
説明	ファイルサーバーの初期化エラーに続くエラーメッセージです。 Natural セッションに対してファイルサーバーが有効ではありません。 SQL ステートメントは通常どおり処理されます。
対処	

NAT7390: :1: がリンクされていません／見つかりません。

テキスト	... がリンクされていません / 見つかりません。
説明	要求されたモジュールは、Natural 環境にリンクされていません。
対処	Natural 管理者に連絡してください。 インストレーションを確認してください。

NAT7391: DB2SIZE パラメータは **:1:** に設定する必要があります。

テキスト	DB2SIZE パラメータは ... に設定する必要があります。
説明	Natural DB2/Natural SQL/DS で要求されたすべてのバッファを満たすには DB2SIZE パラメータに指定したエリアが小さすぎます。
対処	DB2SIZE をエラーメッセージが示すサイズに設定し、 Natural を再起動してください。

NAT7392: DB2SIZE に対する **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	DB2SIZE に対する GETMAIN に失敗しました。

説明	Natural の初期化中に DB2SIZE パラメータにより指定されたバッファエリアの GETMAIN に失敗しました。 空き容量が十分ではないか、スレッドが小さすぎます。
対処	Natural の総合エリアサイズの割り当てを減らすか、 リージョンサイズを増やしてください。

NAT7393: ファイルサーバー初期化エラー **:1:**。

テキスト	ファイルサーバー初期化エラー ...
説明	ファイルサーバーの初期化に失敗しました。 理由コードはエラーメッセージに表示されています。 表示される可能性のある理由コードとその意味は次のとおりです。 01 - グローバルディレクトリが一杯です。 04 - データセットオープンエラー。 05 - データセット読み込みエラー。 06 - データセット書き込みエラー。 07 - ENQUEUE に失敗しました。 08 - DEQUEUE に失敗しました。 10 - DB2SIZE が小さすぎます。 11 - システム GETMAIN に失敗しました。 12 - システム FREEMAIN に失敗しました。 13 - WAIT 要求に失敗しました。 14 - データセットに十分なスペースがありません。
対処	14 - データセットに十分なスペースがありません。 Natural 管理者に連絡してください。

NAT7394: DB2COMRE のロードに失敗しました。

テキスト	DB2COMRE のロードに失敗しました。
説明	Com-plete 環境での Natural SQL インターフェイスの初期化中に Com-plete から DB2 へのインターフェイスで DB2COMRE のロードができませんでした。 DB2COMRE が、レジデントページとして定義されていません。
対処	Com-plete の管理者に連絡してください。

NAT7395: Natural は、**DSNMTV01** 内の **NDLSINIB** 経由で開始しなければなりません。

テキスト	Natural は、DSNMTV01 内の NDLSINIB 経由で開始しなければなりません。
説明	DSNMTV01 環境では、すべての ET/BT コールは、NDBPARM 内のパラメータ DLISYNC=ON によって要求されたものとして NDLSINIB で処理されますが、Natural が NDLSINIB ブートストラップモジュール経由で開始されて いません。
対処	NDLSINIB ブートストラップモジュール経由で Natural を開始します。 または、NDBPARM 内のパラメータ DLISYNC を OFF に設定します。

NAT7396: ユーザーエリアが変更されています。

テキスト	ユーザーエリアが変更されています。
説明	Natural は、一定の間隔でユーザーエリアのチェックを行います。 この領域が上書きされた時、Natural は Natural セッションの正しい継続を保証しません。
対処	Natural を再スタートしてください。

NAT7397: システムファイルが変更されています。

テキスト	システムファイルが変更されています。
説明	Natural は、Natural システムファイルの完全性をチェックします。 Natural が矛盾を発見すると、このエラーメッセージが表示されます。 DBA は、適切な認可なしに誰が、何のために システムファイル内のデータを変更したのか調べてください。
対処	再度 Natural システムファイルを INPL してください。

NAT7398: Natural ニュークリアスの **SM** レベルが、システムファイルと一致しません。

テキスト	Natural ニュークリアスの SM レベルが、システムファイルと一致しません。
説明	起動時に、Natural は、Natural ニュークリアスの SM レベルと、 システムファイルのレベルが一致するか調べます。 一致しなければ、システムプログラムが動かないことがあります。

対処	正しいシステムファイルで、Natural を再起動してください。

NAT7399: Natural システムファイル情報がありません。

テキスト	Natural システムファイル情報がありません。
説明	起動時、Natural は妥当性についてシステムファイル情報をチェックします。 Natural はシステムファイル情報を見つけることができませんでした。 プロファイルパラメータ FNAT で指定されたシステムファイルが 有効なシステムファイルではないか、またはシステムファイルは 無許可アクセスによって破壊されています。
対処	正しいシステムファイルで、Natural を再起動してください。

NAT7400: ダイナミックパラメータの値が見つかりません。

テキスト	ダイナミックパラメータの値が見つかりません。
説明	ダイナミックパラメータの構文が正しくありません。 等号 (=) またはキーワードが存在していない可能性があります。
対処	ダイナミックパラメータを正しく指定して、Natural セッションを再スタートしてください。

137 Natural システムエラーメッセージ 7401～7450

NAT7402: ダイナミックパラメータの指定ができません。

テキスト	ダイナミックパラメータの指定はできません。
説明	Natural 管理者により、すべての Natural セッションに デフォルトパラメータが設定されています。動的なパラメータ指定はできません。 すべてのダイナミックパラメータが無視されます。
対処	パラメータなしで、Natural を起動してください。

NAT7403: 指定されたプロファイル **:1:** が見つかりません。 **DB/FNR :2:/:3:**。

テキスト	指定されたプロファイル ... が見つかりません。 DB/FNR .../...。
説明	Natural は、与えられたパラメータプロファイルで起動しますが、 指定されたシステムファイル内でパラメータプロファイルを見つける ことができませんでした。
対処	SYSPARM ユーティリティを使用して、プロファイル定義と システムファイルをチェックしてください。

NAT7404: 時差設定（**TD=AUTO**）に失敗しました。

テキスト	時差設定 (TD=AUTO) に失敗しました。
説明	TD=AUTO の設定では、Natural が物理マシンタイムと 論理マシンタイム間の差異を TD パラメータに設定します。 この時に矛盾を発見しました。 時差は、TD=0 に設定されます。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7405: LS および **PS** パラメータの結果は、**32760** を超えてはいけません。

テキスト	LS および PS パラメータの結果は、32760 を超えてはいけません。
説明	LS および PS パラメータ値により得られる結果が 32760 を超えてはいけません。
対処	LS および / または PS パラメータの値を小さく指定してください。

NAT7407: タイムゾーン **:1:** が定義されていません。

テキスト	タイムゾーン ... が定義されていません。
説明	Natural パラメータモジュール (プロファイルパラメータ TD で) または Natural Security で定義されたタイムゾーンは、 Natural コンフィグレーションモジュール NATCONFG に事前定義されていません。
対処	Natural コンフィグレーションモジュール NATCONFG にタイムゾーンを定義してください。

138 Natural システムエラーメッセージ 7501～7550

NAT7508: 圧縮テーブルがいっぱいです。

テキスト	圧縮テーブルがいっぱいです。
説明	
対処	Natural パラメータモジュール内の CMPRTSZ パラメータ値を増やしてください。

NAT7509: Entire の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	Entire の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7510: CON-NECT の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	CON-NECT の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。

対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7511: TRS の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	TRS の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7512: VSAM の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	VSAM の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7513: EDITOR の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	EDITOR の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7514: PROCESS の **GETMAIN** に失敗しました（**ASIZE**）。

テキスト	PROCESS の GETMAIN に失敗しました (ASIZE) 。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。 スレッド環境内で実行している場合はリージョンサイズを増やすか、 Natural スレッドのサイズを増やします。

NAT7515: DEBUG の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	DEBUG の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7516: PC-CONNECTION の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	PC-CONNECTION の GETMAIN に失敗しました。
説明	対応するバッファを使用しているサブシステムを 実行できません。
対処	現在より拡張された環境で Natural を再スタートしてください。

NAT7540: DB2 の **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	DB2 の GETMAIN に失敗しました。
説明	
対処	

NAT7543: USERBUF バッファの **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	USERBUF バッファの GETMAIN に失敗しました。
説明	
対処	

NAT7544: :1: の **GETMAIN** 要求は失敗しました。

テキスト	... の GETMAIN 要求は失敗しました。
説明	要求されたバッファサイズは、現在のスレッド / パーティション / リージョン / タスク内の利用可能スペースサイズを超過しています。
対処	バッファのサイズを減らすか、または、大きなスレッド / パーティション / リージョン / タスク内で Natural を起動してください。

NAT7545: :2: バッファのための **:1:** の **GETMAIN** に失敗しました（**:3:/:4:**）。

テキスト	... バッファのための ... の GETMAIN に失敗しました (理由 / レスポンス)。
説明	要求されたバッファサイズは、現在のスレッド / パーティション / リージョン / タスクで利用可能なスペースを超過しています。 可能性のある理由 / レスポンスコードは次のとおりです。 (04/0) スレッド上限を超えました。 (52/n) オペレーティング (サブ) システム GETMAIN から 0 以外のレスポンスコード n が返されました。 (56/0) スレッドオーバーフローサイズ OVSIZE を超えました。 他の理由コードについては、Natural メッセージおよびコードドキュメントを参照してください。
対処	バッファのサイズを減らすか、 大きなスレッド / パーティション / リージョン / タスクで Natural を起動してください。 あるいは (56/0) であれば、OVSIZE を増やしてください。

NAT7546: :1: バッファのための **FREEMAIN** に失敗しました（**:2:/:3:**）。

テキスト	... バッファのための FREEMAIN に失敗しました (理由 / レスポンス)。
説明	内部エラーが発生しました。 理由 / レスポンスコードの説明は、Natural メッセージおよびコードドキュメントを参照してください。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7548: :1: は利用できません。理由／理由コード **:2:/:3:**。

テキスト	**... は利用できません。理由 / 理由コード .../...。**
説明	**示された Natural コンポーネントが利用可能ではありません。** **可能性のある理由は、コンポーネントを実行するために必要とされる** **サブコンポーネントまたはモジュールが利用できないか、** **アクセスできないことです。** **理由コードは次のとおりです。** 04 - **初期化が失敗しました。** 08 - **GETMAIN が失敗しました。** 12 - **モジュールをロードできませんでした。** 16 - **モジュールが Natural にリンクされていません。** 20 - **この Natural バージョンでは、サブコンポーネントを実行できません。**
対処	Natural **管理者に連絡してください。**

139 Natural システムエラーメッセージ 7551～7600

NAT7600: :1: は **:2:** によってロックされました。

テキスト	オブジェクトがロックされています。
説明	ロックしようとしたオブジェクトは、 例えば、他のユーザーがそのオブジェクトを編集しているため、 すでにロックされています。
対処	そのオブジェクトが再度利用可能になるまで待ちます。 もしも、誤ってロックされている（例：システム障害の後など）場合は、 オブジェクトのロックを解除するために、Natural システムコマンド UNLOCK を使用してください。

140 Natural システムエラーメッセージ 7601～7650

NAT7601: アプリケーションマネージャ内でのエラー。

テキスト	アプリケーションマネージャ内でのエラー。
説明	アプリケーションマネージャ内でエラーが発生しました。
対処	

NAT7602: Locking conflict: object is not locked.

テキスト	Locking conflict: object is not locked.
説明	Either your networking software has an error, or Natural attempted torelease ↩ an object which it expected to be locked.
対処	Check your environment.

141 Natural システムエラーメッセージ 7651〜7700

NAT7660: サーバー **:1:** ポート番号 **:2:** への接続に失敗しました。ソケットコード **:3:**。

テキスト	サーバー ... ポート ... へノセツゾクに失敗しました。ソケットコード ...。
説明	次の理由の 1 つにより、開発サーバーへの接続は失敗しました。 - 誤った開発サーバー名が指定されました。 指定されたポート ID が開発サーバーのポートと一致しません。 開発サーバーが起動していません。 開発サーバーとして位置付けられたサーバーマシンが起動していません。
対処	指定された名前は開発サーバー名と一致するか、 開発サーバーは起動しているか、 そのポートは指定されたポートと一致しているか、 そして、サーバーマシンはアクセス可能か (例 : 'ping' コマンド経由で) を確認してください。

NAT7661: サーバー **Natural :1:**（**:2:**）と **Natural** スタジオ（**:3:**）のプロトコルが一致しません。

テキスト	サーバー Natural ... (...) と Natural スタジオ (...) のプロトコルが一致しません。
説明	Natural 開発サーバーと Natural スタジオのプロトコルバージョンが 一致しません。 プロトコルのより古い、または、より新しいバージョンを 使用して、Natural スタジオはサーバーとして実行できますが、 いくつかの機能は実行できないかもしれません。 または、部分的にのみサポートされます。

対処	Natural 開発サーバーまたは Natural スタジオをアップグレードしてください。

NAT7662: アプリケーション **:1:** 用の開発サーバーファイルがユニークではありません。

テキスト	アプリケーション ... 用の開発サーバーファイルがユニークではありません。
説明	指定された開発サーバーファイルは、アクティブ (起動) 開発サーバーファイルと異なります。 すべてのマップされたアプリケーションは、1 つの共通の開発サーバーファイルを使用しなければなりません。
対処	現在のアプリケーションのための開発サーバーファイルを変更してください。

NAT7663: NDV サーバーへの接続が失われました。または、ネットワーク障害です。

テキスト	NDV サーバーへの接続が失われました。または、ネットワーク障害です。
説明	リモート Natural セッション、または Natural 開発サーバー (NDV) は異常終了しました。または、ネットワーク障害が発生しました。 - 接続終了についての情報を得るために、NDV トレースの出力を検討してください。 NDV トレースにそのような情報を含んでいない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。 サーバーに対してセッションを再マッピングしてください。 -その問題が持続する場合は、バッファが到着したかどうかを NDV サーバートレース内でチェックしてください。 - もしデータが到着していたら、後のトレース記録内のエラー情報をチェックしてください。 もしデータが到着していない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。
対処	上記の説明を見てください。

NAT7664: コマンドは現在の状況には適用できません。

テキスト	コマンドは現在の状況には適用できません。
説明	発行されたコマンドは、選ばれたリモート環境やアプリケーション状況で実行することができません。 可能性のある理由は次のとおりです。 - コマンドは、選ばれた環境またはアプリケーションで利用できません。例えば、コマンド 'Connect' は複合アプリケーションに対して発行されます。 - コマンドは、選ばれた環境またはアプリケーションの現在の状況では利用できません。例えば、接続された環境だけが稼動できますが、コマンド 'Activate' は切断された環境に対して発行されます。

対処	コマンドを発行するためのすべての条件が満たされているかどうかを チェックしてください。

NAT7665: コマンドは **Natural** 開発サーバーによってサポートされていません。

テキスト	コマンドは Natural 開発サーバーによってサポートされていません。
説明	発行されたコマンドは、Natural 開発サーバーのプロトコル バージョンによってサポートされていません。
対処	Natural 開発サーバーをアップグレードしてください。

NAT7666: 無効な値が指定されました。

テキスト	無効な値が指定されました。
説明	プロパティに割り当てられている値、またはメソッドパラメータとして 指定された値は、この状況では許されません。
対処	有効な属性値を割り当てるか、 有効なメソッドパラメータを使用してください。

NAT7667: Natural :1: は、**NDV** サーバーへアクセスするために使うことができません。

テキスト	Natural ... は、NDV サーバーへアクセスするために使うことができません。
説明	この Natural バージョンでは、要求された NDV サーバーを使うことは 可能ではありません。
対処	Natural スタジオをアップグレードしてください。

NAT7668: 環境名 **:1:** はすでに存在しています。

テキスト	環境名 ... はすでに存在しています。
説明	指定された環境名は、すでに別のマップされた環境、 またはマップされたアプリケーションによって使用されています。

対処	マップする環境に対して異なる名前を使用してください。

NAT7669: この機能は利用できません。**:1:** はインストールされていません。

テキスト	この機能は利用できません。... はインストールされていません。
説明	必要なコンポーネントは、指定された機能を実行するため、または、 指定されたオブジェクトを処理するためにインストールされていなければなりません。
対処	コンポーネントをインストールしてください。 または、この機能は使用しないでください。

NAT7670: リモートデバッグを起動することができませんでした。**:1:**

テキスト	リモートデバッグを起動することができませんでした。
説明	リモートデバッグのためのセッションが起動されるのを防いだので、 内部エラーが発生しました。 詳細については NDV トレースを参照してください。 トレースレベルは少なくともビット 15 がアクティブになっている必要があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7671: リモートデバッガの終了中に内部エラーが発生しました。

テキスト	リモートデバッガの終了中に内部エラーが発生しました。
説明	リモートデバッグへの接続は内部エラーのために維持できませんでした。 詳細については NDV トレースを参照してください。トレースレベルは 少なくともビット 15 がアクティブになっている必要があります。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT7672: MAP/UNMAP コマンドのパラメータエラーです。

テキスト	MAP/UNMAP コマンドのパラメータエラーです。
説明	指定されたパラメータが正しくないので、MAP/UNMAP コマンドを 実行することができません。 例えば、可能性のあるエラーは次のとおりです。 - MAP コマンドの必須パラメータが指定されていません (APPL= では、 最低でもアプリケーション名を指定する必要があります。 ENV= では、最低でもサーバー名とポート番号を指定する必要があります)。 - UNMAP コマンドに対してパラメータが指定されていませんが、 ローカル環境はアクティブです。 - UNMAP コマンドに指定されたアプリケーション / 環境を見つけることが

	できません。 詳細は、Natural システムコマンドドキュメントを 参照してください。
対処	パラメータ指定を修正してください。

NAT7674: デバッガポートはすでに使用されています。

テキスト	デバッガポートはすでに使用されています。
説明	SPODDEBUGPORT パラメータ経由で指定されたデバッガポートは、 すでに別のプログラムによって使用されています。 したがって、Natural アプリケーションへのリモート接続は確立できませんでした。
対処	SPODDEBUGPORT パラメータを別の値に設定してください。 または、SPODDEBUGPORT パラメータを 0 に設定してください。 そうすると、Natural スタジオはデバッグのために自動的にマシンの上の 空きポートを選択します。

NAT7699: :1: は **:2:** によってロックされました。

テキスト	... は ... によってロックされました。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	

142 Natural システムエラーメッセージ 7701～7750

NAT7720: コマンドはリモート環境では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはリモート環境では適用可能ではありません。
説明	発行されたコマンドは、リモート（サーバー）環境内では実行できません。
対処	適切な Natural スタジオのコマンドまたはツールを使用します。 ファイル操作コマンドの場合は、要求される結果を得るために、 'オブジェクト メニュー' 操作、または 'マウスの右ボタン' 操作を 使用してください。

NAT7721: コマンドはアプリケーションコンテキスト内では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはアプリケーションコンテキスト内では適用可能ではありません。
説明	発行されたコマンドは、アプリケーションのコンテキスト内では 実行できません。
対処	ライブラリワークスペース内の適切なコマンドを使用するか、 もしアプリケーションからオブジェクトのアンリンク（リンク解除）を行ないたい場合は、 マウスの右ボタンを押し、 'Unlink' コマンドを使用してください。

NAT7722: コマンドはローカル環境では適用可能ではありません。

テキスト	コマンドはローカル環境では適用可能ではありません。
説明	発行されたコマンドは、ローカル (クライアント) 環境内では実行できません。
対処	適切な Natural スタジオのコマンドまたはツールを使用します。 ファイル操作コマンドの場合は、要求される結果を得るために、 'オブジェクト メニュー' 操作、または 'マウスの右ボタン' 操作を 使用してください。

NAT7723: サーバーからのメッセージ**: :1:**。

テキスト	サーバーからのメッセージ：...。
説明	サーバーは、特別の状況を示すメッセージを送りました。 例えば、 ライブラリを削除中 / リネーム中に、1 つまたはいくつかのオブジェクトは、 (第 1 にロックされたオブジェクトによって引き起こされて) 削除 / リネームできませんでした。 サーバーはクライアントにこれを報告します。
対処	

NAT7724: セッション再接続中にエラーが発生しました。

テキスト	セッション再接続中にエラーが発生しました。
説明	Natural 開発サーバーは、リモート開発のためのセッションを 再接続できませんでした。 考えられる理由は次のとおりです。 - Natural 開発サーバーのセッションディレクトリが壊れています。 - サーバーアドレススペースは、サブタスクの指定された制限を超過しています。 - リージョンサイズが小さすぎます (16 MB 未満のメモリ)。 - Natural スタジオは、不正なセッション識別子での再接続を 要求しています。
対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7725: 新規セッションディレクトリエントリまたはサブタスクを作成できません。

テキスト	新規セッションディレクトリエントリまたはサブタスクを作成できません。
説明	Natural 開発サーバーはセッションディレクトリ内に 新規エントリを作成できません。 または、リモート開発を処理するための新規サブタスクを作成できません。 考えられる理由は次のとおりです。 - サーバーアドレススペースは、サブタスクの指定された制限を超過しています。 - リージョンサイズが小さすぎます (16 MB 未満のメモリ) 。
対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7726: 新規セッションを初期化することができません。

テキスト	新規セッションを初期化することができません。
説明	Natural 開発サーバーは、新規サブタスクの基礎的な初期化を 実行できません。 考えられる理由は 16MB より上のメモリ不足です。
対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7727: セッションの実行に失敗しました。

テキスト	セッションの実行に失敗しました。
説明	Natural 開発サーバーは、セッションディレクトリ内に Natural セッションを位置付けることができません。 考えられる理由は次のとおりです。 - そのセッションは、サーバーモニタを使いキャンセルされた。 - そのセッションディレクトリは、壊れている。 - Natural スタジオは、不正なセッション識別子での再接続を 要求している。
対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて、追加のエラー 情報がないか確認します。

NAT7728: I/O 実行は許可されていません。

テキスト	I/O 実行は許可されていません。
説明	リモート Natural セッションは、I/O 実行は許可されていないのにも かかわらず、I/O を実行しました。 I/O 実行は、セッション初期化中や Natural Security のログオン処理中は 許可されていません。
対処	Natural 開発サーバートレースファイル内の I/O バッファを見つけてください。 そして、Software AG サポートに連絡してください。

NAT7729: Natural 開発サーバーエラー **-** 予約済み（将来的に使用される予定）。

テキスト	NAT 開発サーバーエラー - 予約済み (将来的に使用される予定) 。
説明	
対処	

NAT7730: I/O 実行中のエラー。

テキスト	I/O 実行中のエラー。
説明	Natural スタジオは、端末 I/O のために無効なデータを返します。 あるいは、16MB より上の利用可能な十分なメモリがありません。
対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて追加のエラー情報がないか確認してから、 Software AG サポートに連絡してください。

NAT7731: プロトコル要素が見当たりません。

テキスト	プロトコル要素が見つかりません。
説明	Natural 開発サーバー (NDV) の要求を処理するために、 NDV はプロトコルデータを必要とします。 これらは、Natural スタジオによって送られませんでした。

対処	Natural 開発サーバーのトレースファイルを調べて追加のエラー情報がないか確認してから、Software AG サポートに連絡してください。

NAT7732: NDV は **Natural** システムファイル上にインストールされていません。

テキスト	NDV は Natural システムファイル上にインストールされていません。
説明	Natural 開発サーバー (NDV) は、FNAT システムファイル上の NDV トランザクション - プロセッサモジュールを位置付けることができません。Natural 開発サーバーのインストレーションは不完全です。
対処	Natural 開発サーバー INPL が、指定された FNAT システムファイル上で実行されたかどうかチェックしてください。

NAT7733: 未定義のライブラリ。**LOGON** が必須です。

テキスト	未定義のライブラリ。LOGON が必須です。
説明	Natural 開発サーバーセッションのログオンライブラリは、未定義です。これは通常、システムコマンド LOGOFF が実行されているか、または、Natural プログラムは RETURN ステートメントを実行し、SETUP レコードが見つからない場合に発生します。
対処	リモート環境の有効なライブラリへ LOGON コマンドを入力するか、継続するリモートツリービュー内の任意のライブラリをクリックしてください。

NAT7734: このシステムコマンドは **WEB I/O** 内では実行できません。

テキスト	このシステムコマンドは WEB I/O 内では実行できません。
説明	WEB I/O がアクティブな場合、システムコマンド SCAN、LIST、SYSMAIN、CATALL、および GLOBALS は、Natural WEB 出力ページのコマンド行に入力できません。
対処	上記のシステムコマンドを入力しないでください。

NAT7735: FDIC system file assignment of the NDV server is invalid.

テキスト	FDIC system file assignment of the NDV server is invalid.
説明	The file assignment for the FDIC system file which has beenspecified for the Natural Development Server (NDV) isinvalid.The specified assignment does not access a valid FDICsystem file.
対処	Correct the FDIC assignment in order to access a validFDIC system file.

NAT7736: FDIC system file of the NDV server is not accessible.

テキスト	FDIC system file of the NDV server is not accessible.
説明	The Natural Development Server (NDV) cannot access the specifiedFDIC system file. Either the specified database has not beenstarted, or the specified file does not exist in the database.
対処	Start the database or correct the file number in orderto access a valid FDIC system file

NAT7738: Natural Studio version not supported.

テキスト	Natural Studio version not supported.
説明	With the configuration parameter MINIMUM· STUDIO· VERSION you cancustomize the allowed client version.Clients with a version below the configured version are rejected.
対処	Upgrade you client version to the configured version or above.

NAT7739: Dynamic screen definition not supported.

テキスト	Dynamic screen definition not supported.
説明	The dynamic screen definition (Natural profile parameter TMODEL) isnot supported. TMODEL is restricted to actual teminal modeldefinitions (2, 3, 4 or 5).

対処	Define a supported value for TMODEL, or upgrade the SPoDcomponents to have ↩ dynamic screen support.

NAT7740: Time Stamp mismatch.

テキスト	Time Stamp mismatch.
説明	On an upload or an update operation a time stamp conflict was detected.The ↩ time stamp found on the server differs from the object"s timestamp held in ↩ the work space; the server object was modified sincethe last download.
対処	Choose one of the options offered: YES to replace the object on theserver, ↩ or NO to skip the upload/update of the object.

NAT7741: Local source and server source are not identical.

テキスト	Local source and server source are not identical.
説明	The source code held on the client has no Natural time stamp attached.To ↩ determine the status of the source held on the client, it iscompared with ↩ the source held on the server. If the two sources differ,this message is ↩ issued.
対処	Choose one of the options offered: YES to replace the object on theserver, ↩ or NO to skip the upload/update of the object.

NAT7742: Current IDE is not permitted.

テキスト	Current IDE is not permitted.
説明	Your DBA disallowed access to the NDV server by your Naturalenvironment ↩ (either Natural for Windows or NaturalONE).Either your environment was ↩ started with the appropriateparameter definition (ALLOWED· IDE) of the NDV ↩ server.orif NSC is installed your security administrator hasrestricted the ↩ environment.
対処	Please contact your DBA.

143 Natural システムエラーメッセージ 7801～7850

NAT7801: ダイアログは汎用ドキュメントウィンドウとして使用できません。 理由**::1:**。

テキスト	ダイアログは汎用ドキュメントウィンドウとして使用できません。 理由：...。
説明	Natural ダイアログが、Natural スタジオの汎用ドキュメントウィンドウ として表示されるときに、このエラーが発生します。 一般的な理由は次のとおりです。 (1) ダイアログは作成されなかったか、またはすでに閉じられました。 (2) ダイアログは 'MDI プラグインウィンドウ' タイプではありません。 (3) 汎用ドキュメントウィンドウの作成に失敗しました。
対処	ダイアログが作成されており、それがタイプ 'MDI プラグインウィンドウ' であることを確認してください。

NAT7802: Natural ランタイムシステムがビジーです。

テキスト	Natural ランタイムシステムがビジーです。
説明	そのセッションの Natural ランタイムがすでに実行されているときに、 Natural スタジオオートメーションインターフェイスから プログラムまたはダイアログの実行が試行されました。 このような実行はできません。
対処	対処は必要ありません。

144 Natural システムエラーメッセージ 7951～8000

NAT7998: アクセスメソッド **:1:** の初期化に失敗しました。

テキスト	アクセスメソッド :1: の初期化に失敗しました。
説明	出力 / ワークファイルアクセスメソッドの初期化に失敗しました。 このアクセスメソッドは現在のセッション間では使用できません。 このアクセスメソッドに対して設定した出力 / ワークファイルは使用できません。
対処	以前表示されたアクセスメソッドのエラーをチェックしてください。 これにより、詳細情報を参照できます。 問題を修正し、セッションを再起動してください。

NAT7999: 出力／ワークファイルバッファに対する **GETMAIN** に失敗しました。

テキスト	出力 / ワークファイルバッファに対する GETMAIN に失敗しました。
説明	Natural は JCL、またはパラメータモジュールのエントリ経由で要求された 出力 / ワークファイルに対するストレージを割り当てようとしましたが、 Natural パーティション / リージョン / スレッド内に十分なスペースがありません。
対処	パーティション / リージョン / スレッドのサイズを大きくするか、 出力 / ワークファイル要求を削除してください。 問題が解決しない場合は、Natural 管理者に出力 / ワークファイルパラメータを 確認するように連絡してください。

145 Natural システムエラーメッセージ 8251〜8300

NAT8300: 誤ったプロトコルタイプ、またはプロトコルがサポートされていません。

テキスト	誤ったプロトコルタイプ、またはプロトコルがサポートされていません。
説明	要求ドキュメントは、オペランド 1 で要求された URL の 先頭部分として使用されたドキュメントのタイプを必要とします。 プロトコルタイプがないか、またはサポートされていないプロトコルタイプが オペランド 1 に指定されました。
対処	プロトコルタイプを有効なタイプに変更してください (例 : 'http://')。 そして、再度プログラムを実行してください。'

146 Natural システムエラーメッセージ 8301～8350

NAT8301: URL 構文が間違っています。

テキスト	URL 構文が間違っています。
説明	REQUEST DOCUMENT は、オペランド 1 で要求された URL の正確な構文を必要とします。 指定された URL 構文は正しくありません。 プロトコルタイプがない、もしくはサポートされていない プロトコルタイプがオペランド 1 に指定されました。
対処	オペランド 1 の URL を修正して、再度プログラムを実行してください。

NAT8302: 要求メソッド **:1:** はサポートされていません。

テキスト	要求メソッド :1: はサポートされていません。
説明	REQUEST DOCUMENT は、ユーザー定義ヘッダー 'REQUEST_METHOD' により異なる要求メソッドを使用するように忠告されました。 REQUEST DOCUMENT ステートメントは、指定された要求メソッドを サポートしません。
対処	ヘッダーの値を削除するか、あるいは ヘッダー 'REQUEST_METHOD' を有効な値に変更してください。

NAT8303: REQUEST DOCUMENT ステートメントの内部エラー。

テキスト	REQUEST DOCUMENT ステートメントの内部エラー。
説明	REQUEST DOCUMENT の実行中に内部エラーが発生しました。 エラーメッセージを書き出しています。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8304: HTTP 要求は失敗しました。 原因 **:1:**。

テキスト	HTTP 要求は失敗しました。 原因 :1:。
説明	REQUEST DOCUMENT ステートメントはトランスポート層から エラーを受け取りました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8305: ヘッダー **:1:** が受け取り変数よりも長くなっています。

テキスト	ヘッダー :1: が受け取り変数よりも長くなっています。
説明	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数よりも 長いヘッダー値を返しました。
対処	GIVING 節を使用してこのエラーを無視するか、 受け取った変数の長さを増やすか、またはダイナミック変数を使用します。

NAT8306: 戻り値が受け取り変数よりも長くなっています。

テキスト	戻り値が受け取り変数よりも長くなっています。
説明	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数よりも 長い値を返しました。
対処	GIVING 節を使用してこのエラーを無視するか、 受け取った変数の長さを増やすか、またはダイナミック変数を使用します。

NAT8307: ヘッダー **:1:** を受け取り変数のフォーマット **:2:** に変換できません。

テキスト	ヘッダー :1: を受け取り変数のフォーマット :2: に変換できません。
説明	REQUEST DOCUMENT ステートメントは、受け取り変数のフォーマットの有効な英数字表現ではないヘッダー値を返しました。 LASTMSG はヘッダー値についての追加情報を示します。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正します。 受け取り変数のフォーマットを変更してください。

NAT8310: 必要とする **Internet Explorer** の機能がありません。

テキスト	必要とする Internet Explorer の機能がありません。
説明	要求ドキュメントは、Internet Explorer 4 以上のテクノロジに依存します。 'wininet.dll' は特に重要です。 必要とする Internet Explorer の機能がなかったので、 要求ドキュメントは失敗しました。
対処	Internet Explorer 4 以上の少なくとも 最小限インストレーションパッケージをインストールしてください。

NAT8311: XML 文書の解析中のエラー。行 **:1:**、カラム **:2:**、メッセージ。 **:3:.**

テキスト	XML 文書の解析中のエラー。行 ...、カラム ...、メッセージ ...。
説明	XML パーサはエラーで終了しました。 XML 入力文書は構文的に正しくありません。 エラーが発生した行 / カラム、およびパーサによって返されたメッセージがエラーメッセージに示されます。
対処	XML 入力文書を修正してください。

NAT8312: XML パーサー処理中のエラー。理由 **:1:**。

テキスト	XML パーサー処理中のエラー。理由 ...。

説明	可能性のある理由は次のとおりです。 1：パーサアクセスのエラー。XML パーサを利用できません。 2：パーサインスタンスの要求は失敗しました。 新規インスタンスを利用できません。 3：パーサ初期化は失敗しました。 4：XML 入力ドキュメントが無効です。 5：サポートされないエンコードが使用されています。 6：内部解析保存エリアのスタックがオーバーフローしました。 7：解析オペランドのサイズ変更が失敗しました。
対処	XML パーサ条件または XML 文書をチェックしてください。

NAT8313: :1: に対する **GETMAIN** が失敗しました。リターンコード **:2:**。

テキスト	... の GETMAIN に失敗しました。リターンコードは .... です。
説明	Natural for XML では内部バッファを割り当てることができません。 リターンコード = 4：ストレージ不足です。 リターンコード > 4：内部エラー。
対処	リターンコード = 4 である場合は、スレッド / リージョン / パーティション / タスクのサイズを大きくします。 または、Software AG サポートに連絡してください。

NAT8314: 利用できる **Natural ICU** ハンドラがありません。

テキスト	利用できる Natural ICU ハンドラがありません。
説明	Natural ICU ハンドラを利用できません。 可能性のある理由は次のとおりです。 - The ICU ハンドラモジュールが Natural にリンクされていないか、またはロードできません。 - ICU のセッションプロファイルパラメータが OFF に設定されています。 - Natural ICU の初期化中にエラーが発生しました。 Natural ICU ハンドラは Natural XML ハンドラの前提条件です。
対処	エラーの理由によって異なります。 初期化エラーが発生した場合は、 セッションの初期化エラーメッセージを確認してください。

NAT8315: Natural および **Natural XML** の互換可能でないバージョン。

テキスト	Natural および Natural XML の互換可能でないバージョン。
説明	Natural XML のバージョン 4.2 は Natural バージョン 4.2.1 以降とともにのみ使用できます。
対処	互換性のある Natural バージョンを使用してください。

NAT8316: サポートされていないオペレーティング／**TP** システムです。

テキスト	サポートされていないオペレーティング / TP システムです。
説明	現在、Natural XML では BS2/UTM はサポートされていません。
対処	サポートされている環境を使用してください、

NAT8317: Natural OS/TP ドライバでは **LE370/CRTE** が有効ではありません。

テキスト	Natural OS/TP ドライバでは LE370/CRTE が有効ではありません。
説明	REQUEST DOCUMENT ステートメントでは、使用される OS/TP ドライバは オプション LE370=ON または CRTE=ON を使用してコンパイルする必要があります。
対処	必要なオプションを使用してドライバをインストールしてください。

NAT8318: モジュール **:1:** がリンクエディット内にありません。

テキスト	モジュール ... がリンクエディット内にありません。
説明	Natural フロントエンドスタブのリンクエディット内に モジュールがありません。
対処	リンクエディットにモジュールを追加してください。

NAT8319: Natural ステートメント **REQUEST DOCUMENT** および **PARSE** が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT および PARSE が無効化されています。
説明	プロファイルパラメータ XML が 'OFF' に設定されています。
対処	XML プロファイルパラメータ、または サブパラメータ RDOC、PARSE の少なくとも 1 つを 'ON' に設定してください。

NAT8320: Natural XML 初期化は失敗しました。

テキスト	Natural XML 初期化は失敗しました。
説明	このエラーの原因については、このエラーメッセージとともに発行される詳細なエラーメッセージに記載されています。
対処	詳細なメッセージに記載された説明を参照してください。

NAT8321: Natural ステートメント **PARSE** が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント PARSE が無効化されています。
説明	Natural プロファイルパラメータ XML のサブパラメータ PARSE が 'OFF' に設定されています。
対処	PARSE サブパラメータの値を 'ON' に変更します。

NAT8322: Natural ステートメント **REQUEST DOCUMENT** が無効化されています。

テキスト	Natural ステートメント REQUEST DOCUMENT が無効化されています。
説明	Natural プロファイルパラメータ XML のサブパラメータ RDOC が 'OFF' に設定されています。
対処	RDOC サブパラメータの値を 'ON' に変更します。

NAT8323: ネスト構造の解析ループは許可されません。

テキスト	ネスト構造の解析ループは許可されません。
説明	XML パーサーに対する再帰的なコールが Natural によって検出されました。
対処	プログラムを修正してください。

NAT8324: No IPv6 stack available on local host.

テキスト	No IPv6 stack available on local host.
説明	If the profile parameter RDIPV6 is set to "ON", a check for theavailability ↩ of IPv6 on the local host is performed at session start.If this check fails, ↩ error NAT8324 is issued as a warning.
対処	Either set the RDIPV6 parameter to "OFF", or ask your system or ↩ networkadministrators to set up an IPv6 stack on your local host.

147 Natural システムエラーメッセージ 8351～8400

NAT8400: Tamino エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	Tamino エラー ... が発生しました。
説明	Tamino にエラーが発生しました。
対処	詳細については、Tamino メッセージおよびコードを参照してください。

148 Natural システムエラーメッセージ 8401～8450

NAT8401: Tamino データベースハンドラで内部エラー **:1:** が発生しました。

テキスト	Tamino データベースハンドラで内部エラー ... が発生しました。
説明	内部エラーが Tamino データベースハンドラで発生しました。 エラーコードはエラーメッセージに含まれています。
対処	Software AG サポートに連絡して、エラーメッセージの全文を伝えてください。

NAT8402: Natural for Tamino ランタイムエラー **:1:** が発生しました。

テキスト	Natural for Tamino ランタイムエラー ... が発生しました。
説明	次の Natural for Tamino ランタイムエラーが発生しました。 - 1 : 配列の添え字に指定された値が 1 未満です。
対処	プログラムをチェックして、エラーを修正してください。

NAT8410: DBID :1: に対する **URL** が不正です。

テキスト	DBID ... に対する URL が不正です。
説明	要求に使用された URL が不正である、 または無効のプロトコルタイプが URL に指定されている、 またはこの URL の後ろに指定されたサーバーに接続できませんでした。

対処	Natural コンフィグレーションファイルの URL をチェックして修正するか、または、その URL のサーバーが存在することを確認してください。

NAT8411: HTTP 要求はレスポンスコード **:1:** で失敗しました。

テキスト	HTTP 要求はレスポンスコード ... で失敗しました。
説明	HTTP 要求は、'200' に等しくないレスポンスコードを返します。 標準化されたレスポンスコードは、考えられるエラー状況を示します。
対処	レスポンスコードを調べて、エラーを修正してください。 または、Software AG サポートに連絡してください。

NAT8412: HTTP 要求で内部エラーが発生しました。

テキスト	HTTP 要求で内部エラーが発生しました。
説明	HTTP 要求の実行中にエラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8415: XML スキーマを **DDM** にマップしている間のエラー（理由 **:1:**）。

テキスト	XML スキーマを DDM にマップしている間のエラー (理由 ...) 。
説明	考えられる理由は次のとおりです。 1 : XML スキーマに不正な構文が使用された。 2 : 未解決の要素参照。 3 : 未解決のタイプ参照。 4 : 未解決のグループ参照。 5 : 要求された doctype またはスキーマが見つからなかった。
対処	XML スキーマの妥当性をチェックしてください。 参照は、内部的にスキーマ内で解決する必要があります。

NAT8416: ネストレベルの最大数を超えました。

テキスト	ネストレベルの最大数を超えました。
説明	DDM でネストされるレベルの最大数は 99 です。 与えられた XML スキーマから DDM を生成する間に、この数を超えました。
対処	ネスト構造を減らすように XML スキーマを修正してください。

NAT8417: Tamino XML スキーマの **DDM** 生成中に内部エラーが発生しました。

テキスト	Tamino XML スキーマの DDM 生成中に内部エラーが発生しました。
説明	Tamino XML スキーマ定義から Natural DDM を生成する間に、 エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT8418: サポートされていない **XML** スキーマ要素 **:1:** を使用しました。

テキスト	サポートされていない XML スキーマ要素 ... を使用しました。
説明	サポートされていない XML スキーマ要素が使用されました。 1 : 'mixed=true' (混合された内容モード) は許可されていません。 2 : 1 より大きい maxOccurs は、順序、選択、およびすべてに許可されていません。 3 : ワイルドカード (any、anyAttribute) は許可されていません。
対処	このスキーマに対して DDM を生成する場合、上記の XML スキーマ要素を 使用しないでください。

149 Natural システムエラーメッセージ 8951～9000

NAT9000: Natural エラーテキスト **9nnn** は表示できません。

テキスト	Natural エラーテキスト 9nnn は表示できません。
説明	9000 番台のエラーに対して、有効な特定のエラーメッセージはありません。
対処	

150 Natural システムエラーメッセージ 9901～9950

NAT9901: Natural/TSO ランタイム環境は **TSO** ではありません。

テキスト	Natural/TSO ランタイム環境は TSO ではありません。
説明	非 TSO 環境内で Natural/TSO が起動されました。
対処	Natural/TSO は TSO 環境内でのみ実行可能です。 この環境の適切な フロントエンドインターフェイスをニュークリアスにリンクしてください。

NAT9902: データセットをオープンできません **- :1:**。

テキスト	必要なデータセットがオープンできません - ...。
説明	必要なデータセットがオープンできません。 JCL に指定されていないか正しく定義されていません。 あるいは他の理由でオープンできません。
対処	JCL に正しいデータセット定義を指定してください。 エラーの原因を確かめるために、ジョブログ内の オペレーティングシステムエラーメッセージをチェックしてください。

NAT9903: NATSTUB が **Natural** ニュークリアス **:1:** にリンクされていません。

テキスト	NATSTUB が Natural ニュークリアス :1: にリンクされていません。
説明	モジュール NATSTUB が Natural ニュークリアスにリンクされていません。 または、共有ニュークリアス :1: がロードされています。 しかし、そのエントリポイントに NATSTUB が定義されていません。
対処	Natural ニュークリアスにモジュール NATSTUB をリンクしてください。 共有ニュークリアスを使用する場合、リンクジョブの エントリポイントとして CMSTUB を指定してください。

NAT9904: 不正な **Natural** ニュークリアス **- :1:**。

テキスト	Natural ニュークリアスの分割 - ...。
説明	Natural ニュークリアスモジュールのバージョン (エラーメッセージに 示されている) がフロントエンドインターフェイスモジュールに対応していません。 例えば、フロントエンドによって、異なる バージョンの共有ニュークリアスがロードされました。
対処	正しい Natural ニュークリアスをリンクしてください。または、プロファイルパラメータ ↩ NUCNAME を使用して 正しい共有ニュークリアス名を指定してください。

NAT9905: 端末 **I/O** エラー **- :1: : RC=:2:**。

テキスト	端末 I/O エラー - :1: : RC=:2:。
説明	端末 I/O エラーが発生しました。 I/O レスポンスコード RC=:2: は、 要求 :1: が失敗した理由を示しています。 TSO 環境では、レスポンスコードは、失敗した TSO I/O 要求マクロ TPUT または TGET から返されます。
対処	TSO ドキュメントのレスポンスコードの説明をチェックしてください。 さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9906: Natural サーバーは **LE** メインルーチンとして実行することができません。

テキスト	Natural サーバーは LE メインルーチンとして実行することができません。

説明	Natural フロントエンド (NATOS) は、IBM 言語環境を初期化しなかった フロントエンドサーバースタブから制御を受け取りました。 LE370=YES で生成されたサーバーとしての NATOS は LE メインルーチンとして 実行できません。
対処	LE370=NO オプション 付きで NATOS を生成するか、可能であれば、 LE サポート付きフロントエンドサーバースタブを 生成してください。

NAT9907: サポートされていないオペレーティングシステムのバージョンです。

テキスト	サポートされていないオペレーティングシステムのバージョンです。
説明	現在のオペレーティングシステムバージョンは、 この Natural バージョンではサポートされていません。
対処	サポートされているオペレーティングシステムおよびバージョンは、 Natural ドキュメントを参照してください。

NAT9908: ニュークリアスモジュールは **16 MB** 境界より下にありません **- :1:**。

テキスト	ニュークリアスモジュールは 16 MB 境界より下にありません - ...。
説明	メッセージに指定されたニュークリアスモジュールは オペレーティングシステム要件のために 16 MB 境界より下で 実行しなければなりません。
対処	指定されたニュークリアスモジュールをパラメータ MODE RMODE(24) で再リンクしてください。

NAT9909: TP システムバージョンはサポートされていません。

テキスト	TP システムバージョンはサポートされていません。
説明	TP システム (例 : Com-plete) の当バージョンは Natural によって サポートされません。 それは、Natural に必要な機能を含んでいない古いバージョンか、 または使用している Natural バージョンがまだサポートしない 新しいバージョンのどちらかです。

対処	TP システムのより新しいバージョンをインストールするか、 Natural のより新しいバージョンをインストールしてください。

NAT9910: セッション通信エリアがないか、不正です。

テキスト	セッション通信エリアがないか、不正です。
説明	Natural サーバーセッション通信エリアがないか、不正です。 セッション通信エリアは、Natural サーバーによって内部的に使用され、 フロントエンドサーバースタブが提供しなければなりません。
対処	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9911: 不正なストレージスレッドサイズが指定されました。

テキスト	不正なストレージスレッドサイズが指定されました。
説明	サーバーとして Natural を実行するときは、固定サイズのメインストレージ スレッドの取得を必要とします。 フロントエンドサーバースタブに 定義されたスレッドサイズが不正です。 256 キロバイト～16 メガバイトの範囲内でなければなりません。
対処	フロントエンドサーバースタブ定義に正しいスレッドサイズを 指定してください。

NAT9912: スレッド番号が不正か大きすぎます。

テキスト	スレッド番号が不正か大きすぎます。
説明	サーバーとして Natural を実行するときは、メインストレージスレッドの 取得を必要とします。 フロントエンドサーバースタブに定義された スレッド数が不正または大きすぎます。 0～8191 の範囲内で、スレッド ストレージの合計が 2 ギガバイトより小さくなければなりません。
対処	スレッド数またはフロントエンドサーバースタブ定義の スレッドサイズを減らしてください。

NAT9913: サーバー環境はすでに初期化されています。

テキスト	サーバー環境はすでに初期化されています。
説明	フロントエンドサーバースタブは、サーバー環境を初期化するために Natural を要求したが、サーバー環境はすでに初期化されています。
対処	再初期化の前にサーバー環境を終了してください。 さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9914: 共通サーバーテーブル用の **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	共通サーバーテーブル用の GETMAIN が失敗しました。
説明	中央コントロールブロックのための GETMAIN が失敗したので、Natural サーバー環境は初期化できません。 十分なリージョン ストレージを利用できる必要があります。
対処	Natural サーバー用のリージョンサイズを拡張してください。 問題を解決できない場合、詳細な問題分析のために SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9915: スレッドストレージ用の **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	スレッドストレージ用の GETMAIN が失敗しました。
説明	ストレージスレッドの GETMAIN が失敗したので、Natural サーバー環境は初期化できません。 十分なリージョン ストレージを利用できる必要があります。
対処	Natural サーバー用のリージョンサイズを拡張するか、フロントエンド スタブ定義のストレージスレッドの数やサイズを減らしてください。

NAT9916: サーバー名トークン検索時のエラーです。 **RC=:1:**。

テキスト	サーバー名トークン検索時のエラーです。 RC=...。

説明	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。 名前トークンの検索要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。 リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTRT マクロコールの説明を参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9917: サーバー名トークン作成時のエラーです。 **RC=:1:**。

テキスト	サーバー名トークン作成時のエラーです。 RC=...。
説明	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。 名前トークンの作成要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。 リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTCR マクロコールの説明を参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9918: サーバー名トークン削除時のエラーです。 **RC=:1:**。

テキスト	サーバー名トークン削除時のエラーです。 RC=...。
説明	Natural サーバーの中心的なアンカーは MVS のネームトークンです。 名前トークンの削除要求はメッセージに示される 10 進のリターンコードで失敗しました。 リターンコードの説明は IBM の『MVS Authorized Assembler Services Reference』の IEANTDL マクロコールの説明を参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9919: サーバーファンクションコードが不正です。

テキスト	サーバーファンクションコードが不正です。

説明	フロントエンドサーバースタブが、不正なサーバーファンクションコードで Natural サーバーをコールしました。
対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9920: ロールサーバーがアクティブではありません。 **SUBSID=:1:**。

テキスト	ロールサーバーがアクティブではありません。 SUBSID=:1:。
説明	Natural サーバー環境は、制限付きストレージスレッド数内で複数サーバーセッションを実行するために Natural ロールサーバーを必要とします。 指定した Natural サブシステム ID に対して開始したロールサーバーがないか、または SUBSID プロファイルパラメータが、Natural パラメータモジュールで不正に、またはダイナミックに 指定されています。
対処	サブシステム ID に対する Natural ロールサーバーを開始、または SUBSID プロファイルパラメータを正しく設定する、またはロールサーバーなしで実行するために SUBSID=' ' を使用するか、またはフロントエンドサーバースタブ定義にこれを指定します。

NAT9921: サーバー環境が初期化されていません。

テキスト	サーバー環境が初期化されていません。
説明	フロントエンドサーバースタブは、'initialize server' 以外のサーバーファンクションコードで Natural をコールしたので、Natural サーバー環境は非初期化状態にあります。
対処	状態を完全にリセットするためにフロントエンドサーバースタブをリスタートしてください。さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9922: 初期化セッションはロールできません。

テキスト	初期化セッションはロールできません。
説明	フロントエンドサーバースタブは、Natural サーバーの初期化中にセッション作成、ロールアウト、ロールインサーバー機能を要求しました。サーバー初期化フェーズ時にこれらのサーバー機能は使用できません。

対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9923: サーバークローンセッションが有効ではありません。

テキスト	サーバークローンセッションが有効ではありません。
説明	フロントエンドサーバースタブがセッション作成を要求したが、 クローンセッションはまだ保存されていません。
対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9924: セッション **ID** がないか、不正です。

テキスト	セッション ID がないか、不正です。
説明	Natural サーバーセッション ID は、Natural セッションを識別するための ユニークな内部 ID です。 フロントエンドサーバースタブがセッション ID 以外、または 16 進の空値セッション ID (使用不可)、または修正された セッション ID を渡しました。
対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9925: セッション **ID** はすでに存在しています。

テキスト	セッション ID はすでに存在しています。
説明	フロントエンドサーバースタブがセッション作成を要求したが、 同じセッション ID のセッションがすでに存在していて、実行の 用意があります。
対処	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9926: セッションはロールインステータスではありません。

テキスト	セッションはロールインステータスではありません。
説明	フロントエンドサーバースタブがセッションロールアウト、実行、 またはクローン保存機能を要求したが、セッションはロールインした 状態ではありません。

対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9927: セッションはロールアウトステータスではありません。

テキスト	セッションはロールアウトステータスではありません。
説明	フロントエンドサーバースタブがセッションロールイン機能を要求したが、セッションはロールアウトした状態ではありません。
対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9928: ロールアウト中、圧縮に失敗しました。 **RC=:1:**。

テキスト	ロールアウト中に圧縮が失敗しました。 RC=...。
説明	Natural スレッドストレージ圧縮が失敗しました。 正確な理由は、10 進数のリターンコード RC=00nn で示されます。 詳しくは Natural ドキュメントを参照してください。
対処	詳細な問題分析については、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9929: ロールイン中、解凍に失敗しました。 **RC=:1:**。

テキスト	ロールイン中、圧縮解除に失敗しました。 RC=:1:。
説明	Natural スレッドストレージの圧縮解除が失敗しました。 正確な理由は、10 進数のリターンコード RC=00nn で示されます。 詳しくは Natural のドキュメントを参照してください。
対処	さらに細かく問題を分析するため、SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9930: ロールバッファのための **GETMAIN** が失敗しました。

テキスト	ロールバッファのための GETMAIN が失敗しました。
説明	Natural セッションスレッドストレージロールアウト中、ロールバッファのための GETMAIN 要求が失敗しました。 圧縮されたセッションストレージを保存するために十分なリージョン ストレージを有効にする必要があります。

対処	Natural サーバーに対するリージョンサイズを拡張するか、ロール機能として Natural ロールサーバーを使用してください。

NAT9931: AUTOTERM 機能は初期化できません。

テキスト	AUTOTERM 機能は初期化できません。
説明	Natural サーバー環境で、自動サーバー終了機能は、サーバー初期化 TCB の意図しない DETACH によって生じる問題を回避するために有効です (例：MVS アベンド A03、サーバー資源クリーンアップ不可など)。 AUTOTERM 機能は、ストレージ保護問題のために初期化することができません。
対処	フロントエンドサーバースタブ定義で AUTOTERM 機能を無効にするか 詳細な問題分析のために SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9932: Natural ランタイムエラーが発生しました **- :1:**。

テキスト	Natural ランタイムエラーが発生しました - :1:。
説明	Natural サーバーセッションの実行中、示された Natural ランタイムエラー :1: が発生しました。
対処	Natural が発行したランタイムエラーメッセージをチェックしてください。 これは、クライアント側に返されたデータ、またはサーバーの Natural 標準出力データセットにあります。

NAT9933: ロールサーバーの **ALLOCATE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの ALLOCATE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
説明	セッション作成中、新規ロールファイルスロット作成のための ALLOCATE 要求が失敗しました。 十分なロールファイルストレージを有効にする必要があります。 失敗の理由は、 10 進数のリターンコード / 理由コードで示されます。 コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9934: ロールサーバーの **WRITE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの WRITE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
説明	セッションロールアウト中、Natural ロールサーバーへの WRITE 要求が 失敗しました。 失敗の理由は、10 進数のリターンコード / 理由 コードで示されます。 コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9935: ロールサーバーの **READ** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの READ 要求が失敗しました。 RC=:1:/:2:。
説明	セッションロールイン中、Natural ロールサーバーからの READ 要求が失敗 しました。 失敗の理由は、10 進数のリターンコード / 理由 コードで示されます。 コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため SAG 技術サポートに連絡してください。

NAT9936: ロールサーバーの **FREE** 要求が失敗しました。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	ロールサーバーの FREE 要求が失敗しました。 RC=.../...。
説明	セッション終了中、Natural ロールサーバーへの FREE 要求が失敗しました。 失敗の理由は、10 進数のリターンコード / 理由 コードで示されます。 コードの詳細については、Natural のドキュメントを参照してください。
対処	問題の理由を特定して修正できない場合は、さらに細かく問題を分析するため Software AG サポートに連絡してください。

NAT9937: サーバー **I/O** サブタスクを開始できません。 **RC=:1:/:2:**。

テキスト	サーバー I/O サブタスクを開始できません。 RC=:1:/:2:。
説明	Natural サーバー環境で、I/O 操作全体は、サーバー初期化中に開始した別個の MVS サブタスクによって行なわれます。I/O サブタスクに対する ATTACH 要求が 失敗しました。 失敗の原因は RC=:1:/:2: で示されます。 ここで、:1: は内部ファンクションコード :2: の 10 進のリターンコードです。

対処	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9938: SMARTS 環境の終了は失敗しました。

テキスト	SMARTS 環境の終了は失敗しました。
説明	これについて詳細な説明はありません。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9939: :1: RC=:2:

テキスト	リモートフロントエンド通信エラー。 RC=.../...
説明	リモート TP 環境 (例 : CICS) で Natural セッションをディスパッチするために Natural サーバー環境は Natural リモートフロントエンドを使用します。 例えば、これは NDV CICS アダプタによって使用されます。 このエラーは Natural サーバー環境とリモート TP 環境の間の通信での エラーを示します。 RC の値の意味は、以下の例のようにエラーテキストに依存します。 - 'Cannot load NCI front-end RC= ' : RC は CICS EIB レスポンスコードを含んでいます。 - 'Error at Remote Gateway Obtain/Restore' : RC は NDV リモートゲートウェイからのレスポンスコードを含んでいます。
対処	CICS EIB レスポンスコードの場合に、詳細なエラー情報のために CICS メッセージまたはリモートフロントエンドトレースを 調べてください。 リモートゲートウェイ RC の場合、Software AG 技術サポートに連絡してください。

NAT9940: サーバーパラメータリストの指定がないか、無効です。

テキスト	サーバーパラメータリストの指定がないか、無効です。
説明	必須の Natural サーバーパラメータリストが指定されていないか、無効です。 Natural フロントエンドサーバースタブは、内部パラメータリスト (内部的なサーバー機能に依存して必須) を使って、 Natural サーバーセッションと通信します。

対処	さらに細かく問題を分析するため、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9941: LE/370 を使用する場合に適した **Smarts** バージョンではありません。

テキスト	LE/370 を使用する場合に適した Smarts バージョンではありません。
説明	Smarts バージョン V272 は、LE/370 プログラム用の CEEPIPI インターフェイスをサポートするために必要とされます。
対処	必要な Smarts バージョンをインストールしてください。

NAT9942: サーバーフロントエンドが **Natural** バージョンと互換可能ではありません。

テキスト	サーバーフロントエンドが Natural バージョンと互換可能ではありません。
説明	フロントエンドサーバースタブでは、現在の環境依存ニュークリアス Natural 環境の バージョンとは異なる Natural バージョンが必要です。
対処	フロントエンドサーバースタブのドキュメントに従って、互換性のある Natural バージョンを インストールおよび使用してください。

NAT9943: 非同期セッション用の **Natural** プログラムでロジックエラーが発生しました。

テキスト	非同期セッション用の Natural プログラムでロジックエラーが発生しました。
説明	入力データが要求されましたが、非同期セッションは入力デバイスなしで 実行されます。 このエラーを回避するには、Natural システム変数 *SCREEN-IO をチェックしてください。
対処	プログラムロジックを修正します。

NAT9944: Roll server COMPRESS request failed. RC=:1:/:2:.

テキスト	Roll server COMPRESS request failed. RC=.../....
説明	During session roll-out, the COMPRESS request to the Natural roll ↩ serverfailed. The reason for the failure is indicated by the ↩ decimalreturn/reason codes. These are explained in the Natural documentation.

対処	If you cannot find the reason for the problem and correct it, ↩ contactSoftware AG support for further problem analysis.

NAT9945: Roll server DECOMPRESS request failed. RC=:1:/:2:.

テキスト	Roll server DECOMPRESS request failed. RC=.../....
説明	During session roll-in, the DECOMPRESS request from the Natural rollserver ↩ failed. The reason for the failure is indicated by the decimalreturn/reason ↩ codes. These are explained in the Natural documentation.
対処	If you cannot find the reason for the problem and correct it, ↩ contactSoftware AG support for further problem analysis.

151 Natural システムエラーメッセージ 9951～9999

NAT9964: NAT9964 Error occurred during session initialization.

テキスト	NAT9964 Error occurred during session initialization.
説明	During the initialization of Natural batch processing, an error hasoccurred. ↩ Batch processing has continued after the error, becauseparameter ITERM=OFF ↩ was set. The session terminates with returncode "4".
対処	Correct the error as indicated by the preceding error messages.

NAT9965: Natural termination forced by administrator - :1:.

テキスト	Natural termination forced by administrator - ....
説明	The session has been marked for termination by the Review for Naturalcommand ↩ TERMNAT within the Review SYSRNM administrator application.When the session ↩ resumes after a terminal I/O, it is terminated.The user ID ... of the Review ↩ SYSRNM administrator is indicatedat the end of the message.
対処	None.

NAT9966: ライセンスチェックの失敗により、セッションが終了しました。

テキスト	ライセンスチェックの失敗により、セッションが終了しました。
説明	製品ライセンスに関する問題により、セッションが終了しました。 有効なライセンスがないと、Natural を開始できません。 ライセンスモジュールが リンクされていないか、無効か、または環境に対して不十分です。
対処	この問題に関する詳細な情報については、セッション 初期化エラーメッセージをチェックしてください。 正しいライセンスファイルがない場合は、 Software AG に連絡してください。

NAT9967: 処理されない **LE** 条件によって終了が強制されました **- :1:**。

テキスト	処理されない LE 条件によって終了が強制されました - :1:。
説明	LE (IBM 言語環境) サブプログラムの実行中に エラー条件が発生しました。 エラーを処理するサブプログラムの 条件ハンドラがアクティブではなかったため、コントロールはNatural LE の条件ハンドラに渡されました。 この条件ハンドラは、CEEDUMP に LE スナップダンプを書き込み、 さらに詳細な LE エラーメッセージを発行するために、LE サービスを呼び出します。 DU プロファイルパラメータに従って、Natural はダンプ付きで 終了されています。
対処	LE エラー条件、メッセージ、およびスナップダンプをチェックして エラーの理由を特定します。 必要な場合は、LE サブプログラムを修正してください。

NAT9968: DUE により **Natural** は強制終了されました **- :1: :2: :3:**。

テキスト	DUE により Natural は強制終了されました - :1: :2: :3:。
説明	エラー :3: が発生したので、Natural はダンプ付きで終了しました。 Natural プログラム :1: により、行番号 :2: でエラーが発生しました。 :3: は、ダンプを取得するためにプロファイルパラメータ DUE によって 定義されたエラーメッセージ ID です。 :1: と :2: がない場合、エラーが発生したときに、アクティブな プログラムがありませんでした。
対処	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9969: Natural がエラーループから抜けました **- :1: :2: NAT:3:**。

テキスト	Natural がエラーループから抜けました - .... nnnn NATnnnn。
説明	エラーループが発生し、Natural は終了しました。 '.........' - エラーが起きたプログラム名 'nnnn' - エラーが起きたソースコードの行番号 'NATnnnn' - NAT9969 が発行される前に起きた最後のエラー番号
対処	

NAT9970: ITERM=ON のために **Natural** の初期化が失敗しました。

テキスト	ITERM=ON のために Natural の初期化が失敗しました。
説明	Natural の初期化中にエラー条件が発生しました。 このメッセージは、他の Natural エラーメッセージが 1 つ以上表示された後に表示されます。 プロファイルパラメータ ITERM=ON が設定されているので、セッションは終了します。
対処	先行エラーメッセージに示されるようにエラーを修正するか、ITERM=OFF を 設定してください (STACK=INPL では不可)。

NAT9971: セッションはフロントエンドドライバによって終了しました **- RC=:1:**。

テキスト	セッションはフロントエンドドライバによって終了しました - RC=:1:。
説明	セッション初期化中に、環境依存ドライバは重大なエラーを検出したので、 セッションは継続できません。 RC=:1: はドライバエラー理由コードを示します。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9972: Naturalモジュールが見つからないか、無効です **- :1:**。

テキスト	Naturalモジュールが見つからないか、無効です - :1:。
説明	初期化中に、Natural は、モジュール :1: がないか、 またはそのメンテナンスレベルが一致しないことを検出しました。

対処	Natural ニュークリアスへ正しいモジュールをリンクして、 Natural を再スタートしてください。

NAT9973: 異常終了 **:1: :2:**。

テキスト	アベンド :1: :2:。
説明	予期しない内部的なランタイムエラーが発生しました。 セッションは終了し、ダンプが生成されました。 :1: は、エラーを生じたニュークリアスコンポーネントの名前です。 :2: は、追加エラー情報を含んでいます (オプション)。
対処	ダンプを保存して、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9974: アベンドにより **Natural** は強制終了されました。**:1:**。

テキスト	アベンドにより Natural は強制終了されました。...
説明	エラーメッセージに示されたアベンド条件が発生した後、 Natural は異常終了しました。 プロファイルパラメータ DU=ON が設定されていました。 アベンド条件は、使用中のオペレーティングシステムおよび (または) TP システムによって設定されます。 アベンド条件の説明については適切なオペレーティングシステムや TP システムのドキュメントを参照してください。 アベンド条件の例として、次のようなものがあります。 'SOC7' - データ例外 'AICA' - CICS 環境下のループ 'ATCH' - オペレータによるタスクのキャンセル (CICS)
対処	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9975: バックエンドプログラムが見つかりません **- :1:**。

テキスト	バックエンドプログラムが見つかりません - :1:。
説明	Natural セッションは異常終了しましたが、セッション終了後に制御を 受け取るプログラム :1: (プロファイルパラメータ PROGRAM で 指定) は見つかりません。

対処	PROGRAM パラメータで正しいプログラム名が指定され、そのプログラムが適切なライブラリにあることを確認してください。

NAT9976: 初期化バッファが小さすぎます。

テキスト	初期化バッファが小さすぎます。
説明	初期化バッファのスペースが不足しているので、Natural は初期化できませんでした。 このバッファのサイズは、プロファイルパラメータ ISIZE によって決まります。
対処	Natural パラメータモジュールの ISIZE パラメータ値を大きくしてから、Natural セッションを再度開始してください。

NAT9977: 入力処理中に恒久的な **I/O** エラーが発生しました。

テキスト	入力処理中に恒久的な I/O エラーが発生しました。
説明	バッチの処理中、Natural は入力データを受け取りませんでした。 または、 オンライン処理中の場合、I/O エラーが発生したとき、 コンソールにこのメッセージが発行されます。 このような場合、関連出力装置が操作不能と考えられます。
対処	入力データが Natural に正しく渡されることを確認してください。

NAT9978: 実行／コンパイル中にエラーが発生しました。

テキスト	実行 / コンパイル中にエラーが発生しました。
説明	Natural バッチの処理中に、プログラムをコンパイルまたは 実行したときにエラーが発生しました。 バッチ処理は、エラーの後も継続されます。 セッションは、リターンコード '4' で終了します。
対処	任意の複数エラーメッセージに対して出力プロトコルをチェックしてください。 エラーを訂正し、必要な場合はバッチジョブを再実行してください。

NAT9979: 端末コンバータモジュールがリンクされていません **- :1:**

テキスト	端末コンバータモジュールがリンクされていません - ...
説明	端末タイプに対応するコンバータモジュールが Natural ニュークリアスにリンクされていないか、または現在の環境と 互換可能でないため、サポートできない 端末タイプ ... で Natural が呼び出されました。
対処	指定されていないモジュールを Natural ニュークリアスにリンクするか、 またはプロファイルパラメータ TTYPE を使用して正しい端末タイプを指定します。

NAT9980: ニュークリアスはレジデントページにありません **- :1:**。

テキスト	ニュークリアスはレジデントページにありません - ...。
説明	呼び出されたプログラムは Com-plete レジデントプログラムとして ロードされていません。
対処	Com-plete レジデントプログラムとしてプログラムをロードしてください。

NAT9981: バックエンドプログラムデータ用の **GETMAIN** は失敗しました。

テキスト	バックエンドプログラムデータ用の GETMAIN は失敗しました。
説明	バックエンドプログラムデータのために要求されたサイズは Natural スレッドに割り当てることができません。
対処	スレッドサイズを大きくしてください。

NAT9982: セッション終了中にエラーが発生しました。

テキスト	セッション終了中にエラーが発生しました。
説明	セッション終了中にエラーが発生しました。 対応するエラーメッセージは前に発行されています。
対処	対応するエラーメッセージをチェックし、 必要であれば、エラーを修正してください。

NAT9983: 会話 **I/O** が要求され、ニュークリアス／スレッドが置き換えられました。

テキスト	会話 I/O が要求され、ニュークリアス / スレッドが置き換えられました。
説明	ニュークリアスまたはスレッド、あるいはその両方が最後の 端末 I/O 中に置き換えられました。
対処	Natural ニュークリアスを (E) LPA 内に指定するか、または RELO=FORCE/ON を指定しない、 あるいはその両方を行います。

NAT9984: Natural アドレス再配置が失敗しました **- RC=:1:**。

テキスト	Natural アドレス再配置が失敗しました - RC=...。
説明	内部エラーが発生しました。
対処	Software AG サポートに連絡してください。

NAT9985: スレッドロックされたセッションをリカバーできません。

テキスト	スレッドロックされたセッションをリカバーできません。
説明	Com-Plete では Natural セッションをリカバーしようとしましたが、 セッションが RELO=OFF モードで実行されていたため、このことを実行できませんでした。 セッションを終了する必要があります。
対処	セッションを RELO=ON で再スタートしてください。

NAT9986: Natural パラメータモジュールが見つからないか、無効です。

テキスト	Natural パラメータモジュールが見つからないか、無効です。
説明	Natural ニュークリアスに Natural パラメータモジュールがリンクされて いません。または、リンクされたパラメータモジュールにエラーがあり ます。
対処	正しいマクロライブラリを使用して、Natural パラメータモジュールを 再アセンブルし、Natural ニュークリアスに再リンクしてください。

NAT9987: Natural セッションは異常終了しました **- RC=:1:**。

テキスト	Natural セッションは異常終了しました - RC=:1:。
説明	Natural セッションは、Natural プログラム内にリターンコード :1: を返す TERMINATE ステートメントにより終了しました。
対処	対処は必要ありません。

NAT9988: システムファイル情報に誤りがあります。

テキスト	システムファイル情報に誤りがあります。
説明	Natural システムファイル FNAT のデータベース ID、ファイル番号が変更されましたが、Natural システム環境がこの変更に対して調整されていません。
対処	システム環境を調整するために、INPL ユーティリティの 'A' 機能を使用してください。

NAT9989: Natural バージョンが一致していません。

テキスト	Natural バージョンが一致していません。
説明	初期化するとき、Natural は環境依存インタフェースのバージョン、Natural ニュークリアス、およびパラメータモジュールが適合するかをチェックします。
対処	パラメータモジュール、インターフェイスをアセンブルし、Natural ニュークリアスにリンクしてから再実行してください。

NAT9990: Natural の初期化に失敗しました。

テキスト	Natural の初期化に失敗しました。
説明	Natural の初期化中に Natural セッションの継続が許可されなかったためエラー条件が発生しました。 このメッセージは、他の Natural エラーメッセージが 1 つ以上表示された後に表示されます。

対処	先行するエラーメッセージに示されたエラーを訂正してください。

NAT9991: 必要なモジュールがリンクされていません **- :1:**。

テキスト	必要なモジュールがリンクされていません - :1:。
説明	初期化中、Natural は、モジュール :1: がないことを検出しました。 モジュールは Natural ニュークリアスを実行するために必要です。
対処	必要なモジュールを、Natural ニュークリアスにリンクし、Natural を再スタートしてください。

NAT9992: 回復不可能なアベンド **:1:** のためにセッションは終了しました。

テキスト	回復不可能なアベンド :1: のためにセッションは終了しました。
説明	アベンド :1: から Natural セッションを回復しようとしているとき、他のアベンドが発生しました。 アベンドループを避けるために、Natural セッションは終了しました。
対処	生成されたダンプを分析して、エラーを修正します。 必要な場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9993: Adabas リンクモジュールがないか、無効です **- :1:**。

テキスト	Adabas リンクモジュールがないか、無効です - :1:。
説明	プロファイルパラメータ ADANAME に指定された Adabas リンクモジュール :1: がロードできないか、または不正です。 ロードライブラリがないか不正です。 あるいは、指定モジュールが存在しないか、正しくリンクされていません。
対処	有効なロードライブラリが Natural セッションにアタッチされており、そこに有効な Adabas リンクモジュールが存在することを確認してください。

NAT9994: ダイナミックパラメータ文字列が長すぎます。

テキスト	ダイナミックパラメータ文字列が長すぎます。
説明	ダイナミックパラメータ機能で、Natural セッションの開始時に指定した文字列が長すぎます。 32767 文字以内にする必要があります。 これは CMPRMIN ファイルから読み込まれたダイナミックパラメータを含みます。
対処	ダイナミックパラメータ文字列を減らして、Natural セッションを再実行してください。

NAT9995: Natural セッションは正常に終了しました。

テキスト	Natural セッションは正常に終了しました。
説明	この端末 / ユーザーの Natural セッションはエラー条件が発生することなく終了しました。 Natural は次のいずれかの方法で終了されました。 - NEXT/MORE モードでのコマンド FIN の入力 - NEXT モードでのコマンド %% の入力 - NEXT モードでの CLEAR キーの押下 - Natural プログラムでのステートメント TERMINATE の実行
対処	対処は必要ありません。

NAT9996: Natural ニュークリアスモジュールをロードできません **- :1: :2:**。

テキスト	Natural ニュークリアスモジュールをロードできません - :1: :2:。
説明	Natural がリエントラントニュークリアスモジュール :1: をロードできません。 Natural のフロントエンド部分は、TP または OS 依存のロード要求を試行して、エラー条件 :2: を受け取りました。
対処	NUCNAME パラメータによって指定された共有ニュークリアス名をチェックするか、対応する名前を持つリエントラント部分を再リンクしてください。 正しいロードライブラリに Natural がアクセス可能かどうかをチェックしてください。

NAT9997: メモリ不足で **Natural** を開始できません **- :1: :2:K RC=:3:**。

テキスト	メモリ不足で Natural を開始できません - :1: :2:K RC=:3:。
説明	Natural は、要求したすべてのバッファを取得できません。 Natural はユーザーエリア、端末エリア、I/O エリア、ファイル バッファなどのバッファを使用します。 これらのうち 1 つでもストレージの取得に失敗すると、Natural は 初期化することができません。 追加情報は次のとおりです。 :1: バッファタイプ (NATCONFG に記述) :2: バッファサイズ (KB) :3: GETMAIN 要求からのリターンコード 04 = ストレージ不足です。 08 = バッファタイプが不正です。 10 = バッファタイプが重複しています。 18 = バッファ長が不正です。 1C = バッファタイプが NATCONFG に定義されていません。 30 = モジュール NATCONFG がリンクされていません。 34 = 物理 GETMAIN に失敗しました。
対処	34 = 物理 GETMAIN に失敗しました。 RC=04/34 : バッファサイズを小さくするか、より大きなスレッド / パーティションを割り当ててください。 その他のリターンコードの場合は、Software AG サポートに連絡してください。

NAT9998: 入力ファイルにおいて **I/O** エラーが発生しました **- :1:**。

テキスト	入力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。
説明	入力ファイル (例 : CMSYNIN または CMOBJIN) のバッチ処理中に、 I/O エラーが発生しました。 :1: は、入力ファイル名を示します。
対処	ジョブログでオペレーティングシステムのエラーメッセージをチェックして、 エラーを修正します。

NAT9999: 出力ファイルにおいて **I/O** エラーが発生しました **- :1:**。

テキスト	出力ファイルにおいて I/O エラーが発生しました - :1:。
説明	CMPRINT などの出力ファイルのバッチ処理中に I/O エラーが発生しました。 :1: は、出力ファイル名を示します。

対処	ジョブログでオペレーティングシステムのエラーメッセージをチェックして、エラーを修正します。